

**静岡県第4次地震被害想定  
(第二次報告)  
報告書**

平成25年11月29日

静岡県



## 目次

I 第4次地震被害想定（第二次報告）の概要	1
II ライフラインの被害想定	15
II-1. ライフラインの被害に係る想定手法	15
II-2. ライフラインの被害に係る想定結果	25
III 交通施設等の被害想定	97
III-1. 交通施設等の被害に係る想定手法	97
III-2. 交通施設等の被害に係る想定結果	107
IV 産業保安施設の被害想定	127
IV-1. 産業保安施設の被害に係る想定手法	127
IV-2. 産業保安施設の被害想定結果	130
V 避難者、避難者対応分析の想定	135
V-1. 避難者、避難者対応分析に係る想定手法	135
V-2. 避難者、避難者対応分析の想定結果	145
VI 帰宅困難者の想定	164
VI-1. 帰宅困難者に係る想定手法	164
VI-2. 帰宅困難者に係る想定結果	164
VII 物資不足、備蓄対応力の想定	167
VII-1. 物資不足、備蓄対応力に係る想定手法	167
VII-2. 物資不足、備蓄対応力に係る想定結果	170
VIII 医療機能支障の想定	189
VIII-1. 医療機能支障の想定手法	189
VIII-2. 医療機能支障の想定結果	194
IX 保健衛生、防疫、遺体処理等の想定	219
IX-1. 保健衛生、防疫、遺体処理等の想定手法	219
IX-2. 保健衛生、防疫、遺体処理等の想定結果	219
X 教育、就労等の想定	220
X-1. 教育、就労等の想定手法	220
X-2. 教育、就労等の想定結果	220
XI 住機能（応急仮設住宅等）の想定	221
XI-1. 住機能（応急仮設住宅等）の想定手法	221
XI-2. 住機能（応急仮設住宅等）の想定結果	233
XII し尿・ごみ・瓦礫の想定	265
XII-1. し尿・ごみ・瓦礫の想定手法	265
XII-2. し尿・ごみ・瓦礫の想定結果	269
XIII 経済被害想定	282
XIII-1. 経済被害に係る想定手法	282
XIII-2. 経済被害想定結果	284

XIV 長周期地震動による被害（中高層住宅・超高層建築物） .....	294
XIV-1. 長周期地震動による被害（中高層住宅・超高層建築物）に係る想定手法の考え方 .....	294
XIV-2. 長周期地震動による被害（中高層住宅・超高層建築物）に係る想定結果 .....	294
XV エレベータ閉じ込め .....	297
XV-1. エレベータ閉じ込めに係る想定手法 .....	297
XV-2. エレベータ閉じ込め被害想定結果 .....	299
XVI 交通人的被害（道路） .....	306
XVI-1. 交通人的被害（道路）に係る想定手法 .....	306
XVI-2. 交通人的被害（道路）に係る想定結果 .....	306
XVII 交通人的被害（鉄道） .....	307
XVII-1. 交通人的被害（鉄道）に係る想定手法 .....	307
XVII-2. 交通人的被害（鉄道）に係る想定結果 .....	307
XVIII 災害時要援護者の被災・生活支障の想定 .....	308
XVIII-1. 災害時要援護者の被災・生活支障に係る想定手法 .....	308
XVIII-2. 災害時要援護者の被災・生活支障の想定結果 .....	309
XIX PTSD・災害関連死 .....	315
XIX-1. PTSD・災害関連死に係る想定手法 .....	315
XIX-2. PTSD・災害関連死の想定結果 .....	316
XX ターミナル駅・大規模集客施設等の被害 .....	317
XX-1. ターミナル駅・大規模集客施設等の被害に係る想定手法 .....	317
XX-2. ターミナル駅・大規模集客施設等の被害想定結果 .....	317
XXI 文化財被害想定 .....	319
XXI-1. 文化財被害に係る想定手法 .....	319
XXI-2. 文化財被害想定結果 .....	320
XXII 孤立集落の発生に係る被害想定 .....	326
XXII-1. 孤立集落の発生に係る被害想定手法 .....	326
XXII-2. 孤立集落の発生に係る被害想定結果 .....	326
XXIII 富士山噴火が連続した場合の支障想定 .....	328
XXIII-1. 富士山噴火が連続した場合の想定手法 .....	328
XXIII-2. 富士山噴火が連続した場合の想定結果 .....	328
XXIV 原子力災害が重複した場合の支障想定 .....	329
XXIV-1. 原子力災害が重複した場合の想定手法 .....	329
XXIV-2. 原子力災害が重複した場合の想定結果 .....	329

# I 第4次地震被害想定（第二次報告）の概要

## 1 地震被害想定実施の経緯と目的

昭和51年（1976年）に東海地震説が発表されてから35年余が経過した。この間、本県では、東海地震対策を県政の最重要課題の一つとして位置づけ、積極的に地震対策に取り組んできた。

効果的な地震対策を実施するためには、地震によって引き起こされる地震動や津波などの自然の外力と、それらがもたらす被害の様相を事前に予測しておくことが必要不可欠となる。

そのため、本県では、社会環境の変化や地震災害に関する科学的な知見の蓄積などに応じて、昭和53年（1978年）、平成5年（1993年）、平成13年（2001年）の3回にわたり、地震被害想定を実施し、地震対策を効果的に進めるための基礎資料として活用してきた。

こうした中、平成23年3月11日に発生した、我が国地震観測史上最大となるマグニチュード9.0の巨大地震「東北地方太平洋沖地震」は、それまでの想定を大幅に上回る巨大な津波などにより、東日本の太平洋岸の広範な地域に甚大な被害をもたらす、岩手・宮城・福島の前北3県の沿岸部を中心に約2万人の尊い命を奪う大災害「東日本大震災」となった。この大震災は、津波対策のあり方はもとより、既往最大クラスの地震を想定対象としてきた地震被害想定のある方に対しても、新たな課題を提起するものとなった。

本県では、東日本大震災の直後から、津波対策の総点検を行い、直ちに取り組むべき新たな行動計画として「ふじのくに津波対策アクションプログラム（短期対策編）」を同年9月に取りまとめ、沿岸市町等と連携・協力しながら津波対策を実施してきた。

さらに、平成23年12月に内閣府から南海トラフ巨大地震のモデルが提示されたことを受け、平成24年2月、「静岡県第4次地震被害想定策定会議」を設置し、全庁を挙げて、新たな地震被害想定の実施、さらには、中長期の津波対策も含む新たな地震・津波対策アクションプログラムの策定に取り組むこととした。

第4次地震被害想定（以下、「本想定」という。）では、これまで本県が地震被害想定の対象としてきた東海地震のように、発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波を「レベル1の地震・津波」と位置付け、さらに、東日本大震災から得られた教訓として、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波を「レベル2の地震・津波」とし、二つのレベルの地震・津波を想定の対象とすることとした。

本想定は、東日本大震災をはじめとする第3次地震被害想定（静岡県、2001）以降に発生した地震・津波災害が残した教訓や蓄積された科学的知見を生かしつつ、この二つのレベルの地震・津波による自然の外力や、それらがもたらす被害の様相を、あらかじめ想定し、今後の地震・津波対策の基礎資料として活用することを目的に実施するものである。

本想定の一環として、昨年12月に「今後の地震・津波対策の方針」を決定し、二つのレベルの地震・津波への対策の方向性を示すとともに、本年2月には本想定の中間報告を公表した。中間報告では、駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル1とレベル2の津波の津波高の推計結果を取りまとめるとともに、地震が発生した場合の被害やそれに対する対応の様相を時系列形式で整理した「被害・対応シナリオ想定」の骨子を取りまとめ、対策を講じる上での課題の概要を抽出した。また、防災・減災のための具体的な行動目標となる「地震・津波対策アクションプログラム2013（仮称）」の骨子も取りまとめた。

本年6月27日に公表した第一次報告では、駿河トラフ・南海トラフ沿いと相模トラフ沿いで発生するレベル1とレベル2の地震・津波による震度分布や津波高、浸水域等の自然現象の想定結果と、その地震・津波による人的被害、物的被害の想定結果を取りまとめるとともに、これらの結果を基に、中間報告においてその骨子を示した「被害・対応シナリオ想定」について、16の項目ごとに具体的な被害と必要な応急対応のシナリオ等を整理し、取りまとめた。また、「地震・津波対策アクションプログラム2013」についても、中間報告において示した骨子に数値目標等の肉付けを行い、この第一次報告に合わせて取りまとめた。

今回の第二次報告では、第一次報告を踏まえ、ライフラインや交通施設等の被害、経済被害等について取りまとめるとともに、第一次報告の「被害・対応シナリオ想定」の見直しを図ったものである。また、「地震・津波対策アクションプログラム2013」についても、この第二次報告に合わせて追加・補強した。

表 I. 1 第二次報告で公表する主な被害想定項目

区 分	内 容
ライフライン被害	上水道、下水道、電力、通信、ガス
交通施設被害	道路施設、鉄道施設、港湾施設、飛行場・ヘリポート
産業保安施設被害	危険物施設
生活支障等	避難者、帰宅困難者、物資不足・備蓄対応力、医療機能支障、保健衛生・防疫・遺体処理等、教育・就労等、住機能（応急仮設住宅等）、し尿・ごみ・瓦礫
経済被害	直接的経済被害、間接的経済被害

## 2 本想定の特徴

### (1) 二つのレベルの地震・津波を対象とする被害想定

本想定では表 2 に示すとおり、駿河トラフ・南海トラフ沿いと相模トラフ沿いのそれぞれで発生する二つのレベルの地震・津波を想定対象とした。

レベル 2 の地震・津波についても想定対象とした理由は、東日本大震災の教訓によるものである。これまでの地震被害想定は、過去数百年間に経験してきた地震・津波（レベル 1 の地震・津波）を再現することを基本に実施してきた。しかし、東日本大震災では従前の想定をはるかに超える甚大な被害が発生し、これまでの被害想定に限界が露呈する形となった。こうしたことから、今後の地震被害想定では、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの巨大な地震・津波（レベル 2 の地震・津波）についても検討する必要があることが指摘されており、本想定はそれに沿うものである。また、本想定は、こうした最大クラスの地震・津波に対しては命を守ることを最優先に、あらゆる対応を検討する必要があることを示すものである。しかし、次に発生する地震・津波がレベル 2 になることを予測しているものではない。

表 1.2 想定の対象とした二つのレベルの地震・津波

区 分	内 容
レベル 1 の地震・津波	本県がこれまで地震被害想定の対象としてきた東海地震のように、発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波
レベル 2 の地震・津波	内閣府（2012）により示された南海トラフ巨大地震のように、発生頻度は極めて低いですが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波

### (2) 原子力災害との複合災害や富士山噴火との連続災害の想定

東日本大震災において発生した福島第一原子力発電所の事故や、1707 年宝永地震の 49 日後に発生した富士山の宝永噴火などを踏まえ、原子力災害との複合災害や富士山噴火が地震の前後に発生する連続災害の可能性も考慮した被害・対応シナリオ想定を行う。

### (3) 東日本大震災等の教訓や、社会環境の変化、最新の科学的知見の反映

上記のほか、本想定では、東日本大震災や平成 16 年(2004 年)新潟県中越地震など第 3 次地震被害想定（静岡県、2001）以降に発生した地震・津波災害の教訓や、社会環境の変化、最新の科学的知見の反映に努める。

### 3 地震被害想定の対象とする地震・津波

本想定において対象とした地震・津波の設定等に関する考え方は、次のとおりである。

表 1.3 本想定の対象とした地震・津波

区 分	駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震	相模トラフ沿いで発生する地震
レベル1の地震・津波	東海地震 東海・東南海地震 東海・東南海・南海地震	大正型関東地震
レベル2の地震・津波	南海トラフ巨大地震	元禄型関東地震

#### (1) 駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル1の地震・津波

- 駿河トラフ・南海トラフ沿いでは、概ね100年から150年の間隔で海溝型（プレート境界型）の巨大地震が繰り返し発生しているが、昭和19年（1944年）の昭和東南海地震では東海地震の想定震源域が未破壊のまま残ったことから、昭和51年（1976年）の東海地震説以降、東海地震発生への切迫性が指摘されてきた。このため、本県が策定した過去3回の地震被害想定では東海地震を対象に行ってきた。
- 一方、昭和東南海地震や昭和南海地震（1946年）の発生から既に70年近くが経過しており、今世紀前半には100年を迎えることになる。今後はこれらの地震の発生にも注意を払う必要が生じている。そのため、本想定では、レベル1の地震・津波として、東海地震の単独発生はもとより、東南海地震や南海地震との連動発生も視野に入れることとした。
- 本想定においては、これらの地震・津波について、中央防災会議（2003）の強震断層モデルや津波断層モデルを用いて検討を行ってきたが、これらのモデルについては、国において見直しが進められている。
- このことに関し、第一次報告及び今回の第二次報告においては、次のような対応とした。なお、国が新たなモデルを発表した場合は、その内容を確認した上で、必要に応じて被害想定の見直しを行うなどの対応を講じるものとする。
  - ・地震動については、本県にとってレベル1の地震とレベル2の地震でその強さに本質的な違いがないと考えられる（東海地震の震源域の破壊により発生する地震動が支配的と考えられる）ことから、内閣府（2012）の南海トラフ巨大地震の基本ケースによる検討結果をレベル1の地震の想定結果とした（なお、地震動の継続時間については、レベル1の地震とレベル2の地震では異なることに留意する必要がある。）。
  - ・津波については、本県にとってレベル1の津波とレベル2の津波では本質的な違いがあり、当面の対策を進める上でその違いを示す必要があることから、中央防災会議（2003）のモデルを用いて検討した結果をレベル1の津波の想定結果とした。
- 地震調査研究推進本部が平成25年5月に公表した南海トラフの地震活動の長期評価によれば、南海トラフで過去に起きた大地震（レベル1の地震・津波）の震源域の広がりには多様性があり、現在のところ、これらの複雑な発生過程を説明するモデルは確立されていないが、時間が経過するにつれて大地震の発生する確率は高まり、今後30年以内に地震の発生する確率は60～70%となるとされている。

#### (2) 駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル2の地震・津波

- 駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル2の地震・津波については、あらゆる可能性を考慮した最大クラスのものとして、内閣府（2012）が示した南海トラフ巨大地震を想定対象とした。
- 地震動については、内閣府（2012）が示した基本ケース、陸側ケース、東側ケース及び西側ケースの4つのケースのうち本県の被害が大きくなる3つのケース（基本ケース、陸側ケース、東側ケース）を用いて検討した。
- 津波については、内閣府（2012）が示した11のケースのうち本県の被害が大きくなる3つのケース（ケース①、⑥、⑧）を用いて検討した（なお、本県の海岸での津波高が局所的に高くなる



ケース②、⑦、⑨についても浸水域等の検討を行った。)

- 地震調査研究推進本部が平成 25 年 5 月に公表した南海トラフの地震活動の長期評価によれば、南海トラフで発生する最大クラスの地震（レベル 2 の地震・津波）については、過去数千年間に発生したことを示す記録は見つかっていないため、定量的な評価は困難であるが、地震の規模別頻度分布から推定すると、その発生頻度は過去に南海トラフで繰り返し起きていたレベル 1 の地震・津波に比べ、一桁以上低いと考えられるとされている。

### (3) 相模トラフ沿いで発生する地震・津波

---

- 第 3 次地震被害想定では、1703 年元禄関東地震を含む江戸時代の 4 つの地震と 1923 年大正関東地震の 5 つの地震を基に提唱された再来周期約 70 年の神奈川県西部の地震（マグニチュード 7 程度）を想定対象とした。
- 本想定では、二つのレベルの地震・津波を想定対象とするという考え方にに基づき、相模トラフ沿いで発生する海溝型（プレート境界型）の巨大地震を対象とすることとした。
- レベル 1 の地震・津波については、再来周期が約 200～400 年と比較的発生頻度が高い大正型関東地震とした。レベル 2 の地震・津波については、現時点では、国からあらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波に関する科学的な知見が示されていないことから、当面の措置として、大正型関東地震に比べ広い震源域を持つ既往最大の地震とされている元禄型関東地震（再来周期約 2,300 年）をレベル 2 の地震・津波とした。
- 上記により選定した地震や津波については、国から提示されたモデルがないことから、最新の研究成果や他の地方公共団体の被害想定で使用された最新のモデルを活用することとし、本県における震度記録や被害記録をより良く再現するため、モデルの一部を改変した。
- 地震調査研究推進本部が平成 25 年 1 月に更新した海溝型地震の長期評価一覧によれば、大正型関東地震の今後 30 年以内の発生確率は「ほぼ 0%～2%」、元禄型関東地震は「ほぼ 0%」とされている。

### (4) その他留意事項等

---

- 本想定において使用した強震断層モデル及び津波断層モデルは、現時点での最新の科学的知見に基づき検討されたものであり、今後の科学的な知見の蓄積を踏まえて検証され、場合によっては修正される可能性があることに留意するものとする。
- 駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波については、レベル 1 の地震・津波、レベル 2 の地震・津波とも、複数の強震断層モデルや津波断層モデルを使用して地震動や津波の検討を行っているものもあるが、人的・物的被害等の想定については、代表的なモデルに絞って行っている場合がある。

## 4 地震被害想定 の前提条件

### (1) 想定する季節・時間帯等

- 時間帯によって人々の行動特性（滞留特性）が大きく異なるため、地震の発生時間帯が変わると人的被害の発生する様相も変化する。また、時間帯や季節によって火気器具等の使用状況が異なるため、火災の出火件数も変化すると思われる。
- 想定する時間帯については、県民が生活リズムの中で身近に感じられる時間帯設定をすることで、置かれた状況をイメージして適切な対策・行動につながるような設定とした。
  - ①通勤・通学時間帯としての「朝 7～8 時」「夕方 17～18 時」
  - ②家にいる時間帯としての「深夜 2～5 時」
  - ③勤務時間帯・在学時間帯としての「昼 11～13 時」
- また、出火という視点では、昼間は繁華街、夕方は住宅や繁華街で多いと考えられる。これらを踏まえ、今回の地震被害想定（特に第一次報告の建物被害・人的被害）では、想定される被害が異なる 3 種類の基本ケース（季節・時間帯）を設定した。なお、必要に応じて、シナリオ検討の中ではより特徴的な季節・時間帯を設定した。
- 風速は、気象庁ホームページより気象情報データベース・アメダスの過去 36 年分（1976～2011 年）のデータを利用して、日常的な風速よりもやや強い「日平均風速+2×標準偏差」（=5m/s）に設定した。また、風向は、最寄りの気象観測点の年間最頻風向として設定した。

表 I. 4 基本となる季節・時間帯

季節・時間帯	想定される被害の特徴
①冬・深夜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くが自宅で就寝中に被災するため、家屋倒壊による死者が発生する危険性が高く、また津波からの避難が遅れることにもなる。</li> <li>・オフィスや繁華街の滞留者や、鉄道・道路利用者が少ない。</li> <li>*屋内滞留人口は、深夜～早朝の時間帯でほぼ一定</li> </ul>
②夏・昼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィス、繁華街等に多数の滞留者が集中しており、自宅外で被災するケースが多い。</li> <li>・木造建物内滞留人口は、1 日の中で少ない時間帯であり、老朽木造住宅の倒壊による死者数は①冬・深夜と比較して少ない。</li> <li>・夏場の地震発生により避難所等では熱中症等や衛生上の問題が発生</li> <li>*木造建物内滞留人口は、昼 11～13 時でほぼ一定</li> </ul>
③冬・夕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅、飲食店などで火気使用が最も多い時間帯で、出火件数が最も多くなる。</li> <li>・オフィスや繁華街周辺のほか、ターミナル駅にも滞留者が多数存在する。</li> <li>・鉄道、道路もほぼ帰宅ラッシュ時に近い状況でもあり、交通被害による人的被害や交通機能支障による影響が大きい。</li> </ul>

※なお、ライフライン施設被害等の想定においては、火災の影響により物的被害が最大となる季節・時間帯は「冬・夕」と考えられるため、第二次報告の想定においては、季節・時間帯として「冬・夕」を基本とした。ただし、想定項目によっては、より特徴的な時間帯を設定した。

## (2) 被害想定項目

本想定の第二次報告として取りまとめた項目は、次の被害想定項目一覧の右欄「第二次報告」に記載したとおりである。

### 被害想定項目(定量的項目・定性的項目) 一覧

1. 地震動
2. 地盤の液状化
3. 山・崖崩れ
4. 地震に伴う津波

#### 第一次報告

#### 5. 建物被害

- 5.1 地震動
- 5.2 液状化
- 5.3 人工造成地
- 5.4 山・崖崩れ
- 5.5 津波

#### 6. 火災被害

- 6.1 出火
- 6.2 延焼
- 6.3 津波火災

#### 7. 屋外転倒、落下物

- 7.1 ブロック塀等の転倒
- 7.2 屋外落下物

#### 8. 人的被害

- 8.1 建物倒壊等
- 8.2 火災
- 8.3 山・崖崩れ
- 8.4 津波
- 8.5 屋内収容物移動・転倒、屋内落下物
- 8.6 ブロック塀の転倒、屋外落下物
- 8.7 自力脱出困難者(要救助者)

#### 9. ライフライン被害

- 9.1 上水道
- 9.2 下水道
- 9.3 電力
- 9.4 通信
- 9.5 ガス

#### 第二次報告

#### 10. 交通施設被害

- 10.1 道路施設
- 10.2 鉄道施設
- 10.3 港湾施設
- 10.4 飛行場・ヘリポート

#### 11. 産業保安施設被害

- 11.1 危険物施設

#### 12. 生活支障等

- 12.1 避難者、避難者対応分析
- 12.2 帰宅困難者
- 12.3 物資不足、備蓄対応力
- 12.4 医療機能支障
- 12.5 保健衛生、防疫、遺体処理等
- 12.6 教育、就労等
- 12.7 住機能(応急仮設住宅等)
- 12.8 し尿・ごみ・瓦礫

#### 13. 経済被害

- 13.1 直接的経済被害
- 13.2 間接的経済被害

#### 14. その他の被害

#### 15. 被害・対応シナリオ

○想定の対象とした人口及び建物数は、表5の数値を用いた。

表 I. 5 対象人口・対象建物数

項目	数量	内容
対象人口	3,765,007人	平成22年10月1日現在 (総務省統計局(2010a))
対象建物数	住宅 1,182,735棟 非住宅 235,770棟 合計 1,418,505棟	平成24年1月1日現在のデータ

※ 建物データは、市町の協力を得て、町丁目字別・建物構造別・建築年代別・用途別・階数別建物棟数ファイルを作成した。

### (3) 予知の取扱い

- これまでの本県の地震被害想定では、大規模地震対策特別措置法に基づく東海地震の警戒宣言が発令され、東海地震が予知された場合の被害予測並びに予知による被害軽減効果を推計している。
- 中央防災会議(2013a)が「地震予測は、地震・津波から人命を救う上で重要な技術であり、今後とも研究を進める必要がある」と指摘するように、地震の予知は大きな被害軽減効果を持つ。これまでの地震被害想定と同様に、駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波については、予知された場合とされなかった場合の被害の違いについても考慮した。

表 I. 6 駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波の予知ケースの取り扱い

区分	内容
予知なし	地震が予知されず、突然発生するケース
予知あり	地震の発生が予知され、事前の避難行動等をとれる可能性があるケース

- 予知ありケースにおける被害軽減効果として、静岡県(2011)の県民意識調査結果から警戒宣言時対応係数を求め、予知なしの被害想定結果に乘じ、予知ありケースにおける建物被害・人的被害を推計した。

## 5 想定手法の概要

### (1) 被害想定の流れ

- 設定した対象地震により引き起こされる自然現象の想定として、自然条件データを収集し、地盤モデルや地形モデルなどを作成するとともに、地震動や浸水予測などを行う方法や条件を設定した上で、強震断層モデルや津波断層モデルを適用し、地震動や津波浸水などの予測を行った。
- 一方で、建物被害や人的被害、ライフラインや交通施設等の被害、経済被害等について、過去の地震被害のデータに基づき、被害項目ごとに被害の原因と結果の関係を分析し、被害推計式を作成する等、想定手法を検討した。
- 次に、地域の特性を詳細に分析するために、250mメッシュ等に区分し、各項目につきその地域データを被害推計式に投入する等により、地域ごとの被害量を算出した。

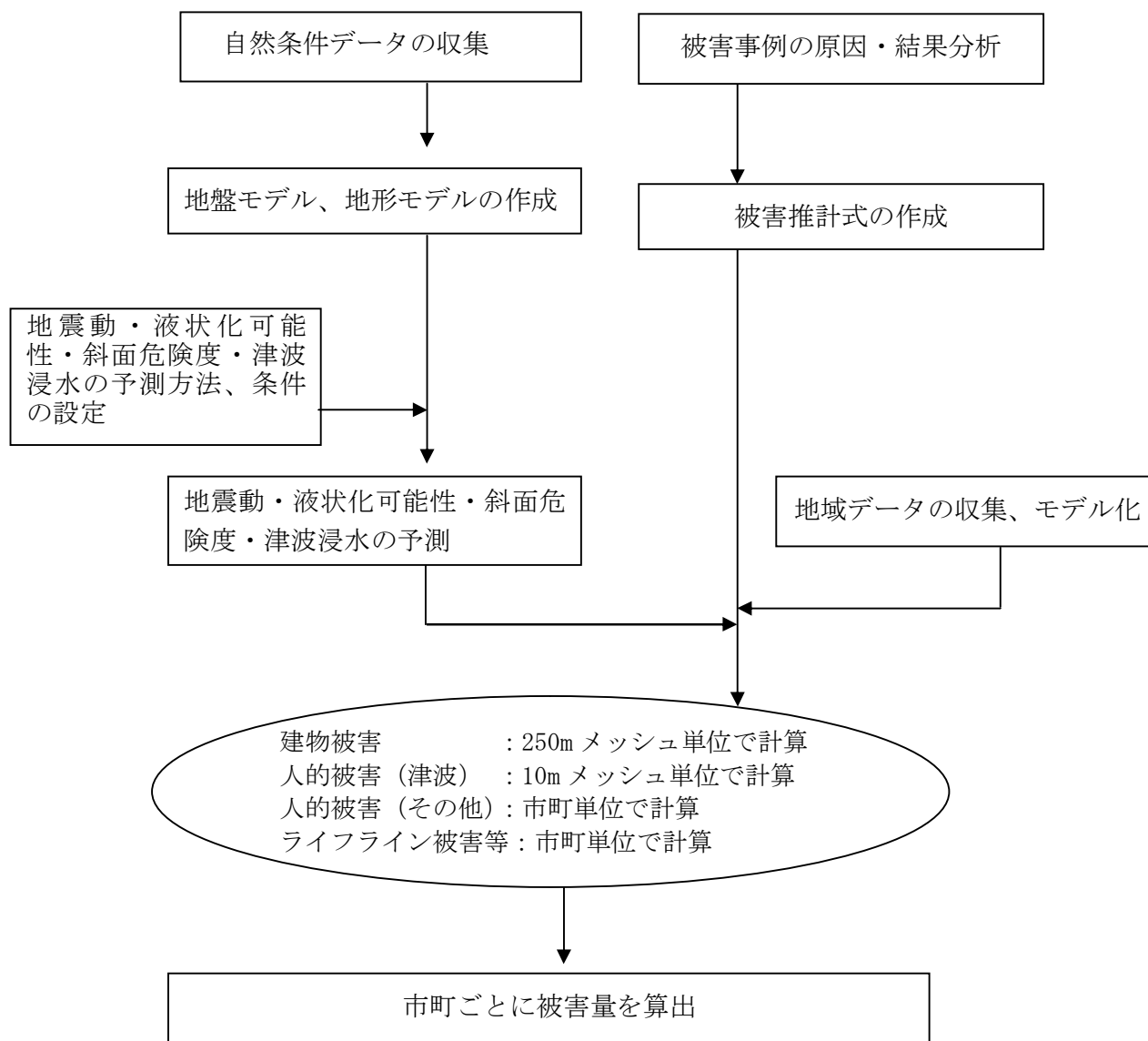


図 I. 1 被害想定の流れ

## (2) 被害量推計の流れ

- 地域状況をメッシュごとに調査分類した後、それぞれに想定地震の揺れを加え、地盤の揺れやそれに伴う液状化、津波などを推計した。
- 次に、地震動、液状化、人工造成地、津波、山・崖崩れ、火災による被害に分けて、建物被害を推計した。さらに、建物被害等から市町別に死傷者数、ライフライン被害等を推計した。

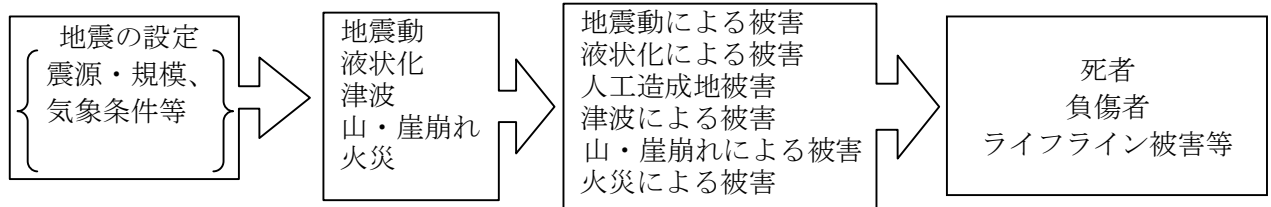


図 1. 2 人的被害・物的被害量推計の流れ

## (3) 本想定における用語の定義

本想定で使用する用語の定義は、次のとおりである。

- ・PGA  
地震動の大きさを表す尺度の一つ。地表での加速度の最大値 (Peak Ground Acceleration)
- ・PGV  
地震動の大きさを表す尺度の一つ。地表での速度の最大値 (Peak Ground Velocity)
- ・全壊  
災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく全壊
- ・半壊  
災害の被害認定統一基準による自治体判定基準に基づく半壊
- ・倒壊  
建物が構造的に倒壊・崩壊した状態を指し、岡田ら (1999) による建物破壊パターンチャートの D5 以上相当。上記の全壊に含まれる。
- ・重傷者  
1ヶ月以上の治療を要する負傷者
- ・軽傷者  
1ヶ月未満の治療を要する負傷者

## 6 第二次報告における国の被害想定との主な相違等

---

### (1) ライフライン被害予測

---

- 上水道の断水人口・断水率については、①浄水場の津波浸水予測、停電状況の予測、川上（1996）の式に基づいた管路被害予測、及び②被害管路の応急復旧作業の進捗状況（外部自治体等からの受援も勘案）を総合して算出している。中央防災会議（2013a）と基本的な考え方は同様であるが、上記②について、中央防災会議（2013a）は過去事例における復旧率を参考としている。この点について、本報告において採用した手法と相違がある。
- 下水道の機能支障人口・機能支障率については、①下水処理場の津波浸水予測、停電状況の予測、過去の災害実績に基づいた管路被害予測、及び②被害管路の応急復旧作業の進捗状況（外部自治体等からの受援も勘案）を総合して算出している。中央防災会議（2013a）と基本的な考え方は同様である。

### (2) 交通施設被害予測

---

- 道路施設被害については、道路管理者等と調整の上、県内の緊急輸送路に対し、区間別に揺れ、液状化、山・崖崩れ、津波浸水による通行支障（影響度ランク）を判定（AA、A、B、Cの4段階評価）し、地図上に示した。中央防災会議（2013a）では道路施設の被害箇所数を算出している。
- 鉄道施設被害については、鉄道事業者等と調整の上、県内の鉄道施設を対象に、区間別に揺れ、液状化、山・崖崩れ、津波浸水による運行支障（影響度ランク）を判定（AA、A、B、Cの4段階評価）し、地図上に示した。中央防災会議（2013a）では鉄道施設の被害箇所数を算出している。
- 港湾施設被害については、港湾・漁港管理者等と調整の上、耐震強化岸壁のみ使用可能という前提で、上盤側では隆起による水深の低下を考慮した物資取扱容量を算出し需要量と比較した。中央防災会議（2013a）では係留施設の被害箇所数や防波堤の被災延長を算出している。
- 飛行場被害については、飛行場管理者等と調整の上、地震動や液状化危険度、施設の対策状況等に基づいて、地震時における飛行場の利用可能性について定性的に検討した。また、市町拠点ヘリポート等が受ける地震動や液状化危険度、津波浸水について整理し、利用可能性を定性的に検討した。

### (3) 住機能支障

---

- 住機能支障について、「地震災害時の住まいの復旧状況に関する調査」を Web 上で実施し、それを踏まえ、中期的な仮住まい及び長期的な恒久住宅の需要について想定した。
- 中央防災会議（2013a）では、避難者といった短期的住機能支障は想定しているが、応急仮設住宅需要などの中期的・長期的需要については想定していない。

### (4) 経済被害想定

---

- 直接的経済被害の予測については、住宅・オフィスビル等の新規建物1棟あたり工事必要単価について、静岡県のデータを採用して算出した。
- 中央防災会議（2013a）では、間接的被害予測について、生産・サービス低下による影響（推計する期間は1年間）を資本ストックの減少、労働力の減少、経済中枢機能の低下、サプライチェーン寸断影響を考慮した生産関数に基づき、産業別に推計している。
- 間接的経済被害の予測については、中部圏地域間産業連関表を用いて、近隣県から静岡県へ波及する経済被害の算定及び静岡県から近隣県へ波及する経済被害を算定し、県内総生産低下額（産業別）を算出した。

## 7 第二次報告の想定結果の概観

### (1) 駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波

#### 【ライフライン被害】

- 上水道は、発災直後に県内のほぼ全域で断水し、1週間後でも県内の給水人口の5割以上で断水が継続する。応急復旧には、レベル1の地震・津波で4週間程度、レベル2の地震・津波で5～6週間程度が必要と見込まれる。
- 下水道は、発災1日後、レベル1の地震・津波の場合で県内の処理人口の5割程度、レベル2の地震・津波の場合で7割近くが機能支障となり、県内各地で排水困難な地区が発生する。応急復旧には、レベル1の地震・津波で2週間程度、津波浸水の影響が大きいレベル2の地震・津波の場合には5週間程度が必要と見込まれる。
- 電力は、発災直後に県内の需要家の9割程度で停電し、4日後でも1割弱程度で停電が継続する。応急復旧には、レベル1、レベル2の地震・津波ともに1週間程度が必要と見込まれる。
- 固定電話は、発災直後に県内の回線の9割程度が不通となり、1日後でも8割程度が不通のままである。応急復旧には、レベル1の地震・津波で1週間程度、レベル2の地震・津波で2週間程度が必要と見込まれる。

携帯電話は、基地局の停波や停電の影響により、発災1日後には県内全域で非常につながりにくい状態となる。応急復旧には、レベル1の地震・津波で1週間程度、レベル2の地震・津波で2週間程度が必要と見込まれる。

上記の地震動や津波などによる通信設備の物的被害によるもののほか、発災直後からの通話量の急激な増大による輻輳が発生し、電話がつながりにくくなる。
- 都市ガスは、発災直後の県内供給停止率が7～8割程度になると見込まれる。応急復旧には、レベル1の地震・津波で4週間程度、レベル2の地震・津波で4～6週間程度が必要と見込まれる。

L Pガスは、発災直後に3～4割程度の需要家で機能支障が発生し、点検が必要となる。

#### 【交通施設被害】

- 道路施設（緊急輸送路）は、橋梁の落橋や富士地区、中部（沿岸部）地区で大きな地盤変位に伴う被害などが発生した場合には、緊急輸送が可能になるまで発災から1週間以上を要する可能性がある。レベル2の地震・津波の場合には津波浸水により不通となる区間が増加する。
- 鉄道施設は、富士地区、中部（沿岸部）地区で大きな地盤変位に伴う被害が発生した場合や震度7となる地域のJR在来線・私鉄などで、運行再開まで発災から1ヶ月以上を要する可能性がある。
- 港湾施設では、耐震強化岸壁を活用し、4日目以降に緊急物資の海上輸送が行われる。レベル2の地震・津波の場合には短期間での復旧が困難となることも考えられる。
- 静岡空港は、地震発生直後に安全確認のため一時的に閉鎖するが、空港運用に支障がないと判断した時点から運航を再開する。

#### 【生活支障等】

- 避難者は、発災1日後、レベル1の地震・津波で83万人程度、レベル2の地震・津波で98～108万人程度に上ると見込まれる。1週間後には、レベル1の地震・津波で122万人程度、レベル2の地震・津波で116～131万人程度に増加する。
- 応急仮設住宅（発災約1か月～2年後）は、レベル1の地震・津波で5.9万世帯分程度、レベル2の地震・津波で5.6～7.1万世帯分程度の需要が見込まれる。
- 災害廃棄物等の発生量は、レベル1の地震・津波で3,079～3,168万トン程度、津波の浸水域が拡大するレベル2の地震・津波で3,529～4,376万トン程度が見込まれる。



### 【経済被害】

- 直接的経済被害は、予知なしの場合、レベル1の地震・津波で20.3兆円程度、レベル2の地震・津波で21.4～23.8兆円程度が見込まれる。予知ありの場合は、レベル1の地震・津波で17.4兆円程度、レベル2の地震・津波で19.9～20.9兆円程度となる。
- 間接的経済被害は、予知なしの場合、レベル1の地震・津波で3.9兆円程度、レベル2の地震・津波で5.3～6.8兆円程度が見込まれる。予知ありの場合は、レベル1の地震・津波で2.9兆円程度、レベル2の地震・津波で3.2～4.3兆円程度となる。

### (2) 相模トラフ沿いで発生する地震・津波

#### 【ライフライン被害】

- 上水道は、発災直後、レベル1の地震・津波で県内の給水人口の1/5程度、レベル2の地震・津波で1/4程度が断水する。応急復旧には、レベル1の地震・津波で1週間程度、レベル2の地震・津波で2週間程度が必要と見込まれる。
- 下水道は、発災1日後、レベル1の地震・津波で県内の処理人口の2%程度、レベル2の地震・津波で12%程度が機能支障となり、県の東部地域を中心に排水困難な地区が発生する。応急復旧には、レベル1の地震・津波で数日程度、レベル2の地震・津波で3週間程度が必要と見込まれる。
- 電力は、発災直後に県内の需要家の1/3程度で停電する。応急復旧には、レベル1、レベル2の地震・津波ともに数日程度が必要と見込まれる。
- 固定電話は、発災直後に県内の回線の1/3程度が不通となる。応急復旧には、レベル1、レベル2の地震・津波ともに数日程度が必要と見込まれる。
- 都市ガスは、発災直後の県内供給停止率が4～12%程度になると見込まれる。LPガスは、発災直後に4～6%程度の需要家で機能支障が発生する。

#### 【交通施設被害】

- 県東部を中心に地震動の大きな地域や津波の浸水域などで被害が発生すると見込まれる。

#### 【生活支障等】

- 避難者は、発災1日後、レベル1の地震・津波で5.7万人程度、レベル2の地震・津波で11.2万人程度に上ると見込まれる。1週間後には、レベル1の地震・津波で9.6万人程度、レベル2の地震・津波で15.1万人程度に増加する。
- 応急仮設住宅（発災約1ヶ月～2年後）は、レベル1の地震・津波で2.9千世帯分程度、レベル2の地震・津波で5千世帯分程度の需要が見込まれる。
- 災害廃棄物等の発生量は、レベル1の地震・津波で167～190万トン程度、津波の浸水域が拡大するレベル2の地震・津波で332～397万トン程度が見込まれる。

#### 【経済的被害】

- 直接的経済被害は、レベル1の地震・津波で1.7兆円程度、レベル2の地震・津波で2.7兆円程度が見込まれる。
- 間接的経済被害は、レベル1の地震・津波で0.15兆円程度、レベル2の地震・津波で0.26兆円程度が見込まれる。

## 8 想定結果の活用

第一次報告を基に策定した「地震・津波対策アクションプログラム 2013」について、今回の第二次報告を踏まえ、追加・補強し、想定される被害をできる限り軽減するための地震・津波対策の推進を図っていく。

## 9 本想定（第二次報告）を見る上での留意事項

今回の第二次報告は、第一次報告での自然現象や人的・物的被害の想定結果を基に、本想定は、東日本大震災をはじめとする、第3次地震被害想定（静岡県、2001）以降に発生した地震・津波災害が残した教訓や蓄積された科学的知見をできる限り反映するよう努めつつ、実施したものであるが、本想定を見る上で以下の事項に御留意いただきたい。

- 本想定では、レベル1の地震・津波（発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波）とともに、レベル2の地震・津波（発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波）についても被害想定を実施している。これは、東日本大震災の教訓から、レベル2の地震・津波に対しても命を守ることを最優先とする対応を目指す必要があるためである。次に発生する地震・津波がレベル2になることを予測しているものではない。
- 第二次報告において定量的に行った被害想定は、阪神・淡路大震災や東日本大震災等の被害状況を踏まえて検討したものであるが、個々の項目の想定手法は必ずしも確立されているものではない。したがって、第二次報告で示した被害想定の数値は、確定的なものではなく、ある程度の幅を持つもの、傾向を示すものとして受け止めていただきたい。
- 定量的な被害想定が困難な項目については、シナリオなどの定性的な記述でお示ししたので、こちらにも注目していただきたい。
- 第一次報告では、特にレベル2の地震・津波による甚大な被害に対し、事前に予防的な対策を講じることにより被害を大幅に減らすことができることをお示したが、こうした取組は、第二次報告において示した被害の軽減にもつながるものである。

### 【市町別想定結果を見る上での留意点】

- ・市町別想定結果は、基本的には次のような考え方で整理している。
  - ①被害量は、数値に幅があるため、概数で表示している。
    - －概数表示をする際の四捨五入は、各セルの計算上の実数値に対して次のルールを適用している。
      - 5未満 → 「－」
      - 5以上 100未満 → 「十単位で四捨五入（一の位を四捨五入）」
      - 100以上 1万未満 → 「百単位で四捨五入（十の位を四捨五入）」
      - 1万以上 → 「千単位で四捨五入（百の位を四捨五入）」
  - ②対策需要量に関する数値は、計算上の実数値で表示している。
- ・市町別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。
- ・四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## II ライフラインの被害想定

注：ライフライン施設の被害及び機能支障については、事業者側の施設被害（管路や電線の被害等）を考慮しているものであり、需要家側の被害を評価対象としていない。例えば、地域で多くの建物被害が発生している場合であっても、事業者の施設被害等が小さい場合にはライフラインの機能支障が小さく評価される場合がある。

### II-1 ライフラインの被害に係る想定手法

#### 1 上水道

---

##### ■被害の検討範囲

津波の影響、停電の影響、管路被害を考慮する。津波の影響、停電の影響は東日本大震災を踏まえて新たに追加した要素である。

##### ■津波の影響

浄水場の位置データと津波浸水の結果を基に、少しでも浸水があれば当該浄水場の供給エリアで断水が発生するものとする<sup>1</sup>。

浸水した浄水場については、東日本大震災における実例をもとに、60日で復旧するものとする。

##### ■停電の影響

電力事業者の電力供給が停止する期間、及び非常用発電機の稼働期間を踏まえ、停電の有無を判定する。停電が発生する期間中は当該浄水場の供給エリアで断水が発生するものとする。

「停電率が50%以上、かつ非常用発電機の稼働期間外である」以外の場合については、浄水場が機能するものとする。

##### ■管路被害

上記の津波、停電双方の影響がないと判定された給水人口については、第3次被害想定と同様、地震直後（直後、1日後）については川上（1996）の式を適用する。

管路の復旧作業の本格化を15日後<sup>2</sup>以降とした上で、15日後の断水率は、第3次被害想定にならい、「配水管の被害箇所数 ÷ 配水管数」とする。

16日後以降については、被災直後に発生した管路被害箇所が、上水道復旧作業員により日々修復されると考え、日々残存する未修復管路被害箇所の比率を、給水人口に乗じることにより推計する。この際、上水道復旧作業員は静岡県、及び他県からの応援も含むものとする。

地震3日後から14日後までの断水率については、地震2日後と15日後の断水率を直線補完する<sup>3</sup>。

---

<sup>1</sup> なお、水源井戸の津波浸水についても同様に考慮しているが、浸水域との重ね合わせの結果、本想定では浸水による大きな影響を受けることはない判断している。

<sup>2</sup> 神戸市水道局（1996）の事例より、外部支援（特に道路上の作業を伴う作業の支援、給水等ではなく復旧の支援）の受け入れが最初のピークを迎える週は、ほぼ3週間目であるが、本想定では、厚生労働省（2013 a）の事例より、東日本大震災の反省を踏まえた事前の受援体制整備の効果も見込み、これを2週間目と設定した。

<sup>3</sup> 被災後数日～2週間の混乱期については、この間の非線型的な断水率の推計に資する十分なデータが限られることから、直線補完による処理を行った。ただし、上水道技術系職員等による復旧作業が、2週間以内に被害が軽微で復旧効果の上がる地区から優先的に進められるなどの措置がとられた場合には、より迅速な復旧が図られる可能性もある。

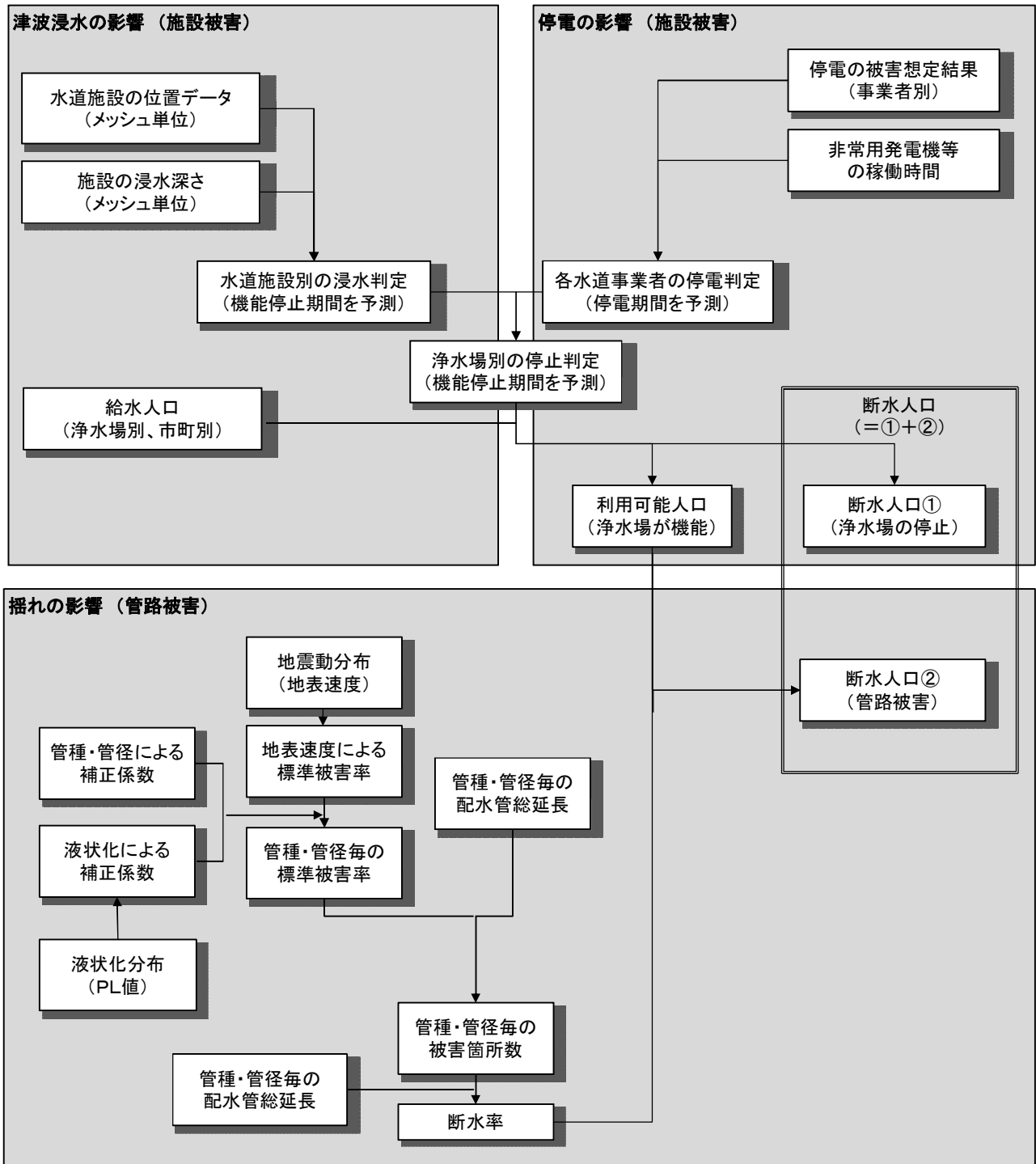


図 II-1.1 想定フロー（上水道）

## 2 下水道

---

### ■被害の検討範囲

津波の影響、停電の影響、管路被害を考慮する。津波の影響、停電の影響は東日本大震災を踏まえて新たに追加した要素である。

### ■津波の影響

下水処理場の位置データと津波浸水の結果を基に、少しでも浸水があれば機能停止に至るものと評価する。

浸水した下水処理場については、東日本大震災の事例における応急復旧による機能回復率を各処理場に適用する。(平均して19日目から機能が回復する設定になっている。)

### ■停電の影響

電力事業者の電力供給が停止する期間、及び非常用発電機の稼働期間を踏まえ、停電の有無を判定する。下水処理場が停電する場合には、管轄エリアで機能支障が発生するものとする。

「停電率が50%以上、かつ非常用発電機の稼働期間外である」以外の場合については、下水処理場が機能するものとする。

### ■管路被害

上記の津波、停電双方の影響がないと判定された処理人口について、管路被害による機能支障人口を推計する。液状化危険度別、震度階級別、管種別の管路被害率を基に、被災直後の未修復管路延長を求め、これが下水道復旧作業員により日々修復されるとした上で、日々残存する未修復管路延長に対する復旧対象管路延長の比率を、利用可能人口<sup>4</sup>に乗じることにより推計する。

なお、下水道復旧作業員は静岡県、及び他県からの応援も含むものとする。

---

<sup>4</sup> 利用可能人口＝復旧対象人口×(1－施設被害による機能支障人口／処理人口)

復旧対象人口とは津波による建物全壊の影響を受けなかった処理人口であり、処理人口×(1－津波による建物全壊率)

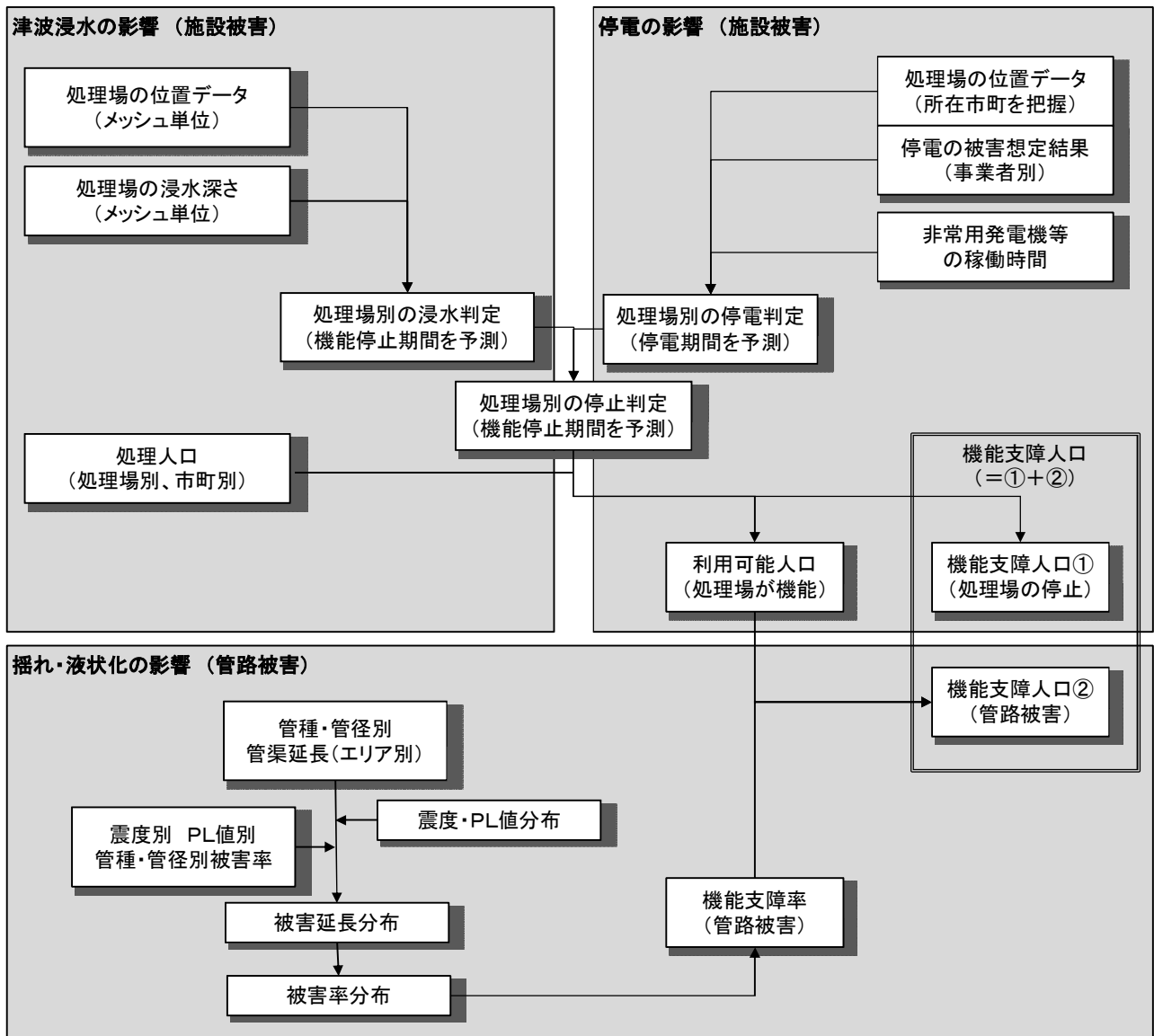


図 II-1.2 想定フロー（下水道）

### 3 電力

---

#### ■ 停電軒数（停電率）

- ・ 中央防災会議（2013a）と同様の手法とする。計算の途中過程では、電柱被害等の物的被害の数量を算出する。すなわち、阪神・淡路大震災の揺れ・液状化による電柱被害等の様相に、東日本大震災での被害様相（電線の津波被害や需給バランス等に起因した機能支障等）を反映した手法を適用する。電柱と地中線の被害量を建物被害や震度等の条件との関連を基に算出する。また、機能支障（停電率）を算出する。
- ・ 評価にあたっては、①津波による電線被害、②揺れ等による電線被害を考慮する。①は東日本大震災を踏まえて新たに追加した要素である。各要素は以下の通り検討する。
- ・ 津波による配電線（架空線）被害は、津波による建物全壊率と同様の割合で停電が発生するものとして評価する。
- ・ 津波による配電線（地中線）被害は、地上機器等が被害を受けるため、浸水エリアでは停電するものとして評価する。  
⇒津波被災地域では一定期間は需要がなくなるため（需要が戻らない可能性もある）、津波に起因する被害は復旧想定の対象外とする。
- ・ 揺れ等による電線被害は、架空線被害に基づく中央防災会議（2013a）の手法を用いて算出する。すなわち、(a) 配電線被害による停電と、(b) 需給バランス等に起因した停電の2つをフローに従って算出し、被害量の大きいほうを実効値とする。

#### ■ 復旧想定

中央防災会議（2013a）と同様に、事業者へのヒアリングを踏まえて、電力設備の物的被害量等を基に、東日本大震災等の復旧実績を踏まえて復旧想定を行う。

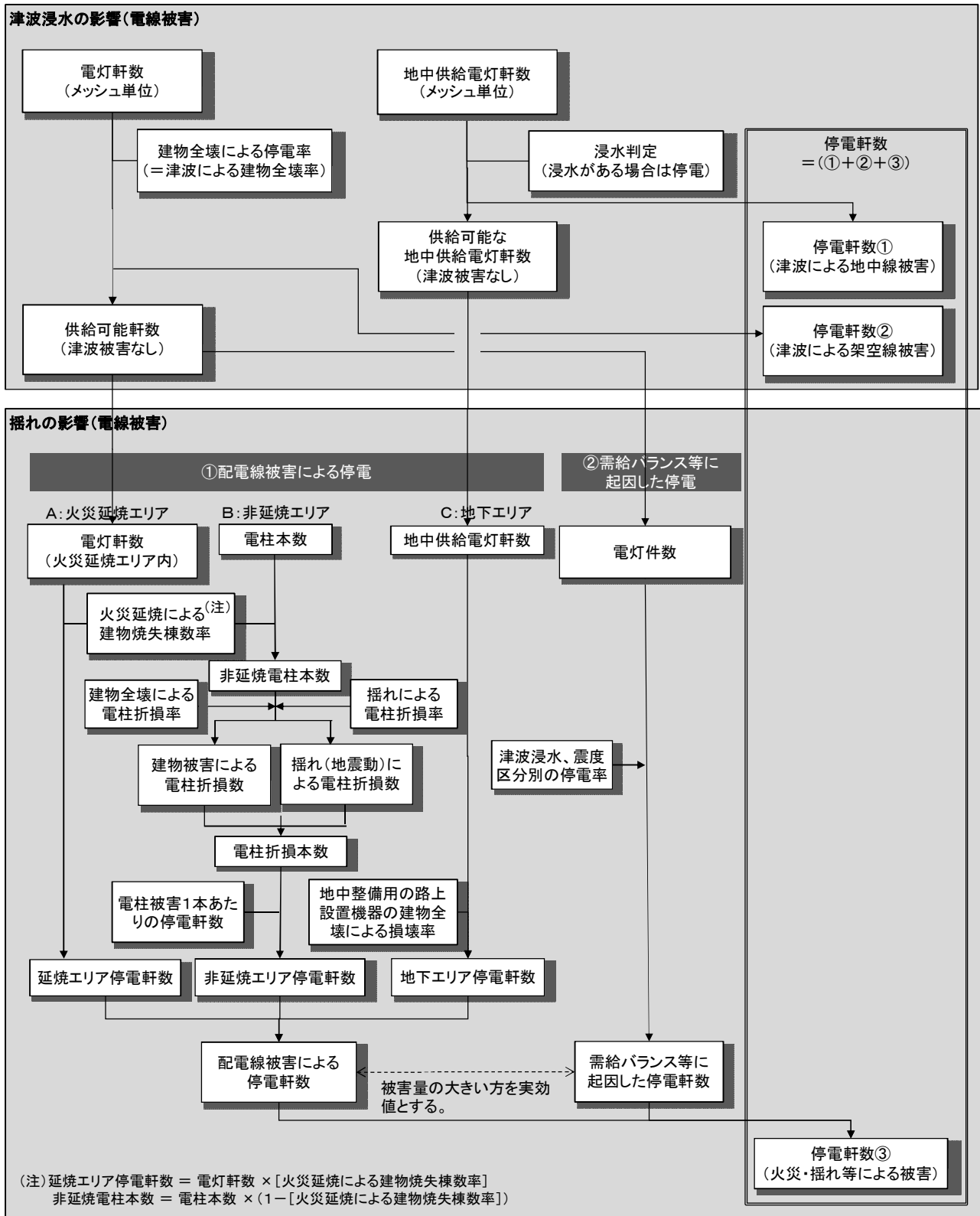


図 II-1.1 想定フロー (電力)



## 4 通信

### 【固定電話】

#### ■不通回線数（不通回線率）

- 中央防災会議（2013a）と同様の手法とする。計算の途中過程では、電柱被害等の物的被害の数量を算出する。すなわち、阪神・淡路大震災の電線被害の様相に、東日本大震災での被害様相（電線の津波被害や需要家側の停電に起因した機能支障）を反映した手法を適用する。電柱と地中線の被害量を建物被害や震度等の条件との関連を基に算出する。評価にあたっては、①津波の影響、②停電の影響、③電線被害を考慮する。①②は東日本大震災を踏まえて新たに追加した要素である。
- 交換機や基地局が津波被災する状況では、津波による電線被害や需要家の建物被害等が発生していると考えられる。このため、最終的な機能支障に対しては、電線被害や需要家の建物被害等の影響の方が大きいことから、津波による建物全壊率と同様の割合で通話機能支障が発生するものとして評価する。  
⇒一定期間は需要がなくなるため復旧想定の対象外とする。
- 大部分の固定電話端末が現状では電源を必要としていることから、非常用電源を有する交換機の停電よりも、需要家側の停電の影響の方が大きい。このため、停電の影響としては、需要家側の停電の影響（市町別の停電率）を考慮する。

#### ■復旧想定

中央防災会議（2013a）と同様に、事業者へのヒアリングを踏まえて、通信設備の物的被害量等を基に、東日本大震災等の復旧実績を踏まえて復旧想定を行う。

### 【携帯電話】

#### ■基本的な考え方

- 中央防災会議（2013a）での想定手法を参考とし、新たに追加する。
- エリアの停電率と固定電話の不通回線率を基に、停波基地局率及び不通ランクを算出する。携帯電話の被害は、停波基地局率だけでなく、停電率や固定電話の基地局間の架空線などの不通回線率にも影響を受けるため、下記のとおり不通ランクで表現する。東日本大震災では、基地局の停電が顕著であったが、施設個別の非常用電源等のデータ入手は困難であるため、最低稼働時間等の考え方を反映する。

#### ■携帯電話の不通ランク

携帯電話の不通ランクは、次のとおりである。

ランク A：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 50%を超える。

ランク B：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 40%を超える。

ランク C：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 30%を超える。

—：上記ランク A,B,C のいずれにも該当しない。

#### ■復旧想定

中央防災会議（2013a）と同様に、固定電話の不通状況及び停電の復旧状況を基に復旧想定を行う。なお、携帯電話の基地局停波は、固定電話の不通及び停電による基地局停波の双方が関係する。

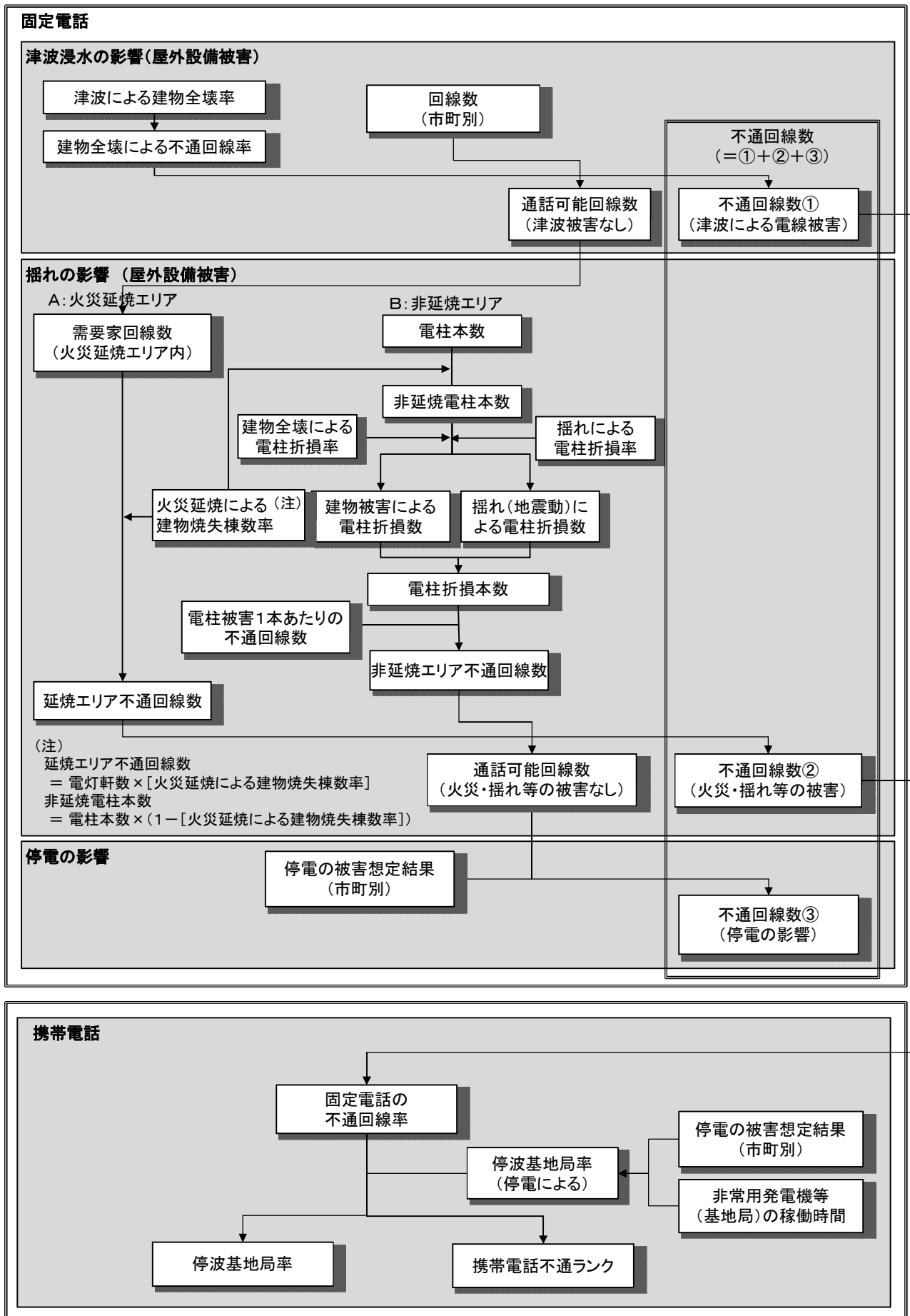


図 II-1.2 想定フロー(通信)



## 【LPガス】

■第3次被害想定では対象外であったLPガスを追加する。LPガスは、愛知県（2003）の手法を用いて算出する。

■要点検需要家数、供給停止率

LPガスの物的被害及び供給停止については、阪神・淡路大震災における事例から要点検需要家数を想定する。

$$\begin{aligned} \text{要点検需要家数} &= (\text{全壊率} + \text{半壊率}) \times \text{総需要家数} \\ \text{LPガス機能支障率} &= \text{要点検需要家数} / \text{総需要家数} \end{aligned}$$

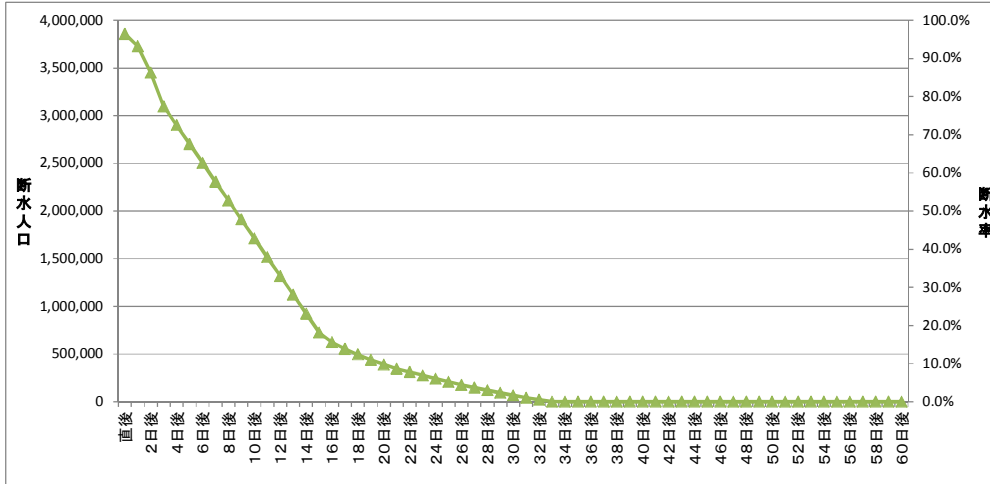
## II-2. ライフラインの被害に係る想定結果

### 1 上水道

表 II-2.1 断水率（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）

市町名	管路延長 (km)	被害箇所数 (件)	被害率 (件/km)	断水率 (%)					
				直後	1日後	7日後	1ヶ月後		
県計	約 21,000	約 56,000	2.69	96%	93%	58%	2%		
賀茂	下田市	約 200	約 300	1.58	98%	97%	56%	0%	
	東伊豆町	約 100	約 30	0.22	65%	36%	22%	0%	
	河津町	約 70	約 300	3.88	100%	99%	75%	13%	
	南伊豆町	約 50	約 90	1.71	100%	97%	56%	0%	
	松崎町	約 50	約 200	3.65	99%	99%	68%	8%	
	西伊豆町	約 70	約 300	3.84	100%	99%	71%	11%	
	(小計)	約 600	約 1,100	2.06	93%	86%	55%	4%	
	東部	沼津市	約 900	約 900	1.04	96%	95%	49%	0%
		熱海市	約 400	約 50	0.11	39%	82%	12%	0%
		三島市	約 400	約 400	1.09	96%	95%	50%	0%
富士宮市		約 700	約 300	0.42	84%	90%	34%	0%	
伊東市		約 500	約 200	0.50	88%	59%	37%	0%	
富士市		約 1,200	約 1,100	0.90	99%	94%	48%	0%	
御殿場市		約 500	約 80	0.17	95%	84%	18%	0%	
裾野市		約 400	約 100	0.28	73%	42%	27%	0%	
伊豆市		約 300	約 300	1.00	95%	77%	50%	0%	
伊豆の国市		約 300	約 1,000	3.89	99%	99%	69%	8%	
函南町		約 200	約 400	2.14	99%	98%	62%	6%	
清水町		約 100	約 200	1.46	98%	96%	56%	4%	
長泉町		約 200	約 60	0.35	80%	49%	30%	0%	
小山町		約 100	約 50	0.31	97%	88%	28%	0%	
(小計)	約 6,100	約 5,200	0.85	91%	86%	42%	1%		
中部	静岡市葵区	約 900	約 1,700	1.90	98%	98%	58%	0%	
	静岡市駿河区	約 700	約 1,500	2.02	98%	98%	59%	0%	
	静岡市清水区	約 900	約 2,400	2.82	99%	98%	63%	0%	
	島田市	約 500	約 1,000	1.95	98%	88%	62%	0%	
	焼津市	約 900	約 2,300	2.74	99%	91%	65%	0%	
	藤枝市	約 900	約 3,400	3.93	99%	94%	68%	2%	
	牧之原市	約 300	約 1,700	5.29	100%	99%	64%	1%	
	吉田町	約 200	約 1,600	7.14	100%	97%	72%	6%	
	川根本町	約 200	約 200	0.96	99%	95%	59%	10%	
	(小計)	約 5,500	約 16,000	2.90	99%	96%	62%	0%	
	西部	浜松市中区	約 1,300	約 4,400	3.33	99%	99%	67%	1%
浜松市東区		約 700	約 2,300	3.24	99%	99%	66%	0%	
浜松市西区		約 600	約 3,800	5.99	100%	99%	77%	7%	
浜松市南区		約 600	約 4,100	7.15	100%	99%	81%	9%	
浜松市北区		約 500	約 700	1.37	97%	97%	54%	0%	
浜松市浜北区		約 500	約 700	1.38	97%	97%	55%	0%	
浜松市天竜区		約 200	約 100	0.72	93%	94%	44%	0%	
磐田市		約 1,300	約 7,800	5.79	100%	99%	76%	10%	
掛川市		約 1,000	約 3,000	2.97	99%	92%	64%	3%	
袋井市		約 600	約 2,700	4.22	100%	95%	67%	4%	
湖西市		約 400	約 900	2.53	99%	91%	62%	0%	
御前崎市		約 400	約 1,600	3.61	100%	99%	67%	3%	
菊川市		約 400	約 1,300	3.68	99%	99%	72%	4%	
森町		約 200	約 800	3.57	99%	99%	73%	4%	
(小計)	約 8,900	約 34,000	3.87	99%	97%	67%	4%		

県全体の断水率推移（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）



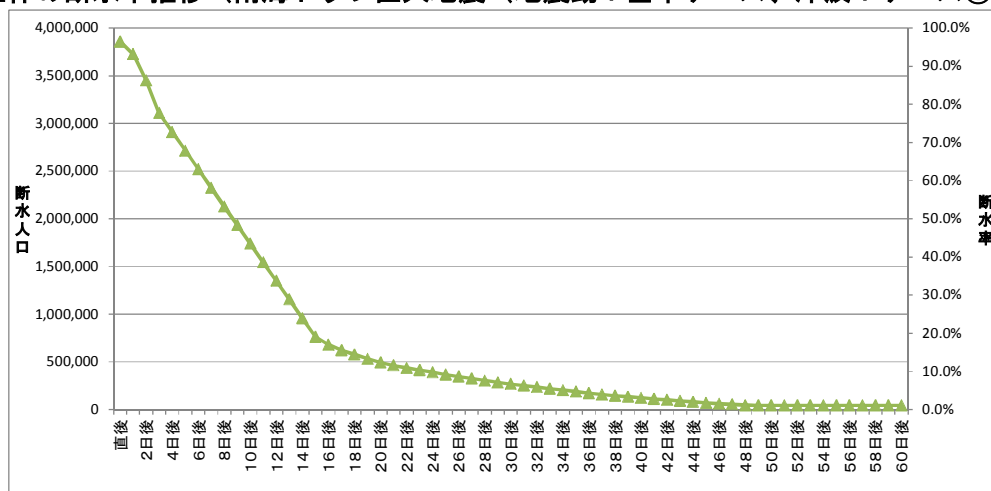
95%復旧<sup>注)</sup>：4週間程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.2 断水率（南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①））

市町名	管路延長 (km)	被害箇所数 (件)	被害率 (件/km)	断水率(%)				
				直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 21,000	約 56,000	2.69	96%	93%	58%	7%	
賀茂	下田市	約 200	約 300	1.58	98%	98%	56%	0%
	東伊豆町	約 100	約 30	0.22	65%	36%	22%	0%
	河津町	約 70	約 300	3.88	100%	99%	75%	34%
	南伊豆町	約 50	約 90	1.71	100%	98%	56%	0%
	松崎町	約 50	約 200	3.65	99%	99%	68%	20%
	西伊豆町	約 70	約 300	3.84	100%	99%	71%	26%
(小計)	約 600	約 1,100	2.06	93%	86%	55%	9%	
東部	沼津市	約 900	約 900	1.04	96%	95%	49%	0%
	熱海市	約 400	約 50	0.11	39%	83%	12%	0%
	三島市	約 400	約 400	1.09	96%	95%	50%	0%
	富士宮市	約 700	約 300	0.42	84%	90%	34%	0%
	伊東市	約 500	約 200	0.50	88%	59%	37%	0%
	富士市	約 1,200	約 1,100	0.90	99%	94%	48%	0%
	御殿場市	約 500	約 80	0.17	95%	84%	18%	0%
	裾野市	約 400	約 100	0.28	73%	42%	27%	0%
	伊豆市	約 300	約 300	1.00	95%	77%	50%	0%
	伊豆の国市	約 300	約 1,000	3.89	99%	99%	69%	21%
	函南町	約 200	約 400	2.14	99%	98%	62%	14%
	清水町	約 100	約 200	1.46	98%	96%	56%	10%
	長泉町	約 200	約 60	0.35	80%	49%	30%	0%
	小山町	約 100	約 50	0.31	97%	88%	28%	0%
(小計)	約 6,100	約 5,200	0.85	91%	86%	42%	2%	
中部	静岡市葵区	約 900	約 1,700	1.90	98%	98%	58%	0%
	静岡市駿河区	約 700	約 1,500	2.02	98%	98%	59%	0%
	静岡市清水区	約 900	約 2,400	2.82	99%	98%	63%	0%
	島田市	約 500	約 1,000	1.95	98%	88%	62%	0%
	焼津市	約 900	約 2,300	2.74	99%	91%	65%	0%
	藤枝市	約 900	約 3,400	3.93	99%	94%	68%	10%
	牧之原市	約 300	約 1,700	5.29	100%	100%	89%	71%
	吉田町	約 200	約 1,600	7.14	100%	97%	72%	17%
	川根本町	約 200	約 200	0.96	99%	95%	59%	26%
	(小計)	約 5,500	約 16,000	2.90	99%	96%	64%	5%
西部	浜松市中区	約 1,300	約 4,400	3.33	99%	99%	67%	7%
	浜松市東区	約 700	約 2,300	3.24	99%	99%	66%	7%
	浜松市西区	約 600	約 3,800	5.99	100%	99%	77%	22%
	浜松市南区	約 600	約 4,100	7.15	100%	99%	81%	29%
	浜松市北区	約 500	約 700	1.37	97%	97%	54%	0%
	浜松市浜北区	約 500	約 700	1.38	97%	97%	55%	0%
	浜松市天竜区	約 200	約 100	0.72	93%	94%	44%	0%
	磐田市	約 1,300	約 7,800	5.79	100%	99%	76%	28%
	掛川市	約 1,000	約 3,000	2.97	99%	92%	64%	10%
	袋井市	約 600	約 2,700	4.22	100%	95%	67%	12%
	湖西市	約 400	約 900	2.53	99%	91%	62%	1%
	御前崎市	約 400	約 1,600	3.61	100%	99%	75%	32%
	菊川市	約 400	約 1,300	3.68	99%	99%	72%	16%
	森町	約 200	約 800	3.57	99%	99%	73%	16%
(小計)	約 8,900	約 34,000	3.87	99%	97%	68%	13%	

県全体の断水率推移（南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①））

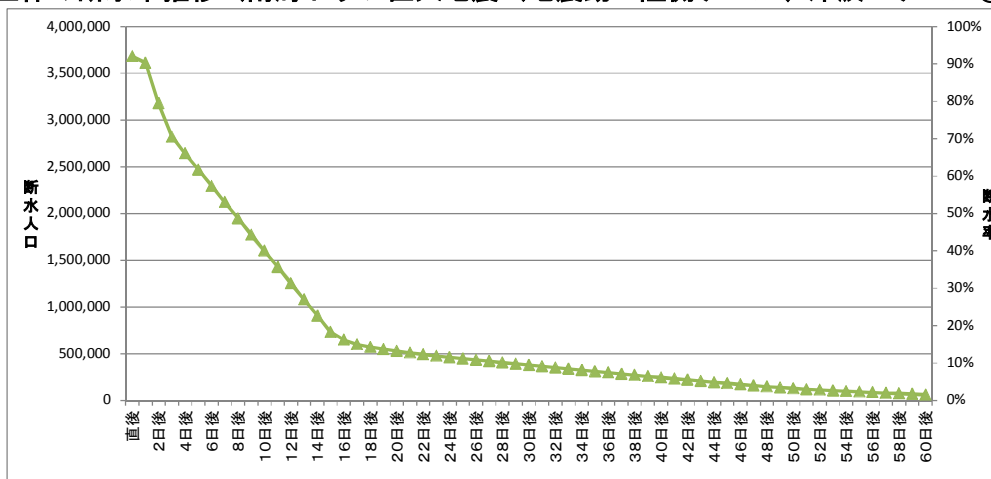


注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.3 断水率（南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①））

市町名	管路延長 (km)	被害箇所数 (件)	被害率 (件/km)	断水率(%)				
				直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 21,000	約 54,000	2.58	92%	90%	53%	9%	
賀茂	下田市	約 200	約 200	0.84	94%	96%	46%	0%
	東伊豆町	約 100	約 20	0.13	45%	23%	14%	0%
	河津町	約 70	約 100	1.46	100%	97%	58%	14%
	南伊豆町	約 50	約 20	0.44	99%	92%	34%	0%
	松崎町	約 50	約 200	2.99	99%	99%	65%	18%
	西伊豆町	約 70	約 200	2.69	100%	99%	66%	21%
	(小計)	約 600	約 600	1.16	87%	82%	44%	6%
東部	沼津市	約 900	約 300	0.30	75%	88%	27%	0%
	熱海市	約 400	約 20	0.05	14%	80%	5%	0%
	三島市	約 400	約 100	0.32	77%	88%	28%	0%
	富士宮市	約 700	約 100	0.21	64%	85%	21%	0%
	伊東市	約 500	約 200	0.35	79%	48%	30%	0%
	富士市	約 1,200	約 500	0.44	98%	90%	34%	0%
	御殿場市	約 500	約 80	0.16	95%	84%	17%	0%
	裾野市	約 400	約 40	0.12	40%	21%	13%	0%
	伊豆市	約 300	約 200	0.59	90%	64%	41%	0%
	伊豆の国市	約 300	約 700	2.79	99%	98%	64%	17%
	函南町	約 200	約 100	0.74	93%	93%	45%	5%
	清水町	約 100	約 100	0.94	95%	94%	49%	7%
	長泉町	約 200	約 20	0.09	32%	17%	10%	0%
	小山町	約 100	約 40	0.27	97%	87%	26%	0%
(小計)	約 6,100	約 2,600	0.42	78%	80%	29%	1%	
中部	静岡市葵区	約 900	約 1,000	1.14	96%	96%	51%	0%
	静岡市駿河区	約 700	約 800	1.14	96%	96%	51%	0%
	静岡市清水区	約 900	約 1,500	1.69	98%	97%	57%	0%
	島田市	約 500	約 700	1.35	97%	82%	56%	0%
	焼津市	約 900	約 1,200	1.41	97%	83%	55%	0%
	藤枝市	約 900	約 1,700	2.03	99%	88%	60%	0%
	牧之原市	約 300	約 1,300	4.02	100%	100%	88%	70%
	吉田町	約 200	約 1,100	4.87	100%	95%	67%	8%
	川根本町	約 200	約 200	1.19	100%	96%	65%	36%
	(小計)	約 5,500	約 9,600	1.76	97%	93%	56%	3%
西部	浜松市中区	約 1,300	約 5,500	4.15	100%	99%	70%	17%
	浜松市東区	約 700	約 3,300	4.75	100%	99%	72%	21%
	浜松市西区	約 600	約 4,800	7.60	100%	99%	82%	39%
	浜松市南区	約 600	約 4,200	7.45	100%	99%	82%	38%
	浜松市北区	約 500	約 2,000	3.79	99%	99%	69%	15%
	浜松市浜北区	約 500	約 1,900	3.74	99%	99%	69%	15%
	浜松市天竜区	約 200	約 400	2.32	99%	98%	62%	6%
	豊田市	約 1,300	約 9,300	6.92	100%	99%	79%	39%
	掛川市	約 1,000	約 2,800	2.69	99%	91%	63%	10%
	袋井市	約 600	約 2,500	3.94	99%	94%	67%	12%
	湖西市	約 400	約 1,300	3.46	99%	93%	67%	11%
	御前崎市	約 400	約 900	2.10	100%	98%	69%	23%
	菊川市	約 400	約 1,300	3.49	99%	99%	71%	17%
	森町	約 200	約 1,100	4.63	100%	99%	79%	33%
(小計)	約 8,900	約 41,000	4.66	100%	98%	72%	22%	

県全体の断水率推移（南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①））



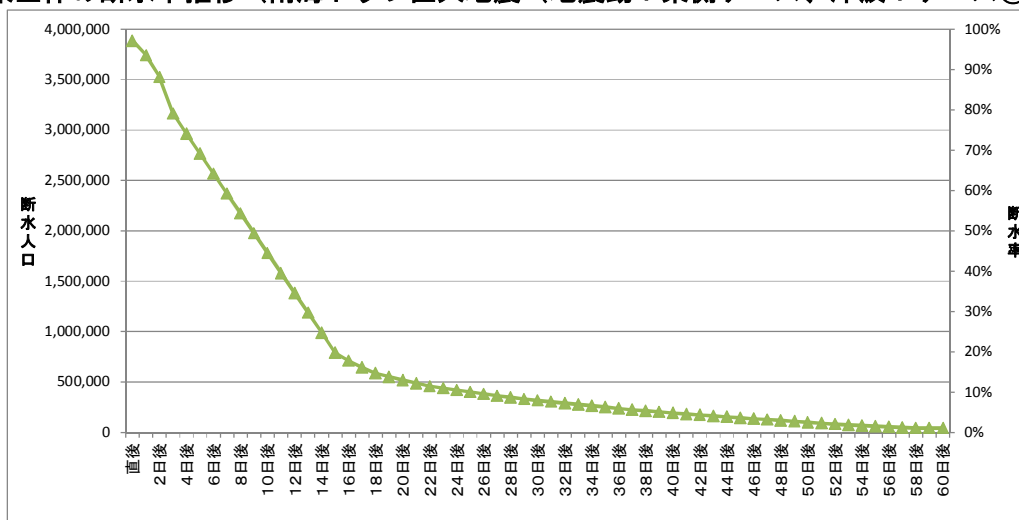
95%復旧<sup>注)</sup>：6週間程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.4 断水率（南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①））

市町名	管路延長 (km)	被害箇所数 (件)	被害率 (件/km)	断水率 (%)				
				直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 21,000	約 60,000	2.88	97%	93%	59%	8%	
賀茂	下田市	約 200	約 400	2.30	99%	98%	61%	0%
	東伊豆町	約 100	約 50	0.39	82%	52%	33%	0%
	河津町	約 70	約 300	4.15	100%	99%	77%	39%
	南伊豆町	約 50	約 100	2.76	100%	98%	62%	0%
	松崎町	約 50	約 200	3.91	99%	99%	69%	23%
	西伊豆町	約 70	約 300	4.87	100%	99%	76%	36%
	(小計)	約 600	約 1,400	2.63	96%	90%	60%	11%
東部	沼津市	約 900	約 1,300	1.45	97%	97%	54%	0%
	熱海市	約 400	約 80	0.20	61%	85%	20%	0%
	三島市	約 400	約 500	1.27	97%	96%	52%	0%
	富士宮市	約 700	約 400	0.54	89%	91%	38%	0%
	伊東市	約 500	約 300	0.58	90%	63%	39%	0%
	富士市	約 1,200	約 1,500	1.24	100%	96%	53%	0%
	御殿場市	約 500	約 100	0.23	96%	86%	22%	0%
	裾野市	約 400	約 100	0.26	71%	41%	26%	0%
	伊豆市	約 300	約 400	1.33	97%	82%	55%	0%
	伊豆の国市	約 300	約 1,100	4.39	100%	99%	70%	25%
	函南町	約 200	約 400	2.23	99%	98%	62%	15%
	清水町	約 100	約 200	1.48	98%	96%	56%	11%
	長泉町	約 200	約 80	0.43	84%	55%	34%	0%
	小山町	約 100	約 70	0.49	99%	91%	38%	0%
(小計)	約 6,100	約 6,500	1.06	94%	88%	46%	2%	
中部	静岡市葵区	約 900	約 1,200	1.34	97%	96%	54%	0%
	静岡市駿河区	約 700	約 1,200	1.55	98%	97%	56%	0%
	静岡市清水区	約 900	約 2,800	3.28	99%	99%	65%	0%
	島田市	約 500	約 900	1.77	98%	86%	61%	0%
	焼津市	約 900	約 1,600	1.83	98%	87%	59%	0%
	藤枝市	約 900	約 2,200	2.52	99%	91%	62%	0%
	牧之原市	約 300	約 2,300	7.11	100%	100%	90%	73%
	吉田町	約 200	約 1,800	7.79	100%	97%	74%	22%
	川根本町	約 200	約 200	1.22	100%	96%	66%	35%
	(小計)	約 5,500	約 14,000	2.58	98%	94%	61%	4%
	西部	浜松市中区	約 1,300	約 4,000	3.01	99%	98%	65%
浜松市東区		約 700	約 2,600	3.73	99%	99%	69%	11%
浜松市西区		約 600	約 4,300	6.78	100%	99%	79%	30%
浜松市南区		約 600	約 3,800	6.65	100%	99%	79%	29%
浜松市北区		約 500	約 1,000	1.95	98%	98%	59%	0%
浜松市浜北区		約 500	約 1,000	1.94	98%	98%	59%	0%
浜松市天竜区		約 200	約 200	0.95	95%	95%	49%	0%
磐田市		約 1,300	約 8,200	6.09	100%	99%	77%	32%
掛川市		約 1,000	約 3,500	3.39	99%	93%	66%	14%
袋井市		約 600	約 2,800	4.38	100%	95%	68%	14%
湖西市		約 400	約 1,300	3.44	99%	93%	67%	10%
御前崎市		約 400	約 2,600	5.83	100%	99%	81%	45%
菊川市		約 400	約 2,100	5.63	100%	99%	81%	39%
森町		約 200	約 1,100	4.95	100%	99%	81%	35%
(小計)	約 8,900	約 38,000	4.33	99%	98%	70%	17%	

県全体の断水率推移（南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①））



95%復旧注)：6週間程度

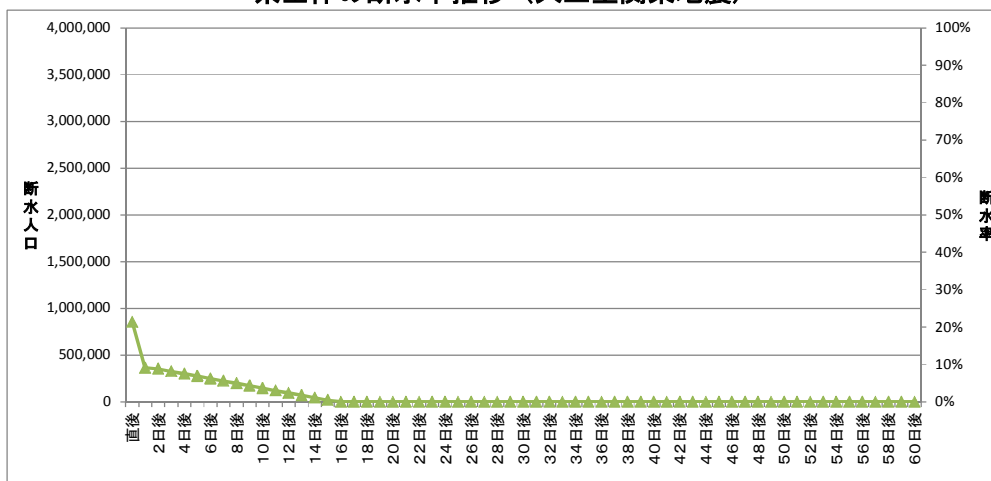
注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。



表 II-2.5 断水率（大正型関東地震）

市町名	管路延長 (km)	被害箇所数 (件)	被害率 (件/km)	断水率 (%)				
				直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 21,000	約 1,200	0.06	21%	9%	6%	0%	
賀茂	下田市	約 200	-	0.01	1%	1%	1%	0%
	東伊豆町	約 100	-	0.01	2%	2%	1%	0%
	河津町	約 70	-	0.00	89%	0%	0%	0%
	南伊豆町	約 50	-	0.00	89%	0%	0%	0%
	松崎町	約 50	-	0.02	5%	4%	2%	0%
	西伊豆町	約 70	-	0.00	89%	0%	0%	0%
	(小計)	約 600	-	0.01	34%	1%	1%	0%
東部	沼津市	約 900	約 200	0.28	73%	42%	26%	0%
	熱海市	約 400	約 100	0.33	78%	47%	29%	0%
	三島市	約 400	約 90	0.22	66%	36%	22%	0%
	富士宮市	約 700	約 10	0.02	3%	3%	2%	0%
	伊東市	約 500	約 50	0.10	35%	19%	11%	0%
	富士市	約 1,200	約 70	0.06	91%	11%	7%	0%
	御殿場市	約 500	約 200	0.34	98%	48%	30%	0%
	裾野市	約 400	約 80	0.21	64%	35%	22%	0%
	伊豆市	約 300	約 10	0.03	6%	5%	3%	0%
	伊豆の国市	約 300	約 90	0.35	79%	49%	30%	0%
	函南町	約 200	約 70	0.40	83%	53%	33%	0%
	清水町	約 100	約 30	0.22	64%	35%	22%	0%
	長泉町	約 200	約 30	0.18	56%	30%	18%	0%
	小山町	約 100	約 100	0.97	99%	76%	51%	0%
	(小計)	約 6,100	約 1,200	0.20	66%	29%	18%	0%
中部	静岡市葵区	約 900	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	静岡市駿河区	約 700	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	静岡市清水区	約 900	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	島田市	約 500	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	焼津市	約 900	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	藤枝市	約 900	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	牧之原市	約 300	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	吉田町	約 200	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	川根本町	約 200	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	(小計)	約 5,500	-	0.00	0%	0%	0%	0%
西部	浜松市中央区	約 1,300	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	浜松市東区	約 700	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	浜松市西区	約 600	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	浜松市南区	約 600	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	浜松市北区	約 500	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	浜松市浜北区	約 500	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	浜松市天竜区	約 200	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	磐田市	約 1,300	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	掛川市	約 1,000	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	袋井市	約 600	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	湖西市	約 400	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	御前崎市	約 400	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	菊川市	約 400	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	森町	約 200	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	(小計)	約 8,900	-	0.00	0%	0%	0%	0%

県全体の断水率推移（大正型関東地震）



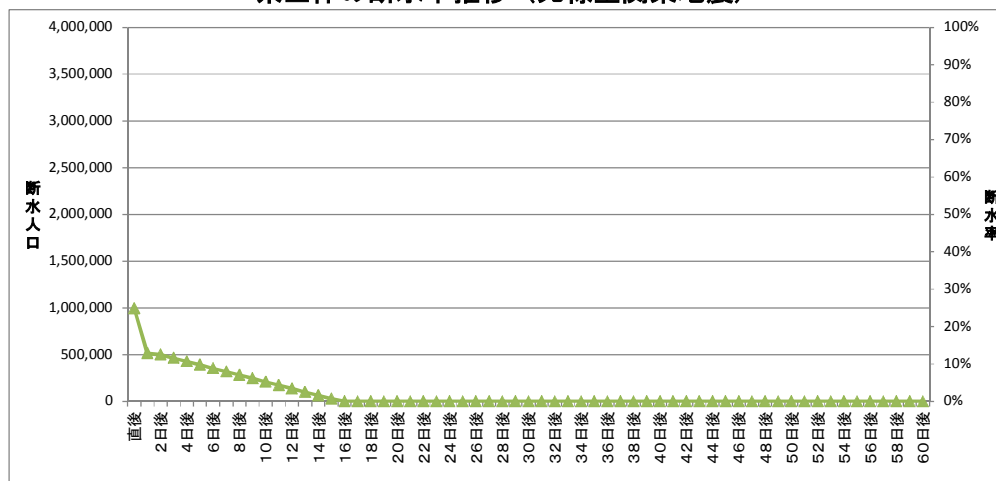
95%復旧<sup>注)</sup>：1週間程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.6 断水率（元禄型関東地震）

市町名	管路延長 (km)	被害箇所数 (件)	被害率 (件/km)	断水率(%)				
				直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 21,000	約 1,900	0.09	25%	13%	8%	0%	
賀茂	下田市	約 200	-	0.01	1%	1%	1%	0%
	東伊豆町	約 100	-	0.03	7%	5%	3%	0%
	河津町	約 70	-	0.00	89%	0%	0%	0%
	南伊豆町	約 50	-	0.00	89%	0%	0%	0%
	松崎町	約 50	-	0.02	2%	2%	1%	0%
	西伊豆町	約 70	-	0.00	89%	0%	0%	0%
	(小計)	約 600	約 10	0.01	35%	2%	1%	0%
	東部	沼津市	約 900	約 500	0.53	89%	61%	38%
熱海市		約 400	約 200	0.39	82%	52%	32%	0%
三島市		約 400	約 100	0.29	74%	43%	26%	0%
富士宮市		約 700	約 30	0.04	11%	7%	4%	0%
伊東市		約 500	約 90	0.20	62%	34%	20%	0%
富士市		約 1,200	約 100	0.12	93%	21%	13%	0%
御殿場市		約 500	約 200	0.41	98%	54%	33%	0%
裾野市		約 400	約 100	0.31	76%	45%	29%	0%
伊豆市		約 300	約 20	0.07	21%	12%	7%	0%
伊豆の国市		約 300	約 100	0.57	89%	63%	39%	0%
函南町		約 200	約 80	0.42	84%	54%	34%	0%
清水町		約 100	約 40	0.28	74%	43%	27%	0%
長泉町		約 200	約 50	0.29	74%	43%	26%	0%
小山町		約 100	約 200	1.18	100%	80%	55%	0%
(小計)		約 6,100	約 1,800	0.30	75%	39%	24%	0%
中部		静岡市葵区	約 900	約 10	0.02	3%	3%	1%
	静岡市駿河区	約 700	約 10	0.02	4%	3%	2%	0%
	静岡市清水区	約 900	約 20	0.02	4%	3%	2%	0%
	島田市	約 500	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	焼津市	約 900	約 10	0.01	1%	1%	1%	0%
	藤枝市	約 900	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	牧之原市	約 300	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	吉田町	約 200	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	川根本町	約 200	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	(小計)	約 5,500	約 50	0.01	2%	2%	1%	0%
西部	浜松市中区	約 1,300	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	浜松市東区	約 700	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	浜松市西区	約 600	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	浜松市南区	約 600	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	浜松市北区	約 500	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	浜松市浜北区	約 500	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	浜松市天竜区	約 200	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	磐田市	約 1,300	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	掛川市	約 1,000	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	袋井市	約 600	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	湖西市	約 400	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	御前崎市	約 400	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	菊川市	約 400	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	森町	約 200	-	0.00	0%	0%	0%	0%
	(小計)	約 8,900	-	0.00	0%	0%	0%	0%

県全体の断水率推移（元禄型関東地震）



95%復旧<sup>注)</sup>：2週間程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.7 断水需要家数（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）

市町名	給水人口	断水人口(人)				
		直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 3,716,000	約 3,584,000	約 3,462,000	約 2,144,000	約 63,000	
賀茂	下田市	約 24,000	約 24,000	約 24,000	約 14,000	-
	東伊豆町	約 14,000	約 9,100	約 5,000	約 3,100	-
	河津町	約 7,900	約 7,900	約 7,800	約 5,900	約 1,100
	南伊豆町	約 9,300	約 9,300	約 9,000	約 5,200	-
	松崎町	約 7,500	約 7,500	約 7,400	約 5,100	約 600
	西伊豆町	約 9,300	約 9,300	約 9,200	約 6,700	約 1,000
	(小計)	約 72,000	約 67,000	約 62,000	約 40,000	約 2,600
東部	沼津市	約 201,000	約 192,000	約 191,000	約 98,000	-
	熱海市	約 39,000	約 15,000	約 32,000	約 4,800	-
	三島市	約 111,000	約 107,000	約 106,000	約 56,000	-
	富士宮市	約 132,000	約 110,000	約 118,000	約 44,000	-
	伊東市	約 71,000	約 62,000	約 42,000	約 26,000	-
	富士市	約 254,000	約 252,000	約 239,000	約 121,000	-
	御殿場市	約 89,000	約 84,000	約 75,000	約 16,000	-
	裾野市	約 54,000	約 40,000	約 23,000	約 14,000	-
	伊豆市	約 33,000	約 32,000	約 26,000	約 17,000	-
	伊豆の国市	約 49,000	約 48,000	約 48,000	約 33,000	約 4,100
	函南町	約 38,000	約 38,000	約 37,000	約 24,000	約 2,100
	清水町	約 32,000	約 31,000	約 31,000	約 18,000	約 1,300
	長泉町	約 41,000	約 33,000	約 20,000	約 12,000	-
	小山町	約 20,000	約 20,000	約 18,000	約 5,800	-
(小計)	約 1,165,000	約 1,065,000	約 1,006,000	約 490,000	約 7,500	
中部	静岡市葵区	約 251,000	約 247,000	約 245,000	約 147,000	-
	静岡市駿河区	約 210,000	約 207,000	約 205,000	約 124,000	-
	静岡市清水区	約 244,000	約 242,000	約 240,000	約 155,000	-
	島田市	約 97,000	約 95,000	約 85,000	約 60,000	-
	焼津市	約 143,000	約 142,000	約 131,000	約 93,000	-
	藤枝市	約 132,000	約 131,000	約 124,000	約 90,000	約 2,500
	牧之原市	約 49,000	約 49,000	約 48,000	約 31,000	約 400
	吉田町	約 29,000	約 29,000	約 28,000	約 21,000	約 1,700
	川根本町	約 7,700	約 7,700	約 7,400	約 4,600	約 800
	(小計)	約 1,162,000	約 1,149,000	約 1,114,000	約 726,000	約 5,300
西部	浜松市中区	約 236,000	約 234,000	約 232,000	約 158,000	約 1,500
	浜松市東区	約 125,000	約 124,000	約 123,000	約 83,000	約 600
	浜松市西区	約 112,000	約 112,000	約 111,000	約 86,000	約 7,500
	浜松市南区	約 101,000	約 101,000	約 101,000	約 81,000	約 9,500
	浜松市北区	約 94,000	約 91,000	約 90,000	約 51,000	-
	浜松市浜北区	約 90,000	約 88,000	約 87,000	約 49,000	-
	浜松市天竜区	約 34,000	約 31,000	約 31,000	約 15,000	-
	磐田市	約 168,000	約 167,000	約 166,000	約 127,000	約 17,000
	掛川市	約 115,000	約 114,000	約 106,000	約 74,000	約 3,800
	袋井市	約 84,000	約 84,000	約 79,000	約 57,000	約 3,200
	湖西市	約 60,000	約 59,000	約 54,000	約 37,000	-
	御前崎市	約 34,000	約 34,000	約 34,000	約 23,000	約 1,100
	菊川市	約 47,000	約 47,000	約 46,000	約 34,000	約 2,100
	森町	約 18,000	約 18,000	約 18,000	約 13,000	約 700
	(小計)	約 1,316,000	約 1,303,000	約 1,280,000	約 888,000	約 47,000

表 II-2.8 断水需要家数（南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①））

市町名	給水人口	断水人口(人)				
		直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 3,716,000	約 3,584,000	約 3,464,000	約 2,159,000	約 250,000	
賀茂	下田市	約 24,000	約 24,000	約 24,000	約 14,000	-
	東伊豆町	約 14,000	約 9,100	約 5,000	約 3,100	-
	河津町	約 7,900	約 7,900	約 7,800	約 5,900	約 2,700
	南伊豆町	約 9,300	約 9,300	約 9,100	約 5,200	-
	松崎町	約 7,500	約 7,500	約 7,400	約 5,100	約 1,500
	西伊豆町	約 9,300	約 9,300	約 9,300	約 6,700	約 2,500
	(小計)	約 72,000	約 67,000	約 62,000	約 40,000	約 6,600
東部	沼津市	約 201,000	約 192,000	約 191,000	約 98,000	-
	熱海市	約 39,000	約 15,000	約 32,000	約 4,800	-
	三島市	約 111,000	約 107,000	約 106,000	約 56,000	-
	富士宮市	約 132,000	約 110,000	約 118,000	約 44,000	-
	伊東市	約 71,000	約 62,000	約 42,000	約 26,000	-
	富士市	約 254,000	約 252,000	約 239,000	約 121,000	-
	御殿場市	約 89,000	約 84,000	約 75,000	約 16,000	-
	裾野市	約 54,000	約 40,000	約 23,000	約 14,000	-
	伊豆市	約 33,000	約 32,000	約 26,000	約 17,000	-
	伊豆の国市	約 49,000	約 48,000	約 48,000	約 33,000	約 10,000
	函南町	約 38,000	約 38,000	約 37,000	約 24,000	約 5,200
	清水町	約 32,000	約 31,000	約 31,000	約 18,000	約 3,200
	長泉町	約 41,000	約 33,000	約 20,000	約 12,000	-
	小山町	約 20,000	約 20,000	約 18,000	約 5,800	-
(小計)	約 1,165,000	約 1,065,000	約 1,007,000	約 490,000	約 19,000	
中部	静岡市葵区	約 251,000	約 247,000	約 245,000	約 147,000	-
	静岡市駿河区	約 210,000	約 207,000	約 205,000	約 124,000	-
	静岡市清水区	約 244,000	約 242,000	約 240,000	約 155,000	-
	島田市	約 97,000	約 95,000	約 85,000	約 60,000	-
	焼津市	約 143,000	約 142,000	約 131,000	約 93,000	-
	藤枝市	約 132,000	約 131,000	約 124,000	約 90,000	約 13,000
	牧之原市	約 49,000	約 49,000	約 49,000	約 43,000	約 35,000
	吉田町	約 29,000	約 29,000	約 28,000	約 21,000	約 5,100
	川根本町	約 7,700	約 7,700	約 7,400	約 4,600	約 2,000
	(小計)	約 1,162,000	約 1,149,000	約 1,114,000	約 738,000	約 54,000
西部	浜松市中区	約 236,000	約 234,000	約 232,000	約 158,000	約 17,000
	浜松市東区	約 125,000	約 124,000	約 123,000	約 83,000	約 8,200
	浜松市西区	約 112,000	約 112,000	約 112,000	約 86,000	約 25,000
	浜松市南区	約 101,000	約 101,000	約 101,000	約 81,000	約 29,000
	浜松市北区	約 94,000	約 91,000	約 90,000	約 51,000	-
	浜松市浜北区	約 90,000	約 88,000	約 87,000	約 49,000	-
	浜松市天竜区	約 34,000	約 31,000	約 31,000	約 15,000	-
	磐田市	約 168,000	約 167,000	約 166,000	約 127,000	約 47,000
	掛川市	約 115,000	約 114,000	約 106,000	約 74,000	約 12,000
	袋井市	約 84,000	約 84,000	約 79,000	約 57,000	約 10,000
	湖西市	約 60,000	約 59,000	約 54,000	約 37,000	約 700
	御前崎市	約 34,000	約 34,000	約 34,000	約 26,000	約 11,000
	菊川市	約 47,000	約 47,000	約 46,000	約 34,000	約 7,700
	森町	約 18,000	約 18,000	約 18,000	約 13,000	約 2,900
	(小計)	約 1,316,000	約 1,303,000	約 1,280,000	約 890,000	約 170,000

表 II-2.9 断水需要家数（南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①））

市町名	給水人口	断水人口(人)				
		直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 3,716,000	約 3,419,000	約 3,353,000	約 1,969,000	約 351,000	
賀茂	下田市	約 24,000	約 23,000	約 23,000	約 11,000	-
	東伊豆町	約 14,000	約 6,300	約 3,300	約 2,000	-
	河津町	約 7,900	約 7,900	約 7,600	約 4,600	約 1,100
	南伊豆町	約 9,300	約 9,200	約 8,600	約 3,200	-
	松崎町	約 7,500	約 7,400	約 7,400	約 4,900	約 1,300
	西伊豆町	約 9,300	約 9,300	約 9,200	約 6,100	約 1,900
	(小計)	約 72,000	約 63,000	約 59,000	約 32,000	約 4,400
東部	沼津市	約 201,000	約 150,000	約 177,000	約 54,000	-
	熱海市	約 39,000	約 5,600	約 31,000	約 2,000	-
	三島市	約 111,000	約 85,000	約 98,000	約 31,000	-
	富士宮市	約 132,000	約 84,000	約 113,000	約 28,000	-
	伊東市	約 71,000	約 56,000	約 34,000	約 21,000	-
	富士市	約 254,000	約 249,000	約 228,000	約 87,000	-
	御殿場市	約 89,000	約 84,000	約 74,000	約 15,000	-
	裾野市	約 54,000	約 22,000	約 11,000	約 7,000	-
	伊豆市	約 33,000	約 30,000	約 21,000	約 14,000	-
	伊豆の国市	約 49,000	約 48,000	約 48,000	約 31,000	約 8,100
	函南町	約 38,000	約 36,000	約 36,000	約 17,000	約 2,000
	清水町	約 32,000	約 31,000	約 31,000	約 16,000	約 2,300
	長泉町	約 41,000	約 13,000	約 6,900	約 4,100	-
	小山町	約 20,000	約 20,000	約 18,000	約 5,300	-
(小計)	約 1,165,000	約 914,000	約 927,000	約 333,000	約 13,000	
中部	静岡市葵区	約 251,000	約 242,000	約 241,000	約 129,000	-
	静岡市駿河区	約 210,000	約 202,000	約 201,000	約 107,000	-
	静岡市清水区	約 244,000	約 239,000	約 237,000	約 139,000	-
	島田市	約 97,000	約 94,000	約 80,000	約 54,000	-
	焼津市	約 143,000	約 139,000	約 119,000	約 79,000	-
	藤枝市	約 132,000	約 130,000	約 116,000	約 79,000	-
	牧之原市	約 49,000	約 49,000	約 49,000	約 43,000	約 34,000
	吉田町	約 29,000	約 29,000	約 28,000	約 19,000	約 2,300
	川根本町	約 7,700	約 7,700	約 7,400	約 5,000	約 2,800
(小計)	約 1,162,000	約 1,132,000	約 1,078,000	約 655,000	約 39,000	
西部	浜松市中区	約 236,000	約 234,000	約 233,000	約 165,000	約 41,000
	浜松市東区	約 125,000	約 125,000	約 124,000	約 91,000	約 26,000
	浜松市西区	約 112,000	約 112,000	約 112,000	約 92,000	約 44,000
	浜松市南区	約 101,000	約 101,000	約 101,000	約 82,000	約 39,000
	浜松市北区	約 94,000	約 93,000	約 92,000	約 64,000	約 14,000
	浜松市浜北区	約 90,000	約 90,000	約 89,000	約 62,000	約 13,000
	浜松市天竜区	約 34,000	約 33,000	約 33,000	約 21,000	約 1,900
	磐田市	約 168,000	約 167,000	約 167,000	約 133,000	約 66,000
	掛川市	約 115,000	約 114,000	約 105,000	約 72,000	約 11,000
	袋井市	約 84,000	約 84,000	約 79,000	約 56,000	約 10,000
	湖西市	約 60,000	約 59,000	約 56,000	約 40,000	約 6,500
	御前崎市	約 34,000	約 34,000	約 34,000	約 24,000	約 8,000
	菊川市	約 47,000	約 47,000	約 46,000	約 33,000	約 7,800
	森町	約 18,000	約 18,000	約 18,000	約 14,000	約 5,800
	(小計)	約 1,316,000	約 1,310,000	約 1,288,000	約 950,000	約 294,000

表 II-2.10 断水需要家数（南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①））

市町名	給水人口	断水人口(人)				
		直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 3,716,000	約 3,609,000	約 3,474,000	約 2,202,000	約 296,000	
賀茂	下田市	約 24,000	約 24,000	約 24,000	約 15,000	-
	東伊豆町	約 14,000	約 11,000	約 7,200	約 4,600	-
	河津町	約 7,900	約 7,900	約 7,800	約 6,100	約 3,100
	南伊豆町	約 9,300	約 9,300	約 9,100	約 5,700	-
	松崎町	約 7,500	約 7,500	約 7,400	約 5,200	約 1,700
	西伊豆町	約 9,300	約 9,300	約 9,300	約 7,100	約 3,400
	(小計)	約 72,000	約 70,000	約 65,000	約 43,000	約 8,200
東部	沼津市	約 201,000	約 196,000	約 194,000	約 108,000	-
	熱海市	約 39,000	約 24,000	約 33,000	約 7,800	-
	三島市	約 111,000	約 108,000	約 107,000	約 58,000	-
	富士宮市	約 132,000	約 117,000	約 121,000	約 51,000	-
	伊東市	約 71,000	約 64,000	約 45,000	約 28,000	-
	富士市	約 254,000	約 253,000	約 243,000	約 134,000	-
	御殿場市	約 89,000	約 85,000	約 76,000	約 20,000	-
	裾野市	約 54,000	約 39,000	約 22,000	約 14,000	-
	伊豆市	約 33,000	約 32,000	約 27,000	約 18,000	-
	伊豆の国市	約 49,000	約 48,000	約 48,000	約 34,000	約 12,000
	函南町	約 38,000	約 38,000	約 37,000	約 24,000	約 5,900
	清水町	約 32,000	約 32,000	約 31,000	約 18,000	約 3,500
	長泉町	約 41,000	約 35,000	約 22,000	約 14,000	-
小山町	約 20,000	約 20,000	約 18,000	約 7,700	-	
(小計)	約 1,165,000	約 1,090,000	約 1,025,000	約 536,000	約 22,000	
中部	静岡市葵区	約 251,000	約 244,000	約 243,000	約 135,000	-
	静岡市駿河区	約 210,000	約 205,000	約 203,000	約 117,000	-
	静岡市清水区	約 244,000	約 242,000	約 241,000	約 160,000	-
	島田市	約 97,000	約 95,000	約 84,000	約 59,000	-
	焼津市	約 143,000	約 140,000	約 124,000	約 85,000	-
	藤枝市	約 132,000	約 131,000	約 120,000	約 82,000	-
	牧之原市	約 49,000	約 49,000	約 49,000	約 44,000	約 35,000
	吉田町	約 29,000	約 29,000	約 28,000	約 21,000	約 6,400
	川根本町	約 7,700	約 7,700	約 7,400	約 5,100	約 2,700
(小計)	約 1,162,000	約 1,143,000	約 1,098,000	約 707,000	約 45,000	
西部	浜松市中区	約 236,000	約 234,000	約 232,000	約 154,000	約 16,000
	浜松市東区	約 125,000	約 124,000	約 124,000	約 86,000	約 14,000
	浜松市西区	約 112,000	約 112,000	約 112,000	約 89,000	約 34,000
	浜松市南区	約 101,000	約 101,000	約 101,000	約 80,000	約 29,000
	浜松市北区	約 94,000	約 92,000	約 91,000	約 56,000	約 200
	浜松市浜北区	約 90,000	約 89,000	約 88,000	約 53,000	約 200
	浜松市天竜区	約 34,000	約 32,000	約 32,000	約 16,000	-
	磐田市	約 168,000	約 167,000	約 166,000	約 128,000	約 54,000
	掛川市	約 115,000	約 114,000	約 107,000	約 76,000	約 16,000
	袋井市	約 84,000	約 84,000	約 80,000	約 57,000	約 12,000
	湖西市	約 60,000	約 59,000	約 56,000	約 40,000	約 6,100
	御前崎市	約 34,000	約 34,000	約 34,000	約 28,000	約 15,000
	菊川市	約 47,000	約 47,000	約 47,000	約 38,000	約 18,000
	森町	約 18,000	約 18,000	約 18,000	約 15,000	約 6,200
	(小計)	約 1,316,000	約 1,307,000	約 1,286,000	約 916,000	約 222,000

表 II-2.11 断水需要家数 (大正型関東地震)

市町名	給水人口	断水人口(人)				
		直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 3,716,000	約 793,000	約 337,000	約 207,000	-	
賀茂	下田市	約 24,000	約 100	約 200	約 100	-
	東伊豆町	約 14,000	約 300	約 300	約 200	-
	河津町	約 7,900	約 7,000	-	-	-
	南伊豆町	約 9,300	約 8,200	-	-	-
	松崎町	約 7,500	約 400	約 300	約 200	-
	西伊豆町	約 9,300	約 8,300	約 10	-	-
	(小計)	約 72,000	約 24,000	約 800	約 500	-
東部	沼津市	約 201,000	約 147,000	約 85,000	約 52,000	-
	熱海市	約 39,000	約 31,000	約 18,000	約 11,000	-
	三島市	約 111,000	約 73,000	約 40,000	約 24,000	-
	富士宮市	約 132,000	約 4,300	約 3,800	約 2,300	-
	伊東市	約 71,000	約 25,000	約 13,000	約 7,900	-
	富士市	約 254,000	約 231,000	約 29,000	約 17,000	-
	御殿場市	約 89,000	約 87,000	約 43,000	約 26,000	-
	裾野市	約 54,000	約 34,000	約 19,000	約 12,000	-
	伊豆市	約 33,000	約 2,100	約 1,600	約 900	-
	伊豆の国市	約 49,000	約 39,000	約 24,000	約 15,000	-
	函南町	約 38,000	約 32,000	約 20,000	約 13,000	-
	清水町	約 32,000	約 21,000	約 11,000	約 7,000	-
	長泉町	約 41,000	約 23,000	約 12,000	約 7,400	-
	小山町	約 20,000	約 20,000	約 15,000	約 10,000	-
(小計)	約 1,165,000	約 768,000	約 335,000	約 206,000	-	
中部	静岡市葵区	約 251,000	約 10	約 80	約 40	-
	静岡市駿河区	約 210,000	約 100	約 300	約 200	-
	静岡市清水区	約 244,000	約 300	約 600	約 300	-
	島田市	約 97,000	-	-	-	-
	焼津市	約 143,000	約 20	約 80	約 50	-
	藤枝市	約 132,000	-	-	-	-
	牧之原市	約 49,000	-	-	-	-
	吉田町	約 29,000	-	-	-	-
	川根本町	約 7,700	-	-	-	-
(小計)	約 1,162,000	約 400	約 1,000	約 600	-	
西部	浜松市中区	約 236,000	-	-	-	-
	浜松市東区	約 125,000	-	-	-	-
	浜松市西区	約 112,000	-	-	-	-
	浜松市南区	約 101,000	-	-	-	-
	浜松市北区	約 94,000	-	-	-	-
	浜松市浜北区	約 90,000	-	-	-	-
	浜松市天竜区	約 34,000	-	-	-	-
	磐田市	約 168,000	-	-	-	-
	掛川市	約 115,000	-	-	-	-
	袋井市	約 84,000	-	-	-	-
	湖西市	約 60,000	-	-	-	-
	御前崎市	約 34,000	-	-	-	-
	菊川市	約 47,000	-	-	-	-
	森町	約 18,000	-	-	-	-
	(小計)	約 1,316,000	-	-	-	-

表 II-2.12 断水需要家数 (元禄型関東地震)

市町名	給水人口	断水人口(人)				
		直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 3,716,000	約 923,000	約 477,000	約 295,000	-	
賀茂	下田市	約 24,000	約 200	約 300	約 200	-
	東伊豆町	約 14,000	約 1,000	約 700	約 400	-
	河津町	約 7,900	約 7,000	-	-	-
	南伊豆町	約 9,300	約 8,300	-	-	-
	松崎町	約 7,500	約 200	約 200	約 100	-
	西伊豆町	約 9,300	約 8,300	約 20	約 10	-
	(小計)	約 72,000	約 25,000	約 1,200	約 700	-
東部	沼津市	約 201,000	約 178,000	約 123,000	約 76,000	-
	熱海市	約 39,000	約 32,000	約 20,000	約 13,000	-
	三島市	約 111,000	約 83,000	約 48,000	約 29,000	-
	富士宮市	約 132,000	約 15,000	約 9,700	約 5,800	-
	伊東市	約 71,000	約 44,000	約 24,000	約 14,000	-
	富士市	約 254,000	約 237,000	約 54,000	約 33,000	-
	御殿場市	約 89,000	約 87,000	約 47,000	約 30,000	-
	裾野市	約 54,000	約 41,000	約 24,000	約 15,000	-
	伊豆市	約 33,000	約 7,000	約 4,000	約 2,400	-
	伊豆の国市	約 49,000	約 43,000	約 30,000	約 19,000	-
	函南町	約 38,000	約 32,000	約 21,000	約 13,000	-
	清水町	約 32,000	約 24,000	約 14,000	約 8,600	-
	長泉町	約 41,000	約 30,000	約 18,000	約 11,000	-
	小山町	約 20,000	約 20,000	約 16,000	約 11,000	-
(小計)	約 1,165,000	約 873,000	約 454,000	約 281,000	-	
中部	静岡市葵区	約 251,000	約 6,600	約 6,300	約 3,700	-
	静岡市駿河区	約 210,000	約 7,700	約 6,700	約 3,900	-
	静岡市清水区	約 244,000	約 9,400	約 8,100	約 4,800	-
	島田市	約 97,000	-	-	-	-
	焼津市	約 143,000	約 1,100	約 1,500	約 900	-
	藤枝市	約 132,000	-	約 20	約 10	-
	牧之原市	約 49,000	-	-	-	-
	吉田町	約 29,000	-	-	-	-
	川根本町	約 7,700	-	-	-	-
	(小計)	約 1,162,000	約 25,000	約 23,000	約 13,000	-
西部	浜松市中区	約 236,000	-	-	-	-
	浜松市東区	約 125,000	-	-	-	-
	浜松市西区	約 112,000	-	-	-	-
	浜松市南区	約 101,000	-	-	-	-
	浜松市北区	約 94,000	-	-	-	-
	浜松市浜北区	約 90,000	-	-	-	-
	浜松市天竜区	約 34,000	-	-	-	-
	磐田市	約 168,000	-	-	-	-
	掛川市	約 115,000	-	-	-	-
	袋井市	約 84,000	-	-	-	-
	湖西市	約 60,000	-	-	-	-
	御前崎市	約 34,000	-	-	-	-
	菊川市	約 47,000	-	-	-	-
	森町	約 18,000	-	-	-	-
	(小計)	約 1,316,000	-	-	-	-



## 2 下水道

表 II-2.13 被害延長（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）

市町名		管路延長 (km)	被害延長 (km)	被害率 (%)
県計		約 11,000	約 900	8%
賀茂	下田市	約 70	-	3%
	東伊豆町	-	-	-
	河津町	-	-	-
	南伊豆町	約 30	-	2%
	松崎町	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-
	(小計)	約 100	-	3%
東部	沼津市	約 500	約 20	4%
	熱海市	約 100	-	2%
	三島市	約 300	約 10	3%
	富士宮市	約 300	約 10	4%
	伊東市	約 100	-	2%
	富士市	約 700	約 30	4%
	御殿場市	約 100	約 10	5%
	裾野市	約 90	-	5%
	伊豆市	約 100	-	3%
	伊豆の国市	約 200	-	3%
	函南町	約 90	-	3%
	清水町	約 80	-	4%
	長泉町	約 90	-	5%
	小山町	約 20	-	3%
	(小計)	約 2,900	約 100	4%
中部	静岡市葵区	約 800	約 80	10%
	静岡市駿河区	約 700	約 80	11%
	静岡市清水区	約 800	約 70	8%
	島田市	約 60	約 10	12%
	焼津市	約 200	約 30	17%
	藤枝市	約 90	約 10	10%
	牧之原市	-	-	-
	吉田町	約 60	約 10	11%
	川根本町	-	-	-
(小計)	約 2,700	約 300	10%	
西部	浜松市中区	約 1,000	約 90	9%
	浜松市東区	約 500	約 40	7%
	浜松市西区	約 500	約 40	8%
	浜松市南区	約 400	約 50	11%
	浜松市北区	約 400	約 20	4%
	浜松市浜北区	約 400	約 20	5%
	浜松市天竜区	約 100	-	2%
	磐田市	約 1,000	約 100	13%
	掛川市	約 200	約 40	16%
	袋井市	約 200	約 50	22%
	湖西市	約 100	約 10	10%
	御前崎市	約 100	約 10	10%
	菊川市	約 70	約 10	12%
	森町	約 20	-	0%
(小計)	約 5,100	約 500	10%	

表 II-2.14 被害延長（南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①））

市町名		管路延長 (km)	被害延長 (km)	被害率 (%)
県計		約 11,000	約 900	8%
賀茂	下田市	約 70	-	3%
	東伊豆町	-	-	-
	河津町	-	-	-
	南伊豆町	約 30	-	2%
	松崎町	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-
	(小計)	約 100	-	3%
	東部	沼津市	約 500	約 20
熱海市		約 100	-	2%
三島市		約 300	約 10	3%
富士宮市		約 300	約 10	4%
伊東市		約 100	-	2%
富士市		約 700	約 30	4%
御殿場市		約 100	約 10	5%
裾野市		約 90	-	5%
伊豆市		約 100	-	3%
伊豆の国市		約 200	-	3%
函南町		約 90	-	3%
清水町		約 80	-	4%
長泉町		約 90	-	5%
小山町		約 20	-	3%
(小計)		約 2,900	約 100	4%
中部		静岡市葵区	約 800	約 80
	静岡市駿河区	約 700	約 80	11%
	静岡市清水区	約 800	約 70	8%
	島田市	約 60	約 10	12%
	焼津市	約 200	約 30	17%
	藤枝市	約 90	約 10	10%
	牧之原市	-	-	-
	吉田町	約 60	約 10	11%
	川根本町	-	-	-
	(小計)	約 2,700	約 300	10%
西部	浜松市中区	約 1,000	約 90	9%
	浜松市東区	約 500	約 40	7%
	浜松市西区	約 500	約 40	8%
	浜松市南区	約 400	約 50	11%
	浜松市北区	約 400	約 20	4%
	浜松市浜北区	約 400	約 20	5%
	浜松市天竜区	約 100	-	2%
	磐田市	約 1,000	約 100	13%
	掛川市	約 200	約 40	16%
	袋井市	約 200	約 50	22%
	湖西市	約 100	約 10	10%
	御前崎市	約 100	約 10	10%
	菊川市	約 70	約 10	12%
	森町	約 20	-	0%
	(小計)	約 5,100	約 500	10%

表 II-2.15 被害延長（南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①））

市町名		管路延長 (km)	被害延長 (km)	被害率 (%)
県計		約 11,000	約 900	9%
賀茂	下田市	約 70	-	2%
	東伊豆町	-	-	-
	河津町	-	-	-
	南伊豆町	約 30	-	1%
	松崎町	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-
	(小計)	約 100	-	2%
東部	沼津市	約 500	約 10	3%
	熱海市	約 100	-	2%
	三島市	約 300	-	2%
	富士宮市	約 300	約 10	3%
	伊東市	約 100	-	1%
	富士市	約 700	約 20	2%
	御殿場市	約 100	約 10	4%
	裾野市	約 90	-	2%
	伊豆市	約 100	-	2%
	伊豆の国市	約 200	-	2%
	函南町	約 90	-	2%
	清水町	約 80	-	2%
	長泉町	約 90	-	2%
	小山町	約 20	-	3%
	(小計)	約 2,900	約 70	2%
中部	静岡市葵区	約 800	約 40	4%
	静岡市駿河区	約 700	約 30	5%
	静岡市清水区	約 800	約 30	4%
	島田市	約 60	-	7%
	焼津市	約 200	約 10	7%
	藤枝市	約 90	-	4%
	牧之原市	-	-	-
	吉田町	約 60	-	5%
	川根本町	-	-	-
	(小計)	約 2,700	約 100	4%
西部	浜松市中区	約 1,000	約 100	14%
	浜松市東区	約 500	約 70	14%
	浜松市西区	約 500	約 70	15%
	浜松市南区	約 400	約 60	14%
	浜松市北区	約 400	約 50	12%
	浜松市浜北区	約 400	約 50	12%
	浜松市天竜区	約 100	約 10	6%
	磐田市	約 1,000	約 200	19%
	掛川市	約 200	約 40	15%
	袋井市	約 200	約 40	21%
	湖西市	約 100	約 30	22%
	御前崎市	約 100	約 10	7%
	菊川市	約 70	約 10	13%
	森町	約 20	-	0%
	(小計)	約 5,100	約 800	15%

表 II-2.16 被害延長（南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①））

市町名		管路延長 (km)	被害延長 (km)	被害率 (%)
県計		約 11,000	約 900	9%
賀茂	下田市	約 70	-	4%
	東伊豆町	-	-	-
	河津町	-	-	-
	南伊豆町	約 30	-	3%
	松崎町	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-
	(小計)	約 100	-	4%
東部	沼津市	約 500	約 20	5%
	熱海市	約 100	-	3%
	三島市	約 300	約 10	3%
	富士宮市	約 300	約 20	8%
	伊東市	約 100	-	3%
	富士市	約 700	約 40	6%
	御殿場市	約 100	約 10	5%
	裾野市	約 90	-	5%
	伊豆市	約 100	約 10	5%
	伊豆の国市	約 200	約 10	4%
	函南町	約 90	-	3%
	清水町	約 80	-	5%
	長泉町	約 90	-	5%
	小山町	約 20	-	4%
	(小計)	約 2,900	約 100	5%
中部	静岡市葵区	約 800	約 60	7%
	静岡市駿河区	約 700	約 60	8%
	静岡市清水区	約 800	約 90	11%
	島田市	約 60	約 10	12%
	焼津市	約 200	約 20	10%
	藤枝市	約 90	約 10	7%
	牧之原市	-	-	-
	吉田町	約 60	約 10	12%
	川根本町	-	-	-
	(小計)	約 2,700	約 200	9%
西部	浜松市中区	約 1,000	約 80	8%
	浜松市東区	約 500	約 40	7%
	浜松市西区	約 500	約 60	12%
	浜松市南区	約 400	約 40	9%
	浜松市北区	約 400	約 20	6%
	浜松市浜北区	約 400	約 20	6%
	浜松市天竜区	約 100	-	3%
	磐田市	約 1,000	約 100	13%
	掛川市	約 200	約 50	21%
	袋井市	約 200	約 50	24%
	湖西市	約 100	約 30	22%
	御前崎市	約 100	約 20	21%
	菊川市	約 70	約 10	23%
	森町	約 20	-	0%
(小計)	約 5,100	約 600	11%	

表 II-2.17 被害延長（大正型関東地震）

市町名		管路延長 (km)	被害延長 (km)	被害率 (%)
県計		約 11,000	約 100	1%
賀茂	下田市	約 70	-	1%
	東伊豆町	-	-	-
	河津町	-	-	-
	南伊豆町	約 30	-	0%
	松崎町	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-
	(小計)	約 100	-	1%
東部	沼津市	約 500	約 20	3%
	熱海市	約 100	約 10	7%
	三島市	約 300	約 10	3%
	富士宮市	約 300	-	1%
	伊東市	約 100	-	3%
	富士市	約 700	約 10	1%
	御殿場市	約 100	約 20	12%
	裾野市	約 90	約 10	7%
	伊豆市	約 100	-	3%
	伊豆の国市	約 200	約 10	4%
	函南町	約 90	-	4%
	清水町	約 80	-	4%
	長泉町	約 90	-	5%
	小山町	約 20	-	12%
	(小計)	約 2,900	約 100	3%
中部	静岡市葵区	約 800	-	0%
	静岡市駿河区	約 700	約 10	1%
	静岡市清水区	約 800	約 10	1%
	島田市	約 60	-	0%
	焼津市	約 200	-	0%
	藤枝市	約 90	-	0%
	牧之原市	-	-	-
	吉田町	約 60	-	0%
	川根本町	-	-	-
	(小計)	約 2,700	約 20	1%
西部	浜松市中区	約 1,000	-	0%
	浜松市東区	約 500	-	0%
	浜松市西区	約 500	-	0%
	浜松市南区	約 400	-	0%
	浜松市北区	約 400	-	0%
	浜松市浜北区	約 400	-	0%
	浜松市天竜区	約 100	-	0%
	磐田市	約 1,000	-	0%
	掛川市	約 200	-	0%
	袋井市	約 200	-	0%
	湖西市	約 100	-	0%
	御前崎市	約 100	-	0%
	菊川市	約 70	-	0%
	森町	約 20	-	0%
(小計)	約 5,100	-	0%	

表 II-2.18 被害延長（元禄型関東地震）

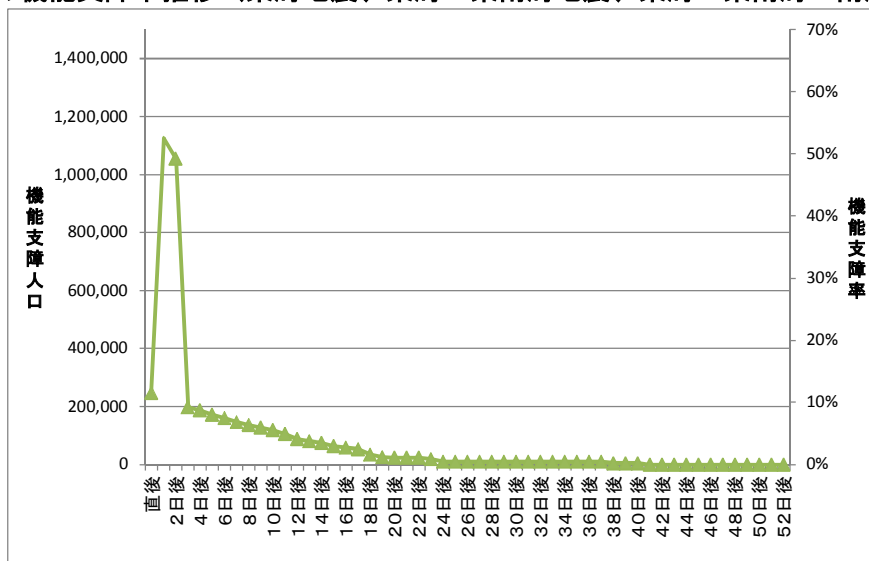
市町名		管路延長 (km)	被害延長 (km)	被害率 (%)
県計		約 11,000	約 200	1%
賀茂	下田市	約 70	-	1%
	東伊豆町	-	-	-
	河津町	-	-	-
	南伊豆町	約 30	-	1%
	松崎町	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-
	(小計)	約 100	-	1%
東部	沼津市	約 500	約 20	4%
	熱海市	約 100	約 10	8%
	三島市	約 300	約 20	5%
	富士宮市	約 300	-	1%
	伊東市	約 100	約 10	4%
	富士市	約 700	約 10	1%
	御殿場市	約 100	約 20	17%
	裾野市	約 90	約 10	10%
	伊豆市	約 100	約 10	4%
	伊豆の国市	約 200	約 10	4%
	函南町	約 90	-	5%
	清水町	約 80	-	5%
	長泉町	約 90	約 10	7%
	小山町	約 20	-	17%
	(小計)	約 2,900	約 100	4%
中部	静岡市葵区	約 800	約 10	1%
	静岡市駿河区	約 700	約 10	1%
	静岡市清水区	約 800	約 10	1%
	島田市	約 60	-	0%
	焼津市	約 200	-	1%
	藤枝市	約 90	-	0%
	牧之原市	-	-	-
	吉田町	約 60	-	0%
	川根本町	-	-	-
	(小計)	約 2,700	約 20	1%
西部	浜松市中区	約 1,000	-	0%
	浜松市東区	約 500	-	0%
	浜松市西区	約 500	-	0%
	浜松市南区	約 400	-	0%
	浜松市北区	約 400	-	0%
	浜松市浜北区	約 400	-	0%
	浜松市天竜区	約 100	-	0%
	磐田市	約 1,000	-	0%
	掛川市	約 200	-	0%
	袋井市	約 200	-	0%
	湖西市	約 100	-	0%
	御前崎市	約 100	-	0%
	菊川市	約 70	-	0%
	森町	約 20	-	0%
	(小計)	約 5,100	-	0%

表 II-2.19 下水道機能支障人口（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）

市町名	処理人口	機能支障率(%)					機能支障人口(人)			
		直後	1日後	7日後	1ヶ月後	直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 2,236,000	12%	53%	7%	0%	約 257,000	約 1,176,000	約 153,000	約 9,600	
賀茂	下田市	約 11,000	3%	3%	2%	0%	約 300	約 300	約 300	-
	東伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	河津町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	南伊豆町	約 2,300	2%	2%	2%	0%	約 50	約 50	約 40	-
	松崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(小計)	約 13,000	3%	3%	2%	0%	約 400	約 400	約 300	-	
東部	沼津市	約 113,000	4%	15%	0%	0%	約 4,800	約 17,000	約 400	約 50
	熱海市	約 26,000	6%	5%	0%	0%	約 1,500	約 1,300	-	-
	三島市	約 87,000	3%	3%	0%	0%	約 2,700	約 2,300	-	-
	富士宮市	約 68,000	4%	79%	1%	0%	約 3,000	約 53,000	約 700	-
	伊東市	約 29,000	2%	11%	0%	0%	約 600	約 3,200	-	-
	富士市	約 181,000	4%	3%	1%	0%	約 6,600	約 5,800	約 1,400	-
	御殿場市	約 30,000	5%	79%	2%	0%	約 1,400	約 23,000	約 500	-
	裾野市	約 18,000	5%	5%	4%	0%	約 900	約 900	約 700	-
	伊豆市	約 18,000	20%	68%	1%	0%	約 3,500	約 12,000	約 200	-
	伊豆の国市	約 33,000	3%	78%	2%	0%	約 1,000	約 26,000	約 800	-
	函南町	約 25,000	3%	78%	2%	0%	約 700	約 20,000	約 600	-
	清水町	約 18,000	4%	20%	3%	0%	約 800	約 3,500	約 600	-
	長泉町	約 28,000	5%	5%	4%	0%	約 1,300	約 1,300	約 1,000	-
小山町	約 4,800	3%	3%	3%	0%	約 200	約 200	約 100	-	
(小計)	約 677,000	4%	25%	1%	0%	約 29,000	約 170,000	約 6,900	約 50	
中部	静岡市葵区	約 204,000	21%	68%	15%	2%	約 43,000	約 138,000	約 30,000	約 3,400
	静岡市駿河区	約 170,000	22%	68%	15%	2%	約 38,000	約 116,000	約 25,000	約 2,800
	静岡市清水区	約 198,000	20%	67%	14%	2%	約 39,000	約 133,000	約 28,000	約 3,300
	島田市	約 10,000	12%	83%	9%	0%	約 1,200	約 8,300	約 900	-
	焼津市	約 32,000	17%	16%	12%	0%	約 5,500	約 5,300	約 3,800	-
	藤枝市	約 57,000	10%	9%	5%	0%	約 5,800	約 5,400	約 2,900	-
	牧之原市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	吉田町	約 11,000	90%	82%	8%	0%	約 9,900	約 9,000	約 900	-
	川根本町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 682,000	21%	61%	13%	1%	約 141,000	約 415,000	約 91,000	約 9,500
西部	浜松市中央区	約 185,000	9%	63%	6%	0%	約 17,000	約 117,000	約 11,000	-
	浜松市東区	約 98,000	7%	62%	4%	0%	約 6,800	約 61,000	約 4,400	-
	浜松市西区	約 88,000	8%	63%	5%	0%	約 7,200	約 56,000	約 4,600	-
	浜松市南区	約 80,000	11%	64%	7%	0%	約 8,700	約 51,000	約 5,400	-
	浜松市北区	約 74,000	4%	61%	3%	0%	約 3,100	約 45,000	約 2,000	-
	浜松市浜北区	約 71,000	5%	62%	3%	0%	約 3,700	約 44,000	約 2,400	-
	浜松市天竜区	約 26,000	2%	61%	2%	0%	約 600	約 16,000	約 400	-
	磐田市	約 128,000	13%	83%	10%	0%	約 17,000	約 106,000	約 12,000	-
	掛川市	約 33,000	33%	83%	11%	0%	約 11,000	約 28,000	約 3,700	-
	袋井市	約 33,000	22%	85%	16%	0%	約 7,200	約 28,000	約 5,100	-
	湖西市	約 22,000	10%	82%	6%	0%	約 2,300	約 18,000	約 1,400	-
	御前崎市	約 14,000	10%	82%	8%	0%	約 1,400	約 11,000	約 1,100	-
	菊川市	約 9,400	12%	83%	9%	0%	約 1,100	約 7,800	約 900	-
	森町	約 2,600	0%	80%	0%	0%	-	約 2,100	-	-
(小計)	約 864,000	10%	68%	6%	0%	約 87,000	約 591,000	約 54,000	-	

(注) 上水道の被害・復旧とは独立に推計している。(以下同様)

県全体の機能支障率推移（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）



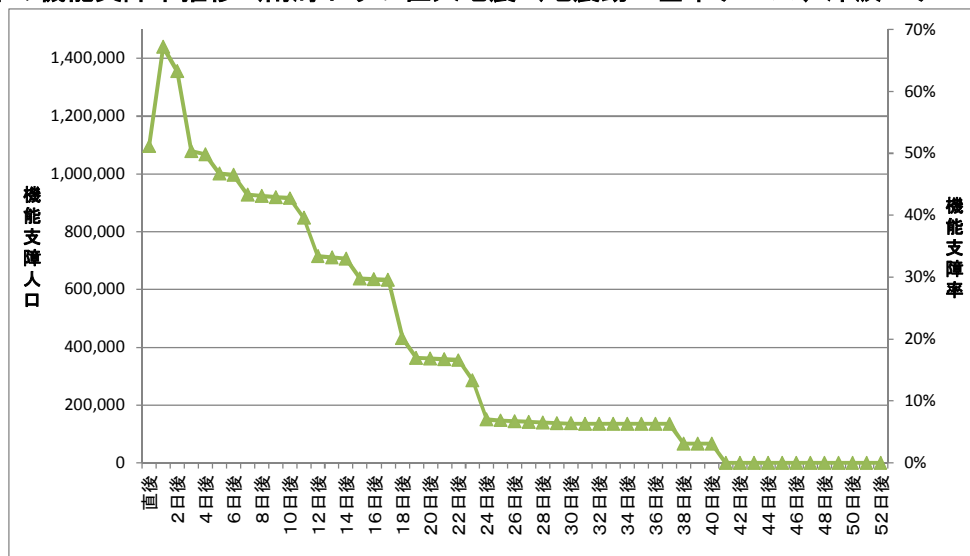
95%復旧(注) : 2週間程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.20 下水道機能支障人口（南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①））

市町名	処理人口	機能支障率(%)				機能支障人口(人)				
		直後	1日後	7日後	1ヶ月後	直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 2,236,000	51%	67%	43%	6%	約 1,143,000	約 1,502,000	約 969,000	約 143,000	
賀茂	下田市	約 11,000	100%	100%	87%	13%	約 11,000	約 11,000	約 9,600	約 1,500
	東伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	河津町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	南伊豆町	約 2,300	100%	100%	87%	13%	約 2,300	約 2,300	約 2,000	約 300
	松崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(小計)	約 13,000	100%	100%	87%	13%	約 13,000	約 13,000	約 12,000	約 1,800	
東部	沼津市	約 113,000	27%	39%	22%	3%	約 31,000	約 44,000	約 24,000	約 3,700
	熱海市	約 26,000	6%	5%	0%	0%	約 1,500	約 1,300	-	-
	三島市	約 87,000	3%	3%	0%	0%	約 2,700	約 2,300	約 200	-
	富士宮市	約 68,000	4%	79%	1%	0%	約 3,000	約 53,000	約 900	-
	伊東市	約 29,000	2%	11%	0%	0%	約 600	約 3,200	-	-
	富士市	約 181,000	4%	3%	1%	0%	約 6,600	約 5,900	約 1,900	-
	御殿場市	約 30,000	5%	79%	2%	0%	約 1,400	約 23,000	約 600	-
	裾野市	約 18,000	5%	5%	4%	0%	約 900	約 900	約 800	約 60
	伊豆市	約 18,000	20%	69%	1%	0%	約 3,500	約 12,000	約 200	-
	伊豆の国市	約 33,000	3%	78%	3%	0%	約 1,000	約 26,000	約 900	約 70
	函南町	約 25,000	3%	78%	3%	0%	約 700	約 20,000	約 600	約 50
	清水町	約 18,000	4%	20%	4%	0%	約 800	約 3,500	約 700	約 60
	長泉町	約 28,000	5%	5%	4%	0%	約 1,300	約 1,300	約 1,200	約 90
小山町	約 4,800	3%	3%	3%	0%	約 200	約 200	約 100	約 10	
(小計)	約 677,000	8%	29%	5%	1%	約 55,000	約 197,000	約 32,000	約 4,000	
中部	静岡市葵区	約 204,000	69%	94%	59%	9%	約 141,000	約 191,000	約 121,000	約 18,000
	静岡市駿河区	約 170,000	70%	94%	60%	9%	約 119,000	約 160,000	約 101,000	約 15,000
	静岡市清水区	約 198,000	69%	94%	59%	9%	約 136,000	約 186,000	約 117,000	約 17,000
	島田市	約 10,000	12%	83%	10%	1%	約 1,200	約 8,300	約 1,000	約 80
	焼津市	約 32,000	100%	100%	88%	13%	約 32,000	約 32,000	約 29,000	約 4,300
	藤枝市	約 57,000	10%	10%	6%	0%	約 5,800	約 5,400	約 3,500	-
	牧之原市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	吉田町	約 11,000	100%	100%	88%	14%	約 11,000	約 11,000	約 9,600	約 1,500
	川根本町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 682,000	65%	87%	56%	8%	約 446,000	約 594,000	約 382,000	約 56,000
西部	浜松市中区	約 185,000	74%	76%	64%	10%	約 137,000	約 141,000	約 119,000	約 18,000
	浜松市東区	約 98,000	73%	76%	64%	10%	約 72,000	約 74,000	約 63,000	約 9,400
	浜松市西区	約 88,000	74%	76%	64%	10%	約 65,000	約 67,000	約 57,000	約 8,400
	浜松市南区	約 80,000	74%	76%	65%	10%	約 59,000	約 61,000	約 52,000	約 7,600
	浜松市北区	約 74,000	73%	75%	63%	10%	約 53,000	約 55,000	約 46,000	約 7,000
	浜松市浜北区	約 71,000	73%	75%	63%	10%	約 52,000	約 53,000	約 45,000	約 6,700
	浜松市天竜区	約 26,000	72%	74%	63%	10%	約 19,000	約 20,000	約 17,000	約 2,500
	磐田市	約 128,000	96%	99%	84%	13%	約 122,000	約 126,000	約 108,000	約 17,000
	掛川市	約 33,000	56%	88%	34%	4%	約 19,000	約 29,000	約 11,000	約 1,300
	袋井市	約 33,000	22%	85%	18%	1%	約 7,200	約 28,000	約 6,000	約 200
	湖西市	約 22,000	50%	91%	43%	6%	約 11,000	約 20,000	約 9,600	約 1,300
	御前崎市	約 14,000	79%	96%	69%	11%	約 11,000	約 13,000	約 9,400	約 1,500
	菊川市	約 9,400	12%	83%	10%	1%	約 1,100	約 7,800	約 1,000	約 80
	森町	約 2,600	0%	80%	0%	0%	-	約 2,100	-	-
(小計)	約 864,000	73%	81%	63%	9%	約 629,000	約 698,000	約 543,000	約 80,000	

県全体の機能支障率推移（南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①））



95%復旧注)：5週間程度

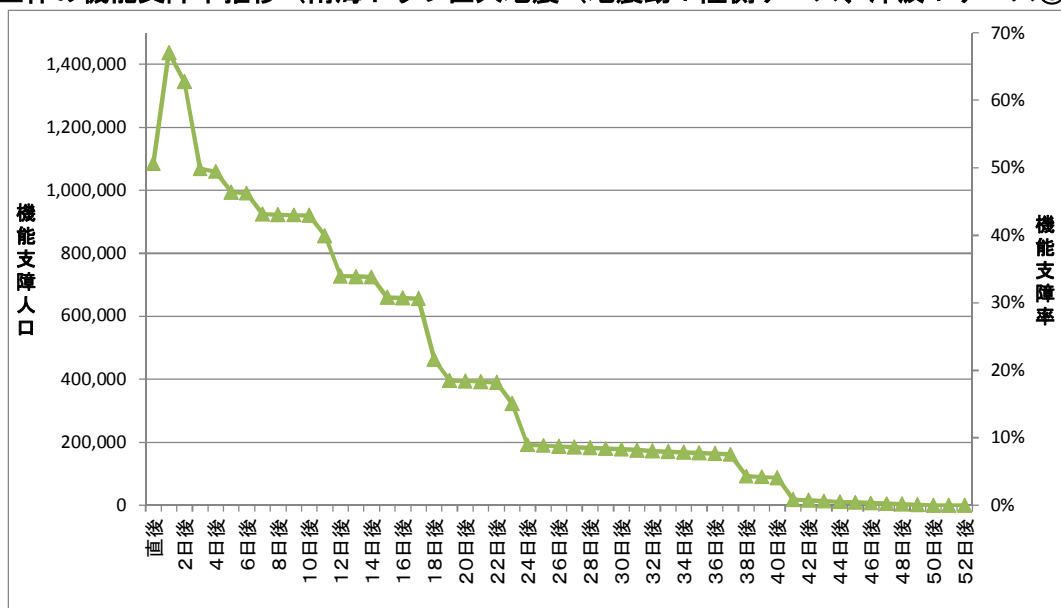
注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。



表 II-2.21 下水道機能支障人口（南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①））

市町名	処理人口	機能支障率(%)				機能支障人口(人)				
		直後	1日後	7日後	1ヶ月後	直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 2,236,000	51%	67%	43%	8%	約 1,132,000	約 1,499,000	約 965,000	約 186,000	
賀茂	下田市	約 11,000	100%	100%	87%	14%	約 11,000	約 11,000	約 9,600	約 1,600
	東伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	河津町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	南伊豆町	約 2,300	100%	100%	87%	14%	約 2,300	約 2,300	約 2,000	約 300
	松崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 13,000	100%	100%	87%	14%	約 13,000	約 13,000	約 12,000	約 1,900
東部	沼津市	約 113,000	26%	38%	21%	3%	約 30,000	約 43,000	約 24,000	約 3,700
	熱海市	約 26,000	5%	4%	0%	0%	約 1,300	約 1,100	-	-
	三島市	約 87,000	2%	1%	0%	0%	約 1,300	約 1,000	-	-
	富士宮市	約 68,000	3%	78%	0%	0%	約 1,900	約 53,000	-	-
	伊東市	約 29,000	1%	11%	0%	0%	約 400	約 3,000	-	-
	富士市	約 181,000	2%	2%	0%	0%	約 4,300	約 3,700	-	-
	御殿場市	約 30,000	4%	79%	2%	0%	約 1,200	約 23,000	約 500	-
	裾野市	約 18,000	2%	2%	2%	1%	約 400	約 400	約 400	約 200
	伊豆市	約 18,000	19%	69%	0%	0%	約 3,300	約 12,000	-	-
	伊豆の国市	約 33,000	2%	78%	2%	1%	約 600	約 26,000	約 600	約 400
	函南町	約 25,000	2%	77%	2%	1%	約 500	約 20,000	約 400	約 300
	清水町	約 18,000	2%	18%	2%	1%	約 400	約 3,200	約 400	約 200
	長泉町	約 28,000	2%	2%	2%	1%	約 600	約 600	約 600	約 400
	小山町	約 4,800	3%	3%	3%	2%	約 100	約 100	約 100	約 80
(小計)	約 677,000	7%	28%	4%	1%	約 46,000	約 190,000	約 27,000	約 5,300	
中部	静岡市葵区	約 204,000	67%	94%	57%	9%	約 138,000	約 191,000	約 117,000	約 18,000
	静岡市駿河区	約 170,000	68%	94%	57%	9%	約 115,000	約 159,000	約 98,000	約 15,000
	静岡市清水区	約 198,000	67%	94%	57%	9%	約 133,000	約 185,000	約 113,000	約 17,000
	島田市	約 10,000	7%	82%	7%	4%	約 700	約 8,200	約 700	約 400
	焼津市	約 32,000	100%	100%	87%	13%	約 32,000	約 32,000	約 28,000	約 4,300
	藤枝市	約 57,000	4%	4%	1%	0%	約 2,400	約 2,200	約 600	-
	牧之原市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	吉田町	約 11,000	100%	100%	87%	16%	約 11,000	約 11,000	約 9,600	約 1,700
	川根本町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 682,000	63%	86%	54%	8%	約 432,000	約 589,000	約 367,000	約 57,000
西部	浜松市中央区	約 185,000	76%	77%	66%	13%	約 140,000	約 144,000	約 123,000	約 24,000
	浜松市東区	約 98,000	75%	77%	66%	14%	約 74,000	約 76,000	約 65,000	約 14,000
	浜松市西区	約 88,000	75%	77%	66%	14%	約 67,000	約 68,000	約 59,000	約 12,000
	浜松市南区	約 80,000	75%	77%	66%	13%	約 60,000	約 61,000	約 53,000	約 10,000
	浜松市北区	約 74,000	75%	77%	66%	14%	約 55,000	約 57,000	約 48,000	約 10,000
	浜松市浜北区	約 71,000	75%	77%	66%	14%	約 53,000	約 55,000	約 47,000	約 10,000
	浜松市天竜区	約 26,000	73%	75%	64%	13%	約 19,000	約 20,000	約 17,000	約 3,400
	磐田市	約 128,000	96%	99%	85%	21%	約 123,000	約 127,000	約 109,000	約 27,000
	掛川市	約 33,000	56%	88%	34%	9%	約 18,000	約 29,000	約 11,000	約 2,900
	袋井市	約 33,000	21%	84%	18%	8%	約 6,900	約 28,000	約 6,000	約 2,700
	湖西市	約 22,000	56%	92%	49%	11%	約 13,000	約 21,000	約 11,000	約 2,400
	御前崎市	約 14,000	78%	96%	68%	14%	約 11,000	約 13,000	約 9,300	約 1,900
	菊川市	約 9,400	13%	83%	12%	8%	約 1,200	約 7,800	約 1,100	約 700
	森町	約 2,600	0%	80%	0%	0%	-	約 2,100	-	-
	(小計)	約 864,000	74%	82%	65%	14%	約 640,000	約 707,000	約 560,000	約 122,000

県全体の機能支障率推移（南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①））

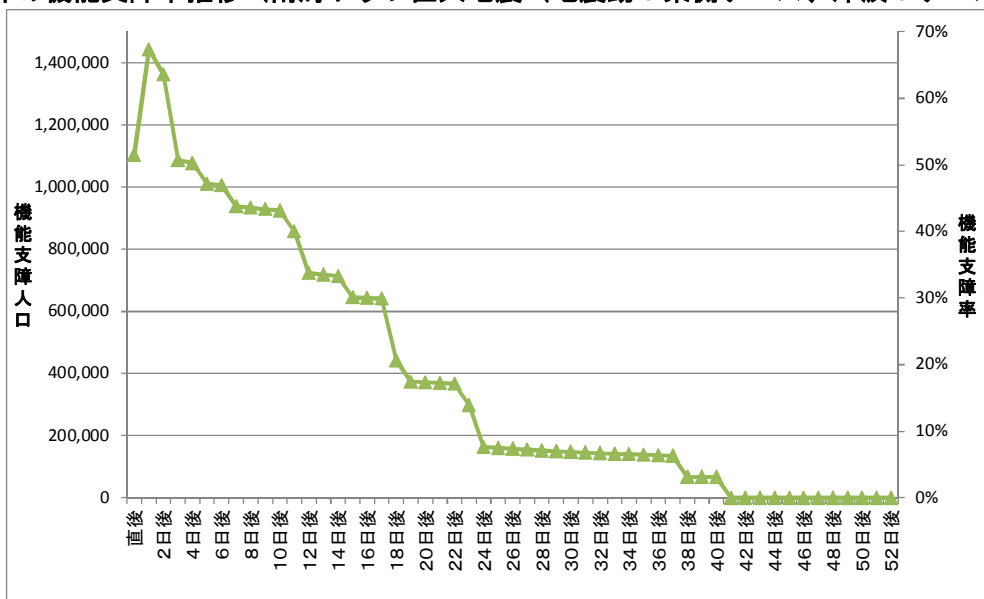


注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.22 下水道機能支障人口（南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①））

市町名	処理人口	機能支障率(%)				機能支障人口(人)				
		直後	1日後	7日後	1ヶ月後	直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 2,236,000	52%	67%	44%	7%	約 1,152,000	約 1,506,000	約 979,000	約 154,000	
賀茂	下田市	約 11,000	100%	100%	87%	14%	約 11,000	約 11,000	約 9,700	約 1,600
	東伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	河津町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	南伊豆町	約 2,300	100%	100%	87%	14%	約 2,300	約 2,300	約 2,000	約 300
	松崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 13,000	100%	100%	87%	14%	約 13,000	約 13,000	約 12,000	約 1,900
東部	沼津市	約 113,000	28%	39%	22%	3%	約 32,000	約 44,000	約 25,000	約 3,700
	熱海市	約 26,000	7%	6%	1%	0%	約 1,700	約 1,500	約 200	-
	三島市	約 87,000	3%	3%	0%	0%	約 2,800	約 2,400	約 300	-
	富士宮市	約 68,000	8%	79%	4%	0%	約 5,100	約 54,000	約 2,900	-
	伊東市	約 29,000	3%	12%	0%	0%	約 800	約 3,400	-	-
	富士市	約 181,000	6%	5%	3%	0%	約 10,000	約 9,400	約 5,200	-
	御殿場市	約 30,000	5%	79%	2%	0%	約 1,400	約 23,000	約 700	-
	裾野市	約 18,000	5%	5%	5%	2%	約 900	約 900	約 800	約 300
	伊豆市	約 18,000	21%	69%	2%	0%	約 3,700	約 13,000	約 400	-
	伊豆の国市	約 33,000	4%	79%	3%	1%	約 1,200	約 26,000	約 1,100	約 400
	函南町	約 25,000	3%	78%	3%	1%	約 900	約 20,000	約 800	約 300
	清水町	約 18,000	5%	20%	4%	2%	約 800	約 3,500	約 800	約 300
	長泉町	約 28,000	5%	5%	4%	2%	約 1,300	約 1,300	約 1,200	約 500
	小山町	約 4,800	4%	4%	4%	1%	約 200	約 200	約 200	約 70
(小計)	約 677,000	9%	30%	6%	1%	約 63,000	約 202,000	約 39,000	約 5,600	
中部	静岡市葵区	約 204,000	68%	94%	59%	9%	約 140,000	約 191,000	約 120,000	約 18,000
	静岡市駿河区	約 170,000	69%	94%	59%	9%	約 117,000	約 160,000	約 100,000	約 15,000
	静岡市清水区	約 198,000	70%	94%	59%	9%	約 137,000	約 186,000	約 117,000	約 17,000
	島田市	約 10,000	12%	83%	11%	4%	約 1,200	約 8,300	約 1,100	約 400
	焼津市	約 32,000	100%	100%	88%	13%	約 32,000	約 32,000	約 28,000	約 4,300
	藤枝市	約 57,000	7%	6%	3%	0%	約 3,900	約 3,600	約 1,900	-
	牧之原市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	吉田町	約 11,000	100%	100%	88%	17%	約 11,000	約 11,000	約 9,600	約 1,800
	川根本町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 682,000	65%	87%	56%	8%	約 443,000	約 592,000	約 379,000	約 57,000
西部	浜松市中区	約 185,000	74%	76%	64%	10%	約 137,000	約 141,000	約 119,000	約 18,000
	浜松市東区	約 98,000	74%	76%	64%	10%	約 72,000	約 74,000	約 63,000	約 9,500
	浜松市西区	約 88,000	75%	77%	65%	10%	約 66,000	約 68,000	約 57,000	約 8,400
	浜松市南区	約 80,000	74%	76%	65%	10%	約 59,000	約 61,000	約 51,000	約 7,800
	浜松市北区	約 74,000	73%	75%	64%	10%	約 54,000	約 55,000	約 47,000	約 7,400
	浜松市浜北区	約 71,000	73%	75%	64%	10%	約 52,000	約 53,000	約 45,000	約 7,000
	浜松市天竜区	約 26,000	72%	74%	63%	10%	約 19,000	約 20,000	約 17,000	約 2,700
	磐田市	約 128,000	96%	99%	84%	16%	約 122,000	約 126,000	約 108,000	約 20,000
	掛川市	約 33,000	59%	89%	38%	8%	約 19,000	約 29,000	約 13,000	約 2,800
	袋井市	約 33,000	24%	85%	20%	5%	約 7,800	約 28,000	約 6,700	約 1,800
	湖西市	約 22,000	56%	92%	49%	8%	約 13,000	約 21,000	約 11,000	約 1,800
	御前崎市	約 14,000	81%	96%	72%	17%	約 11,000	約 13,000	約 9,800	約 2,300
	菊川市	約 9,400	23%	85%	21%	8%	約 2,200	約 8,000	約 2,000	約 800
	森町	約 2,600	0%	80%	0%	0%	-	約 2,100	-	-
(小計)	約 864,000	73%	81%	64%	10%	約 634,000	約 699,000	約 549,000	約 90,000	

県全体の機能支障率推移（南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①））

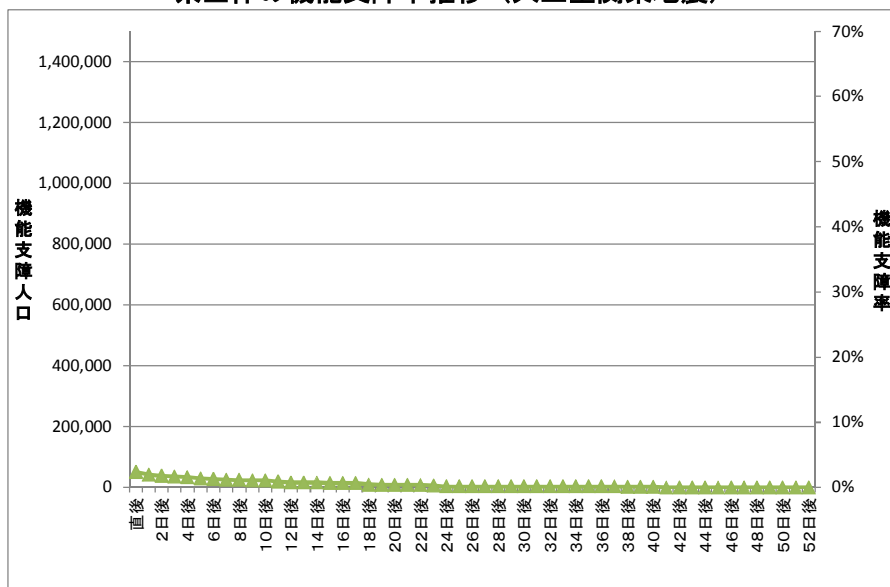


95%復旧(注)：5週間程度  
 注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.23 下水道機能支障人口（大正型関東地震）

市町名	処理人口	機能支障率(%)				機能支障人口(人)				
		直後	1日後	7日後	1ヶ月後	直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 2,236,000	2%	2%	1%	0%	約 53,000	約 43,000	約 26,000	約 3,300	
賀茂	下田市	約 11,000	1%	1%	1%	0%	約 100	約 100	約 70	-
	東伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	河津町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	南伊豆町	約 2,300	0%	0%	0%	0%	約 10	約 10	-	-
	松崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(小計)	約 13,000	1%	1%	1%	0%	約 100	約 100	約 70	-	
東部	沼津市	約 113,000	3%	3%	0%	0%	約 3,700	約 3,100	-	-
	熱海市	約 26,000	100%	96%	83%	13%	約 26,000	約 25,000	約 21,000	約 3,300
	三島市	約 87,000	3%	3%	0%	0%	約 3,000	約 2,500	-	-
	富士宮市	約 68,000	1%	1%	0%	0%	約 800	約 500	-	-
	伊東市	約 29,000	3%	2%	0%	0%	約 800	約 600	-	-
	富士市	約 181,000	1%	1%	0%	0%	約 2,300	約 1,600	-	-
	御殿場市	約 30,000	12%	11%	5%	0%	約 3,500	約 3,300	約 1,400	-
	裾野市	約 18,000	7%	6%	4%	0%	約 1,200	約 1,100	約 600	-
	伊豆市	約 18,000	19%	2%	0%	0%	約 3,500	約 400	約 30	-
	伊豆の国市	約 33,000	4%	4%	2%	0%	約 1,200	約 1,200	約 700	-
	函南町	約 25,000	4%	4%	2%	0%	約 1,100	約 1,000	約 600	-
	清水町	約 18,000	4%	4%	2%	0%	約 800	約 700	約 400	-
	長泉町	約 28,000	5%	5%	3%	0%	約 1,300	約 1,300	約 700	-
小山町	約 4,800	12%	12%	7%	0%	約 600	約 600	約 300	-	
(小計)	約 677,000	7%	6%	4%	0%	約 49,000	約 43,000	約 26,000	約 3,300	
中部	静岡市葵区	約 204,000	0%	0%	0%	0%	約 900	約 80	-	-
	静岡市駿河区	約 170,000	1%	0%	0%	0%	約 1,200	約 100	-	-
	静岡市清水区	約 198,000	1%	0%	0%	0%	約 1,400	約 200	-	-
	島田市	約 10,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	焼津市	約 32,000	0%	0%	0%	0%	約 100	約 50	-	-
	藤枝市	約 57,000	0%	0%	0%	0%	約 20	-	-	-
	牧之原市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	吉田町	約 11,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	川根本町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 682,000	1%	0%	0%	0%	約 3,700	約 400	-	-
西部	浜松市中区	約 185,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	浜松市東区	約 98,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	浜松市西区	約 88,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	浜松市南区	約 80,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	浜松市北区	約 74,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	浜松市浜北区	約 71,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	浜松市天竜区	約 26,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	磐田市	約 128,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	掛川市	約 33,000	0%	0%	0%	0%	約 30	-	-	-
	袋井市	約 33,000	0%	0%	0%	0%	約 10	-	-	-
	湖西市	約 22,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	御前崎市	約 14,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	菊川市	約 9,400	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
森町	約 2,600	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-	
(小計)	約 864,000	0%	0%	0%	0%	約 40	-	-	-	

県全体の機能支障率推移（大正型関東地震）



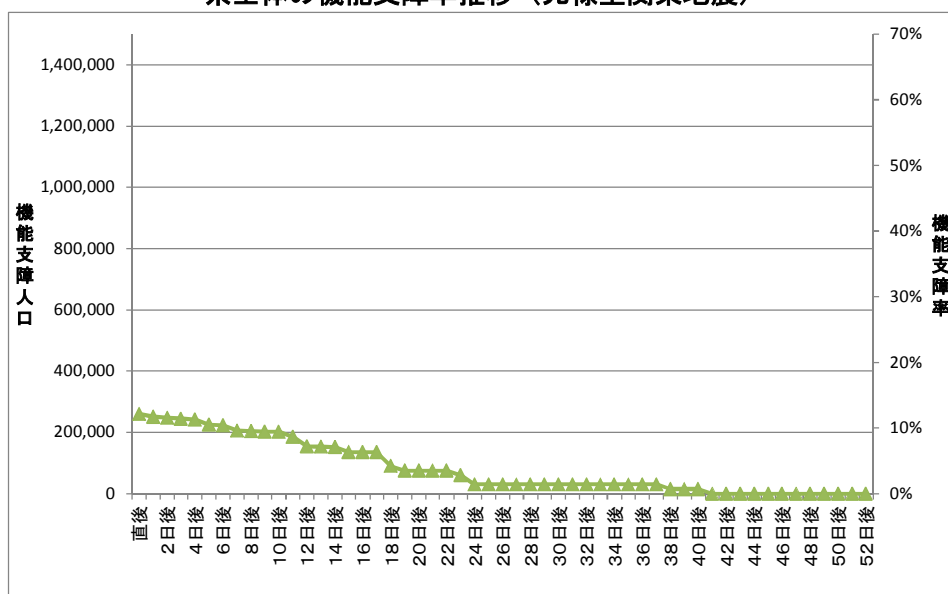
95%復旧<sup>注)</sup>：数日程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.24 下水道機能支障人口（元禄型関東地震）

市町名	処理人口	機能支障率(%)				機能支障人口(人)				
		直後	1日後	7日後	1ヶ月後	直後	1日後	7日後	1ヶ月後	
県計	約 2,236,000	12%	12%	10%	1%	約 271,000	約 262,000	約 215,000	約 32,000	
賀茂	下田市	約 11,000	100%	100%	87%	13%	約 11,000	約 11,000	約 9,600	約 1,500
	東伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	河津町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	南伊豆町	約 2,300	0%	0%	0%	0%	約 10	約 10	約 10	-
	松崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 13,000	83%	83%	72%	11%	約 11,000	約 11,000	約 9,600	約 1,500
東部	沼津市	約 113,000	4%	4%	0%	0%	約 4,900	約 4,200	約 300	-
	熱海市	約 26,000	100%	96%	84%	13%	約 26,000	約 25,000	約 22,000	約 3,300
	三島市	約 87,000	5%	4%	1%	0%	約 4,200	約 3,800	約 1,000	-
	富士宮市	約 68,000	1%	1%	0%	0%	約 1,000	約 700	-	-
	伊東市	約 29,000	4%	4%	0%	0%	約 1,200	約 1,000	-	-
	富士市	約 181,000	1%	1%	0%	0%	約 2,700	約 2,000	-	-
	御殿場市	約 30,000	17%	16%	10%	0%	約 4,900	約 4,700	約 2,900	-
	裾野市	約 18,000	10%	10%	7%	0%	約 1,900	約 1,800	約 1,300	-
	伊豆市	約 18,000	20%	3%	1%	0%	約 3,600	約 600	約 200	-
	伊豆の国市	約 33,000	4%	4%	3%	0%	約 1,400	約 1,400	約 1,000	-
	函南町	約 25,000	5%	5%	3%	0%	約 1,300	約 1,200	約 900	-
	清水町	約 18,000	5%	5%	3%	0%	約 900	約 900	約 600	-
	長泉町	約 28,000	7%	7%	5%	0%	約 1,900	約 1,800	約 1,300	-
	小山町	約 4,800	17%	17%	12%	0%	約 800	約 800	約 600	-
(小計)	約 677,000	8%	7%	5%	0%	約 56,000	約 50,000	約 31,000	約 3,300	
中部	静岡市葵区	約 204,000	36%	35%	30%	5%	約 73,000	約 72,000	約 62,000	約 9,500
	静岡市駿河区	約 170,000	36%	35%	30%	5%	約 61,000	約 60,000	約 52,000	約 8,000
	静岡市清水区	約 198,000	36%	35%	30%	5%	約 71,000	約 70,000	約 60,000	約 9,300
	島田市	約 10,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	焼津市	約 32,000	1%	0%	0%	0%	約 200	約 100	-	-
	藤枝市	約 57,000	0%	0%	0%	0%	約 100	-	-	-
	牧之原市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	吉田町	約 11,000	0%	0%	0%	0%	約 10	約 10	約 10	-
	川根本町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 682,000	30%	30%	25%	4%	約 204,000	約 202,000	約 174,000	約 27,000
西部	浜松市中央区	約 185,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	浜松市東区	約 98,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	浜松市西区	約 88,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	浜松市南区	約 80,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	浜松市北区	約 74,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	浜松市浜北区	約 71,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	浜松市天竜区	約 26,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	磐田市	約 128,000	0%	0%	0%	0%	約 10	-	-	-
	掛川市	約 33,000	0%	0%	0%	0%	約 30	-	-	-
	袋井市	約 33,000	0%	0%	0%	0%	約 60	-	-	-
	湖西市	約 22,000	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	御前崎市	約 14,000	0%	0%	0%	0%	約 10	約 10	-	-
	菊川市	約 9,400	0%	0%	0%	0%	約 10	約 10	約 10	-
	森町	約 2,600	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
(小計)	約 864,000	0%	0%	0%	0%	約 100	約 20	約 10	-	

県全体の機能支障率推移（元禄型関東地震）



95%復旧注：3週間程度  
注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.25 配電柱被害  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名		配電柱		
		配電柱本数	被害本数	被害率
県計		約 804,000	約 16,000	1.9%
賀茂	下田市	約 8,100	-	0.0%
	東伊豆町	約 6,600	-	0.0%
	河津町	約 4,600	-	0.0%
	南伊豆町	約 6,700	-	0.0%
	松崎町	約 3,300	約 10	0.3%
	西伊豆町	約 3,700	-	0.1%
	(小計)	約 33,000	約 20	0.1%
	東部	沼津市	約 33,000	約 80
熱海市		約 12,000	-	0.0%
三島市		約 15,000	約 10	0.1%
富士宮市		約 34,000	約 100	0.4%
伊東市		約 23,000	約 10	0.0%
富士市		約 44,000	約 200	0.4%
御殿場市		約 20,000	約 20	0.1%
裾野市		約 11,000	約 20	0.1%
伊豆市		約 17,000	約 20	0.1%
伊豆の国市		約 13,000	約 10	0.1%
函南町		約 9,100	-	0.0%
清水町		約 3,900	-	0.1%
長泉町		約 5,700	約 10	0.1%
小山町		約 7,100	-	0.0%
(小計)		約 249,000	約 500	0.2%
中部	静岡市葵区	約 36,000	約 900	2.6%
	静岡市駿河区	約 22,000	約 800	3.5%
	静岡市清水区	約 35,000	約 900	2.4%
	島田市	約 28,000	約 600	2.3%
	焼津市	約 25,000	約 1,200	4.7%
	藤枝市	約 27,000	約 1,200	4.3%
	牧之原市	約 20,000	約 500	2.7%
	吉田町	約 6,100	約 100	2.0%
	川根本町	約 6,400	約 10	0.1%
	(小計)	約 205,000	約 6,200	3.0%
西部	浜松市中区	約 28,000	約 1,000	3.7%
	浜松市東区	約 20,000	約 500	2.7%
	浜松市西区	約 22,000	約 700	3.0%
	浜松市南区	約 16,000	約 700	4.5%
	浜松市北区	約 31,000	約 200	0.7%
	浜松市浜北区	約 19,000	約 200	0.9%
	浜松市天竜区	約 25,000	約 40	0.2%
	磐田市	約 40,000	約 1,500	3.7%
	掛川市	約 39,000	約 1,500	3.8%
	袋井市	約 22,000	約 1,300	5.9%
	湖西市	約 15,000	約 400	2.5%
	御前崎市	約 14,000	約 300	2.2%
	菊川市	約 18,000	約 500	2.6%
	森町	約 8,300	約 200	2.3%
(小計)	約 317,000	約 9,000	2.8%	

※津波で被災した地域以外での電柱被害

表 II-2.26 配電柱被害  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名		配電柱		
		配電柱本数	被害本数	被害率
県計		約 804,000	約 15,000	1.9%
賀茂	下田市	約 8,100	-	0.0%
	東伊豆町	約 6,600	-	0.0%
	河津町	約 4,600	-	0.0%
	南伊豆町	約 6,700	-	0.0%
	松崎町	約 3,300	約 10	0.2%
	西伊豆町	約 3,700	-	0.0%
	(小計)	約 33,000	約 10	0.0%
東部	沼津市	約 33,000	約 80	0.2%
	熱海市	約 12,000	-	0.0%
	三島市	約 15,000	約 10	0.1%
	富士宮市	約 34,000	約 100	0.4%
	伊東市	約 23,000	約 10	0.0%
	富士市	約 44,000	約 200	0.4%
	御殿場市	約 20,000	約 20	0.1%
	裾野市	約 11,000	約 20	0.1%
	伊豆市	約 17,000	約 20	0.1%
	伊豆の国市	約 13,000	約 10	0.1%
	函南町	約 9,100	-	0.0%
	清水町	約 3,900	-	0.1%
	長泉町	約 5,700	約 10	0.1%
	小山町	約 7,100	-	0.0%
	(小計)	約 249,000	約 500	0.2%
中部	静岡市葵区	約 36,000	約 900	2.6%
	静岡市駿河区	約 22,000	約 800	3.5%
	静岡市清水区	約 35,000	約 800	2.3%
	島田市	約 28,000	約 600	2.3%
	焼津市	約 25,000	約 1,100	4.6%
	藤枝市	約 27,000	約 1,200	4.3%
	牧之原市	約 20,000	約 500	2.4%
	吉田町	約 6,100	約 100	1.8%
	川根本町	約 6,400	約 10	0.1%
	(小計)	約 205,000	約 6,100	2.9%
西部	浜松市中区	約 28,000	約 1,000	3.7%
	浜松市東区	約 20,000	約 500	2.7%
	浜松市西区	約 22,000	約 600	2.8%
	浜松市南区	約 16,000	約 700	4.4%
	浜松市北区	約 31,000	約 200	0.7%
	浜松市浜北区	約 19,000	約 200	0.9%
	浜松市天竜区	約 25,000	約 40	0.2%
	磐田市	約 40,000	約 1,500	3.7%
	掛川市	約 39,000	約 1,500	3.8%
	袋井市	約 22,000	約 1,300	5.9%
	湖西市	約 15,000	約 300	2.2%
	御前崎市	約 14,000	約 300	2.1%
	菊川市	約 18,000	約 500	2.6%
	森町	約 8,300	約 200	2.3%
	(小計)	約 317,000	約 8,900	2.8%

※津波で被災した地域以外での電柱被害

表 II-2.27 配電柱被害  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名		配電柱		
		配電柱本数	被害本数	被害率
県計		約 804,000	約 18,000	2.3%
賀茂	下田市	約 8,100	-	0.0%
	東伊豆町	約 6,600	-	0.0%
	河津町	約 4,600	-	0.0%
	南伊豆町	約 6,700	-	0.0%
	松崎町	約 3,300	-	0.0%
	西伊豆町	約 3,700	-	0.0%
	(小計)	約 33,000	-	0.0%
東部	沼津市	約 33,000	約 10	0.0%
	熱海市	約 12,000	-	0.0%
	三島市	約 15,000	-	0.0%
	富士宮市	約 34,000	約 10	0.0%
	伊東市	約 23,000	-	0.0%
	富士市	約 44,000	約 20	0.0%
	御殿場市	約 20,000	約 10	0.1%
	裾野市	約 11,000	-	0.0%
	伊豆市	約 17,000	-	0.0%
	伊豆の国市	約 13,000	-	0.0%
	函南町	約 9,100	-	0.0%
	清水町	約 3,900	-	0.0%
	長泉町	約 5,700	-	0.0%
	小山町	約 7,100	-	0.0%
	(小計)	約 249,000	約 60	0.0%
中部	静岡市葵区	約 36,000	約 200	0.4%
	静岡市駿河区	約 22,000	約 100	0.6%
	静岡市清水区	約 35,000	約 80	0.2%
	島田市	約 28,000	約 200	0.8%
	焼津市	約 25,000	約 200	0.8%
	藤枝市	約 27,000	約 100	0.5%
	牧之原市	約 20,000	約 200	1.2%
	吉田町	約 6,100	約 20	0.4%
	川根本町	約 6,400	約 20	0.2%
	(小計)	約 205,000	約 1,200	0.6%
西部	浜松市中区	約 28,000	約 2,000	7.2%
	浜松市東区	約 20,000	約 1,400	7.0%
	浜松市西区	約 22,000	約 1,700	8.0%
	浜松市南区	約 16,000	約 1,000	6.0%
	浜松市北区	約 31,000	約 1,800	5.8%
	浜松市浜北区	約 19,000	約 1,200	6.3%
	浜松市天竜区	約 25,000	約 500	2.0%
	磐田市	約 40,000	約 2,500	6.3%
	掛川市	約 39,000	約 1,400	3.7%
	袋井市	約 22,000	約 1,200	5.6%
	湖西市	約 15,000	約 1,100	7.5%
	御前崎市	約 14,000	約 100	1.1%
	菊川市	約 18,000	約 500	2.7%
	森町	約 8,300	約 400	5.2%
	(小計)	約 317,000	約 17,000	5.4%

※津波で被災した地域以外での電柱被害

表 II-2.28 配電柱被害  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名		配電柱		
		配電柱本数	被害本数	被害率
県計		約 804,000	約 20,000	2.4%
賀茂	下田市	約 8,100	-	0.1%
	東伊豆町	約 6,600	約 10	0.1%
	河津町	約 4,600	-	0.0%
	南伊豆町	約 6,700	-	0.0%
	松崎町	約 3,300	約 20	0.5%
	西伊豆町	約 3,700	約 10	0.3%
	(小計)	約 33,000	約 40	0.1%
東部	沼津市	約 33,000	約 200	0.5%
	熱海市	約 12,000	約 10	0.1%
	三島市	約 15,000	約 20	0.1%
	富士宮市	約 34,000	約 300	0.9%
	伊東市	約 23,000	約 30	0.1%
	富士市	約 44,000	約 400	0.8%
	御殿場市	約 20,000	約 60	0.3%
	裾野市	約 11,000	約 30	0.2%
	伊豆市	約 17,000	約 60	0.3%
	伊豆の国市	約 13,000	約 20	0.1%
	函南町	約 9,100	約 10	0.1%
	清水町	約 3,900	約 10	0.2%
	長泉町	約 5,700	約 10	0.2%
	小山町	約 7,100	約 10	0.1%
	(小計)	約 249,000	約 1,100	0.4%
中部	静岡市葵区	約 36,000	約 400	1.1%
	静岡市駿河区	約 22,000	約 500	2.2%
	静岡市清水区	約 35,000	約 1,200	3.5%
	島田市	約 28,000	約 600	2.2%
	焼津市	約 25,000	約 500	2.1%
	藤枝市	約 27,000	約 500	1.7%
	牧之原市	約 20,000	約 1,000	5.3%
	吉田町	約 6,100	約 100	2.1%
	川根本町	約 6,400	約 10	0.2%
	(小計)	約 205,000	約 4,900	2.4%
西部	浜松市中区	約 28,000	約 1,000	3.6%
	浜松市東区	約 20,000	約 600	3.2%
	浜松市西区	約 22,000	約 1,100	4.9%
	浜松市南区	約 16,000	約 600	3.7%
	浜松市北区	約 31,000	約 600	1.8%
	浜松市浜北区	約 19,000	約 300	1.3%
	浜松市天竜区	約 25,000	約 80	0.3%
	磐田市	約 40,000	約 1,700	4.2%
	掛川市	約 39,000	約 2,400	6.1%
	袋井市	約 22,000	約 1,500	7.0%
	湖西市	約 15,000	約 1,000	7.0%
	御前崎市	約 14,000	約 1,000	7.0%
	菊川市	約 18,000	約 1,400	7.4%
	森町	約 8,300	約 400	4.4%
	(小計)	約 317,000	約 14,000	4.3%

※津波で被災した地域以外での電柱被害



表 II-2.29 配電柱被害  
(大正型関東地震)

市町名	配電柱			
	配電柱本数	被害本数	被害率	
県計	約 804,000	約 1,400	0.2%	
賀茂	下田市	約 8,100	-	0.0%
	東伊豆町	約 6,600	-	0.0%
	河津町	約 4,600	-	0.0%
	南伊豆町	約 6,700	-	0.0%
	松崎町	約 3,300	-	0.0%
	西伊豆町	約 3,700	-	0.0%
	(小計)	約 33,000	-	0.0%
東部	沼津市	約 33,000	約 30	0.1%
	熱海市	約 12,000	約 200	2.0%
	三島市	約 15,000	約 60	0.4%
	富士宮市	約 34,000	-	0.0%
	伊東市	約 23,000	約 60	0.2%
	富士市	約 44,000	-	0.0%
	御殿場市	約 20,000	約 500	2.7%
	裾野市	約 11,000	約 50	0.5%
	伊豆市	約 17,000	約 10	0.1%
	伊豆の国市	約 13,000	約 40	0.3%
	函南町	約 9,100	約 50	0.6%
	清水町	約 3,900	-	0.1%
	長泉町	約 5,700	約 10	0.1%
	小山町	約 7,100	約 300	3.8%
(小計)	約 249,000	約 1,400	0.5%	
中部	静岡市葵区	約 36,000	-	0.0%
	静岡市駿河区	約 22,000	-	0.0%
	静岡市清水区	約 35,000	-	0.0%
	島田市	約 28,000	-	0.0%
	焼津市	約 25,000	-	0.0%
	藤枝市	約 27,000	-	0.0%
	牧之原市	約 20,000	-	0.0%
	吉田町	約 6,100	-	0.0%
	川根本町	約 6,400	-	0.0%
	(小計)	約 205,000	-	0.0%
西部	浜松市中区	約 28,000	-	0.0%
	浜松市東区	約 20,000	-	0.0%
	浜松市西区	約 22,000	-	0.0%
	浜松市南区	約 16,000	-	0.0%
	浜松市北区	約 31,000	-	0.0%
	浜松市浜北区	約 19,000	-	0.0%
	浜松市天竜区	約 25,000	-	0.0%
	磐田市	約 40,000	-	0.0%
	掛川市	約 39,000	-	0.0%
	袋井市	約 22,000	-	0.0%
	湖西市	約 15,000	-	0.0%
	御前崎市	約 14,000	-	0.0%
	菊川市	約 18,000	-	0.0%
	森町	約 8,300	-	0.0%
(小計)	約 317,000	-	0.0%	

※津波で被災した地域以外での電柱被害

表 II-2.30 配電柱被害  
(元禄型関東地震)

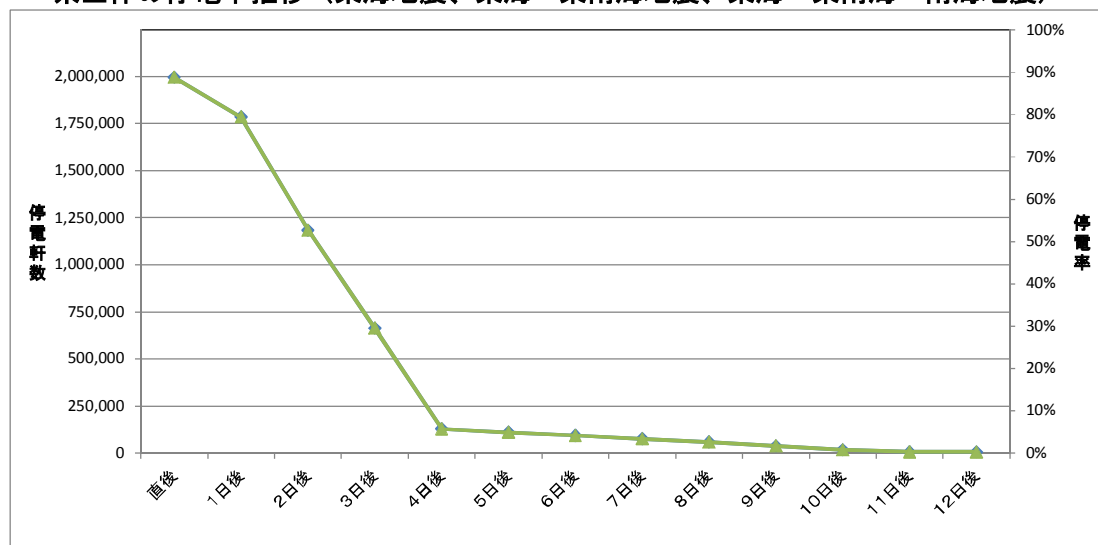
市町名		配電柱		
		配電柱本数	被害本数	被害率
県計		約 804,000	約 2,400	0.3%
賀茂	下田市	約 8,100	-	0.0%
	東伊豆町	約 6,600	-	0.0%
	河津町	約 4,600	-	0.0%
	南伊豆町	約 6,700	-	0.0%
	松崎町	約 3,300	-	0.0%
	西伊豆町	約 3,700	-	0.0%
	(小計)	約 33,000	-	0.0%
東部	沼津市	約 33,000	約 100	0.3%
	熱海市	約 12,000	約 400	3.2%
	三島市	約 15,000	約 100	0.7%
	富士宮市	約 34,000	-	0.0%
	伊東市	約 23,000	約 200	1.1%
	富士市	約 44,000	-	0.0%
	御殿場市	約 20,000	約 800	4.1%
	裾野市	約 11,000	約 100	1.2%
	伊豆市	約 17,000	約 20	0.1%
	伊豆の国市	約 13,000	約 50	0.4%
	函南町	約 9,100	約 70	0.8%
	清水町	約 3,900	約 20	0.4%
	長泉町	約 5,700	約 30	0.6%
	小山町	約 7,100	約 400	5.7%
(小計)	約 249,000	約 2,400	1.0%	
中部	静岡市葵区	約 36,000	-	0.0%
	静岡市駿河区	約 22,000	-	0.0%
	静岡市清水区	約 35,000	-	0.0%
	島田市	約 28,000	-	0.0%
	焼津市	約 25,000	-	0.0%
	藤枝市	約 27,000	-	0.0%
	牧之原市	約 20,000	-	0.0%
	吉田町	約 6,100	-	0.0%
	川根本町	約 6,400	-	0.0%
(小計)	約 205,000	-	0.0%	
西部	浜松市中区	約 28,000	-	0.0%
	浜松市東区	約 20,000	-	0.0%
	浜松市西区	約 22,000	-	0.0%
	浜松市南区	約 16,000	-	0.0%
	浜松市北区	約 31,000	-	0.0%
	浜松市浜北区	約 19,000	-	0.0%
	浜松市天竜区	約 25,000	-	0.0%
	磐田市	約 40,000	-	0.0%
	掛川市	約 39,000	-	0.0%
	袋井市	約 22,000	-	0.0%
	湖西市	約 15,000	-	0.0%
	御前崎市	約 14,000	-	0.0%
	菊川市	約 18,000	-	0.0%
	森町	約 8,300	-	0.0%
	(小計)	約 317,000	-	0.0%

※津波で被災した地域以外での電柱被害

表 II-2.31 停電軒数・停電率  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名	需要家数	直後		1日後		4日後		1週間後		
		停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	
県計	約 2,247,000	約 1,996,000	89%	約 1,786,000	79%	約 129,000	6%	約 77,000	3%	
賀茂	下田市	約 23,000	約 20,000	89%	約 18,000	78%	約 700	3%	約 700	3%
	東伊豆町	約 15,000	約 13,000	89%	約 11,000	78%	約 10	0%	約 10	0%
	河津町	約 7,800	約 6,900	89%	約 6,000	78%	約 10	0%	約 10	0%
	南伊豆町	約 9,200	約 8,200	89%	約 7,200	78%	約 80	1%	約 80	1%
	松崎町	約 6,100	約 5,500	89%	約 4,800	79%	約 300	4%	約 300	4%
	西伊豆町	約 8,400	約 7,500	90%	約 6,600	79%	約 600	7%	約 600	7%
	(小計)	約 69,000	約 61,000	89%	約 54,000	78%	約 1,700	2%	約 1,700	2%
	東部	沼津市	約 132,000	約 117,000	89%	約 103,000	78%	約 2,400	2%	約 2,400
熱海市		約 45,000	約 40,000	89%	約 35,000	78%	約 500	1%	約 300	1%
三島市		約 65,000	約 58,000	89%	約 51,000	78%	約 30	0%	約 20	0%
富士宮市		約 79,000	約 70,000	89%	約 61,000	78%	約 200	0%	約 100	0%
伊東市		約 68,000	約 60,000	89%	約 52,000	78%	約 20	0%	約 10	0%
富士市		約 143,000	約 127,000	89%	約 111,000	78%	約 900	1%	約 500	0%
御殿場市		約 51,000	約 46,000	89%	約 40,000	78%	約 40	0%	約 20	0%
裾野市		約 32,000	約 28,000	89%	約 25,000	78%	約 30	0%	約 20	0%
伊豆市		約 29,000	約 25,000	89%	約 22,000	78%	約 400	1%	約 400	1%
伊豆の国市		約 34,000	約 31,000	89%	約 27,000	78%	約 10	0%	約 10	0%
函南町		約 24,000	約 22,000	89%	約 19,000	78%	約 10	0%	-	0%
清水町		約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	78%	約 10	0%	約 10	0%
長泉町		約 24,000	約 21,000	89%	約 19,000	78%	約 20	0%	約 10	0%
小山町		約 12,000	約 11,000	89%	約 9,600	78%	-	0%	-	0%
(小計)	約 756,000	約 672,000	89%	約 588,000	78%	約 4,700	1%	約 3,900	1%	
中部	静岡市葵区	約 147,000	約 131,000	89%	約 118,000	80%	約 24,000	16%	約 14,000	9%
	静岡市駿河区	約 124,000	約 110,000	89%	約 100,000	80%	約 22,000	17%	約 12,000	10%
	静岡市清水区	約 138,000	約 123,000	89%	約 112,000	81%	約 20,000	14%	約 12,000	9%
	島田市	約 53,000	約 47,000	89%	約 43,000	80%	約 1,300	2%	約 700	1%
	焼津市	約 75,000	約 66,000	89%	約 60,000	80%	約 6,900	9%	約 4,000	5%
	藤枝市	約 76,000	約 67,000	89%	約 61,000	80%	約 4,200	6%	約 2,400	3%
	牧之原市	約 27,000	約 24,000	89%	約 22,000	81%	約 1,900	7%	約 1,100	4%
	吉田町	約 16,000	約 14,000	89%	約 13,000	80%	約 600	4%	約 300	2%
	川根本町	約 6,100	約 5,400	89%	約 4,900	80%	-	0%	-	0%
	(小計)	約 663,000	約 589,000	89%	約 533,000	80%	約 80,000	12%	約 47,000	7%
西部	浜松市中区	約 155,000	約 138,000	89%	約 125,000	80%	約 16,000	11%	約 9,400	6%
	浜松市東区	約 72,000	約 64,000	89%	約 58,000	80%	約 3,200	4%	約 1,800	3%
	浜松市西区	約 58,000	約 52,000	89%	約 47,000	80%	約 4,300	7%	約 2,500	4%
	浜松市南区	約 53,000	約 47,000	89%	約 42,000	80%	約 2,700	5%	約 1,500	3%
	浜松市北区	約 56,000	約 50,000	89%	約 45,000	81%	約 900	2%	約 700	1%
	浜松市浜北区	約 45,000	約 40,000	89%	約 36,000	80%	約 1,000	2%	約 600	1%
	浜松市天竜区	約 26,000	約 23,000	89%	約 21,000	80%	約 100	0%	約 60	0%
	磐田市	約 89,000	約 79,000	89%	約 72,000	80%	約 6,000	7%	約 3,500	4%
	掛川市	約 66,000	約 59,000	89%	約 53,000	80%	約 3,200	5%	約 1,800	3%
	袋井市	約 47,000	約 42,000	89%	約 38,000	80%	約 2,200	5%	約 1,300	3%
	湖西市	約 35,000	約 31,000	89%	約 28,000	80%	約 1,300	4%	約 800	2%
	御前崎市	約 21,000	約 18,000	89%	約 17,000	80%	約 300	1%	約 100	1%
	菊川市	約 25,000	約 22,000	89%	約 20,000	80%	約 300	1%	約 200	1%
	森町	約 11,000	約 9,400	89%	約 8,500	80%	約 400	4%	約 300	2%
(小計)	約 759,000	約 674,000	89%	約 610,000	80%	約 42,000	6%	約 25,000	3%	

県全体の停電率推移 (東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)



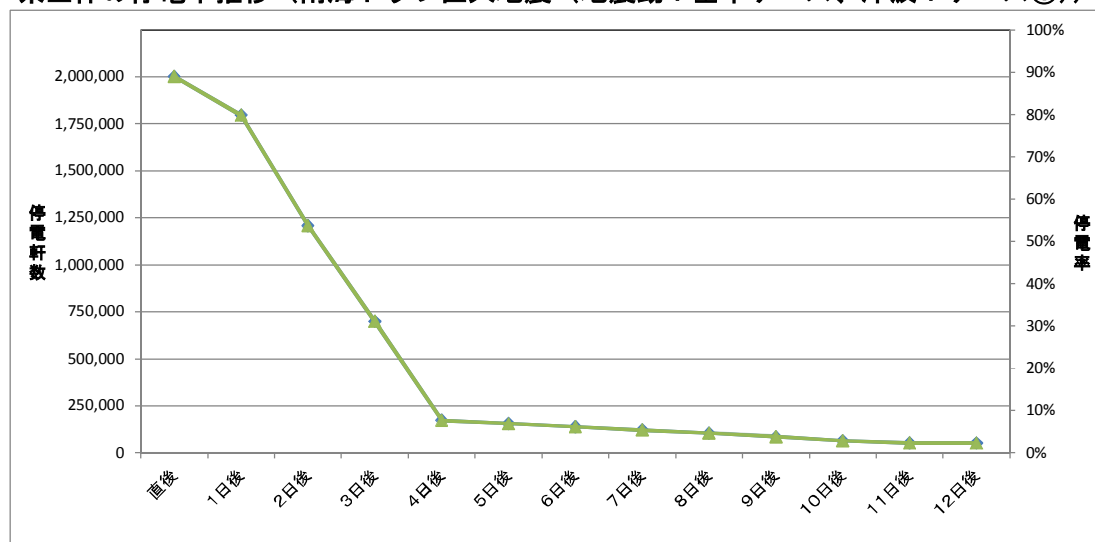
95%復旧<sup>注)</sup>: 1週間程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.32 停電軒数・停電率  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名	需要家数	直後		1日後		4日後		1週間後		
		停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	
県計	約 2,247,000	約 2,001,000	89%	約 1,795,000	80%	約 173,000	8%	約 122,000	5%	
賀茂	下田市	約 23,000	約 21,000	92%	約 19,000	84%	約 6,400	28%	約 6,400	28%
	東伊豆町	約 15,000	約 13,000	89%	約 12,000	79%	約 800	6%	約 800	6%
	河津町	約 7,800	約 7,000	90%	約 6,200	80%	約 700	9%	約 700	9%
	南伊豆町	約 9,200	約 8,400	91%	約 7,600	82%	約 1,900	21%	約 1,900	21%
	松崎町	約 6,100	約 5,700	93%	約 5,300	85%	約 2,100	35%	約 2,100	35%
	西伊豆町	約 8,400	約 7,900	94%	約 7,300	88%	約 3,700	44%	約 3,700	44%
	(小計)	約 69,000	約 63,000	91%	約 57,000	83%	約 16,000	23%	約 16,000	23%
東部	沼津市	約 132,000	約 118,000	89%	約 104,000	79%	約 7,300	6%	約 7,200	5%
	熱海市	約 45,000	約 40,000	89%	約 35,000	78%	約 1,100	2%	約 900	2%
	三島市	約 65,000	約 58,000	89%	約 51,000	78%	約 30	0%	約 20	0%
	富士宮市	約 79,000	約 70,000	89%	約 61,000	78%	約 200	0%	約 100	0%
	伊東市	約 68,000	約 60,000	89%	約 53,000	78%	約 500	1%	約 500	1%
	富士市	約 143,000	約 127,000	89%	約 111,000	78%	約 900	1%	約 600	0%
	御殿場市	約 51,000	約 46,000	89%	約 40,000	78%	約 40	0%	約 20	0%
	裾野市	約 32,000	約 28,000	89%	約 25,000	78%	約 30	0%	約 20	0%
	伊豆市	約 29,000	約 26,000	89%	約 23,000	79%	約 1,600	6%	約 1,600	6%
	伊豆の国市	約 34,000	約 31,000	89%	約 27,000	78%	約 10	0%	約 10	0%
	函南町	約 24,000	約 22,000	89%	約 19,000	78%	約 10	0%	-	0%
	清水町	約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	78%	約 10	0%	約 10	0%
	長泉町	約 24,000	約 21,000	89%	約 19,000	78%	約 20	0%	約 10	0%
	小山町	約 12,000	約 11,000	89%	約 9,600	78%	-	0%	-	0%
(小計)	約 756,000	約 673,000	89%	約 590,000	78%	約 12,000	2%	約 11,000	1%	
中部	静岡市葵区	約 147,000	約 131,000	89%	約 118,000	80%	約 24,000	16%	約 14,000	9%
	静岡市駿河区	約 124,000	約 110,000	89%	約 100,000	80%	約 22,000	18%	約 13,000	10%
	静岡市清水区	約 138,000	約 124,000	89%	約 112,000	81%	約 24,000	17%	約 16,000	12%
	島田市	約 53,000	約 47,000	89%	約 43,000	80%	約 1,300	2%	約 700	1%
	焼津市	約 75,000	約 67,000	89%	約 60,000	81%	約 8,500	11%	約 5,600	8%
	藤枝市	約 76,000	約 67,000	89%	約 61,000	80%	約 4,200	6%	約 2,400	3%
	牧之原市	約 27,000	約 25,000	91%	約 23,000	85%	約 6,800	25%	約 6,400	23%
	吉田町	約 16,000	約 14,000	90%	約 13,000	82%	約 2,000	13%	約 1,800	12%
	川根本町	約 6,100	約 5,400	89%	約 4,900	80%	-	0%	-	0%
	(小計)	約 663,000	約 590,000	89%	約 536,000	81%	約 93,000	14%	約 60,000	9%
西部	浜松市中区	約 155,000	約 138,000	89%	約 125,000	81%	約 17,000	11%	約 10,000	7%
	浜松市東区	約 72,000	約 64,000	89%	約 58,000	80%	約 3,200	4%	約 1,800	3%
	浜松市西区	約 58,000	約 52,000	90%	約 48,000	82%	約 7,800	13%	約 6,300	11%
	浜松市南区	約 53,000	約 47,000	89%	約 43,000	81%	約 4,600	9%	約 3,500	7%
	浜松市北区	約 56,000	約 50,000	89%	約 45,000	81%	約 900	2%	約 700	1%
	浜松市浜北区	約 45,000	約 40,000	89%	約 36,000	80%	約 1,000	2%	約 600	1%
	浜松市天竜区	約 26,000	約 23,000	89%	約 21,000	80%	約 100	0%	約 60	0%
	磐田市	約 89,000	約 79,000	89%	約 72,000	80%	約 6,200	7%	約 3,600	4%
	掛川市	約 66,000	約 59,000	89%	約 53,000	80%	約 3,200	5%	約 1,900	3%
	袋井市	約 47,000	約 42,000	89%	約 38,000	80%	約 2,200	5%	約 1,300	3%
	湖西市	約 35,000	約 32,000	90%	約 29,000	82%	約 4,400	12%	約 3,900	11%
	御前崎市	約 21,000	約 18,000	89%	約 17,000	81%	約 1,000	5%	約 900	5%
	菊川市	約 25,000	約 22,000	89%	約 20,000	80%	約 300	1%	約 200	1%
	森町	約 11,000	約 9,400	89%	約 8,500	80%	約 400	4%	約 300	2%
	(小計)	約 759,000	約 675,000	89%	約 613,000	81%	約 53,000	7%	約 35,000	5%

県全体の停電率推移(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))



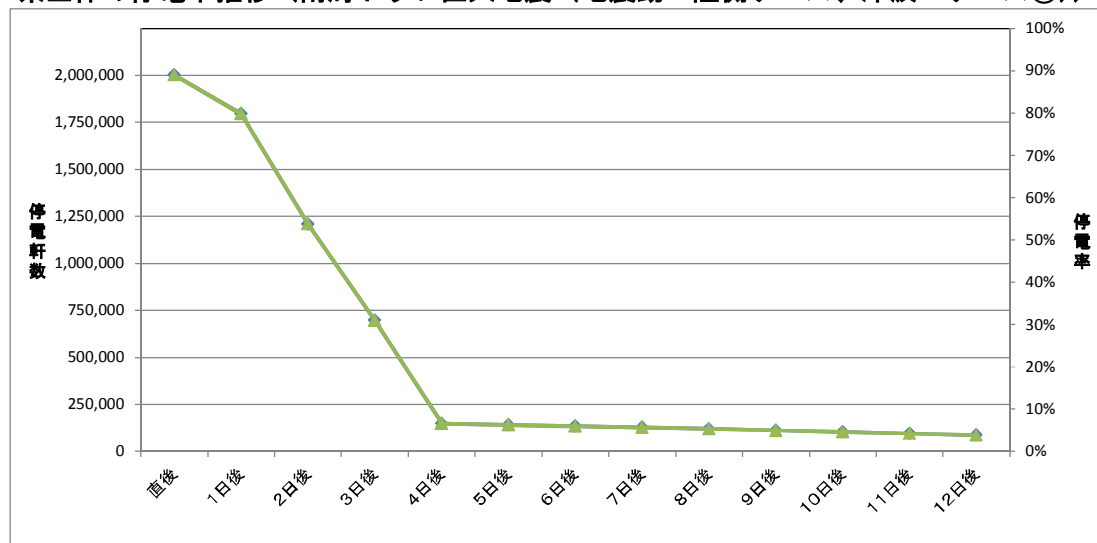
95%復旧<sup>注)</sup>: 1週間程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.33 停電軒数・停電率  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名	需要家数	直後		1日後		4日後		1週間後		
		停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	
県計	約 2,247,000	約 2,001,000	89%	約 1,795,000	80%	約 149,000	7%	約 127,000	6%	
賀茂	下田市	約 23,000	約 21,000	92%	約 19,000	84%	約 6,400	28%	約 6,400	28%
	東伊豆町	約 15,000	約 13,000	89%	約 12,000	79%	約 800	6%	約 800	6%
	河津町	約 7,800	約 7,000	90%	約 6,200	80%	約 700	9%	約 700	9%
	南伊豆町	約 9,200	約 8,400	91%	約 7,600	82%	約 1,900	21%	約 1,900	21%
	松崎町	約 6,100	約 5,700	93%	約 5,300	85%	約 2,100	35%	約 2,100	35%
	西伊豆町	約 8,400	約 7,900	94%	約 7,300	88%	約 3,700	44%	約 3,700	44%
	(小計)	約 69,000	約 63,000	91%	約 57,000	83%	約 16,000	23%	約 16,000	23%
東部	沼津市	約 132,000	約 118,000	89%	約 104,000	79%	約 7,200	5%	約 7,200	5%
	熱海市	約 45,000	約 40,000	89%	約 35,000	78%	約 1,000	2%	約 900	2%
	三島市	約 65,000	約 58,000	89%	約 51,000	78%	-	0%	-	0%
	富士宮市	約 79,000	約 70,000	89%	約 61,000	78%	約 30	0%	約 30	0%
	伊東市	約 68,000	約 60,000	89%	約 53,000	78%	約 500	1%	約 500	1%
	富士市	約 143,000	約 127,000	89%	約 111,000	78%	約 100	0%	約 100	0%
	御殿場市	約 51,000	約 46,000	89%	約 40,000	78%	約 40	0%	約 30	0%
	裾野市	約 32,000	約 28,000	89%	約 25,000	78%	約 10	0%	-	0%
	伊豆市	約 29,000	約 26,000	89%	約 23,000	79%	約 1,600	6%	約 1,600	6%
	伊豆の国市	約 34,000	約 31,000	89%	約 27,000	78%	-	0%	-	0%
	函南町	約 24,000	約 22,000	89%	約 19,000	78%	-	0%	-	0%
	清水町	約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	78%	-	0%	-	0%
	長泉町	約 24,000	約 21,000	89%	約 19,000	78%	-	0%	-	0%
	小山町	約 12,000	約 11,000	89%	約 9,600	78%	-	0%	-	0%
(小計)	約 756,000	約 673,000	89%	約 590,000	78%	約 10,000	1%	約 10,000	1%	
中部	静岡市葵区	約 147,000	約 131,000	89%	約 118,000	80%	約 5,700	4%	約 4,400	3%
	静岡市駿河区	約 124,000	約 110,000	89%	約 100,000	80%	約 3,500	3%	約 2,800	2%
	静岡市清水区	約 138,000	約 124,000	89%	約 112,000	81%	約 7,800	6%	約 7,400	5%
	島田市	約 53,000	約 47,000	89%	約 43,000	80%	約 200	0%	約 200	0%
	焼津市	約 75,000	約 67,000	89%	約 60,000	81%	約 3,400	5%	約 3,000	4%
	藤枝市	約 76,000	約 67,000	89%	約 61,000	80%	約 600	1%	約 500	1%
	牧之原市	約 27,000	約 25,000	91%	約 23,000	85%	約 6,300	23%	約 6,200	23%
	吉田町	約 16,000	約 14,000	90%	約 13,000	82%	約 1,700	11%	約 1,600	11%
	川根本町	約 6,100	約 5,400	89%	約 4,900	80%	約 10	0%	約 10	0%
	(小計)	約 663,000	約 590,000	89%	約 536,000	81%	約 29,000	4%	約 26,000	4%
西部	浜松市中区	約 155,000	約 138,000	89%	約 125,000	81%	約 32,000	21%	約 25,000	16%
	浜松市東区	約 72,000	約 64,000	89%	約 58,000	80%	約 7,900	11%	約 6,100	8%
	浜松市西区	約 58,000	約 52,000	90%	約 48,000	82%	約 12,000	21%	約 11,000	18%
	浜松市南区	約 53,000	約 47,000	89%	約 43,000	81%	約 6,100	12%	約 5,200	10%
	浜松市北区	約 56,000	約 50,000	89%	約 45,000	81%	約 4,100	7%	約 3,300	6%
	浜松市浜北区	約 45,000	約 40,000	89%	約 36,000	80%	約 4,800	11%	約 3,700	8%
	浜松市天竜区	約 26,000	約 23,000	89%	約 21,000	80%	約 800	3%	約 600	2%
	磐田市	約 89,000	約 79,000	89%	約 72,000	80%	約 10,000	11%	約 8,000	9%
	掛川市	約 66,000	約 59,000	89%	約 53,000	80%	約 3,500	5%	約 2,700	4%
	袋井市	約 47,000	約 42,000	89%	約 38,000	80%	約 2,300	5%	約 1,800	4%
	湖西市	約 35,000	約 32,000	90%	約 29,000	82%	約 7,100	20%	約 6,200	18%
	御前崎市	約 21,000	約 18,000	89%	約 17,000	81%	約 900	4%	約 900	4%
	菊川市	約 25,000	約 22,000	89%	約 20,000	80%	約 400	2%	約 300	1%
	森町	約 11,000	約 9,400	89%	約 8,500	80%	約 900	8%	約 700	6%
	(小計)	約 759,000	約 675,000	89%	約 613,000	81%	約 93,000	12%	約 75,000	10%

県全体の停電率推移(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))



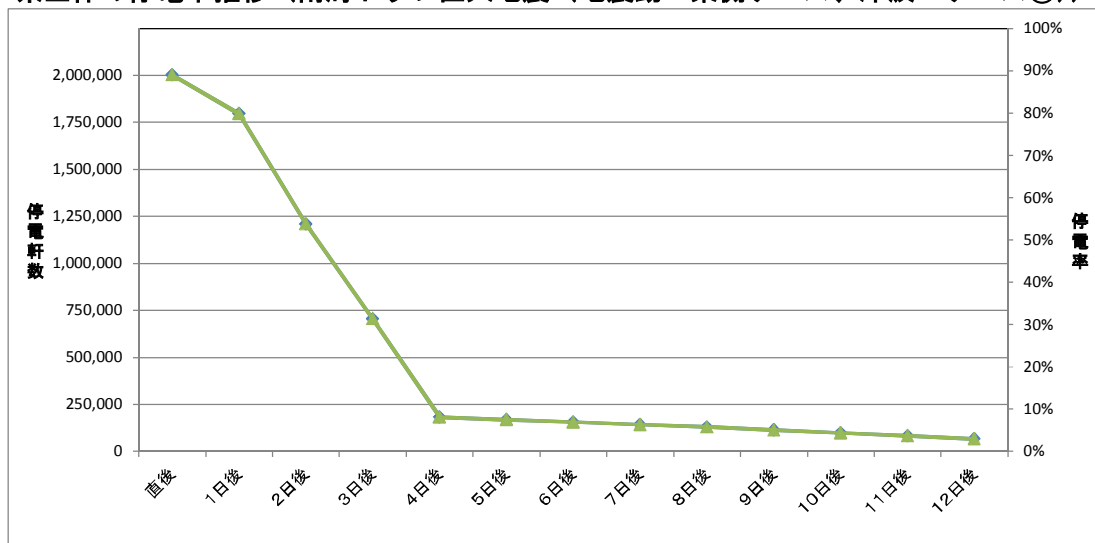
95%復旧<sup>注)</sup>: 1週間程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.34 停電軒数・停電率  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名	需要家数	直後		1日後		4日後		1週間後		
		停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	
県計	約 2,247,000	約 2,001,000	89%	約 1,795,000	80%	約 182,000	8%	約 142,000	6%	
賀茂	下田市	約 23,000	約 21,000	92%	約 19,000	84%	約 6,400	28%	約 6,400	28%
	東伊豆町	約 15,000	約 13,000	89%	約 12,000	79%	約 800	6%	約 800	6%
	河津町	約 7,800	約 7,000	90%	約 6,200	80%	約 700	9%	約 700	9%
	南伊豆町	約 9,200	約 8,400	91%	約 7,600	82%	約 1,900	21%	約 1,900	21%
	松崎町	約 6,100	約 5,700	93%	約 5,300	85%	約 2,100	35%	約 2,100	35%
	西伊豆町	約 8,400	約 7,900	94%	約 7,300	88%	約 3,700	44%	約 3,700	44%
	(小計)	約 69,000	約 63,000	91%	約 57,000	83%	約 16,000	23%	約 16,000	23%
東部	沼津市	約 132,000	約 118,000	89%	約 104,000	79%	約 8,000	6%	約 7,700	6%
	熱海市	約 45,000	約 40,000	89%	約 35,000	78%	約 1,300	3%	約 1,100	2%
	三島市	約 65,000	約 58,000	89%	約 51,000	78%	約 50	0%	約 40	0%
	富士宮市	約 79,000	約 70,000	89%	約 61,000	78%	約 1,700	2%	約 1,200	1%
	伊東市	約 68,000	約 60,000	89%	約 53,000	78%	約 500	1%	約 500	1%
	富士市	約 143,000	約 127,000	89%	約 111,000	78%	約 3,600	3%	約 2,500	2%
	御殿場市	約 51,000	約 46,000	89%	約 40,000	78%	約 90	0%	約 60	0%
	裾野市	約 32,000	約 28,000	89%	約 25,000	78%	約 100	0%	約 80	0%
	伊豆市	約 29,000	約 26,000	89%	約 23,000	79%	約 1,600	6%	約 1,600	6%
	伊豆の国市	約 34,000	約 31,000	89%	約 27,000	78%	約 30	0%	約 20	0%
	函南町	約 24,000	約 22,000	89%	約 19,000	78%	約 10	0%	約 10	0%
	清水町	約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	78%	約 20	0%	約 10	0%
	長泉町	約 24,000	約 21,000	89%	約 19,000	78%	約 30	0%	約 20	0%
	小山町	約 12,000	約 11,000	89%	約 9,600	78%	約 10	0%	約 10	0%
(小計)	約 756,000	約 673,000	89%	約 590,000	78%	約 17,000	2%	約 15,000	2%	
中部	静岡市葵区	約 147,000	約 131,000	89%	約 118,000	80%	約 18,000	12%	約 12,000	8%
	静岡市駿河区	約 124,000	約 110,000	89%	約 100,000	80%	約 17,000	13%	約 12,000	9%
	静岡市清水区	約 138,000	約 124,000	89%	約 112,000	81%	約 32,000	23%	約 24,000	17%
	島田市	約 53,000	約 47,000	89%	約 43,000	80%	約 1,300	2%	約 900	2%
	焼津市	約 75,000	約 67,000	89%	約 60,000	81%	約 5,000	7%	約 4,000	5%
	藤枝市	約 76,000	約 67,000	89%	約 61,000	80%	約 2,100	3%	約 1,500	2%
	牧之原市	約 27,000	約 25,000	91%	約 23,000	85%	約 7,900	29%	約 7,200	26%
	吉田町	約 16,000	約 14,000	90%	約 13,000	82%	約 2,300	15%	約 2,100	13%
	川根本町	約 6,100	約 5,400	89%	約 4,900	80%	約 10	0%	-	0%
	(小計)	約 663,000	約 590,000	89%	約 536,000	81%	約 84,000	13%	約 63,000	10%
西部	浜松市中区	約 155,000	約 138,000	89%	約 125,000	81%	約 18,000	12%	約 13,000	8%
	浜松市東区	約 72,000	約 64,000	89%	約 58,000	80%	約 4,000	5%	約 2,800	4%
	浜松市西区	約 58,000	約 52,000	90%	約 48,000	82%	約 9,800	17%	約 8,100	14%
	浜松市南区	約 53,000	約 47,000	89%	約 43,000	81%	約 4,500	8%	約 3,700	7%
	浜松市北区	約 56,000	約 50,000	89%	約 45,000	81%	約 1,700	3%	約 1,300	2%
	浜松市浜北区	約 45,000	約 40,000	89%	約 36,000	80%	約 1,600	4%	約 1,100	3%
	浜松市天竜区	約 26,000	約 23,000	89%	約 21,000	80%	約 200	1%	約 100	0%
	磐田市	約 89,000	約 79,000	89%	約 72,000	80%	約 7,100	8%	約 5,000	6%
	掛川市	約 66,000	約 59,000	89%	約 53,000	80%	約 4,900	7%	約 3,400	5%
	袋井市	約 47,000	約 42,000	89%	約 38,000	80%	約 2,700	6%	約 1,900	4%
	湖西市	約 35,000	約 32,000	90%	約 29,000	82%	約 6,700	19%	約 5,600	16%
	御前崎市	約 21,000	約 18,000	89%	約 17,000	81%	約 1,800	9%	約 1,500	7%
	菊川市	約 25,000	約 22,000	89%	約 20,000	80%	約 1,200	5%	約 800	3%
	森町	約 11,000	約 9,400	89%	約 8,500	80%	約 800	7%	約 500	5%
(小計)	約 759,000	約 675,000	89%	約 613,000	81%	約 65,000	9%	約 48,000	6%	

県全体の停電率推移(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))



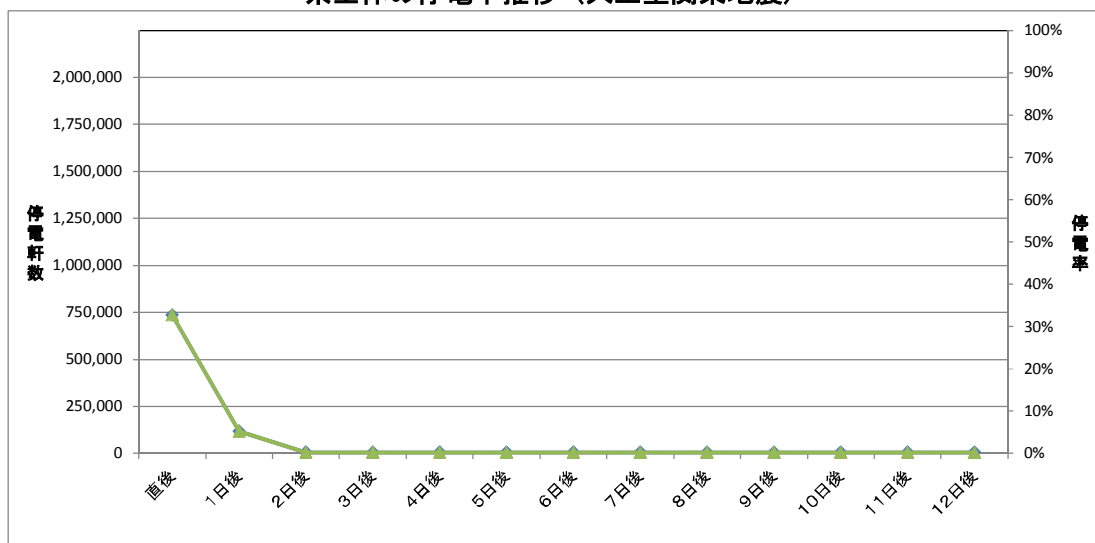
95%復旧<sup>注)</sup>: 1週間程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.35 停電軒数・停電率  
(大正型関東地震)

市町名	需要家数	直後		1日後		4日後		1週間後		
		停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	
県計	約 2,247,000	約 735,000	33%	約 117,000	5%	約 4,900	0%	約 4,900	0%	
賀茂	下田市	約 23,000	約 20,000	89%	約 3,400	15%	約 300	2%	約 300	2%
	東伊豆町	約 15,000	約 13,000	89%	約 2,000	14%	約 20	0%	約 20	0%
	河津町	約 7,800	約 6,900	89%	約 1,100	14%	約 20	0%	約 20	0%
	南伊豆町	約 9,200	約 8,200	89%	約 1,300	14%	-	0%	-	0%
	松崎町	約 6,100	約 5,500	89%	約 800	14%	-	0%	-	0%
	西伊豆町	約 8,400	約 7,400	89%	約 1,100	14%	-	0%	-	0%
	(小計)	約 69,000	約 61,000	89%	約 9,700	14%	約 400	1%	約 400	1%
	沼津市	約 132,000	約 117,000	89%	約 18,000	14%	約 400	0%	約 400	0%
	熱海市	約 45,000	約 40,000	89%	約 7,300	16%	約 1,400	3%	約 1,400	3%
	三島市	約 65,000	約 58,000	89%	約 8,900	14%	-	0%	-	0%
東部	富士宮市	約 79,000	約 70,000	89%	約 11,000	14%	-	0%	-	0%
	伊東市	約 68,000	約 60,000	89%	約 10,000	15%	約 1,200	2%	約 1,200	2%
	富士市	約 143,000	約 127,000	89%	約 20,000	14%	約 10	0%	約 10	0%
	御殿場市	約 51,000	約 46,000	89%	約 7,000	14%	-	0%	-	0%
	裾野市	約 32,000	約 28,000	89%	約 4,400	14%	-	0%	-	0%
	伊豆市	約 29,000	約 25,000	89%	約 3,900	14%	-	0%	-	0%
	伊豆の国市	約 34,000	約 31,000	89%	約 4,700	14%	-	0%	-	0%
	函南町	約 24,000	約 22,000	89%	約 3,300	14%	-	0%	-	0%
	清水町	約 18,000	約 16,000	89%	約 2,500	14%	-	0%	-	0%
	長泉町	約 24,000	約 21,000	89%	約 3,300	14%	-	0%	-	0%
	小山町	約 12,000	約 11,000	89%	約 1,700	14%	-	0%	-	0%
	(小計)	約 756,000	約 672,000	89%	約 106,000	14%	約 3,000	0%	約 3,000	0%
	中部	静岡市葵区	約 147,000	-	0%	-	0%	-	0%	-
静岡市駿河区		約 124,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
静岡市清水区		約 138,000	約 1,000	1%	約 1,000	1%	約 1,000	1%	約 1,000	1%
島田市		約 53,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
焼津市		約 75,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
藤枝市		約 76,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
牧之原市		約 27,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
吉田町		約 16,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
川根本町		約 6,100	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
(小計)		約 663,000	約 1,000	0%	約 1,000	0%	約 1,000	0%	約 1,000	0%
西部	浜松市中区	約 155,000	約 100	0%	約 100	0%	約 100	0%	約 100	0%
	浜松市東区	約 72,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	浜松市西区	約 58,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	浜松市南区	約 53,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	浜松市北区	約 56,000	約 400	1%	約 400	1%	約 400	1%	約 400	1%
	浜松市浜北区	約 45,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	浜松市天竜区	約 26,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	磐田市	約 89,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	掛川市	約 66,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	袋井市	約 47,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	湖西市	約 35,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	御前崎市	約 21,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	菊川市	約 25,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
森町	約 11,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
(小計)	約 759,000	約 500	0%	約 500	0%	約 500	0%	約 500	0%	

県全体の停電率推移 (大正型関東地震)



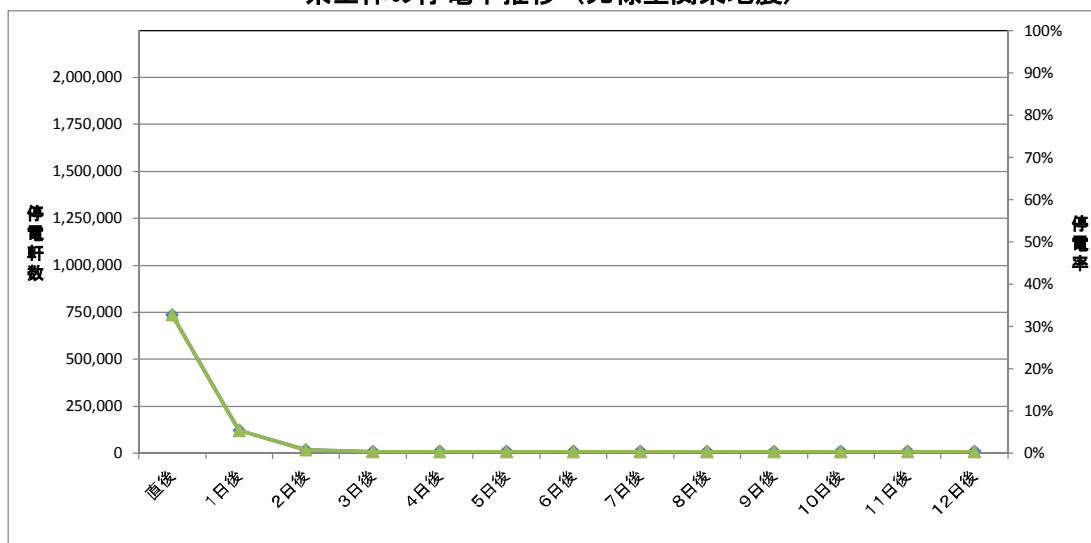
95%復旧<sup>注)</sup> : 数日程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.36 停電軒数・停電率  
(元禄型関東地震)

市町名	需要家数	直後		1日後		4日後		1週間後		
		停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	
県計	約 2,247,000	約 736,000	33%	約 122,000	5%	約 9,300	0%	約 9,300	0%	
賀茂	下田市	約 23,000	約 20,000	89%	約 4,100	18%	約 1,200	5%	約 1,200	5%
	東伊豆町	約 15,000	約 13,000	89%	約 2,100	14%	約 100	1%	約 100	1%
	河津町	約 7,800	約 6,900	89%	約 1,100	15%	約 100	1%	約 100	1%
	南伊豆町	約 9,200	約 8,200	89%	約 1,500	16%	約 300	3%	約 300	3%
	松崎町	約 6,100	約 5,500	89%	約 900	14%	約 10	0%	約 10	0%
	西伊豆町	約 8,400	約 7,400	89%	約 1,100	14%	-	0%	-	0%
	(小計)	約 69,000	約 61,000	89%	約 11,000	16%	約 1,600	2%	約 1,600	2%
	沼津市	約 132,000	約 117,000	89%	約 19,000	14%	約 1,100	1%	約 1,100	1%
	熱海市	約 45,000	約 40,000	89%	約 8,800	20%	約 2,200	5%	約 2,200	5%
	三島市	約 65,000	約 58,000	89%	約 8,900	14%	-	0%	-	0%
東部	富士宮市	約 79,000	約 70,000	89%	約 11,000	14%	-	0%	-	0%
	伊東市	約 68,000	約 60,000	89%	約 11,000	16%	約 2,100	3%	約 2,100	3%
	富士市	約 143,000	約 127,000	89%	約 20,000	14%	約 10	0%	約 10	0%
	御殿場市	約 51,000	約 46,000	89%	約 7,000	14%	-	0%	-	0%
	裾野市	約 32,000	約 28,000	89%	約 4,400	14%	-	0%	-	0%
	伊豆市	約 29,000	約 25,000	89%	約 3,900	14%	-	0%	-	0%
	伊豆の国市	約 34,000	約 31,000	89%	約 4,700	14%	-	0%	-	0%
	函南町	約 24,000	約 22,000	89%	約 3,300	14%	-	0%	-	0%
	清水町	約 18,000	約 16,000	89%	約 2,500	14%	-	0%	-	0%
	長泉町	約 24,000	約 21,000	89%	約 3,300	14%	-	0%	-	0%
	小山町	約 12,000	約 11,000	89%	約 1,700	14%	-	0%	-	0%
	(小計)	約 756,000	約 672,000	89%	約 109,000	14%	約 5,500	1%	約 5,500	1%
	中部	静岡市葵区	約 147,000	約 10	0%	約 10	0%	-	0%	-
静岡市駿河区		約 124,000	約 10	0%	約 10	0%	約 10	0%	約 10	0%
静岡市清水区		約 138,000	約 1,500	1%	約 1,500	1%	約 1,500	1%	約 1,500	1%
島田市		約 53,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
焼津市		約 75,000	約 90	0%	約 90	0%	約 90	0%	約 90	0%
藤枝市		約 76,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
牧之原市		約 27,000	約 30	0%	約 30	0%	約 30	0%	約 30	0%
吉田町		約 16,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
川根本町		約 6,100	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
(小計)		約 663,000	約 1,600	0%	約 1,600	0%	約 1,600	0%	約 1,600	0%
西部	浜松市中区	約 155,000	約 100	0%	約 100	0%	約 100	0%	約 100	0%
	浜松市東区	約 72,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	浜松市西区	約 58,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	浜松市南区	約 53,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	浜松市北区	約 56,000	約 400	1%	約 400	1%	約 400	1%	約 400	1%
	浜松市浜北区	約 45,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	浜松市天竜区	約 26,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	磐田市	約 89,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	掛川市	約 66,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	袋井市	約 47,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	湖西市	約 35,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	御前崎市	約 21,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	菊川市	約 25,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
森町	約 11,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
(小計)	約 759,000	約 500	0%	約 500	0%	約 500	0%	約 500	0%	

県全体の停電率推移 (元禄型関東地震)



95%復旧<sup>注)</sup> : 数日程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。



4 通信

表 II-2.37 固定電話の被害数  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名	電話電柱			
	電話柱本数	被害本数	被害率	
県計	約 323,000	約 7,400	2.3%	
賀茂	下田市	約 2,500	-	0.0%
	東伊豆町	約 1,900	-	0.0%
	河津町	約 1,300	-	0.0%
	南伊豆町	約 2,100	-	0.0%
	松崎町	約 1,300	約 10	0.5%
	西伊豆町	約 1,300	-	0.1%
	(小計)	約 10,000	約 10	0.1%
東部	沼津市	約 13,000	約 30	0.3%
	熱海市	約 2,300	-	0.0%
	三島市	約 3,800	-	0.1%
	富士宮市	約 12,000	約 60	0.5%
	伊東市	約 6,100	-	0.0%
	富士市	約 15,000	約 60	0.4%
	御殿場市	約 6,400	約 10	0.1%
	裾野市	約 3,000	-	0.2%
	伊豆市	約 5,100	-	0.1%
	伊豆の国市	約 4,600	-	0.1%
	函南町	約 2,800	-	0.0%
	清水町	約 1,600	-	0.0%
	長泉町	約 2,600	-	0.1%
	小山町	約 2,200	-	0.0%
(小計)	約 80,000	約 200	0.2%	
中部	静岡市葵区	約 21,000	約 600	3.0%
	静岡市駿河区	約 11,000	約 400	3.4%
	静岡市清水区	約 19,000	約 500	2.5%
	島田市	約 11,000	約 300	2.8%
	焼津市	約 11,000	約 500	4.7%
	藤枝市	約 11,000	約 500	4.5%
	牧之原市	約 6,000	約 200	2.8%
	吉田町	約 2,600	約 50	2.0%
	川根本町	約 3,700	-	0.1%
	(小計)	約 96,000	約 3,000	3.2%
西部	浜松市中区	約 20,000	約 800	3.9%
	浜松市東区	約 7,900	約 200	2.7%
	浜松市西区	約 7,500	約 200	3.0%
	浜松市南区	約 10,000	約 500	4.5%
	浜松市北区	約 9,600	約 80	0.8%
	浜松市浜北区	約 7,600	約 70	0.9%
	浜松市天竜区	約 14,000	約 40	0.3%
	磐田市	約 18,000	約 700	3.9%
	掛川市	約 13,000	約 600	4.2%
	袋井市	約 8,800	約 500	6.1%
	湖西市	約 5,800	約 100	2.6%
	御前崎市	約 4,500	約 90	2.1%
	菊川市	約 4,900	約 100	2.6%
	森町	約 3,300	約 90	2.7%
(小計)	約 136,000	約 4,200	3.0%	

※津波で被災した地域以外での電柱被害

表 II-2.38 固定電話の被害数  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名		電話電柱		
		電話柱本数	被害本数	被害率
県計		約 323,000	約 7,200	2.2%
賀茂	下田市	約 2,500	-	0.0%
	東伊豆町	約 1,900	-	0.0%
	河津町	約 1,300	-	0.0%
	南伊豆町	約 2,100	-	0.0%
	松崎町	約 1,300	-	0.2%
	西伊豆町	約 1,300	-	0.0%
	(小計)	約 10,000	-	0.0%
	東部	沼津市	約 13,000	約 30
熱海市		約 2,300	-	0.0%
三島市		約 3,800	-	0.1%
富士宮市		約 12,000	約 60	0.5%
伊東市		約 6,100	-	0.0%
富士市		約 15,000	約 60	0.4%
御殿場市		約 6,400	約 10	0.1%
裾野市		約 3,000	-	0.2%
伊豆市		約 5,100	-	0.1%
伊豆の国市		約 4,600	-	0.1%
函南町		約 2,800	-	0.0%
清水町		約 1,600	-	0.0%
長泉町		約 2,600	-	0.1%
小山町		約 2,200	-	0.0%
(小計)		約 80,000	約 200	0.2%
中部	静岡市葵区	約 21,000	約 600	3.0%
	静岡市駿河区	約 11,000	約 400	3.3%
	静岡市清水区	約 19,000	約 400	2.4%
	島田市	約 11,000	約 300	2.8%
	焼津市	約 11,000	約 500	4.6%
	藤枝市	約 11,000	約 500	4.5%
	牧之原市	約 6,000	約 100	2.3%
	吉田町	約 2,600	約 50	1.8%
	川根本町	約 3,700	-	0.1%
	(小計)	約 96,000	約 3,000	3.1%
西部	浜松市中区	約 20,000	約 800	3.9%
	浜松市東区	約 7,900	約 200	2.7%
	浜松市西区	約 7,500	約 200	2.8%
	浜松市南区	約 10,000	約 400	4.4%
	浜松市北区	約 9,600	約 80	0.8%
	浜松市浜北区	約 7,600	約 70	0.9%
	浜松市天竜区	約 14,000	約 40	0.3%
	磐田市	約 18,000	約 700	3.9%
	掛川市	約 13,000	約 600	4.2%
	袋井市	約 8,800	約 500	6.1%
	湖西市	約 5,800	約 100	2.3%
	御前崎市	約 4,500	約 90	2.0%
	菊川市	約 4,900	約 100	2.6%
	森町	約 3,300	約 90	2.7%
	(小計)	約 136,000	約 4,100	3.0%

※津波で被災した地域以外での電柱被害

表 II-2.39 固定電話の被害数  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名		電話電柱		
		電話柱本数	被害本数	被害率
県計		約 323,000	約 8,100	2.5%
賀茂	下田市	約 2,500	-	0.0%
	東伊豆町	約 1,900	-	0.0%
	河津町	約 1,300	-	0.0%
	南伊豆町	約 2,100	-	0.0%
	松崎町	約 1,300	-	0.0%
	西伊豆町	約 1,300	-	0.0%
	(小計)	約 10,000	-	0.0%
	東部	沼津市	約 13,000	-
熱海市		約 2,300	-	0.0%
三島市		約 3,800	-	0.0%
富士宮市		約 12,000	-	0.0%
伊東市		約 6,100	-	0.0%
富士市		約 15,000	約 10	0.0%
御殿場市		約 6,400	約 10	0.1%
裾野市		約 3,000	-	0.0%
伊豆市		約 5,100	-	0.0%
伊豆の国市		約 4,600	-	0.0%
函南町		約 2,800	-	0.0%
清水町		約 1,600	-	0.0%
長泉町		約 2,600	-	0.0%
小山町		約 2,200	-	0.0%
(小計)		約 80,000	約 20	0.0%
中部	静岡市葵区	約 21,000	約 100	0.5%
	静岡市駿河区	約 11,000	約 60	0.6%
	静岡市清水区	約 19,000	約 40	0.2%
	島田市	約 11,000	約 100	1.0%
	焼津市	約 11,000	約 90	0.8%
	藤枝市	約 11,000	約 60	0.6%
	牧之原市	約 6,000	約 70	1.2%
	吉田町	約 2,600	約 10	0.4%
	川根本町	約 3,700	約 10	0.2%
	(小計)	約 96,000	約 600	0.6%
西部	浜松市中区	約 20,000	約 1,400	7.1%
	浜松市東区	約 7,900	約 500	6.9%
	浜松市西区	約 7,500	約 500	7.1%
	浜松市南区	約 10,000	約 600	6.0%
	浜松市北区	約 9,600	約 600	6.3%
	浜松市浜北区	約 7,600	約 500	6.0%
	浜松市天竜区	約 14,000	約 400	3.0%
	磐田市	約 18,000	約 1,100	6.1%
	掛川市	約 13,000	約 500	4.1%
	袋井市	約 8,800	約 500	5.6%
	湖西市	約 5,800	約 400	7.3%
	御前崎市	約 4,500	約 40	0.9%
	菊川市	約 4,900	約 100	2.9%
	森町	約 3,300	約 200	5.5%
	(小計)	約 136,000	約 7,500	5.5%

※津波で被災した地域以外での電柱被害

表 II-2.40 固定電話の被害数  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名		電話電柱		
		電話柱本数	被害本数	被害率
県計		約 323,000	約 8,300	2.6%
賀茂	下田市	約 2,500	-	0.1%
	東伊豆町	約 1,900	-	0.1%
	河津町	約 1,300	-	0.0%
	南伊豆町	約 2,100	-	0.0%
	松崎町	約 1,300	約 10	0.5%
	西伊豆町	約 1,300	-	0.3%
	(小計)	約 10,000	約 10	0.1%
	東部	沼津市	約 13,000	約 70
熱海市		約 2,300	-	0.1%
三島市		約 3,800	-	0.1%
富士宮市		約 12,000	約 100	1.1%
伊東市		約 6,100	約 10	0.1%
富士市		約 15,000	約 100	0.9%
御殿場市		約 6,400	約 20	0.3%
裾野市		約 3,000	約 10	0.2%
伊豆市		約 5,100	約 10	0.3%
伊豆の国市		約 4,600	約 10	0.1%
函南町		約 2,800	-	0.0%
清水町		約 1,600	-	0.0%
長泉町		約 2,600	-	0.2%
小山町		約 2,200	-	0.1%
(小計)		約 80,000	約 400	0.5%
中部	静岡市葵区	約 21,000	約 300	1.5%
	静岡市駿河区	約 11,000	約 200	2.1%
	静岡市清水区	約 19,000	約 700	3.6%
	島田市	約 11,000	約 300	2.7%
	焼津市	約 11,000	約 200	2.1%
	藤枝市	約 11,000	約 200	1.9%
	牧之原市	約 6,000	約 300	4.8%
	吉田町	約 2,600	約 50	2.1%
	川根本町	約 3,700	約 10	0.2%
	(小計)	約 96,000	約 2,300	2.4%
西部	浜松市中区	約 20,000	約 800	3.8%
	浜松市東区	約 7,900	約 300	3.2%
	浜松市西区	約 7,500	約 300	4.5%
	浜松市南区	約 10,000	約 400	3.8%
	浜松市北区	約 9,600	約 200	2.1%
	浜松市浜北区	約 7,600	約 100	1.4%
	浜松市天竜区	約 14,000	約 70	0.5%
	磐田市	約 18,000	約 800	4.2%
	掛川市	約 13,000	約 900	6.5%
	袋井市	約 8,800	約 600	7.0%
	湖西市	約 5,800	約 400	6.7%
	御前崎市	約 4,500	約 300	6.8%
	菊川市	約 4,900	約 400	7.8%
	森町	約 3,300	約 200	4.7%
	(小計)	約 136,000	約 5,600	4.1%

※津波で被災した地域以外での電柱被害

表 II-2.41 固定電話の被害数  
(大正型関東地震)

市町名		電話電柱		
		電話柱本数	被害本数	被害率
県計		約 323,000	約 400	0.1%
賀茂	下田市	約 2,500	-	0.0%
	東伊豆町	約 1,900	-	0.0%
	河津町	約 1,300	-	0.0%
	南伊豆町	約 2,100	-	0.0%
	松崎町	約 1,300	-	0.0%
	西伊豆町	約 1,300	-	0.0%
	(小計)	約 10,000	-	0.0%
	東部	沼津市	約 13,000	約 20
熱海市		約 2,300	約 50	2.1%
三島市		約 3,800	約 10	0.3%
富士宮市		約 12,000	-	0.0%
伊東市		約 6,100	約 10	0.2%
富士市		約 15,000	-	0.0%
御殿場市		約 6,400	約 200	2.8%
裾野市		約 3,000	約 20	0.5%
伊豆市		約 5,100	-	0.1%
伊豆の国市		約 4,600	約 10	0.2%
函南町		約 2,800	約 10	0.2%
清水町		約 1,600	-	0.0%
長泉町		約 2,600	-	0.2%
小山町		約 2,200	約 90	4.3%
(小計)		約 80,000	約 400	0.5%
中部	静岡市葵区	約 21,000	-	0.0%
	静岡市駿河区	約 11,000	-	0.0%
	静岡市清水区	約 19,000	-	0.0%
	島田市	約 11,000	-	0.0%
	焼津市	約 11,000	-	0.0%
	藤枝市	約 11,000	-	0.0%
	牧之原市	約 6,000	-	0.0%
	吉田町	約 2,600	-	0.0%
	川根本町	約 3,700	-	0.0%
	(小計)	約 96,000	-	0.0%
西部	浜松市中区	約 20,000	-	0.0%
	浜松市東区	約 7,900	-	0.0%
	浜松市西区	約 7,500	-	0.0%
	浜松市南区	約 10,000	-	0.0%
	浜松市北区	約 9,600	-	0.0%
	浜松市浜北区	約 7,600	-	0.0%
	浜松市天竜区	約 14,000	-	0.0%
	磐田市	約 18,000	-	0.0%
	掛川市	約 13,000	-	0.0%
	袋井市	約 8,800	-	0.0%
	湖西市	約 5,800	-	0.0%
	御前崎市	約 4,500	-	0.0%
	菊川市	約 4,900	-	0.0%
	森町	約 3,300	-	0.0%
	(小計)	約 136,000	-	0.0%

※津波で被災した地域以外での電柱被害

表 II-2.42 固定電話の被害数  
(元禄型関東地震)

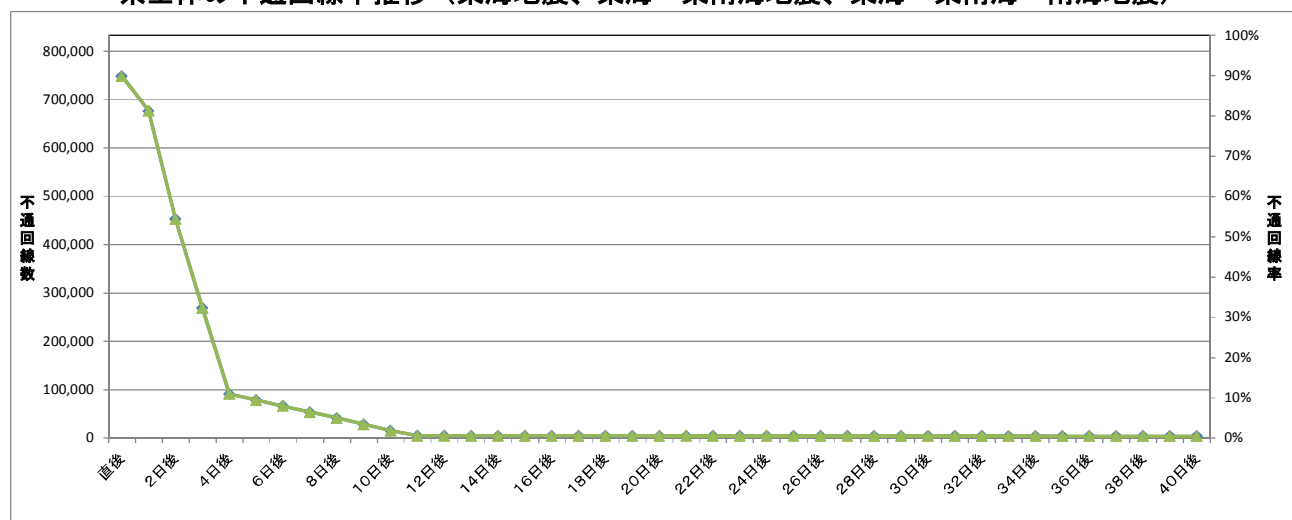
市町名		電話電柱		
		電話柱本数	被害本数	被害率
県計		約 323,000	約 700	0.2%
賀茂	下田市	約 2,500	-	0.0%
	東伊豆町	約 1,900	-	0.0%
	河津町	約 1,300	-	0.0%
	南伊豆町	約 2,100	-	0.0%
	松崎町	約 1,300	-	0.0%
	西伊豆町	約 1,300	-	0.0%
	(小計)	約 10,000	-	0.0%
	東部	沼津市	約 13,000	約 50
熱海市		約 2,300	約 70	3.3%
三島市		約 3,800	約 20	0.6%
富士宮市		約 12,000	-	0.0%
伊東市		約 6,100	約 60	1.0%
富士市		約 15,000	-	0.0%
御殿場市		約 6,400	約 300	4.1%
裾野市		約 3,000	約 40	1.4%
伊豆市		約 5,100	約 10	0.1%
伊豆の国市		約 4,600	約 10	0.3%
函南町		約 2,800	約 10	0.3%
清水町		約 1,600	約 10	0.0%
長泉町		約 2,600	約 20	0.6%
小山町		約 2,200	約 100	6.4%
(小計)		約 80,000	約 700	0.9%
中部	静岡市葵区	約 21,000	-	0.0%
	静岡市駿河区	約 11,000	-	0.0%
	静岡市清水区	約 19,000	-	0.0%
	島田市	約 11,000	-	0.0%
	焼津市	約 11,000	-	0.0%
	藤枝市	約 11,000	-	0.0%
	牧之原市	約 6,000	-	0.0%
	吉田町	約 2,600	-	0.0%
	川根本町	約 3,700	-	0.0%
	(小計)	約 96,000	-	0.0%
西部	浜松市中区	約 20,000	-	0.0%
	浜松市東区	約 7,900	-	0.0%
	浜松市西区	約 7,500	-	0.0%
	浜松市南区	約 10,000	-	0.0%
	浜松市北区	約 9,600	-	0.0%
	浜松市浜北区	約 7,600	-	0.0%
	浜松市天竜区	約 14,000	-	0.0%
	磐田市	約 18,000	-	0.0%
	掛川市	約 13,000	-	0.0%
	袋井市	約 8,800	-	0.0%
	湖西市	約 5,800	-	0.0%
	御前崎市	約 4,500	-	0.0%
	菊川市	約 4,900	-	0.0%
	森町	約 3,300	-	0.0%
	(小計)	約 136,000	-	0.0%

※津波で被災した地域以外での電柱被害

表 II-2.4.3 固定電話の不通回線数  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名	回線数(回線)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後			
		不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率		
県計	約 833,000	約 748,000	89%	約 677,000	81%	約 54,000	6%	約 4,700	1%		
賀茂	下田市	約 10,000	約 8,900	89%	約 7,900	79%	約 400	4%	約 400	4%	
	東伊豆町	約 6,900	約 6,200	89%	約 5,400	78%	約 10	0%	約 10	0%	
	河津町	約 3,700	約 3,300	89%	約 2,900	78%	約 10	0%	約 10	0%	
	南伊豆町	約 4,500	約 4,000	89%	約 3,500	78%	約 90	2%	約 90	2%	
	松崎町	約 3,400	約 3,000	90%	約 2,700	80%	約 300	8%	約 300	8%	
	西伊豆町	約 4,600	約 4,100	90%	約 3,700	81%	約 600	14%	約 600	14%	
	(小計)	約 33,000	約 30,000	89%	約 26,000	79%	約 1,400	4%	約 1,400	4%	
	東部	沼津市	約 46,000	約 41,000	89%	約 36,000	79%	約 1,800	4%	約 1,700	4%
		熱海市	約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	78%	約 100	1%	約 40	0%
		三島市	約 17,000	約 15,000	89%	約 13,000	78%	約 10	0%	-	0%
富士宮市		約 28,000	約 25,000	89%	約 22,000	78%	約 50	0%	-	0%	
伊東市		約 32,000	約 28,000	89%	約 25,000	78%	約 10	0%	約 10	0%	
富士市		約 50,000	約 44,000	89%	約 39,000	78%	約 200	0%	約 10	0%	
御殿場市		約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	78%	約 10	0%	-	0%	
裾野市		約 9,700	約 8,600	89%	約 7,500	78%	約 10	0%	-	0%	
伊豆市		約 14,000	約 12,000	89%	約 11,000	78%	約 300	3%	約 300	3%	
伊豆の国市		約 14,000	約 13,000	89%	約 11,000	78%	-	0%	-	0%	
函南町		約 8,600	約 7,700	89%	約 6,700	78%	-	0%	-	0%	
清水町		約 6,500	約 5,800	89%	約 5,100	78%	-	0%	-	0%	
長泉町		約 11,000	約 10,000	89%	約 8,900	78%	約 10	0%	-	0%	
小山町		約 6,900	約 6,100	89%	約 5,300	78%	-	0%	-	0%	
(小計)	約 280,000	約 249,000	89%	約 218,000	78%	約 2,500	1%	約 2,100	1%		
中部	静岡市葵区	約 65,000	約 60,000	92%	約 56,000	85%	約 11,000	17%	-	0%	
	静岡市駿河区	約 39,000	約 36,000	92%	約 34,000	86%	約 7,100	18%	約 10	0%	
	静岡市清水区	約 51,000	約 46,000	91%	約 43,000	84%	約 7,400	15%	約 400	1%	
	島田市	約 22,000	約 19,000	89%	約 18,000	81%	約 700	3%	-	0%	
	焼津市	約 26,000	約 23,000	90%	約 21,000	83%	約 2,700	10%	約 30	0%	
	藤枝市	約 27,000	約 25,000	90%	約 22,000	82%	約 1,900	7%	-	0%	
	牧之原市	約 12,000	約 11,000	90%	約 9,900	83%	約 1,500	13%	約 600	5%	
	吉田町	約 5,200	約 4,600	90%	約 4,200	82%	約 100	2%	-	0%	
	川根本町	約 3,300	約 2,900	89%	約 2,700	80%	-	0%	-	0%	
	(小計)	約 250,000	約 227,000	91%	約 210,000	84%	約 32,000	13%	約 1,000	0%	
西部	浜松市中区	約 64,000	約 58,000	91%	約 54,000	84%	約 7,800	12%	約 10	0%	
	浜松市東区	約 15,000	約 13,000	90%	約 12,000	82%	約 800	5%	-	0%	
	浜松市西区	約 15,000	約 14,000	90%	約 13,000	83%	約 1,300	8%	約 50	0%	
	浜松市南区	約 21,000	約 19,000	90%	約 17,000	82%	約 1,300	6%	-	0%	
	浜松市北区	約 17,000	約 15,000	89%	約 14,000	81%	約 200	1%	約 100	1%	
	浜松市浜北区	約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	81%	約 200	1%	-	0%	
	浜松市天竜区	約 13,000	約 12,000	89%	約 11,000	81%	約 30	0%	-	0%	
	磐田市	約 33,000	約 29,000	90%	約 27,000	83%	約 2,600	8%	-	0%	
	掛川市	約 23,000	約 20,000	90%	約 19,000	82%	約 1,400	6%	-	0%	
	袋井市	約 15,000	約 13,000	90%	約 12,000	82%	約 900	6%	-	0%	
	湖西市	約 13,000	約 12,000	90%	約 11,000	82%	約 600	5%	約 10	0%	
	御前崎市	約 9,600	約 8,600	89%	約 7,800	81%	約 70	1%	-	0%	
	菊川市	約 7,700	約 6,900	89%	約 6,300	81%	約 200	2%	-	0%	
	森町	約 5,800	約 5,200	90%	約 4,800	82%	約 100	2%	-	0%	
(小計)	約 270,000	約 242,000	90%	約 222,000	82%	約 18,000	6%	約 200	0%		

県全体の不通回線率推移 (東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)



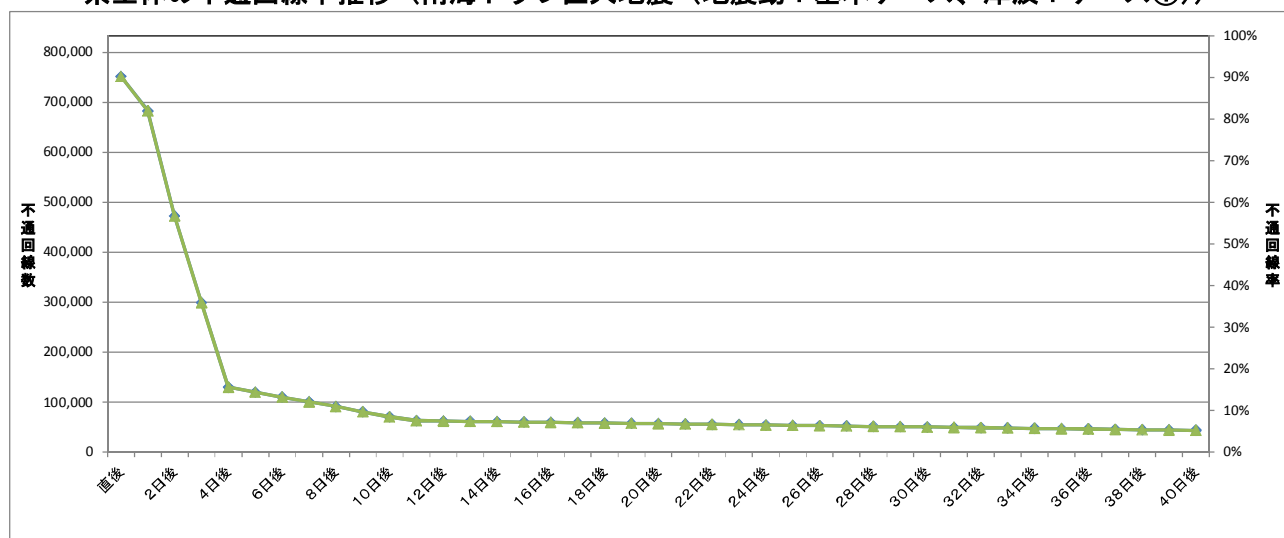
95%復旧(注) : 1週間程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.4.4 固定電話の不通回線数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名	回線数(回線)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後			
		不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率		
県計	約 833,000	約 752,000	90%	約 683,000	82%	約 101,000	12%	約 50,000	6%		
賀茂	下田市	約 10,000	約 9,400	94%	約 8,800	88%	約 4,600	45%	約 4,600	45%	
	東伊豆町	約 6,900	約 6,200	90%	約 5,600	80%	約 800	11%	約 800	11%	
	河津町	約 3,700	約 3,300	91%	約 3,000	82%	約 600	18%	約 600	18%	
	南伊豆町	約 4,500	約 4,200	93%	約 3,900	86%	約 1,700	39%	約 1,700	39%	
	松崎町	約 3,400	約 3,200	95%	約 3,100	90%	約 1,900	57%	約 1,900	57%	
	西伊豆町	約 4,600	約 4,400	97%	約 4,200	93%	約 3,200	70%	約 3,200	70%	
	(小計)	約 33,000	約 31,000	93%	約 29,000	86%	約 13,000	39%	約 13,000	39%	
	東部	沼津市	約 46,000	約 41,000	90%	約 37,000	80%	約 5,100	11%	約 5,000	11%
		熱海市	約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	78%	約 400	2%	約 300	2%
		三島市	約 17,000	約 15,000	89%	約 13,000	78%	約 10	0%	-	0%
富士宮市		約 28,000	約 25,000	89%	約 22,000	78%	約 50	0%	-	0%	
伊東市		約 32,000	約 29,000	89%	約 25,000	78%	約 400	1%	約 400	1%	
富士市		約 50,000	約 44,000	89%	約 39,000	78%	約 200	0%	約 30	0%	
御殿場市		約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	78%	約 10	0%	-	0%	
裾野市		約 9,700	約 8,600	89%	約 7,500	78%	約 10	0%	-	0%	
伊豆市		約 14,000	約 12,000	90%	約 11,000	80%	約 1,400	10%	約 1,400	10%	
伊豆の国市		約 14,000	約 13,000	89%	約 11,000	78%	-	0%	-	0%	
函南町		約 8,600	約 7,700	89%	約 6,700	78%	-	0%	-	0%	
清水町		約 6,500	約 5,800	89%	約 5,100	78%	-	0%	-	0%	
長泉町		約 11,000	約 10,000	89%	約 8,900	78%	約 10	0%	-	0%	
小山町		約 6,900	約 6,100	89%	約 5,300	78%	-	0%	-	0%	
(小計)	約 280,000	約 250,000	89%	約 219,000	78%	約 7,600	3%	約 7,100	3%		
中部	静岡市葵区	約 65,000	約 60,000	92%	約 56,000	85%	約 11,000	17%	-	0%	
	静岡市駿河区	約 39,000	約 36,000	92%	約 34,000	86%	約 12,000	31%	約 4,500	12%	
	静岡市清水区	約 51,000	約 46,000	92%	約 43,000	85%	約 15,000	29%	約 7,200	14%	
	島田市	約 22,000	約 19,000	89%	約 18,000	81%	約 700	3%	-	0%	
	焼津市	約 26,000	約 23,000	91%	約 21,000	84%	約 5,200	20%	約 2,400	10%	
	藤枝市	約 27,000	約 25,000	90%	約 22,000	82%	約 1,900	7%	-	0%	
	牧之原市	約 12,000	約 11,000	94%	約 11,000	89%	約 5,200	43%	約 4,600	39%	
	吉田町	約 5,200	約 4,700	91%	約 4,400	85%	約 1,300	25%	約 1,100	21%	
	川根本町	約 3,300	約 2,900	89%	約 2,700	80%	-	0%	-	0%	
	(小計)	約 250,000	約 228,000	91%	約 212,000	85%	約 52,000	21%	約 20,000	8%	
西部	浜松市中区	約 64,000	約 58,000	91%	約 54,000	84%	約 8,100	13%	約 400	1%	
	浜松市東区	約 15,000	約 13,000	90%	約 12,000	82%	約 800	5%	-	0%	
	浜松市西区	約 15,000	約 14,000	91%	約 13,000	85%	約 3,700	25%	約 2,600	17%	
	浜松市南区	約 21,000	約 19,000	91%	約 18,000	83%	約 3,600	17%	約 2,100	10%	
	浜松市北区	約 17,000	約 15,000	89%	約 14,000	81%	約 200	1%	約 100	1%	
	浜松市浜北区	約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	81%	約 200	1%	-	0%	
	浜松市天竜区	約 13,000	約 12,000	89%	約 11,000	81%	約 30	0%	-	0%	
	磐田市	約 33,000	約 29,000	90%	約 27,000	83%	約 4,500	14%	約 1,600	5%	
	掛川市	約 23,000	約 20,000	90%	約 19,000	82%	約 1,400	6%	約 20	0%	
	袋井市	約 15,000	約 13,000	90%	約 12,000	82%	約 900	6%	-	0%	
	湖西市	約 13,000	約 12,000	91%	約 11,000	85%	約 3,300	25%	約 2,700	20%	
	御前崎市	約 9,600	約 8,700	90%	約 7,900	83%	約 1,100	11%	約 900	9%	
	菊川市	約 7,700	約 6,900	89%	約 6,300	81%	約 200	2%	-	0%	
	森町	約 5,800	約 5,200	90%	約 4,800	82%	約 100	2%	-	0%	
(小計)	約 270,000	約 243,000	90%	約 223,000	83%	約 28,000	10%	約 10,000	4%		

県全体の不通回線率推移 (南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))



95%復旧注) : 2週間程度

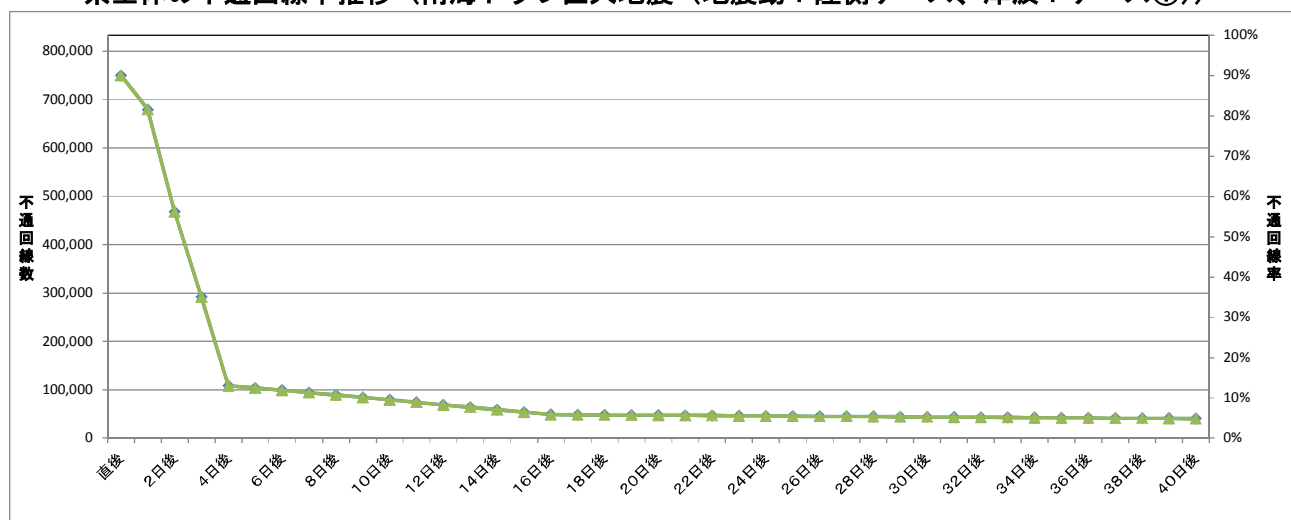
注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。



表 II-2.45 固定電話の不通回線数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名	回線数(回線)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後			
		不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率		
県計	約 833,000	約 750,000	90%	約 679,000	82%	約 94,000	11%	約 44,000	5%		
賀茂	下田市	約 10,000	約 9,400	94%	約 8,800	88%	約 4,600	45%	約 4,600	45%	
	東伊豆町	約 6,900	約 6,200	90%	約 5,600	80%	約 800	11%	約 800	11%	
	河津町	約 3,700	約 3,300	91%	約 3,000	82%	約 600	18%	約 600	18%	
	南伊豆町	約 4,500	約 4,200	93%	約 3,900	86%	約 1,700	39%	約 1,700	39%	
	松崎町	約 3,400	約 3,200	95%	約 3,100	90%	約 1,900	57%	約 1,900	57%	
	西伊豆町	約 4,600	約 4,400	97%	約 4,200	93%	約 3,200	70%	約 3,200	70%	
	(小計)	約 33,000	約 31,000	93%	約 29,000	86%	約 13,000	39%	約 13,000	39%	
	東部	沼津市	約 46,000	約 41,000	90%	約 37,000	80%	約 5,000	11%	約 5,000	11%
		熱海市	約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	78%	約 400	2%	約 300	2%
		三島市	約 17,000	約 15,000	89%	約 13,000	78%	-	0%	-	0%
富士宮市		約 28,000	約 25,000	89%	約 22,000	78%	約 10	0%	-	0%	
伊東市		約 32,000	約 29,000	89%	約 25,000	78%	約 400	1%	約 400	1%	
富士市		約 50,000	約 44,000	89%	約 39,000	78%	約 40	0%	約 30	0%	
御殿場市		約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	78%	約 10	0%	-	0%	
裾野市		約 9,700	約 8,600	89%	約 7,500	78%	-	0%	-	0%	
伊豆市		約 14,000	約 12,000	90%	約 11,000	80%	約 1,400	10%	約 1,400	10%	
伊豆の国市		約 14,000	約 13,000	89%	約 11,000	78%	-	0%	-	0%	
函南町		約 8,600	約 7,700	89%	約 6,700	78%	-	0%	-	0%	
清水町		約 6,500	約 5,800	89%	約 5,100	78%	-	0%	-	0%	
長泉町		約 11,000	約 10,000	89%	約 8,900	78%	-	0%	-	0%	
小山町		約 6,900	約 6,100	89%	約 5,300	78%	-	0%	-	0%	
(小計)	約 280,000	約 250,000	89%	約 219,000	78%	約 7,200	3%	約 7,100	3%		
中部	静岡市葵区	約 65,000	約 58,000	89%	約 53,000	81%	約 3,900	6%	-	0%	
	静岡市駿河区	約 39,000	約 35,000	89%	約 32,000	81%	約 2,200	6%	約 800	2%	
	静岡市清水区	約 51,000	約 46,000	90%	約 42,000	82%	約 4,800	9%	約 4,000	8%	
	島田市	約 22,000	約 19,000	89%	約 17,000	81%	約 200	1%	-	0%	
	焼津市	約 26,000	約 23,000	90%	約 21,000	82%	約 2,100	8%	約 1,300	5%	
	藤枝市	約 27,000	約 24,000	89%	約 22,000	81%	約 200	1%	-	0%	
	牧之原市	約 12,000	約 11,000	93%	約 11,000	88%	約 4,800	41%	約 4,600	38%	
	吉田町	約 5,200	約 4,700	91%	約 4,400	84%	約 1,100	20%	約 1,000	19%	
	川根本町	約 3,300	約 2,900	89%	約 2,700	80%	-	0%	-	0%	
	(小計)	約 250,000	約 224,000	90%	約 205,000	82%	約 19,000	8%	約 12,000	5%	
西部	浜松市中区	約 64,000	約 59,000	92%	約 55,000	86%	約 19,000	29%	約 300	1%	
	浜松市東区	約 15,000	約 14,000	91%	約 13,000	84%	約 2,600	17%	-	0%	
	浜松市西区	約 15,000	約 14,000	92%	約 13,000	87%	約 5,800	38%	約 3,100	20%	
	浜松市南区	約 21,000	約 19,000	91%	約 18,000	84%	約 4,700	22%	約 2,400	11%	
	浜松市北区	約 17,000	約 15,000	90%	約 14,000	83%	約 2,000	12%	約 100	1%	
	浜松市浜北区	約 18,000	約 16,000	90%	約 15,000	83%	約 2,900	16%	-	0%	
	浜松市天竜区	約 13,000	約 12,000	89%	約 11,000	81%	約 700	5%	-	0%	
	磐田市	約 33,000	約 30,000	91%	約 27,000	84%	約 7,200	22%	約 2,300	7%	
	掛川市	約 23,000	約 20,000	90%	約 19,000	82%	約 2,000	9%	約 20	0%	
	袋井市	約 15,000	約 13,000	90%	約 12,000	82%	約 1,300	9%	-	0%	
	湖西市	約 13,000	約 12,000	93%	約 12,000	87%	約 5,100	38%	約 3,200	24%	
	御前崎市	約 9,600	約 8,600	90%	約 7,900	82%	約 900	9%	約 800	9%	
	菊川市	約 7,700	約 6,900	89%	約 6,300	81%	約 300	3%	-	0%	
森町	約 5,800	約 5,300	90%	約 4,800	83%	約 800	13%	-	0%		
(小計)	約 270,000	約 245,000	91%	約 227,000	84%	約 55,000	20%	約 12,000	5%		

県全体の不通回線率推移 (南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))



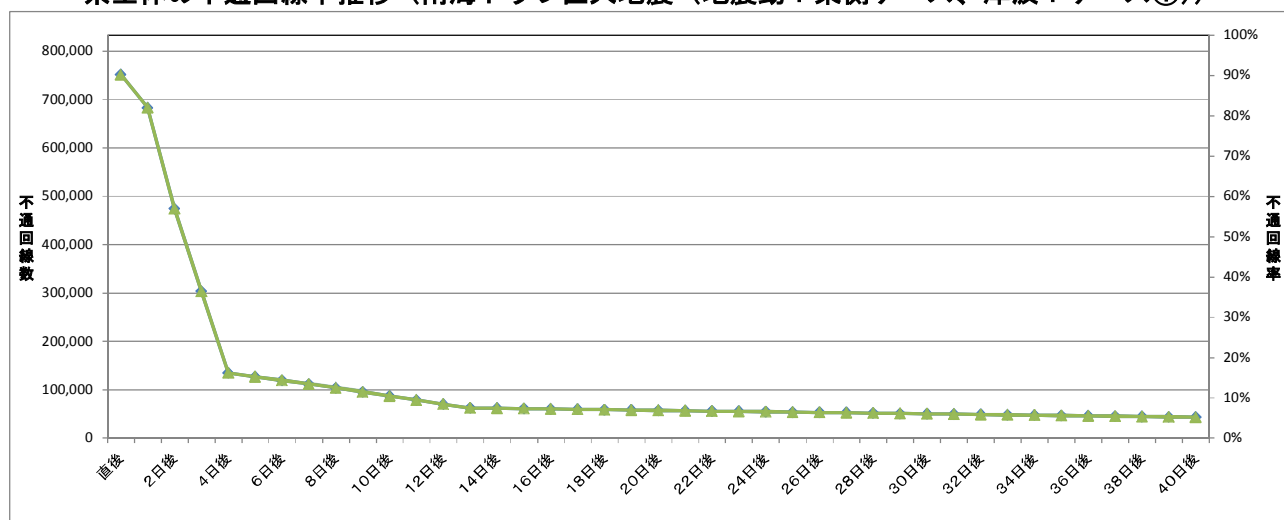
95%復旧(注): 2週間程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.46 固定電話の不通回線数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名	回線数(回線)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後			
		不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率		
県計	約 833,000	約 752,000	90%	約 683,000	82%	約 112,000	13%	約 51,000	6%		
賀茂	下田市	約 10,000	約 9,400	94%	約 8,800	88%	約 4,600	46%	約 4,600	45%	
	東伊豆町	約 6,900	約 6,200	90%	約 5,600	80%	約 800	11%	約 800	11%	
	河津町	約 3,700	約 3,300	91%	約 3,000	82%	約 600	18%	約 600	18%	
	南伊豆町	約 4,500	約 4,200	93%	約 3,900	86%	約 1,700	39%	約 1,700	39%	
	松崎町	約 3,400	約 3,200	95%	約 3,100	91%	約 1,900	57%	約 1,900	57%	
	西伊豆町	約 4,600	約 4,400	97%	約 4,200	93%	約 3,200	70%	約 3,200	70%	
	(小計)	約 33,000	約 31,000	93%	約 29,000	86%	約 13,000	39%	約 13,000	39%	
	東部	沼津市	約 46,000	約 41,000	90%	約 37,000	80%	約 5,600	12%	約 5,200	11%
		熱海市	約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	78%	約 500	3%	約 300	2%
		三島市	約 17,000	約 15,000	89%	約 13,000	78%	約 10	0%	-	0%
富士宮市		約 28,000	約 25,000	89%	約 22,000	78%	約 900	3%	-	0%	
伊東市		約 32,000	約 29,000	89%	約 25,000	78%	約 400	1%	約 400	1%	
富士市		約 50,000	約 45,000	89%	約 39,000	79%	約 1,800	4%	約 30	0%	
御殿場市		約 18,000	約 16,000	89%	約 14,000	78%	約 20	0%	-	0%	
裾野市		約 9,700	約 8,600	89%	約 7,500	78%	約 20	0%	-	0%	
伊豆市		約 14,000	約 12,000	90%	約 11,000	80%	約 1,400	10%	約 1,400	10%	
伊豆の国市		約 14,000	約 13,000	89%	約 11,000	78%	約 10	0%	-	0%	
函南町		約 8,600	約 7,700	89%	約 6,700	78%	-	0%	-	0%	
清水町		約 6,500	約 5,800	89%	約 5,100	78%	-	0%	-	0%	
長泉町		約 11,000	約 10,000	89%	約 8,900	78%	約 10	0%	-	0%	
小山町		約 6,900	約 6,100	89%	約 5,300	78%	-	0%	-	0%	
(小計)	約 280,000	約 250,000	89%	約 220,000	79%	約 11,000	4%	約 7,300	3%		
中部	静岡市葵区	約 65,000	約 59,000	91%	約 55,000	84%	約 10,000	15%	-	0%	
	静岡市駿河区	約 39,000	約 36,000	91%	約 33,000	84%	約 9,400	24%	約 3,200	8%	
	静岡市清水区	約 51,000	約 47,000	92%	約 44,000	86%	約 19,000	37%	約 8,300	16%	
	島田市	約 22,000	約 19,000	89%	約 18,000	81%	約 900	4%	-	0%	
	焼津市	約 26,000	約 23,000	90%	約 21,000	82%	約 3,200	12%	約 1,700	7%	
	藤枝市	約 27,000	約 24,000	89%	約 22,000	81%	約 1,100	4%	-	0%	
	牧之原市	約 12,000	約 11,000	94%	約 11,000	90%	約 5,800	49%	約 4,800	40%	
	吉田町	約 5,200	約 4,800	92%	約 4,400	86%	約 1,400	28%	約 1,100	21%	
	川根本町	約 3,300	約 2,900	89%	約 2,700	80%	-	0%	-	0%	
	(小計)	約 250,000	約 227,000	91%	約 210,000	84%	約 51,000	20%	約 19,000	8%	
西部	浜松市中区	約 64,000	約 58,000	91%	約 54,000	84%	約 9,900	15%	約 400	1%	
	浜松市東区	約 15,000	約 13,000	90%	約 12,000	82%	約 1,200	8%	-	0%	
	浜松市西区	約 15,000	約 14,000	92%	約 13,000	86%	約 4,700	31%	約 2,800	18%	
	浜松市南区	約 21,000	約 19,000	90%	約 17,000	83%	約 3,400	16%	約 2,000	10%	
	浜松市北区	約 17,000	約 15,000	89%	約 14,000	81%	約 700	4%	約 100	1%	
	浜松市浜北区	約 18,000	約 16,000	89%	約 15,000	81%	約 900	5%	-	0%	
	浜松市天竜区	約 13,000	約 12,000	89%	約 11,000	81%	約 60	0%	-	0%	
	磐田市	約 33,000	約 29,000	90%	約 27,000	83%	約 5,100	16%	約 1,700	5%	
	掛川市	約 23,000	約 21,000	90%	約 19,000	83%	約 2,500	11%	約 20	0%	
	袋井市	約 15,000	約 13,000	90%	約 12,000	83%	約 1,300	9%	-	0%	
	湖西市	約 13,000	約 12,000	93%	約 12,000	87%	約 4,800	36%	約 3,100	24%	
	御前崎市	約 9,600	約 8,700	91%	約 8,100	84%	約 1,800	19%	約 1,100	12%	
	菊川市	約 7,700	約 7,000	90%	約 6,400	82%	約 600	8%	-	0%	
	森町	約 5,800	約 5,300	90%	約 4,800	83%	約 600	10%	-	0%	
(小計)	約 270,000	約 244,000	90%	約 224,000	83%	約 38,000	14%	約 11,000	4%		

県全体の不通回線率推移 (南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))



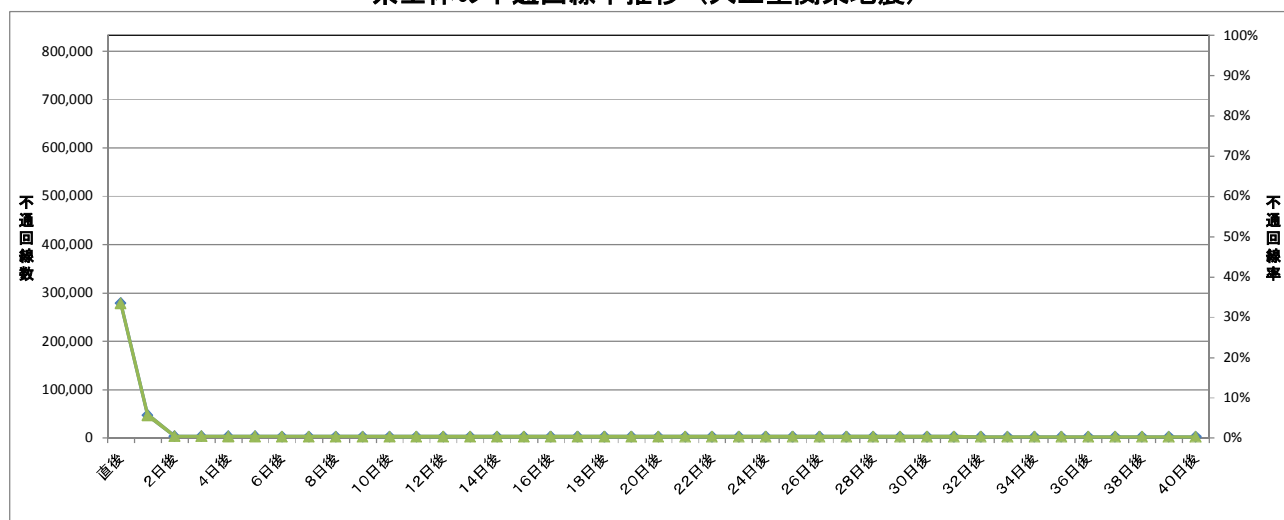
95%復旧<sup>注)</sup>: 2週間程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.47 固定電話の不通回線数  
(大正型関東地震)

市町名	回線数(回線)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後			
		不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率		
県計	約 833,000	約 279,000	34%	約 48,000	6%	約 3,500	0%	約 3,100	0%		
賀茂	下田市	約 10,000	約 8,900	89%	約 1,500	15%	約 200	2%	約 200	2%	
	東伊豆町	約 6,900	約 6,200	89%	約 1,000	14%	約 10	0%	約 10	0%	
	河津町	約 3,700	約 3,300	89%	約 500	14%	約 20	1%	約 20	1%	
	南伊豆町	約 4,500	約 4,000	89%	約 600	14%	-	0%	-	0%	
	松崎町	約 3,400	約 3,000	89%	約 500	14%	-	0%	-	0%	
	西伊豆町	約 4,600	約 4,000	89%	約 600	14%	-	0%	-	0%	
	(小計)	約 33,000	約 29,000	89%	約 4,700	14%	約 200	1%	約 200	1%	
	東部	沼津市	約 46,000	約 41,000	89%	約 6,400	14%	約 100	0%	約 100	0%
		熱海市	約 18,000	約 16,000	90%	約 3,900	22%	約 1,600	9%	約 1,200	7%
		三島市	約 17,000	約 15,000	89%	約 2,500	15%	-	0%	-	0%
		富士宮市	約 28,000	約 25,000	89%	約 3,900	14%	-	0%	-	0%
伊東市		約 32,000	約 29,000	89%	約 5,300	16%	約 1,000	3%	約 1,000	3%	
富士市		約 50,000	約 44,000	89%	約 6,800	14%	約 10	0%	約 10	0%	
御殿場市		約 18,000	約 16,000	89%	約 3,300	19%	-	0%	-	0%	
裾野市		約 9,700	約 8,600	89%	約 1,400	15%	-	0%	-	0%	
伊豆市		約 14,000	約 12,000	89%	約 1,900	14%	-	0%	-	0%	
伊豆の国市		約 14,000	約 13,000	89%	約 2,000	14%	-	0%	-	0%	
函南町		約 8,600	約 7,700	89%	約 1,200	14%	-	0%	-	0%	
清水町		約 6,500	約 5,800	89%	約 900	14%	-	0%	-	0%	
長泉町		約 11,000	約 10,000	89%	約 1,600	14%	-	0%	-	0%	
小山町		約 6,900	約 6,200	89%	約 1,300	19%	-	0%	-	0%	
(小計)	約 280,000	約 249,000	89%	約 42,000	15%	約 2,700	1%	約 2,300	1%		
中部	静岡市葵区	約 65,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	静岡市駿河区	約 39,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	静岡市清水区	約 51,000	約 400	1%	約 400	1%	約 400	1%	約 400	1%	
	島田市	約 22,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	焼津市	約 26,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	藤枝市	約 27,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	牧之原市	約 12,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	吉田町	約 5,200	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	川根本町	約 3,300	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	(小計)	約 250,000	約 400	0%	約 400	0%	約 400	0%	約 400	0%	
西部	浜松市中区	約 64,000	約 50	0%	約 50	0%	約 50	0%	約 50	0%	
	浜松市東区	約 15,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	浜松市西区	約 15,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	浜松市南区	約 21,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	浜松市北区	約 17,000	約 100	1%	約 100	1%	約 100	1%	約 100	1%	
	浜松市浜北区	約 18,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	浜松市天竜区	約 13,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	磐田市	約 33,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	掛川市	約 23,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	袋井市	約 15,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	湖西市	約 13,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	御前崎市	約 9,600	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	菊川市	約 7,700	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
森町	約 5,800	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%		
(小計)	約 270,000	約 200	0%	約 200	0%	約 200	0%	約 200	0%		

県全体の不通回線率推移 (大正型関東地震)



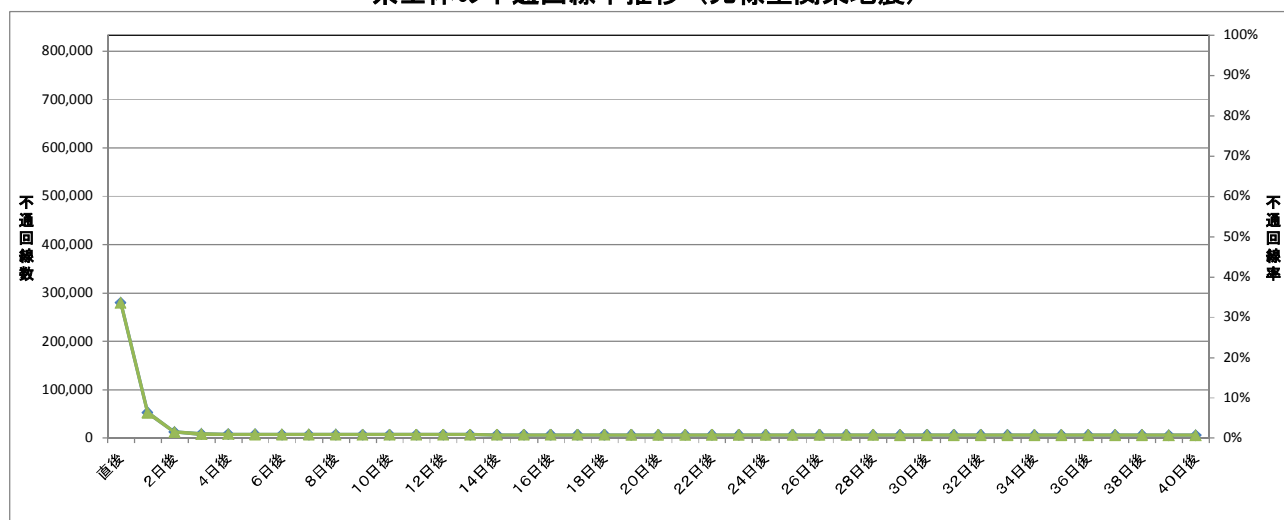
95%復旧<sup>注)</sup>: 数日程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.48 固定電話の不通回線数  
(元禄型関東地震)

市町名	回線数(回線)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後			
		不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率		
県計	約 833,000	約 280,000	34%	約 53,000	6%	約 7,500	1%	約 6,600	1%		
賀茂	下田市	約 10,000	約 9,000	90%	約 2,000	20%	約 700	7%	約 700	7%	
	東伊豆町	約 6,900	約 6,200	89%	約 1,000	15%	約 90	1%	約 90	1%	
	河津町	約 3,700	約 3,300	89%	約 600	16%	約 100	3%	約 100	3%	
	南伊豆町	約 4,500	約 4,000	89%	約 800	19%	約 300	6%	約 300	6%	
	松崎町	約 3,400	約 3,000	89%	約 500	14%	約 10	0%	約 10	0%	
	西伊豆町	約 4,600	約 4,000	89%	約 600	14%	約 10	0%	-	0%	
	(小計)	約 33,000	約 29,000	89%	約 5,500	17%	約 1,200	4%	約 1,200	4%	
	東部	沼津市	約 46,000	約 41,000	89%	約 6,800	15%	約 400	1%	約 400	1%
		熱海市	約 18,000	約 17,000	91%	約 5,400	29%	約 2,900	16%	約 2,200	12%
		三島市	約 17,000	約 15,000	89%	約 2,900	17%	-	0%	-	0%
富士宮市		約 28,000	約 25,000	89%	約 3,900	14%	-	0%	-	0%	
伊東市		約 32,000	約 29,000	90%	約 6,400	20%	約 2,300	7%	約 2,000	6%	
富士市		約 50,000	約 44,000	89%	約 6,800	14%	約 10	0%	約 10	0%	
御殿場市		約 18,000	約 16,000	90%	約 3,600	21%	-	0%	-	0%	
裾野市		約 9,700	約 8,700	89%	約 1,600	17%	-	0%	-	0%	
伊豆市		約 14,000	約 12,000	89%	約 1,900	14%	-	0%	-	0%	
伊豆の国市		約 14,000	約 13,000	89%	約 2,000	14%	-	0%	-	0%	
函南町		約 8,600	約 7,700	89%	約 1,200	14%	-	0%	-	0%	
清水町		約 6,500	約 5,800	89%	約 900	14%	-	0%	-	0%	
長泉町		約 11,000	約 10,000	89%	約 1,700	15%	-	0%	-	0%	
小山町		約 6,900	約 6,200	90%	約 1,500	21%	-	0%	-	0%	
(小計)	約 280,000	約 250,000	89%	約 47,000	17%	約 5,500	2%	約 4,700	2%		
中部	静岡市葵区	約 65,000	約 10	0%	約 10	0%	-	0%	-	0%	
	静岡市駿河区	約 39,000	約 10	0%	約 10	0%	約 10	0%	約 10	0%	
	静岡市清水区	約 51,000	約 600	1%	約 600	1%	約 600	1%	約 600	1%	
	島田市	約 22,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	焼津市	約 26,000	約 30	0%	約 30	0%	約 30	0%	約 30	0%	
	藤枝市	約 27,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	牧之原市	約 12,000	約 30	0%	約 30	0%	約 30	0%	約 30	0%	
	吉田町	約 5,200	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	川根本町	約 3,300	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	(小計)	約 250,000	約 600	0%	約 600	0%	約 600	0%	約 600	0%	
西部	浜松市中区	約 64,000	約 50	0%	約 50	0%	約 50	0%	約 50	0%	
	浜松市東区	約 15,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	浜松市西区	約 15,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	浜松市南区	約 21,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	浜松市北区	約 17,000	約 100	1%	約 100	1%	約 100	1%	約 100	1%	
	浜松市浜北区	約 18,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	浜松市天竜区	約 13,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	磐田市	約 33,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	掛川市	約 23,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	袋井市	約 15,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	湖西市	約 13,000	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	御前崎市	約 9,600	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
	菊川市	約 7,700	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	
森町	約 5,800	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%		
(小計)	約 270,000	約 200	0%	約 200	0%	約 200	0%	約 200	0%		

県全体の不通回線率推移 (元禄型関東地震)



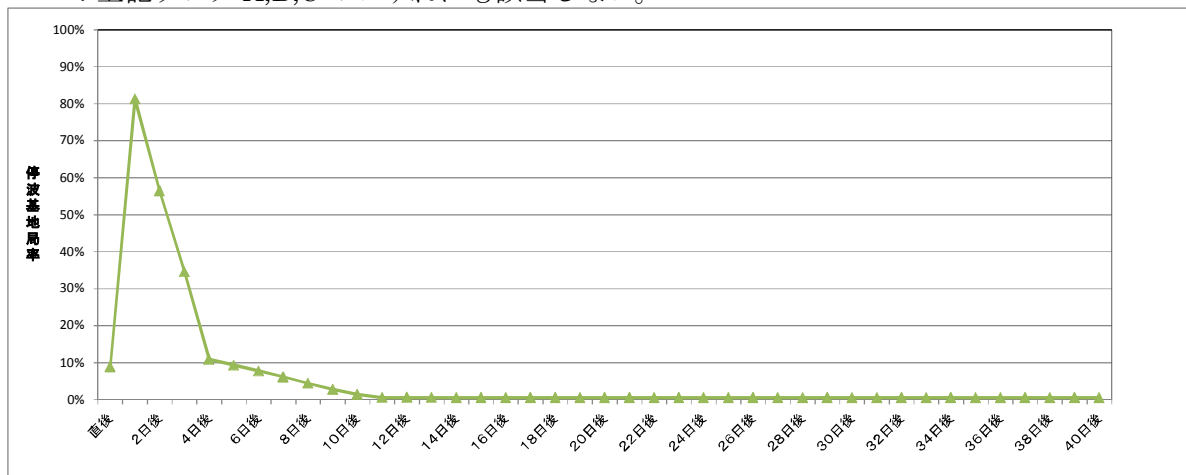
95%復旧(注): 数日程度  
注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.49 携帯電話の被害数  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名	直後		1日後		4日後		1週間後		
	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	
県計	7%	-	81%	A	11%	-	7%	-	
賀茂	下田市	1%	-	79%	A	4%	-	4%	-
	東伊豆町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
	河津町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
	南伊豆町	1%	-	78%	A	2%	-	2%	-
	松崎町	4%	-	80%	A	8%	-	8%	-
	西伊豆町	8%	-	81%	A	14%	-	14%	-
	(小計)	2%	-	79%	A	4%	-	4%	-
	沼津市	2%	-	79%	A	4%	-	4%	-
東部	熱海市	0%	-	78%	A	1%	-	1%	-
	三島市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
	富士宮市	1%	-	78%	A	1%	-	0%	-
	伊東市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
	富士市	1%	-	78%	A	1%	-	0%	-
	御殿場市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
	裾野市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
	伊豆市	1%	-	78%	A	3%	-	3%	-
	伊豆の国市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
	函南町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
	清水町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
	長泉町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
	小山町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
	(小計)	1%	-	78%	A	1%	-	1%	-
中部	静岡市葵区	2%	-	85%	A	31%	-	18%	-
	静岡市駿河区	27%	-	86%	A	33%	-	20%	-
	静岡市清水区	19%	-	84%	A	26%	-	16%	-
	島田市	5%	-	81%	A	6%	-	3%	-
	焼津市	15%	-	83%	A	19%	-	11%	-
	藤枝市	10%	-	82%	A	12%	-	7%	-
	牧之原市	10%	-	83%	A	16%	-	13%	-
	吉田町	7%	-	82%	A	7%	-	2%	-
	川根本町	0%	-	80%	A	0%	-	0%	-
	(小計)	12%	-	84%	A	23%	-	14%	-
西部	浜松市中区	18%	-	84%	A	22%	-	13%	-
	浜松市東区	7%	-	82%	A	9%	-	5%	-
	浜松市西区	12%	-	83%	A	15%	-	9%	-
	浜松市南区	9%	-	82%	A	11%	-	7%	-
	浜松市北区	2%	-	81%	A	3%	-	1%	-
	浜松市浜北区	3%	-	81%	A	4%	-	1%	-
	浜松市天竜区	1%	-	81%	A	1%	-	0%	-
	磐田市	11%	-	83%	A	14%	-	8%	-
	掛川市	9%	-	82%	A	11%	-	6%	-
	袋井市	9%	-	82%	A	11%	-	6%	-
	湖西市	7%	-	82%	A	8%	-	5%	-
	御前崎市	3%	-	81%	A	3%	-	1%	-
	菊川市	3%	-	81%	A	4%	-	2%	-
	森町	7%	-	82%	A	8%	-	2%	-
	(小計)	10%	-	82%	A	12%	-	7%	-

＜携帯電話の不通ランク＞

ランク A：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 50%を超える。  
 ランク B：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 40%を超える。  
 ランク C：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 30%を超える。  
 -：上記ランク A,B,C のいずれにも該当しない。



95%復旧<sup>注)</sup>：1週間程度

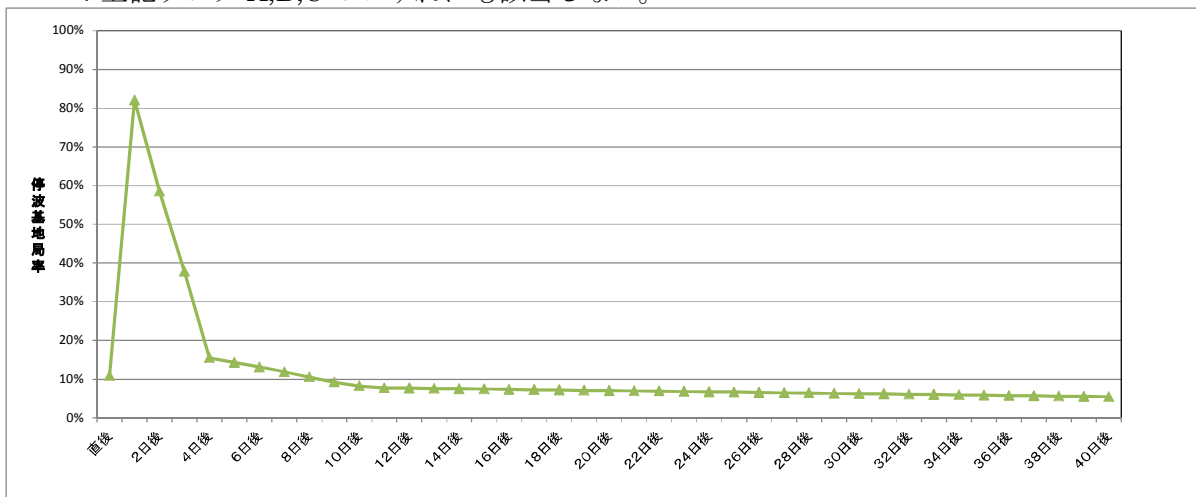
注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.50 携帯電話の被害数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名	直後		1日後		4日後		1週間後	
	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク
県計	11%	-	82%	A	16%	-	12%	-
賀茂								
下田市	24%	-	88%	A	45%	-	45%	-
東伊豆町	6%	-	80%	A	11%	-	11%	-
河津町	9%	-	82%	A	18%	-	18%	-
南伊豆町	22%	-	86%	A	39%	-	39%	-
松崎町	34%	C	90%	A	57%	C	57%	C
西伊豆町	47%	B	93%	A	70%	B	70%	B
(小計)	23%	-	86%	A	39%	-	39%	-
東部								
沼津市	6%	-	80%	A	11%	-	11%	-
熱海市	0%	-	78%	A	3%	-	2%	-
三島市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
富士宮市	1%	-	78%	A	1%	-	0%	-
伊東市	1%	-	78%	A	1%	-	1%	-
富士市	1%	-	78%	A	1%	-	0%	-
御殿場市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
裾野市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
伊豆市	5%	-	80%	A	10%	-	10%	-
伊豆の国市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
函南町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
清水町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
長泉町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
小山町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
(小計)	2%	-	78%	A	3%	-	3%	-
中部								
静岡市葵区	25%	-	85%	A	31%	-	18%	-
静岡市駿河区	27%	-	86%	A	39%	-	32%	-
静岡市清水区	22%	-	85%	A	34%	-	29%	-
島田市	5%	-	81%	A	6%	-	3%	-
焼津市	16%	-	84%	A	25%	-	21%	-
藤枝市	10%	-	82%	A	12%	-	7%	-
牧之原市	27%	-	89%	A	45%	-	43%	-
吉田町	16%	-	85%	A	27%	-	25%	-
川根本町	0%	-	80%	A	0%	-	0%	-
(小計)	20%	-	85%	A	28%	-	21%	-
西部								
浜松市中区	18%	-	84%	A	22%	-	13%	-
浜松市東区	7%	-	82%	A	9%	-	5%	-
浜松市西区	17%	-	85%	A	27%	-	25%	-
浜松市南区	12%	-	83%	A	19%	-	17%	-
浜松市北区	2%	-	81%	A	3%	-	1%	-
浜松市浜北区	3%	-	81%	A	4%	-	1%	-
浜松市天竜区	1%	-	81%	A	1%	-	0%	-
磐田市	12%	-	83%	A	17%	-	14%	-
掛川市	9%	-	82%	A	11%	-	6%	-
袋井市	9%	-	82%	A	11%	-	6%	-
湖西市	16%	-	85%	A	26%	-	25%	-
御前崎市	7%	-	83%	A	12%	-	11%	-
菊川市	3%	-	81%	A	4%	-	2%	-
森町	7%	-	82%	A	8%	-	2%	-
(小計)	11%	-	83%	A	15%	-	11%	-

＜携帯電話の不通ランク＞

ランク A: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 50%を超える。  
 ランク B: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 40%を超える。  
 ランク C: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 30%を超える。  
 - : 上記ランク A,B,C のいずれにも該当しない。



95%復旧<sup>注)</sup>: 2週間程度

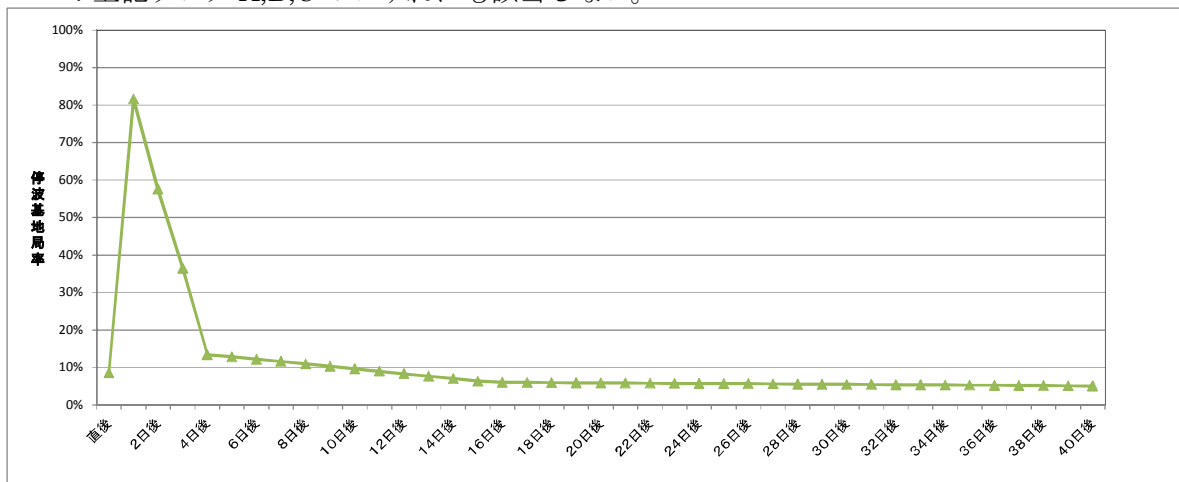
注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.51 携帯電話の被害数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名	直後		1日後		4日後		1週間後	
	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク
県計	9%	-	82%	A	13%	-	12%	-
賀茂								
下田市	24%	-	88%	A	45%	-	45%	-
東伊豆町	6%	-	80%	A	11%	-	11%	-
河津町	9%	-	82%	A	18%	-	18%	-
南伊豆町	22%	-	86%	A	39%	-	39%	-
松崎町	34%	C	90%	A	57%	C	57%	C
西伊豆町	47%	B	93%	A	70%	B	70%	B
(小計)	23%	-	86%	A	39%	-	39%	-
東部								
沼津市	6%	-	80%	A	11%	-	11%	-
熱海市	0%	-	78%	A	2%	-	2%	-
三島市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
富士宮市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
伊東市	0%	-	78%	A	1%	-	1%	-
富士市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
御殿場市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
裾野市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
伊豆市	5%	-	80%	A	10%	-	10%	-
伊豆の国市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
函南町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
清水町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
長泉町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
小山町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
(小計)	1%	-	78%	A	3%	-	3%	-
中部								
静岡市葵区	5%	-	81%	A	8%	-	6%	-
静岡市駿河区	4%	-	81%	A	6%	-	6%	-
静岡市清水区	5%	-	82%	A	10%	-	9%	-
島田市	1%	-	81%	A	1%	-	1%	-
焼津市	5%	-	82%	A	9%	-	8%	-
藤枝市	1%	-	81%	A	1%	-	1%	-
牧之原市	23%	-	88%	A	41%	-	41%	-
吉田町	11%	-	84%	A	21%	-	20%	-
川根本町	0%	-	80%	A	0%	-	0%	-
(小計)	5%	-	82%	A	9%	-	8%	-
西部								
浜松市中区	30%	-	86%	A	40%	-	31%	-
浜松市東区	17%	-	84%	A	23%	-	18%	-
浜松市西区	28%	-	87%	A	42%	-	39%	-
浜松市南区	16%	-	84%	A	25%	-	23%	-
浜松市北区	11%	-	83%	A	16%	-	12%	-
浜松市浜北区	15%	-	83%	A	21%	-	16%	-
浜松市天竜区	5%	-	81%	A	7%	-	5%	-
磐田市	17%	-	84%	A	25%	-	22%	-
掛川市	8%	-	82%	A	11%	-	9%	-
袋井市	9%	-	82%	A	11%	-	9%	-
湖西市	28%	-	87%	A	41%	-	39%	-
御前崎市	5%	-	82%	A	9%	-	9%	-
菊川市	4%	-	81%	A	4%	-	3%	-
森町	13%	-	83%	A	18%	-	14%	-
(小計)	18%	-	84%	A	25%	-	21%	-

＜携帯電話の不通ランク＞

ランク A: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 50%を超える。  
 ランク B: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 40%を超える。  
 ランク C: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 30%を超える。  
 - : 上記ランク A,B,C のいずれにも該当しない。



95%復旧(注): 2週間程度

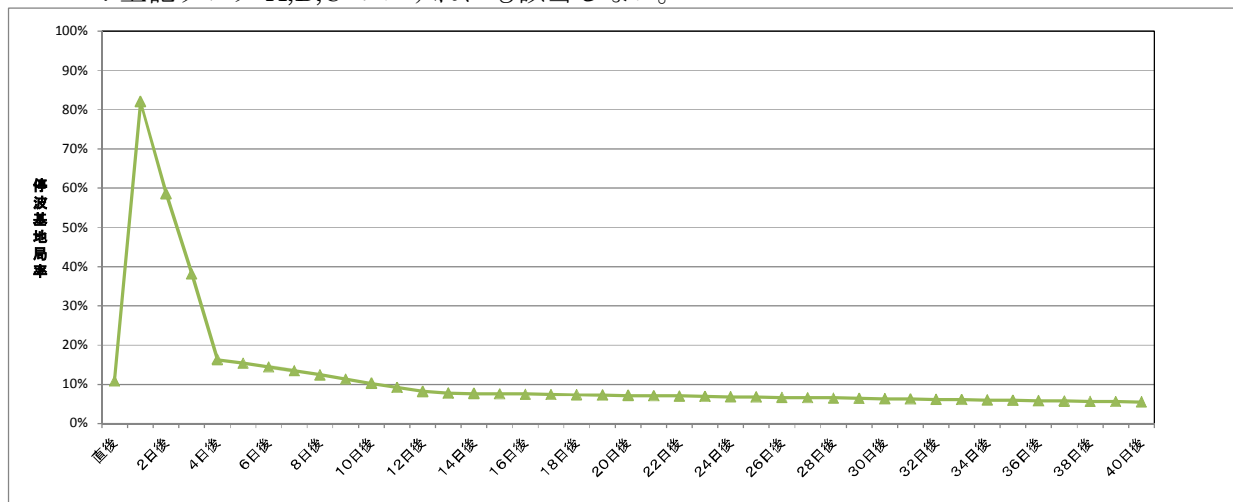
注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.52 携帯電話の被害数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名	直後		1日後		4日後		1週間後	
	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク
県計	11%	-	82%	A	16%	-	14%	-
賀茂								
下田市	24%	-	88%	A	46%	-	46%	-
東伊豆町	6%	-	80%	A	11%	-	11%	-
河津町	9%	-	82%	A	18%	-	18%	-
南伊豆町	23%	-	86%	A	39%	-	39%	-
松崎町	35%	C	91%	A	58%	C	57%	C
西伊豆町	47%	B	93%	A	70%	B	70%	B
(小計)	23%	-	86%	A	39%	-	39%	-
東部								
沼津市	7%	-	80%	A	12%	-	12%	-
熱海市	0%	-	78%	A	3%	-	3%	-
三島市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
富士宮市	3%	-	78%	A	5%	-	3%	-
伊東市	1%	-	78%	A	1%	-	1%	-
富士市	4%	-	79%	A	5%	-	4%	-
御殿場市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
裾野市	1%	-	78%	A	0%	-	0%	-
伊豆市	5%	-	80%	A	10%	-	10%	-
伊豆の国市	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
函南町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
清水町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
長泉町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
小山町	0%	-	78%	A	0%	-	0%	-
(小計)	3%	-	79%	A	4%	-	4%	-
中部								
静岡市葵区	17%	-	84%	A	23%	-	16%	-
静岡市駿河区	19%	-	84%	A	29%	-	24%	-
静岡市清水区	28%	-	86%	A	43%	-	38%	-
島田市	5%	-	81%	A	6%	-	4%	-
焼津市	8%	-	82%	A	14%	-	12%	-
藤枝市	5%	-	81%	A	6%	-	4%	-
牧之原市	32%	C	90%	A	51%	C	49%	C
吉田町	18%	-	86%	A	30%	-	28%	-
川根本町	0%	-	80%	A	0%	-	0%	-
(小計)	17%	-	84%	A	25%	-	21%	-
西部								
浜松市中区	17%	-	84%	A	23%	-	16%	-
浜松市東区	9%	-	82%	A	12%	-	8%	-
浜松市西区	22%	-	86%	A	34%	-	31%	-
浜松市南区	11%	-	83%	A	18%	-	16%	-
浜松市北区	4%	-	81%	A	6%	-	4%	-
浜松市浜北区	5%	-	81%	A	7%	-	5%	-
浜松市天竜区	1%	-	81%	A	1%	-	0%	-
磐田市	12%	-	83%	A	19%	-	16%	-
掛川市	13%	-	83%	A	16%	-	11%	-
袋井市	11%	-	83%	A	13%	-	9%	-
湖西市	27%	-	87%	A	40%	-	37%	-
御前崎市	14%	-	84%	A	21%	-	19%	-
菊川市	10%	-	82%	A	12%	-	8%	-
森町	12%	-	83%	A	15%	-	11%	-
(小計)	13%	-	83%	A	18%	-	14%	-

＜携帯電話の不通ランク＞

ランク A：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 50%を超える。  
 ランク B：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 40%を超える。  
 ランク C：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 30%を超える。  
 -：上記ランク A,B,C のいずれにも該当しない。



95%復旧<sup>注)</sup>：2週間程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

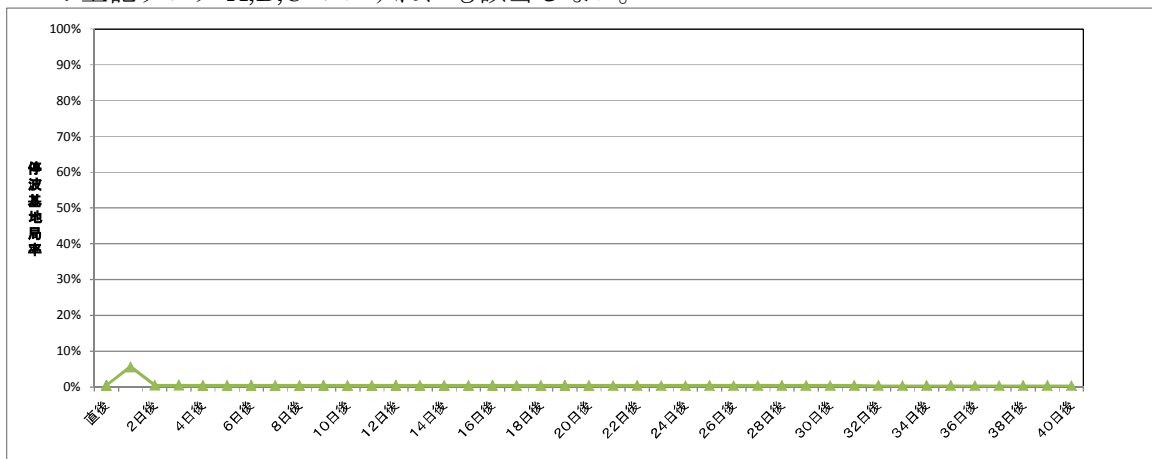


表 II-2.53 携帯電話の被害数  
(大正型関東地震)

市町名	直後		1日後		4日後		1週間後	
	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク
県計	0%	-	6%	-	0%	-	0%	-
賀茂	下田市	0%	15%	-	2%	-	2%	-
	東伊豆町	0%	14%	-	0%	-	0%	-
	河津町	0%	14%	-	1%	-	1%	-
	南伊豆町	0%	14%	-	0%	-	0%	-
	松崎町	0%	14%	-	0%	-	0%	-
	西伊豆町	0%	14%	-	0%	-	0%	-
	(小計)	0%	14%	-	1%	-	1%	-
	沼津市	0%	14%	-	0%	-	0%	-
東部	熱海市	6%	22%	-	9%	-	9%	-
	三島市	1%	15%	-	1%	-	0%	-
	富士宮市	0%	14%	-	0%	-	0%	-
	伊東市	1%	16%	-	3%	-	3%	-
	富士市	0%	14%	-	0%	-	0%	-
	御殿場市	6%	19%	-	0%	-	0%	-
	裾野市	1%	15%	-	1%	-	0%	-
	伊豆市	0%	14%	-	0%	-	0%	-
	伊豆の国市	0%	14%	-	0%	-	0%	-
	函南町	0%	14%	-	0%	-	0%	-
	清水町	0%	14%	-	0%	-	0%	-
	長泉町	0%	14%	-	0%	-	0%	-
	小山町	6%	19%	-	3%	-	0%	-
	(小計)	1%	15%	-	1%	-	1%	-
中部	静岡市葵区	0%	0%	-	0%	-	0%	-
	静岡市駿河区	0%	0%	-	0%	-	0%	-
	静岡市清水区	0%	1%	-	1%	-	1%	-
	島田市	0%	0%	-	0%	-	0%	-
	焼津市	0%	0%	-	0%	-	0%	-
	藤枝市	0%	0%	-	0%	-	0%	-
	牧之原市	0%	0%	-	0%	-	0%	-
	吉田町	0%	0%	-	0%	-	0%	-
	川根本町	0%	0%	-	0%	-	0%	-
	(小計)	0%	0%	-	0%	-	0%	-
	西部	浜松市中区	0%	0%	-	0%	-	0%
浜松市東区		0%	0%	-	0%	-	0%	-
浜松市西区		0%	0%	-	0%	-	0%	-
浜松市南区		0%	0%	-	0%	-	0%	-
浜松市北区		0%	1%	-	1%	-	1%	-
浜松市浜北区		0%	0%	-	0%	-	0%	-
浜松市天竜区		0%	0%	-	0%	-	0%	-
磐田市		0%	0%	-	0%	-	0%	-
掛川市		0%	0%	-	0%	-	0%	-
袋井市		0%	0%	-	0%	-	0%	-
湖西市		0%	0%	-	0%	-	0%	-
御前崎市		0%	0%	-	0%	-	0%	-
菊川市		0%	0%	-	0%	-	0%	-
森町		0%	0%	-	0%	-	0%	-
(小計)		0%	0%	-	0%	-	0%	-

＜携帯電話の不通ランク＞

- ランク A：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 50%を超える。
- ランク B：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 40%を超える。
- ランク C：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 30%を超える。
- ：上記ランク A,B,C のいずれにも該当しない。



95%復旧<sup>注)</sup>：数日程度

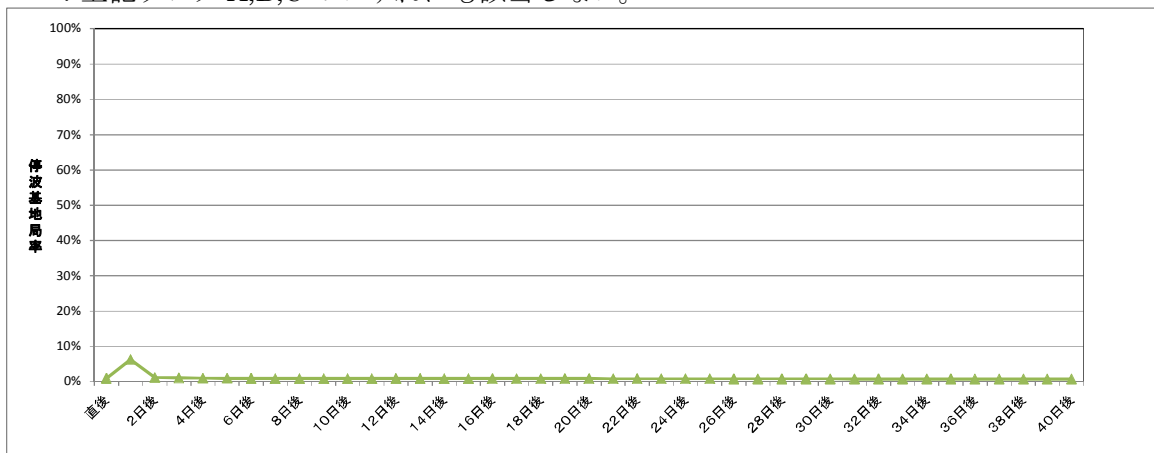
注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

表 II-2.54 携帯電話の被害数  
(元禄型関東地震)

市町名	直後		1日後		4日後		1週間後	
	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク
県計	1%	-	6%	-	1%	-	1%	-
賀茂								
下田市	2%	-	20%	-	7%	-	7%	-
東伊豆町	1%	-	15%	-	1%	-	1%	-
河津町	1%	-	16%	-	3%	-	3%	-
南伊豆町	3%	-	19%	-	6%	-	6%	-
松崎町	0%	-	14%	-	0%	-	0%	-
西伊豆町	0%	-	14%	-	0%	-	0%	-
(小計)	1%	-	17%	-	4%	-	4%	-
東部								
沼津市	1%	-	15%	-	1%	-	1%	-
熱海市	12%	-	29%	-	16%	-	16%	-
三島市	4%	-	17%	-	2%	-	0%	-
富士宮市	0%	-	14%	-	0%	-	0%	-
伊東市	4%	-	20%	-	7%	-	7%	-
富士市	0%	-	14%	-	0%	-	0%	-
御殿場市	8%	-	21%	-	0%	-	0%	-
裾野市	4%	-	17%	-	2%	-	0%	-
伊豆市	0%	-	14%	-	0%	-	0%	-
伊豆の国市	0%	-	14%	-	0%	-	0%	-
函南町	0%	-	14%	-	0%	-	0%	-
清水町	1%	-	14%	-	0%	-	0%	-
長泉町	2%	-	15%	-	1%	-	0%	-
小山町	9%	-	21%	-	0%	-	0%	-
(小計)	3%	-	17%	-	2%	-	2%	-
中部								
静岡市葵区	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
静岡市駿河区	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
静岡市清水区	0%	-	1%	-	1%	-	1%	-
島田市	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
焼津市	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
藤枝市	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
牧之原市	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
吉田町	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
川根本町	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
(小計)	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
西部								
浜松市中区	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
浜松市東区	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
浜松市西区	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
浜松市南区	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
浜松市北区	0%	-	1%	-	1%	-	1%	-
浜松市浜北区	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
浜松市天竜区	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
磐田市	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
掛川市	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
袋井市	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
湖西市	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
御前崎市	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
菊川市	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
森町	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-
(小計)	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-

＜携帯電話の不通ランク＞

- ランク A：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 50%を超える。
- ランク B：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 40%を超える。
- ランク C：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が 30%を超える。
- ：上記ランク A,B,C のいずれにも該当しない。



95%復旧<sup>注)</sup>：数日程度

注) 津波により被災した需要家は復旧対象から除外している。

5 ガス

表 II-2.55 都市ガス供給停止需要家数  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名		需要家数 (戸)	供給停止戸数 (戸)	供給停止率 (%)	復旧対象戸数 (戸)
県計		約 494,000	約 380,000	77%	約 189,000
賀茂	下田市	約 2,200	約 2,200	100%	約 2,000
	東伊豆町	/	/	/	/
	河津町	/	/	/	/
	南伊豆町	/	/	/	/
	松崎町	/	/	/	/
	西伊豆町	/	/	/	/
	(小計)	約 2,200	約 2,200	100%	約 2,000
東部	沼津市	約 45,000	-	0%	-
	熱海市	約 16,000	-	0%	-
	三島市	約 24,000	-	0%	-
	富士宮市	約 7,700	約 7,700	100%	約 6,500
	伊東市	約 8,900	-	0%	-
	富士市	約 25,000	約 22,000	88%	約 20,000
	御殿場市	約 3,600	-	0%	-
	裾野市	約 1,900	-	0%	-
	伊豆市	/	/	/	/
	伊豆の国市	/	/	/	/
	函南町	約 600	-	0%	-
	清水町	約 6,100	-	0%	-
	長泉町	約 5,600	-	0%	-
	小山町	/	/	/	/
	(小計)	約 144,000	約 30,000	21%	約 26,000
中部	静岡市葵区	約 62,000	約 62,000	100%	約 26,000
	静岡市駿河区	約 55,000	約 55,000	100%	約 23,000
	静岡市清水区	約 54,000	約 54,000	100%	約 26,000
	島田市	約 4,400	約 4,400	100%	約 2,600
	焼津市	約 24,000	約 24,000	100%	約 9,300
	藤枝市	約 23,000	約 23,000	100%	約 11,000
	牧之原市	/	/	/	/
	吉田町	/	/	/	/
	川根本町	/	/	/	/
	(小計)	約 222,000	約 222,000	100%	約 99,000
西部	浜松市中区	約 62,000	約 62,000	100%	約 28,000
	浜松市東区	約 14,000	約 14,000	100%	約 8,400
	浜松市西区	約 6,300	約 6,300	100%	約 3,500
	浜松市南区	約 14,000	約 14,000	100%	約 6,800
	浜松市北区	約 3,200	約 3,200	100%	約 2,700
	浜松市浜北区	約 1,100	約 1,100	100%	約 900
	浜松市天竜区	/	/	/	/
	磐田市	約 14,000	約 14,000	100%	約 6,600
	掛川市	約 6,700	約 6,700	100%	約 3,500
	袋井市	約 2,800	約 2,800	100%	約 1,000
	湖西市	約 1,400	約 1,400	100%	約 900
	御前崎市	/	/	/	/
	菊川市	/	/	/	/
	森町	/	/	/	/
	(小計)	約 125,000	約 125,000	100%	約 62,000

(注1) /: 都市ガス供給区域外地域

※復旧対象戸数とは、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

表 II-2.56 都市ガス供給停止需要家数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名		需要家数 (戸)	供給停止戸数 (戸)	供給停止率 (%)	復旧対象戸数 (戸)
県計		約 494,000	約 391,000	79%	約 180,000
賀茂	下田市	約 2,200	約 2,200	100%	約 1,500
	東伊豆町	/	/	/	/
	河津町	/	/	/	/
	南伊豆町	/	/	/	/
	松崎町	/	/	/	/
	西伊豆町	/	/	/	/
	(小計)	約 2,200	約 2,200	100%	約 1,500
	東部	沼津市	約 45,000	約 11,000	26%
熱海市		約 16,000	-	0%	-
三島市		約 24,000	-	0%	-
富士宮市		約 7,700	約 7,700	100%	約 6,500
伊東市		約 8,900	-	0%	-
富士市		約 25,000	約 22,000	88%	約 20,000
御殿場市		約 3,600	-	0%	-
裾野市		約 1,900	-	0%	-
伊豆市		/	/	/	/
伊豆の国市		/	/	/	/
函南町		約 600	-	0%	-
清水町		約 6,100	-	0%	-
長泉町		約 5,600	-	0%	-
小山町		/	/	/	/
(小計)		約 144,000	約 42,000	29%	約 26,000
中部		静岡市葵区	約 62,000	約 62,000	100%
	静岡市駿河区	約 55,000	約 55,000	100%	約 22,000
	静岡市清水区	約 54,000	約 54,000	100%	約 23,000
	島田市	約 4,400	約 4,400	100%	約 2,600
	焼津市	約 24,000	約 24,000	100%	約 7,600
	藤枝市	約 23,000	約 23,000	100%	約 11,000
	牧之原市	/	/	/	/
	吉田町	/	/	/	/
	川根本町	/	/	/	/
	(小計)	約 222,000	約 222,000	100%	約 93,000
西部	浜松市中区	約 62,000	約 62,000	100%	約 28,000
	浜松市東区	約 14,000	約 14,000	100%	約 8,400
	浜松市西区	約 6,300	約 6,300	100%	約 2,900
	浜松市南区	約 14,000	約 14,000	100%	約 5,400
	浜松市北区	約 3,200	約 3,200	100%	約 2,700
	浜松市浜北区	約 1,100	約 1,100	100%	約 900
	浜松市天竜区	/	/	/	/
	磐田市	約 14,000	約 14,000	100%	約 6,400
	掛川市	約 6,700	約 6,700	100%	約 3,400
	袋井市	約 2,800	約 2,800	100%	約 1,000
	湖西市	約 1,400	約 1,400	100%	約 700
	御前崎市	/	/	/	/
	菊川市	/	/	/	/
	森町	/	/	/	/
(小計)	約 125,000	約 125,000	100%	約 60,000	

(注1) /: 都市ガス供給区域外地域

※復旧対象戸数とは、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

表 II-2.57 都市ガス供給停止需要家数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名		需要家数 (戸)	供給停止戸数 (戸)	供給停止率 (%)	復旧対象戸数 (戸)
県計		約 494,000	約 360,000	73%	約 196,000
賀茂	下田市	約 2,200	約 2,200	100%	約 1,500
	東伊豆町	/	/	/	/
	河津町	/	/	/	/
	南伊豆町	/	/	/	/
	松崎町	/	/	/	/
	西伊豆町	/	/	/	/
	(小計)	約 2,200	約 2,200	100%	約 1,500
	東部	沼津市	約 45,000	約 11,000	26%
熱海市		約 16,000	-	0%	-
三島市		約 24,000	-	0%	-
富士宮市		約 7,700	-	0%	-
伊東市		約 8,900	-	0%	-
富士市		約 25,000	約 2,500	10%	-
御殿場市		約 3,600	-	0%	-
裾野市		約 1,900	-	0%	-
伊豆市		/	/	/	/
伊豆の国市		/	/	/	/
函南町		約 600	-	0%	-
清水町		約 6,100	-	0%	-
長泉町		約 5,600	-	0%	-
小山町		/	/	/	/
(小計)		約 144,000	約 14,000	10%	-
中部		静岡市葵区	約 62,000	約 62,000	100%
	静岡市駿河区	約 55,000	約 55,000	100%	約 44,000
	静岡市清水区	約 54,000	約 50,000	94%	約 34,000
	島田市	約 4,400	約 4,400	100%	約 3,400
	焼津市	約 24,000	約 24,000	100%	約 16,000
	藤枝市	約 23,000	約 23,000	100%	約 19,000
	牧之原市	/	/	/	/
	吉田町	/	/	/	/
	川根本町	/	/	/	/
	(小計)	約 222,000	約 219,000	98%	約 166,000
西部	浜松市中区	約 62,000	約 62,000	100%	約 9,300
	浜松市東区	約 14,000	約 14,000	100%	約 3,800
	浜松市西区	約 6,300	約 6,300	100%	約 900
	浜松市南区	約 14,000	約 14,000	100%	約 4,000
	浜松市北区	約 3,200	約 3,200	100%	約 1,400
	浜松市浜北区	約 1,100	約 1,100	100%	約 400
	浜松市天竜区	/	/	/	/
	磐田市	約 14,000	約 14,000	100%	約 4,000
	掛川市	約 6,700	約 6,700	100%	約 3,500
	袋井市	約 2,800	約 2,800	100%	約 1,100
	湖西市	約 1,400	約 1,400	100%	約 200
	御前崎市	/	/	/	/
	菊川市	/	/	/	/
	森町	/	/	/	/
(小計)	約 125,000	約 125,000	100%	約 29,000	

(注1)/: 都市ガス供給区域外地域

※復旧対象戸数とは、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

表 II-2.58 都市ガス供給停止需要家数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名	需要家数 (戸)	供給停止戸数 (戸)	供給停止率 (%)	復旧対象戸数 (戸)	
県計	約 494,000	約 394,000	80%	約 202,000	
賀茂	下田市	約 2,200	約 2,200	100%	約 1,400
	東伊豆町	/	/	/	/
	河津町	/	/	/	/
	南伊豆町	/	/	/	/
	松崎町	/	/	/	/
	西伊豆町	/	/	/	/
	(小計)	約 2,200	約 2,200	100%	約 1,400
	東部	沼津市	約 45,000	約 11,000	26%
熱海市		約 16,000	-	0%	-
三島市		約 24,000	-	0%	-
富士宮市		約 7,700	約 7,700	100%	約 5,800
伊東市		約 8,900	-	0%	-
富士市		約 25,000	約 25,000	100%	約 20,000
御殿場市		約 3,600	-	0%	-
裾野市		約 1,900	-	0%	-
伊豆市		/	/	/	/
伊豆の国市		/	/	/	/
函南町		約 600	-	0%	-
清水町		約 6,100	-	0%	-
長泉町		約 5,600	-	0%	-
小山町		/	/	/	/
(小計)		約 144,000	約 45,000	31%	約 26,000
中部		静岡市葵区	約 62,000	約 62,000	100%
	静岡市駿河区	約 55,000	約 55,000	100%	約 30,000
	静岡市清水区	約 54,000	約 54,000	100%	約 17,000
	島田市	約 4,400	約 4,400	100%	約 2,800
	焼津市	約 24,000	約 24,000	100%	約 13,000
	藤枝市	約 23,000	約 23,000	100%	約 16,000
	牧之原市	/	/	/	/
	吉田町	/	/	/	/
	川根本町	/	/	/	/
	(小計)	約 222,000	約 222,000	100%	約 117,000
西部	浜松市中区	約 62,000	約 62,000	100%	約 29,000
	浜松市東区	約 14,000	約 14,000	100%	約 7,800
	浜松市西区	約 6,300	約 6,300	100%	約 2,100
	浜松市南区	約 14,000	約 14,000	100%	約 5,900
	浜松市北区	約 3,200	約 3,200	100%	約 2,300
	浜松市浜北区	約 1,100	約 1,100	100%	約 800
	浜松市天竜区	/	/	/	/
	磐田市	約 14,000	約 14,000	100%	約 5,900
	掛川市	約 6,700	約 6,700	100%	約 2,500
	袋井市	約 2,800	約 2,800	100%	約 800
	湖西市	約 1,400	約 1,400	100%	約 200
	御前崎市	/	/	/	/
	菊川市	/	/	/	/
	森町	/	/	/	/
(小計)	約 125,000	約 125,000	100%	約 58,000	

(注1)/: 都市ガス供給区域外地域

※復旧対象戸数とは、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

表 II-2.59 都市ガス供給停止需要家数  
(大正型関東地震)

市町名		需要家数 (戸)	供給停止戸数 (戸)	供給停止率 (%)	復旧対象戸数 (戸)
県計		約 494,000	約 19,000	4%	約 12,000
賀茂	下田市	約 2,200	-	0%	-
	東伊豆町	/	/	/	/
	河津町	/	/	/	/
	南伊豆町	/	/	/	/
	松崎町	/	/	/	/
	西伊豆町	/	/	/	/
	(小計)	約 2,200	-	0%	-
東部	沼津市	約 45,000	-	0%	-
	熱海市	約 16,000	約 16,000	100%	約 9,300
	三島市	約 24,000	-	0%	-
	富士宮市	約 7,700	-	0%	-
	伊東市	約 8,900	-	0%	-
	富士市	約 25,000	-	0%	-
	御殿場市	約 3,600	約 3,600	100%	約 2,400
	裾野市	約 1,900	約 100	5%	約 90
	伊豆市	/	/	/	/
	伊豆の国市	/	/	/	/
	函南町	約 600	-	0%	-
	清水町	約 6,100	-	0%	-
	長泉町	約 5,600	-	0%	-
	小山町	/	/	/	/
	(小計)	約 144,000	約 19,000	13%	約 12,000
中部	静岡市葵区	約 62,000	-	0%	-
	静岡市駿河区	約 55,000	-	0%	-
	静岡市清水区	約 54,000	-	0%	-
	島田市	約 4,400	-	0%	-
	焼津市	約 24,000	-	0%	-
	藤枝市	約 23,000	-	0%	-
	牧之原市	/	/	/	/
	吉田町	/	/	/	/
	川根本町	/	/	/	/
	(小計)	約 222,000	-	0%	-
西部	浜松市中区	約 62,000	-	0%	-
	浜松市東区	約 14,000	-	0%	-
	浜松市西区	約 6,300	-	0%	-
	浜松市南区	約 14,000	-	0%	-
	浜松市北区	約 3,200	-	0%	-
	浜松市浜北区	約 1,100	-	0%	-
	浜松市天竜区	/	/	/	/
	磐田市	約 14,000	-	0%	-
	掛川市	約 6,700	-	0%	-
	袋井市	約 2,800	-	0%	-
	湖西市	約 1,400	-	0%	-
	御前崎市	/	/	/	/
	菊川市	/	/	/	/
	森町	/	/	/	/
(小計)	約 125,000	-	0%	-	

(注1) /: 都市ガス供給区域外地域

※復旧対象戸数とは、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

表 II-2.60 都市ガス供給停止需要家数  
(元禄型関東地震)

市町名		需要家数 (戸)	供給停止戸数 (戸)	供給停止率 (%)	復旧対象戸数 (戸)
県計		約 494,000	約 61,000	12%	約 28,000
賀茂	下田市	約 2,200	約 2,200	100%	約 2,000
	東伊豆町	/	/	/	/
	河津町	/	/	/	/
	南伊豆町	/	/	/	/
	松崎町	/	/	/	/
	西伊豆町	/	/	/	/
	(小計)	約 2,200	約 2,200	100%	約 2,000
	東部	沼津市	約 45,000	約 40	0.1%
熱海市		約 16,000	約 16,000	100%	約 7,700
三島市		約 24,000	約 7,300	31%	約 5,900
富士宮市		約 7,700	-	0%	-
伊東市		約 8,900	約 8,900	100%	約 6,100
富士市		約 25,000	-	0%	-
御殿場市		約 3,600	約 3,600	100%	約 2,100
裾野市		約 1,900	約 100	5%	約 80
伊豆市		/	/	/	/
伊豆の国市		/	/	/	/
函南町		約 600	約 600	100%	約 500
清水町		約 6,100	約 4,400	71%	約 3,700
長泉町		約 5,600	-	0%	-
小山町		/	/	/	/
(小計)		約 144,000	約 41,000	28%	約 26,000
中部		静岡市葵区	約 62,000	-	0%
	静岡市駿河区	約 55,000	-	0%	-
	静岡市清水区	約 54,000	約 19,000	35%	-
	島田市	約 4,400	-	0%	-
	焼津市	約 24,000	-	0%	-
	藤枝市	約 23,000	-	0%	-
	牧之原市	/	/	/	/
	吉田町	/	/	/	/
	川根本町	/	/	/	/
	(小計)	約 222,000	約 19,000	8%	-
西部	浜松市中区	約 62,000	-	0%	-
	浜松市東区	約 14,000	-	0%	-
	浜松市西区	約 6,300	-	0%	-
	浜松市南区	約 14,000	-	0%	-
	浜松市北区	約 3,200	-	0%	-
	浜松市浜北区	約 1,100	-	0%	-
	浜松市天竜区	/	/	/	/
	磐田市	約 14,000	-	0%	-
	掛川市	約 6,700	-	0%	-
	袋井市	約 2,800	-	0%	-
	湖西市	約 1,400	-	0%	-
	御前崎市	/	/	/	/
	菊川市	/	/	/	/
	森町	/	/	/	/
(小計)	約 125,000	-	0%	-	

(注1) /: 都市ガス供給区域外地域

※復旧対象戸数とは、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの



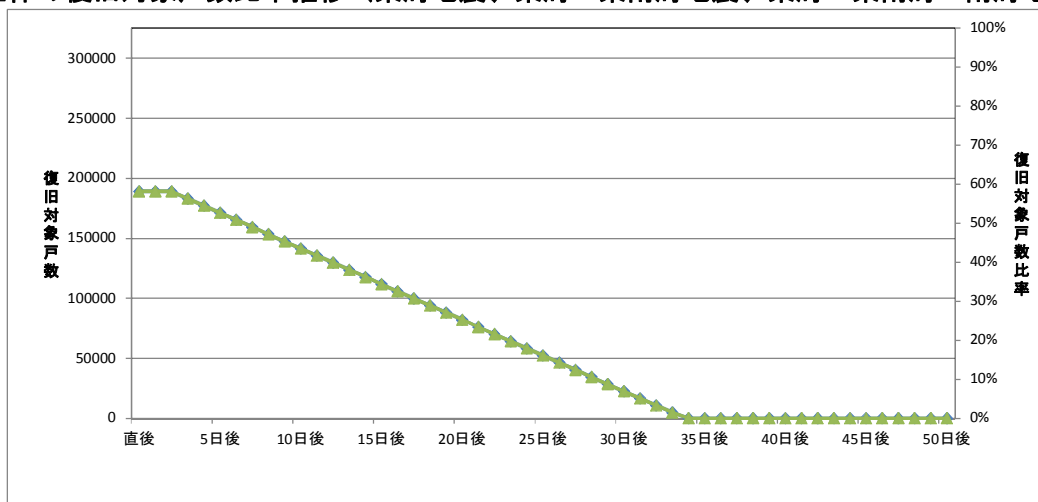
表 II-2.61 都市ガス復旧対象戸数推移  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名		復旧対象戸数(戸)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月
県計		約 189,000	約 189,000	約 159,000	約 23,000
賀茂	下田市	約 2,000	約 2,000	約 1,700	約 200
	東伊豆町	/	/	/	/
	河津町	/	/	/	/
	南伊豆町	/	/	/	/
	松崎町	/	/	/	/
	西伊豆町	/	/	/	/
	(小計)	約 2,000	約 2,000	約 1,700	約 200
東部	沼津市	-	-	-	-
	熱海市	-	-	-	-
	三島市	-	-	-	-
	富士宮市	約 6,500	約 6,500	約 5,500	約 800
	伊東市	-	-	-	-
	富士市	約 20,000	約 20,000	約 17,000	約 2,400
	御殿場市	-	-	-	-
	裾野市	-	-	-	-
	伊豆市	/	/	/	/
	伊豆の国市	/	/	/	/
	函南町	-	-	-	-
	清水町	-	-	-	-
	長泉町	-	-	-	-
	小山町	/	/	/	/
(小計)	約 26,000	約 26,000	約 22,000	約 3,100	
中部	静岡市葵区	約 26,000	約 26,000	約 22,000	約 3,100
	静岡市駿河区	約 23,000	約 23,000	約 20,000	約 2,800
	静岡市清水区	約 26,000	約 26,000	約 22,000	約 3,200
	島田市	約 2,600	約 2,600	約 2,200	約 300
	焼津市	約 9,300	約 9,300	約 7,900	約 1,100
	藤枝市	約 11,000	約 11,000	約 9,200	約 1,300
	牧之原市	/	/	/	/
	吉田町	/	/	/	/
	川根本町	/	/	/	/
	(小計)	約 99,000	約 99,000	約 83,000	約 12,000
西部	浜松市中区	約 28,000	約 28,000	約 24,000	約 3,300
	浜松市東区	約 8,400	約 8,400	約 7,100	約 1,000
	浜松市西区	約 3,500	約 3,500	約 2,900	約 400
	浜松市南区	約 6,800	約 6,800	約 5,700	約 800
	浜松市北区	約 2,700	約 2,700	約 2,300	約 300
	浜松市浜北区	約 900	約 900	約 700	約 100
	浜松市天竜区	/	/	/	/
	磐田市	約 6,600	約 6,600	約 5,500	約 800
	掛川市	約 3,500	約 3,500	約 2,900	約 400
	袋井市	約 1,000	約 1,000	約 800	約 100
	湖西市	約 900	約 900	約 700	約 100
	御前崎市	/	/	/	/
	菊川市	/	/	/	/
	森町	/	/	/	/
(小計)	約 62,000	約 62,000	約 52,000	約 7,400	

(注1)：都市ガス供給区域外地域

※復旧対象戸数とは、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

県全体の復旧対象戸数比率推移 (東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)



95%復旧<sup>注)</sup>：4週間程度

注) 家屋被害の著しい需要家は復旧対象から除いている。

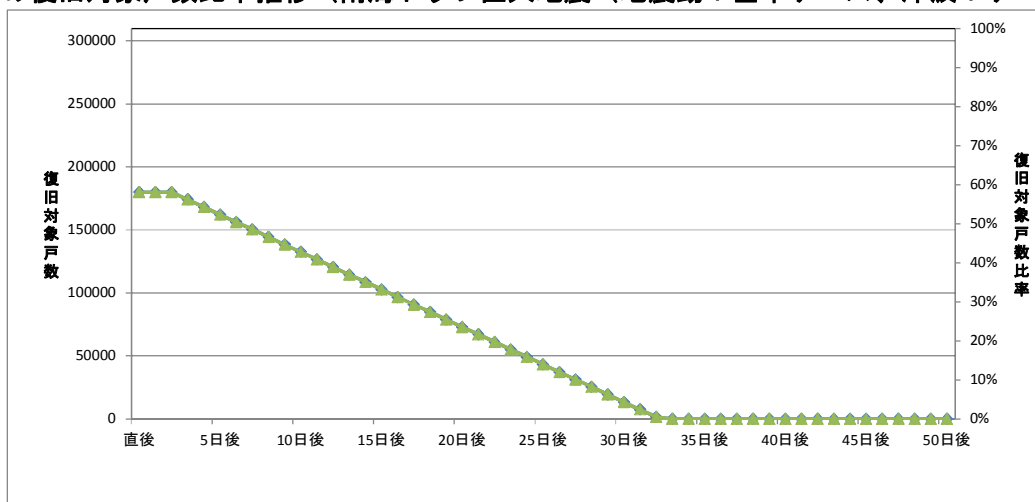
表 II-2.62 都市ガス復旧対象戸数推移  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名	復旧対象戸数(戸)				
	直後	1日後	1週間後	1ヶ月	
県計	約 180,000	約 180,000	約 150,000	約 13,000	
賀茂	下田市	約 1,500	約 1,500	約 1,200	約 100
	東伊豆町	/	/	/	/
	河津町	/	/	/	/
	南伊豆町	/	/	/	/
	松崎町	/	/	/	/
	西伊豆町	/	/	/	/
	(小計)	約 1,500	約 1,500	約 1,200	約 100
東部	沼津市	-	-	-	-
	熱海市	-	-	-	-
	三島市	-	-	-	-
	富士宮市	約 6,500	約 6,500	約 5,500	約 500
	伊東市	-	-	-	-
	富士市	約 20,000	約 20,000	約 16,000	約 1,500
	御殿場市	-	-	-	-
	裾野市	-	-	-	-
	伊豆市	/	/	/	/
	伊豆の国市	/	/	/	/
	函南町	-	-	-	-
	清水町	-	-	-	-
	長泉町	-	-	-	-
	小山町	/	/	/	/
(小計)	約 26,000	約 26,000	約 22,000	約 2,000	
中部	静岡市葵区	約 26,000	約 26,000	約 22,000	約 1,900
	静岡市駿河区	約 22,000	約 22,000	約 19,000	約 1,700
	静岡市清水区	約 23,000	約 23,000	約 19,000	約 1,700
	島田市	約 2,600	約 2,600	約 2,200	約 200
	焼津市	約 7,600	約 7,600	約 6,300	約 600
	藤枝市	約 11,000	約 11,000	約 9,100	約 800
	牧之原市	/	/	/	/
	吉田町	/	/	/	/
	川根本町	/	/	/	/
	(小計)	約 93,000	約 93,000	約 77,000	約 6,900
西部	浜松市中区	約 28,000	約 28,000	約 23,000	約 2,100
	浜松市東区	約 8,400	約 8,400	約 7,000	約 600
	浜松市西区	約 2,900	約 2,900	約 2,400	約 200
	浜松市南区	約 5,400	約 5,400	約 4,500	約 400
	浜松市北区	約 2,700	約 2,700	約 2,300	約 200
	浜松市浜北区	約 900	約 900	約 700	約 70
	浜松市天竜区	/	/	/	/
	磐田市	約 6,400	約 6,400	約 5,400	約 500
	掛川市	約 3,400	約 3,400	約 2,900	約 300
	袋井市	約 1,000	約 1,000	約 800	約 70
	湖西市	約 700	約 700	約 600	約 50
	御前崎市	/	/	/	/
	菊川市	/	/	/	/
	森町	/	/	/	/
(小計)	約 60,000	約 60,000	約 50,000	約 4,500	

(注1): 都市ガス供給区域外地域

※復旧対象戸数とは、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

県全体の復旧対象戸数比率推移(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))



95%復旧<sup>注)</sup>: 4週間程度

注) 家屋被害の著しい需要家は復旧対象から除いている。

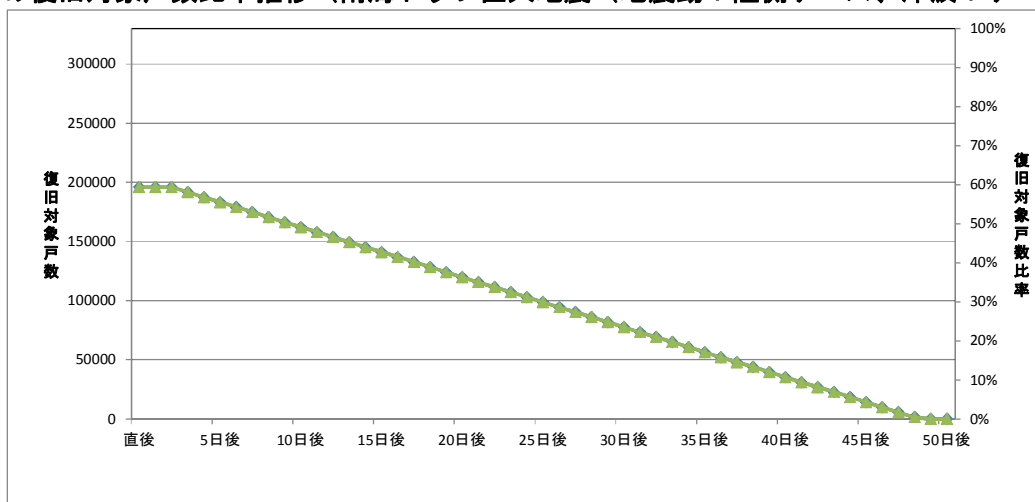
表 II-2.63 都市ガス復旧対象戸数推移  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名	復旧対象戸数(戸)				
	直後	1日後	1週間後	1ヶ月	
県計	約 196,000	約 196,000	約 175,000	約 78,000	
賀茂	下田市	約 1,500	約 1,500	約 1,400	約 600
	東伊豆町	/	/	/	/
	河津町	/	/	/	/
	南伊豆町	/	/	/	/
	松崎町	/	/	/	/
	西伊豆町	/	/	/	/
	(小計)	約 1,500	約 1,500	約 1,400	約 600
東部	沼津市	-	-	-	-
	熱海市	-	-	-	-
	三島市	-	-	-	-
	富士宮市	-	-	-	-
	伊東市	-	-	-	-
	富士市	-	-	-	-
	御殿場市	-	-	-	-
	裾野市	-	-	-	-
	伊豆市	/	/	/	/
	伊豆の国市	/	/	/	/
	函南町	-	-	-	-
	清水町	-	-	-	-
	長泉町	-	-	-	-
小山町	/	/	/	/	
(小計)	-	-	-	-	
中部	静岡市葵区	約 49,000	約 49,000	約 44,000	約 19,000
	静岡市駿河区	約 44,000	約 44,000	約 39,000	約 17,000
	静岡市清水区	約 34,000	約 34,000	約 31,000	約 14,000
	島田市	約 3,400	約 3,400	約 3,000	約 1,300
	焼津市	約 16,000	約 16,000	約 15,000	約 6,500
	藤枝市	約 19,000	約 19,000	約 17,000	約 7,600
	牧之原市	/	/	/	/
	吉田町	/	/	/	/
	川根本町	/	/	/	/
	(小計)	約 166,000	約 166,000	約 148,000	約 66,000
西部	浜松市中区	約 9,300	約 9,300	約 8,300	約 3,700
	浜松市東区	約 3,800	約 3,800	約 3,400	約 1,500
	浜松市西区	約 900	約 900	約 800	約 400
	浜松市南区	約 4,000	約 4,000	約 3,600	約 1,600
	浜松市北区	約 1,400	約 1,400	約 1,200	約 500
	浜松市浜北区	約 400	約 400	約 400	約 200
	浜松市天竜区	/	/	/	/
	磐田市	約 4,000	約 4,000	約 3,600	約 1,600
	掛川市	約 3,500	約 3,500	約 3,100	約 1,400
	袋井市	約 1,100	約 1,100	約 1,000	約 500
	湖西市	約 200	約 200	約 100	約 60
	御前崎市	/	/	/	/
	菊川市	/	/	/	/
森町	/	/	/	/	
(小計)	約 29,000	約 29,000	約 25,000	約 11,000	

(注1): 都市ガス供給区域外地域

※復旧対象戸数とは、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

県全体の復旧対象戸数比率推移(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))



95%復旧<sup>注)</sup>: 6週間程度

注) 家屋被害の著しい需要家は復旧対象から除いている。

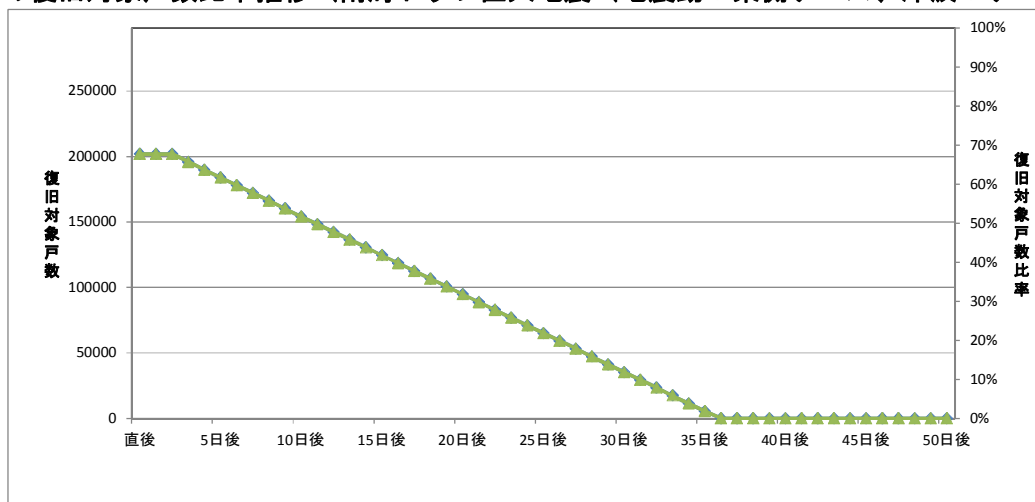
表 II-2.64 都市ガス復旧対象戸数推移  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名		復旧対象戸数(戸)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月
県計		約 202,000	約 202,000	約 172,000	約 35,000
賀茂	下田市	約 1,400	約 1,400	約 1,200	約 200
	東伊豆町	/	/	/	/
	河津町	/	/	/	/
	南伊豆町	/	/	/	/
	松崎町	/	/	/	/
	西伊豆町	/	/	/	/
	(小計)	約 1,400	約 1,400	約 1,200	約 200
東部	沼津市	-	-	-	-
	熱海市	-	-	-	-
	三島市	-	-	-	-
	富士宮市	約 5,800	約 5,800	約 4,900	約 1,000
	伊東市	-	-	-	-
	富士市	約 20,000	約 20,000	約 17,000	約 3,500
	御殿場市	-	-	-	-
	裾野市	-	-	-	-
	伊豆市	/	/	/	/
	伊豆の国市	/	/	/	/
	函南町	-	-	-	-
	清水町	-	-	-	-
	長泉町	-	-	-	-
	小山町	/	/	/	/
(小計)	約 26,000	約 26,000	約 22,000	約 4,500	
中部	静岡市葵区	約 38,000	約 38,000	約 32,000	約 6,600
	静岡市駿河区	約 30,000	約 30,000	約 26,000	約 5,300
	静岡市清水区	約 17,000	約 17,000	約 15,000	約 3,000
	島田市	約 2,800	約 2,800	約 2,400	約 500
	焼津市	約 13,000	約 13,000	約 11,000	約 2,300
	藤枝市	約 16,000	約 16,000	約 13,000	約 2,800
	牧之原市	/	/	/	/
	吉田町	/	/	/	/
	川根本町	/	/	/	/
	(小計)	約 117,000	約 117,000	約 100,000	約 20,000
西部	浜松市中区	約 29,000	約 29,000	約 25,000	約 5,200
	浜松市東区	約 7,800	約 7,800	約 6,600	約 1,400
	浜松市西区	約 2,100	約 2,100	約 1,800	約 400
	浜松市南区	約 5,900	約 5,900	約 5,100	約 1,000
	浜松市北区	約 2,300	約 2,300	約 2,000	約 400
	浜松市浜北区	約 800	約 800	約 700	約 100
	浜松市天竜区	/	/	/	/
	磐田市	約 5,900	約 5,900	約 5,100	約 1,000
	掛川市	約 2,500	約 2,500	約 2,100	約 400
	袋井市	約 800	約 800	約 700	約 100
	湖西市	約 200	約 200	約 200	約 40
	御前崎市	/	/	/	/
	菊川市	/	/	/	/
	森町	/	/	/	/
(小計)	約 58,000	約 58,000	約 49,000	約 10,000	

(注1): 都市ガス供給区域外地域

※復旧対象戸数とは、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

県全体の復旧対象戸数比率推移(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))



95%復旧<sup>注)</sup>: 5週間程度

注) 家屋被害の著しい需要家は復旧対象から除いている。

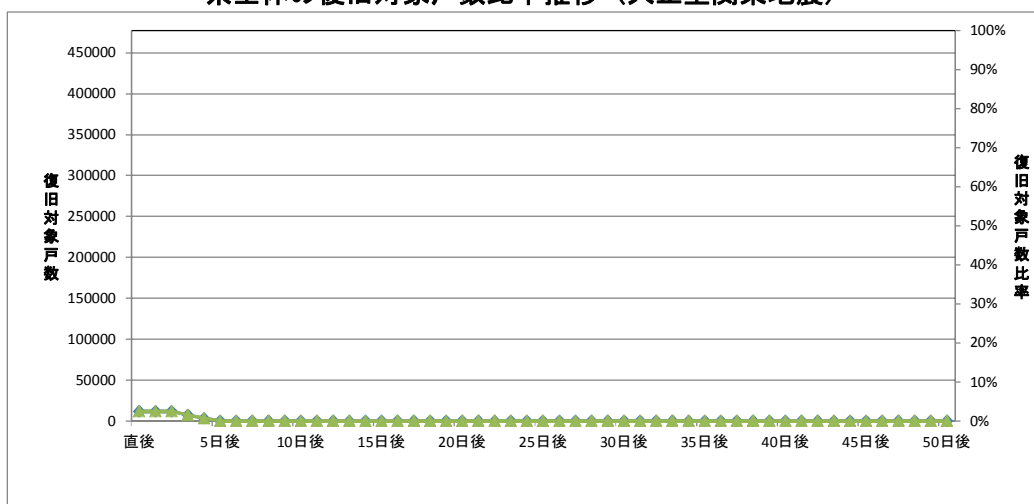
表 II-2.65 都市ガス復旧対象戸数推移  
(大正型関東地震)

市町名	復旧対象戸数(戸)			
	直後	1日後	1週間後	1ヶ月
県計	約 12,000	約 12,000	-	-
賀茂	下田市	-	-	-
	東伊豆町	/	/	/
	河津町	/	/	/
	南伊豆町	/	/	/
	松崎町	/	/	/
	西伊豆町	/	/	/
	(小計)	-	-	-
東部	沼津市	-	-	-
	熱海市	約 9,300	約 9,300	-
	三島市	-	-	-
	富士宮市	-	-	-
	伊東市	-	-	-
	富士市	-	-	-
	御殿場市	約 2,400	約 2,400	-
	裾野市	約 90	約 90	-
	伊豆市	/	/	/
	伊豆の国市	/	/	/
	函南町	-	-	-
	清水町	-	-	-
	長泉町	-	-	-
小山町	/	/	/	
(小計)	約 12,000	約 12,000	-	
中部	静岡市葵区	-	-	-
	静岡市駿河区	-	-	-
	静岡市清水区	-	-	-
	島田市	-	-	-
	焼津市	-	-	-
	藤枝市	/	/	/
	牧之原市	/	/	/
	吉田町	/	/	/
	川根本町	/	/	/
	(小計)	-	-	-
西部	浜松市中区	-	-	-
	浜松市東区	-	-	-
	浜松市西区	-	-	-
	浜松市南区	-	-	-
	浜松市北区	-	-	-
	浜松市浜北区	-	-	-
	浜松市天竜区	/	/	/
	磐田市	-	-	-
	掛川市	-	-	-
	袋井市	-	-	-
	湖西市	-	-	-
	御前崎市	/	/	/
	菊川市	/	/	/
	森町	/	/	/
(小計)	-	-	-	

(注1) /: 都市ガス供給区域外地域

※復旧対象戸数とは、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

県全体の復旧対象戸数比率推移 (大正型関東地震)



95%復旧<sup>注)</sup>: 数日程度

注) 家屋被害の著しい需要家は復旧対象から除いている。

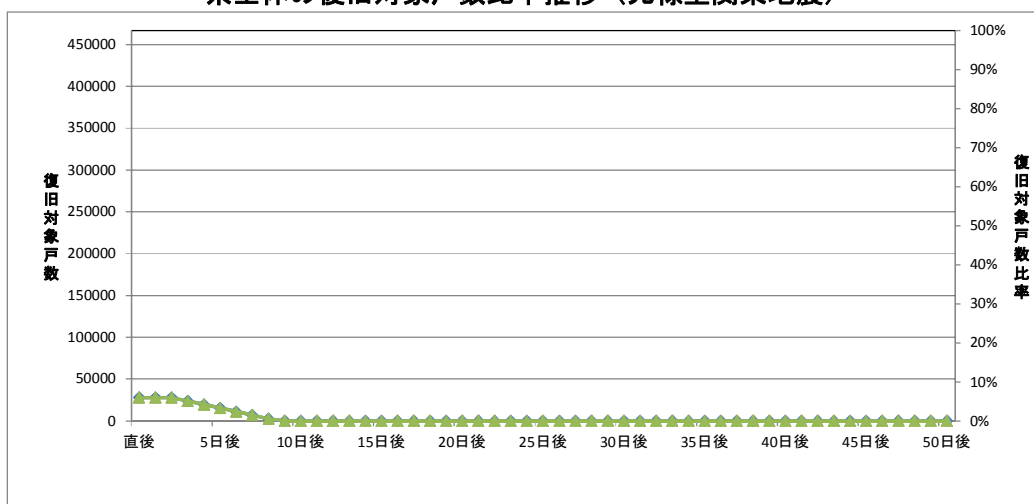
表 II-2.66 都市ガス復旧対象戸数推移  
(元禄型関東地震)

市町名	復旧対象戸数(戸)				
	直後	1日後	1週間後	1ヶ月	
県計	約 28,000	約 28,000	約 6,900	-	
賀茂	下田市	約 2,000	約 2,000	約 500	-
	東伊豆町	/	/	/	/
	河津町	/	/	/	/
	南伊豆町	/	/	/	/
	松崎町	/	/	/	/
	西伊豆町	/	/	/	/
	(小計)	約 2,000	約 2,000	約 500	-
東部	沼津市	約 40	約 40	約 10	-
	熱海市	約 7,700	約 7,700	約 1,900	-
	三島市	約 5,900	約 5,900	約 1,400	-
	富士宮市	-	-	-	-
	伊東市	約 6,100	約 6,100	約 1,500	-
	富士市	-	-	-	-
	御殿場市	約 2,100	約 2,100	約 500	-
	裾野市	約 80	約 80	約 20	-
	伊豆市	/	/	/	/
	伊豆の国市	/	/	/	/
	函南町	約 500	約 500	約 100	-
	清水町	約 3,700	約 3,700	約 900	-
	長泉町	-	-	-	-
小山町	/	/	/	/	
(小計)	約 26,000	約 26,000	約 6,500	-	
中部	静岡市葵区	-	-	-	-
	静岡市駿河区	-	-	-	-
	静岡市清水区	-	-	-	-
	島田市	-	-	-	-
	焼津市	-	-	-	-
	藤枝市	/	/	/	/
	牧之原市	/	/	/	/
	吉田町	/	/	/	/
	川根本町	/	/	/	/
	(小計)	-	-	-	-
西部	浜松市中区	-	-	-	-
	浜松市東区	-	-	-	-
	浜松市西区	-	-	-	-
	浜松市南区	-	-	-	-
	浜松市北区	-	-	-	-
	浜松市浜北区	-	-	-	-
	浜松市天竜区	/	/	/	/
	磐田市	-	-	-	-
	掛川市	-	-	-	-
	袋井市	-	-	-	-
	湖西市	-	-	-	-
	御前崎市	/	/	/	/
	菊川市	/	/	/	/
	森町	/	/	/	/
(小計)	-	-	-	-	

(注1) /: 都市ガス供給区域外地域

※復旧対象戸数とは、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

県全体の復旧対象戸数比率推移 (元禄型関東地震)



95%復旧<sup>注)</sup>: 1週間程度

注) 家屋被害の著しい需要家は復旧対象から除いている。

表 II-2.67 LPガス供給停止需要家数  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名		需要家数 (戸)	要点検 需要家数 (戸)	機能 支障率 (%)
県計		約 855,000	約 271,000	32%
賀茂	下田市	約 11,000	約 1,200	11%
	東伊豆町	約 7,300	約 200	3%
	河津町	約 3,600	約 300	9%
	南伊豆町	約 4,500	約 300	7%
	松崎町	約 3,000	約 1,200	38%
	西伊豆町	約 4,000	約 1,500	37%
	(小計)	約 33,000	約 4,600	14%
東部	沼津市	約 40,000	約 5,000	13%
	熱海市	約 6,600	約 300	4%
	三島市	約 19,000	約 900	5%
	富士宮市	約 32,000	約 4,800	15%
	伊東市	約 33,000	約 1,500	4%
	富士市	約 56,000	約 6,700	12%
	御殿場市	約 26,000	約 1,300	5%
	裾野市	約 15,000	約 900	6%
	伊豆市	約 16,000	約 1,500	9%
	伊豆の国市	約 18,000	約 1,100	6%
	函南町	約 14,000	約 500	4%
	清水町	約 6,000	約 400	7%
	長泉町	約 9,300	約 500	5%
	小山町	約 6,100	約 300	4%
	(小計)	約 296,000	約 26,000	9%
中部	静岡市葵区	約 33,000	約 19,000	58%
	静岡市駿河区	約 31,000	約 18,000	58%
	静岡市清水区	約 30,000	約 15,000	51%
	島田市	約 26,000	約 10,000	39%
	焼津市	約 25,000	約 15,000	61%
	藤枝市	約 24,000	約 13,000	53%
	牧之原市	約 14,000	約 6,300	44%
	吉田町	約 8,500	約 2,900	34%
	川根本町	約 2,800	約 300	12%
	(小計)	約 194,000	約 100,000	51%
西部	浜松市中区	約 42,000	約 23,000	55%
	浜松市東区	約 33,000	約 13,000	39%
	浜松市西区	約 27,000	約 12,000	45%
	浜松市南区	約 20,000	約 10,000	50%
	浜松市北区	約 25,000	約 4,200	16%
	浜松市浜北区	約 25,000	約 5,200	21%
	浜松市天竜区	約 12,000	約 1,300	11%
	磐田市	約 43,000	約 22,000	52%
	掛川市	約 31,000	約 15,000	49%
	袋井市	約 26,000	約 17,000	65%
	湖西市	約 17,000	約 6,700	39%
	御前崎市	約 11,000	約 3,400	31%
	菊川市	約 14,000	約 4,900	36%
	森町	約 6,200	約 2,600	42%
	(小計)	約 332,000	約 141,000	42%

表 II-2.68 LPガス供給停止需要家数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名		需要家数 (戸)	要点検 需要家数 (戸)	機能 支障率 (%)
県計		約 855,000	約 298,000	35%
賀茂	下田市	約 11,000	約 3,500	32%
	東伊豆町	約 7,300	約 800	11%
	河津町	約 3,600	約 700	20%
	南伊豆町	約 4,500	約 1,300	29%
	松崎町	約 3,000	約 1,600	54%
	西伊豆町	約 4,000	約 2,300	57%
	(小計)	約 33,000	約 10,000	31%
東部	沼津市	約 40,000	約 9,200	23%
	熱海市	約 6,600	約 300	5%
	三島市	約 19,000	約 900	5%
	富士宮市	約 32,000	約 4,800	15%
	伊東市	約 33,000	約 1,800	6%
	富士市	約 56,000	約 6,800	12%
	御殿場市	約 26,000	約 1,300	5%
	裾野市	約 15,000	約 900	6%
	伊豆市	約 16,000	約 1,800	11%
	伊豆の国市	約 18,000	約 1,100	6%
	函南町	約 14,000	約 500	4%
	清水町	約 6,000	約 400	7%
	長泉町	約 9,300	約 500	5%
	小山町	約 6,100	約 300	4%
	(小計)	約 296,000	約 31,000	10%
中部	静岡市葵区	約 33,000	約 19,000	58%
	静岡市駿河区	約 31,000	約 18,000	59%
	静岡市清水区	約 30,000	約 17,000	57%
	島田市	約 26,000	約 10,000	39%
	焼津市	約 25,000	約 17,000	68%
	藤枝市	約 24,000	約 13,000	53%
	牧之原市	約 14,000	約 8,800	62%
	吉田町	約 8,500	約 4,700	56%
	川根本町	約 2,800	約 300	12%
	(小計)	約 194,000	約 108,000	56%
西部	浜松市中区	約 42,000	約 23,000	55%
	浜松市東区	約 33,000	約 13,000	39%
	浜松市西区	約 27,000	約 14,000	54%
	浜松市南区	約 20,000	約 12,000	61%
	浜松市北区	約 25,000	約 4,200	16%
	浜松市浜北区	約 25,000	約 5,200	21%
	浜松市天竜区	約 12,000	約 1,300	11%
	磐田市	約 43,000	約 23,000	53%
	掛川市	約 31,000	約 15,000	49%
	袋井市	約 26,000	約 17,000	65%
	湖西市	約 17,000	約 8,500	50%
	御前崎市	約 11,000	約 4,000	37%
	菊川市	約 14,000	約 4,900	36%
	森町	約 6,200	約 2,600	42%
	(小計)	約 332,000	約 149,000	45%



表 II-2.69 LPガス供給停止需要家数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名		需要家数 (戸)	要点検 需要家数 (戸)	機能 支障率 (%)
県計		約 855,000	約 293,000	34%
賀茂	下田市	約 11,000	約 3,200	30%
	東伊豆町	約 7,300	約 700	10%
	河津町	約 3,600	約 600	18%
	南伊豆町	約 4,500	約 1,200	27%
	松崎町	約 3,000	約 1,300	44%
	西伊豆町	約 4,000	約 2,200	54%
	(小計)	約 33,000	約 9,300	28%
東部	沼津市	約 40,000	約 6,900	17%
	熱海市	約 6,600	約 100	2%
	三島市	約 19,000	約 300	2%
	富士宮市	約 32,000	約 800	3%
	伊東市	約 33,000	約 1,000	3%
	富士市	約 56,000	約 1,400	3%
	御殿場市	約 26,000	約 1,100	4%
	裾野市	約 15,000	約 200	1%
	伊豆市	約 16,000	約 1,100	7%
	伊豆の国市	約 18,000	約 600	4%
	函南町	約 14,000	約 300	2%
	清水町	約 6,000	約 200	3%
	長泉町	約 9,300	約 70	1%
	小山町	約 6,100	約 200	3%
	(小計)	約 296,000	約 14,000	5%
中部	静岡市葵区	約 33,000	約 6,900	21%
	静岡市駿河区	約 31,000	約 6,500	21%
	静岡市清水区	約 30,000	約 6,800	22%
	島田市	約 26,000	約 5,700	22%
	焼津市	約 25,000	約 8,000	32%
	藤枝市	約 24,000	約 4,200	18%
	牧之原市	約 14,000	約 7,600	54%
	吉田町	約 8,500	約 3,700	44%
	川根本町	約 2,800	約 400	16%
	(小計)	約 194,000	約 50,000	26%
西部	浜松市中区	約 42,000	約 36,000	85%
	浜松市東区	約 33,000	約 24,000	73%
	浜松市西区	約 27,000	約 23,000	85%
	浜松市南区	約 20,000	約 14,000	71%
	浜松市北区	約 25,000	約 15,000	58%
	浜松市浜北区	約 25,000	約 16,000	64%
	浜松市天竜区	約 12,000	約 5,300	44%
	磐田市	約 43,000	約 30,000	70%
	掛川市	約 31,000	約 15,000	48%
	袋井市	約 26,000	約 15,000	59%
	湖西市	約 17,000	約 15,000	89%
	御前崎市	約 11,000	約 2,700	25%
	菊川市	約 14,000	約 4,900	36%
	森町	約 6,200	約 3,700	60%
	(小計)	約 332,000	約 220,000	66%

表 II-2.70 LPガス供給停止需要家数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名		需要家数 (戸)	要点検 需要家数 (戸)	機能 支障率 (%)
県計		約 855,000	約 328,000	38%
賀茂	下田市	約 11,000	約 3,800	35%
	東伊豆町	約 7,300	約 1,100	14%
	河津町	約 3,600	約 800	23%
	南伊豆町	約 4,500	約 1,400	31%
	松崎町	約 3,000	約 1,800	60%
	西伊豆町	約 4,000	約 2,700	67%
	(小計)	約 33,000	約 12,000	35%
東部	沼津市	約 40,000	約 11,000	27%
	熱海市	約 6,600	約 500	7%
	三島市	約 19,000	約 1,300	7%
	富士宮市	約 32,000	約 8,000	25%
	伊東市	約 33,000	約 3,000	9%
	富士市	約 56,000	約 12,000	21%
	御殿場市	約 26,000	約 2,700	11%
	裾野市	約 15,000	約 1,300	9%
	伊豆市	約 16,000	約 2,700	17%
	伊豆の国市	約 18,000	約 1,600	9%
	函南町	約 14,000	約 600	5%
	清水町	約 6,000	約 600	10%
	長泉町	約 9,300	約 700	8%
	小山町	約 6,100	約 500	8%
	(小計)	約 296,000	約 46,000	16%
中部	静岡市葵区	約 33,000	約 13,000	39%
	静岡市駿河区	約 31,000	約 14,000	45%
	静岡市清水区	約 30,000	約 21,000	68%
	島田市	約 26,000	約 9,400	37%
	焼津市	約 25,000	約 11,000	45%
	藤枝市	約 24,000	約 7,600	32%
	牧之原市	約 14,000	約 11,000	77%
	吉田町	約 8,500	約 4,900	58%
	川根本町	約 2,800	約 400	14%
	(小計)	約 194,000	約 92,000	47%
西部	浜松市中区	約 42,000	約 22,000	53%
	浜松市東区	約 33,000	約 15,000	44%
	浜松市西区	約 27,000	約 18,000	66%
	浜松市南区	約 20,000	約 11,000	57%
	浜松市北区	約 25,000	約 7,000	28%
	浜松市浜北区	約 25,000	約 7,000	29%
	浜松市天竜区	約 12,000	約 1,800	15%
	磐田市	約 43,000	約 24,000	56%
	掛川市	約 31,000	約 20,000	63%
	袋井市	約 26,000	約 19,000	72%
	湖西市	約 17,000	約 14,000	84%
	御前崎市	約 11,000	約 7,100	65%
	菊川市	約 14,000	約 9,200	68%
	森町	約 6,200	約 3,500	57%
	(小計)	約 332,000	約 179,000	54%

表 II-2.71 LPガス供給停止需要家数  
(大正型関東地震)

市町名		需要家数 (戸)	要点検 需要家数 (戸)	機能 支障率 (%)
県計		約 855,000	約 32,000	4%
賀茂	下田市	約 11,000	約 400	4%
	東伊豆町	約 7,300	約 100	2%
	河津町	約 3,600	約 200	6%
	南伊豆町	約 4,500	約 30	1%
	松崎町	約 3,000	約 80	2%
	西伊豆町	約 4,000	約 90	2%
	(小計)	約 33,000	約 1,000	3%
東部	沼津市	約 40,000	約 2,300	6%
	熱海市	約 6,600	約 2,700	41%
	三島市	約 19,000	約 2,100	11%
	富士宮市	約 32,000	約 40	0%
	伊東市	約 33,000	約 4,700	14%
	富士市	約 56,000	約 300	1%
	御殿場市	約 26,000	約 8,900	35%
	裾野市	約 15,000	約 1,900	13%
	伊豆市	約 16,000	約 700	4%
	伊豆の国市	約 18,000	約 1,700	9%
	函南町	約 14,000	約 1,300	9%
	清水町	約 6,000	約 500	8%
	長泉町	約 9,300	約 600	6%
	小山町	約 6,100	約 2,900	47%
	(小計)	約 296,000	約 31,000	10%
中部	静岡市葵区	約 33,000	約 60	0%
	静岡市駿河区	約 31,000	約 90	0%
	静岡市清水区	約 30,000	約 200	1%
	島田市	約 26,000	-	0%
	焼津市	約 25,000	約 70	0%
	藤枝市	約 24,000	-	0%
	牧之原市	約 14,000	-	0%
	吉田町	約 8,500	-	0%
	川根本町	約 2,800	-	0%
(小計)	約 194,000	約 400	0%	
西部	浜松市中区	約 42,000	約 20	0%
	浜松市東区	約 33,000	約 10	0%
	浜松市西区	約 27,000	約 10	0%
	浜松市南区	約 20,000	-	0%
	浜松市北区	約 25,000	約 10	0%
	浜松市浜北区	約 25,000	-	0%
	浜松市天竜区	約 12,000	-	0%
	磐田市	約 43,000	約 10	0%
	掛川市	約 31,000	約 10	0%
	袋井市	約 26,000	-	0%
	湖西市	約 17,000	約 10	0%
	御前崎市	約 11,000	-	0%
	菊川市	約 14,000	-	0%
	森町	約 6,200	-	0%
	(小計)	約 332,000	約 80	0%

表 II-2.72 LPガス供給停止需要家数  
(元禄型関東地震)

市町名		需要家数 (戸)	要点検 需要家数 (戸)	機能 支障率 (%)
県計		約 855,000	約 52,000	6%
賀茂	下田市	約 11,000	約 1,200	11%
	東伊豆町	約 7,300	約 300	4%
	河津町	約 3,600	約 300	8%
	南伊豆町	約 4,500	約 400	9%
	松崎町	約 3,000	約 100	4%
	西伊豆町	約 4,000	約 200	5%
	(小計)	約 33,000	約 2,500	8%
東部	沼津市	約 40,000	約 4,400	11%
	熱海市	約 6,600	約 3,400	51%
	三島市	約 19,000	約 3,700	20%
	富士宮市	約 32,000	約 60	0%
	伊東市	約 33,000	約 10,000	32%
	富士市	約 56,000	約 500	1%
	御殿場市	約 26,000	約 11,000	41%
	裾野市	約 15,000	約 3,400	23%
	伊豆市	約 16,000	約 1,200	7%
	伊豆の国市	約 18,000	約 2,300	13%
	函南町	約 14,000	約 1,700	12%
	清水町	約 6,000	約 900	14%
	長泉町	約 9,300	約 1,500	16%
	小山町	約 6,100	約 3,400	56%
	(小計)	約 296,000	約 47,000	16%
中部	静岡市葵区	約 33,000	約 200	1%
	静岡市駿河区	約 31,000	約 200	1%
	静岡市清水区	約 30,000	約 900	3%
	島田市	約 26,000	約 10	0%
	焼津市	約 25,000	約 100	1%
	藤枝市	約 24,000	約 10	0%
	牧之原市	約 14,000	約 100	1%
	吉田町	約 8,500	約 10	0%
	川根本町	約 2,800	-	0%
(小計)	約 194,000	約 1,600	1%	
西部	浜松市中区	約 42,000	約 20	0%
	浜松市東区	約 33,000	約 10	0%
	浜松市西区	約 27,000	約 20	0%
	浜松市南区	約 20,000	約 10	0%
	浜松市北区	約 25,000	約 10	0%
	浜松市浜北区	約 25,000	-	0%
	浜松市天竜区	約 12,000	-	0%
	磐田市	約 43,000	約 20	0%
	掛川市	約 31,000	約 10	0%
	袋井市	約 26,000	-	0%
	湖西市	約 17,000	約 20	0%
	御前崎市	約 11,000	約 20	0%
	菊川市	約 14,000	約 10	0%
	森町	約 6,200	-	0%
	(小計)	約 332,000	約 100	0%

### III 交通施設等の被害想定

#### III-1. 交通施設等の被害に係る想定手法

##### 1 想定フレーム

ここでは、想定される地震動、津波等の影響による道路、鉄道、港湾、飛行場等の機能支障に関する想定を実施する。

想定フローは次のとおりである。

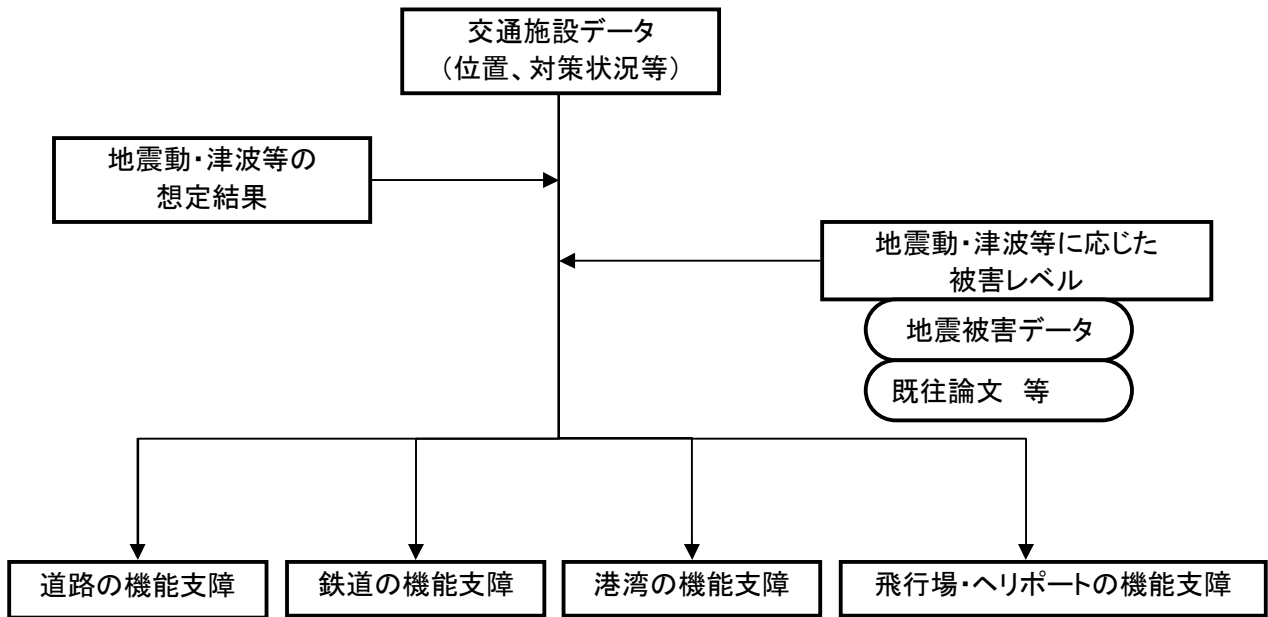


図 III-1.1 想定フロー

また、想定の対象は以下のとおり。

- ① 道路  
地震動、津波、山・崖崩れ等の原因による緊急輸送路の通行支障の想定を実施する。
- ② 鉄道  
地震動、津波、山・崖崩れ等の原因による鉄道の運行支障の想定を実施する。
- ③ 港湾  
地震後に使用可能な耐震強化岸壁の輸送機能の想定を実施する。
- ④ 飛行場・ヘリポート  
地震動、津波等の原因による飛行場・市町防災ヘリポート等の地震時の利用可能性について定性的な想定を実施する。

## 2 道路施設被害

### (1) 想定の対象

県内の緊急輸送路を対象に、地震発生時の緊急輸送に係る通行支障を想定する。

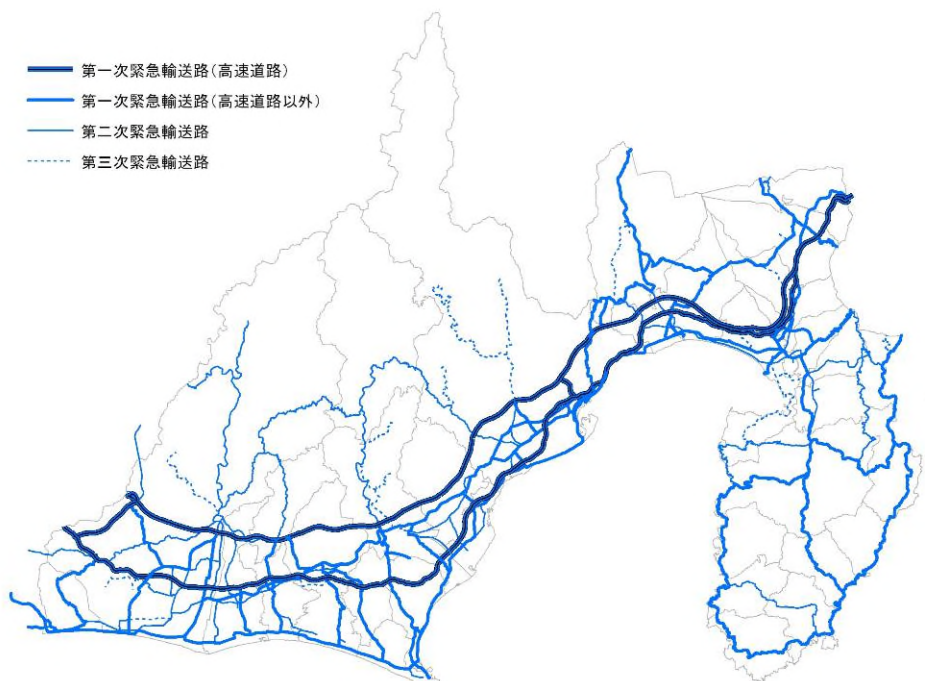


図 III-1.2 県内の緊急輸送路 (平成 24 年 6 月時点)

## (2) 想定手法の概要

通行支障の想定手順を以下に示す。

1. 過去の被災事例を基に、通行支障を引き起こす要因を設定
2. 要因別に被害による「影響度ランク」を設定
3. 要因別の影響度ランクの判定結果を基に、各区間の影響度ランクを総合判定

各要因のうち最も大きい影響度ランクを、当該路線の総合的な影響度ランクとする。

なお、区間設定の考え方は次のとおり。

- 緊急輸送路のネットワークにおける結節点で区間を分割する。
- 津波による影響を適切に表現するため、沿岸と内陸を結ぶ緊急輸送路については、浸水エリアから外れた内陸側で最も近い交差点（緊急輸送路に限らない）においても区間を分割する。

## (3) 影響度ランクの設定

通行支障の程度を「影響度ランク」によって表現する。影響度ランクは以下のとおり設定する。

表 III-1.1 影響度ランクの設定

影響度 ランク	被害 規模	緊急輸送が可能なレベルの 復旧に要する日数目安 <sup>※1</sup>	被害のイメージ
AA	大	1週間以上	橋梁の落橋、倒壊／地形の大変形 等
A	中	3日～1週間	道路閉塞（建物、道路上工作物、津波堆積物） ／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／ 盛土、切土被害 等
B	小	当日～3日	液状化被害／その他小規模な被害 等
C	なし <sup>※2</sup>	—	—

※1 個別の被害に対して復旧に着手できた場合に復旧に要する日数の目安である。資機材、人員が不足する場合や、他の被害箇所を啓開しなければ被害箇所の復旧にあたれない場合等においては、路線全体の復旧により長期間を要する可能性がある。

※2 「影響度ランク C」は、緊急通行車両の通行は可能であるが、多少の被害は発生しており一般車両の通行には支障がある状況も含む。

#### (4) 通行支障を引き起こす要因

通行支障を引き起こす要因として、橋梁の被害、沿道建物の倒壊、その他の揺れ被害、液状化、山・崖崩れ、津波浸水を考慮する。要因別の影響度の判定基準は次のとおりである。

表 III-1.2 通行支障を引き起こす要因及び影響度の判定基準

要因	被害例	判定基準	影響度設定
揺れ (橋梁※ <sup>1</sup> )	落橋、倒壊 亀裂、損傷	建設時に適用した耐震基準(道路橋示方書)により判定	震度 5 弱以上が想定された橋梁における、適用耐震基準 S55 年より古い →AA S55 年以降、H8 年より古い →A H8 年以降(耐震補強済みの橋梁を含む) →C
揺れ (建物倒壊)	建物倒壊による道路閉塞	3号特定建築物※ <sup>2</sup> の耐震化状況により判定	震度7が想定され、耐震化状況が不十分または不明な建物が存在 →A
揺れ (その他道路被害)	盛土や擁壁の被害等	道路防災総点検の各項目の対策状況により判定	震度6弱以上が想定された要対策箇所のうち、対策未了の箇所 盛土 →A 擁壁 →B
断層変位	落橋、トンネルや道路の変状	地震調査研究推進本部の長期評価に基づき判定	変位あり →AA
液状化	路面の亀裂、陥没、噴砂、噴水等	液状化危険度により判定	PL 値 > 15 →B
山・崖崩れ	道路周辺※ <sup>3</sup> における崩壊、地すべり	道路防災総点検の該当項目の対策状況により判定  山・崖崩れの危険度ランクに応じて判定	【崩壊】 (道路防災総点検) 震度6弱以上が想定された要対策箇所のうち、対策未了の箇所 落石・崩壊 →B 岩石崩壊 →B (山・崖崩れ) 急傾斜地崩壊危険度ランク A →B 山腹崩壊危険度ランク A →B
			【地すべり】 (道路防災総点検) 震度6弱以上が想定された要対策箇所、対策未了の箇所 地すべり →A (山・崖崩れ) 地すべり危険度ランク A →A
津波浸水※ <sup>4</sup>	津波堆積物※ <sup>5</sup> による道路閉塞、道路の損傷等	浸水程度に応じて判定	津波による建物被害あり →A 浸水あり →B

※1 橋長 15m以上の橋梁を対象とした(平成 26 年 3 月末見込み)。

※2 3号特定建築物とは以下をみたまものである(耐震改修促進法第 6 条 3 号)。

前面道路幅員が 12m 以下の場合: 6m の高さをこえる建築物

前面道路幅員が 12m をこえる場合: 幅員の 1/2 の高さをこえる建築物

※3 山・崖崩れの危険度ランクに応じた判定においては、該当する箇所から 15m 以内に道路が存する場合に判定の対象とした。

※4 津波により橋梁上部工が流出する等の被害が発生することも考えられるが、知見が少なく統計的に扱うことが難しいことから影響度判定の対象としていない。

※5 津波により運ばれた土砂やがれきなどを総称している。



### 3 鉄道施設被害

---

#### (1) 想定の対象

県内の鉄道を対象に、地震発生時の運行支障を想定する。

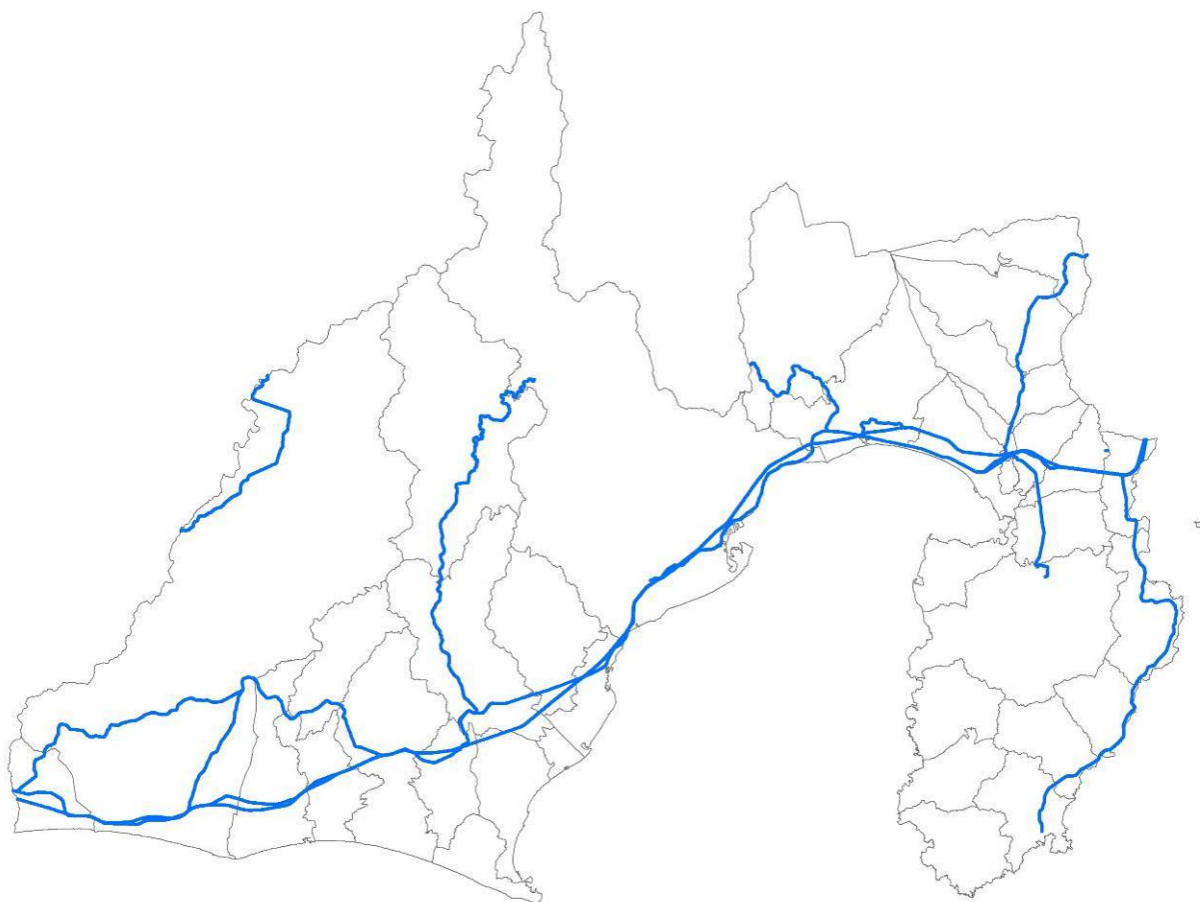


図 III-1.3 県内の鉄道網

## (2) 想定手法の概要

運行支障の想定手順を以下に示す。

1. 過去の被災事例を基に、運行支障を引き起こす要因を設定
2. 要因別に被害による「影響度ランク」を判定
3. 要因別の影響度ランクの判定結果を基に、各区間の影響度ランクを総合判定

各要因のうち最も大きい影響度ランクを、当該路線の総合的な影響度ランクとする。

区間設定にあたっては、始発駅間（鉄道事業者より折り返し可能駅データが得られた場合は、折り返し可能駅間）を一連の区間とする。

## (3) 影響度ランクの設定

運行支障の程度を「影響度ランク」によって表現する。影響度ランクは以下のとおり設定する。

表 III-1.3 影響度ランクの設定

影響度 ランク	被害 規模	運行再開までの日数目安 <sup>※1</sup>	被害のイメージ <sup>※2</sup>
AA	大	1ヶ月以上	橋梁の落橋、倒壊、大変形/ 津波による流失 等
A	中	1週間～1ヶ月	線路上への異物侵入（建物、鉄道上工作物、 津波堆積物等）/橋梁の亀裂、損傷/ 地すべり/盛土、切土被害/ 軌道変状 等
B	小	当日～1週間	液状化被害/その他小規模な被害 等
C	なし	—	—

※1 個別の被害に対して復旧に着手できた場合に要する日数の目安である。資機材、人員が不足する場合や、他の被害箇所や道路被害を啓開しなければ被害箇所の復旧にあたれない場合等においては、路線全体の復旧により長期間を要する可能性がある。

※2 主に土木・保線に係る被害を対象とした。このほか、電化柱折損や架線切断など電力設備の被害や、信号通信機の故障などの発生も考えられる。

#### (4) 運行支障を引き起こす要因

運行支障を引き起こす要因として、鉄道施設の揺れ被害、液状化、山・崖崩れ、津波浸水を考慮する。要因別の影響度の判定基準は以下のとおりである。

表 III-1.4 運行支障を引き起こす要因及び影響度の判定基準

要因	被害例	判定基準	影響度設定	
揺れ (鉄道施設)	盛土、切土、橋梁、軌道変状、跨線橋等	震度により判定	【新幹線】 震度6弱以上 →A 震度5強 →B	【在来線・私鉄線】 震度7 →AA 震度6弱・6強 →A 震度5弱・5強 →B
断層変位	落橋、軌道変状	地震調査研究推進本部の長期評価に基づき判定	変位あり →AA	
液状化	橋脚傾倒、線路横移動等	液状化危険度により判定	PL値 > 15 →B	
山・崖崩れ	鉄道周辺 <sup>※1</sup> における崩壊、地すべり	山・崖崩れの危険度ランクに応じて判定	急傾斜地崩壊危険度ランクA →B 山腹崩壊危険度ランクA →B 地すべり危険度ランクA →A	
津波浸水	津波堆積物 <sup>※2</sup> の線路侵入、鉄道構造物の損傷等	浸水程度に応じて判定	浸水深 4m <sup>※3</sup> 以上 →AA 津波による建物被害あり →A 浸水あり →B	

※1 山・崖崩れの危険度ランクに応じた判定においては、該当する箇所から 15m 以内に鉄道が存する場合に判定の対象とした。

※2 津波により運ばれた土砂やがれきなどを総称している。

※3 東日本大震災において JR 八戸線が運転再開に要した期間と浸水深の関係をみると、1ヶ月以内で運行再開した鮫駅～階上駅は浸水深 4m 未満が中心だが、運行再開まで1ヶ月以上を要した階上駅～久慈駅は浸水深 4m 以上が比較的多いことから、ここでは浸水深 4m 以上で影響度ランク AA に相当する被害が発生するものと設定する。(国土交通省都市局による東日本大震災の浸水深データと鉄道路線位置データによる)

## 4 港湾施設被害

### (1) 想定の対象

県内の防災拠点港湾・防災港湾について、地震後に使用可能な岸壁の物資取扱容量を求める。

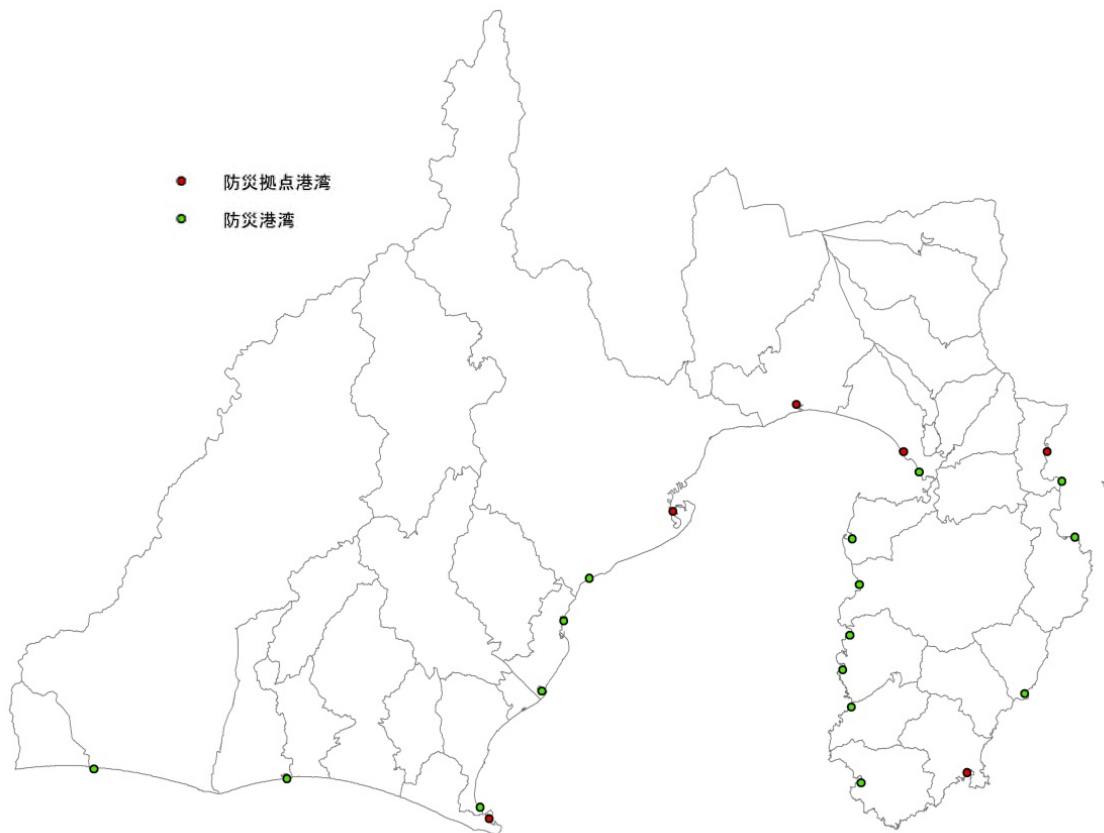


図 III-1.4 防災拠点港湾・防災港湾

阪神・淡路大震災においては、耐震強化岸壁では被害がほとんど発生していない一方、耐震強化岸壁以外は大部分が使用不能となっていることから、本想定においても基本的には耐震強化岸壁のみ使用可能という前提で港湾の機能支障を想定する。

また、東日本大震災においては津波により防波堤や荷役機械、上屋等の被害、コンテナや自動車、がれき等の流出・沈殿、津波火災等が発生したが、津波による被害を個別に想定することが難しいことから物資取扱容量への定量的な反映は行わない。

なお、津波による港湾の一般的な被害様相としては以下のようなものが考えられる。

- 港湾施設（岸壁、防波堤、上屋倉庫、荷役機械等）の被害、船舶やコンテナの被害、航路障害（漂流物の発生等）等の被害が発生する。
- 津波警報が発表されている間、港湾区域内に進入できず被害状況の把握や復旧作業が滞る。
- 第1線防波堤に大きな被害が生じた場合、防波堤の機能が低下し、うねりや風浪等の影響により岸壁や泊地の静穏度が下がり、船舶の接岸荷役の能力が低下することがある。特に、台風シーズンや、季節風が強く波浪の影響を受ける時期には、風浪が収まるのを待つか、他港・他漁港を利用するなどの措置が必要となる可能性がある。
- 港湾内に滞留者が存在し、安全な場所への誘導が必要となる。
- 石油類のタンク、船舶や車両の燃料・バッテリー等から出火し津波火災が発生する可能性がある。
- 危険物施設等が津波により損傷した場合、危険性物質が流出する可能性がある。
- 津波による被害が広い範囲で発生し、応援要員、資機材が不足する可能性がある。

## (2) 想定手法

### ①物資取扱容量の想定

港湾別に地震発生後の1日あたりの物資取扱容量を想定する。

想定にあたっては以下について考慮する。

- 耐震強化岸壁のみ機能を維持し、非耐震の岸壁は使用できないものとする。
- 上盤（大陸のプレート）側では、地震に伴う海底地盤の隆起を、各港湾の水深が浅くなる要因として考慮する。
- 災害時に使用される船舶を事前に特定することが困難であるため、東海地震対策緊急整備事業（昭和55年 港湾局）を参考に、便宜上、荷役効率を推定するための船舶として2,000DWTクラスの貨物船（災害時に手配可能な標準的な貨物船）を想定する。
- 耐震強化岸壁の水深に応じた取扱能力の原単位を岸壁延長に乘じ、岸壁別に物資取扱容量を算出する。

### ②需要量との比較

緊急物資の1日あたりの輸送需要を算出し、①で求めた物資取扱容量と比較する。

緊急物資の輸送需要と物資取扱容量の比較にあたっては以下について考慮する。

- 緊急物資の輸送需要は以下のとおり算出する。
  - 食料及び生活必需品の輸送需要は、(背後市町の避難所避難者数×1.2) × (一人一日当りに必要な緊急物資量：40kg/人日) で算出する。
  - 応急復旧用資機材の輸送需要は、第3次地震被害想定時の資機材の輸送需要及び建物被害棟数から被害量に応じた原単位を作成し、今回想定に適用して算出する。
- 緊急物資の輸送需要量は、避難所避難者数のピーク及び応急復旧用資機材の投入を考慮し、輸送需要のピーク時（発災から4日目～1週間後をイメージ）を念頭に算出するものとする。なお、発災初期（発災から3日目まで）は津波の危険及び復旧対応・航路啓開等のため港湾が利用できないものとする。
- 港湾を用いた輸送モードとして「一次輸送」及び「二次輸送」の2パターンを検討する。
  - 発災から4～6日目では、防災拠点港湾の耐震強化岸壁が使用可能となり、防災拠点港湾のみを活用して各港湾背後地（港湾を経由する貨物の発生源または消費地）の需要に対応する「一次輸送」が行われるものとする。
  - 発災から1週間後以降では、防災拠点港湾・防災港湾の耐震強化岸壁が使用可能となり、各港湾を活用して地域別の需要に対応する「二次輸送」が行われるものとする。
- 実際の災害対応においては緊急物資の需要量全ての輸送を港湾が担うものではなく、陸路・空路との分担により緊急輸送が実施されるが、高速道路・東西幹線道路による広域的な緊急輸送が長期的に困難な場合等を考慮し、ここでは緊急物資の全需要量に対して港湾の物資取扱容量を比較することとする。

#### ※防災拠点港湾・防災港湾

防災上重要な港湾のうち、大水深の耐震強化岸壁を有する、清水港、田子の浦港、御前崎港、熱海港、下田港、沼津港を「防災拠点港湾」、その他港湾・漁港を「防災港湾」と位置づけている。緊急物資は、まず大型の船舶で防災拠点港湾に大量に搬入し（一次輸送）、小さな船舶に積み替えて防災港湾に輸送（二次輸送）することを想定している。ただし、実際の物資の流れは被災状況により異なる。

(防災拠点港湾)	→	(防災港湾)
熱海港	→	網代漁港、伊東港
下田港	→	稲取漁港
沼津港	→	戸田漁港、静浦漁港
田子の浦港		
清水港	→	妻良漁港、松崎港、田子漁港、宇久須港、土肥港、用宗漁港、焼津漁港、大井川港
御前崎港	→	地頭方漁港、福田漁港、浜名港

## 5 飛行場・ヘリポート被害

### (1) 想定の対象

県内の飛行場・ヘリポートについて、緊急輸送上の利用可能性を定性的に検討する。

特に静岡空港については、施設やライフライン等の被害について検討の上、緊急輸送上の利用可能性を想定する。

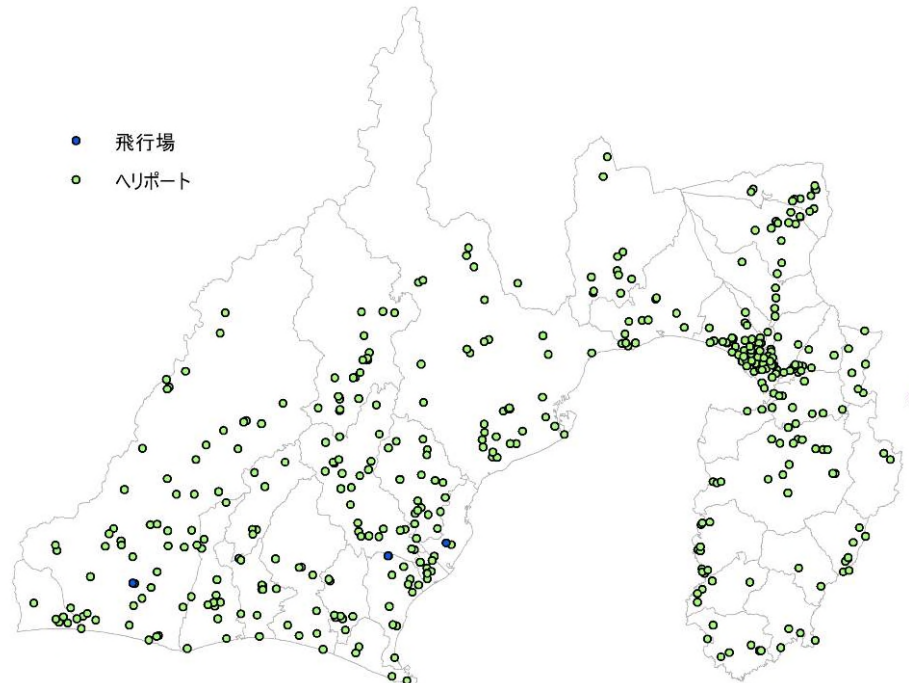


図 III-1.5 県内の飛行場・ヘリポート

### (2) 想定手法

#### ①静岡空港

基本施設や航空保安施設等について、地震動や液状化危険度、施設の対策状況等に基づいて被害を検討し、地震時における静岡空港の機能支障（地震時の利用可能性）を定性的に想定する。

#### ②その他の飛行場・ヘリポート

その他の飛行場、防災拠点ヘリポート、市町防災ヘリポートが受ける地震動・液状化危険度・津波について整理し、利用可能性を定性的に想定する。

## III-2. 交通施設等の被害に係る想定結果

駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波〔レベル1の地震・津波（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）、レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）〕、相模トラフ沿いで発生する地震・津波〔レベル1の地震・津波（大正型関東地震）、レベル2の地震・津波（元禄型関東地震）〕について、交通施設等の被害に係る想定結果を以下に示す。

なお、駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波のレベル2の津波については、検討を行ったケース①⑥⑧のうち、ケース①で代表させて想定結果をとりまとめている。

# 1 道路施設被害

緊急輸送路の総合的な影響度の想定結果を図 III-2.1～図 III-2.6 に示した。  
また、駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波による被害及び復旧の地域別の様相を表 III-2.1 に示した。

## 【駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波 レベル1の地震・津波（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）】

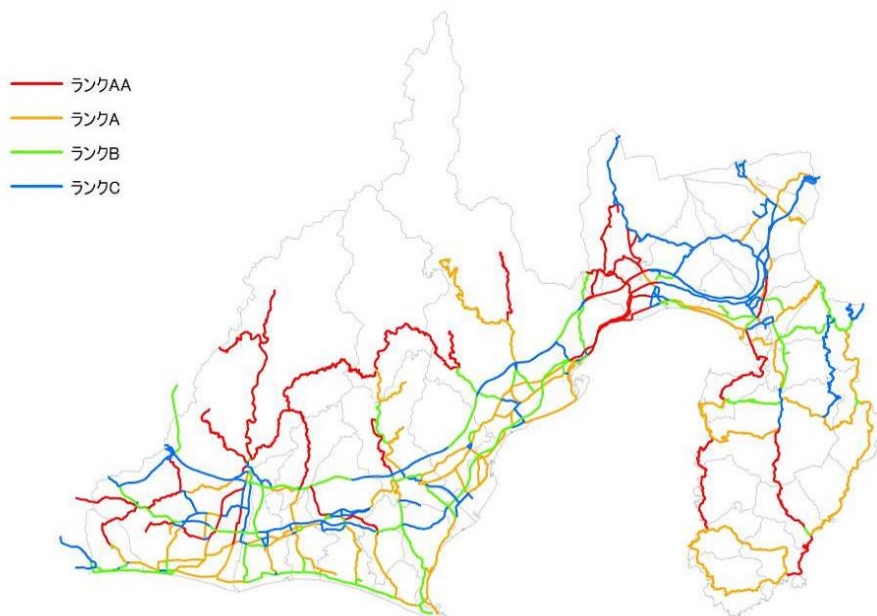


図 III-2.1 想定結果（道路／東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）

## 【駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波 レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）（1）地震動：基本ケース】

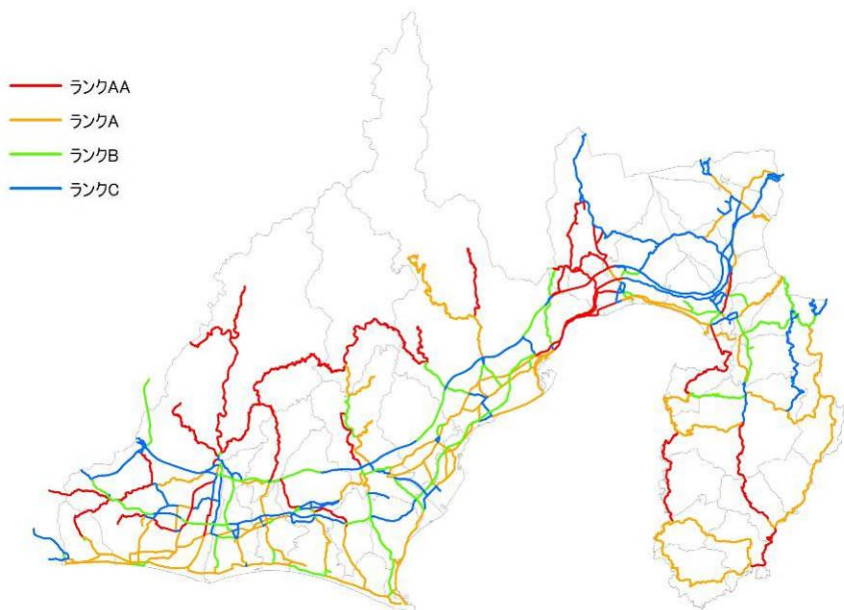


図 III-2.2 想定結果（道路／南海トラフ巨大地震 地震動：基本ケース、津波：ケース①）



【駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波  
レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）（2）地震動：陸側ケース】

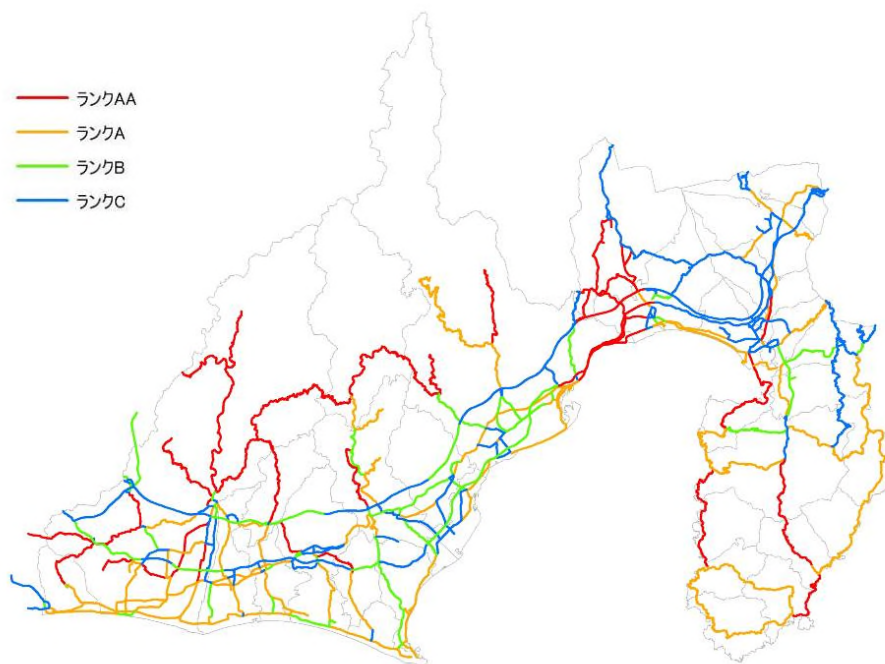


図 III-2.3 想定結果（道路／南海トラフ巨大地震 地震動：陸側ケース、津波：ケース①）

【駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波  
レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）（3）地震動：東側ケース】

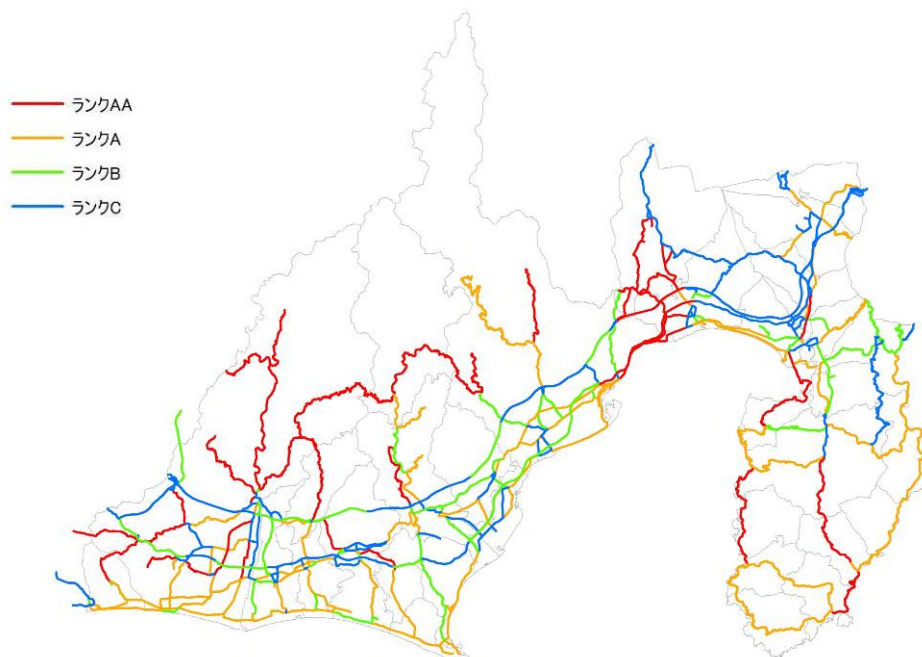


図 III-2.4 想定結果（道路／南海トラフ巨大地震 地震動：東側ケース、津波：ケース①）

【相模トラフ沿いで発生する地震・津波 レベル1の地震・津波（大正型関東地震）】

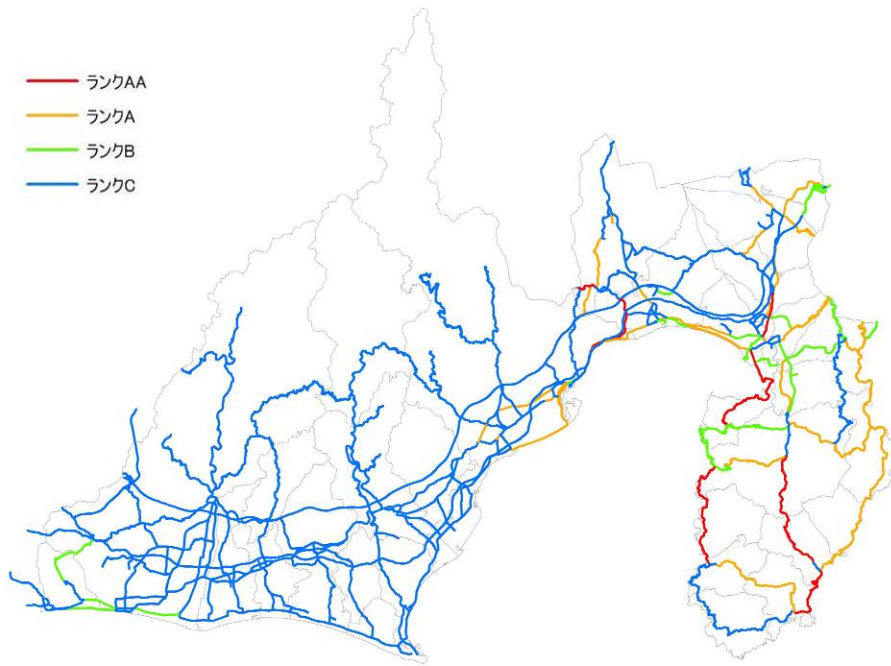


図 III-2.5 想定結果（道路／大正型関東地震）

【相模トラフ沿いで発生する地震・津波 レベル2の地震・津波（元禄型関東地震）】

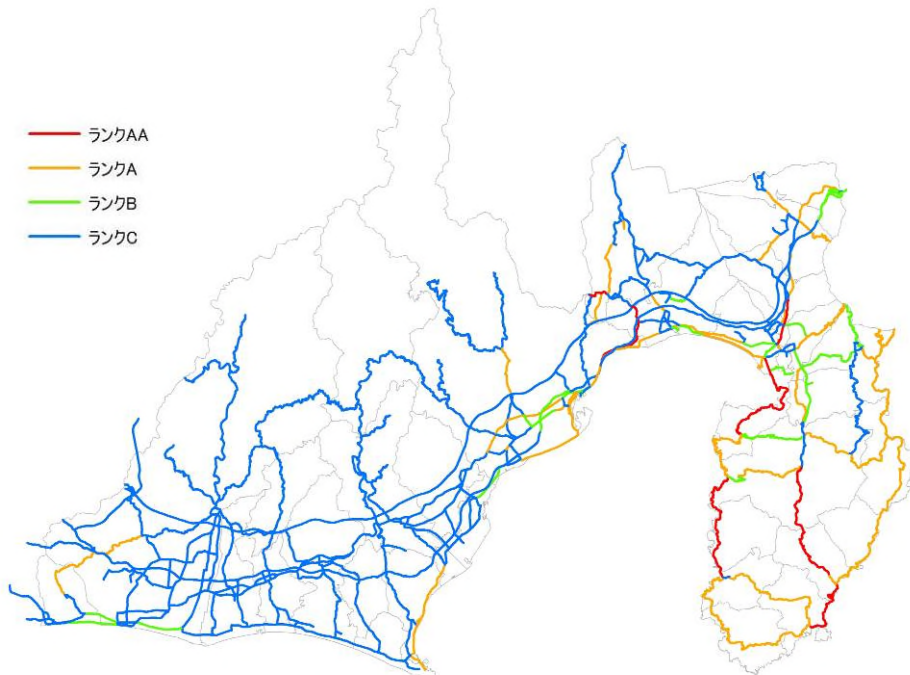


図 III-2.6 想定結果（道路／元禄型関東地震）

表 III-2.1 道路（緊急輸送路）の被害及び復旧の想定（地域別の様相：駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波）

区分	西 部			中 部			東 部			賀 茂	
	西遠	北遠	中遠	志太・榛原	中部(山間部)	中部(沿岸部)	富士	駿東・田方	熱海		
	浜松市中区、東区、西区、南区、北区、浜北区、湖西市	浜松市天竜区	磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、森町	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町	静岡市葵区・清水区の新東名高速道路以北、川根町	静岡市葵区・清水区の新東名高速道路以南、静岡市駿河区	富士市、富士宮市	沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町	熱海市、伊東市		下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町
被災状況	高速道路（東名高速道路、新東名高速道路）										
復旧状況	1日～3日	一般車両の誘導、放置車両の排除、応急復旧等車線の確保に1日～3日程度要す		一般車両の誘導、放置車両の排除、応急復旧等車線の確保に1日～3日程度要す			不通	不通	一般車両の誘導、放置車両の排除等車線の確保に1日程度要す		
	3日～1週間	交通規制により緊急自動車、緊急通行車両のみ通行可能		交通規制により緊急自動車、緊急通行車両のみ通行可能			〃	〃	交通規制により緊急自動車、緊急通行車両のみ通行可能		
	1週間～1ヶ月	〃		〃			仮橋により緊急自動車、緊急通行車両のみ通行可能	仮橋により緊急自動車、緊急通行車両のみ通行可能	〃		
	1ヶ月以上	一般車両の通行可能		一般車両の通行可能			〃	〃	一般車両の通行可能		
被災状況	東西幹線国道（国道1号、国道246号）										
復旧状況	1日～3日	一部区間で不通又は交通規制		一部区間で不通又は交通規制			不通区間あり、要迂回	不通区間あり、要迂回	一部区間で不通又は交通規制		
	3日～1週間	一部区間で不通又は交通規制が継続		一部区間で不通又は交通規制が継続			〃	〃	一部区間で不通又は交通規制が継続		
	1週間～1ヶ月	〃		〃			仮橋により緊急自動車、緊急通行車両のみ通行可能	仮橋により緊急自動車、緊急通行車両のみ通行可能	〃		
	1ヶ月以上	一般車両の通行可能		一般車両の通行可能			〃	〃	一般車両の通行可能		
被災状況	その他道路（高速道路、東西幹線国道以外の緊急輸送路に指定されている道路）										
復旧状況	1日～3日	多くの区間で不通及び交通規制	多くの区間で不通及び交通規制	多くの区間で不通及び交通規制	多くの区間で不通及び交通規制	多くの区間で不通及び交通規制	多くの区間で不通及び交通規制	多くの区間で不通及び交通規制	一部区間で不通及び交通規制	一部区間で不通及び交通規制	多くの区間で不通及び交通規制
	3日～1週間	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	1週間～1ヶ月	一部区間で不通が継続	一部区間で不通が継続	一部区間で不通が継続	一部区間で不通が継続	一部区間で不通が継続	一部区間で不通が継続	一部区間で不通が継続	〃	〃	一部区間で不通が継続
	1ヶ月以上	橋梁の被害箇所が継続し迂回を要する	橋梁の被害箇所が継続し迂回を要する	橋梁の被害箇所が継続し迂回を要する	〃	橋梁の被害箇所が継続し迂回を要する	地盤変位地点の不通が継続し迂回を要する	地盤変位地点の不通が継続し迂回を要する	一般車両の通行可能	一般車両の通行可能	橋梁の被害箇所が継続し迂回を要する
被災直後の輸送状況	東西幹線交通は一部区間で不通となるが新東名高速により確保される	山間部で一定期間不通となる区間が発生する	東西幹線交通は一部区間で不通となる	東西幹線交通は一部区間で不通となる	山間部で一定期間不通となる区間が発生する	東西幹線交通が一定期間不通となる区間が発生する	東西幹線交通が一定期間不通となる区間が発生する	東西幹線交通が一定期間不通となる区間が発生する	東西幹線交通は一部区間で不通となるが高速道路により確保される	一部区間で一時不通となる	内陸・沿岸で一定期間不通となる区間が発生する

※この表は、道路（緊急輸送路）被害の想定結果を地域別に記述したものである。ここに記載した復旧状況は、被災状況に記載した被害が発生したことを前提に想定したものである。

## 2 鉄道施設被害

鉄道の総合的な影響度の想定結果を図 III-2.7～図 III-2.12に示した。

また、駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波による被害及び復旧の地域別の様相を表 III-2.2に示した。

### 【駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波

#### レベル1の地震・津波（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）】

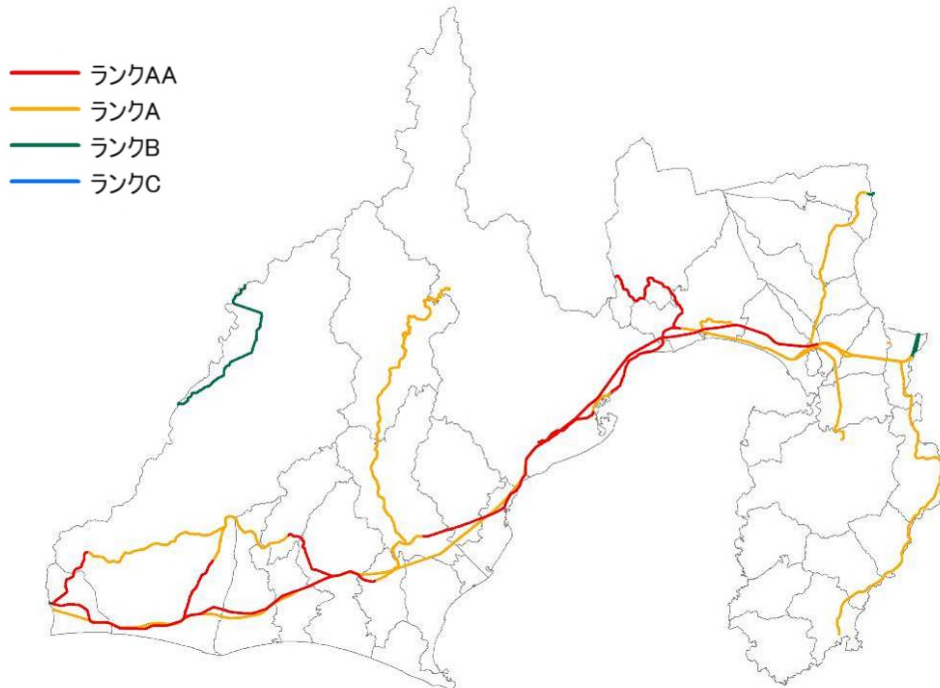


図 III-2.7 想定結果（鉄道／東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）

### 【駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波

#### レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）（1）地震動：基本ケース】

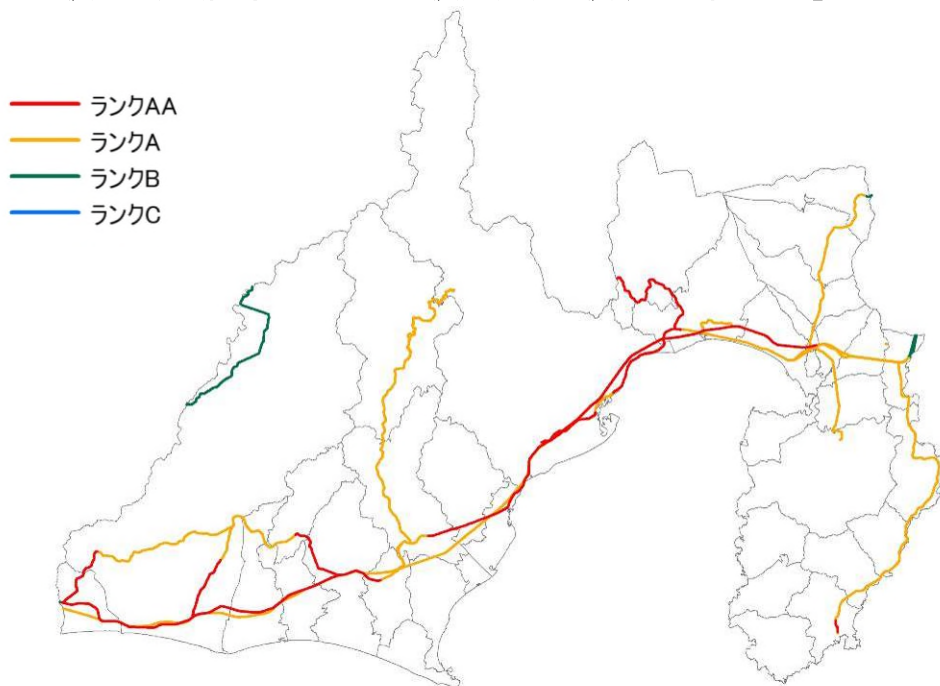


図 III-2.8 想定結果（鉄道／地震動：基本ケース、津波：ケース①）

【駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波  
レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）（2）地震動：陸側ケース】

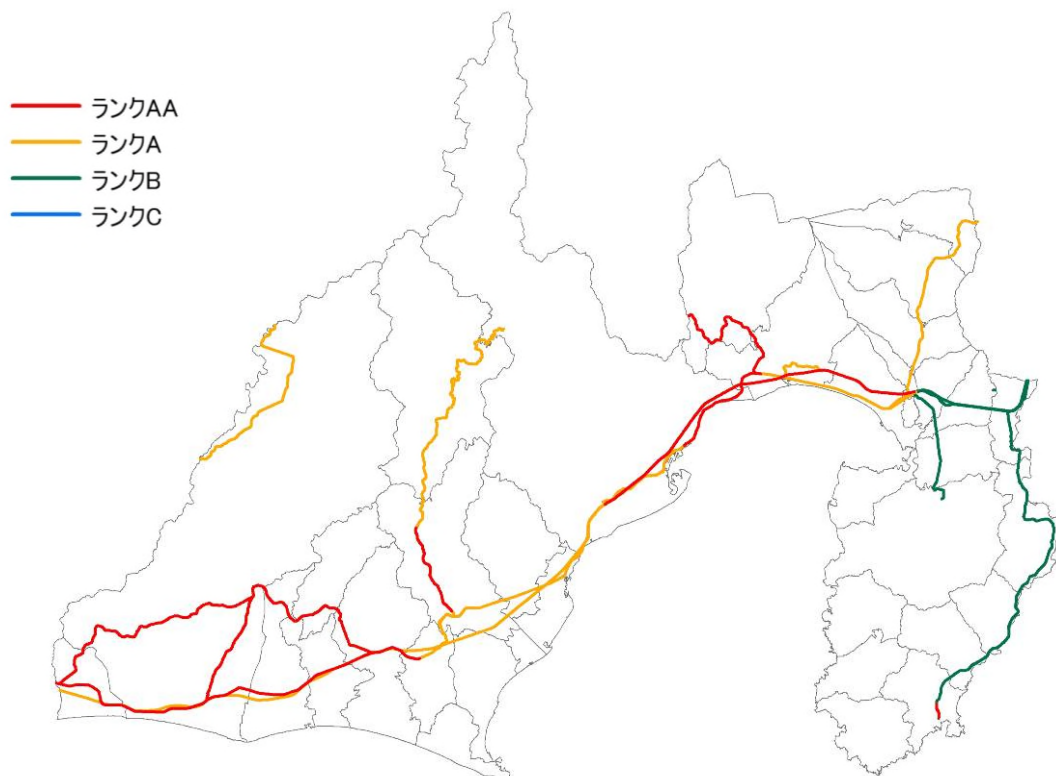


図 III-2.9 想定結果（鉄道／南海トラフ巨大地震 地震動：陸側ケース、津波：ケース①）

【駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波  
レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）（3）地震動：東側ケース】

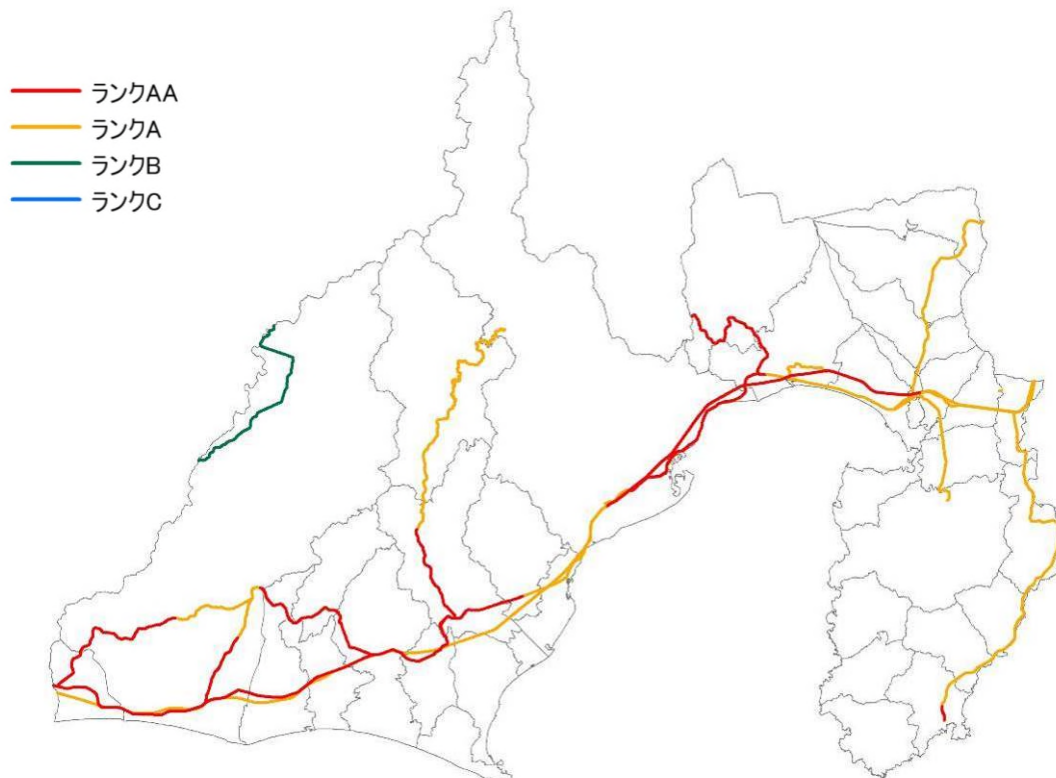


図 III-2.10 想定結果（鉄道／南海トラフ巨大地震 地震動：東側ケース、津波：ケース①）

【相模トラフ沿いで発生する地震・津波 レベル1の地震・津波（大正型関東地震）】

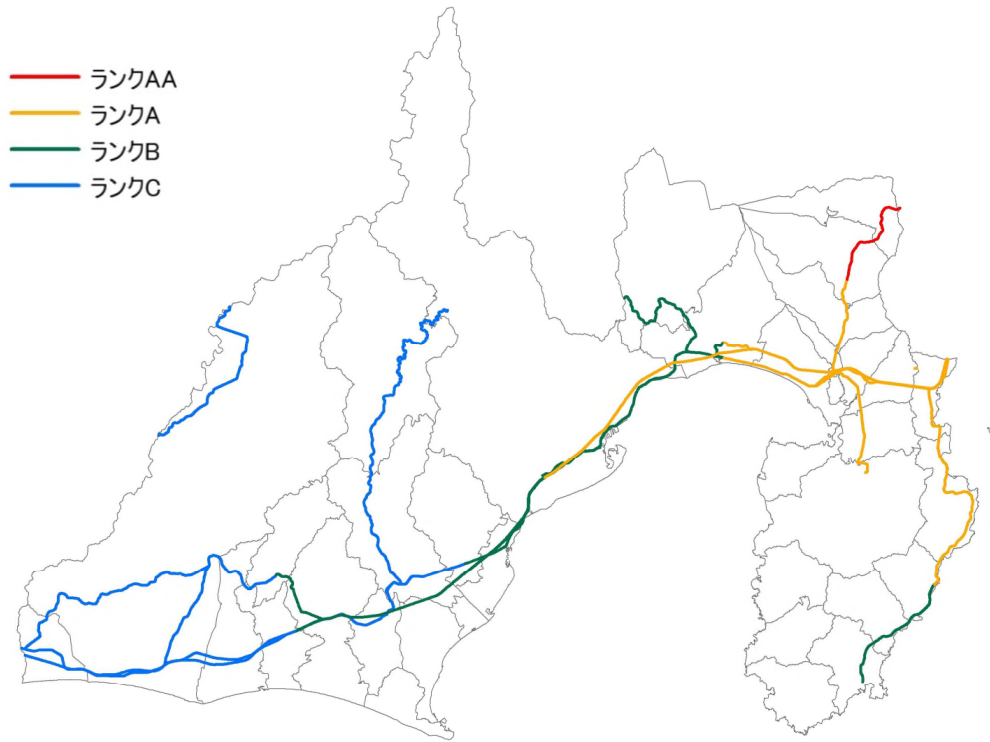


図 III-2.11 想定結果（鉄道／大正型関東地震）

【相模トラフ沿いで発生する地震・津波 レベル2の地震・津波（元禄型関東地震）】

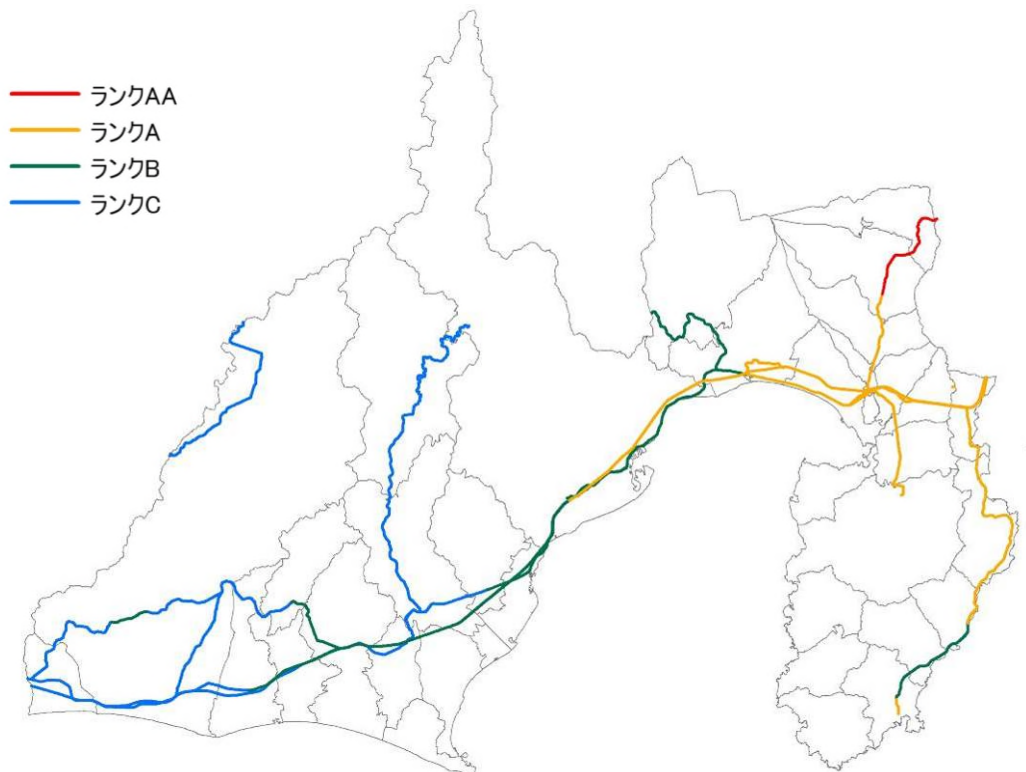


図 III-2.12 想定結果（鉄道／元禄型関東地震）

表 III-2.2 鉄道の被害及び復旧の想定（地域別の様相：駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波）

区 分		西 部			中 部			東 部			賀 茂	
		西遠	北遠	中遠	志太・榛原	中部(山間部)	中部(沿岸部)	富士	駿東・田方	熱海		
		浜松市中区、東区、西区、南区、北区、浜北区、湖西市	浜松市天竜区	磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、森町	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町	静岡市葵区・清水区の新東名高速道路以北、川根本町	静岡市葵区・清水区の新東名高速道路以南、静岡市駿河区	富士市、富士宮市	沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町	熱海市、伊東市		下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町
被災状況	新幹線	大きな施設被害は発生しないが、点検・補修のため一時運行を停止することがある 電力の途絶等があった場合に運行に支障が生じる		大きな施設被害は発生しないが、点検・補修のため一時運行を停止することがある 電力の途絶等があった場合に運行に支障が生じる	大きな施設被害は発生しないが、点検・補修のため一時運行を停止することがある 電力の途絶等があった場合に運行に支障が生じる		富士川河口断層帯が活動した場合、大きな地盤変位に伴う鉄道構造物の被害が発生し運行に支障が生じる	富士川河口断層帯が活動した場合、大きな地盤変位に伴う鉄道構造物の被害が発生し運行に支障が生じる	大きな施設被害は発生しないが、点検・補修のため一時運行を停止することがある 電力の途絶等があった場合に運行に支障が生じる	大きな施設被害は発生しないが、点検・補修のため一時運行を停止することがある 電力の途絶等があった場合に運行に支障が生じる		
	復旧状況	1日～3日	点検・補修・電力途絶のため運休		点検・補修・電力途絶のため運休			不通	不通	点検・補修・電力途絶のため運休	点検・補修・電力途絶のため運休	
		3日～1週間	〃		〃	〃		〃	〃	〃	〃	
		1週間～1ヶ月	運転開始		運転開始	運転開始		静岡駅から西方面に折り返し運転実施	〃	三島駅から東方面に折り返し運転実施	運転開始	
1ヶ月以上		〃		〃	〃		運転開始	運転開始	運転開始	〃		
被災状況	JR線、私鉄各線	地震動(震度7)により運行に支障が生じる程度の施設被害が発生する 【最大クラスの場合】震度7の揺れを受ける区間が増加するとともに、浸水被害が発生する	地震動(震度5強)や山・崖崩れにより一時運行を停止する 【最大クラスの場合】地震動(震度6強)により運行に支障が生じる程度の施設被害が発生する	地震動(震度7)により運行に支障が生じる程度の施設被害が発生する	地震動(震度7)や山・崖崩れにより運行に支障が生じる程度の施設被害が発生する 【最大クラスの場合】浸水被害が発生する	地震動(震度6弱)や山・崖崩れにより運行に支障が生じる程度の施設被害が発生する	富士川河口断層帯が活動した場合、大きな地盤変位に伴う鉄道構造物の被害が発生し運行に支障が生じる 地すべりにより運行に支障が生じる程度の施設被害が発生する 【最大クラスの場合】浸水被害が発生する	富士川河口断層帯が活動した場合、大きな地盤変位に伴う鉄道構造物の被害が発生し運行に支障が生じる	地震動(震度6強)や山・崖崩れにより運行に支障が生じる程度の施設被害が発生する 【最大クラスの場合】地震動(震度6強)の揺れを受ける区間が増加する	地震動(震度6弱)や山・崖崩れにより運行に支障が生じる程度の施設被害が発生する	地震動(震度6弱)により運行に支障が生じる程度の施設被害が発生する 下田付近で浸水被害が発生する 【最大クラスの場合】より厳しい浸水被害が発生する	
	復旧状況	1日～3日	不通	点検・補修のため運休	不通	不通	不通	不通	不通	不通	不通	不通
		3日～1週間	〃	運転開始	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
		1週間～1ヶ月	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	不通区間あり、折り返し運転実施	不通区間あり、折り返し運転実施	不通区間あり、折り返し運転実施
1ヶ月以上		不通区間あり、折り返し運転実施	〃	不通区間あり、折り返し運転実施	不通区間あり、折り返し運転実施	不通区間あり、折り返し運転実施	不通区間あり、折り返し運転実施	不通区間あり、折り返し運転実施	〃	〃	〃	

※この表は、鉄道被害の想定結果を地域別に記述したものである。ここに記載した復旧状況は、被災状況に記載した被害が発生したことを前提に想定したものである。

※津波浸水域内においても、盛土部・高架部等で鉄道施設の高さが確保されている場合は浸水の影響を受けない。なお、新幹線施設は、本被害想定で津波浸水深を上回る高さが確保されている。

### 3 港湾施設被害

地震後に使用可能な防災拠点港湾及び防災港湾の耐震強化岸壁の物資取扱容量及び輸送需要量との比較結果を表 III-2.3～表 III-2.9 に示した。

**【駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波  
レベル1の地震・津波（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）】**

**①物資取扱容量**

各港湾・漁港別の1日あたり取扱能力の推定結果は以下のとおりである。

**表 III-2.3 港湾・漁港別の1日あたり物資取扱容量  
（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）**

地域	防災拠点	港湾・漁港名	地区名	施設名	水深(m)	延長(m)	取扱原単位(t/m/日)	地盤変位(m)	変位後水深(m)	変位後取扱原単位(t/m/日)	取扱能力(t/日)	
											変位なし	変位後
賀茂	○	稲取漁港	稲取	東岸壁	-4.5	80	15.5		-4.5	15.5	1,240	1,240
		下田港	外ヶ岡	外ヶ岡棧橋	-6.0	80	15.5		-6.0	15.5	1,240	1,240
		妻良漁港	妻良	-3.0m岸壁	-3.0	80	7.8		-3.0	7.8	624	624
		松崎港	松崎	松崎棧橋	-3.0	68	7.8		-3.0	7.8	530	530
			新港	岸壁(-6.0m)	-6.0	100	15.5		-6.0	15.5	1,550	1,550
		田子漁港	-	-	-	-	0.0		-	0.0	0.0	0.0
宇久須港	宇久須	公共第二棧橋	-4.0	50	15.5		-4.0	15.5	775	775		
東部	○	熱海港	和田磯	-7.5m岸壁	-7.5	155	23.3		-7.5	23.3	3,612	3,612
		網代漁港	網代	-3.5m岸壁	-3.5	60	7.8		-3.5	7.8	468	468
		伊東港	玖須美	玖須美耐震岸壁	-4.5	80	15.5		-4.5	15.5	1,240	1,240
		土肥港	大藪	大藪岸壁	-4.5	60	15.5		-4.5	15.5	930	930
		戸田漁港	-	-	-	-	0		-	0	0	0
		静浦漁港	-	-	-	-	0		-	0	0	0
	○	沼津港	外港	外港西岸壁	-5.5	90	15.5		-5.5	15.5	1,395	1,395
				外港東1号岸壁	-7.5	130	23.3		-7.5	23.3	3,029	3,029
	○	田子の浦港	吉原	吉原1号岸壁	-9.0	167	23.3		-9.0	23.3	3,891	3,891
			中央	中央2号岸壁	-12.0	240	23.3		-12.0	23.3	5,592	5,592
中部	○	清水港	興津	興津1号岸壁	-10.0	185	23.3	1.5	-8.5	23.3	4,311	4,311
				興津2号岸壁	-10.0	186	23.3	1.5	-8.5	23.3	4,334	4,334
				興津11号岸壁	-12.0	220	23.3	1.5	-10.5	23.3	5,126	5,126
				興津12号岸壁	-12.0	220	23.3	1.5	-10.5	23.3	5,126	5,126
			日の出	日の出4号岸壁	-12.0	240	23.3	1.5	-10.5	23.3	5,592	5,592
				日の出5号岸壁	-12.0	240	23.3	1.5	-10.5	23.3	5,592	5,592
	用宗漁港	-	-	-	-	0	1.5	-	0	0	0	
	焼津漁港	城之腰	城之腰南岸壁	-7.0	120	15.5	1.5	-5.5	15.5	1,860	1,860	
	大井川港	飯淵	耐震岸壁	-5.5	90	15.5	1.5	-4.0	15.5	1,395	1,395	
			公共南2号岸壁	-6.5	110	15.5	1.5	-5.0	15.5	1,705	1,705	
地頭方漁港	新庄	-3.0m岸壁	-3.0	150	7.8	1.5	-1.5	0.0	1,170	0		
西部	○	御前崎港	女岩	西埠頭3号岸壁	-7.5	130	23.3	1.5	-6.0	15.5	3,029	2,015
				西埠頭4号岸壁	-7.5	130	23.3	1.5	-6.0	15.5	3,029	2,015
				西埠頭10号岸壁	-14.0	280	23.3	1.5	-12.5	23.3	6,524	6,524
	福田漁港	豊浜	-3.0m岸壁	-3.0	350	7.8	0.5	-2.5	7.8	2,730	2,730	
			-5.0m岸壁	-5.0	100	15.5	0.5	-4.5	15.5	1,550	1,550	
	浜名港	向島	向島第二物揚場	-3.5	175	7.8		-3.5	7.8	1,365	1,365	
県計											80,553	77,355

※港湾別の地盤変位量は、津波浸水予測において算定されているメッシュ別の地盤変位量から各港湾付近の最大値を抽出した。



## ②地域別のピーク時物資輸送需要

本ケースにおける地域別のピーク時物資輸送需要は以下のとおりである。

表 III-2.4 地域別のピーク時物資輸送需要※<sup>1</sup>  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

輸送モード	港湾	背後市町※ <sup>2</sup>	物資輸送需要 (t)
一次輸送	下田港	東伊豆町、河津町、下田市	303
	熱海港	熱海市、伊東市	368
	沼津港	沼津市、三島市、裾野市、御殿場市、伊豆の国市、 函南町、清水町、長泉町、小山町	3,001
	田子の浦港	富士市、富士宮市	2,380
防災拠点港湾のみ活用	清水港	南伊豆町、松崎町、西伊豆町、伊豆市、静岡市、川 根本町、焼津市、藤枝市、島田市、吉田町	26,037
	御前崎港	牧之原市、御前崎市、菊川市、磐田市、袋井市、掛 川市、森町、浜松市、湖西市	26,477
		計	58,566

輸送モード	港湾	背後地域	物資輸送需要 (t)
二次輸送	稲取漁港、下田港、妻良漁港、松崎港、田子漁港、宇 久須港	賀茂	747
防災拠点港湾・防災港湾 を活用	熱海港、網代漁港、伊東港、土肥港、戸田漁港、静岡 漁港、沼津港、田子の浦港	東部	5,998
	清水港、用宗漁港、焼津漁港、大井川港、地頭方漁港	中部	25,345
	御前崎港、福田漁港、浜名港	西部※ <sup>3</sup>	26,477
		計	58,566

※<sup>1</sup> 実際の災害対応においては、避難所避難者数のピーク及び応急復旧用資機材の投入を考慮すると、発災から4日目～1週間後頃に輸送需要がピークになると考えられる。本想定ではそれぞれの輸送モードにおける取扱能力をピーク時の需要と比較するが、実際にはピーク時の需要に対しては一次輸送で対応し、二次輸送においては需要が減少していると考えられる。

※<sup>2</sup> 一次輸送の背後市町には二次輸送先防災港湾の背後市町を含む。

※<sup>3</sup> 牧之原市は御前崎港を活用することから、牧之原市の需要は西部に算入している。

### ③需要との比較

需要と物資取扱容量の比較結果は以下のとおりである。

一次輸送においては御前崎港において取扱容量が不足するが、県全体では充足しており、陸路との連携により対応する。

二次輸送においては西部において取扱容量が不足するが、県全体では充足しており、陸路との連携により対応する。

**表 III-2.5 地域別のピーク時物資輸送需要と港湾容量の比較  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)**

輸送モード	港湾	背後市町	物資輸送 需要 (t)	物資取扱 容量 (t)	過不足 (t)
一次輸送 防災拠点港 湾のみ活用	下田港	東伊豆町、河津町、下田市	303	1,240	937
	熱海港	熱海市、伊東市	368	3,612	3,244
	沼津港	沼津市、三島市、裾野市、御殿場市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町	3,001	4,424	1,423
	田子の浦港	富士市、富士宮市	2,380	9,483	7,103
	清水港	南伊豆町、松崎町、西伊豆町、伊豆市、静岡市、川根本町、焼津市、藤枝市、島田市、吉田町	26,037	30,080	4,043
	御前崎港	牧之原市、御前崎市、菊川市、磐田市、袋井市、掛川市、森町、浜松市、湖西市	26,477	10,554	-15,923
		計	58,566	59,393	827

輸送モード	港湾	背後地域	物資需要 (t)	物資取扱 容量 (t)	過不足 (t)
二次輸送 防災拠点港 湾・防災港 湾を活用	稲取漁港、下田港、妻良漁港、松崎港、田子漁港、宇久須港	賀茂	747	5,959	5,213
	熱海港、網代漁港、伊東港、土肥港、戸田漁港、静浦漁港、沼津港、田子の浦港	東部	5,998	20,157	14,159
	清水港、用宗漁港、焼津漁港、大井川港、地頭方漁港	中部	25,345	35,040	9,695
	御前崎港、福田漁港、浜名港	西部	26,477	16,199	-10,278
		計	58,566	77,355	18,789

※実際の災害対応においては緊急物資の需要量全ての輸送を港湾が担うものではなく、陸路・空路との分担により緊急輸送が実施される。

【駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波

レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震） 地震動：基本ケース、陸側ケース、東側ケース】

①物資取扱容量

各港湾・漁港別の1日あたり取扱能力の推定結果は以下のとおりである。

レベル2の地震・津波の場合は、背後地からの大量のがれきの流入により、航路泊地の啓開作業に相当日数を要する等、短期間で復旧が困難となることも考えられる。被災状況により、使用可能な岸壁を選択するほか、航路・泊地も含め被災が軽微な港から優先的に応急復旧する必要がある。

表 III-2.6 港湾・漁港別の1日あたり物資取扱容量（南海トラフ巨大地震 津波：ケース①）

地域	防災拠点	港湾・漁港名	地区名	施設名	水深(m)	延長(m)	取扱原単位(t/m/日)	地盤変位(m)	変位後水深(m)	変位後取扱原単位(t/m/日)	取扱能力(t/日)		
											変位なし	変位後	
賀茂	○	稲取漁港	稲取	東岸壁	-4.5	80	15.5		-4.5	15.5	1,240	1,240	
		下田港	外ヶ岡	外ヶ岡棧橋	-6.0	80	15.5		-6.0	15.5	1,240	1,240	
		妻良漁港	妻良	-3.0m岸壁	-3.0	80	7.8		-3.0	7.8	624	624	
		松崎港	新港	松崎	松崎棧橋	-3.0	68	7.8		-3.0	7.8	530	530
				新港	岸壁(-6.0m)	-6.0	100	15.5		-6.0	15.5	1,550	1,550
		田子漁港	-	-	-	-	-	0.0		-	0.0	0.0	0.0
宇久須港	宇久須	公共第二棧橋	-4.0	50	15.5		-4.0	15.5	775	775			
東部	○	熱海港	和田磯	-7.5m岸壁	-7.5	155	23.3		-7.5	23.3	3,612	3,612	
		網代漁港	網代	-3.5m岸壁	-3.5	60	7.8		-3.5	7.8	468	468	
		伊東港	玖須美	玖須美耐震岸壁	-4.5	80	15.5		-4.5	15.5	1,240	1,240	
		土肥港	大藪	大藪岸壁	-4.5	60	15.5		-4.5	15.5	930	930	
		戸田漁港	-	-	-	-	0		-	0	0	0	
		静浦漁港	-	-	-	-	0		-	0	0	0	
	○	沼津港	外港	外港西岸壁	-5.5	90	15.5		-5.5	15.5	1,395	1,395	
				外港東1号岸壁	-7.5	130	23.3		-7.5	23.3	3,029	3,029	
		田子の浦港	吉原中央	吉原1号岸壁	-9.0	167	23.3		-9.0	23.3	3,891	3,891	
				中央2号岸壁	-12.0	240	23.3		-12.0	23.3	5,592	5,592	
中部	○	清水港	興津	興津1号岸壁	-10.0	185	23.3	3.0	-7.0	15.5	4,311	2,868	
				興津2号岸壁	-10.0	186	23.3	3.0	-7.0	15.5	4,334	2,883	
				興津11号岸壁	-12.0	220	23.3	3.0	-9.0	23.3	5,126	5,126	
				興津12号岸壁	-12.0	220	23.3	3.0	-9.0	23.3	5,126	5,126	
			日の出	日の出4号岸壁	-12.0	240	23.3	3.0	-9.0	23.3	5,592	5,592	
				日の出5号岸壁	-12.0	240	23.3	3.0	-9.0	23.3	5,592	5,592	
	用宗漁港	-	-	-	-	0	3.0	-	0	0	0		
	焼津漁港	城之腰	城之腰南岸壁	-7.0	120	15.5	3.0	-4.0	15.5	1,860	1,860		
	大井川港	飯淵	耐震岸壁	-5.5	90	15.5	2.5	-3.0	7.8	1,395	702		
			公共南2号岸壁	-6.5	110	15.5	2.5	-4.0	15.5	1,705	1,705		
-3.0m岸壁			-3.0	150	7.8	2.0	-1.0	0.0	1,170	0			
地頭方漁港	新庄	-3.0m岸壁	-3.0	150	7.8	2.0	-1.0	0.0	1,170	0			
西部	○	御前崎港	女岩	西埠頭3号岸壁	-7.5	130	23.3	2.0	-5.5	15.5	3,029	2,015	
				西埠頭4号岸壁	-7.5	130	23.3	2.0	-5.5	15.5	3,029	2,015	
				西埠頭10号岸壁	-14.0	280	23.3	2.0	-12.0	23.3	6,524	6,524	
	福田漁港	豊浜	-3.0m岸壁	-3.0	350	7.8	1.5	-1.5	0.0	2,730	0		
			-5.0m岸壁	-5.0	100	15.5	1.5	-3.5	7.8	1,550	780		
			浜名港	向島	向島第二物揚場	-3.5	175	7.8		-3.5	7.8	1,365	1,365
県計											80,553	70,269	

※港湾別の地盤変位量は、津波浸水予測において算定されているメッシュ別の地盤変位量から各港湾付近の最大値を抽出した。

②地域別のピーク時物資輸送需要及び取扱容量との比較

レベル2の地震・津波の場合、使用可能な耐震強化岸壁の推定が困難であるため、需要と岸壁の取扱容量を単純に比較することは行わない。

【相模トラフ沿いで発生する地震・津波 レベル1の地震・津波（大正型関東地震）】

①物資取扱容量

各港湾・漁港別の1日あたり取扱能力の推定結果は以下のとおりである。相模トラフ沿いの地震による本県内での地盤の隆起は軽微であり水深は変化しないと想定した。

表 III-2.7 港湾・漁港別の1日あたり物資取扱容量（大正型関東地震）

地域	防災拠点	港湾・漁港名	地区名	施設名	水深(m)	延長(m)	取扱原単位(t/m/日)	取扱能力(t/日)
賀茂		稲取漁港	稲取	東岸壁	-4.5	80	15.5	1,240
	○	下田港	外ヶ岡	外ヶ岡棧橋	-6.0	80	15.5	1,240
		妻良漁港	妻良	-3.0m岸壁	-3.0	80	7.8	624
		松崎港	松崎	松崎棧橋	-3.0	68	7.8	530
			新港	岸壁(-6.0m)	-6.0	100	15.5	1,550
		田子漁港	-	-	-	-	0.0	0.0
	宇久須港	宇久須	公共第二棧橋	-4.0	50	15.5	775	
東部	○	熱海港	和田磯	-7.5m岸壁	-7.5	155	23.3	3,612
		網代漁港	網代	-3.5m岸壁	-3.5	60	7.8	468
		伊東港	玖須美	玖須美耐震岸壁	-4.5	80	15.5	1,240
		土肥港	大藪	大藪岸壁	-4.5	60	15.5	930
		戸田漁港	-	-	-	-	0	0
		静浦漁港	-	-	-	-	0	0
	○	沼津港	外港	外港西岸壁	-5.5	90	15.5	1,395
				外港東1号岸壁	-7.5	130	23.3	3,029
○	田子の浦港	吉原	吉原1号岸壁	-9.0	167	23.3	3,891	
		中央	中央2号岸壁	-12.0	240	23.3	5,592	
中部	○	清水港	興津	興津1号岸壁	-10.0	185	23.3	4,311
				興津2号岸壁	-10.0	186	23.3	4,334
				興津11号岸壁	-12.0	220	23.3	5,126
				興津12号岸壁	-12.0	220	23.3	5,126
			日の出	日の出4号岸壁	-12.0	240	23.3	5,592
		日の出5号岸壁	-12.0	240	23.3	5,592		
		用宗漁港	-	-	-	-	0	0
		焼津漁港	城之腰	城之腰南岸壁	-7.0	120	15.5	1,860
	大井川港	飯淵	耐震岸壁	-5.5	90	15.5	1,395	
			公共南2号岸壁	-6.5	110	15.5	1,705	
	地頭方漁港	新庄	-3.0m岸壁	-3.0	150	7.8	1,170	
西部	○	御前崎港	女岩	西埠頭3号岸壁	-7.5	130	23.3	3,029
				西埠頭4号岸壁	-7.5	130	23.3	3,029
				西埠頭10号岸壁	-14.0	280	23.3	6,524
		福田漁港	豊浜	-3.0m岸壁	-3.0	350	7.8	2,730
	-5.0m岸壁			-5.0	100	15.5	1,550	
	浜名港	向島	向島第二物揚場	-3.5	175	7.8	1,365	
							県計	80,553

## ②地域別のピーク時物資輸送需要

本ケースにおける地域別のピーク時物資輸送需要は以下のとおりである。

表 III-2.8 地域別のピーク時物資輸送需要<sup>※1</sup> (大正型関東地震)

輸送モード	港湾	背後市町 <sup>※2</sup>	物資輸送需要 (t)
一次輸送 防災拠点港湾のみ活用	下田港	東伊豆町、河津町、下田市	73
	熱海港	熱海市、伊東市	1,131
	沼津港	沼津市、三島市、裾野市、御殿場市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町	3,599
	田子の浦港	富士市、富士宮市	155
	清水港	南伊豆町、松崎町、西伊豆町、伊豆市、静岡市、川根本町、焼津市、藤枝市、島田市、吉田町	179
	御前崎港	牧之原市、御前崎市、菊川市、磐田市、袋井市、掛川市、森町、浜松市、湖西市	9
		計	5,146

輸送モード	港湾	背後地域	物資輸送需要 (t)
二次輸送 防災拠点港湾・防災港湾を活用	稲取漁港、下田港、妻良漁港、松崎港、田子漁港、宇久須港	賀茂	94
	熱海港、網代漁港、伊東港、土肥港、戸田漁港、静岡漁港、沼津港、田子の浦港	東部	4,958
	清水港、用宗漁港、焼津漁港、大井川港、地頭方漁港	中部	84
	御前崎港、福田漁港、浜名港	西部 <sup>※3</sup>	9
		計	5,146

※1 実際の災害対応においては、避難所避難者数のピーク及び応急復旧用資機材の投入を考慮すると、発災から4日目～1週間後頃に輸送需要がピークになると考えられる。本想定ではそれぞれの輸送モードにおける取扱能力をピーク時の需要と比較するが、実際にはピーク時の需要に対しては一次輸送で対応し、二次輸送においては需要が減少していると考えられる。

※2 一次輸送の背後市町には二次輸送先防災港湾の背後市町を含む。

※3 牧之原市は御前崎港を活用することから、牧之原市の需要は西部に算入している。

### ③需要との比較

需要と物資取扱容量の比較結果は以下のとおりである。

一次輸送・二次輸送ともに、港湾の容量は充足すると想定される。

表 III-2.9 地域別のピーク時物資輸送需要と港湾容量の比較（大正型関東地震）

輸送モード	港湾	背後市町	物資輸送 需要 (t)	物資取扱 容量 (t)	過不足 (t)
一次輸送 防災拠点港 湾のみ活用	下田港	東伊豆町、河津町、下田市	73	1,240	1,167
	熱海港	熱海市、伊東市	1,131	3,612	2,481
	沼津港	沼津市、三島市、裾野市、御殿場市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町	3,599	4,424	825
	田子の浦港	富士市、富士宮市	155	9,483	9,328
	清水港	南伊豆町、松崎町、西伊豆町、伊豆市、静岡市、川根本町、焼津市、藤枝市、島田市、吉田町	179	30,080	29,901
	御前崎港	牧之原市、御前崎市、菊川市、磐田市、袋井市、掛川市、森町、浜松市、湖西市	9	12,582	12,573
		計	5,146	61,421	56,275

輸送モード	港湾	背後地域	物資需要 (t)	物資取扱 容量 (t)	過不足 (t)
二次輸送 防災拠点港 湾・防災港 湾を活用	稲取漁港、下田港、妻良漁港、松崎港、田子漁港、宇久須港	賀茂	94	5,959	5,865
	熱海港、網代漁港、伊東港、土肥港、戸田漁港、静岡漁港、沼津港、田子の浦港	東部	4,958	20,157	15,199
	清水港、用宗漁港、焼津漁港、大井川港、地頭方漁港	中部	84	36,210	36,126
	御前崎港、福田漁港、浜名港	西部	9	18,227	18,218
		計	5,146	80,553	75,407

※実際の災害対応においては緊急物資の需要量全ての輸送を港湾が担うものではなく、陸路・空路との分担により緊急輸送が実施される。

## 【相模トラフ沿いで発生する地震・津波 レベル2の地震・津波（元禄型関東地震）】

各港湾・漁港別の1日あたり取扱能力の推定結果は「大正型関東地震」と同様。相模トラフ沿いの地震による地盤の隆起は軽微であり水深は変化しないと想定した。

レベル2の地震・津波の場合は、背後地からの大量のがれきの流入により、航路泊地の啓開作業に相当日数を要する等、短期間での復旧が困難となることも考えられる。被災状況により、使用可能な岸壁を選択するほか、航路・泊地も含め被災が軽微な港から優先的に応急復旧する必要がある。

レベル2の地震・津波の場合、使用可能な耐震強化岸壁の推定が困難であるため、需要と岸壁の取扱容量を単純に比較することは行わない。

## 4 飛行場・ヘリポート被害

### (1) 駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波

#### ①静岡空港の様相

表 III-2.10 静岡空港の震度・液状化危険度・津波

ケース		震度	液状化危険度	津波
レベル1の地震・津波（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）		6強	—	—
レベル2の地震・津波 （南海トラフ巨大地震） 津波ケース①	地震動：基本ケース	6強	—	—
	地震動：陸側ケース	6弱～6強	—	—
	地震動：東側ケース	6強	—	—

#### ○被災状況

- ・ 静岡空港では、震度6強の大きな揺れが発生するが、滑走路等の基本施設や航空保安施設に及ぼす影響は小さく、長期にわたり離着陸に影響を及ぼすような大きな被害は発生しない。

#### ○対応状況

- ・ 安全確認等のため空港を閉鎖するが、空港運用に支障がないと判断した時点から運航を再開する。
- ・ 運航再開後、速やかに救急・救命活動、消火活動の拠点として運用を開始する。医療活動の中核拠点となる広域搬送拠点が設置される。
- ・ 災害発生から3日以内に、緊急輸送物資及び人員等輸送の受け入れ拠点として運用を開始できると想定される。

#### ○周辺の様相

- ・ 牧之原市・島田市の停電率は89～91%である。県全体が概ね停電を解消するまで1週間程度を要する。
- ・ 付近の緊急輸送路では一部で橋梁等の被害が発生する恐れがあるが、迂回等により早期に空港へのアクセスが確保できると想定される。



②その他の主な飛行場・ヘリポートの様相

【レベル1の地震・津波（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）】

表 III-2.11 主な飛行場・ヘリポートの震度・液状化危険度・津波（レベル1の地震・津波）

飛行場・ヘリポート	震度	液状化危険度	津波
航空自衛隊静浜基地	6強	中	—
航空自衛隊浜松基地	6強	—	—
静岡ヘリポート	6強	小	—

震度6強以上となる防災拠点ヘリポート・防災ヘリポート	約170箇所
浸水の恐れがある防災拠点ヘリポート・防災ヘリポート	約10箇所

【レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）（1）地震動：基本ケース】

表 III-2.12 主な飛行場・ヘリポートの震度・液状化危険度・津波（地震動：基本ケース、津波ケース①）

飛行場・ヘリポート	震度	液状化危険度	津波
航空自衛隊静浜基地	6強	中	—
航空自衛隊浜松基地	6強	—	—
静岡ヘリポート	6強	小	—

震度6強以上となる防災拠点ヘリポート・防災ヘリポート	約170箇所
浸水の恐れがある防災拠点ヘリポート・防災ヘリポート	約30箇所

【レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）（2）地震動：陸側ケース】

表 III-2.13 主な飛行場・ヘリポートの震度・液状化危険度・津波（地震動：陸側ケース、津波ケース①）

飛行場・ヘリポート	震度	液状化危険度	津波
航空自衛隊静浜基地	6弱	小	—
航空自衛隊浜松基地	7	—	—
静岡ヘリポート	6弱	小	—

震度6強以上となる防災拠点ヘリポート・防災ヘリポート	約120箇所
浸水の恐れがある防災拠点ヘリポート・防災ヘリポート	約30箇所

【レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）（3）地震動：東側ケース】

表 III-2.14 主な飛行場・ヘリポートの震度・液状化危険度・津波（地震動：東側ケース、津波ケース①）

飛行場・ヘリポート	震度	液状化危険度	津波
航空自衛隊静浜基地	6強	中	—
航空自衛隊浜松基地	6強	—	—
静岡ヘリポート	6強	小	—

震度6強以上となる防災拠点ヘリポート・防災ヘリポート	約150箇所
浸水の恐れがある防災拠点ヘリポート・防災ヘリポート	約30箇所

航空自衛隊静浜基地では震度6弱～6強、航空自衛隊浜松基地では震度6強～7の揺れを受ける可能性が高く、一時的に空港機能が停止する可能性がある。また、アクセス道路に被害が生じること等により、輸送機能に支障が生じる可能性がある。

一部の防災拠点ヘリポートや市町防災ヘリポートでは震度6強以上の強い揺れを受ける可能性や津波が浸水するおそれがあるほか、離着陸場内に住民等が避難していたり、アクセス道路に被害が生じたりすること等により、輸送機能に支障が生じる可能性がある。

## (2) 相模トラフ沿いで発生する地震・津波

### ①静岡空港の様相

表 III-2.15 静岡空港の震度・液状化危険度・津波

ケース	震度	液状化危険度	津波
レベル1の地震・津波（大正型関東地震）	4	—	—
レベル2の地震・津波（元禄型関東地震）	4	—	—

#### ○被災状況

- ・ 震度は4程度であり、滑走路等の基本施設や航空保安施設に被害は発生しないが、安全確保のため空港を閉鎖する。

#### ○対応状況

- ・ 安全確認後、空港運用に支障がないと判断した時点から運航を再開する。
- ・ 当日中に空路による緊急輸送が開始される。

#### ○周辺の様相

- ・ 周辺の電力やアクセス交通には大きな被害は想定されない。

### ②その他の主な飛行場・ヘリポートの様相

#### 【レベル1の地震・津波（大正型関東地震）】

表 III-2.16 主な飛行場・ヘリポートの震度・液状化危険度・津波（大正型関東地震）

飛行場・ヘリポート	震度	液状化危険度	津波
航空自衛隊静浜基地	4	—	—
航空自衛隊浜松基地	4	—	—
静岡ヘリポート	5弱	—	—

震度6強以上となる防災拠点ヘリポート・防災ヘリポート	—
浸水の恐れがある防災拠点ヘリポート・防災ヘリポート	—

#### 【レベル2の地震・津波（元禄型関東地震）】

表 III-2.17 主な飛行場・ヘリポートの震度・液状化危険度・津波（元禄型関東地震）

飛行場・ヘリポート	震度	液状化危険度	津波
航空自衛隊静浜基地	5弱	—	—
航空自衛隊浜松基地	4	—	—
静岡ヘリポート	5弱	—	—

震度6強以上となる防災拠点ヘリポート・防災ヘリポート	わずか
浸水の恐れがある防災拠点ヘリポート・防災ヘリポート	わずか

航空自衛隊静浜基地では震度4～5弱、航空自衛隊浜松基地では震度4の揺れを受け点検が必要となる可能性がある。また、アクセス道路に被害が生じること等により、輸送機能に支障が生じる可能性がある。

ごく一部の防災拠点ヘリポートや市町防災ヘリポートで震度6強以上の強い揺れを受ける可能性や津波が浸水するおそれがあるほか、離着陸場内に住民等が避難していたり、アクセス道路に被害が生じたりすること等により、輸送機能に支障が生じる可能性がある。

## IV 産業保安施設の被害想定

### IV-1. 産業保安施設の被害に係る想定手法

東日本大震災からの教訓等を踏まえ、本県の地震・津波対策を再点検するために必要な基礎資料を収集し、被害想定手法を検討した上で被害想定を実施することを目的とする。ここでは、危険物施設の被害想定を実施し、本県における大規模地震発生時の被害様相を明らかにするものである。

[実施内容]

- ① 被害発生件数（地震の揺れによる貯蔵タンク被害）  
被害発生時の影響が大きい危険性物質の貯蔵タンクの被害について、確率論的な手法を用いて定量的に算出する。
- ② 被害影響範囲（地震の揺れによる貯蔵タンク被害）  
貯蔵タンクについて、被害発生時の影響範囲のケーススタディを実施する。
- ③ 津波被害の危険箇所  
津波による被害が発生する可能性のある箇所を摘出する。
- ④ 被害想定結果（全般）  
地震の揺れによる貯蔵施設被害に限らず、津波による被害、輸送中や受払中の被害を含め、静岡県内で懸念される被害を全般的に想定する。
- ⑤ 被害・対応シナリオ  
危険性物質の関連事業所における地震時の被害・対応の時系列シナリオ例を作成する。

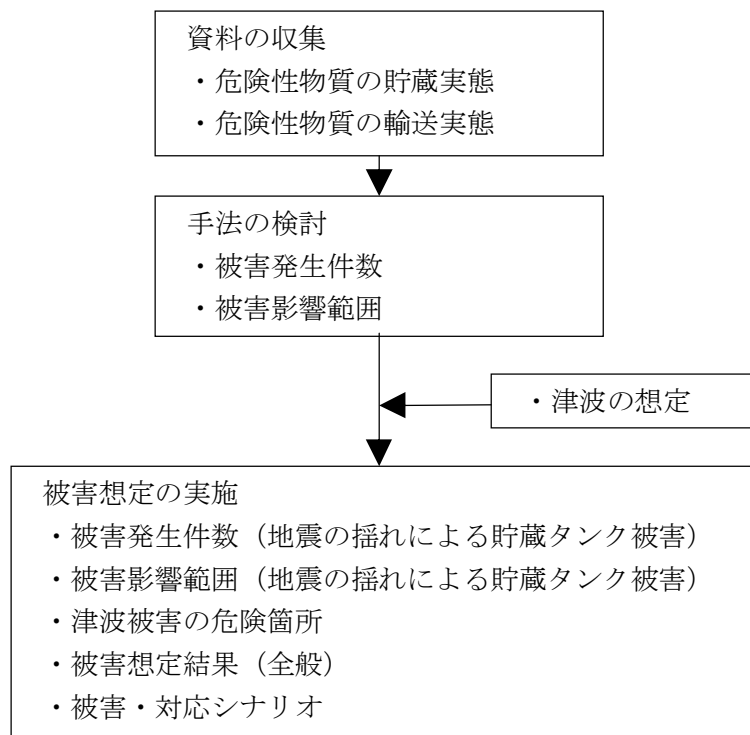


図 IV-1.1 調査フロー

表 IV-1.1 危険性物質貯蔵実態の調査対象

No	種類	品目例	対象施設
1	引火性液体	石油類	消防法屋外タンク貯蔵所
2	可燃性ガス	LPG、 LNG	高圧ガス保安法液化石油ガス製造事業所及び一般高圧ガス製造事業所のLPG及びLNG貯槽
3	毒性ガス	塩素、アンモニア	高圧ガス保安法一般高圧ガス製造事業所の毒性ガス貯槽
4	毒劇性液体	塩酸、硫酸	大規模地震対策特別措置法届出施設の毒物及び劇物貯槽

表 IV-1.2 危険性物質貯蔵タンクの最大容量と施設数（平成24年3月31日現在）

	引火性液体 *1		可燃性ガス *2		毒性ガス *3		毒劇性液体 *4	
	屋外タンク 施設数	うち、 特定分	容量(t)	施設数	容量(t)	施設数	容量(t)	施設数
県計	2,779	141	183,868	487	2,589	45	58,346	681
賀茂	下田市	14	0	72	5	0	0	0
	東伊豆町	7	0	30	2	0	0	0
	河津町	2	0	0	0	0	0	0
	南伊豆町	4	0	0	0	0	0	0
	松崎町	3	0	10	1	0	0	0
	西伊豆町	4	0	15	1	0	0	0
	(小計)	34	0	127	9	0	0	0
東部	沼津市	44	0	453	24	0	0	231
	熱海市	10	0	44	4	0	0	0
	三島市	7	0	60	5	0	0	905
	富士宮市	100	0	283	20	0	0	0
	伊東市	28	0	176	12	0	0	0
	富士市	393	44	456	24	2,034	5	29,018
	御殿場市	118	0	342	18	0	0	0
	裾野市	39	0	165	10	10	1	0
	伊豆市	19	0	15	1	0	0	0
	伊豆の国市	6	0	121	9	0	0	0
	函南町	2	0	34	3	0	0	0
	清水町	5	0	121	12	0	0	0
	長泉町	52	2	94	10	0	0	1,735
	小山町	38	0	50	1	0	0	0
(小計)	861	46	2,414	153	2,044	6	31,889	
中部	静岡市	359	57	170,895	57	499	31	11,424
	島田市	94	2	317	19	0	0	0
	焼津市	120	30	6,248	44	0	0	7,241
	藤枝市	105	0	101	12	0	0	4,305
	牧之原市	56	0	394	18	0	0	0
	吉田町	88	0	223	14	0	0	411
	川根本町	12	0	0	0	0	0	0
	(小計)	834	89	178,178	164	499	31	23,381
西部	浜松市	199	4	1,164	72	12	3	0
	磐田市	241	2	695	26	2	3	1,982
	掛川市	171	0	621	29	0	0	353
	袋井市	145	0	285	17	11	1	277
	湖西市	42	0	309	12	0	0	0
	御前崎市	183	0	34	2	22	1	465
	菊川市	50	0	40	3	0	0	0
	森町	19	0	0	0	0	0	0
	(小計)	1,050	6	3,149	161	46	8	3,077

\*1: 消防法の屋外タンク貯蔵所。特定分は特定屋外タンク貯蔵所(1千kL以上)であり、屋外タンク貯蔵所の内数

\*2: 液化石油ガス製造事業所及び一般高圧ガス製造事業所のLPG及びLNG貯槽数

\*3: 一般高圧ガス製造事業所の毒性ガス貯槽数

\*4: 大規模地震対策特別措置法の届出施設における毒物及び劇物貯槽数

**(1) 被害発生件数（地震の揺れによる貯蔵タンク被害）**

これまでの地震でも被害が発生しており、かつ最大容量が多いため被害発生時の影響が大きくなる傾向がある貯蔵タンクを対象として、被害発生件数を以下の式により算出する。

$$\text{被害発生件数} = \text{被害発生確率} \times \text{施設数}$$

被害発生確率は、過去調査事例の確率値の中央値を設定した。なお、過去調査事例の確率値は、災害事例及び専門家の意見を考慮したイベントツリー分析という確率論的な手法によって算出されたものである。また、地震の揺れや液状化によって発生する被害の設定条件は、貯蔵施設が多数立地している臨海地域の想定結果を全県一様の代表値として、以下のとおりとする。

- ・震度 6 強～ 7
- ・液状化危険度大 (P L > 1 5)

**(2) 被害影響範囲（地震動による貯蔵タンク被害）**

地震動により貯蔵タンクから漏えいした場合を想定し、総務省消防庁（2013）に則った手法を基に、周辺住民に対し人体への健康影響が及ぶ範囲を定量的に算出した。影響範囲は気象条件に左右されるため、静岡県内の気象観測記録を踏まえ、3通りのケースを設定する。

また、津波による貯蔵施設の被害及び輸送中・受払中の被害については、人体への健康影響が貯蔵施設の被害よりも小規模になると思われることから、影響範囲の算出は行わなかった。

**(3) 津波被害の危険箇所**

津波による被害については、算出手法が確立されていないため、定性的な記述にとどめることとする。

**(4) 被害想定結果（全般）**

地震動による貯蔵施設被害、津波による貯蔵施設被害、及び輸送中・受払中の被害を含む被害全般を対象として、大規模地震発生時に懸念される危険物質に関する被害を、以下の表に示す観点から抽出する。

**表 IV-1.3 被害のランク区分**

ランク	内容	発生件数の期待値 (全県)*1	備考
AA	県内で発生が予想される被害	1 件以上	施設数が多い危険性物質で、発生件数が大きい被害形態。
A	県内で発生するかもしれない被害	0. 1 件以上 ～1 件未満	施設数が比較的多い物質で、発生件数が比較的大きい被害形態。
B	県内での発生可能性は低い が、発生時の影響が大きい被害	0.1 件未満	物質の潜在的な危険性が高いが施設の強度が高く漏えいの危険性が低いもの。事象が重なった場合に大きな被害に至るもの。

\*1：本調査での算出結果を用いる。

**(5) 被害・対応シナリオ**

危険物関連事業所における被害・対応のイメージを理解するため、仮想の時系列シナリオ例を作成する。事業所の設定は県内の実態を参考にした架空のものである。

## IV-2. 産業保安施設の被害想定結果

前頁の想定手法を基に大規模地震発生時に懸念される危険性物質に関する被害を想定した。想定結果のうち、ランクAAまたはAに該当する被害を以下の表に示す。

ランクAAは、発生件数の期待値が全県で1を超え、発生が予想される被害である。石油貯蔵タンクからの漏洩、可燃性ガスや毒性液体の貯蔵タンクからの小規模漏洩等が予想されるが、いずれも小規模な被害であり、周辺住民への健康影響が及ぶ可能性が低い。

一方、ランクAは、県内で発生するかもしれない被害であり、発生件数の期待値が全県で1に満たないが、現象の不確実性を考慮すると発生することを前提に対策を検討しておくことが望ましい事象である。石油貯蔵タンクの火災、可燃性ガスの継続的な漏洩（爆発の恐れあり）が発生するかもしれない、発生した場合には周辺住民の避難が必要になる。また、毒性液体の防油堤外流出も発生するかもしれない、発生した場合には風下の周辺住民が刺激臭を感じることになり、風上へ避難させることが望ましい。石油タンカーの受払中の漏洩、漁港での津波による燃料タンクの損傷に伴う漏洩も起こるかもしれない、発生した場合には海洋汚染を招くこととなる。

なお、今回の想定で対象とした貯蔵タンク以外にも、引火性液体や可燃性ガス、毒性ガス、毒性液体を保有する施設等は県内に広く存在するため、危険性物質の漏えいや火災、爆発等については、静岡県内の広い範囲で被災の危険性があることに留意する必要がある。

表 IV-2.1 産業保安施設の被害想定結果 (1/3) ランクAAの場合

ランク	[AA]県内で発生が予想される被害(発生件数期待値1件以上)					
発生場所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所
危険性物質	石油類	石油類	石油類	可燃性ガス	毒劇性液体	毒劇性液体
品目例	ガソリンなど	ガソリンなど	ガソリンなど	LPG、水素など	塩酸、硫酸など	塩酸、硫酸など
施設	貯蔵タンク	貯蔵タンク	貯蔵タンク	貯蔵タンク	貯蔵タンク	貯蔵タンク
県内の発生件数(期待値)	約28件	約6件	約1件	約3件	約7件	約1件
被害形態	小規模の漏洩	継続的な漏洩	防油堤外への流出	小規模の漏洩	小規模の漏洩	継続的な漏洩
被害の様相	配管の亀裂発生、浮屋根タンクのスロッシングなどにより、少量漏洩する。	配管の破断、タンクの損傷などにより、継続的に漏洩する。	防油堤が破損または防油堤の容量を超えたり漏洩があり、防油堤外へ流出する。	配管の亀裂発生などにより、少量漏洩する。	配管の亀裂発生などにより、少量漏洩する。	配管の破断、タンクの損傷などにより、継続的に漏洩する。
発生時の影響	特に影響なし。	防油堤内に止まれば、特に影響なし。	防油堤外に流出した場合、海上汚染などを招く。	特に影響なし。	特に影響なし。	事業所の風下周辺の住民が刺激臭を感じる。
備考						

表 IV-2.2 産業保安施設の被害想定結果 (2/3) ランク A の場合

ランク	[A] 県内で発生するかもしれない被害 (発生件数期待値 0.1 件以上 1 件未満)						
発生場所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所 (受払施設)	事業所 (岸壁受払施設)	漁港など
危険性物質	石油類	石油類	可燃性ガス	毒劇性液体	石油類	石油類	石油類
品目例	ガソリンなど	ガソリンなど	LPG、水素など	塩酸、硫酸など	ガソリンなど	ガソリンなど	ガソリンなど
施設	貯蔵タンク	貯蔵タンク	貯蔵タンク	貯蔵タンク	ローリー車	タンカー船	船舶燃料の小型貯蔵タンクなど
県内の発生件数 (期待値)	約 0.6 件	約 0.2 件	約 0.2 件	約 0.3 件	定量値不明	定量値不明	定量値不明
被害形態	プール火災	防油堤外火災	継続的な漏洩	防油堤外流出	小規模の漏洩	小規模の漏洩	小規模の漏洩
被害の様相	漏洩した石油類に着火、スロッシングによる着火などにより、火災が発生する。	防油堤外に漏洩した石油類に着火し、火災が発生する。	配管の破断、タンクの損傷などにより、継続的に漏洩する。	配管の破断、タンクの損傷などにより漏洩し、防油堤外に流出する。	払出中に地震が発生し、配管が外れ石油類が吐出する。	受入中に地震が発生し、配管が外れ石油類が吐出する。	津波によって漁船等が岸壁に乗り上げ、タンク等を破壊する。
発生時の影響	火災の規模により周辺住民の避難が必要 [ガソリン] 半径 10～300m	延焼の危険があるため、周辺住民の避難が必要	爆発の危険あり周辺住民の避難必要 [LPG・水素] タンク規模により半径 200～1,500m (爆発時に窓ガラスが破れる範囲)	事業所の風下周辺の住民が刺激臭を感じる。防油堤外に流出した場合、海上汚染などを招く。	特に影響なし	海洋を汚染する。	海洋を汚染する。
備考					夜間は休業が多い	夜間は休業が多い	

表 IV-2.3 産業保安施設の被害想定結果 (3/3) ランクBの場合

ランク	[B] 発生可能性は小さいが、発生時の影響が大きい被害				
発生場所	事業所	事業所	事業所	道路上	道路上
危険性物質	毒性ガス	毒性ガス	可燃性ガス	石油類	毒性ガス
品目例	アンモニア、塩素など	アンモニア、塩素など	LPG、LNG など	ガソリンなど	アンモニア、塩素など
施設	貯蔵タンク	貯蔵タンク	貯蔵タンク	ローリー車	ローリー車
県内の発生件数(期待値)	約 0.09 件	0.01 件未満	0.01 件未満	定量値不明	定量値不明
被害形態	小規模の漏洩	継続的な漏洩	タンク爆発	漏洩・火災	継続的な漏洩
被害の様相	配管の亀裂発生などにより、少量漏洩する。	配管の破断などにより、継続的に漏洩する。	タンクが破損、漏洩したガスに着火し、タンク本体が爆発。	構造物の崩壊などにより、タンクが破損する。さらに摩擦火花などにより着火する。	構造物の崩壊などにより、タンクが破損する。
発生時の影響	事業所の風下周辺の住民が一時的に刺激臭を感じる。	住民避難が必要。被害規模と風速により [アンモニア]①風下 80～1600m ②風下 35～450m [塩素] ①風下 250～1800m ②風下 80～520m ①順次避難が必要(常時曝露でなければ安全)。 ②迅速な退避が必要(30分曝露で健康危険)。	爆発のおそれがある時点で周辺住民の避難必要。 [LPG・水素]タンク規模により半径 200～1,500m  (上記は爆発時に窓ガラスが破れる範囲)	火災が発生した場合、道路沿いの建築物が延焼する恐れがある。その範囲は、半径 100m が一つの目安。  (上記はタンクローリー火災の例)	(事業所での漏洩被害と同様)
備考					

[参考] 津波被害の危険箇所

危険性物質の関連施設に津波が来襲すれば、被害が発生する可能性がある。想定地震のうち、静岡県内で最も広い想定浸水面積となった「南海トラフ巨大地震」の想定津波浸水域にある施設は注意が必要である。

- ①危険性物質を扱う事業所が多い清水港、大井川港、田子の浦港に隣接した地区などが浸水する結果となっている。津波の動的な挙動や事業所内の施設状況で左右されるため、被害の発生の有無を予測することは困難であるが、浸水深が 50cm 未満であれば、大型タンクを囲む防油堤や防液堤を超えることはないと思われる。また、東日本大震災の事例では、浸水深が 3m 以上に達した危険物タンク（引火性液体のタンク）で、津波による被害が多く発生している。
- ②多くの漁港が浸水する結果となっている。漁港では漁協等が漁船の燃料を保管している場合が多いが、津波が運んで来たガレキや漁船などが燃料タンクや保管庫などを破壊して、危険性物質が海上に流出する危険性がある。
- ③津波火災の延焼メカニズムは以下のとおりであり、危険物流出後の条件次第では、東日本大震災の気仙沼市のように、津波火災に進展する可能性がある。
  - ・流出した屋外タンクからのオイル、ガスボンベによって拡大し、また瓦礫などの可燃物も豊富であるため、それらは燃えたまま津波に乗って漂流。さらに、これらの集積の密度によっては、ここで海上油面火災が形成されたり、燃えた船舶が延焼拡大をさらに助長。



表 IV-2.4 地震の揺れによる危険性物質貯蔵タンクの被害発生件数（市町別） [単位：件]

	引火性液体(石油類)					可燃性ガス				毒性ガス		毒劇性液体			
	タンク本体や配管からの小規模漏洩	相当量の継続漏洩(防油堤内に止まる)	防油堤外への流出	防油堤内のプール火災	防油堤外への火災	タンク配管からの漏洩(緊急遮断)	相当量の継続漏洩、爆発の危険あり	防液堤内のプール火災	漏洩ガス着火、タンク爆発	タンク配管からの小規模漏洩(緊急遮断実施)	相当量の継続漏洩、人体影響の危険あり	タンク本体や配管からの小規模漏洩	相当量の継続漏洩(防油堤内に止まる)	防液堤外への流出	
発生確率(件/基)	1E-02	2E-03	5E-04	2E-04	8E-05	6E-03	4E-04	5E-05	4E-06	2E-03	1E-05	1E-02	2E-03	5E-04	
発生確率(件/基)	1E-02	2E-03	5E-04	2E-04	8E-05	6E-03	4E-04	5E-05	4E-06	2E-03	1E-05	1E-02	2E-03	5E-04	
県計	27.79	5.56	1.39	0.56	0.22	2.92	0.19	0.02	0.00	0.09	0.00	6.81	1.36	0.34	
賀茂	下田市	0.14	0.03	0.01	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00						
	東伊豆町	0.07	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00						
	河津町	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00									
	南伊豆町	0.04	0.01	0.00	0.00	0.00									
	松崎町	0.03	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00					
	西伊豆町	0.04	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00					
	(小計)	0.34	0.07	0.02	0.01	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00					
東部	沼津市	0.44	0.09	0.02	0.01	0.00	0.14	0.01	0.00	0.00		0.12	0.02	0.01	
	熱海市	0.10	0.02	0.01	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00					
	三島市	0.07	0.01	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00		0.22	0.04	0.01	
	富士宮市	1.00	0.20	0.05	0.02	0.01	0.12	0.01	0.00	0.00					
	伊東市	0.28	0.06	0.01	0.01	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00					
	富士市	3.93	0.79	0.20	0.08	0.03	0.14	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	2.67	0.53	0.13
	御殿場市	1.18	0.24	0.06	0.02	0.01	0.11	0.01	0.00	0.00					
	裾野市	0.39	0.08	0.02	0.01	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
	伊豆市	0.19	0.04	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00					
	伊豆の国市	0.06	0.01	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00					
	函南町	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00					
	清水町	0.05	0.01	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00					
	長泉町	0.52	0.10	0.03	0.01	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00		0.22	0.04	0.01	
	小山町	0.38	0.08	0.02	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00					
(小計)	8.61	1.72	0.43	0.17	0.07	0.92	0.06	0.01	0.00	0.01	0.00	3.23	0.65	0.16	
中部	静岡市	3.59	0.72	0.18	0.07	0.03	0.34	0.02	0.00	0.00	0.06	0.00	0.81	0.16	0.04
	島田市	0.94	0.19	0.05	0.02	0.01	0.11	0.01	0.00	0.00					
	焼津市	1.20	0.24	0.06	0.02	0.01	0.26	0.02	0.00	0.00		0.16	0.03	0.01	
	藤枝市	1.05	0.21	0.05	0.02	0.01	0.07	0.00	0.00	0.00		1.02	0.20	0.05	
	牧之原市	0.56	0.11	0.03	0.01	0.00	0.11	0.01	0.00	0.00					
	吉田町	0.88	0.18	0.04	0.02	0.01	0.08	0.01	0.00	0.00		0.31	0.06	0.02	
	川根本町	0.12	0.02	0.01	0.00	0.00									
(小計)	8.34	1.67	0.42	0.17	0.07	0.98	0.07	0.01	0.00	0.06	0.00	2.30	0.46	0.12	
西部	浜松市	1.99	0.40	0.10	0.04	0.02	0.43	0.03	0.00	0.00	0.01	0.00			
	磐田市	2.41	0.48	0.12	0.05	0.02	0.16	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.91	0.18	0.05
	掛川市	1.71	0.34	0.09	0.03	0.01	0.17	0.01	0.00	0.00		0.21	0.04	0.01	
	袋井市	1.45	0.29	0.07	0.03	0.01	0.10	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.02	0.00
	湖西市	0.42	0.08	0.02	0.01	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00					
	御前崎市	1.83	0.37	0.09	0.04	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.01	0.00
	菊川市	0.50	0.10	0.03	0.01	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00					
	森町	0.19	0.04	0.01	0.00	0.00									
(小計)	10.50	2.10	0.53	0.21	0.08	0.97	0.06	0.01	0.00	0.02	0.00	1.28	0.26	0.06	

\*1: 0件の場合は空欄にした。0.01件未満で0件より大きい場合は0.00と表示した。0件より大きい場合で右の条件を満たす場合には背景を色付

[参考] 東日本大震災における危険物施設の被災状況（原因別）

施設形態	調査地域内の施設数 *1 (件)	被災施設数 (件)	被災施設の主な原因														
			地震					津波					判別不明				
			計	火災	流出	破損	その他	計	火災	流出	破損	その他	計	火災	流出	破損	その他
製造所	2058	80	68	0	0	60	8	4	0	0	3	1	8	0	0	8	0
屋内貯蔵所	20761	217	80	0	18	48	14	136	0	1	127	8	1	0	0	1	0
屋外タンク貯蔵所	26,572	841	378	0	27	328	23	398	1	92	219	86	65	0	5	48	12
屋内タンク貯蔵所	5,161	21	2	0	0	2	0	19	0	2	17	0	0	0	0	0	0
地下タンク貯蔵所	52,015	318	139	0	14	98	27	167	0	2	124	41	12	0	0	6	6
簡易タンク貯蔵所	378	4	0	0	0	0	0	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0
移動タンク貯蔵所	36,037	366	0	0	0	0	0	358	28	0	230	100	8	1	0	5	2
屋外貯蔵所	4,704	60	3	0	0	3	0	57	0	2	52	3	0	0	0	0	0
給油取扱所	29,187	823	506	0	4	493	9	307	0	1	281	25	10	0	1	9	0
販売取扱所	860	6	2	0	0	2	0	4	0	0	3	1	0	0	0	0	0
移送取扱所	587	44	19	0	3	15	1	23	0	2	14	7	2	0	0	2	0
一般取扱所	33,557	561	212	5	13	186	8	344	7	4	275	58	5	0	2	3	0
合計	211,877	3,341	1,409	5	79	1,235	90	1,821	36	106	1,347	332	111	1	8	82	20

\*1: ※調査地域内の危険物施設数は、平成22年3月31日時点の数値である。

出典：東日本大震災における危険物施設の被害の状況（総務省消防庁（2012b））

[http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi\\_kento/h24/karichozou\\_karitoriatsukai/01/sanko\\_01\\_03.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h24/karichozou_karitoriatsukai/01/sanko_01_03.pdf)

[参考] 東日本大震災における危険物施設の被災状況（震度別：震度6弱、6強）

製造所等の区分	6弱				6強				計			
	施設数	火災	流出	破損等	施設数	火災	流出	破損等	施設数	火災	流出	破損等
製造所	368	0	0	54	138	0	0	7	506	0	0	61
屋内貯蔵所	2,581	0	3	24	2,287	0	5	31	4,868	0	8	55
屋外タンク貯蔵所	3,733	0	9	243	2,369	0	1	52	6,102	0	10	295
屋内タンク貯蔵所	321	0	0	1	293	0	0	1	614	0	0	2
地下タンク貯蔵所	5,183	0	3	25	4,328	0	10	69	9,511	0	13	94
簡易タンク貯蔵所	26	0	0	0	34	0	0	0	60	0	0	0
移動タンク貯蔵所	3,651	0	0	0	3,204	0	0	0	6,855	0	0	0
屋外貯蔵所	629	0	0	0	685	0	0	2	1,314	0	0	2
給油取扱所	3,329	0	1	225	2,986	0	2	193	6,315	0	3	418
販売取扱所	42	0	0	2	31	0	0	0	73	0	0	2
移送取扱所	62	0	2	14	17	0	0	1	79	0	2	15
一般取扱所	3,483	0	3	78	2,971	2	6	72	6,454	2	9	150
合計	23,408	0	21	666	19,343	2	24	428	42,751	2	45	1,094

注) ①に東日本大震災と阪神・淡路大震災の合計値が整理されており、②の阪神・淡路大震災の数値を減じて東日本大震災の数値を算出し整理した。

①南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要（内閣府（2013））

[http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku\\_wg/pdf/20130318\\_shiryu4.pdf](http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku_wg/pdf/20130318_shiryu4.pdf)

②首都直下地震に係る被害想定手法について（内閣府（2005））

<http://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/pdf/shiryu3.pdf>

[参考] 阪神・淡路大震災における危険物施設の被災状況（震度別：震度6弱、6強）

製造所等の区分	6弱				6強				計			
	施設数	火災	流出	破損等	施設数	火災	流出	破損等	施設数	火災	流出	破損等
製造所	550	0	1	0	39	0	0	10	589	0	1	10
屋内貯蔵所	4,579	0	24	0	631	0	30	29	5,210	0	54	29
屋外タンク貯蔵所	3,255	0	1	11	682	0	12	249	3,937	0	13	260
屋内タンク貯蔵所	1,437	0	1	0	285	1	1	7	1,722	1	2	7
地下タンク貯蔵所	4,860	0	4	11	848	0	6	29	5,708	0	10	40
移動タンク貯蔵所	3,319	0	0	0	646	0	0	3	3,965	0	0	3
屋外貯蔵所	944	0	0	0	219	0	0	31	1,163	0	0	31
給油取扱所	3,470	0	0	20	586	0	3	136	4,056	0	3	156
移送取扱所	42	0	1	0	12	0	2	7	54	0	3	7
一般取扱所	3,322	0	4	4	585	2	8	81	3,907	2	12	85
合計	25,778	0	36	46	4,533	3	62	582	30,311	3	98	628

出典：首都直下地震に係る被害想定手法について（内閣府（2005））

<http://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/pdf/shiryu3.pdf>

## V 避難者、避難者対応分析の想定

### V-1. 避難者、避難者対応分析に係る想定手法

#### (1) 内陸部（津波浸水地域外）の避難者数の想定

阪神・淡路大震災の全壊・焼失棟数、半壊棟数、断水戸数及び避難所避難者数の実績値をもとに、次の基本式にて避難所避難者数を算出する。

(基本式)

避難所避難者数 = {(全壊・焼失棟数 ×  $\alpha$  + 半壊棟数 ×  $\beta$ ) × 1 棟当たり平均人員 + 断水人口<sup>※1</sup> × 断水時生活困窮度  $\gamma$ <sup>※2</sup>} × 避難所避難比率  $\delta$ <sup>※3</sup>

※1：断水人口は、自宅建物被害を原因とする避難者を除く断水世帯人員を示す。

※2：断水時生活困窮度とは、自宅建物は大きな損傷をしていないが、断水が継続されることにより自宅で生活し続けることが困難となる度合を意味する。時間とともに数値は大きくなる。柏原ら（1998）による阪神・淡路大震災の事例によると、水が手に入れば自宅の被害がひどくない限りは自宅で生活しているし、半壊の人でも水道が復旧すると避難所から自宅に帰っており、逆に断水の場合には生活困窮度が増すことを物語っている。

※3：避難所避難比率 = 避難者のうち避難所に避難する割合であり、避難所避難比率 + 避難所外避難比率 = 1 である。

(当日の避難所避難比率)

室崎ら（1996）は、神戸市内震度 7 地域の住民へのアンケート調査により、「自宅被害と当日の避難場所」の関係を明らかにしている。これによれば、避難した人の避難先は、自宅被害の大小にかかわらず、避難所避難比率は約 65% である。また、木村ら（2010）は、阪神・淡路大震災の震度 6 強及び震度 7 地域の居住地の変遷過程を分析しており、これによれば、避難所避難比率は約 58% である。これら 2 つの調査の中間的な値である 60% を当日の避難所避難比率として設定することとする。

また、木村ら（2010）（図 V-1.1 参照）によれば、阪神・淡路大震災における避難所避難比率は、発災 2~4 日後で約 34% (=0.142 / (1-0.582))、2 週間後で約 17% (=0.073 / (1-0.569))、1 ヶ月後で約 13% (=0.043 / (1-0.675)) であり、これより、1 週間後の避難所避難比率を当日の半分の 30%、1 ヶ月後の避難所避難比率を 1 週間後の半分の 15% として設定することが考えられる。しかし、1 ヶ月後の避難所避難比率を 15% と設定すると、断水時生活困窮度が 1 を超える。そこで、ここでは 1 未満となるように調整した 1 ヶ月後の避難所避難比率（19%）を採用する。

結果、避難所避難比率は、当日・1 日後で 60%、1 週間後で 30%、1 ヶ月後で 19% と基本値として設定する。（後述の他パラメータ〔係数  $\alpha$ ・ $\beta$ 、断水時生活困窮度〕の設定においては、この避難所避難比率の値を用いて、阪神・淡路大震災の再現に基づく設定を行うものとする。）

しかし、今回の南海トラフ巨大地震等は激甚かつ超広域的な地震災害であるため、避難所外の避難先の確保も容易ではなく、阪神・淡路大震災と比べると避難所外避難比率は低下するものと考えられる。特に、数日後以降においては、阪神・淡路大震災では避難所よりも血縁宅への避難者が増えているが、ここまでの避難所外の避難先の確保は現実的には難しいと考え、被害の甚大性・広域性の観点から、ここでは発災 1 週間後の避難所避難比率を前記の 20 ポイント増の 50%、1 ヶ月後の避難所避難比率を 11 ポイント増の 30% として設定する。

(係数  $\alpha$ 、 $\beta$ )

神戸市民生局（1996）によれば、神戸市の発災当日の避難所就寝者数は 20 万 2,043 人であり、当日の避難所避難比率を 60% とすれば、当日避難者数は約 34 万人弱となり、これは全壊建物居住人口の 100% + 半壊建物居住人口の 13% に相当する。したがって、上の基本式における係数は、 $\alpha = 1$ 、 $\beta = 0.13$  となる。

[参考；上記の場合、避難所避難比率を 60% とした場合、避難所への避難比率は全壊の場合 60%、半壊の場合は 8% となる。一方、静岡県民への「地震災害時の住まいの復旧対応に関する調査」（平成 24 年 12 月実施、非公表）によれば、発災直後の避難所への避難比率は、自宅建物が全壊の場合は 40~60% 程度、半壊の場合は数% 程度であり、整合している。]

(断水時生活困窮度)

阪神・淡路大震災における避難所避難者数、全壊建物居住人口、半壊建物居住人口、断水人口、避難所避難比率をもとに、前述の基本式を用いて、断水時生活困窮度を求める。結果、断水時生活困窮度は、当日・1 日後で 0.0、1 週間後で 0.25、1 ヶ月後で 0.90 と設定される。

以上のことから、阪神・淡路大震災の実績及び南海トラフ巨大地震の甚大性・広域性を考慮した避難所避難者数の想定式は次式のとおりとなる。

$$\text{避難所避難者数} = \{ (\text{全壊・焼失棟数} + \text{半壊棟数} \times 0.13) \times 1 \text{棟あたり平均人員} + \text{断水人口}^{\ast 1} \times \text{断水時生活困窮度}^{\ast 2} \} \times \text{避難所避難比率}^{\ast 3}$$

※1：断水人口は、自宅建物被害を原因とする避難者を除く断水世帯人員を示す。

※2：断水時生活困窮度とは、自宅建物は大きな損傷を受けていないが、断水が継続されることにより自宅での生活し続けることが困難となる度合を意味する。時間とともに数値は大きくなる。阪神・淡路大震災の事例によると、水が手に入れば自宅が大きく被災していない限りは自宅で暮らしているし、半壊の人でも水道が復旧すれば避難所から自宅に戻っており、逆に断水の場合には生活困窮度が増すことを物語っている。

当日・1日後：0.00

1週間後：0.25

1ヶ月後：0.90

※3：避難所避難比率＝避難者のうち避難所に避難する割合であり、避難所避難比率＋避難所外避難比率＝1である。

当日・1日後：0.60

1週間後：0.50

1ヶ月後：0.30

居住地・避難先	10 <sup>0</sup> 時間		10 <sup>1</sup> 時間				10 <sup>2</sup> 時間			
	当日	2-4日	2週間	1ヶ月	2ヶ月	3-6ヶ月	7-12ヶ月	2年目	3-6年目	7-8年目
自宅	56.2	58.2	56.9	67.5	72.0	73.2	75.5	80.7	89.6	94.0
血縁	9.9	16.4	23.1	13.2	8.6	8.6	3.1	2.5	0.8	0.5
勤務先	2.8	1.3	2.5	3.3	3.3	1.4	1.7	0.5	0	0
友人・近所	2.1	2.4	2.9	2.4	1.7	0.2	0.5	0.2	0	0
避難所	25.5	14.2	7.3	4.3	3.8	1.9	1.2	0.2	0	0
仮設住宅	0.0	0.7	0.9	1.0	2.6	5.5	6.3	5.9	3.6	0.3
賃貸住宅	0.0	0.7	1.8	5.5	6.2	7.8	9.9	7.4	4.4	2.9
その他	3.6	6.1	4.5	2.9	1.7	1.4	1.7	2.5	1.6	2.4
N	577	457	441	418	418	421	413	404	386	381

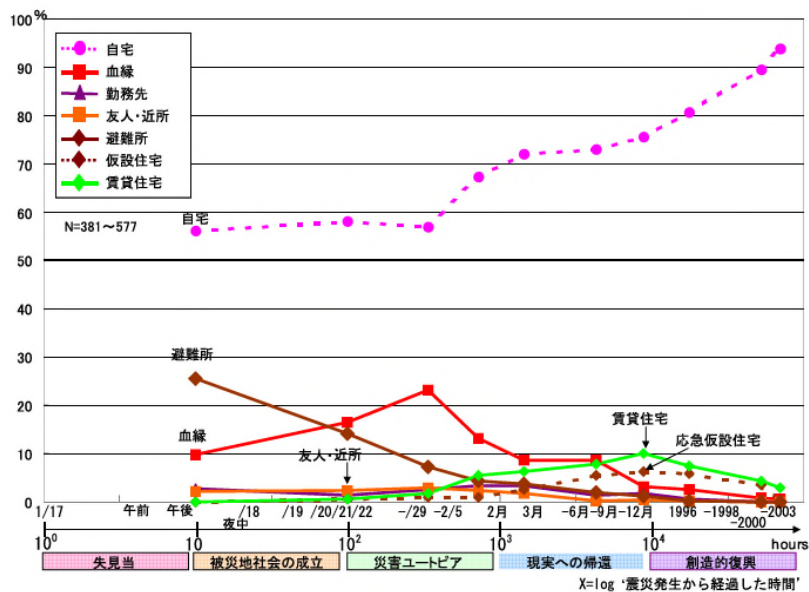
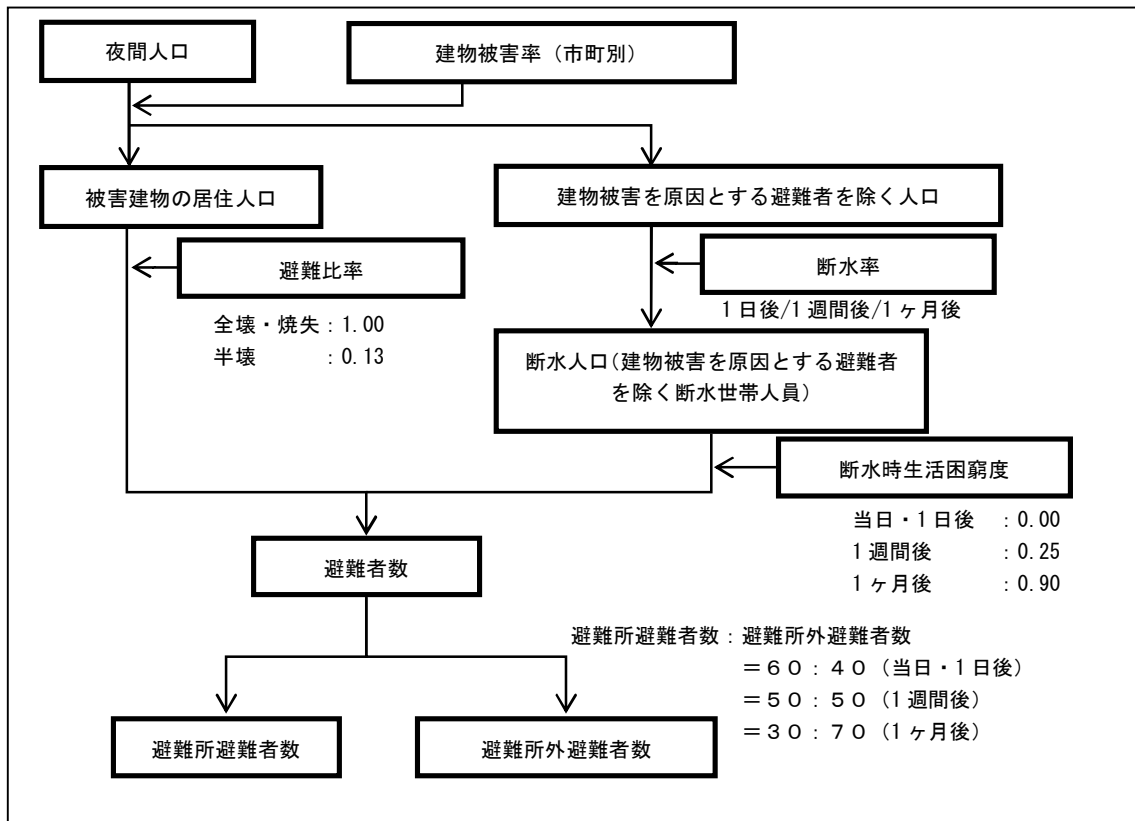


図 V-1.1 居住地・避難先の変化〔阪神・淡路大震災〕  
(木村ら (2010))



図V-1.2 内陸部（津波浸水地域外）の避難者想定フロー

## （２）津波浸水地域の避難者数の想定

従来の被害想定手法は、主に市街地における揺れ・火災等による建物被害及びライフライン途絶（断水）を避難者数推定の説明変数として考えている。

津波被災地の場合は、建物が全壊に至っていない場合でも、①浸水被害により屋内では生活が困難、②津波警報等に伴う避難指示・勧告の発令等、建物被害やライフライン途絶以外に避難を決定づける要因があると考えられる。さらに、津波被災地は地域全体の復旧・復興に時間を要することで、③従前居住地域とは異なる場所に自ら住宅を確保、あるいは親戚宅等への避難といった形で、居住していた地域を離れるケースが多数発生することが予想される。

そのため、津波を考慮した避難者数の想定手法について、以下のように整理するものとする。

- ・避難者数の算出過程では、津波浸水地域（沿岸部）における避難者数と、津波の影響を受けない地域（内陸部）の避難者数を区分して想定する。
- ・沿岸部では、地震発生後３日間は実質的に避難勧告・指示等による避難を想定する。
- ・沿岸部では、避難所避難者と避難所外避難者の割合を、東日本大震災を例にして設定する。

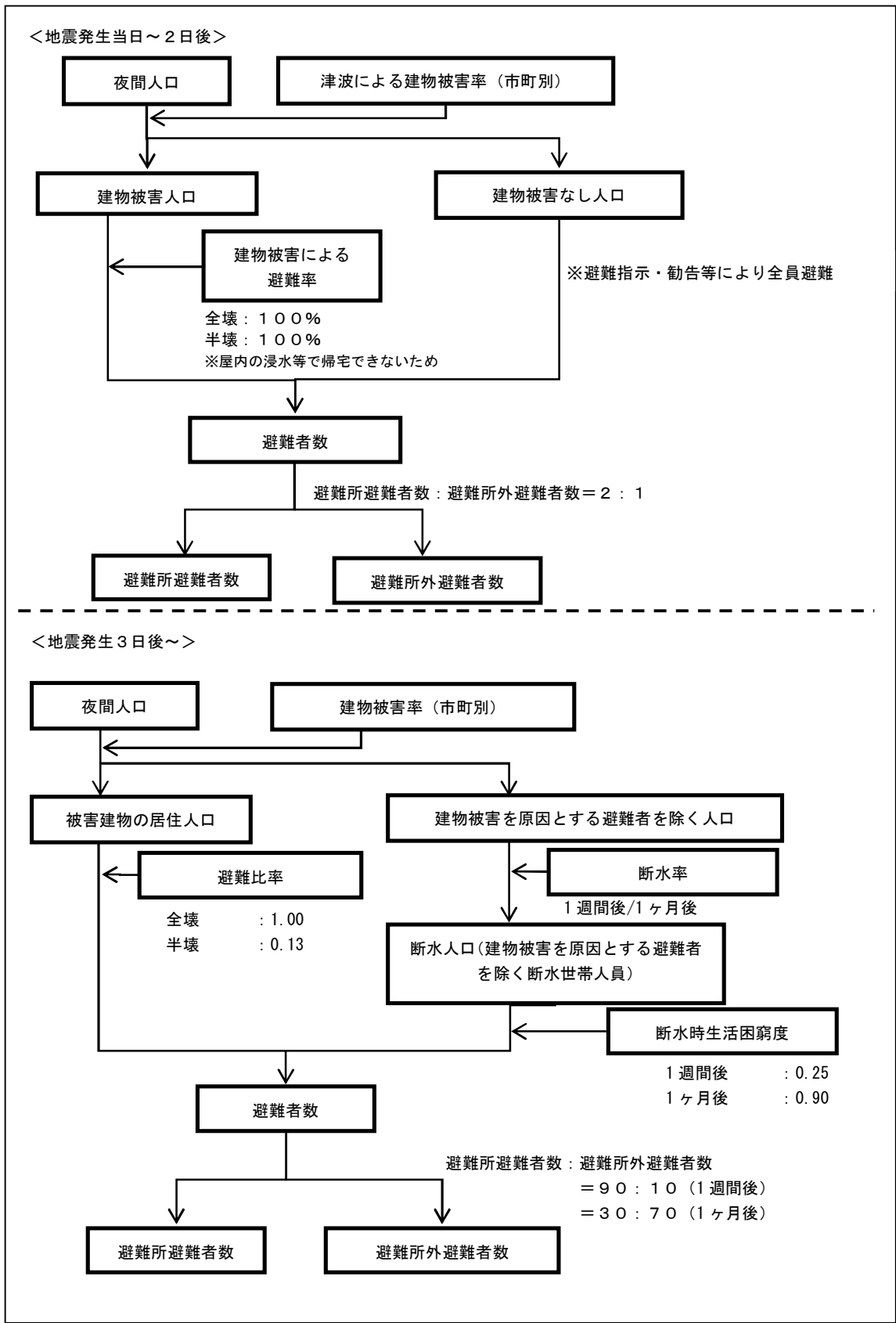


図 V-1.3 津波浸水地域の避難者想定フロー

## 1) 地震発生直後（3日間）における避難者数の想定手法

### ①全壊建物

- ・全壊建物からは、全員が避難するものとする。

### ②半壊建物

- ・津波被害発生直後は、屋内の浸水等により、自宅では生活できないと考えられる。そのため、半壊建物からも全員が避難するものとする。

### ③一部損壊以下の被害建物（床下浸水を含む）

- ・津波被害発生直後は、沿岸部では津波警報等が発表され、それに伴って避難指示・勧告が発令されると考えられる。そのため、一部損壊以下の被害レベルの建物の住民も全員が避難するものとする。

### ④避難所避難者と避難所外避難者・疎開者等

- ・総務省統計局（2011）（表V-1.1）によれば、東日本大震災における浸水範囲の全人口は約60万人である。
- ・内閣府被災者生活支援チーム（2011）によれば、東日本大震災における最大の避難所避難者数は約47万人（3月14日）である。この数字には、内陸部の住民避難等も含まれていると考えられるため、内陸市町村の避難所避難者数約5万人を除いた約42万人が沿岸市町村の避難所避難者数と推計される。ただし、この42万人には沿岸市町村の中のさらに内陸部も含むと考えられることから、ここでは沿岸部の避難所避難者数を40万人程度とする。

以上のことから、津波被害の発生直後は、浸水範囲の全建物から避難者が発生し、うち2/3（40万人/60万人）が避難所に避難（残りの1/3は避難所外避難や地域外への疎開）するものと推定し、以下の想定式を用いる。

<想定式>

$$\begin{aligned} & \text{避難所避難者数（発災当日～発災2日後）} \\ & = (\text{全建物棟数} \times 1 \text{棟当たり平均人員}) \times 2/3 \end{aligned}$$

ここで、上記の算出式で求められる避難者数のうち、自宅等に津波が浸水しなかった避難者は、避難勧告・指示が解除された場合、一部が避難を終えて帰宅等の行動に移ると考えられる。

避難勧告・指示等の発令は、津波警報等の発表を根拠に地方公共団体が判断するため、上記の算出式で求められる避難者数は、東日本大震災における岩手県・宮城県・福島県等、特に被害が大きかった地域の津波警報等の発表状況から、地震発生当日・2日目・3日目の3日間の避難者数と想定する。

（参考）岩手県・宮城県における避難所避難者と避難所外避難者・疎開者等

- ・福島県が原子力発電所事故の影響が大きいためと考えられたことから、上記の分析から福島県を除き、岩手県・宮城県を対象として同じような分析を行った。
- ・総務省統計局（2011）より、東日本大震災における浸水範囲の全人口は約44万人である。
- ・各県の集計より、東日本大震災における最大の避難所避難者数は約36～37万人（3月14日）である。この数字には内陸部の住民避難等も含まれているため、内陸市町村の避難所避難者数約3万人を除いた約33万人が沿岸市町村の避難所避難者数と推計される。ただし、この33万人には沿岸市町村の中のさらに内陸部も含むと考えられることから、ここでは沿岸部の避難所避難者数を30万人程度とする。

以上のことから、津波被害の発生直後は、浸水範囲の全建物から避難者が発生し、うち2/3（30万人/44万人）が避難所に避難（残りの1/3は避難所外避難や地域外への疎開）するものと推定する。この避難所避難比率は、岩手県・宮城県・福島県の3県を対象とした分析結果と同じである。



表V-1.1 浸水範囲内の人口・世帯数

浸水範囲概況にかかる人口・世帯数（平成22年国勢調査人口速報集計結果による）

地域	市区町村	浸水範囲概況にかかる人口及び世帯数(a)		当該市区町村の人口及び世帯数(b)		浸水範囲概況の割合(%) (a)÷(b)×100	
		人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
02 青森県	203 八戸市	5,229	1,760	237,473	91,925	2.2	1.9
	207 三沢市	1,924	589	41,260	16,246	4.7	3.6
	411 六ヶ所村	3,453	1,349	11,092	4,751	31.1	28.4
	412 おいらせ町	3,820	1,203	24,198	8,329	15.8	14.4
	424 東通村	223	81	7,253	2,710	3.1	3.0
	446 階上町	1,189	393	14,702	5,705	8.1	6.9
	合計	15,838	5,375	335,968	129,668	4.7	4.1

地域	市区町村	浸水範囲概況にかかる人口及び世帯数(a)		当該市区町村の人口及び世帯数(b)		浸水範囲概況の割合(%) (a)÷(b)×100	
		人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
03 岩手県	202 宮古市	18,378	7,209	59,442	22,504	30.9	32.0
	203 大船渡市	19,073	6,957	40,738	14,814	46.8	47.0
	207 久慈市	7,171	2,553	36,875	14,015	19.4	18.2
	210 陸前高田市	16,640	5,592	23,302	7,794	71.4	71.7
	211 釜石市	13,164	5,235	39,578	16,095	33.3	32.5
	461 大槌町	11,915	4,614	15,277	5,674	78.0	81.3
	482 山田町	11,418	4,175	18,625	6,605	61.3	63.2
	483 岩泉町	1,137	431	10,804	4,355	10.5	9.9
	484 田野畑村	1,582	526	3,843	1,309	41.2	40.2
	485 普代村	1,115	380	3,088	1,042	36.1	36.5
	503 野田村	3,177	1,069	4,632	1,576	68.6	67.8
	507 洋野町	2,733	932	17,910	6,117	15.3	15.2
	合計	107,503	39,673	274,114	101,900	39.2	38.9

地域	市区町村	浸水範囲概況にかかる人口及び世帯数(a)		当該市区町村の人口及び世帯数(b)		浸水範囲概況の割合(%) (a)÷(b)×100	
		人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
04 宮城県	102 宮城野区	17,375	6,551	190,495	85,790	9.1	7.6
	103 若林区	9,386	2,698	132,191	59,891	7.1	4.6
	104 太白区	3,201	1,196	220,715	91,585	1.5	1.2
	202 石巻市	112,276	42,157	160,704	57,812	69.9	72.9
	203 塩竈市	18,718	6,873	56,490	20,314	33.1	34.3
	205 気仙沼市	40,331	13,874	73,494	25,484	54.9	54.9
	207 沼取市	12,155	3,874	73,140	25,150	16.6	15.8
	209 多賀城市	17,144	6,649	62,979	24,047	27.2	27.6
	211 岩沼市	6,051	2,337	44,198	15,530	18.2	15.0
	214 東松島市	34,014	11,251	42,908	13,995	79.3	80.4
	361 亘理町	14,000	4,196	34,846	10,899	40.4	39.5
	362 山元町	6,990	2,813	16,711	5,233	53.8	55.7
	401 松島町	4,053	1,477	15,089	5,149	26.9	28.7
	404 七ヶ浜町	9,149	2,751	20,419	6,415	44.8	42.9
	408 利府町	542	192	34,000	10,819	1.6	1.8
	581 女川町	8,048	3,155	10,051	3,988	80.1	79.5
	606 南三陸町	14,389	4,375	17,431	5,295	82.5	82.6
	合計	331,902	116,758	1,205,851	466,356	27.5	25.0

地域	市区町村	浸水範囲概況にかかる人口及び世帯数(a)		当該市区町村の人口及び世帯数(b)		浸水範囲概況の割合(%) (a)÷(b)×100	
		人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
07 福島県	204 いわき市	32,520	11,345	342,199	128,516	9.5	8.8
	209 相馬市	10,436	3,076	37,796	13,240	27.6	23.2
	212 南相馬市	13,377	3,720	70,895	23,643	18.9	15.7
	541 広野町	1,385	444	5,418	1,810	25.6	24.5
	542 楢葉町	1,746	543	7,701	2,576	22.7	21.1
	543 富岡町	1,401	552	15,996	6,141	8.8	9.0
	545 大熊町	1,127	359	11,511	3,955	9.8	9.1
	546 双葉町	1,278	402	6,932	2,393	18.4	16.8
	547 浪江町	3,356	1,006	20,908	7,171	16.1	14.0
	561 新地町	4,666	1,400	8,218	2,461	56.8	56.9
	合計	71,292	22,847	527,573	191,906	13.5	11.9

地域	市区町村	浸水範囲概況にかかる人口及び世帯数(a)		当該市区町村の人口及び世帯数(b)		浸水範囲概況の割合(%) (a)÷(b)×100	
		人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
08 茨城県	201 水戸市	1,209	379	268,818	111,992	0.4	0.3
	202 日立市	7,211	2,791	193,129	77,932	3.7	3.6
	214 高萩市	1,519	596	31,014	11,656	4.9	5.1
	215 北茨城市	7,212	2,725	47,026	16,965	15.3	16.1
	221 ひたちなか市	5,616	2,049	157,012	60,276	3.6	3.4
	222 鹿嶋市	3,784	1,163	66,030	25,222	5.7	4.6
	232 神栖市	3,752	1,190	94,823	35,760	4.0	3.3
	234 鉾田市	3,667	1,160	50,181	16,946	7.3	6.8
	309 大洗町	3,982	1,482	18,331	7,020	21.7	21.1
	341 東海村	2,172	748	37,430	14,109	5.8	5.3
	合計	40,134	14,283	963,774	377,878	4.2	3.8

地域	市区町村	浸水範囲概況にかかる人口及び世帯数(a)		当該市区町村の人口及び世帯数(b)		浸水範囲概況の割合(%) (a)÷(b)×100	
		人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
12 千葉県	202 銚子市	2,088	856	70,225	26,948	3.0	3.2
	215 旭市	8,303	2,844	69,074	23,121	12.0	12.3
	235 匝瑳市	2,892	909	39,826	12,869	7.3	7.1
	237 山武市	5,358	1,719	56,086	19,297	9.6	8.9
	402 大網白里町	922	330	50,122	18,117	1.8	1.8
	403 九十九里町	7,766	2,937	18,009	6,617	43.1	44.4
	410 徳芝光町	1,813	615	24,679	8,278	7.3	7.4
	421 一宮町	2,293	851	12,042	4,452	19.0	19.1
	423 長生村	378	126	14,751	5,030	2.6	2.5
	424 白子町	3,718	1,303	12,151	4,257	30.6	30.6
合計	35,531	12,490	366,985	128,986	9.7	9.7	

合計	602,200	211,426	3,674,245	1,396,692	16.4	15.1
----	---------	---------	-----------	-----------	------	------

注)  
 ○ この集計値は、平成22年10月1日現在の速報人口に基づいて、津波の浸水による直接的被害の規模を推し量る目安となることを目的としたものであり、実際の被害や被災者数、避難者数を表すものではありません。  
 ○ 浸水範囲概況は、国土地理院提供によるデータ(4月18日公開)を使用しています。  
 航空写真・衛星画像等から推定したものであり、現地踏査で確認したものでないため、実際とは異なる場合があります。

総務省統計局

表 V-1.2 東日本大震災における津波警報等の発表状況の推移 (気象庁 (2011))

(凡例)  
 津波警報 (大津波)  
 津波警報 (津波)  
 津波注意報  
 解除



表中に「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報」で発表した津波の高さを示した。なお、矢印 (→) は前回に発表した内容と同じであることを示す。  
 (12日 13時 50分以降は津波の減衰に伴う津波警報・注意報の切り替えのため、同情報の発表は行っていない)

発表時刻	11日 14時49分	11日 15時14分	11日 15時30分	11日 16時08分	11日 18時47分	11日 21時35分	11日 22時53分	12日 03時20分	12日 13時50分	12日 20時20分	13日 07時30分	13日 17時58分
津波予報区												
北海道太平洋沿岸東部	0.5m	1m	3m	6m	→	→	→	→				解除
北海道太平洋沿岸中部	1m	2m	6m	8m	→	→	→	→				解除
北海道太平洋沿岸西部	0.5m	1m	4m	6m	→	→	→	→				解除
北海道日本海沿岸北部						0.5m	→	→			解除	
北海道日本海沿岸南部		0.5m	1m	→	→	→	→	→			解除	
オホーツク海沿岸			0.5m	→	→	→	→	→			解除	
青森県日本海沿岸	0.5m	1m	2m	3m	→	→	→	→			解除	
青森県太平洋沿岸	1m	3m	8m	10m以上	→	→	→	→			解除	
陸奥湾		0.5m	1m	→	→	→	→	→			解除	
岩手県	5m	5m	10m以上	→	→	→	→	→			解除	
宮城県	6m	10m以上	→	→	→	→	→	→			解除	
秋田県				3.6m	→	→	→	→			解除	
山形県				0.5m	→	→	→	→			解除	
福島県	3m	6m	10m以上	→	→	→	→	→			解除	
茨城県	2m	4m	10m以上	→	→	→	→	→			解除	
千葉県九十九里・外房	2m	3m	10m以上	→	→	→	→	→			解除	
千葉県内房	0.5m	1m	2m	4m	→	→	→	→			解除	
東京湾内湾		0.5m	1m	2m	→	→	→	→			解除	
伊豆諸島	1m	2m	4m	6m	→	→	→	→			解除	
小笠原諸島	0.5m	1m	2m	4m	→	→	→	→			解除	
相模湾・三浦半島	0.5m	→	2m	3m	→	→	→	→			解除	
新潟県上中下越				0.5m	→	→	→	→			解除	
佐渡				0.5m	→	→	→	→			解除	
富山県				0.5m	→	→	→	→			解除	
石川県能登				0.5m	→	→	→	→			解除	
石川県加賀								0.5m			解除	
福井県								0.5m			解除	
静岡県	0.5m	→	2m	3m	→	→	→	→			解除	
愛知県外海	0.5m	→	1m	2m	→	→	→	→			解除	
伊勢・三河湾		0.5m	1m	→	→	→	→	→			解除	
三重県南部	0.5m	→	2m	→	→	→	→	→			解除	
京都府								0.5m			解除	
大阪府			0.5m	→	→	→	→	→			解除	
兵庫県北部								0.5m			解除	
兵庫県瀬戸内海沿岸			0.5m	→	→	→	→	→			解除	
淡路島南部		0.5m	1m	→	→	→	→	→			解除	
和歌山県	0.5m	→	2m	3m	→	→	→	→			解除	
鳥取県								0.5m			解除	
島根県出雲・石見								0.5m			解除	
隠岐								0.5m			解除	
岡山県			0.5m	→	→	→	→	→			解除	
広島県				0.5m	→	→	→	→			解除	
徳島県	0.5m	→	2m	3m	→	→	→	→			解除	
香川県			0.5m	→	→	→	→	→			解除	
愛媛県宇和海沿岸		0.5m	1m	→	→	→	→	→			解除	
愛媛県瀬戸内海沿岸			0.5m	→	→	→	→	→			解除	
高知県	0.5m	→	2m	→	→	→	3m	→			解除	
山口県日本海沿岸								0.5m			解除	
山口県瀬戸内海沿岸				0.5m	→	→	→	→			解除	
福岡県瀬戸内海沿岸					0.5m	→	→	→			解除	
福岡県日本海沿岸						0.5m	→	→			解除	
有明・八代海			0.5m	→	→	1m	→	→			解除	
佐賀県北部						0.5m	→	→			解除	

(以下略)

## 2) 地震発生4日目以降の避難者数の想定手法

津波警報等が解除されると推定される発災4日目以降の避難者数は、自宅の被災被害が避難を決定づけると考えられる。

### ①全壊建物

- ・自宅建物が全壊した者は全員が避難するものとする。

### ②半壊及び一部損壊以下の建物

- ・地震発生3日後に避難指示・勧告等が解除されれば、4日目以降は自宅に戻ると設定する。よって、これらの建物からの避難者数が全体数から減少する。
- ・国土交通省(2011)によれば、東日本大震災における半壊以下の建物の割合は約23%であり、浸水区域人口(約60万人)のうちの約14万人と試算される。

全壊(流失)	全壊(撤去)	全壊(条件付き再生可)	大規模半壊	半壊(床上浸水)	一部損壊(床下浸水)	被災なし	不明
69,580棟	33,033棟	6,604棟	31,137棟	30,458棟	19,030棟	5,283棟	34,938棟
30%	14%	3%	14%	13%	8%	2%	15%
↓(×60万人)	↓(×60万人)	↓(×60万人)	↓(×60万人)	↓(×60万人)	↓(×60万人)	↓(×60万人)	—
18万人	9万人	2万人	8万人	8万人	5万人	1万人	—

### ③避難所避難者と避難所外避難者(疎開者等)

- ・内閣府被災者生活支援チーム(2011)によれば、東日本大震災における避難所避難者数は、1週間後に約38.6万人、1ヶ月後は約14.8万人である。(岩手・宮城の2県では、1週間後に約26.7万人、1ヶ月後は約9.5万人)
- ・②より、半壊世帯の約8万人と、一部損壊以下の約6万人は避難を終了して自宅等に戻ると考え、これらを除いた人数が全避難者数となり、そのうち避難所避難者とそれ以外の避難所外避難者(後の応急仮設住宅やみなし仮設等への入居者も含む)の割合は以下のように試算される。

$$(1 \text{ 週間後}) \quad 38.6 : 7.4 (=60 - 8 - 6 - 38.6) \div 85 : 15$$

$$(1 \text{ ヶ月後}) \quad 14.8 : 31.2 (=60 - 8 - 6 - 14.8) \div 30 : 70$$

この時点では上記の比率は仮設定値とし、避難所避難者数の被害想定手法を東日本大震災に適用して検証を行って比率を確定する。ここで、この比率を用いて、東日本大震災の全壊戸数、半壊戸数、断水戸数及び避難所避難者数の実績値をもとに、避難所避難者数の実績値と推定値が合うように避難所避難比率を見直した。結果、避難所避難比率は、1週間後は88%、1ヶ月後は22%と求まる。

しかし、南海トラフ巨大地震の被害の甚大性・広域性を考えると、避難所外の避難先を確保することはより難しい状況が考えられることから、ここでは、避難所避難比率を1週間後は90%、1ヶ月後は30%として設定するものとする。

以上のことから、津波被害の発生から3日間が経過し、避難指示・勧告等が解除されたフェーズにおける避難所避難者数は以下のとおりに想定される。

避難所避難者数 = {(全壊棟数 + 0.13 × 半壊棟数) × 1 棟当たり平均人員 + 断水人口<sup>※1</sup> × 断水時生活困窮度  $\gamma$ <sup>※2</sup>} × 避難所避難比率  $\delta$ <sup>※3</sup>

※1：断水人口は、自宅建物被害を原因とする避難者を除く断水世帯人員を示す。

※2：断水時生活困窮度とは、自宅建物は大きな損傷を受けていないが、断水が継続されることにより自宅での生活し続けることが困難となる度合を意味する。時間とともに数値は大きくなる。阪神・淡路大震災の事例によると、水が手に入れば自宅が大きく被災していない限りは自宅で暮らしているし、半壊の人でも水道が復旧すれば避難所から自宅に戻っており、逆に断水の場合には生活困窮度が増すことを物語っている。

1 週間後 : 0.25

1 ヶ月後 : 0.90

※3：避難所避難比率 = 避難者のうち避難所に避難する割合であり、避難所避難比率 + 避難所外避難比率 = 1 である。

1 週間後 : 0.90

1 ヶ月後 : 0.30

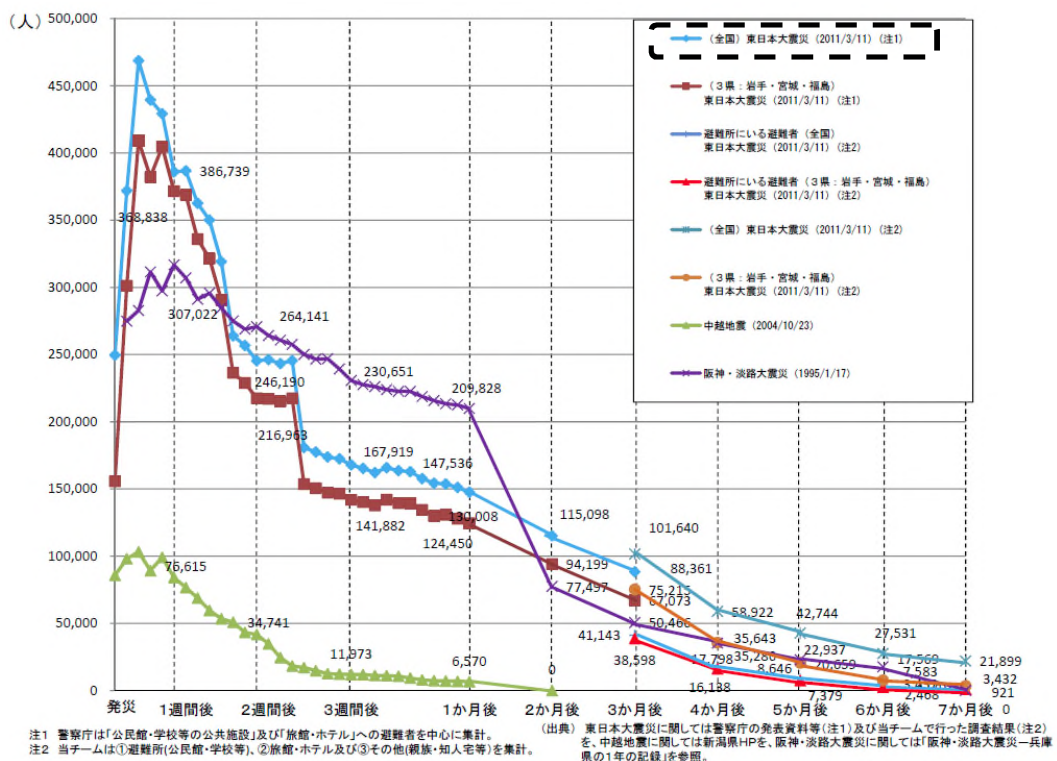


図 V-1.4 東日本大震災における避難所避難者数等について (内閣府被災者生活支援チーム (2011))

## V-2. 避難者、避難者対応分析の想定結果

避難者数（避難所避難者数及び避難所外避難者数）の想定結果を次ページ以降に示す。なお、この避難者数は常住人口を対象としたものであり、避難所を中心とした様々な対応が必要となる。

一方、県内・県外からの観光・ビジネス目的の観光・出張客も数日間程度は一時的に対応が必要となる帰宅困難者となる。ここでは帰宅困難にもなる観光・出張客数の推定値も併せて示す（年間値を単純に1日平均に換算したものであり、ピーク時にはより多くの観光客がいる場合があり、あくまでも参考値として取り扱う）。

表 V-2.1 避難者数  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名	1日後			1週間後			1ヶ月後			
	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	
県計	834,248	502,423	331,825	1,222,164	614,168	607,996	837,162	251,149	586,013	
賀茂	下田市	3,263	2,131	1,132	4,119	2,231	1,888	739	222	518
	東伊豆町	181	115	66	878	441	437	92	28	65
	河津町	274	169	105	1,668	840	828	915	274	640
	南伊豆町	772	500	272	1,531	801	730	236	71	165
	松崎町	3,057	1,993	1,064	2,093	1,307	786	1,321	396	925
	西伊豆町	4,348	2,849	1,500	2,654	1,730	924	1,765	530	1,236
	(小計)	11,895	7,756	4,139	12,942	7,350	5,593	5,069	1,521	3,548
東部	沼津市	14,829	9,404	5,425	31,140	16,038	15,102	7,512	2,254	5,259
	熱海市	393	239	154	1,552	777	775	344	103	240
	三島市	1,409	846	564	15,191	7,595	7,595	1,409	423	986
	富士宮市	5,648	3,389	2,259	16,231	8,115	8,115	5,648	1,694	3,954
	伊東市	836	510	326	7,203	3,607	3,596	711	213	498
	富士市	9,523	5,716	3,807	38,661	19,332	19,329	9,495	2,848	6,646
	御殿場市	1,487	892	595	5,412	2,706	2,706	1,487	446	1,041
	裾野市	851	511	340	4,433	2,216	2,216	851	255	596
	伊豆の国市	786	472	314	9,096	4,548	4,548	3,528	1,058	2,469
	函南町	352	211	141	6,233	3,116	3,116	1,777	533	1,244
	清水町	570	342	228	5,036	2,518	2,518	1,434	430	1,004
	長泉町	553	332	221	3,592	1,796	1,796	553	166	387
	小山町	276	165	110	1,718	859	859	276	83	193
	(小計)	39,828	24,505	15,323	150,662	75,886	74,776	36,062	10,819	25,243
中部	静岡市葵区	99,095	59,457	39,638	121,903	60,952	60,952	99,095	29,729	69,367
	静岡市駿河区	83,918	50,363	33,555	102,921	51,497	51,425	83,805	25,141	58,663
	静岡市清水区	82,666	49,877	32,788	106,466	53,950	52,516	79,839	23,952	55,887
	島田市	23,044	13,827	9,218	35,043	17,522	17,522	23,044	6,913	16,131
	焼津市	55,717	33,594	22,123	68,697	34,819	33,878	54,193	16,258	37,935
	藤枝市	48,523	29,114	19,409	64,536	32,268	32,268	49,017	14,705	34,312
	牧之原市	14,494	8,812	5,682	18,928	9,732	9,196	13,273	3,982	9,291
	吉田町	6,480	3,890	2,591	10,677	5,342	5,335	7,253	2,176	5,077
	川根本町	267	160	107	1,425	713	713	813	244	569
	(小計)	414,204	249,093	165,110	530,597	266,793	263,804	410,332	123,100	287,233
西部	浜松市中区	87,396	52,437	34,958	112,650	56,325	56,325	87,396	26,219	61,177
	浜松市東区	29,420	17,652	11,768	45,567	22,783	22,783	29,420	8,826	20,594
	浜松市西区	32,924	19,779	13,144	48,195	24,161	24,034	35,661	10,698	24,963
	浜松市南区	35,635	21,383	14,252	49,064	24,537	24,526	39,293	11,788	27,505
	浜松市北区	7,163	4,313	2,850	18,891	9,464	9,427	6,949	2,085	4,864
	浜松市浜北区	9,078	5,447	3,631	20,271	10,136	10,136	9,078	2,723	6,355
	浜松市天竜区	1,259	755	503	4,845	2,423	2,423	1,259	378	881
	磐田市	58,189	34,918	23,271	79,037	39,531	39,506	65,638	19,691	45,946
	掛川市	33,787	20,272	13,515	47,026	23,513	23,513	35,365	10,609	24,755
	袋井市	38,895	23,337	15,558	46,642	23,321	23,321	39,875	11,962	27,912
	湖西市	13,775	8,285	5,490	20,816	10,449	10,367	13,545	4,063	9,481
	御前崎市	5,913	3,557	2,356	10,648	5,340	5,308	6,300	1,890	4,410
	菊川市	10,167	6,100	4,067	16,813	8,407	8,407	10,961	3,288	7,672
	森町	4,720	2,832	1,888	7,497	3,748	3,748	4,962	1,489	3,473
(小計)	368,321	221,068	147,253	527,962	264,139	263,824	385,699	115,710	269,989	

\*四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 V-2.2 避難所収容力過不足数  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名		過不足数(避難所収容可能人数－避難所避難者数)			
		避難所収容可能人数	1日後	1週間後	1ヶ月後
県計		846,833	344,410	232,665	595,684
賀茂	下田市	9,530	7,399	7,299	9,309
	東伊豆町	2,797	2,683	2,356	2,769
	河津町	3,385	3,215	2,545	3,110
	南伊豆町	4,750	4,250	3,949	4,679
	松崎町	1,812	▲ 181	504	1,415
	西伊豆町	4,106	1,257	2,376	3,576
	(小計)	26,380	18,624	19,030	24,859
東部	沼津市	56,426	47,022	40,388	54,172
	熱海市	13,070	12,830	12,293	12,967
	三島市	29,161	28,315	21,565	28,738
	富士宮市	29,500	26,111	21,385	27,806
	伊東市	16,936	16,426	13,330	16,723
	富士市	55,249	49,533	35,917	52,400
	御殿場市	6,108	5,216	3,402	5,662
	裾野市	19,293	18,782	17,076	19,037
	伊豆市	10,473	8,996	7,810	10,162
	伊豆の国市	15,914	15,442	11,366	14,856
	函南町	2,803	2,592	▲ 313	2,270
	清水町	8,062	7,720	5,543	7,631
	長泉町	9,276	8,944	7,480	9,110
	小山町	7,396	7,231	6,537	7,313
(小計)	279,665	255,159	203,778	268,846	
中部	静岡市葵区	55,805	▲ 3,652	▲ 5,147	26,076
	静岡市駿河区	32,623	▲ 17,740	▲ 18,873	7,482
	静岡市清水区	43,212	▲ 6,665	▲ 10,737	19,261
	島田市	26,441	12,615	8,920	19,528
	焼津市	30,145	▲ 3,449	▲ 4,674	13,887
	藤枝市	40,873	11,759	8,605	26,167
	牧之原市	14,716	5,904	4,984	10,734
	吉田町	4,516	627	▲ 826	2,340
	川根本町	2,257	2,097	1,544	2,013
	(小計)	250,588	1,495	▲ 16,205	127,489
西部	浜松市中区	36,227	▲ 16,211	▲ 20,098	10,008
	浜松市東区	17,456	▲ 196	▲ 5,328	8,630
	浜松市西区	25,075	5,295	913	14,376
	浜松市南区	14,640	▲ 6,743	▲ 9,898	2,852
	浜松市北区	26,433	22,120	16,969	24,348
	浜松市浜北区	15,847	10,400	5,711	13,123
	浜松市天竜区	19,853	19,098	17,431	19,476
	磐田市	40,874	5,956	1,343	21,183
	掛川市	33,441	13,169	9,928	22,832
	袋井市	27,153	3,815	3,832	15,190
	湖西市	19,106	10,821	8,656	15,042
	御前崎市	4,133	576	▲ 1,207	2,243
	菊川市	4,659	▲ 1,441	▲ 3,747	1,371
	森町	5,306	2,473	1,557	3,817
(小計)	290,200	69,132	26,062	174,491	

▲: 不足数

\* 避難所収容可能人数は、延床面積 (㎡) /6 (㎡/人)で換算したもの (平成 25 年 4 月 1 日現在)。

また、避難所の津波浸水状況を考慮していない。

\* 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表V-2.3 【参考】避難所収容力過不足数※  
 ※避難者のすべてを避難所収容の対象とした場合  
 (東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名		過不足数(避難所収容可能人数－避難者数)			
		避難所収容可能人数	1日後	1週間後	1ヶ月後
県計		846,833	12,585	▲ 375,331	9,671
賀茂	下田市	9,530	6,268	5,411	8,791
	東伊豆町	2,797	2,616	1,920	2,705
	河津町	3,385	3,111	1,717	2,470
	南伊豆町	4,750	3,978	3,219	4,514
	松崎町	1,812	▲ 1,245	▲ 282	491
	西伊豆町	4,106	▲ 242	1,452	2,341
	(小計)	26,380	14,485	13,437	21,311
東部	沼津市	56,426	41,597	25,286	48,914
	熱海市	13,070	12,676	11,517	12,726
	三島市	29,161	27,751	13,970	27,751
	富士宮市	29,500	23,852	13,270	23,852
	伊東市	16,936	16,100	9,733	16,225
	富士市	55,249	45,726	16,588	45,754
	御殿場市	6,108	4,621	696	4,621
	裾野市	19,293	18,442	14,860	18,442
	伊豆市	10,473	8,158	5,308	9,436
	伊豆の国市	15,914	15,128	6,818	12,386
	函南町	2,803	2,451	▲ 3,430	1,026
	清水町	8,062	7,492	3,025	6,628
	長泉町	9,276	8,722	5,683	8,722
	小山町	7,396	7,120	5,678	7,120
	(小計)	279,665	239,836	129,002	243,603
中部	静岡市葵区	55,805	▲ 43,290	▲ 66,098	▲ 43,290
	静岡市駿河区	32,623	▲ 51,295	▲ 70,298	▲ 51,182
	静岡市清水区	43,212	▲ 39,453	▲ 63,254	▲ 36,627
	島田市	26,441	3,397	▲ 8,602	3,397
	焼津市	30,145	▲ 25,572	▲ 38,552	▲ 24,048
	藤枝市	40,873	▲ 7,650	▲ 23,663	▲ 8,144
	牧之原市	14,716	222	▲ 4,212	1,443
	吉田町	4,516	▲ 1,964	▲ 6,161	▲ 2,737
	川根本町	2,257	1,990	831	1,443
(小計)	250,588	▲ 163,615	▲ 280,008	▲ 159,744	
西部	浜松市中区	36,227	▲ 51,169	▲ 76,423	▲ 51,169
	浜松市東区	17,456	▲ 11,964	▲ 28,111	▲ 11,964
	浜松市西区	25,075	▲ 7,849	▲ 23,120	▲ 10,586
	浜松市南区	14,640	▲ 20,995	▲ 34,424	▲ 24,653
	浜松市北区	26,433	19,270	7,542	19,484
	浜松市浜北区	15,847	6,769	▲ 4,424	6,769
	浜松市天竜区	19,853	18,595	15,008	18,595
	磐田市	40,874	▲ 17,315	▲ 38,163	▲ 24,764
	掛川市	33,441	▲ 346	▲ 13,585	▲ 1,924
	袋井市	27,153	▲ 11,743	▲ 19,489	▲ 12,722
	湖西市	19,106	5,330	▲ 1,710	5,561
	御前崎市	4,133	▲ 1,780	▲ 6,515	▲ 2,167
	菊川市	4,659	▲ 5,508	▲ 12,154	▲ 6,301
	森町	5,306	585	▲ 2,191	344
	(小計)	290,200	▲ 78,121	▲ 237,762	▲ 95,498

▲: 不足数

\* 避難所収容可能人数は、延床面積 (㎡) /6 (㎡/人)で換算したもの (平成 25 年 4 月 1 日現在)。

また、避難所の津波浸水状況を考慮していない。

\* 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表V-2.4 避難者数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名	1日後			1週間後			1ヶ月後			
	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	
県計	1,047,298	645,674	401,624	1,272,133	680,325	591,808	1,011,922	303,576	708,345	
賀茂	下田市	12,050	7,742	4,308	8,600	5,356	3,244	6,306	1,892	4,414
	東伊豆町	2,178	1,396	782	1,632	878	754	927	278	649
	河津町	2,392	1,543	848	2,250	1,308	942	2,891	867	2,023
	南伊豆町	4,551	2,929	1,621	3,179	1,989	1,191	2,280	684	1,596
	松崎町	5,321	3,438	1,883	3,812	2,639	1,173	3,701	1,110	2,591
	西伊豆町	7,327	4,745	2,582	5,367	3,869	1,498	5,353	1,606	3,747
	(小計)	33,818	21,793	12,024	24,841	16,040	8,801	21,456	6,437	15,019
東部	沼津市	46,687	30,212	16,475	38,433	21,724	16,709	16,358	4,907	11,450
	熱海市	984	626	358	1,657	838	820	454	136	317
	三島市	1,409	846	564	15,191	7,595	7,595	1,409	423	986
	富士宮市	5,648	3,389	2,259	16,231	8,115	8,115	5,648	1,694	3,954
	伊東市	2,327	1,480	848	7,533	3,819	3,714	1,096	329	767
	富士市	10,522	6,378	4,144	38,736	19,428	19,309	9,584	2,875	6,709
	御殿場市	1,487	892	595	5,412	2,706	2,706	1,487	446	1,041
	裾野市	851	511	340	4,433	2,216	2,216	851	255	596
	伊豆市	3,675	2,319	1,356	5,997	3,118	2,879	2,069	621	1,448
	伊豆の国市	786	472	314	9,096	4,548	4,548	9,584	2,875	6,709
	函南町	352	211	141	6,233	3,116	3,116	4,926	1,478	3,448
	清水町	570	342	228	5,036	2,518	2,518	3,343	1,003	2,340
	長泉町	553	332	221	3,592	1,796	1,796	553	166	387
	小山町	276	165	110	1,718	859	859	276	83	193
(小計)	76,128	48,174	27,953	159,297	82,397	76,900	57,636	17,291	40,345	
中部	静岡市葵区	99,095	59,457	39,638	121,903	60,952	60,952	99,095	29,729	69,367
	静岡市駿河区	91,212	55,467	35,745	103,502	53,906	49,595	84,520	25,356	59,164
	静岡市清水区	108,773	67,619	41,153	111,062	61,866	49,195	85,654	25,696	59,957
	島田市	23,044	13,827	9,218	35,043	17,522	17,522	23,044	6,913	16,131
	焼津市	76,220	47,887	28,334	70,704	41,733	28,971	56,691	17,007	39,684
	藤枝市	48,523	29,114	19,409	64,536	32,268	32,268	55,753	16,726	39,027
	牧之原市	32,161	20,612	11,549	26,913	17,791	9,123	37,564	11,269	26,295
	吉田町	18,099	11,708	6,391	12,947	8,686	4,262	12,126	3,638	8,488
	川根本町	267	160	107	1,425	713	713	2,020	606	1,414
	(小計)	497,394	305,851	191,543	548,035	295,436	252,600	456,467	136,940	319,527
西部	浜松市中区	91,018	54,976	36,042	112,779	57,425	55,354	95,683	28,705	66,978
	浜松市東区	29,424	17,655	11,769	45,567	22,784	22,783	34,214	10,264	23,950
	浜松市西区	56,017	35,432	20,585	52,093	31,057	21,036	51,067	15,320	35,747
	浜松市南区	58,975	37,545	21,430	51,585	32,323	19,262	53,922	16,177	37,746
	浜松市北区	7,206	4,342	2,864	18,893	9,468	9,424	6,951	2,085	4,866
	浜松市浜北区	9,078	5,447	3,631	20,271	10,136	10,136	9,078	2,723	6,355
	浜松市天竜区	1,259	755	503	4,845	2,423	2,423	1,259	378	881
	磐田市	63,983	38,946	25,037	79,342	41,241	38,101	84,955	25,486	59,468
	掛川市	34,101	20,485	13,616	47,068	23,594	23,475	40,961	12,288	28,673
	袋井市	39,052	23,450	15,603	46,650	23,385	23,265	43,569	13,071	30,499
	湖西市	26,164	16,452	9,712	24,568	14,132	10,436	18,396	5,519	12,877
	御前崎市	8,787	5,434	3,353	11,988	6,329	5,659	14,486	4,346	10,140
	菊川市	10,174	6,105	4,069	16,814	8,408	8,406	15,147	4,544	10,603
	森町	4,720	2,832	1,888	7,497	3,748	3,748	6,671	2,001	4,670
(小計)	439,958	269,855	170,103	539,960	286,452	253,507	476,362	142,908	333,453	

\* 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



表V-2.5 避難所収容力過不足数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名		過不足数(避難所収容可能人数-避難所避難者数)			
		避難所収容可能人数	1日後	1週間後	1ヶ月後
県計		846,833	201,159	166,508	543,256
賀茂	下田市	9,530	1,789	4,174	7,639
	東伊豆町	2,797	1,401	1,919	2,519
	河津町	3,385	1,841	2,076	2,518
	南伊豆町	4,750	1,821	2,761	4,066
	松崎町	1,812	▲ 1,626	▲ 828	701
	西伊豆町	4,106	▲ 639	236	2,500
	(小計)	26,380	4,586	10,340	19,943
東部	沼津市	56,426	26,214	34,702	51,519
	熱海市	13,070	12,443	12,232	12,934
	三島市	29,161	28,315	21,565	28,738
	富士宮市	29,500	26,111	21,385	27,806
	伊東市	16,936	15,457	13,117	16,608
	富士市	55,249	48,871	35,821	52,374
	御殿場市	6,108	5,216	3,402	5,662
	裾野市	19,293	18,782	17,076	19,037
	伊豆市	10,473	8,154	7,354	9,852
	伊豆の国市	15,914	15,442	11,366	13,039
	函南町	2,803	2,592	▲ 313	1,325
	清水町	8,062	7,720	5,543	7,059
	長泉町	9,276	8,944	7,480	9,110
	小山町	7,396	7,231	6,537	7,313
(小計)	279,665	231,490	197,267	262,374	
中部	静岡市葵区	55,805	▲ 3,652	▲ 5,147	26,076
	静岡市駿河区	32,623	▲ 22,844	▲ 21,283	7,267
	静岡市清水区	43,212	▲ 24,407	▲ 18,654	17,516
	島田市	26,441	12,615	8,920	19,528
	焼津市	30,145	▲ 17,742	▲ 11,588	13,137
	藤枝市	40,873	11,759	8,605	24,147
	牧之原市	14,716	▲ 5,896	▲ 3,075	3,447
	吉田町	4,516	▲ 7,192	▲ 4,169	879
	川根本町	2,257	2,097	1,544	1,650
	(小計)	250,588	▲ 55,263	▲ 44,847	113,648
西部	浜松市中区	36,227	▲ 18,749	▲ 21,198	7,522
	浜松市東区	17,456	▲ 199	▲ 5,328	7,191
	浜松市西区	25,075	▲ 10,358	▲ 5,983	9,754
	浜松市南区	14,640	▲ 22,906	▲ 17,683	▲ 1,537
	浜松市北区	26,433	22,091	16,964	24,347
	浜松市浜北区	15,847	10,400	5,711	13,123
	浜松市天竜区	19,853	19,098	17,431	19,476
	磐田市	40,874	1,928	▲ 367	15,388
	掛川市	33,441	12,956	9,847	21,153
	袋井市	27,153	3,703	3,768	14,082
	湖西市	19,106	2,654	4,974	13,587
	御前崎市	4,133	▲ 1,301	▲ 2,196	▲ 213
	菊川市	4,659	▲ 1,445	▲ 3,749	115
	森町	5,306	2,473	1,557	3,304
(小計)	290,200	20,345	3,748	147,292	

▲: 不足数

\*避難所収容可能人数は、延床面積 (㎡) /6 (㎡/人)で換算したもの (平成25年4月1日現在)。

また、避難所の津波浸水状況を考慮していない。

\*四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表V-2.6 【参考】避難所収容力過不足数※  
 [※避難者のすべてを避難所収容の対象とした場合]  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名		過不足数(避難所収容可能人数-避難者数)			
		避難所収容可能人数	1日後	1週間後	1ヶ月後
県計		846,833	▲ 200,465	▲ 425,300	▲ 165,089
賀茂	下田市	9,530	▲ 2,519	931	3,225
	東伊豆町	2,797	619	1,165	1,870
	河津町	3,385	993	1,134	494
	南伊豆町	4,750	200	1,571	2,470
	松崎町	1,812	▲ 3,510	▲ 2,001	▲ 1,889
	西伊豆町	4,106	▲ 3,221	▲ 1,261	▲ 1,247
	(小計)	26,380	▲ 7,438	1,539	4,923
	東部	沼津市	56,426	9,739	17,993
熱海市		13,070	12,086	11,413	12,616
三島市		29,161	27,751	13,970	27,751
富士宮市		29,500	23,852	13,270	23,852
伊東市		16,936	14,609	9,404	15,841
富士市		55,249	44,727	16,512	45,665
御殿場市		6,108	4,621	696	4,621
裾野市		19,293	18,442	14,860	18,442
伊豆市		10,473	6,797	4,476	8,403
伊豆の国市		15,914	15,128	6,818	6,330
函南町		2,803	2,451	▲ 3,430	▲ 2,123
清水町		8,062	7,492	3,025	4,719
長泉町		9,276	8,722	5,683	8,722
小山町		7,396	7,120	5,678	7,120
(小計)		279,665	203,537	120,367	222,028
中部	静岡市葵区	55,805	▲ 43,290	▲ 66,098	▲ 43,290
	静岡市駿河区	32,623	▲ 58,589	▲ 70,878	▲ 51,897
	静岡市清水区	43,212	▲ 65,560	▲ 67,849	▲ 42,441
	島田市	26,441	3,397	▲ 8,602	3,397
	焼津市	30,145	▲ 46,076	▲ 40,559	▲ 26,546
	藤枝市	40,873	▲ 7,650	▲ 23,663	▲ 14,880
	牧之原市	14,716	▲ 17,445	▲ 12,197	▲ 22,848
	吉田町	4,516	▲ 13,582	▲ 8,431	▲ 7,610
	川根本町	2,257	1,990	831	236
	(小計)	250,588	▲ 246,806	▲ 297,447	▲ 205,879
西部	浜松市中区	36,227	▲ 54,791	▲ 76,552	▲ 59,456
	浜松市東区	17,456	▲ 11,968	▲ 28,111	▲ 16,759
	浜松市西区	25,075	▲ 30,943	▲ 27,019	▲ 25,993
	浜松市南区	14,640	▲ 44,336	▲ 36,945	▲ 39,283
	浜松市北区	26,433	19,227	7,540	19,481
	浜松市浜北区	15,847	6,769	▲ 4,424	6,769
	浜松市天竜区	19,853	18,595	15,008	18,595
	磐田市	40,874	▲ 23,109	▲ 38,468	▲ 44,081
	掛川市	33,441	▲ 660	▲ 13,627	▲ 7,520
	袋井市	27,153	▲ 11,900	▲ 19,497	▲ 16,417
	湖西市	19,106	▲ 7,059	▲ 5,462	710
	御前崎市	4,133	▲ 4,654	▲ 7,855	▲ 10,353
	菊川市	4,659	▲ 5,514	▲ 12,155	▲ 10,488
	森町	5,306	585	▲ 2,191	▲ 1,366
(小計)	290,200	▲ 149,758	▲ 249,759	▲ 186,161	

▲:不足数

\*避難所収容可能人数は、延床面積 (㎡) /6 (㎡/人)で換算したもの(平成25年4月1日現在)。

また、避難所の津波浸水状況を考慮していない。

\*四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表V-2.7 避難者数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名	1日後			1週間後			1ヶ月後			
	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	
県計	983,167	607,195	375,972	1,156,346	618,189	538,157	960,300	288,090	672,210	
賀茂	下田市	11,934	7,672	4,261	8,008	4,987	3,020	6,138	1,842	4,297
	東伊豆町	2,133	1,369	764	1,330	715	614	878	263	614
	河津町	2,340	1,512	828	1,877	1,091	786	1,716	515	1,201
	南伊豆町	4,502	2,900	1,602	2,734	1,710	1,024	2,209	663	1,546
	松崎町	5,217	3,375	1,841	3,603	2,495	1,109	3,483	1,045	2,438
	西伊豆町	7,293	4,724	2,568	5,220	3,763	1,457	5,136	1,541	3,595
	(小計)	33,418	21,553	11,864	22,771	14,762	8,010	19,560	5,868	13,692
東部	沼津市	44,237	28,742	15,495	25,545	14,439	11,106	13,430	4,029	9,401
	熱海市	744	482	262	722	365	357	210	63	147
	三島市	411	246	164	8,214	4,107	4,107	411	123	287
	富士宮市	759	455	304	7,703	3,851	3,851	759	228	531
	伊東市	2,002	1,284	717	5,978	3,031	2,947	764	229	535
	富士市	2,291	1,440	851	23,099	11,585	11,514	1,321	396	925
	御殿場市	1,243	746	497	4,986	2,493	2,493	1,243	373	870
	裾野市	136	82	55	1,899	949	949	136	41	95
	伊豆市	3,329	2,111	1,218	4,919	2,558	2,361	1,705	511	1,193
	伊豆の国市	507	304	203	8,297	4,148	4,148	7,744	2,323	5,421
	函南町	198	119	79	4,494	2,247	2,247	2,009	603	1,407
	清水町	272	163	109	4,210	2,105	2,105	2,325	698	1,628
	長泉町	90	54	36	1,117	559	559	90	27	63
	小山町	223	134	89	1,556	778	778	223	67	156
	(小計)	56,440	36,362	20,078	102,739	53,216	49,523	32,370	9,711	22,659
	中部	静岡市葵区	24,642	14,785	9,857	54,186	27,093	27,093	24,642	7,392
静岡市駿河区		27,504	17,242	10,262	42,326	22,044	20,282	17,312	5,194	12,119
静岡市清水区		52,415	33,804	18,610	51,828	28,871	22,957	19,921	5,976	13,945
島田市		9,472	5,683	3,789	22,223	11,111	11,111	9,472	2,842	6,630
焼津市		44,981	29,143	15,838	33,800	19,951	13,850	16,351	4,905	11,445
藤枝市		9,892	5,935	3,957	29,577	14,788	14,788	9,892	2,968	6,924
牧之原市		29,775	19,181	10,594	23,723	15,682	8,041	35,605	10,682	24,924
吉田町		15,952	10,420	5,532	9,541	6,400	3,141	6,990	2,097	4,893
川根本町		354	212	141	1,615	807	807	2,807	842	1,965
(小計)		214,985	136,406	78,580	268,818	146,748	122,071	142,990	42,897	100,093
西部	浜松市中区	149,710	90,191	59,519	163,573	83,289	80,284	161,021	48,306	112,714
	浜松市東区	66,107	39,664	26,442	77,062	38,532	38,530	77,054	23,116	53,938
	浜松市西区	81,996	51,019	30,976	80,410	47,939	32,471	85,602	25,681	59,921
	浜松市南区	66,168	41,861	24,307	60,132	37,678	22,453	66,680	20,004	46,676
	浜松市北区	40,746	24,466	16,280	49,890	25,003	24,887	47,452	14,236	33,217
	浜松市浜北区	43,044	25,826	17,217	51,286	25,643	25,643	49,019	14,706	34,314
	浜松市天竜区	7,996	4,798	3,198	12,008	6,004	6,004	9,144	2,743	6,401
	磐田市	88,660	53,752	34,908	101,172	52,588	48,584	113,520	34,056	79,464
	掛川市	32,398	19,463	12,935	45,366	22,740	22,626	39,093	11,728	27,365
	袋井市	34,430	20,676	13,754	42,686	21,398	21,288	39,503	11,851	27,652
	湖西市	42,846	26,461	16,385	42,264	24,311	17,953	40,606	12,182	28,424
	御前崎市	5,923	3,715	2,208	9,043	4,774	4,269	10,051	3,015	7,035
	菊川市	10,155	6,094	4,062	16,706	8,354	8,352	15,297	4,589	10,708
	森町	8,145	4,887	3,258	10,421	5,210	5,210	11,339	3,402	7,937
	(小計)	678,324	412,874	265,449	762,017	403,463	358,554	765,380	229,614	535,766

\* 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表V-2.8 避難所収容力過不足数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名		過不足数(避難所収容可能人数-避難所避難者数)			
		避難所収容可能人数	1日後	1週間後	1ヶ月後
県計		846,833	239,637	228,644	558,743
賀茂	下田市	9,530	1,858	4,543	7,689
	東伊豆町	2,797	1,428	2,082	2,534
	河津町	3,385	1,872	2,294	2,870
	南伊豆町	4,750	1,850	3,040	4,088
	松崎町	1,812	▲ 1,564	▲ 683	767
	西伊豆町	4,106	▲ 618	343	2,565
	(小計)	26,380	4,826	11,618	20,512
東部	沼津市	56,426	27,684	41,986	52,397
	熱海市	13,070	12,588	12,705	13,007
	三島市	29,161	28,914	25,053	29,037
	富士宮市	29,500	29,045	25,649	29,273
	伊東市	16,936	15,652	13,905	16,707
	富士市	55,249	53,809	43,664	54,852
	御殿場市	6,108	5,362	3,615	5,735
	裾野市	19,293	19,211	18,343	19,252
	伊豆市	10,473	8,361	7,915	9,961
	伊豆の国市	15,914	15,610	11,766	13,591
	函南町	2,803	2,684	556	2,200
	清水町	8,062	7,899	5,957	7,364
	長泉町	9,276	9,222	8,717	9,249
	小山町	7,396	7,262	6,618	7,329
	(小計)	279,665	243,303	226,449	269,954
中部	静岡市葵区	55,805	41,020	28,712	48,413
	静岡市駿河区	32,623	15,382	10,579	27,430
	静岡市清水区	43,212	9,408	14,342	37,236
	島田市	26,441	20,758	15,330	23,600
	焼津市	30,145	1,001	10,194	25,240
	藤枝市	40,873	34,937	26,084	37,905
	牧之原市	14,716	▲ 4,465	▲ 966	4,034
	吉田町	4,516	▲ 5,904	▲ 1,884	2,419
	川根本町	2,257	2,044	1,449	1,415
	(小計)	250,588	114,183	103,840	207,691
西部	浜松市中区	36,227	▲ 53,964	▲ 47,062	▲ 12,079
	浜松市東区	17,456	▲ 22,209	▲ 21,076	▲ 5,660
	浜松市西区	25,075	▲ 25,945	▲ 22,864	▲ 606
	浜松市南区	14,640	▲ 27,222	▲ 23,039	▲ 5,364
	浜松市北区	26,433	1,967	1,430	12,197
	浜松市浜北区	15,847	▲ 9,979	▲ 9,796	1,141
	浜松市天竜区	19,853	15,056	13,850	17,110
	磐田市	40,874	▲ 12,878	▲ 11,714	6,818
	掛川市	33,441	13,978	10,701	21,713
	袋井市	27,153	6,476	5,755	15,302
	湖西市	19,106	▲ 7,355	▲ 5,205	6,924
	御前崎市	4,133	418	▲ 641	1,118
	菊川市	4,659	▲ 1,434	▲ 3,695	70
	森町	5,306	419	95	1,904
	(小計)	290,200	▲ 122,674	▲ 113,263	60,586

▲:不足数

\*避難所収容可能人数は、延床面積 (㎡) /6 (㎡/人)で換算したもの(平成25年4月1日現在)。

また、避難所の津波浸水状況を考慮していない。

\*四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表V-2.9 【参考】避難所収容力過不足数※  
 ※避難者のすべてを避難所収容の対象とした場合  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名		過不足数(避難所収容可能人数-避難者数)			
		避難所収容可能人数	1日後	1週間後	1ヶ月後
県計		846,833	▲ 136,334	▲ 309,513	▲ 113,467
賀茂	下田市	9,530	▲ 2,403	1,523	3,392
	東伊豆町	2,797	664	1,468	1,919
	河津町	3,385	1,045	1,508	1,668
	南伊豆町	4,750	248	2,016	2,541
	松崎町	1,812	▲ 3,405	▲ 1,792	▲ 1,671
	西伊豆町	4,106	▲ 3,187	▲ 1,114	▲ 1,030
	(小計)	26,380	▲ 7,038	3,608	6,820
東部	沼津市	56,426	12,189	30,880	42,996
	熱海市	13,070	12,326	12,348	12,860
	三島市	29,161	28,750	20,946	28,750
	富士宮市	29,500	28,741	21,798	28,741
	伊東市	16,936	14,935	10,958	16,172
	富士市	55,249	52,958	32,149	53,928
	御殿場市	6,108	4,865	1,121	4,865
	裾野市	19,293	19,156	17,394	19,156
	伊豆市	10,473	7,144	5,554	8,768
	伊豆の国市	15,914	15,407	7,617	8,170
	函南町	2,803	2,605	▲ 1,691	794
	清水町	8,062	7,790	3,852	5,737
	長泉町	9,276	9,186	8,158	9,186
	小山町	7,396	7,173	5,840	7,173
	(小計)	279,665	223,224	176,925	247,295
中部	静岡市葵区	55,805	31,163	1,619	31,163
	静岡市駿河区	32,623	5,119	▲ 9,703	15,311
	静岡市清水区	43,212	▲ 9,202	▲ 8,616	23,291
	島田市	26,441	16,970	4,219	16,970
	焼津市	30,145	▲ 14,836	▲ 3,655	13,794
	藤枝市	40,873	30,981	11,296	30,981
	牧之原市	14,716	▲ 15,059	▲ 9,007	▲ 20,889
	吉田町	4,516	▲ 11,435	▲ 5,025	▲ 2,473
	川根本町	2,257	1,903	642	▲ 550
(小計)	250,588	35,603	▲ 18,230	107,598	
西部	浜松市中区	36,227	▲ 113,484	▲ 127,346	▲ 124,794
	浜松市東区	17,456	▲ 48,651	▲ 59,606	▲ 59,598
	浜松市西区	25,075	▲ 56,921	▲ 55,335	▲ 60,528
	浜松市南区	14,640	▲ 51,529	▲ 45,492	▲ 52,040
	浜松市北区	26,433	▲ 14,313	▲ 23,457	▲ 21,020
	浜松市浜北区	15,847	▲ 27,197	▲ 35,439	▲ 33,173
	浜松市天竜区	19,853	11,857	7,846	10,709
	磐田市	40,874	▲ 47,786	▲ 60,298	▲ 72,646
	掛川市	33,441	1,043	▲ 11,925	▲ 5,652
	袋井市	27,153	▲ 7,278	▲ 15,533	▲ 12,350
	湖西市	19,106	▲ 23,740	▲ 23,158	▲ 21,500
	御前崎市	4,133	▲ 1,790	▲ 4,911	▲ 5,918
	菊川市	4,659	▲ 5,496	▲ 12,047	▲ 10,638
	森町	5,306	▲ 2,839	▲ 5,115	▲ 6,033
	(小計)	290,200	▲ 388,123	▲ 471,817	▲ 475,180

▲:不足数

\*避難所収容可能人数は、延床面積 (㎡) /6 (㎡/人)で換算したもの(平成25年4月1日現在)。

また、避難所の津波浸水状況を考慮していない。

\*四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表V-2.10 避難者数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名	1日後			1週間後			1ヶ月後			
	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	
県計	1,077,158	663,590	413,568	1,312,314	702,747	609,567	1,059,167	317,750	741,417	
賀茂	下田市	12,213	7,840	4,373	9,039	5,630	3,409	6,541	1,962	4,579
	東伊豆町	2,295	1,466	829	2,090	1,124	965	1,056	317	739
	河津町	2,440	1,572	867	2,326	1,352	974	3,271	981	2,290
	南伊豆町	4,604	2,961	1,642	3,351	2,096	1,255	2,357	707	1,650
	松崎町	5,433	3,505	1,928	4,008	2,775	1,233	3,986	1,196	2,790
	西伊豆町	7,462	4,826	2,636	5,689	4,102	1,588	5,904	1,771	4,133
	(小計)	34,446	22,171	12,276	26,503	17,079	9,424	23,117	6,935	16,182
東部	沼津市	49,679	32,007	17,672	43,703	24,703	19,000	19,932	5,980	13,953
	熱海市	1,189	749	440	2,601	1,314	1,286	661	198	463
	三島市	2,076	1,246	831	16,366	8,183	8,183	2,076	623	1,454
	富士宮市	13,078	7,847	5,231	24,512	12,256	12,256	13,078	3,923	9,154
	伊東市	2,912	1,830	1,081	8,530	4,325	4,205	1,690	507	1,183
	富士市	23,465	14,144	9,321	53,168	26,666	26,502	22,577	6,773	15,804
	御殿場市	3,210	1,926	1,284	7,989	3,994	3,994	3,210	963	2,247
	裾野市	1,237	742	495	4,659	2,329	2,329	1,237	371	866
	伊豆市	4,296	2,692	1,605	6,931	3,604	3,327	2,723	817	1,906
	伊豆の国市	1,222	733	489	9,678	4,839	4,839	11,989	3,597	8,392
	函南町	447	268	179	6,372	3,186	3,186	5,658	1,697	3,960
	清水町	776	465	310	5,227	2,613	2,613	3,827	1,148	2,679
	長泉町	1,002	601	401	4,366	2,183	2,183	1,002	301	701
	小山町	506	304	202	2,406	1,203	1,203	506	152	354
(小計)	105,095	65,555	39,540	196,506	101,398	95,107	90,167	27,050	63,117	
中部	静岡市葵区	62,105	37,263	24,842	87,998	43,999	43,999	62,105	18,632	43,474
	静岡市駿河区	66,149	40,429	25,720	79,606	41,461	38,145	58,080	17,424	40,656
	静岡市清水区	130,825	80,851	49,974	133,441	74,333	59,108	111,374	33,412	77,962
	島田市	21,114	12,669	8,446	33,101	16,550	16,550	21,114	6,334	14,780
	焼津市	55,451	35,425	20,026	46,543	27,472	19,071	29,871	8,961	20,910
	藤枝市	23,455	14,073	9,382	41,952	20,976	20,976	23,455	7,036	16,418
	牧之原市	36,844	23,422	13,422	33,099	21,880	11,219	41,083	12,325	28,758
	吉田町	18,660	12,045	6,615	13,823	9,273	4,550	13,765	4,130	9,636
	川根本町	320	192	128	1,600	800	800	2,747	824	1,923
	(小計)	414,924	256,369	158,555	471,163	256,744	214,419	363,594	109,078	254,516
西部	浜松市中区	83,256	50,319	32,937	105,592	53,766	51,826	87,850	26,355	61,495
	浜松市東区	35,170	21,103	14,068	50,832	25,417	25,415	43,432	13,030	30,402
	浜松市西区	65,363	41,040	24,323	62,507	37,266	25,242	65,537	19,661	45,876
	浜松市南区	55,922	35,714	20,209	47,732	29,909	17,823	50,922	15,277	35,646
	浜松市北区	14,967	8,998	5,968	26,617	13,340	13,278	14,735	4,420	10,314
	浜松市浜北区	14,270	8,562	5,708	25,678	12,839	12,839	14,270	4,281	9,989
	浜松市天竜区	1,927	1,156	771	5,834	2,917	2,917	1,927	578	1,349
	磐田市	69,005	41,959	27,046	83,890	43,605	40,285	93,421	28,026	65,395
	掛川市	48,407	29,069	19,338	59,417	29,784	29,634	56,485	16,945	39,539
	袋井市	43,703	26,240	17,463	50,579	25,354	25,225	48,610	14,583	34,027
	湖西市	41,118	25,425	15,694	40,474	23,281	17,193	38,518	11,555	26,962
	御前崎市	17,368	10,582	6,786	19,786	10,445	9,340	23,261	6,978	16,282
	菊川市	24,823	14,894	9,929	29,336	14,670	14,666	32,277	9,683	22,594
森町	7,394	4,436	2,958	9,867	4,934	4,934	11,046	3,314	7,732	
(小計)	522,693	319,496	203,197	618,142	327,526	290,616	582,290	174,687	407,603	

\*四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表V-2.11 避難所収容力過不足数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名		過不足数(避難所収容可能人数-避難所避難者数)			
		避難所収容可能人数	1日後	1週間後	1ヶ月後
県計		846,833	183,243	144,086	529,083
賀茂	下田市	9,530	1,691	3,901	7,568
	東伊豆町	2,797	1,331	1,673	2,480
	河津町	3,385	1,813	2,032	2,403
	南伊豆町	4,750	1,789	2,654	4,043
	松崎町	1,812	▲ 1,693	▲ 963	616
	西伊豆町	4,106	▲ 720	4	2,334
	(小計)	26,380	4,209	9,301	19,445
東部	沼津市	56,426	24,419	31,723	50,446
	熱海市	13,070	12,321	11,755	12,871
	三島市	29,161	27,915	20,978	28,538
	富士宮市	29,500	21,654	17,244	25,577
	伊東市	16,936	15,106	12,611	16,429
	富士市	55,249	41,105	28,583	48,476
	御殿場市	6,108	4,182	2,113	5,145
	裾野市	19,293	18,550	16,963	18,921
	伊豆市	10,473	7,781	6,868	9,656
	伊豆の国市	15,914	15,181	11,075	12,317
	函南町	2,803	2,535	▲ 383	1,106
	清水町	8,062	7,596	5,448	6,914
	長泉町	9,276	8,674	7,093	8,975
	小山町	7,396	7,092	6,193	7,244
	(小計)	279,665	214,110	178,266	252,614
中部	静岡市葵区	55,805	18,542	11,806	37,173
	静岡市駿河区	32,623	▲ 7,805	▲ 8,838	15,199
	静岡市清水区	43,212	▲ 37,638	▲ 31,120	9,800
	島田市	26,441	13,773	9,891	20,107
	焼津市	30,145	▲ 5,280	2,673	21,184
	藤枝市	40,873	26,800	19,896	33,836
	牧之原市	14,716	▲ 8,706	▲ 7,164	2,391
	吉田町	4,516	▲ 7,529	▲ 4,757	387
	川根本町	2,257	2,065	1,456	1,433
	(小計)	250,588	▲ 5,780	▲ 6,155	141,510
西部	浜松市中区	36,227	▲ 14,092	▲ 17,539	9,872
	浜松市東区	17,456	▲ 3,647	▲ 7,961	4,426
	浜松市西区	25,075	▲ 15,965	▲ 12,191	5,413
	浜松市南区	14,640	▲ 21,074	▲ 15,269	▲ 637
	浜松市北区	26,433	17,434	13,093	22,012
	浜松市浜北区	15,847	7,285	3,008	11,566
	浜松市天竜区	19,853	18,697	16,936	19,275
	磐田市	40,874	▲ 1,085	▲ 2,731	12,848
	掛川市	33,441	4,372	3,657	16,496
	袋井市	27,153	913	1,798	12,570
	湖西市	19,106	▲ 6,319	▲ 4,176	7,550
	御前崎市	4,133	▲ 6,449	▲ 6,312	▲ 2,845
	菊川市	4,659	▲ 10,235	▲ 10,011	▲ 5,024
	森町	5,306	869	372	1,992
(小計)	290,200	▲ 29,296	▲ 37,326	115,513	

▲:不足数

\*避難所収容可能人数は、延床面積 (㎡) /6 (㎡/人)で換算したもの(平成25年4月1日現在)。

また、避難所の津波浸水状況を考慮していない。

\*四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表V-2.12 【参考】避難所収容力過不足数※  
 [※避難者のすべてを避難所収容の対象とした場合]  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名		過不足数(避難所収容可能人数-避難者数)			
		避難所収容可能人数	1日後	1週間後	1ヶ月後
県計		846,833	▲ 230,325	▲ 465,481	▲ 212,335
賀茂	下田市	9,530	▲ 2,683	491	2,989
	東伊豆町	2,797	502	708	1,741
	河津町	3,385	945	1,059	113
	南伊豆町	4,750	146	1,400	2,393
	松崎町	1,812	▲ 3,621	▲ 2,197	▲ 2,174
	西伊豆町	4,106	▲ 3,356	▲ 1,584	▲ 1,798
	(小計)	26,380	▲ 8,067	▲ 123	3,263
東部	沼津市	56,426	6,747	12,723	36,494
	熱海市	13,070	11,881	10,469	12,409
	三島市	29,161	27,084	12,795	27,084
	富士宮市	29,500	16,423	4,988	16,423
	伊東市	16,936	14,025	8,406	15,246
	富士市	55,249	31,784	2,081	32,672
	御殿場市	6,108	2,898	▲ 1,881	2,898
	裾野市	19,293	18,055	14,634	18,055
	伊豆市	10,473	6,176	3,541	7,749
	伊豆の国市	15,914	14,692	6,236	3,925
	函南町	2,803	2,356	▲ 3,569	▲ 2,855
	清水町	8,062	7,286	2,835	4,235
	長泉町	9,276	8,274	4,910	8,274
	小山町	7,396	6,890	4,990	6,890
(小計)	279,665	174,570	83,159	189,498	
中部	静岡市葵区	55,805	▲ 6,300	▲ 32,193	▲ 6,300
	静岡市駿河区	32,623	▲ 33,525	▲ 46,983	▲ 25,456
	静岡市清水区	43,212	▲ 87,613	▲ 90,229	▲ 68,161
	島田市	26,441	5,327	▲ 6,659	5,327
	焼津市	30,145	▲ 25,306	▲ 16,398	274
	藤枝市	40,873	17,418	▲ 1,080	17,418
	牧之原市	14,716	▲ 22,128	▲ 18,383	▲ 26,367
	吉田町	4,516	▲ 14,144	▲ 9,307	▲ 9,249
	川根本町	2,257	1,937	656	▲ 490
(小計)	250,588	▲ 164,336	▲ 220,575	▲ 113,006	
西部	浜松市中区	36,227	▲ 47,029	▲ 69,366	▲ 51,623
	浜松市東区	17,456	▲ 17,715	▲ 33,377	▲ 25,976
	浜松市西区	25,075	▲ 40,288	▲ 37,433	▲ 40,463
	浜松市南区	14,640	▲ 41,283	▲ 33,092	▲ 36,283
	浜松市北区	26,433	11,466	▲ 185	11,698
	浜松市浜北区	15,847	1,577	▲ 9,831	1,577
	浜松市天竜区	19,853	17,927	14,019	17,927
	磐田市	40,874	▲ 28,131	▲ 43,016	▲ 52,547
	掛川市	33,441	▲ 14,966	▲ 25,976	▲ 23,044
	袋井市	27,153	▲ 16,550	▲ 23,427	▲ 21,457
	湖西市	19,106	▲ 22,013	▲ 21,368	▲ 19,412
	御前崎市	4,133	▲ 13,235	▲ 15,653	▲ 19,128
	菊川市	4,659	▲ 20,164	▲ 24,677	▲ 27,618
	森町	5,306	▲ 2,089	▲ 4,562	▲ 5,741
(小計)	290,200	▲ 232,493	▲ 327,942	▲ 292,090	

▲:不足数

\*避難所収容可能人数は、延床面積 (㎡) /6 (㎡/人)で換算したもの (平成25年4月1日現在)。

また、避難所の津波浸水状況を考慮していない。

\*四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



表V-2.13 避難者数  
(大正型関東地震)

市町名	1日後			1週間後			1ヶ月後			
	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	
県計	56,964	34,848	22,116	96,147	48,387	47,760	47,457	14,237	33,220	
賀茂	下田市	1,409	924	485	272	141	131	241	72	168
	東伊豆町	175	112	63	111	56	55	70	21	49
	河津町	215	135	80	133	67	66	133	40	93
	南伊豆町	114	75	39	13	6	6	13	4	9
	松崎町	87	55	33	101	51	50	55	16	38
	西伊豆町	79	49	30	58	29	29	57	17	40
	(小計)	2,079	1,349	730	688	350	338	568	170	398
東部	沼津市	2,683	1,627	1,055	15,332	7,674	7,658	2,419	726	1,693
	熱海市	8,330	5,160	3,171	8,666	4,545	4,121	6,292	1,887	4,404
	三島市	3,885	2,331	1,554	9,816	4,908	4,908	3,885	1,166	2,720
	富士宮市	45	27	18	607	304	304	45	13	31
	伊東市	5,933	3,776	2,157	4,692	2,431	2,261	2,813	844	1,969
	富士市	279	168	111	4,563	2,282	2,281	268	81	188
	御殿場市	18,583	11,150	7,433	23,819	11,909	11,909	18,583	5,575	13,008
	裾野市	2,220	1,332	888	5,064	2,532	2,532	2,220	666	1,554
	伊豆市	459	276	183	681	341	340	445	133	311
	伊豆の国市	1,230	738	492	4,845	2,423	2,423	1,230	369	861
	函南町	955	573	382	4,062	2,031	2,031	955	286	668
	清水町	618	371	247	2,342	1,171	1,171	618	185	433
	長泉町	548	329	219	2,363	1,181	1,181	548	164	384
	小山町	5,845	3,507	2,338	7,733	3,866	3,866	5,845	1,754	4,092
(小計)	51,613	31,366	20,248	94,585	47,598	46,987	46,166	13,850	32,316	
中部	静岡市葵区	110	66	44	121	60	60	110	33	77
	静岡市駿河区	159	97	62	175	88	88	132	40	93
	静岡市清水区	2,569	1,692	877	402	202	199	316	95	221
	島田市	2	1	1	2	1	1	2	1	2
	焼津市	149	92	57	115	58	58	104	31	73
	藤枝市	4	2	1	4	2	2	4	1	3
	牧之原市	12	8	4	1	0	0	1	0	1
	吉田町	1	0	0	1	0	0	1	0	1
	川根本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(小計)	3,006	1,960	1,046	821	412	409	669	201	469
西部	浜松市中区	21	12	8	21	10	10	21	6	15
	浜松市東区	4	2	1	4	2	2	4	1	3
	浜松市西区	130	86	44	7	4	4	7	2	5
	浜松市南区	2	1	1	2	1	1	2	1	2
	浜松市北区	5	3	2	5	3	3	5	2	4
	浜松市浜北区	1	1	0	1	1	1	1	0	1
	浜松市天竜区	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	磐田市	3	2	1	3	1	1	3	1	2
	掛川市	3	2	1	3	2	2	3	1	2
	袋井市	1	1	1	1	1	1	1	0	1
	湖西市	84	56	28	5	2	2	5	1	3
	御前崎市	3	2	1	0	0	0	0	0	0
	菊川市	9	6	3	1	1	1	1	0	1
	森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(小計)	266	174	92	53	27	27	53	16	37	

\* 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 V-2.14 避難所収容力過不足数  
(大正型関東地震)

市町名		過不足数(避難所収容可能人数－避難所避難者数)			
		避難所収容可能人数	1日後	1週間後	1ヶ月後
県計		846,833	811,985	798,446	832,596
賀茂	下田市	9,530	8,606	9,389	9,458
	東伊豆町	2,797	2,685	2,742	2,776
	河津町	3,385	3,250	3,317	3,345
	南伊豆町	4,750	4,675	4,744	4,746
	松崎町	1,812	1,757	1,761	1,795
	西伊豆町	4,106	4,057	4,077	4,089
	(小計)	26,380	25,031	26,030	26,209
東部	沼津市	56,426	54,798	48,752	55,700
	熱海市	13,070	7,910	8,525	11,182
	三島市	29,161	26,829	24,252	27,995
	富士宮市	29,500	29,473	29,197	29,487
	伊東市	16,936	13,160	14,505	16,092
	富士市	55,249	55,080	52,967	55,168
	御殿場市	6,108	▲ 5,042	▲ 5,802	533
	裾野市	19,293	17,960	16,761	18,627
	伊豆市	10,473	10,196	10,132	10,339
	伊豆の国市	15,914	15,176	13,491	15,545
	函南町	2,803	2,230	772	2,517
	清水町	8,062	7,691	6,890	7,876
	長泉町	9,276	8,947	8,094	9,111
	小山町	7,396	3,889	3,530	5,642
	(小計)	279,665	248,299	232,066	265,815
中部	静岡市葵区	55,805	55,739	55,745	55,772
	静岡市駿河区	32,623	32,526	32,536	32,584
	静岡市清水区	43,212	41,520	43,010	43,118
	島田市	26,441	26,440	26,440	26,441
	焼津市	30,145	30,052	30,087	30,114
	藤枝市	40,873	40,870	40,871	40,871
	牧之原市	14,716	14,708	14,716	14,716
	吉田町	4,516	4,516	4,516	4,516
	川根本町	2,257	2,257	2,257	2,257
	(小計)	250,588	248,629	250,176	250,387
西部	浜松市中区	36,227	36,214	36,216	36,221
	浜松市東区	17,456	17,453	17,454	17,455
	浜松市西区	25,075	24,988	25,071	25,072
	浜松市南区	14,640	14,638	14,638	14,639
	浜松市北区	26,433	26,429	26,430	26,431
	浜松市浜北区	15,847	15,846	15,846	15,846
	浜松市天竜区	19,853	19,853	19,853	19,853
	磐田市	40,874	40,872	40,873	40,873
	掛川市	33,441	33,439	33,439	33,440
	袋井市	27,153	27,152	27,152	27,152
	湖西市	19,106	19,050	19,103	19,104
	御前崎市	4,133	4,131	4,133	4,133
	菊川市	4,659	4,653	4,659	4,659
	森町	5,306	5,306	5,306	5,306
(小計)	290,200	290,027	290,174	290,184	

▲: 不足数

\* 避難所収容可能人数は、延床面積 (㎡) /6 (㎡/人)で換算したもの (平成 25 年 4 月 1 日現在)。

また、避難所の津波浸水状況を考慮していない。

\* 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表V-2.15 【参考】避難所収容力過不足数※  
 [※避難者のすべてを避難所収容の対象とした場合]  
 (大正型関東地震)

市町名		過不足数(避難所収容可能人数－避難者数)			
		避難所収容可能人数	1日後	1週間後	1ヶ月後
県計		846,833	789,869	750,686	799,376
賀茂	下田市	9,530	8,121	9,259	9,290
	東伊豆町	2,797	2,623	2,687	2,727
	河津町	3,385	3,170	3,251	3,251
	南伊豆町	4,750	4,636	4,737	4,737
	松崎町	1,812	1,724	1,710	1,757
	西伊豆町	4,106	4,026	4,048	4,048
	(小計)	26,380	24,301	25,692	25,812
東部	沼津市	56,426	53,743	41,094	54,007
	熱海市	13,070	4,739	4,404	6,778
	三島市	29,161	25,275	19,344	25,275
	富士宮市	29,500	29,455	28,893	29,455
	伊東市	16,936	11,003	12,244	14,123
	富士市	55,249	54,969	50,686	54,980
	御殿場市	6,108	▲ 12,475	▲ 17,711	▲ 12,475
	裾野市	19,293	17,072	14,229	17,072
	伊豆市	10,473	10,014	9,791	10,028
	伊豆の国市	15,914	14,684	11,069	14,684
	函南町	2,803	1,848	▲ 1,259	1,848
	清水町	8,062	7,443	5,719	7,443
	長泉町	9,276	8,728	6,913	8,728
	小山町	7,396	1,551	▲ 337	1,551
(小計)	279,665	228,051	185,080	233,499	
中部	静岡市葵区	55,805	55,695	55,684	55,695
	静岡市駿河区	32,623	32,464	32,448	32,491
	静岡市清水区	43,212	40,643	42,811	42,897
	島田市	26,441	26,439	26,439	26,439
	焼津市	30,145	29,996	30,029	30,041
	藤枝市	40,873	40,869	40,869	40,869
	牧之原市	14,716	14,704	14,715	14,715
	吉田町	4,516	4,516	4,516	4,516
	川根本町	2,257	2,257	2,257	2,257
	(小計)	250,588	247,582	249,768	249,919
西部	浜松市中区	36,227	36,206	36,206	36,206
	浜松市東区	17,456	17,452	17,452	17,452
	浜松市西区	25,075	24,945	25,067	25,067
	浜松市南区	14,640	14,637	14,637	14,637
	浜松市北区	26,433	26,427	26,427	26,427
	浜松市浜北区	15,847	15,846	15,846	15,846
	浜松市天竜区	19,853	19,853	19,853	19,853
	磐田市	40,874	40,871	40,871	40,871
	掛川市	33,441	33,438	33,438	33,438
	袋井市	27,153	27,151	27,151	27,151
	湖西市	19,106	19,022	19,101	19,101
	御前崎市	4,133	4,130	4,133	4,133
	菊川市	4,659	4,650	4,658	4,658
	森町	5,306	5,306	5,306	5,306
(小計)	290,200	289,934	290,147	290,147	

▲:不足数

\*避難所収容可能人数は、延床面積 (㎡) /6 (㎡/人)で換算したもの (平成25年4月1日現在)。

また、避難所の津波浸水状況を考慮していない。

\*四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表V-2.16 避難者数  
(元禄型関東地震)

市町名	1日後			1週間後			1ヶ月後			
	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	
県計	111,648	69,015	42,633	150,590	76,234	74,356	82,913	24,874	58,039	
賀茂	下田市	4,367	2,864	1,503	871	486	384	831	249	581
	東伊豆町	463	297	166	290	147	143	183	55	128
	河津町	776	502	274	247	130	117	247	74	173
	南伊豆町	1,643	1,076	568	347	193	154	347	104	243
	松崎町	329	214	115	106	55	52	80	24	56
	西伊豆町	370	240	130	112	57	55	109	33	76
	(小計)	7,948	5,192	2,756	1,973	1,069	904	1,797	539	1,258
東部	沼津市	7,843	4,874	2,969	24,026	12,133	11,893	5,391	1,617	3,773
	熱海市	12,232	7,552	4,680	12,163	6,473	5,690	9,834	2,950	6,883
	三島市	9,792	5,875	3,917	16,521	8,260	8,260	9,792	2,938	6,854
	富士宮市	72	43	29	1,510	755	755	72	22	51
	伊東市	12,357	7,730	4,627	11,315	5,957	5,358	8,167	2,450	5,717
	富士市	489	293	195	8,684	4,342	4,342	485	145	339
	御殿場市	24,517	14,710	9,807	29,900	14,950	14,950	24,517	7,355	17,162
	裾野市	5,328	3,197	2,131	8,840	4,420	4,420	5,328	1,598	3,729
	伊豆市	825	501	324	1,335	669	666	739	222	518
	伊豆の国市	1,819	1,091	728	6,502	3,251	3,251	1,819	546	1,273
	函南町	1,332	799	533	4,480	2,240	2,240	1,332	400	932
	清水町	1,305	783	522	3,367	1,683	1,683	1,305	392	914
	長泉町	2,172	1,303	869	4,707	2,354	2,354	2,172	652	1,521
	小山町	7,857	4,714	3,143	9,601	4,800	4,800	7,857	2,357	5,500
(小計)	87,939	53,466	34,474	142,950	72,288	70,663	78,809	23,643	55,167	
中部	静岡市葵区	452	271	181	1,387	694	694	452	136	316
	静岡市駿河区	501	315	186	1,284	643	642	284	85	199
	静岡市清水区	12,038	7,950	4,088	2,382	1,233	1,149	1,181	354	826
	島田市	3	2	1	3	2	2	3	1	2
	焼津市	1,252	823	429	401	202	199	180	54	126
	藤枝市	12	7	5	15	8	8	12	4	9
	牧之原市	889	586	303	105	53	52	105	32	74
	吉田町	65	43	22	7	3	3	7	2	5
	川根本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(小計)	15,212	9,997	5,215	5,584	2,836	2,748	2,225	667	1,557
西部	浜松市中区	33	21	13	25	13	13	25	8	18
	浜松市東区	5	3	2	5	2	2	5	1	3
	浜松市西区	169	112	57	10	5	5	10	3	7
	浜松市南区	8	5	3	4	2	2	4	1	3
	浜松市北区	85	56	29	6	3	3	6	2	4
	浜松市浜北区	1	1	0	1	1	1	1	0	1
	浜松市天竜区	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	磐田市	90	59	30	9	5	5	9	3	7
	掛川市	5	3	2	3	1	1	3	1	2
	袋井市	2	1	1	3	1	1	2	1	1
	湖西市	114	75	38	8	4	4	8	2	5
	御前崎市	32	21	11	4	2	2	4	1	3
	菊川市	6	3	2	6	3	3	6	2	4
	森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(小計)	549	360	188	83	41	41	82	25	58	

\*四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 V-2.17 避難所収容力過不足数  
(元禄型関東地震)

市町名		過不足数(避難所収容可能人数－避難所避難者数)			
		避難所収容可能人数	1日後	1週間後	1ヶ月後
県計		846,833	777,818	770,598	821,959
賀茂	下田市	9,530	6,667	9,044	9,281
	東伊豆町	2,797	2,500	2,650	2,742
	河津町	3,385	2,883	3,254	3,311
	南伊豆町	4,750	3,674	4,557	4,646
	松崎町	1,812	1,598	1,757	1,788
	西伊豆町	4,106	3,866	4,049	4,073
	(小計)	26,380	21,188	25,311	25,841
東部	沼津市	56,426	51,552	44,293	54,809
	熱海市	13,070	5,518	6,596	10,120
	三島市	29,161	23,285	20,900	26,223
	富士宮市	29,500	29,457	28,745	29,479
	伊東市	16,936	9,207	10,979	14,486
	富士市	55,249	54,955	50,907	55,103
	御殿場市	6,108	▲ 8,602	▲ 8,842	▲ 1,247
	裾野市	19,293	16,096	14,873	17,694
	伊豆市	10,473	9,972	9,804	10,251
	伊豆の国市	15,914	14,823	12,663	15,368
	函南町	2,803	2,004	563	2,403
	清水町	8,062	7,279	6,378	7,670
	長泉町	9,276	7,972	6,922	8,624
	小山町	7,396	2,682	2,596	5,039
	(小計)	279,665	226,199	207,377	256,022
中部	静岡市葵区	55,805	55,534	55,111	55,669
	静岡市駿河区	32,623	32,308	31,981	32,538
	静岡市清水区	43,212	35,263	41,980	42,858
	島田市	26,441	26,440	26,440	26,441
	焼津市	30,145	29,322	29,943	30,091
	藤枝市	40,873	40,865	40,865	40,869
	牧之原市	14,716	14,130	14,663	14,684
	吉田町	4,516	4,474	4,513	4,514
	川根本町	2,257	2,257	2,257	2,257
	(小計)	250,588	240,592	247,752	249,921
西部	浜松市中区	36,227	36,206	36,214	36,219
	浜松市東区	17,456	17,453	17,453	17,454
	浜松市西区	25,075	24,963	25,069	25,071
	浜松市南区	14,640	14,635	14,638	14,639
	浜松市北区	26,433	26,376	26,430	26,431
	浜松市浜北区	15,847	15,846	15,846	15,846
	浜松市天竜区	19,853	19,853	19,853	19,853
	磐田市	40,874	40,815	40,869	40,871
	掛川市	33,441	33,438	33,440	33,440
	袋井市	27,153	27,151	27,151	27,152
	湖西市	19,106	19,030	19,102	19,103
	御前崎市	4,133	4,112	4,131	4,132
	菊川市	4,659	4,656	4,657	4,658
	森町	5,306	5,306	5,306	5,306
(小計)	290,200	289,840	290,159	290,176	

▲: 不足数

\* 避難所収容可能人数は、延床面積 (㎡) /6 (㎡/人)で換算したもの (平成 25 年 4 月 1 日現在)。  
また、避難所の津波浸水状況を考慮していない。  
\* 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表V-2.18 【参考】避難所収容力過不足数※  
 [※避難者のすべてを避難所収容の対象とした場合]  
 (元禄型関東地震)

市町名		過不足数(避難所収容可能人数-避難者数)			
		避難所収容可能人数	1日後	1週間後	1ヶ月後
県計		846,833	735,185	696,243	763,919
賀茂	下田市	9,530	5,164	8,660	8,700
	東伊豆町	2,797	2,334	2,507	2,614
	河津町	3,385	2,609	3,138	3,138
	南伊豆町	4,750	3,107	4,403	4,403
	松崎町	1,812	1,483	1,705	1,732
	西伊豆町	4,106	3,736	3,994	3,997
	(小計)	26,380	18,432	24,407	24,583
東部	沼津市	56,426	48,583	32,400	51,035
	熱海市	13,070	838	907	3,236
	三島市	29,161	19,369	12,640	19,369
	富士宮市	29,500	29,428	27,990	29,428
	伊東市	16,936	4,579	5,622	8,769
	富士市	55,249	54,760	46,565	54,764
	御殿場市	6,108	▲ 18,409	▲ 23,793	▲ 18,409
	裾野市	19,293	13,965	10,452	13,965
	伊豆市	10,473	9,648	9,138	9,733
	伊豆の国市	15,914	14,095	9,412	14,095
	函南町	2,803	1,471	▲ 1,677	1,471
	清水町	8,062	6,756	4,695	6,756
	長泉町	9,276	7,103	4,568	7,103
	小山町	7,396	▲ 461	▲ 2,205	▲ 461
(小計)	279,665	191,725	136,714	200,855	
中部	静岡市葵区	55,805	55,353	54,418	55,353
	静岡市駿河区	32,623	32,123	31,339	32,339
	静岡市清水区	43,212	31,175	40,831	42,032
	島田市	26,441	26,438	26,438	26,438
	焼津市	30,145	28,892	29,744	29,964
	藤枝市	40,873	40,860	40,857	40,860
	牧之原市	14,716	13,827	14,611	14,611
	吉田町	4,516	4,452	4,510	4,510
	川根本町	2,257	2,257	2,257	2,257
	(小計)	250,588	235,376	245,004	248,364
西部	浜松市中区	36,227	36,193	36,201	36,201
	浜松市東区	17,456	17,451	17,451	17,451
	浜松市西区	25,075	24,906	25,064	25,064
	浜松市南区	14,640	14,632	14,636	14,636
	浜松市北区	26,433	26,348	26,427	26,427
	浜松市浜北区	15,847	15,846	15,846	15,846
	浜松市天竜区	19,853	19,853	19,853	19,853
	磐田市	40,874	40,784	40,865	40,865
	掛川市	33,441	33,436	33,438	33,438
	袋井市	27,153	27,150	27,150	27,150
	湖西市	19,106	18,992	19,098	19,098
	御前崎市	4,133	4,101	4,129	4,129
	菊川市	4,659	4,654	4,654	4,654
	森町	5,306	5,306	5,306	5,306
(小計)	290,200	289,652	290,117	290,118	

▲:不足数

\*避難所収容可能人数は、延床面積 (㎡) /6 (㎡/人)で換算したもの (平成25年4月1日現在)。

また、避難所の津波浸水状況を考慮していない。

\*四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表V-2.19 1日当たりの観光・出張客数

市町名	観光目的					ビジネス目的					合計	
	県内		県外		小計	県内		県外		小計		
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り			
県計	6,678	39,951	26,033	77,317	149,978	3,128	128	10,587	7,137	20,981	170,959	
賀茂	下田市	142	849	553	1,643	3,187	66	3	225	152	446	3,633
	東伊豆町	80	478	312	925	1,795	37	2	127	85	251	2,046
	河津町	80	477	311	923	1,790	37	2	126	85	250	2,040
	南伊豆町	38	227	148	440	854	18	1	60	41	119	973
	松崎町	17	102	66	197	383	8	0	27	18	54	436
	西伊豆町	38	226	147	438	850	18	1	60	40	119	969
	(小計)	394	2,360	1,538	4,567	8,859	185	8	625	422	1,239	10,098
	東部	沼津市	157	942	614	1,823	3,536	74	3	250	168	495
熱海市		265	1,587	1,034	3,072	5,959	124	5	421	284	834	6,792
三島市		216	1,290	841	2,497	4,844	101	4	342	230	678	5,521
富士宮市		270	1,613	1,051	3,121	6,054	126	5	427	288	847	6,901
伊東市		523	3,127	2,038	6,052	11,740	245	10	829	559	1,642	13,382
富士市		285	1,707	1,112	3,303	6,407	134	5	452	305	896	7,303
御殿場市		625	3,737	2,435	7,232	14,028	293	12	990	668	1,962	15,990
裾野市		111	662	431	1,281	2,485	52	2	175	118	348	2,833
伊豆市		157	938	611	1,815	3,521	73	3	249	168	493	4,013
伊豆の国市		109	651	424	1,260	2,444	51	2	173	116	342	2,786
函南町		38	226	147	437	848	18	1	60	40	119	967
清水町		24	145	95	281	546	11	0	39	26	76	622
長泉町		17	101	66	196	379	8	0	27	18	53	432
小山町		207	1,241	809	2,402	4,660	97	4	329	222	652	5,312
(小計)	3,003	17,967	11,708	34,772	67,450	1,407	58	4,761	3,210	9,436	76,885	
中部	静岡市	1,212	7,252	4,726	14,036	27,226	568	23	1,922	1,296	3,809	31,035
	島田市	119	710	463	1,374	2,665	56	2	188	127	373	3,038
	焼津市	205	1,229	801	2,379	4,614	96	4	326	220	645	5,259
	藤枝市	108	648	422	1,254	2,433	51	2	172	116	340	2,773
	牧之原市	49	293	191	567	1,099	23	1	78	52	154	1,253
	吉田町	15	87	57	169	328	7	0	23	16	46	373
	川根本町	15	92	60	178	345	7	0	24	16	48	394
	(小計)	1,724	10,311	6,719	19,956	38,710	807	33	2,733	1,842	5,415	44,125
西部	浜松市	805	4,816	3,138	9,319	18,078	377	15	1,276	860	2,529	20,607
	磐田市	163	976	636	1,888	3,662	76	3	259	174	512	4,175
	掛川市	167	1,000	652	1,936	3,754	78	3	265	179	525	4,280
	袋井市	220	1,315	857	2,546	4,938	103	4	349	235	691	5,629
	湖西市	30	181	118	350	678	14	1	48	32	95	773
	御前崎市	94	563	367	1,090	2,115	44	2	149	101	296	2,411
	菊川市	16	94	61	182	353	7	0	25	17	49	402
	森町	62	368	240	712	1,381	29	1	98	66	193	1,575
(小計)	1,557	9,313	6,068	18,023	34,960	729	30	2,468	1,664	4,891	39,851	

※目的別、県内/県外別、宿泊/日帰り別の観光入込客数（県計、平成24年の年間）を366日で除して1日当たりとし、市町別観光交流客数（平成24年度）に応じて市町別に配分して推定したもの。その際の観光入込客数は、観光目的日本人、ビジネス目的日本人、訪日外国人の合算値とし、訪日外国人は県外扱いとしている。

※上表の日帰りビジネス客はビジネス兼観光目的であることから、実際上はより多くの日帰りビジネス客がいることに留意する必要がある。また、年間値を単純に1日平均に換算したものであり、ピーク時には上表よりも多くの観光客がいることに留意する必要がある。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## VI 帰宅困難者の想定

### VI-1. 帰宅困難者に係る想定手法

静岡県においても公共交通機関の停止、緊急交通路の指定による一般車両通行止等に伴う大渋滞の発生等により、遠距離通勤者、観光客、出張者等を中心として帰宅困難者が発生する可能性が高い。ここでは、東日本大震災等における帰宅困難の状況等を参考に、定性的な被害シナリオを作成する。

### VI-2. 帰宅困難者に係る想定結果

・ 定性シナリオ

項目	具体的な被害様相
多数の帰宅困難者の発生（観光客・出張者、自動車通勤者を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平日の昼間に大規模な地震が発生した場合、電車等の公共交通機関が広域的に停止し、通勤者、買い物客、観光客、出張者等を中心に公共交通機関が利用できなくなる。また、自家用車を利用して移動している人々も、緊急交通路の指定による一般車両通行止や建物倒壊・大規模火災等による道路閉塞、停電による信号停止等により、被害の大きい地域を中心に自家用車による移動が困難となる。このため、地震発生当日に帰宅することが困難となる者（帰宅困難者）が多数発生する。</li> <li>・ 停電が発生した場合、夜間は真っ暗な状況となり、信号が作動せず特に交差点等で人と車両の大混雑が発生する。</li> <li>・ 車道を歩いて帰る人も多く、車道は自動車で大渋滞する。</li> </ul>
徒歩帰宅の困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 路上は建物損壊・落下物発生・延焼火災・道路被害等により危険な状況となる。</li> <li>・ 断水等のためトイレが使えなくなるなどの事態が発生する。</li> <li>・ 建物被害・ライフライン被害により、休憩場所・トイレとして利用できる施設が不足する。</li> </ul>
自動車による移動困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車通勤者や自家用車による買い物客等を中心に、自動車による帰宅を試みられるが、建物倒壊・大規模火災等による道路閉塞や停電による信号停止等により大規模渋滞に巻き込まれる。</li> <li>・ 普段は公共交通機関を利用している通勤者もタクシー等を利用しようとする事により、交通渋滞が助長される。</li> </ul>
通信途絶等による安否確認困難等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固定電話は回線の途絶や輻輳により広域で通信困難な状況が発生する。</li> <li>・ 携帯電話は基地局の被災やバッテリー切れ等により通信できない状況となり、携帯電話のメールなども機能しづらくなる。</li> <li>・ 災害用伝言ダイヤル 171 は容量に限界があるため、不必要な登録件数が増加すると、機能しなくなる。</li> <li>・ 家族の安否確認ができないため、家族や自宅等の状況が心配となり、帰宅を急ぐ人が多く発生する。</li> </ul>
避難所における混乱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町の指定避難所には地域住民が避難するため、現実的には帰宅困難者の受け入れが困難となる。</li> <li>・ 帰宅困難者は滞在・休憩場所を探すことが困難となる。</li> <li>・ 避難所において、避難者と帰宅困難者の区別がつけられず混乱する。</li> </ul>



表 VI-2.1 一日平均乗車人員

市町名		駅名	一日平均乗車人員 (人)
賀茂	下田市	伊豆急下田	1,673
	東伊豆町	伊豆稲取	909
	河津町	河津	905
東部	沼津市	沼津	21,517
	熱海市	熱海	13,618
	三島市	三島	37,932
	富士宮市	富士宮	2,252
	伊東市	伊東	13,430
	富士市	富士及び新富士	12,809
	御殿場市	御殿場	4,691
	裾野市	裾野	2,676
	伊豆市	修善寺	2,596
	伊豆の国市	伊豆長岡	2,418
	函南町	函南	2,026
	長泉町	下土狩	1,237
	小山町	駿河小山	608
中部	静岡市	静岡	58,386
	島田市	島田	5,819
	焼津市	焼津	10,205
	藤枝市	藤枝	11,470
	川根本町	千頭	360
西部	浜松市	浜松	34,934
	磐田市	磐田	7,692
	掛川市	掛川	11,915
	袋井市	袋井	5,274
	湖西市	鷺津	3,146
	菊川市	菊川	4,254

※「平成 23 年度静岡県統計年鑑」の平成 22 年度のデータを基に作成した。複数の線区の乗り入れがある駅はそれぞれの合算値とした。

※上記にデータがない伊豆箱根鉄道・駿豆線については、同社のホームページに掲載されている平成 24 年度一日当たりの乗降人員の 1/2 を乗車人員とした。

表 VI-2.2 高速道路の一日平均交通量

区分	平均交通量 (千台/日)		
	東名	新東名	計
全日	43.6	39.6	83.2
平日	43.6	37.5	81.1
休日	43.5	44.0	87.5

※「新東名(静岡県)インパクト調整会議」が発表した「新東名高速道路(御殿場 JCT~三ヶ日 JCT) 開通から 1 年 ~開通 1 年間の高速道路の交通状況と整備効果～」を基に作成

表VI-2.3 1日当たりの観光・出張客数(再掲)

市町名	観光目的					ビジネス目的					合計	
	県内		県外		小計	県内		県外		小計		
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り			
県計	6,678	39,951	26,033	77,317	149,978	3,128	128	10,587	7,137	20,981	170,959	
賀茂	下田市	142	849	553	1,643	3,187	66	3	225	152	446	3,633
	東伊豆町	80	478	312	925	1,795	37	2	127	85	251	2,046
	河津町	80	477	311	923	1,790	37	2	126	85	250	2,040
	南伊豆町	38	227	148	440	854	18	1	60	41	119	973
	松崎町	17	102	66	197	383	8	0	27	18	54	436
	西伊豆町	38	226	147	438	850	18	1	60	40	119	969
	(小計)	394	2,360	1,538	4,567	8,859	185	8	625	422	1,239	10,098
東部	沼津市	157	942	614	1,823	3,536	74	3	250	168	495	4,030
	熱海市	265	1,587	1,034	3,072	5,959	124	5	421	284	834	6,792
	三島市	216	1,290	841	2,497	4,844	101	4	342	230	678	5,521
	富士宮市	270	1,613	1,051	3,121	6,054	126	5	427	288	847	6,901
	伊東市	523	3,127	2,038	6,052	11,740	245	10	829	559	1,642	13,382
	富士市	285	1,707	1,112	3,303	6,407	134	5	452	305	896	7,303
	御殿場市	625	3,737	2,435	7,232	14,028	293	12	990	668	1,962	15,990
	裾野市	111	662	431	1,281	2,485	52	2	175	118	348	2,833
	伊豆市	157	938	611	1,815	3,521	73	3	249	168	493	4,013
	伊豆の国市	109	651	424	1,260	2,444	51	2	173	116	342	2,786
	函南町	38	226	147	437	848	18	1	60	40	119	967
	清水町	24	145	95	281	546	11	0	39	26	76	622
	長泉町	17	101	66	196	379	8	0	27	18	53	432
	小山町	207	1,241	809	2,402	4,660	97	4	329	222	652	5,312
(小計)	3,003	17,967	11,708	34,772	67,450	1,407	58	4,761	3,210	9,436	76,885	
中部	静岡市	1,212	7,252	4,726	14,036	27,226	568	23	1,922	1,296	3,809	31,035
	島田市	119	710	463	1,374	2,665	56	2	188	127	373	3,038
	焼津市	205	1,229	801	2,379	4,614	96	4	326	220	645	5,259
	藤枝市	108	648	422	1,254	2,433	51	2	172	116	340	2,773
	牧之原市	49	293	191	567	1,099	23	1	78	52	154	1,253
	吉田町	15	87	57	169	328	7	0	23	16	46	373
	川根本町	15	92	60	178	345	7	0	24	16	48	394
	(小計)	1,724	10,311	6,719	19,956	38,710	807	33	2,733	1,842	5,415	44,125
西部	浜松市	805	4,816	3,138	9,319	18,078	377	15	1,276	860	2,529	20,607
	磐田市	163	976	636	1,888	3,662	76	3	259	174	512	4,175
	掛川市	167	1,000	652	1,936	3,754	78	3	265	179	525	4,280
	袋井市	220	1,315	857	2,546	4,938	103	4	349	235	691	5,629
	湖西市	30	181	118	350	678	14	1	48	32	95	773
	御前崎市	94	563	367	1,090	2,115	44	2	149	101	296	2,411
	菊川市	16	94	61	182	353	7	0	25	17	49	402
	森町	62	368	240	712	1,381	29	1	98	66	193	1,575
(小計)	1,557	9,313	6,068	18,023	34,960	729	30	2,468	1,664	4,891	39,851	

※目的別、県内/県外別、宿泊/日帰り別の観光入込客数(県計、平成24年の年間)を366日で除して1日当たりとし、市町別観光交流客数(平成24年度)に応じて市町別に配分して推定したもの。その際の観光入込客数は、観光目的日本人、ビジネス目的日本人、訪日外国人の合算値とし、訪日外国人は県外扱いとしている。

※上表の日帰りビジネス客はビジネス兼観光目的であることから、実際上はより多くの日帰りビジネス客がいることに留意する必要がある。また、年間値を単純に1日平均に換算したものであり、ピーク時には上表よりも多くの観光客がいることに留意する必要がある。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## VII 物資不足、備蓄対応力の想定

### VII-1. 物資不足、備蓄対応力に係る想定手法

主要備蓄量（飲料水については給水可能量）と需要量との差から、それぞれの不足量を算出する。

#### (1) 基本的考え方

##### (対象期間)

中央防災会議（2013b）では、「被災地域では、発災直後は特に行政からの支援の手が行き届かないことから、まず地域で自活するという備えが必要であり、食料や飲料水、乾電池、携帯電話の電池充電器、カセットコンロ、簡易トイレ等の家庭備蓄を1週間分以上確保するなどの細かい具体的な対応を推進する必要がある。」とされているところであるが、ここでは市町や地域住民による備えを促進する観点から、「県全体における物資不足量」を想定する。想定する期間としては、阪神・淡路大震災や東日本大震災の例から、避難所避難者数がピークとなる発災後1週間までとする。

##### (対象物資品目)

発災直後から1週間の避難生活において、特に重要と思われる品目であり、かつ、現時点で供給側の現状が把握できている①飲料水、②食料、③毛布を本被害想定における算出対象とする。

##### (算出の考え方)

県内の物資不足量を次の基本式に従い算出する。

$$\begin{aligned} & \text{「県内の物資不足量」} \\ = & \text{「需要量」} - \text{「供給量」} \left( \text{「被災地域内の市町の供給量」} + \text{「被災地域内外の市町からの応援量」} \right) \end{aligned}$$

#### (2) 物資不足量の算出方法

##### 1) 被災地域における需要量

###### ①飲料水等

必要給水量 =  $\Sigma$  (時系列の断水人口  $\times$  3 日 (4 日目以降は 20%)  $\times$  (1 - 家庭備蓄率))

注 1) 断水人口は自宅が断水している常住人口を基本とするが、発災後 3 日間は観光・出張客を考慮した場合も検討する。

注 2) 1 人あたり飲料水必要量は、発災後 3 日間は飲料水のみを考慮して 1 日あたり 3 リットル、4 日目以降は生活用水を含めて 1 日 20 リットルを原単位とする。

注 3) 飲料水の備蓄率は、静岡県 (2011) の県民意識調査結果をもとに時系列に推定したものを用いる。なお、断水地域の家を失った避難所避難者については、飲料水の備蓄は考慮しない (備蓄率 = 0 とする)。

###### ②食料

必要食料数 =  $\Sigma$  (時系列の避難所避難者数  $\times$  3 食  $\times$  1.2  $\times$  (1 - 家庭備蓄率))

注 1) 食料需要者は、地域に居住している避難所避難者を基本的な対象とするが、発災後 3 日間は観光・出張客を考慮した場合も検討する。

注 2) 1 日 1 人あたり食料必要量は 3 食とする。

注 3) 避難所生活者以外にも食料需要はあると考え、阪神・淡路大震災の実績より避難所避難者数の 1.2 倍を食料需要者数と考える。

注 4) 食料の備蓄率は、静岡県 (2011) の県民意識調査結果をもとに時系列に推定したものを用いる。

###### ③毛布

必要毛布数 = 避難所避難者数  $\times$  2 枚

注 1) 生活物資需要者は、地域に居住している避難所避難者を基本的な対象とするが、発災後 3 日間は観光・出張客を考慮した場合も検討する。

注 2) 1 人あたり必要毛布数は 2 枚とする。

注 3) 家を失っていない (= 自宅建物が全半壊被害を受けていない) 避難所避難者は、自宅から持ち出せるものとして対象から除外する。

## 2) 被災地域における供給量

### ①基本的な考え方

供給量の算出の基本的な考え方を以下に示す。

#### a) 被災地域内の市町の供給量

食料・毛布については、被災地域内の市町の自己所有備蓄量をもとにする。また、飲料水については、給水車・給水タンクによる輸送量、飲料水兼用耐震性貯水槽の貯水量及びペットボトル等飲料水備蓄量をもとにする。

#### b) 被災地域内外の市町からの応援量

被災地域内外の市町からの応援量を設定する。被災地域内の市町では余剰備蓄量の 50% を、自市町の備蓄を供給した結果、不足が出た市町に対して不足量に比例させて配分する。

なお、第3次地震被害想定（静岡県、2001）においては協定業者からの「調達備蓄量」も考慮していたが、協定による確保量は流動的であり正確に把握しにくいことから、供給量としては市町による自己所有備蓄のみを考慮することとする。

### ②現況備蓄量等

#### a) 飲料水

給水車・給水タンクによる1日あたりの避難所と浄水場の往復回数は、発災直後から3日目までは、阪神・淡路大震災の事例のうち小さい値である1日3回とし、4日目以降は阪神・淡路大震災の事例の平均値である1日5回とする。この場合、給水車・給水タンクによる供給量は次式で与えられる。

$$\text{供給量 (3日間)} = (\text{給水車の総容量} + \text{給水タンクの総容量}) \times 3 \text{ 回/日} \times 3 \text{ 日}$$

$$\text{供給量 (1週間)} = (\text{給水車の総容量} + \text{給水タンクの総容量}) \times (3 \text{ 回/日} \times 3 \text{ 日} + 5 \text{ 回/日} \times 4 \text{ 日})$$

また、飲料水兼用耐震性貯水槽及びペットボトル等飲料水備蓄量も供給量として考える。なお、給水車・給水タンク及び飲料水兼用耐震性貯水槽の容量は平成21年現在の調査結果を用いる。ペットボトル等飲料水備蓄量は「平成24年度消防防災・震災対策現況調査」（平成24年4月1日現在）による。

#### b) 食料、毛布

「平成24年度消防防災・震災対策現況調査」（平成24年4月1日現在）における備蓄を対象とする。食料は主食（乾パン、インスタント麺類、米[アルファ米含む]、主食缶詰）であり、副食等は含まない。また、米については200gで1食と換算する。

## 3) 被災県内の物資不足量

### ①飲料水等

給水不足量

$$= \Sigma (\text{各市町の給水不足量})$$

$$= \Sigma (\text{各市町の需要量} - (\text{各市町の給水車・給水タンクによる供給量} + \text{飲料水兼用耐震性貯水槽による供給量} + \text{各市町のペットボトル等飲料水備蓄量}))$$

注1) 上記計算においては、不足量のみを積算する。

注2) 市町ごとに不足量（需要量－供給量）を算出した結果、飲料水が不足する市町に対しては、各市町の余剰備蓄量の50%及び県の飲料水備蓄量を、不足量に比例させて配分し、再度市町ごとに不足量を算出する。

### ②食料、毛布

食料（毛布）不足量

$$= \Sigma (\text{各市町の物資不足量})$$

$$= \Sigma (\text{各市町の需要量} - \text{各市町の供給量})$$

注1) 上記計算においては、不足量のみを積算する。

注2) 市町ごとに不足量（需要量－供給量）を算出した結果、物資が不足する市町に対しては、各市町の余剰備蓄量の50%及び県の物資備蓄量を、不足量に比例させて配分し、再度市町ごとに不足量を算出する。

【食料・飲料水の家庭内備蓄率の推定】

・静岡県（2011）の県民意識調査結果のデータを採用するが、飲料水の6日間、7日間の備蓄率が不明であるため、この部分は全国平均備蓄率の日変化を参考に推計する。

日数	1日間	2日間	3日間	4日間	5日間	6日間	7日間
飲料水備蓄率	82.4%	62.8%	37.2%	15.0%	10.9%	7.3%	7.1%
食料備蓄率	77.7%	64.3%	39.6%	9.4%	8.3%	5.4%	4.2%

表 VII-1.1 1日当たりの観光・出張客数（再掲）

市町名	観光目的					ビジネス目的					合計	
	県内		県外		小計	県内		県外		小計		
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り			
県計	6,678	39,951	26,033	77,317	149,978	3,128	128	10,587	7,137	20,981	170,959	
賀茂	下田市	142	849	553	1,643	3,187	66	3	225	152	446	3,633
	東伊豆町	80	478	312	925	1,795	37	2	127	85	251	2,046
	河津町	80	477	311	923	1,790	37	2	126	85	250	2,040
	南伊豆町	38	227	148	440	854	18	1	60	41	119	973
	松崎町	17	102	66	197	383	8	0	27	18	54	436
	西伊豆町	38	226	147	438	850	18	1	60	40	119	969
	(小計)	394	2,360	1,538	4,567	8,859	185	8	625	422	1,239	10,098
東部	沼津市	157	942	614	1,823	3,536	74	3	250	168	495	4,030
	熱海市	265	1,587	1,034	3,072	5,959	124	5	421	284	834	6,792
	三島市	216	1,290	841	2,497	4,844	101	4	342	230	678	5,521
	富士宮市	270	1,613	1,051	3,121	6,054	126	5	427	288	847	6,901
	伊東市	523	3,127	2,038	6,052	11,740	245	10	829	559	1,642	13,382
	富士市	285	1,707	1,112	3,303	6,407	134	5	452	305	896	7,303
	御殿場市	625	3,737	2,435	7,232	14,028	293	12	990	668	1,962	15,990
	裾野市	111	662	431	1,281	2,485	52	2	175	118	348	2,833
	伊豆市	157	938	611	1,815	3,521	73	3	249	168	493	4,013
	伊豆の国市	109	651	424	1,260	2,444	51	2	173	116	342	2,786
	函南町	38	226	147	437	848	18	1	60	40	119	967
	清水町	24	145	95	281	546	11	0	39	26	76	622
	長泉町	17	101	66	196	379	8	0	27	18	53	432
	小山町	207	1,241	809	2,402	4,660	97	4	329	222	652	5,312
(小計)	3,003	17,967	11,708	34,772	67,450	1,407	58	4,761	3,210	9,436	76,885	
中部	静岡市	1,212	7,252	4,726	14,036	27,226	568	23	1,922	1,296	3,809	31,035
	島田市	119	710	463	1,374	2,665	56	2	188	127	373	3,038
	焼津市	205	1,229	801	2,379	4,614	96	4	326	220	645	5,259
	藤枝市	108	648	422	1,254	2,433	51	2	172	116	340	2,773
	牧之原市	49	293	191	567	1,099	23	1	78	52	154	1,253
	吉田町	15	87	57	169	328	7	0	23	16	46	373
	川根本町	15	92	60	178	345	7	0	24	16	48	394
	(小計)	1,724	10,311	6,719	19,956	38,710	807	33	2,733	1,842	5,415	44,125
西部	浜松市	805	4,816	3,138	9,319	18,078	377	15	1,276	860	2,529	20,607
	磐田市	163	976	636	1,888	3,662	76	3	259	174	512	4,175
	掛川市	167	1,000	652	1,936	3,754	78	3	265	179	525	4,280
	袋井市	220	1,315	857	2,546	4,938	103	4	349	235	691	5,629
	湖西市	30	181	118	350	678	14	1	48	32	95	773
	御前崎市	94	563	367	1,090	2,115	44	2	149	101	296	2,411
	菊川市	16	94	61	182	353	7	0	25	17	49	402
	森町	62	368	240	712	1,381	29	1	98	66	193	1,575
(小計)	1,557	9,313	6,068	18,023	34,960	729	30	2,468	1,664	4,891	39,851	

※目的別、県内/県外別、宿泊/日帰り別の観光入込客数（県計、平成24年の年間）を366日で除して1日当たりとし、市町別観光交流客数（平成24年度）に応じて市町別に配分して推定したもの。その際の観光入込客数は、観光目的日本人、ビジネス目的日本人、訪日外国人の合算値とし、訪日外国人は県外扱いとしている。

※上表の日帰りビジネス客はビジネス兼観光目的であることから、実際上はより多くの日帰りビジネス客がいることに留意する必要がある。また、年間値を単純に1日平均に換算したものであり、ピーク時には上表よりも多くの観光客がいることに留意する必要がある。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## VII－2. 物資不足、備蓄対応力に係る想定結果

物資不足の想定結果を次ページ以降に示す。この物資不足は基本的には常住人口を対象とし、家庭内備蓄及び市町の公的備蓄による物資供給の不足を表現したものであり、結果、避難所を中心とした物資配給対応が必要となる。

一方、県内・県外からの観光・ビジネス目的の観光・出張客も数日間程度は一時的に対応が必要となる帰宅困難者となる。こうした帰宅困難者に対しては官民連携した対応が必要となるが、ここでは、発災後3日間は観光・出張客に対しても物資配給する場合の物資不足も併せて示す（観光・出張客数は年間値を単純に1日平均に換算したものであり、ピーク時にはより多くの観光客がいる場合があることに留意する必要がある）。

# 1 給水不足

表 VII-2.1 給水不足量  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名	給水不足量(トン)				観光・出張客分も考慮した場合の不足量(トン)		
	自市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合		自市町のみで対応した場合(1~3日目の計)	余剰量の半分を抛出した場合(1~3日目の計)	
	1~3日目の計	4~7日目の計	1~3日目の計	4~7日目の計			
県計	3,053	164,173	0	141,875	3,583	0	
賀茂	下田市	0	770	0	654	0	0
	東伊豆町	0	0	0	0	0	0
	河津町	0	166	0	141	0	0
	南伊豆町	0	385	0	327	0	0
	松崎町	0	170	0	145	0	0
	西伊豆町	12	519	0	451	20	0
	(小計)	12	2,011	0	1,716	20	0
	東部	沼津市	0	8,292	0	7,035	0
熱海市		0	309	0	262	25	0
三島市		307	5,040	0	4,536	352	0
富士宮市		0	0	0	0	0	0
伊東市		0	1,674	0	1,421	0	0
富士市		225	9,842	0	8,541	283	0
御殿場市		0	0	0	0	0	0
裾野市		62	1,286	0	1,143	75	0
伊豆市		0	1,219	0	1,034	0	0
伊豆の国市		0	2,282	0	1,936	0	0
函南町		11	1,957	0	1,670	20	0
清水町		99	1,617	0	1,455	104	0
長泉町		0	890	0	755	0	0
小山町		0	452	0	384	36	0
(小計)		704	34,860	0	30,172	895	0
中部	静岡市	0	36,701	0	31,137	0	0
	島田市	30	4,728	0	4,037	56	0
	焼津市	277	8,103	0	7,110	323	0
	藤枝市	326	8,000	0	7,064	350	0
	牧之原市	62	2,518	0	2,189	73	0
	吉田町	1	1,787	0	1,517	4	0
	川根本町	0	252	0	214	0	0
	(小計)	696	62,090	0	53,268	806	0
西部	浜松市	898	43,330	0	37,523	1,081	0
	磐田市	743	10,565	0	9,594	780	0
	掛川市	0	5,106	0	4,332	0	0
	袋井市	0	0	0	0	0	0
	湖西市	0	2,936	0	2,491	0	0
	御前崎市	0	997	0	845	0	0
	菊川市	0	2,131	0	1,808	0	0
	森町	0	147	0	125	0	0
(小計)	1,641	65,212	0	56,718	1,861	0	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VII-2.2 給水不足量  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名	給水不足量(トン)				観光・出張客分も考慮した場合の不足量(トン)		
	自市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合		自市町のみで対応した 場合(1~3日目の計)	余剰量の半分を抛出し た場合(1~3日目の計)	
	1~3日目の計	4~7日目の計	1~3日目の計	4~7日目の計			
県計	3,156	164,426	0	142,226	3,686	0	
賀茂	下田市	0	700	0	594	0	0
	東伊豆町	0	0	0	0	0	0
	河津町	0	164	0	140	0	0
	南伊豆町	0	362	0	307	0	0
	松崎町	0	150	0	127	0	0
	西伊豆町	24	467	0	417	33	0
	(小計)	24	1,844	0	1,585	33	0
	東部	沼津市	0	8,204	0	6,962	0
熱海市		0	308	0	262	26	0
三島市		307	5,040	0	4,538	352	0
富士宮市		0	0	0	0	0	0
伊東市		0	1,670	0	1,417	0	0
富士市		225	9,842	0	8,543	283	0
御殿場市		0	0	0	0	0	0
裾野市		62	1,286	0	1,144	75	0
伊豆市		0	1,204	0	1,022	0	0
伊豆の国市		0	2,282	0	1,936	0	0
函南町		11	1,957	0	1,671	20	0
清水町		99	1,617	0	1,456	104	0
長泉町		0	890	0	755	0	0
小山町		0	452	0	384	36	0
(小計)	704	34,751	0	30,091	896	0	
中部	静岡市	0	36,648	0	31,103	0	0
	島田市	30	4,728	0	4,038	56	0
	焼津市	289	8,087	0	7,109	335	0
	藤枝市	326	8,000	0	7,067	350	0
	牧之原市	91	3,039	0	2,656	102	0
	吉田町	11	1,771	0	1,513	15	0
	川根本町	0	252	0	214	0	0
	(小計)	748	62,526	0	53,700	858	0
西部	浜松市	935	43,366	0	37,598	1,118	0
	磐田市	745	10,565	0	9,598	782	0
	掛川市	0	5,105	0	4,333	0	0
	袋井市	0	0	0	0	0	0
	湖西市	0	2,883	0	2,447	0	0
	御前崎市	0	1,108	0	940	0	0
	菊川市	0	2,131	0	1,809	0	0
	森町	0	147	0	125	0	0
(小計)	1,680	65,305	0	56,850	1,900	0	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



表 VII-2.3 給水不足量  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名	給水不足量(トン)				観光・出張客も考慮した場合の不足量(トン)		
	自市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合		自市町のみで対応した 場合(1~3日目の計)	余剰量の半分を抛出し た場合(1~3日目の計)	
	1~3日目の計	4~7日目の計	1~3日目の計	4~7日目の計			
県計	3,397	147,556	0	124,677	3,885	0	
賀茂	下田市	0	475	0	392	0	0
	東伊豆町	0	0	0	0	0	0
	河津町	0	75	0	62	0	0
	南伊豆町	0	165	0	136	0	0
	松崎町	0	133	0	110	0	0
	西伊豆町	23	425	0	370	32	0
	(小計)	23	1,273	0	1,070	32	0
	東部	沼津市	0	3,931	0	3,247	0
熱海市		0	32	0	27	10	0
三島市		214	2,829	0	2,513	258	0
富士宮市		0	0	0	0	0	0
伊東市		0	1,174	0	970	0	0
富士市		93	6,846	0	5,731	152	0
御殿場市		0	0	0	0	0	0
裾野市		16	606	0	514	30	0
伊豆市		0	910	0	752	0	0
伊豆の国市		0	2,147	0	1,773	0	0
函南町		0	1,445	0	1,193	2	0
清水町		91	1,433	0	1,259	97	0
長泉町		0	79	0	65	0	0
小山町		0	409	0	338	34	0
(小計)		415	21,842	0	18,382	583	0
中部	静岡市	0	31,221	0	25,786	0	0
	島田市	0	4,237	0	3,499	3	0
	焼津市	134	6,965	0	5,863	180	0
	藤枝市	186	7,071	0	5,994	210	0
	牧之原市	77	2,999	0	2,540	88	0
	吉田町	0	1,674	0	1,382	0	0
	川根本町	0	284	0	234	0	0
(小計)	397	54,450	0	45,300	482	0	
西部	浜松市	1,678	47,611	0	40,709	1,861	0
	磐田市	831	10,953	0	9,733	869	0
	掛川市	0	4,997	0	4,127	0	0
	袋井市	0	0	0	0	0	0
	湖西市	51	3,149	0	2,643	58	0
	御前崎市	0	961	0	793	0	0
	菊川市	0	2,106	0	1,740	0	0
	森町	0	216	0	178	0	0
(小計)	2,561	69,992	0	59,924	2,788	0	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VII-2.4 給水不足量  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名	給水不足量(トン)				観光・出張客分も考慮した場合の不足量(トン)		
	自市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合		自市町のみで対応した場合(1~3日目の計)	余剰量の半分を抛出した場合(1~3日目の計)	
	1~3日目の計	4~7日目の計	1~3日目の計	4~7日目の計			
県計	3,230	167,407	0	145,732	3,803	0	
賀茂	下田市	0	807	0	689	0	0
	東伊豆町	0	0	0	0	0	0
	河津町	0	171	0	146	0	0
	南伊豆町	0	408	0	349	0	0
	松崎町	0	157	0	134	0	0
	西伊豆町	26	498	0	447	34	0
	(小計)	26	2,041	0	1,765	34	0
	東部	沼津市	1	9,074	0	7,751	33
熱海市		12	591	0	515	41	0
三島市		317	5,246	0	4,751	361	0
富士宮市		0	0	0	0	0	0
伊東市		0	1,854	0	1,583	0	0
富士市		303	10,978	0	9,634	361	0
御殿場市		0	329	0	281	0	0
裾野市		59	1,237	0	1,107	73	0
伊豆市		0	1,342	0	1,146	0	0
伊豆の国市		0	2,332	0	1,992	0	0
函南町		12	1,973	0	1,696	20	0
清水町		99	1,622	0	1,470	105	0
長泉町		0	1,035	0	884	0	0
小山町		6	625	0	540	43	0
(小計)		811	38,238	0	33,349	1,038	0
中部	静岡市	0	35,166	0	30,034	0	0
	島田市	22	4,615	0	3,960	47	0
	焼津市	188	7,421	0	6,498	234	0
	藤枝市	235	7,392	0	6,514	259	0
	牧之原市	118	3,099	0	2,747	129	0
	吉田町	15	1,794	0	1,545	18	0
	川根本町	0	287	0	245	0	0
	(小計)	578	59,774	0	51,543	688	0
西部	浜松市	1,009	44,270	0	38,670	1,192	0
	磐田市	763	10,664	0	9,759	800	0
	掛川市	0	5,333	0	4,555	0	0
	袋井市	0	0	0	0	0	0
	湖西市	44	3,138	0	2,718	51	0
	御前崎市	0	1,283	0	1,095	0	0
	菊川市	0	2,445	0	2,088	0	0
	森町	0	222	0	190	0	0
(小計)	1,816	67,355	0	59,075	2,043	0	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VII-2.5 給水不足量  
(大正型関東地震)

市町名	給水不足量(トン)				観光・出張客分も考慮した場合の不足量(トン)	
	自市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合		自市町のみで対応した場合(1~3日目の計)	余剰量の半分を抛出した場合(1~3日目の計)
	1~3日目の計	4~7日目の計	1~3日目の計	4~7日目の計		
県計	262	12,611	0	0	391	0
賀茂	下田市	0	0	0	0	0
	東伊豆町	0	0	0	0	0
	河津町	0	0	0	0	0
	南伊豆町	0	0	0	0	0
	松崎町	0	0	0	0	0
	西伊豆町	0	0	0	0	0
	(小計)	0	0	0	0	0
東部	沼津市	0	3,793	0	0	0
	熱海市	20	915	0	0	48
	三島市	128	2,210	0	0	173
	富士宮市	0	0	0	0	0
	伊東市	0	0	0	0	0
	富士市	0	28	0	0	0
	御殿場市	0	985	0	0	0
	裾野市	49	1,044	0	0	62
	伊豆市	0	0	0	0	0
	伊豆の国市	0	699	0	0	0
	函南町	0	1,015	0	0	0
	清水町	40	648	0	0	46
	長泉町	0	402	0	0	0
	小山町	25	872	0	0	62
(小計)	262	12,611	0	0	390	
中部	静岡市	0	0	0	0	0
	島田市	0	0	0	0	0
	焼津市	0	0	0	0	0
	藤枝市	0	0	0	0	0
	牧之原市	0	0	0	0	0
	吉田町	0	0	0	0	0
	川根本町	0	0	0	0	0
(小計)	0	0	0	0	0	
西部	浜松市	0	0	0	0	0
	磐田市	0	0	0	0	1
	掛川市	0	0	0	0	0
	袋井市	0	0	0	0	0
	湖西市	0	0	0	0	0
	御前崎市	0	0	0	0	0
	菊川市	0	0	0	0	0
森町	0	0	0	0	0	
(小計)	0	0	0	0	1	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VII-2.6 給水不足量  
(元禄型関東地震)

市町名	給水不足量(トン)				観光・出張客分も考慮した場合の不足量(トン)	
	自市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合		自市町のみで対応した場合(1~3日目の計)	余剰量の半分を抛出した場合(1~3日目の計)
	1~3日目の計	4~7日目の計	1~3日目の計	4~7日目の計		
県計	363	19,324	0	0	492	0
賀茂	下田市	0	0	0	0	0
	東伊豆町	0	0	0	0	0
	河津町	0	0	0	0	0
	南伊豆町	0	0	0	0	0
	松崎町	0	0	0	0	0
	西伊豆町	0	0	0	0	0
	(小計)	0	0	0	0	0
東部	沼津市	0	6,175	0	0	0
	熱海市	35	1,027	0	0	63
	三島市	168	2,676	0	0	213
	富士宮市	0	0	0	0	0
	伊東市	0	520	0	0	0
	富士市	0	1,557	0	0	0
	御殿場市	0	1,328	0	0	0
	裾野市	76	1,385	0	0	89
	伊豆市	0	0	0	0	0
	伊豆の国市	0	1,145	0	0	0
	函南町	0	1,045	0	0	0
	清水町	51	792	0	0	56
	長泉町	0	738	0	0	0
	小山町	34	936	0	0	70
(小計)	363	19,324	0	0	492	
中部	静岡市	0	0	0	0	0
	島田市	0	0	0	0	0
	焼津市	0	0	0	0	0
	藤枝市	0	0	0	0	0
	牧之原市	0	0	0	0	0
	吉田町	0	0	0	0	0
	川根本町	0	0	0	0	0
(小計)	0	0	0	0	0	
西部	浜松市	0	0	0	0	0
	磐田市	0	0	0	0	1
	掛川市	0	0	0	0	0
	袋井市	0	0	0	0	0
	湖西市	0	0	0	0	0
	御前崎市	0	0	0	0	0
	菊川市	0	0	0	0	0
森町	0	0	0	0	0	
(小計)	0	0	0	0	1	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## 2 食料不足

表 VII-2.7 食料不足量  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名	食料不足量(食)				観光・出張客分も考慮した場合の不足量(食)		
	市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合		市町のみで対応した場合 (1~3日目の計)	余剰量の半分を抛出した 場合(1~3日目の計)	
	1~3日目の計	4~7日目の計	1~3日目の計	4~7日目の計			
県計	2,397,153	6,096,423	2,217,359	6,066,730	3,240,877	3,125,689	
賀茂	下田市	623	29,822	0	29,694	33,323	32,452
	東伊豆町	0	0	0	0	3,772	3,663
	河津町	0	7,253	0	7,074	17,938	17,585
	南伊豆町	0	1,158	0	1,129	697	560
	松崎町	0	17,839	0	17,399	0	0
	西伊豆町	675	30,148	0	30,063	9,393	8,848
	(小計)	1,298	86,220	0	85,359	65,123	63,108
	東部	沼津市	0	0	0	0	0
熱海市		0	0	0	0	41,457	40,780
三島市		0	0	0	0	0	0
富士宮市		3,733	86,056	1,518	86,056	65,839	63,745
伊東市		0	19,730	0	19,243	108,496	106,563
富士市		0	0	0	0	0	0
御殿場市		0	0	0	0	42,116	41,161
裾野市		0	0	0	0	0	0
伊豆市		0	13,640	0	13,304	19,991	19,305
伊豆の国市		0	0	0	0	0	0
函南町		0	0	0	0	0	0
清水町		0	21,558	0	21,026	5,082	4,708
長泉町		0	836	0	815	0	0
小山町		0	0	0	0	36,179	35,572
(小計)		3,733	141,820	1,518	140,445	319,160	311,834
中部	静岡市	0	1,003,131	0	978,390	0	0
	島田市	6,967	228,228	1,166	228,228	34,306	30,686
	焼津市	220,451	492,405	202,869	492,405	267,785	257,304
	藤枝市	252,895	444,097	235,704	444,097	277,855	267,901
	牧之原市	69,874	133,316	64,862	133,316	81,154	78,197
	吉田町	0	50,011	0	48,778	0	0
	川根本町	0	0	0	0	0	0
	(小計)	550,187	2,351,188	504,602	2,325,213	661,100	634,088
西部	浜松市	1,086,898	1,974,305	1,011,396	1,974,305	1,272,358	1,227,594
	磐田市	293,190	539,151	272,661	539,151	330,762	318,768
	掛川市	167,115	317,468	155,163	317,468	205,632	198,420
	袋井市	209,211	335,927	195,766	335,927	259,869	251,654
	湖西市	49,058	136,213	44,488	136,213	56,015	53,365
	御前崎市	0	60,105	0	58,623	16,605	15,477
	菊川市	16,793	106,021	13,764	106,021	20,411	18,668
	森町	19,670	48,005	18,001	48,005	33,842	32,714
(小計)	1,841,935	3,517,195	1,711,239	3,515,713	2,195,494	2,116,659	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VII-2.8 食料不足量  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名	食料不足量(食)				観光・出張客分も考慮した場合の不足量(食)		
	市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合		市町のみで対応した場合 (1~3日目の計)	余剰量の半分を抛出した 場合(1~3日目の計)	
	1~3日目の計	4~7日目の計	1~3日目の計	4~7日目の計			
県計	2,888,821	7,471,212	2,763,880	7,450,776	3,775,104	3,704,341	
賀茂	下田市	44,558	88,913	42,685	88,913	77,258	76,076
	東伊豆町	0	8,401	0	8,283	11,616	11,425
	河津町	7,433	19,434	7,056	19,434	25,796	25,474
	南伊豆町	9,235	33,282	8,638	33,282	17,995	17,630
	松崎町	11,078	41,799	10,336	41,799	15,005	14,601
	西伊豆町	23,648	59,690	22,479	59,690	32,366	31,711
	(小計)	95,952	251,519	91,194	251,401	180,036	176,919
東部	沼津市	0	37,393	0	36,868	0	0
	熱海市	0	0	0	0	43,165	42,785
	三島市	0	0	0	0	0	0
	富士宮市	3,733	86,056	2,473	86,056	65,839	64,759
	伊東市	0	31,779	0	31,333	113,276	112,193
	富士市	0	0	0	0	0	0
	御殿場市	0	0	0	0	42,116	41,623
	裾野市	0	0	0	0	0	0
	伊豆市	0	29,868	0	29,449	27,346	26,877
	伊豆の国市	0	0	0	0	0	0
	函南町	0	0	0	0	0	0
	清水町	0	21,558	0	21,255	5,082	4,889
	長泉町	0	836	0	824	0	0
	小山町	0	0	0	0	36,179	35,866
(小計)	3,733	207,490	2,473	205,786	333,003	328,992	
中部	静岡市	0	1,326,517	0	1,307,903	0	0
	島田市	6,967	228,228	3,667	228,228	34,306	32,439
	焼津市	284,035	628,269	271,233	628,269	331,369	324,544
	藤枝市	252,895	444,097	243,114	444,097	277,855	272,721
	牧之原市	146,569	267,134	140,764	267,134	157,849	154,827
	吉田町	22,731	139,050	20,461	139,050	26,091	24,917
	川根本町	0	0	0	0	0	0
(小計)	713,197	3,033,295	679,239	3,014,681	827,470	809,447	
西部	浜松市	1,248,095	2,295,619	1,198,368	2,295,619	1,433,555	1,407,034
	磐田市	309,411	575,343	296,996	575,343	346,983	340,424
	掛川市	168,093	319,318	161,253	319,318	206,610	202,870
	袋井市	209,686	337,066	202,014	337,066	260,344	256,095
	湖西市	98,300	213,469	93,925	213,469	105,257	102,990
	御前崎市	5,874	84,028	4,612	84,028	27,576	26,782
	菊川市	16,810	106,060	15,086	106,060	20,428	19,528
	森町	19,670	48,005	18,720	48,005	33,842	33,260
(小計)	2,075,939	3,978,908	1,990,975	3,978,908	2,434,595	2,388,984	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VII-2.9 食料不足量  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名	食料不足量(食)				観光・出張客分も考慮した場合の不足量(食)		
	市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合		市町のみで対応した場合 (1~3日目の計)	余剰量の半分を抛出した 場合(1~3日目の計)	
	1~3日目の計	4~7日目の計	1~3日目の計	4~7日目の計			
県計	3,969,048	7,014,083	3,384,163	6,995,535	4,775,034	4,323,031	
賀茂	下田市	43,447	85,520	36,361	85,520	76,147	69,977
	東伊豆町	0	6,583	0	6,221	11,256	10,302
	河津町	6,963	17,510	5,618	17,510	25,326	23,691
	南伊豆町	8,719	30,882	6,543	30,882	17,479	15,633
	松崎町	9,892	40,184	7,141	40,184	13,819	11,758
	西伊豆町	23,193	58,694	18,694	58,694	31,911	28,453
	(小計)	92,214	239,373	74,358	239,011	175,938	159,815
東部	沼津市	0	0	0	0	0	0
	熱海市	0	0	0	0	41,472	39,673
	三島市	0	0	0	0	0	0
	富士宮市	0	4,896	0	4,627	33,676	31,119
	伊東市	0	21,936	0	20,731	110,924	105,490
	富士市	0	0	0	0	0	0
	御殿場市	0	0	0	0	40,512	38,030
	裾野市	0	0	0	0	0	0
	伊豆市	0	21,621	0	20,433	24,884	22,680
	伊豆の国市	0	0	0	0	0	0
	函南町	0	0	0	0	0	0
	清水町	0	15,119	0	14,288	3,066	2,275
	長泉町	0	0	0	0	0	0
	小山町	0	0	0	0	35,818	34,184
(小計)	0	63,572	0	60,079	290,352	273,452	
中部	静岡市	0	0	0	0	0	0
	島田市	0	44,267	0	41,835	0	0
	焼津市	35,964	328,446	15,943	328,446	83,298	67,584
	藤枝市	4,632	155,248	0	151,096	29,592	22,538
	牧之原市	122,994	240,126	103,044	240,126	134,274	119,985
	吉田町	625	111,592	0	106,052	3,985	0
	川根本町	0	0	0	0	0	0
(小計)	164,215	879,679	118,986	867,554	251,149	210,106	
西部	浜松市	2,617,549	3,873,382	2,260,926	3,873,382	2,803,009	2,548,205
	磐田市	474,350	762,127	406,416	762,127	511,922	463,298
	掛川市	157,089	305,927	131,650	305,927	195,606	176,465
	袋井市	179,948	303,317	153,397	303,317	230,606	210,229
	湖西市	225,363	361,472	193,121	361,472	232,320	209,658
	御前崎市	0	46,752	0	44,183	8,022	5,409
	菊川市	16,674	105,562	9,958	105,562	20,292	15,489
	森町	41,646	72,920	35,352	72,920	55,818	50,905
(小計)	3,712,619	5,831,459	3,190,819	5,828,890	4,057,595	3,679,658	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表VII-2.10 食料不足量  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名	食料不足量(食)				観光・出張客分も考慮した場合の不足量(食)		
	市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合		市町のみで対応した場合 (1~3日目の計)	余剰量の半分を抛出した 場合(1~3日目の計)	
	1~3日目の計	4~7日目の計	1~3日目の計	4~7日目の計			
県計	3,223,616	7,406,530	3,151,363	7,397,337	4,128,246	4,096,987	
賀茂	下田市	46,035	91,757	44,979	91,757	78,735	78,238
	東伊豆町	0	11,692	0	11,602	12,499	12,411
	河津町	7,807	19,977	7,594	19,977	26,170	26,036
	南伊豆町	9,726	34,350	9,388	34,350	18,486	18,332
	松崎町	12,331	43,372	11,904	43,372	16,258	16,084
	西伊豆町	25,399	62,161	24,728	62,161	34,117	33,836
	(小計)	101,298	263,309	98,594	263,219	186,265	184,938
東部	沼津市	0	95,618	0	94,885	0	0
	熱海市	0	0	0	0	44,633	44,460
	三島市	0	0	0	0	0	0
	富士宮市	51,762	147,748	50,233	147,748	113,868	113,106
	伊東市	0	41,953	0	41,632	117,171	116,698
	富士市	0	0	0	0	0	0
	御殿場市	0	0	0	0	53,374	53,090
	裾野市	0	0	0	0	0	0
	伊豆市	0	40,377	0	40,068	31,574	31,351
	伊豆の国市	0	0	0	0	0	0
	函南町	0	0	0	0	0	0
	清水町	804	23,633	617	23,633	6,405	6,317
	長泉町	0	8,589	0	8,523	0	0
	小山町	0	1,402	0	1,391	37,747	37,604
(小計)	52,566	359,320	50,850	357,880	404,772	402,625	
中部	静岡市	0	792,696	0	786,622	0	0
	島田市	0	207,552	0	205,962	21,867	21,182
	焼津市	119,186	430,672	114,973	430,672	166,520	164,780
	藤枝市	91,813	257,061	89,140	257,061	116,773	115,684
	牧之原市	192,824	319,747	188,897	319,747	204,104	202,577
	吉田町	28,511	146,151	27,173	146,151	31,871	31,352
	川根本町	0	0	0	0	0	0
(小計)	432,334	2,153,879	420,183	2,146,215	541,135	535,575	
西部	浜松市	1,370,532	2,444,061	1,341,305	2,444,061	1,555,992	1,544,335
	磐田市	342,997	613,785	335,666	613,785	380,569	377,671
	掛川市	260,148	424,082	254,906	424,082	298,665	296,559
	袋井市	239,598	370,788	234,921	370,788	290,256	288,330
	湖西市	212,213	346,340	207,933	346,340	219,170	217,522
	御前崎市	64,253	150,453	62,608	150,453	85,955	85,266
	菊川市	110,834	212,709	108,355	212,709	114,452	113,499
	森町	36,843	67,804	36,041	67,804	51,015	50,669
(小計)	2,637,418	4,630,022	2,581,736	4,630,022	2,996,074	2,973,850	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



表 VII-2.11 食料不足量  
(大正型関東地震)

市町名	食料不足量(食)				観光・出張客分も考慮した場合の不足量(食)		
	市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合		市町のみで対応した場合 (1~3日目の計)	余剰量の半分を抛出した 場合(1~3日目の計)	
	1~3日目の計	4~7日目の計	1~3日目の計	4~7日目の計			
県計	63,327	341,168	0	0	540,359	0	
賀茂	下田市	0	264	0	0	26,597	0
	東伊豆町	0	0	0	0	3,523	0
	河津町	0	231	0	0	17,240	0
	南伊豆町	0	0	0	0	0	0
	松崎町	0	0	0	0	0	0
	西伊豆町	0	0	0	0	0	0
	(小計)	0	495	0	0	47,360	0
東部	沼津市	0	0	0	0	0	0
	熱海市	23,316	68,119	0	0	84,447	0
	三島市	0	0	0	0	0	0
	富士宮市	0	0	0	0	27,917	0
	伊東市	7,066	41,734	0	0	127,504	0
	富士市	0	0	0	0	0	0
	御殿場市	8,602	166,544	0	0	152,515	0
	裾野市	0	0	0	0	0	0
	伊豆市	0	0	0	0	12,808	0
	伊豆の国市	0	0	0	0	0	0
	函南町	0	0	0	0	0	0
	清水町	0	10,943	0	0	4,896	0
	長泉町	0	0	0	0	0	0
	小山町	24,343	53,333	0	0	72,148	0
(小計)	63,327	340,673	0	0	482,235	0	
中部	静岡市	0	0	0	0	0	0
	島田市	0	0	0	0	0	0
	焼津市	0	0	0	0	0	0
	藤枝市	0	0	0	0	0	0
	牧之原市	0	0	0	0	0	0
	吉田町	0	0	0	0	0	0
	川根本町	0	0	0	0	0	0
(小計)	0	0	0	0	0	0	
西部	浜松市	0	0	0	0	0	0
	磐田市	0	0	0	0	0	0
	掛川市	0	0	0	0	0	0
	袋井市	0	0	0	0	7,842	0
	湖西市	0	0	0	0	0	0
	御前崎市	0	0	0	0	0	0
	菊川市	0	0	0	0	0	0
	森町	0	0	0	0	2,922	0
(小計)	0	0	0	0	10,764	0	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VII-2.12 食料不足量  
(元禄型関東地震)

市町名	食料不足量(食)				観光・出張客分も考慮した場合の不足量(食)		
	市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合		市町のみで対応した場合 (1~3日目の計)	余剰量の半分を抛出した 場合(1~3日目の計)	
	1~3日目の計	4~7日目の計	1~3日目の計	4~7日目の計			
県計	182,754	632,647	0	0	686,164	9,363	
賀茂	下田市	2,683	20,181	0	0	35,383	0
	東伊豆町	0	0	0	0	4,631	0
	河津町	547	3,950	0	0	18,910	2,615
	南伊豆町	0	1,691	0	0	2,765	0
	松崎町	0	0	0	0	0	0
	西伊豆町	0	0	0	0	0	0
	(小計)	3,230	25,822	0	0	61,689	2,615
東部	沼津市	0	0	0	0	0	0
	熱海市	47,221	98,672	0	0	108,352	0
	三島市	0	48,709	0	0	0	0
	富士宮市	0	0	0	0	28,252	3,670
	伊東市	44,371	94,589	0	0	164,809	0
	富士市	0	0	0	0	0	0
	御殿場市	46,865	213,716	0	0	190,778	0
	裾野市	0	42,296	0	0	12,121	0
	伊豆市	0	0	0	0	14,920	0
	伊豆の国市	0	0	0	0	0	0
	函南町	0	0	0	0	0	0
	清水町	3,783	18,372	0	0	9,384	0
	長泉町	0	21,905	0	0	0	0
	小山町	37,284	68,566	0	0	85,089	0
(小計)	179,524	606,825	0	0	613,705	3,670	
中部	静岡市	0	0	0	0	0	0
	島田市	0	0	0	0	0	0
	焼津市	0	0	0	0	0	0
	藤枝市	0	0	0	0	0	0
	牧之原市	0	0	0	0	0	0
	吉田町	0	0	0	0	0	0
	川根本町	0	0	0	0	0	0
	(小計)	0	0	0	0	0	0
西部	浜松市	0	0	0	0	0	0
	磐田市	0	0	0	0	0	0
	掛川市	0	0	0	0	0	0
	袋井市	0	0	0	0	7,848	2,240
	湖西市	0	0	0	0	0	0
	御前崎市	0	0	0	0	0	0
	菊川市	0	0	0	0	0	0
	森町	0	0	0	0	2,922	839
(小計)	0	0	0	0	10,770	3,079	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

### 3 生活物資（毛布）不足

表 VII-2.13 生活物資（毛布）不足量  
（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）

市町名	毛布不足数(枚)		観光・出張客分も考慮した場合の不足数(枚)		
	自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合	自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合	
県計	565,822	525,360	809,228	792,938	
賀茂	下田市	0	5,579	5,467	
	東伊豆町	0	0	0	
	河津町	0	0	3,606	3,533
	南伊豆町	0	0	0	0
	松崎町	0	0	264	259
	西伊豆町	0	0	990	970
	(小計)	0	0	10,439	10,229
	東部	沼津市	0	0	0
熱海市		0	0	0	
三島市		0	0	0	
富士宮市		0	0	6,693	6,558
伊東市		0	0	8,801	8,624
富士市		0	0	0	0
御殿場市		0	0	29,965	29,362
裾野市		0	0	2,387	2,339
伊豆市		0	0	6,555	6,423
伊豆の国市		0	0	1,299	1,273
函南町		0	0	0	0
清水町		0	0	0	0
長泉町		0	0	0	0
小山町		0	0	10,104	9,901
(小計)	0	0	65,804	64,479	
中部	静岡市	207,730	192,875	269,800	264,369
	島田市	17,185	15,956	23,260	22,792
	焼津市	54,437	50,544	64,956	63,648
	藤枝市	31,547	29,291	37,094	36,347
	牧之原市	1,298	1,205	3,804	3,727
	吉田町	5,374	4,990	6,121	5,998
	川根本町	0	0	0	0
	(小計)	317,571	294,861	405,035	396,882
西部	浜松市	167,302	155,338	208,515	204,318
	磐田市	10,338	9,599	18,687	18,311
	掛川市	18,555	17,228	27,114	26,568
	袋井市	29,939	27,798	41,196	40,367
	湖西市	11,682	10,847	13,228	12,962
	御前崎市	1,768	1,642	6,590	6,457
	菊川市	5,693	5,286	6,497	6,366
	森町	2,974	2,761	6,123	6,000
(小計)	248,251	230,498	327,950	321,348	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表VII-2.14 生活物資（毛布）不足量  
 (南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①）)

市町名	毛布不足数(枚)		観光・出張客分も考慮した場合の不足数(枚)	
	自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合	自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合
県計	627,904	592,207	878,687	865,512
賀茂				
下田市	5,239	4,941	12,506	12,318
東伊豆町	0	0	0	0
河津町	459	433	4,540	4,472
南伊豆町	331	312	2,278	2,244
松崎町	2,174	2,050	3,047	3,001
西伊豆町	3,502	3,303	5,439	5,357
(小計)	11,705	11,040	27,810	27,393
東部				
沼津市	0	0	0	0
熱海市	0	0	0	0
三島市	0	0	0	0
富士宮市	0	0	6,693	6,593
伊東市	0	0	9,264	9,125
富士市	0	0	0	0
御殿場市	0	0	29,965	29,516
裾野市	0	0	2,387	2,351
伊豆市	0	0	7,803	7,686
伊豆の国市	0	0	1,299	1,280
函南町	0	0	0	0
清水町	0	0	0	0
長泉町	0	0	0	0
小山町	0	0	10,104	9,952
(小計)	0	0	67,515	66,503
中部				
静岡市	217,592	205,221	279,662	275,469
島田市	17,185	16,208	23,260	22,911
焼津市	59,017	55,662	69,536	68,493
藤枝市	31,547	29,753	37,094	36,538
牧之原市	11,441	10,791	13,947	13,738
吉田町	9,391	8,857	10,138	9,986
川根本町	0	0	0	0
(小計)	346,173	326,492	433,637	427,135
西部				
浜松市	180,648	170,378	221,861	218,534
磐田市	11,190	10,554	19,539	19,246
掛川市	18,633	17,574	27,192	26,784
袋井市	29,968	28,264	41,225	40,607
湖西市	17,843	16,829	19,389	19,098
御前崎市	3,076	2,901	7,898	7,780
菊川市	5,694	5,370	6,498	6,401
森町	2,974	2,805	6,123	6,031
(小計)	270,026	254,675	349,725	344,481

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表VII-2.15 生活物資（毛布）不足量  
 (南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①）)

市町名	毛布不足数(枚)		観光・出張客分も考慮した場合の不足数(枚)	
	自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合	自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合
県計	613,023	560,277	816,361	796,900
賀茂				
下田市	5,031	4,598	12,298	12,005
東伊豆町	0	0	0	0
河津町	379	346	4,460	4,354
南伊豆町	243	222	2,190	2,138
松崎町	1,918	1,753	2,791	2,724
西伊豆町	3,405	3,112	5,342	5,215
(小計)	10,976	10,032	27,081	26,435
東部				
沼津市	0	0	0	0
熱海市	0	0	0	0
三島市	0	0	0	0
富士宮市	0	0	826	806
伊東市	0	0	8,866	8,655
富士市	0	0	0	0
御殿場市	0	0	29,673	28,966
裾野市	0	0	1,530	1,494
伊豆市	0	0	7,363	7,187
伊豆の国市	0	0	964	941
函南町	0	0	0	0
清水町	0	0	0	0
長泉町	0	0	0	0
小山町	0	0	10,040	9,801
(小計)	0	0	59,262	57,849
中部				
静岡市	0	0	29,073	28,380
島田市	898	821	6,973	6,807
焼津市	9,394	8,586	19,913	19,438
藤枝市	0	0	0	0
牧之原市	6,434	5,880	8,940	8,727
吉田町	4,680	4,277	5,427	5,298
川根本町	0	0	0	0
(小計)	21,406	19,564	70,326	68,649
西部				
浜松市	441,374	403,397	482,587	471,082
磐田市	42,515	38,857	50,864	49,651
掛川市	16,582	15,155	25,141	24,542
袋井市	24,402	22,302	35,659	34,809
湖西市	43,012	39,311	44,558	43,496
御前崎市	0	0	4,174	4,074
菊川市	5,672	5,184	6,476	6,322
森町	7,084	6,474	10,233	9,989
(小計)	580,641	530,681	659,692	643,965

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表VII-2.16 生活物資(毛布)不足量  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名	毛布不足数(枚)		観光・出張客分も考慮した場合の不足数(枚)	
	自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合	自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合
県計	639,597	612,107	916,312	904,923
賀茂				
下田市	5,532	5,294	12,799	12,640
東伊豆町	0	0	0	0
河津町	533	510	4,614	4,557
南伊豆町	428	410	2,375	2,345
松崎町	2,446	2,341	3,319	3,278
西伊豆町	3,887	3,720	5,824	5,752
(小計)	12,826	12,275	28,931	28,571
東部				
沼津市	0	0	0	0
熱海市	0	0	0	0
三島市	0	0	0	0
富士宮市	1,807	1,729	15,608	15,414
伊東市	0	0	9,979	9,855
富士市	384	367	14,991	14,805
御殿場市	52	50	32,033	31,635
裾野市	0	0	2,851	2,816
伊豆市	566	542	8,592	8,485
伊豆の国市	0	0	1,822	1,799
函南町	0	0	0	0
清水町	0	0	0	0
長泉町	0	0	0	0
小山町	0	0	10,380	10,251
(小計)	2,809	2,688	96,256	95,060
中部				
静岡市	172,646	165,226	234,716	231,799
島田市	14,869	14,230	20,944	20,684
焼津市	26,026	24,907	36,545	36,091
藤枝市	1,466	1,403	7,013	6,926
牧之原市	21,268	20,354	23,774	23,479
吉田町	10,623	10,166	11,370	11,229
川根本町	0	0	0	0
(小計)	246,898	236,286	334,362	330,206
西部				
浜松市	203,973	195,206	245,186	242,139
磐田市	17,565	16,810	25,914	25,592
掛川市	35,860	34,319	44,419	43,867
袋井市	35,569	34,040	46,826	46,244
湖西市	40,406	38,669	41,952	41,431
御前崎市	14,231	13,619	19,053	18,816
菊川市	23,277	22,277	24,081	23,782
森町	6,183	5,917	9,332	9,216
(小計)	377,064	360,858	456,763	451,086

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VII-2.17 生活物資（毛布）不足量  
（大正型関東地震）

市町名	毛布不足数(枚)		観光・出張客分も考慮した場合の不足数(枚)		
	自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合	自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合	
県計	24,663	0	99,261	31,886	
賀茂	下田市	0	0	4,971	1,597
	東伊豆町	0	0	0	0
	河津町	0	0	3,521	1,131
	南伊豆町	0	0	0	0
	松崎町	0	0	0	0
	西伊豆町	0	0	0	0
	(小計)	0	0	8,492	2,728
	東部	沼津市	0	0	0
熱海市		0	0	0	0
三島市		0	0	0	0
富士宮市		0	0	0	0
伊東市		0	0	11,340	3,643
富士市		0	0	0	0
御殿場市		18,499	0	50,480	16,216
裾野市		0	0	4,031	1,295
伊豆市		0	0	5,840	1,876
伊豆の国市		0	0	1,832	589
函南町		0	0	0	0
清水町		0	0	0	0
長泉町		0	0	0	0
小山町		6,164	0	16,787	5,393
(小計)	24,663	0	90,310	29,011	
中部	静岡市	0	0	0	0
	島田市	0	0	0	0
	焼津市	0	0	0	0
	藤枝市	0	0	0	0
	牧之原市	0	0	0	0
	吉田町	0	0	0	0
	川根本町	0	0	0	0
	(小計)	0	0	0	0
西部	浜松市	0	0	0	0
	磐田市	0	0	0	0
	掛川市	0	0	0	0
	袋井市	0	0	0	0
	湖西市	0	0	0	0
	御前崎市	0	0	0	0
	菊川市	0	0	0	0
	森町	0	0	459	147
(小計)	0	0	459	147	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VII-2.18 生活物資（毛布）不足量  
（元禄型関東地震）

市町名	毛布不足数(枚)		観光・出張客分も考慮した場合の不足数(枚)		
	自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合	自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合	
県計	36,292	0	126,595	63,030	
賀茂	下田市	0	5,694	2,835	
	東伊豆町	0	0	0	
	河津町	0	3,660	1,822	
	南伊豆町	0	0	0	
	松崎町	0	0	0	
	西伊豆町	0	0	0	
	(小計)	0	9,354	4,657	
	東部	沼津市	0	0	0
熱海市		0	0	0	
三島市		0	5,072	2,525	
富士宮市		0	2	1	
伊東市		0	17,820	8,872	
富士市		0	0	0	
御殿場市		25,620	0	57,601	28,679
裾野市		2,093	0	7,759	3,863
伊豆市		0	0	6,193	3,083
伊豆の国市		0	0	2,539	1,264
函南町		0	0	4	2
清水町		0	0	0	0
長泉町		0	0	572	285
小山町		8,579	0	19,202	9,560
(小計)	36,292	0	116,764	58,135	
中部	静岡市	0	0	0	
	島田市	0	0	0	
	焼津市	0	0	18	9
	藤枝市	0	0	0	0
	牧之原市	0	0	0	0
	吉田町	0	0	0	0
	川根本町	0	0	0	0
	(小計)	0	0	18	9
西部	浜松市	0	0	0	
	磐田市	0	0	0	
	掛川市	0	0	0	
	袋井市	0	0	0	
	湖西市	0	0	0	
	御前崎市	0	0	0	
	菊川市	0	0	0	
	森町	0	0	459	229
(小計)	0	0	459	229	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



## VIII 医療機能支障の想定

### VIII-1. 医療機能支障の想定手法

#### (1) 医療対応力不足数

医療機関の施設の損壊、ライフラインの途絶を考慮した上で、新規の入院需要（重傷者数＋医療機関で結果的に亡くなる死亡者＋被災した医療機関からの転院患者数）及び外来需要（軽傷者数）から医療機関の受入れ許容量を差し引いたときの医療対応力不足数を算出する。

災害発生時の医療機能支障を定量化する際に、その機能支障の度合いを表す指標として、地域別の医療機関の対応能力がある。災害時の医療機関の対応能力は、負傷者数、医療機関の被災度、ライフライン機能の支障度、医療機関数、病床数、平常時空床率、平常時外来患者数などの関数として表現することができる。本想定では、どの地域において地震後の対応能力がどれだけ不足するかを定量化することによって、災害時の医療搬送を含めた応急対策に資するものとする。

災害発生直後の医療対応力不足数は後述の式で定量化できる。

医療機関側の医療供給量は、重傷者の場合は一般病床の空き病床数、軽傷者の場合は平常時の外来患者数をもとにする。ここで、外来患者数＝一般病院での外来患者数＋一般診療所での外来患者数で求めるが、医療機関での死傷患者に対しては医師による治療・診療が必要であり、医師数によって診療能力が制限されると考え、一般病院での外来患者数は厚生労働省（2012a）による1日平均外来患者数を用い、一般診療所での外来患者数は病院での外来患者数に対して医師数の比率で推定したものを用いるものとする。

「医療対応力不足数（入院対応）」は、地震後の入院患者の新規発生及び被災した医療機関からの転院患者数の発生による病床数の不足を意味し、その地域における入院対応能力の増強の必要性あるいは被災地域外への患者搬送の必要性を示しており、充足している場合は病床の空きを示しており、域外からの入院患者を受け入れることができることを表している。「医療対応力不足数（外来対応）」は、地震後の軽傷者の新規発生によって外来患者の対応量が平常時よりもどれだけ多くなるかを表しており、充足している場合は外来患者を受け入れる能力があることを表している。

入院需要量

＝平常時の1日当たり在院患者数＋地震時の重傷者数＋医療機関での死者数

医療対応力不足数（入院対応）

＝地震後の対応可能入院患者数－入院需要量－被災した医療機関からの転院患者数

＝（市町別一般病床数×医療機関使用可能率×空床率×ライフライン低下後の医療機能率）－入院需要量－被災した医療機関からの転院患者数

＝（市町別一般病床数×医療機関使用可能率×空床率×ライフライン低下後の医療機能率）－（地震時の重傷者数＋医療機関での死者数）－被災した医療機関からの転院患者数

外来需要量＝地震時の軽傷者数

医療対応力不足数（外来対応）

＝地震後の受入可能外来患者数－外来需要量

＝（市町別平常時外来患者数×医療機関使用可能率×ライフライン低下後の医療機能率）－地震時の軽傷者数

また、医療対応力不足数（入院対応）では、医療機関に運ばれ、そこで亡くなる死者も考慮しており、阪神・淡路大震災の事例から死者の10%が医療機関で亡くなるとする。

ここで、医療機関使用可能率（＝1－医療機関建物被害率）やライフライン低下後の医療機能率（＝1－ライフライン低下による医療機能低下率）は、次のとおり考える。

#### ①医療機関建物被害率

医療機関の施設も地域内の他の建築物と同比率で被害を受けると仮定し（病院は非木造建物被害率、診療所は全建物平均被害率と同じとする）、また、火災の直接の被害はなくても間接的な影響は大きいと考え、医療機関も当該地区の焼失率と同率の被害を受けると仮定する。【医療機関建物被害率＝全壊・焼失率＋1/2×半壊率】

ただし、次の病院は災害拠点病院として耐震化等の措置が施されており、災害時においても医療機能低下は発生しないものとする。

表 静岡県の災害拠点病院（平成 25 年 8 月 1 日現在）

静岡市	静岡県立総合病院、静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院、静岡市立静岡病院、静岡市立清水病院
浜松市	浜松医療センター、浜松医科大学医学部附属病院、浜松赤十字病院、聖隷三方原病院
沼津市	沼津市立病院
三島市	三島社会保険病院
富士宮市	富士宮市立病院
島田市	市立島田市民病院
富士市	富士市立中央病院
磐田市	磐田市立総合病院
焼津市	焼津市立総合病院
掛川市・袋井市	中東遠総合医療センター
藤枝市	藤枝市立総合病院
伊豆の国市	順天堂大学医学部附属静岡病院
清水町	静岡医療センター

②ライフライン機能低下による医療機能低下率

ライフライン機能低下による医療機能低下率も医療機関によってバックアップ電源などのライフライン途絶時の対応も異なり定量化が困難であるが、ここでは断水（あるいは停電）した場合、震度 6 強以上地域では医療機能の 60%がダウンし、それ以外の地域では 30%がダウンすると仮定する。したがって、このライフライン機能低下による医療機能低下率は【ライフライン低下による医療機能低下率＝ $(0.6 \times \text{震度 6 強以上比率} + 0.3 \times \text{震度 6 弱以下比率}) \times \text{ライフライン支障率}$ 】となる。ここではライフライン支障率は断水率と停電率の高い方とする（また、ここで、断水率・停電率は、医療機関にはある程度のバックアップがあることを考え、発災 1 日後のものを用いるものとする）。

ただし、災害拠点病院は耐震化等の措置が施されているため、災害時においても医療機能低下は発生しないものとする。

【参考】阪神・淡路大震災における医療機関の被害事例

神戸市では病院の被害率は約 90%、診療所の被害率は約 60%（＝医療機関の平均的被害率は約 60%）であり、兵庫県全体では病院の被害率は約 60%、診療所の被害率は約 40%（＝医療機関の平均的被害率は約 40%）であった（鶴飼ら（1995）の医療機関被害数データより算出）。医療機関での被害の大部分は高架水槽の損壊等の軽度な被害ではあるが、この医療機関での平均的被害率がライフライン機能低下による医療機能低下率と見なすこととする。ここで、神戸市での被害率（約 60%）を震度 6 強以上地域での医療機能低下率とし、神戸市での被害率と兵庫県全体の被害率を用いて算出される神戸市以外地域での被害率（約 30%）を震度 6 弱以下地域での医療機能低下率と見なすこととする。

③被災した医療機関からの転院患者数

医療機関が被災したとしても入院患者を全員転院させる必要があるのではなく、約 50%の入院患者が引き続き高度な治療を受けるため他の医療機関へ転院する必要があるとする。残り 50%の入院患者に関しては空きスペースや施設外で対応すると考える。したがって、本想定では被害を受けた医療機関における入院患者のうち 50%を転院する必要性があるとして、被災した医療機関からの転院患者数を求める。

【参考】阪神・淡路大震災における被災病院での転院事例

阪神・淡路大震災において、神戸市の病院では 2 施設が大破、2 施設が全焼している。大破は兵庫区の西市民病院と東灘区の宮地病院、全焼は長田区高橋病院、兵庫区中山病院である。西市民病院では入院患者の約 54%が転院している（神戸市（1996）より）。また、宮地病院では 1 階部分が崩壊し瓦礫と化し、高橋病院・中山病院は全焼しており、転院患者数についての詳細は不明であるが、医療機能はほとんど維持されなかったものと推測される。

なお、中破程度の被害であった灘区神鋼病院ではライフライン被害等により医療器具等が不能となり全入院患者を転院させている（転院率 100%）。また、被害が軽微であった東灘区六甲アイランド病院では 3%の人が転院している（切田学・横田順一郎（1995）より）。

以上から、転院の状況は被災規模や障害要因にも依るため、被災したといっても一概に全員転

院すべきとは限らないが、西市民病院で見られたような中間層崩壊といった被害レベルで 50% の転院を行ったこと、こうした被害は典型的に起こり得ること、またライフライン被害でも転院する必要性が高いことを重視し、ここでは被災した医療機関では中間的な被害レベルとして 50% 程度の入院患者を転院させるものと設定する。

以上の場合、災害発生後の被災した医療機関からの転院患者数は次式で算出される。

$$\text{被災した医療機関からの転院患者数} = \text{入院患者数} \times (\text{医療機関建物被害率} + \text{ライフライン低下による医療機能低下率} - \text{医療機関建物被害率} \times \text{ライフライン低下による医療機能低下率}) \times 0.5$$

## (2) 医師 1 人当たり診療すべき患者数

(1) の医療対応力不足数では、震後における膨大な数の負傷者数の発生に対する医療機関の対応能力として病床数や平常時外来患者数を指標として考えた。ここでは、静岡県における医師数の現況を踏まえ、医療施設に従事する医師 1 人当たり診療すべき患者数を推定する。

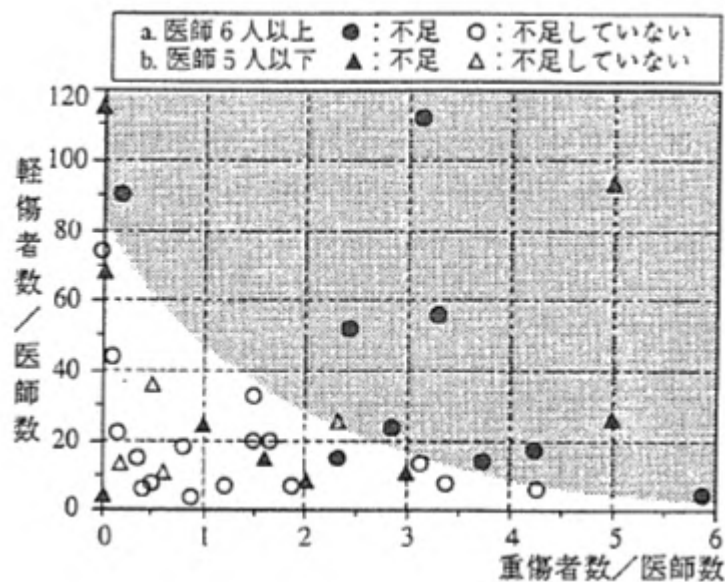
地震により発生した重傷患者数+医療機関での死者数、軽傷患者数をそれぞれ外科系医師数、外科系以外医師数で割ることで、医師 1 人当たり診療すべき患者数を算出する。ここで、外科系医師とは外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、美容外科、小児外科の医師とする。外科系医師は重傷患者の対応に当たるため、軽傷患者については外科系以外の医師が対応するとする。また、医療機関での死者数は、阪神・淡路大震災での事例より全死者数の 10% とする。

以下に医師 1 人当たり診療すべき患者数の想定式を示す。

$$\begin{aligned} \text{外科系医師 1 人当たり診療すべき患者数} &= (\text{重傷者数} + \text{医療機関での死者数}) / \text{外科系医師数} \\ \text{外科系以外の医師 1 人当たり診療すべき患者数} &= \text{軽傷者数} / \text{外科系以外の医師数} \end{aligned}$$

(参考：阪神・淡路大震災における医師 1 人当たり対応患者数)

阪神・淡路大震災の病院実態調査(今泉ら、1996)によると、震災直後の 3 日間はほぼすべての病院が X 線、検査、人工透析、手術などの医療活動が行えない状態にあり、医師を支えるインフラが最低限の状態での救急治療であった。この調査による医師 1 人当たりの対応重傷者数、軽傷者数を次図に示す。



網掛け部は「医師不足」部分を表す

図 VIII-1.1 医師 1 人当たり対応患者数 (今泉ら、1996)

この図から判断すると、地震後の混乱した状況の中で、医師 1 人当たりの対応重傷者数は約 5 人/日、対応軽傷者数は約 70 人/日が限界と考えられる。

### (3) 救急搬送充足率

「救急搬送充足率」とは「理想的に通常どおり静岡県内の全ての救急車が 24 時間休みなく稼働し、重傷者及び医療機関で亡くなる死者を対象に救急車で 1 人 1 台にて搬送すると仮定して救急搬送できる患者数の割合」と定義する。

具体的には、静岡県内の救急車台数に時間（24 時間）を乗じて救急車の総稼働時間を求め、1 台あたりの 119 番通報入電から病院収容までと病院搬入出にかかる所要時間で除することにより全ての救急車が 24 時間休みなく稼働した場合の搬送可能人数を算出する。この搬送可能人数を「重傷者数+医療機関で亡くなる死者数」で除することにより、「救急搬送充足率」を算出する。なお、病院搬入出にかかる所要時間は 10 分と見積もることとする。

算出式は、以下のとおりである。

$$\text{救急搬送充足率} = \frac{\text{救急車台数} \times 24 (\text{時間}) \times 60 (\text{分})}{(\text{119 番通報入電から病院収容までの平均時間 (分)} + \text{病院搬入出時間 (10 分)}) \times (\text{重傷者数} + \text{医療機関で亡くなる死者数})}$$

ここで、総務省消防庁（2012a）によると、

救急車台数=167 台（静岡県）

119 番通報入電から病院収容までの平均時間=34.9 分（静岡県）

であるが、災害時には情報伝達の遅れ、交通渋滞、医療機関等での混乱などにより患者の病院への搬送にはより多くの時間がかかると考えられることから、「(119 番通報入電から) 病院収容までの平均時間」は平常時の 2 倍かかるものとする。

### (4) 日常受療困難者数

避難所避難者とそれ以外の従前の住宅で生活する人とを区分し、それぞれの日常の 1 日当たり医療需要の発生量と、建物被害や火災被害等による医療機能低下を考慮した医療サービスの供給可能量とを地域ごとに比較し、日常受療が困難となる患者数の推計を行う。

過酷な避難所生活や過度のストレスなどで肺炎等の病気にかかったり、病状を悪化させたりする人が多数発生することが想定されるが、これら避難所避難者への医療救護体制の確保は非常に重要な対策であると考えられる。避難所避難者にとどまらず、医療機関が被災することによって、日常の治療を受けられなくなる患者が多数発生することも考えられる。

まず、避難所避難者とそれ以外の人に区分し、平常時の受療率を考慮することで日常医療需要者数を推定する。避難所避難者は長引く避難所生活による過度のストレスなどにより、平常生活よりも受療率が高くなることが考えられる。過去の災害でも様々な病状で約 2~3 倍の受療増加率が見られたことが報告されている。ここでは、避難所避難者の受療増加率（入院、外来）を 2 倍とする。

一方、供給側の医療機関は建物自体の損壊や火災などの直接的・間接的な影響で医療機能の低下が考えられる。ここでは、発災数日後（1 週間後とする）における日常医療需要の発生と医療機能低下を想定するため、医療機関のライフライン機能は優先作業によりほぼ復旧していると仮定し、ライフライン支障による医療機能低下はないものとする。医療機能低下の要因としては、建物自体の損壊を考慮する（病院は非木造建物被害率、診療所は全建物平均被害率と同じとする）。ただし、災害拠点病院は耐震化等の措置が施されているため、災害時においても医療機能低下は発生しないものとする。

この被害想定では、地震による医療サービスの低下によって医療制約を受ける患者を日常医療困難者数として定義し、日常医療需要者数と医療機関の震後の受入れ可能数との差で表す。これは、医療機関の被災による供給側の医療機能の低下と、避難所生活等震災の精神的・身体的影響による医療需要の増加の和を定量化したものである。

以下に日常医療困難者数の想定手法を示す。

日常医療需要者数（避難所生活者）

= 避難所避難者数（1週間後）×受療率×受療増加率（=2）

日常医療需要者数（従前住宅等）

=（市町別人口－避難所避難者数（1週間後））×受療率

医療機関の震後の受入れ可能数＝市町別人口×受療率×（1－医療機関被害率）

日常受療困難者数

= 日常医療需要者数（避難所避難者）＋日常医療需要者数（従前住宅等）

－医療機関の震後の受入れ可能数（入院、外来、出生の別）

ここで、受療率（入院、外来）は厚生労働省（2012b）に基づく。受療率（出生）は、厚生労働省（2013b）に基づき1日当たり出生数÷人口とする。また、医療機関被害率＝全壊・焼失率+1/2×半壊率である。

## VIII－２．医療機能支障の想定結果

以下の医療機能支障の想定結果を示す。地震の発生時間帯としては、負傷者数が最大となる昼に発災した場合を前提とする（なお、火災やライフライン被害は冬夕発災を前提としたものを適用）。

### ・医療対応力不足数

県内の医療機関においては建物被害やライフライン機能支障等により対応力が低下する中、重傷者や軽傷者等の膨大な数の医療需要が発生する。重傷者、医療機関で結果的に亡くなる者及び被災した医療機関からの転院患者を入院需要、軽傷者を外来需要とした場合、県全体で対応が難しくなる患者数は最大で入院が約４万人、外来が約３万人と想定される（※）

（※）入院、外来の対応可能数については、地震による被災を免れた医療機関の空床数、外来患者対応可能数を基にしている。なお、発災当初の新規の医療需要としては、地震起因のものに優先的に対応することとしている。

### ・医師一人当たり診療すべき患者数

地震後の混乱した状況の中で、医師１人当たりの対応重傷者数は約５人/日、対応軽傷者数は約７０人/日が限界と考えられるが、外科系医師が重傷者に対し、外科系以外の医師が軽傷者に対して発災当日に対応しようとした場合、特に重傷者対応が困難を極めると考えられる。

### ・救急搬送充足率

県全体の救急車で対応した場合でも、駿河トラフ・南海トラフ沿いの地震・津波が発生した場合には救急搬送充足率が大幅に不足する。

### ・日常受療困難者数

医療機関が被災することによって、日常の治療を受けられなくなる患者が多数発生すると想定される。駿河トラフ・南海トラフ沿いの地震・津波が発生した場合には最大で約７万５千人の日常受療困難者数に上ると考えられる（参考：平常時の１日当たりの入院・外来患者数は厚生労働省（2012b）より約１９万人であるため、医療機関の診療能力は最大で４割減となっている）。

(1) 医療対応力不足数

表 VIII-2.1 医療対応力不足数  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

二次医療圏	市町名	対応可能 入院患者数	要転院 患者数	重傷者数 +病院死者数	対応可能 外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
県計		約5,000	約2,500	約32,000	約34,000	約54,000	約30,000	約21,000
賀茂	下田市	約20	約20	約70	約300	約200	約70	-
	東伊豆町	約20	約10	約10	約200	約70	-	-
	河津町	約10	約10	-	約90	約20	-	-
	南伊豆町	-	-	約20	約200	約40	約20	-
	松崎町	-	-	約200	約20	約300	約200	約200
	西伊豆町	約10	約10	約300	約60	約200	約300	約200
	(小計)	約60	約50	約600	約800	約900	約600	約70
熱海伊東	熱海市	約70	約40	約10	約1,000	約100	-	-
	伊東市	約70	約40	約30	約600	約400	約10	-
	(小計)	約100	約90	約40	約1,600	約500	-	-
駿東東方	沼津市	約300	約100	約400	約2,000	約700	約100	-
	三島市	約100	約30	約40	約1,000	約200	-	-
	御殿場市	約200	約90	約80	約500	約300	-	-
	裾野市	約50	約20	約40	約400	約200	約10	-
	伊豆市	約60	約30	約100	約300	約300	約90	-
	伊豆の国市	約200	約20	約20	約1,800	約100	-	-
	函南町	約20	約10	約10	約300	約50	-	-
	清水町	約200	約10	約10	約600	約50	-	-
	長泉町	約100	約60	約20	約1,300	約80	-	-
	小山町	約20	約10	約10	約100	約40	-	-
	(小計)	約1,300	約400	約700	約8,300	約1,900	-	-
富士	富士宮市	約200	約60	約200	約1,300	約800	約50	-
	富士市	約300	約90	約200	約2,400	約1,100	-	-
	(小計)	約600	約200	約400	約3,700	約1,900	約40	-
静岡	静岡市葵区	約600	約300	約2,100	約4,300	約4,900	約1,700	約700
	静岡市駿河区	約200	約200	約1,400	約1,200	約3,300	約1,400	約2,100
	静岡市清水区	約200	約100	約1,800	約1,200	約4,300	約1,700	約3,100
	(小計)	約1,000	約500	約5,300	約6,600	約13,000	約4,800	約5,900
志太榛原	島田市	約200	-	約1,600	約1,100	約2,200	約1,400	約1,200
	焼津市	約200	約100	約2,000	約1,200	約3,900	約1,900	約2,800
	藤枝市	約200	約50	約2,600	約1,200	約3,100	約2,500	約1,900
	牧之原市	約40	約80	約800	約50	約1,200	約800	約1,200
	吉田町	-	-	約300	約30	約500	約300	約500
	川根本町	-	-	約20	約10	約50	約20	約40
	(小計)	約600	約200	約7,300	約3,600	約11,000	約6,900	約7,500
中東遠	磐田市	約200	約50	約3,200	約1,400	約3,800	約3,100	約2,300
	掛川市	約100	約50	約2,000	約700	約3,300	約2,000	約2,600
	袋井市	約80	約20	約2,400	約500	約2,600	約2,300	約2,100
	御前崎市	約30	約40	約500	約100	約700	約500	約600
	菊川市	約30	約50	約600	約200	約900	約700	約700
	森町	約20	約30	約900	約50	約1,200	約900	約1,100
(小計)	約500	約200	約9,700	約2,900	約12,000	約9,400	約9,400	
西部	浜松市中区	約200	約400	約2,300	約1,800	約3,700	約2,500	約1,900
	浜松市東区	約200	約100	約1,100	約1,800	約1,800	約1,000	-
	浜松市西区	約10	約40	約1,300	約200	約2,000	約1,400	約1,900
	浜松市南区	約10	約30	約1,800	約100	約2,400	約1,800	約2,300
	浜松市北区	約200	約20	約300	約1,300	約700	約100	-
	浜松市浜北区	約100	約100	約500	約600	約1,000	約400	約300
	浜松市天竜区	約10	約10	約70	約100	約200	約60	約100
	湖西市	約30	約60	約700	約100	約1,000	約700	約900
(小計)	約800	約800	約8,000	約6,100	約13,000	約8,000	約6,800	

※発災当初の新規の医療需要としては、地震起因のものに優先的に対応した場合が前提

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VIII-2.2 医療対応力不足数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

二次医療圏	市町名	対応可能 入院患者数	要転院 患者数	重傷者数 +病院死者数	対応可能 外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
県計		約5,000	約2,500	約40,000	約33,000	約58,000	約37,000	約25,000
賀茂	下田市	約10	約30	約400	約200	約200	約400	約10
	東伊豆町	約20	約10	約30	約100	約70	約30	-
	河津町	約10	約10	約50	約80	約30	約50	-
	南伊豆町	-	-	約200	約100	約40	約200	-
	松崎町	-	-	約300	約10	約90	約300	約80
	西伊豆町	約10	約20	約400	約40	約90	約400	約50
	(小計)	約40	約80	約1,300	約600	約600	約1,300	-
熱海伊東	熱海市	約70	約50	約20	約1,000	約100	-	-
	伊東市	約70	約40	約50	約600	約400	約30	-
	(小計)	約100	約90	約70	約1,600	約600	約20	-
駿東東方	沼津市	約300	約100	約1,000	約1,900	約1,000	約800	-
	三島市	約100	約30	約40	約1,000	約200	-	-
	御殿場市	約200	約90	約80	約500	約300	-	-
	裾野市	約50	約20	約40	約400	約200	約10	-
	伊豆市	約60	約30	約200	約300	約200	約100	-
	伊豆の国市	約200	約20	約20	約1,800	約100	-	-
	函南町	約20	約10	約10	約300	約50	-	-
	清水町	約200	約10	約10	約600	約50	-	-
	長泉町	約100	約60	約20	約1,300	約80	-	-
	小山町	約20	約10	約10	約100	約40	-	-
	(小計)	約1,300	約400	約1,400	約8,200	約2,300	約500	-
	富士	富士宮市	約200	約60	約200	約1,300	約800	約50
富士市		約300	約100	約300	約2,400	約1,200	約10	-
(小計)		約600	約200	約500	約3,700	約1,900	約60	-
静岡	静岡市葵区	約600	約300	約2,100	約4,300	約4,900	約1,700	約700
	静岡市駿河区	約200	約200	約1,800	約1,200	約3,900	約1,800	約2,700
	静岡市清水区	約200	約100	約2,400	約1,200	約4,700	約2,400	約3,500
	(小計)	約1,000	約600	約6,400	約6,600	約14,000	約5,900	約6,900
志太榛原	島田市	約200	-	約1,600	約1,100	約2,200	約1,400	約1,200
	焼津市	約200	約100	約3,700	約1,200	約5,400	約3,600	約4,200
	藤枝市	約200	約50	約2,600	約1,200	約3,100	約2,500	約1,900
	牧之原市	約30	約90	約1,800	約40	約1,600	約1,800	約1,500
	吉田町	-	-	約700	約30	約800	約700	約800
	川根本町	-	-	約20	約10	約50	約20	約40
	(小計)	約600	約300	約10,000	約3,600	約13,000	約10,000	約9,600
中東遠	磐田市	約200	約50	約3,500	約1,400	約4,000	約3,300	約2,500
	掛川市	約100	約50	約2,100	約700	約3,300	約2,000	約2,600
	袋井市	約80	約20	約2,400	約500	約2,600	約2,300	約2,100
	御前崎市	約30	約40	約700	約90	約800	約800	約700
	菊川市	約30	約50	約600	約200	約900	約700	約700
	森町	約20	約30	約900	約50	約1,200	約900	約1,100
(小計)	約500	約200	約10,000	約2,900	約13,000	約9,900	約9,700	
西部	浜松市中区	約200	約400	約2,300	約1,800	約3,700	約2,500	約1,900
	浜松市東区	約200	約100	約1,100	約1,800	約1,800	約1,000	-
	浜松市西区	約10	約50	約2,000	約100	約2,300	約2,000	約2,100
	浜松市南区	約10	約30	約2,400	約100	約2,800	約2,400	約2,700
	浜松市北区	約200	約20	約300	約1,300	約700	約100	-
	浜松市浜北区	約100	約100	約500	約600	約1,000	約400	約300
	浜松市天竜区	約10	約10	約70	約100	約200	約60	約100
	湖西市	約20	約60	約900	約100	約1,100	約1,000	約1,000
	(小計)	約800	約800	約9,600	約6,100	約14,000	約9,600	約7,500

※発災当初の新規の医療需要としては、地震起因のものに優先的に対応した場合が前提

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



表 VIII-2.3 医療対応力不足数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

二次医療圏	市町名	対応可能 入院患者数	要転院 患者数	重傷者数 +病院死者数	対応可能 外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
県計		約5,200	約2,400	約45,000	約34,000	約58,000	約42,000	約23,000
賀茂	下田市	約10	約30	約300	約200	約100	約300	-
	東伊豆町	約20	約10	約30	約100	約50	約20	-
	河津町	約10	約10	約40	約80	約20	約40	-
	南伊豆町	-	-	約200	約100	約20	約200	-
	松崎町	-	-	約300	約20	約50	約300	約30
	西伊豆町	約10	約20	約400	約40	約50	約400	約10
	(小計)	約50	約70	約1,200	約700	約300	約1,200	-
熱海伊東	熱海市	約70	約40	約10	約1,000	約90	-	-
	伊東市	約70	約40	約20	約600	約300	-	-
	(小計)	約100	約80	約30	約1,600	約400	-	-
駿東東方	沼津市	約300	約100	約1,000	約2,000	約700	約700	-
	三島市	約100	約30	-	約1,000	約80	-	-
	御殿場市	約200	約90	約70	約500	約200	-	-
	裾野市	約50	約20	約10	約400	約60	-	-
	伊豆市	約60	約30	約100	約300	約100	約80	-
	伊豆の国市	約200	約20	約10	約1,800	約90	-	-
	函南町	約20	約10	-	約300	約20	-	-
	清水町	約200	約10	-	約600	約20	-	-
	長泉町	約100	約60	-	約1,300	約30	-	-
	小山町	約20	約10	約10	約100	約40	-	-
	(小計)	約1,300	約400	約1,200	約8,300	約1,400	約300	-
	富士	富士宮市	約200	約50	約40	約1,400	約200	-
富士市		約400	約80	約70	約2,600	約400	-	-
(小計)		約600	約100	約100	約3,900	約700	-	-
静岡	静岡市葵区	約700	約200	約500	約4,800	約1,700	-	-
	静岡市駿河区	約300	約90	約700	約1,500	約1,700	約500	約200
	静岡市清水区	約200	約80	約1,100	約1,400	約1,900	約900	約500
	(小計)	約1,200	約300	約2,300	約7,700	約5,300	約1,400	-
志太榛原	島田市	約200	-	約800	約1,100	約1,400	約600	約300
	焼津市	約300	約80	約2,100	約1,400	約2,800	約2,000	約1,400
	藤枝市	約200	約20	約700	約1,600	約1,300	約400	-
	牧之原市	約50	約70	約1,400	約50	約1,200	約1,500	約1,100
	吉田町	-	-	約500	約50	約500	約500	約500
	川根本町	-	-	約20	約10	約70	約20	約60
	(小計)	約700	約200	約5,600	約4,200	約7,300	約5,000	約3,100
中東遠	磐田市	約200	約50	約5,100	約1,400	約5,500	約4,900	約4,100
	掛川市	約100	約50	約1,800	約700	約3,000	約1,700	約2,300
	袋井市	約90	約20	約1,900	約500	約2,100	約1,900	約1,700
	御前崎市	約40	約30	約400	約100	約400	約400	約300
	菊川市	約30	約40	約600	約200	約800	約600	約600
	森町	約10	約30	約1,500	約40	約1,700	約1,500	約1,600
(小計)	約500	約200	約11,000	約2,900	約14,000	約11,000	約11,000	
西部	浜松市中区	約200	約400	約4,600	約1,400	約6,500	約4,900	約5,100
	浜松市東区	約200	約200	約3,000	約1,500	約4,000	約3,000	約2,400
	浜松市西区	約10	約50	約4,000	約80	約4,400	約4,000	約4,300
	浜松市南区	-	約40	約3,100	約80	約3,700	約3,200	約3,600
	浜松市北区	約200	約30	約2,400	約1,200	約3,000	約2,200	約1,800
	浜松市浜北区	約100	約200	約2,800	約500	約3,400	約2,800	約2,800
	浜松市天竜区	約10	約20	約700	約80	約1,100	約700	約1,100
	湖西市	約10	約80	約2,500	約50	約2,700	約2,600	約2,600
	(小計)	約700	約1,000	約23,000	約5,000	約29,000	約23,000	約24,000

※発災当初の新規の医療需要としては、地震起因のものに優先的に対応した場合が前提

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VIII-2.4 医療対応力不足数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

二次医療圏	市町名	対応可能 入院患者数	要転院 患者数	重傷者数 +病院死者数	対応可能 外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
県計		約4,900	約2,600	約43,000	約33,000	約62,000	約41,000	約29,000
賀茂	下田市	約10	約30	約400	約200	約400	約400	約200
	東伊豆町	約20	約10	約50	約100	約100	約50	-
	河津町	約10	約10	約50	約80	約50	約60	-
	南伊豆町	-	-	約200	約100	約70	約200	-
	松崎町	-	-	約400	約10	約100	約400	約100
	西伊豆町	約10	約20	約400	約30	約200	約400	約100
	(小計)	約40	約80	約1,500	約600	約900	約1,500	約300
熱海伊東	熱海市	約70	約50	約30	約1,000	約200	約10	-
	伊東市	約70	約50	約100	約600	約600	約90	約30
	(小計)	約100	約90	約100	約1,500	約800	約90	-
駿東東方	沼津市	約300	約100	約1,100	約1,800	約1,300	約900	-
	三島市	約100	約30	約60	約1,000	約300	-	-
	御殿場市	約200	約100	約100	約500	約400	約50	-
	裾野市	約40	約20	約30	約400	約200	約10	-
	伊豆市	約60	約30	約200	約300	約400	約200	約90
	伊豆の国市	約200	約20	約50	約1,800	約200	-	-
	函南町	約20	約10	約10	約300	約60	-	-
	清水町	約200	約10	約10	約600	約70	-	-
	長泉町	約100	約60	約30	約1,300	約100	-	-
	小山町	約20	約10	約20	約100	約80	約10	-
	(小計)	約1,200	約400	約1,700	約8,000	約3,000	約900	-
	富士	富士宮市	約200	約90	約400	約1,100	約1,200	約300
富士市		約300	約100	約500	約2,100	約1,800	約300	-
(小計)		約500	約200	約900	約3,200	約3,000	約600	-
静岡	静岡市葵区	約600	約200	約800	約4,500	約2,600	約400	-
	静岡市駿河区	約200	約100	約1,200	約1,200	約2,700	約1,100	約1,500
	静岡市清水区	約200	約100	約3,300	約1,100	約5,900	約3,200	約4,800
	(小計)	約1,000	約500	約5,300	約6,800	約11,000	約4,700	約4,400
志太榛原	島田市	約200	-	約1,300	約1,100	約2,000	約1,200	約900
	焼津市	約200	約100	約2,500	約1,300	約3,600	約2,400	約2,300
	藤枝市	約200	約40	約1,100	約1,400	約1,800	約900	約400
	牧之原市	約30	約90	約2,400	約30	約2,300	約2,500	約2,300
	吉田町	-	-	約800	約20	約800	約800	約800
	川根本町	-	-	約30	約10	約70	約30	約60
	(小計)	約600	約200	約8,200	約3,800	約11,000	約7,800	約6,800
中東遠	磐田市	約200	約50	約3,900	約1,400	約4,300	約3,700	約2,900
	掛川市	約100	約60	約2,900	約700	約4,100	約2,800	約3,500
	袋井市	約80	約20	約2,700	約400	約3,000	約2,700	約2,500
	御前崎市	約20	約50	約1,400	約60	約1,500	約1,400	約1,500
	菊川市	約20	約50	約1,600	約100	約1,700	約1,600	約1,600
	森町	約10	約30	約1,600	約40	約1,700	約1,600	約1,700
(小計)	約500	約300	約14,000	約2,700	約16,000	約14,000	約14,000	
西部	浜松市中区	約200	約400	約1,800	約1,800	約3,100	約1,900	約1,200
	浜松市東区	約200	約100	約1,400	約1,800	約2,100	約1,300	約300
	浜松市西区	約10	約50	約2,500	約100	約2,800	約2,500	約2,600
	浜松市南区	約10	約30	約2,100	約100	約2,500	約2,100	約2,400
	浜松市北区	約200	約20	約600	約1,300	約1,100	約400	-
	浜松市浜北区	約100	約100	約900	約600	約1,400	約900	約800
	浜松市天竜区	約10	約10	約100	約100	約300	約100	約200
	湖西市	約10	約80	約2,300	約50	約2,400	約2,400	約2,400
	(小計)	約800	約800	約12,000	約5,900	約16,000	約12,000	約9,800

※発災当初の新規の医療需要としては、地震起因のものに優先的に対応した場合が前提

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VIII-2.5 医療対応力不足数  
(大正型関東地震)

二次医療圏	市町名	対応可能 入院患者数	要転院 患者数	重傷者数 +病院死者数	対応可能 外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
県計		約6,700	約400	約1,700	約46,000	約4,900	-	-
賀茂	下田市	約30	-	約10	約400	約50	-	-
	東伊豆町	約20	-	約10	約200	約50	-	-
	河津町	約10	-	-	約100	約10	-	-
	南伊豆町	-	-	-	約200	約10	-	-
	松崎町	-	-	-	約30	約10	-	-
	西伊豆町	約20	-	-	約100	約10	-	-
	(小計)	約80	約10	約20	約1,100	約100	-	-
熱海伊東	熱海市	約60	約60	約300	約800	約600	約300	-
	伊東市	約80	約20	約300	約700	約800	約200	約100
	(小計)	約100	約80	約600	約1,500	約1,500	約500	-
駿東地方	沼津市	約400	約40	約40	約2,300	約400	-	-
	三島市	約100	約20	約80	約1,100	約300	-	-
	御殿場市	約200	約100	約600	約400	約1,000	約600	約600
	裾野市	約50	約10	約50	約400	約200	約10	-
	伊豆市	約80	約10	約30	約400	約200	-	-
	伊豆の国市	約200	約10	約40	約1,800	約200	-	-
	函南町	約20	約10	約20	約300	約90	約10	-
	清水町	約200	約10	約10	約600	約50	-	-
	長泉町	約200	約30	約10	約1,500	約70	-	-
	小山町	約10	約20	約200	約80	約300	約200	約300
	(小計)	約1,400	約300	約1,100	約9,100	約2,800	約50	-
富士	富士宮市	約300	約10	-	約1,600	約50	-	-
	富士市	約400	約10	-	約3,100	約100	-	-
	(小計)	約700	約20	約10	約4,700	約200	-	-
静岡	静岡市葵区	約800	-	-	約5,400	約90	-	-
	静岡市駿河区	約300	-	-	約1,800	約50	-	-
	静岡市清水区	約300	-	-	約1,800	約90	-	-
	(小計)	約1,500	-	-	約9,000	約200	-	-
志太榛原	島田市	約200	-	-	約1,200	約10	-	-
	焼津市	約300	-	-	約1,700	約20	-	-
	藤枝市	約300	-	-	約2,000	約10	-	-
	牧之原市	約100	-	-	約200	-	-	-
	吉田町	-	-	-	約100	-	-	-
	川根本町	-	-	-	約20	-	-	-
	(小計)	約900	-	-	約5,100	約40	-	-
中東遠	磐田市	約300	-	-	約2,200	約10	-	-
	掛川市	約200	-	-	約1,100	約10	-	-
	袋井市	約100	-	-	約800	-	-	-
	御前崎市	約80	-	-	約300	-	-	-
	菊川市	約90	-	-	約500	-	-	-
	森町	約50	-	-	約200	-	-	-
	(小計)	約800	-	-	約5,100	約30	-	-
西部	浜松市中区	約500	-	-	約4,000	約20	-	-
	浜松市東区	約300	-	-	約3,000	約10	-	-
	浜松市西区	約40	-	-	約600	-	-	-
	浜松市南区	約30	-	-	約400	約10	-	-
	浜松市北区	約200	-	-	約1,500	-	-	-
	浜松市浜北区	約200	-	-	約800	-	-	-
	浜松市天竜区	約20	-	-	約200	-	-	-
	湖西市	約60	-	-	約300	-	-	-
	(小計)	約1,300	-	-	約11,000	約40	-	-

※発災当初の新規の医療需要としては、地震起因のものに優先的に対応した場合が前提

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VIII-2.6 医療対応力不足数  
(元禄型関東地震)

二次医療圏	市町名	対応可能 入院患者数	要転院 患者数	重傷者数 +病院死者数	対応可能 外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
県計		約6,600	約500	約2,900	約46,000	約7,200	-	-
賀茂	下田市	約30	約10	約70	約400	約100	約60	-
	東伊豆町	約20	-	約10	約200	約70	-	-
	河津町	約10	-	約10	約100	約20	-	-
	南伊豆町	-	-	約20	約200	約20	約20	-
	松崎町	-	-	-	約30	約10	-	-
	西伊豆町	約20	-	-	約100	約10	-	-
	(小計)	約80	約20	約100	約1,100	約300	約60	-
熱海伊東	熱海市	約50	約80	約500	約700	約800	約500	約60
	伊東市	約70	約40	約500	約600	約1,400	約500	約800
	(小計)	約100	約100	約1,000	約1,300	約2,200	約1,000	約900
駿東地方	沼津市	約300	約70	約100	約2,200	約600	-	-
	三島市	約100	約20	約200	約1,000	約500	約100	-
	御殿場市	約200	約100	約800	約400	約1,200	約800	約800
	裾野市	約40	約20	約100	約300	約400	約90	約50
	伊豆市	約80	約10	約50	約400	約200	-	-
	伊豆の国市	約200	約20	約80	約1,800	約300	-	-
	函南町	約20	約10	約40	約300	約100	約30	-
	清水町	約200	約10	約20	約600	約90	-	-
	長泉町	約200	約50	約50	約1,400	約100	-	-
	小山町	約10	約20	約300	約70	約400	約300	約300
	(小計)	約1,300	約400	約1,800	約8,500	約4,000	約900	-
富士	富士宮市	約300	約10	-	約1,600	約60	-	-
	富士市	約400	約20	約10	約3,100	約200	-	-
	(小計)	約700	約30	約10	約4,600	約300	-	-
静岡	静岡市葵区	約800	約10	-	約5,400	約100	-	-
	静岡市駿河区	約300	-	-	約1,800	約70	-	-
	静岡市清水区	約300	約10	約10	約1,700	約100	-	-
	(小計)	約1,400	約10	約10	約8,900	約300	-	-
志太榛原	島田市	約200	-	-	約1,200	約10	-	-
	焼津市	約300	-	-	約1,700	約30	-	-
	藤枝市	約300	-	-	約2,000	約20	-	-
	牧之原市	約100	-	約10	約200	約20	-	-
	吉田町	-	-	-	約100	-	-	-
	川根本町	-	-	-	約20	-	-	-
	(小計)	約900	-	約10	約5,100	約70	-	-
中東遠	磐田市	約300	-	-	約2,200	約10	-	-
	掛川市	約200	-	-	約1,100	約10	-	-
	袋井市	約100	-	-	約800	約10	-	-
	御前崎市	約80	-	約20	約300	約40	-	-
	菊川市	約90	-	-	約500	-	-	-
	森町	約50	-	-	約200	-	-	-
(小計)	約800	-	約20	約5,100	約70	-	-	
西部	浜松市中区	約500	-	-	約4,000	約30	-	-
	浜松市東区	約300	-	-	約3,000	約10	-	-
	浜松市西区	約40	-	-	約600	-	-	-
	浜松市南区	約30	-	-	約400	約10	-	-
	浜松市北区	約200	-	-	約1,500	-	-	-
	浜松市浜北区	約200	-	-	約800	-	-	-
	浜松市天竜区	約20	-	-	約200	約10	-	-
	湖西市	約60	-	-	約300	-	-	-
	(小計)	約1,300	-	-	約11,000	約60	-	-

※発災当初の新規の医療需要としては、地震起因のものに優先的に対応した場合が前提

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (2) 医師一人当たり診療すべき患者数

表 VIII-2.7 医師一人当たり診療すべき患者数  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

二次医療圏	市町名	医療施設従事医師数		医療需要		医師一人当たり診療すべき患者数	
		外科系	外科系以外	重傷者+病院死者	軽傷者数	外科系	外科系以外
	県計	1,526	5,357	約32,000	約54,000	21	10
賀茂	下田市	5	29	約70	約200	13	8
	東伊豆町	8	7	約10	約70	1	10
	河津町	2	8	-	約20	2	2
	南伊豆町	5	12	約20	約40	4	4
	松崎町	0	5	約200	約300	-	53
	西伊豆町	1	7	約300	約200	254	36
	(小計)	21	68	約600	約900	27	13
熱海伊東	熱海市	40	112	約10	約100	0	1
	伊東市	18	74	約30	約400	2	6
	(小計)	58	186	約40	約500	1	3
駿東田方	沼津市	86	255	約400	約700	4	3
	三島市	37	131	約40	約200	1	2
	御殿場市	25	68	約80	約300	3	4
	裾野市	12	53	約40	約200	3	3
	伊豆市	18	37	約100	約300	7	7
	伊豆の国市	54	192	約20	約100	0	1
	函南町	6	45	約10	約50	1	1
	清水町	27	56	約10	約50	0	1
	長泉町	80	142	約20	約80	0	1
	小山町	6	15	約10	約40	1	3
	(小計)	351	994	約700	約1,900	2	2
富士	富士宮市	42	129	約200	約800	5	6
	富士市	85	261	約200	約1,100	3	4
	(小計)	127	390	約400	約1,900	3	5
静岡	静岡市葵区	186	729	約2,100	約4,900	11	7
	静岡市駿河区	60	243	約1,400	約3,300	24	14
	静岡市清水区	63	233	約1,800	約4,300	28	18
	(小計)	309	1,205	約5,300	約13,000	17	10
志太榛原	島田市	35	109	約1,600	約2,200	46	20
	焼津市	46	155	約2,000	約3,900	43	25
	藤枝市	61	181	約2,600	約3,100	43	17
	牧之原市	5	20	約800	約1,200	151	62
	吉田町	2	12	約300	約500	164	45
	川根本町	0	3	約20	約50	-	17
	(小計)	149	480	約7,300	約11,000	49	23
中東遠	磐田市	45	204	約3,200	約3,800	72	19
	掛川市	26	108	約2,000	約3,300	79	30
	袋井市	21	67	約2,400	約2,600	113	38
	御前崎市	7	24	約500	約700	75	31
	菊川市	13	48	約600	約900	49	18
	森町	7	11	約900	約1,200	128	105
	(小計)	119	462	約9,700	約12,000	82	27
西部	浜松市中区	134	591	約2,300	約3,700	17	6
	浜松市東区	121	427	約1,100	約1,800	9	4
	浜松市西区	25	75	約1,300	約2,000	53	27
	浜松市南区	17	59	約1,800	約2,400	105	41
	浜松市北区	50	224	約300	約700	6	3
	浜松市浜北区	32	117	約500	約1,000	15	8
	浜松市天竜区	1	35	約70	約200	67	7
	湖西市	12	44	約700	約1,000	55	24
(小計)	392	1,572	約8,000	約13,000	21	8	

※地震後の混乱した状況の中で、医師1人当たりの対応重傷者数は約5人/日、対応軽傷者数は約70人/日が限界と考えられる。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VIII-2.8 医師一人当たり診療すべき患者数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

二次医療圏	市町名	医療施設従事医師数		医療需要		医師一人当たり診療すべき患者数	
		外科系	外科系以外	重傷者+病院死者	軽傷者数	外科系	外科系以外
	県計	1,526	5,357	約40,000	約58,000	26	11
賀茂	下田市	5	29	約400	約200	71	8
	東伊豆町	8	7	約30	約70	4	11
	河津町	2	8	約50	約30	23	4
	南伊豆町	5	12	約200	約40	35	4
	松崎町	0	5	約300	約90	-	18
	西伊豆町	1	7	約400	約90	366	12
	(小計)	21	68	約1,300	約600	61	8
熱海伊東	熱海市	40	112	約20	約100	0	1
	伊東市	18	74	約50	約400	3	6
	(小計)	58	186	約70	約600	1	3
駿東田方	沼津市	86	255	約1,000	約1,000	12	4
	三島市	37	131	約40	約200	1	2
	御殿場市	25	68	約80	約300	3	4
	裾野市	12	53	約40	約200	3	3
	伊豆市	18	37	約200	約200	9	6
	伊豆の国市	54	192	約20	約100	0	1
	函南町	6	45	約10	約50	1	1
	清水町	27	56	約10	約50	0	1
	長泉町	80	142	約20	約80	0	1
	小山町	6	15	約10	約40	1	3
(小計)	351	994	約1,400	約2,300	4	2	
富士	富士宮市	42	129	約200	約800	5	6
	富士市	85	261	約300	約1,200	3	4
	(小計)	127	390	約500	約1,900	4	5
静岡	静岡市葵区	186	729	約2,100	約4,900	11	7
	静岡市駿河区	60	243	約1,800	約3,900	31	16
	静岡市清水区	63	233	約2,400	約4,700	39	20
	(小計)	309	1,205	約6,400	約14,000	21	11
志太榛原	島田市	35	109	約1,600	約2,200	46	20
	焼津市	46	155	約3,700	約5,400	80	35
	藤枝市	61	181	約2,600	約3,100	43	17
	牧之原市	5	20	約1,800	約1,600	351	78
	吉田町	2	12	約700	約800	372	65
	川根本町	0	3	約20	約50	-	17
	(小計)	149	480	約10,000	約13,000	70	27
中東遠	磐田市	45	204	約3,500	約4,000	77	19
	掛川市	26	108	約2,100	約3,300	80	30
	袋井市	21	67	約2,400	約2,600	113	38
	御前崎市	7	24	約700	約800	105	33
	菊川市	13	48	約600	約900	49	18
	森町	7	11	約900	約1,200	128	105
(小計)	119	462	約10,000	約13,000	85	27	
西部	浜松市中区	134	591	約2,300	約3,700	17	6
	浜松市東区	121	427	約1,100	約1,800	9	4
	浜松市西区	25	75	約2,000	約2,300	80	31
	浜松市南区	17	59	約2,400	約2,800	141	48
	浜松市北区	50	224	約300	約700	6	3
	浜松市浜北区	32	117	約500	約1,000	15	8
	浜松市天竜区	1	35	約70	約200	67	7
	湖西市	12	44	約900	約1,100	78	24
(小計)	392	1,572	約9,600	約14,000	24	9	

※地震後の混乱した状況の中で、医師1人当たりの対応重傷者数は約5人/日、対応軽傷者数は約70人/日が限界と考えられる。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VIII-2.9 医師一人当たり診療すべき患者数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

二次医療圏	市町名	医療施設従事医師数		医療需要		医師一人当たり診療すべき患者数	
		外科系	外科系以外	重傷者+病院死者	軽傷者数	外科系	外科系以外
	県計	1,526	5,357	約45,000	約58,000	29	11
賀茂	下田市	5	29	約300	約100	64	4
	東伊豆町	8	7	約30	約50	4	7
	河津町	2	8	約40	約20	21	3
	南伊豆町	5	12	約200	約20	34	2
	松崎町	0	5	約300	約50	-	9
	西伊豆町	1	7	約400	約50	352	7
	(小計)	21	68	約1,200	約300	57	5
熱海伊東	熱海市	40	112	約10	約90	0	1
	伊東市	18	74	約20	約300	1	4
	(小計)	58	186	約30	約400	1	2
駿東田方	沼津市	86	255	約1,000	約700	11	3
	三島市	37	131	-	約80	0	1
	御殿場市	25	68	約70	約200	3	4
	裾野市	12	53	約10	約60	0	1
	伊豆市	18	37	約100	約100	6	3
	伊豆の国市	54	192	約10	約90	0	0
	函南町	6	45	-	約20	0	0
	清水町	27	56	-	約20	0	0
	長泉町	80	142	-	約30	0	0
	小山町	6	15	約10	約40	2	3
(小計)	351	994	約1,200	約1,400	3	1	
富士	富士宮市	42	129	約40	約200	1	2
	富士市	85	261	約70	約400	1	2
	(小計)	127	390	約100	約700	1	2
静岡	静岡市葵区	186	729	約500	約1,700	3	2
	静岡市駿河区	60	243	約700	約1,700	12	7
	静岡市清水区	63	233	約1,100	約1,900	17	8
	(小計)	309	1,205	約2,300	約5,300	7	4
志太榛原	島田市	35	109	約800	約1,400	22	13
	焼津市	46	155	約2,100	約2,800	47	18
	藤枝市	61	181	約700	約1,300	11	7
	牧之原市	5	20	約1,400	約1,200	286	58
	吉田町	2	12	約500	約500	269	43
	川根本町	0	3	約20	約70	-	23
	(小計)	149	480	約5,600	約7,300	37	15
中東遠	磐田市	45	204	約5,100	約5,500	112	27
	掛川市	26	108	約1,800	約3,000	70	28
	袋井市	21	67	約1,900	約2,100	92	32
	御前崎市	7	24	約400	約400	61	19
	菊川市	13	48	約600	約800	44	17
	森町	7	11	約1,500	約1,700	217	153
	(小計)	119	462	約11,000	約14,000	95	29
西部	浜松市中区	134	591	約4,600	約6,500	34	11
	浜松市東区	121	427	約3,000	約4,000	25	9
	浜松市西区	25	75	約4,000	約4,400	159	59
	浜松市南区	17	59	約3,100	約3,700	185	62
	浜松市北区	50	224	約2,400	約3,000	47	14
	浜松市浜北区	32	117	約2,800	約3,400	86	29
	浜松市天竜区	1	35	約700	約1,100	721	33
	湖西市	12	44	約2,500	約2,700	210	60
(小計)	392	1,572	約23,000	約29,000	59	18	

※地震後の混乱した状況の中で、医師1人当たりの対応重傷者数は約5人/日、対応軽傷者数は約70人/日が限界と考えられる。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表VIII-2.10 医師一人当たり診療すべき患者数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

二次医療圏	市町名	医療施設従事医師数		医療需要		医師一人当たり診療すべき患者数	
		外科系	外科系以外	重傷者+病院死者	軽傷者数	外科系	外科系以外
	県計	1,526	5,357	約43,000	約62,000	28	12
賀茂	下田市	5	29	約400	約400	86	14
	東伊豆町	8	7	約50	約100	7	18
	河津町	2	8	約50	約50	26	6
	南伊豆町	5	12	約200	約70	37	5
	松崎町	0	5	約400	約100	-	28
	西伊豆町	1	7	約400	約200	411	23
	(小計)	21	68	約1,500	約900	71	14
熱海伊東	熱海市	40	112	約30	約200	1	2
	伊東市	18	74	約100	約600	6	8
	(小計)	58	186	約100	約800	2	4
駿東田方	沼津市	86	255	約1,100	約1,300	13	5
	三島市	37	131	約60	約300	2	2
	御殿場市	25	68	約100	約400	6	6
	裾野市	12	53	約30	約200	3	3
	伊豆市	18	37	約200	約400	13	10
	伊豆の国市	54	192	約50	約200	1	1
	函南町	6	45	約10	約60	2	1
	清水町	27	56	約10	約70	1	1
	長泉町	80	142	約30	約100	0	1
	小山町	6	15	約20	約80	4	5
(小計)	351	994	約1,700	約3,000	5	3	
富士	富士宮市	42	129	約400	約1,200	9	9
	富士市	85	261	約500	約1,800	6	7
	(小計)	127	390	約900	約3,000	7	8
静岡	静岡市葵区	186	729	約800	約2,600	5	4
	静岡市駿河区	60	243	約1,200	約2,700	20	11
	静岡市清水区	63	233	約3,300	約5,900	52	25
	(小計)	309	1,205	約5,300	約11,000	17	9
志太榛原	島田市	35	109	約1,300	約2,000	38	18
	焼津市	46	155	約2,500	約3,600	55	23
	藤枝市	61	181	約1,100	約1,800	18	10
	牧之原市	5	20	約2,400	約2,300	481	115
	吉田町	2	12	約800	約800	397	70
	川根本町	0	3	約30	約70	-	24
	(小計)	149	480	約8,200	約11,000	55	22
中東遠	磐田市	45	204	約3,900	約4,300	86	21
	掛川市	26	108	約2,900	約4,100	111	38
	袋井市	21	67	約2,700	約3,000	130	45
	御前崎市	7	24	約1,400	約1,500	202	63
	菊川市	13	48	約1,600	約1,700	123	36
	森町	7	11	約1,600	約1,700	223	154
	(小計)	119	462	約14,000	約16,000	118	35
西部	浜松市中区	134	591	約1,800	約3,100	13	5
	浜松市東区	121	427	約1,400	約2,100	11	5
	浜松市西区	25	75	約2,500	約2,800	99	37
	浜松市南区	17	59	約2,100	約2,500	122	42
	浜松市北区	50	224	約600	約1,100	12	5
	浜松市浜北区	32	117	約900	約1,400	27	12
	浜松市天竜区	1	35	約100	約300	121	10
	湖西市	12	44	約2,300	約2,400	193	56
(小計)	392	1,572	約12,000	約16,000	30	10	

※地震後の混乱した状況の中で、医師1人当たりの対応重傷者数は約5人/日、対応軽傷者数は約70人/日が限界と考えられる。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



表 VIII-2.11 医師一人当たり診療すべき患者数  
(大正型関東地震)

二次医療圏	市町名	医療施設従事医師数		医療需要		医師一人当たり診療すべき患者数	
		外科系	外科系以外	重傷者+病院死者	軽傷者数	外科系	外科系以外
	県計	1,526	5,357	約1,700	約4,900	1	1
賀茂	下田市	5	29	約10	約50	2	2
	東伊豆町	8	7	約10	約50	1	8
	河津町	2	8	-	約10	1	1
	南伊豆町	5	12	-	約10	0	1
	松崎町	0	5	-	約10	-	1
	西伊豆町	1	7	-	約10	0	1
	(小計)	21	68	約20	約100	1	2
熱海伊東	熱海市	40	112	約300	約600	8	6
	伊東市	18	74	約300	約800	15	11
	(小計)	58	186	約600	約1,500	10	8
駿東田方	沼津市	86	255	約40	約400	0	1
	三島市	37	131	約80	約300	2	2
	御殿場市	25	68	約600	約1,000	26	15
	裾野市	12	53	約50	約200	4	4
	伊豆市	18	37	約30	約200	2	4
	伊豆の国市	54	192	約40	約200	1	1
	函南町	6	45	約20	約90	3	2
	清水町	27	56	約10	約50	0	1
	長泉町	80	142	約10	約70	0	0
	小山町	6	15	約200	約300	37	22
(小計)	351	994	約1,100	約2,800	3	3	
富士	富士宮市	42	129	-	約50	0	0
	富士市	85	261	-	約100	0	1
	(小計)	127	390	約10	約200	0	0
静岡	静岡市葵区	186	729	-	約90	0	0
	静岡市駿河区	60	243	-	約50	0	0
	静岡市清水区	63	233	-	約90	0	0
	(小計)	309	1,205	-	約200	0	0
志太榛原	島田市	35	109	-	約10	0	0
	焼津市	46	155	-	約20	0	0
	藤枝市	61	181	-	約10	0	0
	牧之原市	5	20	-	-	0	0
	吉田町	2	12	-	-	0	0
	川根本町	0	3	-	-	-	0
	(小計)	149	480	-	約40	0	0
中東遠	磐田市	45	204	-	約10	0	0
	掛川市	26	108	-	約10	0	0
	袋井市	21	67	-	-	0	0
	御前崎市	7	24	-	-	0	0
	菊川市	13	48	-	-	0	0
	森町	7	11	-	-	0	0
	(小計)	119	462	-	約30	0	0
西部	浜松市中区	134	591	-	約20	0	0
	浜松市東区	121	427	-	約10	0	0
	浜松市西区	25	75	-	-	0	0
	浜松市南区	17	59	-	約10	0	0
	浜松市北区	50	224	-	-	0	0
	浜松市浜北区	32	117	-	-	0	0
	浜松市天竜区	1	35	-	-	0	0
	湖西市	12	44	-	-	0	0
(小計)	392	1,572	-	約40	0	0	

※地震後の混乱した状況の中で、医師1人当たりの対応重傷者数は約5人/日、対応軽傷者数は約70人/日が限界と考えられる。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VIII-2.12 医師一人当たり診療すべき患者数  
(元禄型関東地震)

二次医療圏	市町名	医療施設従事医師数		医療需要		医師一人当たり診療すべき患者数	
		外科系	外科系以外	重傷者+病院死者	軽傷者数	外科系	外科系以外
	県計	1,526	5,357	約2,900	約7,200	2	1
賀茂	下田市	5	29	約70	約100	15	5
	東伊豆町	8	7	約10	約70	1	9
	河津町	2	8	約10	約20	4	2
	南伊豆町	5	12	約20	約20	5	2
	松崎町	0	5	-	約10	-	2
	西伊豆町	1	7	-	約10	1	1
	(小計)	21	68	約100	約300	6	4
熱海伊東	熱海市	40	112	約500	約800	11	7
	伊東市	18	74	約500	約1,400	29	19
	(小計)	58	186	約1,000	約2,200	17	12
駿東田方	沼津市	86	255	約100	約600	1	2
	三島市	37	131	約200	約500	6	4
	御殿場市	25	68	約800	約1,200	34	18
	裾野市	12	53	約100	約400	9	7
	伊豆市	18	37	約50	約200	3	6
	伊豆の国市	54	192	約80	約300	1	1
	函南町	6	45	約40	約100	6	3
	清水町	27	56	約20	約90	1	2
	長泉町	80	142	約50	約100	1	1
	小山町	6	15	約300	約400	49	26
(小計)	351	994	約1,800	約4,000	5	4	
富士	富士宮市	42	129	-	約60	0	0
	富士市	85	261	約10	約200	0	1
	(小計)	127	390	約10	約300	0	1
静岡	静岡市葵区	186	729	-	約100	0	0
	静岡市駿河区	60	243	-	約70	0	0
	静岡市清水区	63	233	約10	約100	0	1
	(小計)	309	1,205	約10	約300	0	0
志太榛原	島田市	35	109	-	約10	0	0
	焼津市	46	155	-	約30	0	0
	藤枝市	61	181	-	約20	0	0
	牧之原市	5	20	約10	約20	2	1
	吉田町	2	12	-	-	0	0
	川根本町	0	3	-	-	-	0
	(小計)	149	480	約10	約70	0	0
中東遠	磐田市	45	204	-	約10	0	0
	掛川市	26	108	-	約10	0	0
	袋井市	21	67	-	約10	0	0
	御前崎市	7	24	約20	約40	3	2
	菊川市	13	48	-	-	0	0
	森町	7	11	-	-	0	0
(小計)	119	462	約20	約70	0	0	
西部	浜松市中区	134	591	-	約30	0	0
	浜松市東区	121	427	-	約10	0	0
	浜松市西区	25	75	-	-	0	0
	浜松市南区	17	59	-	約10	0	0
	浜松市北区	50	224	-	-	0	0
	浜松市浜北区	32	117	-	-	0	0
	浜松市天竜区	1	35	-	約10	0	0
	湖西市	12	44	-	-	0	0
(小計)	392	1,572	-	約60	0	0	

※地震後の混乱した状況の中で、医師1人当たりの対応重傷者数は約5人/日、対応軽傷者数は約70人/日が限界と考えられる。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

### (3) 救急搬送充足率

以下に、各想定地震における重傷者数及び医療機関での死者数（最大となる夏昼の値）に対する「救急搬送充足率」の算出結果を示す。

県全体の救急車で対応した場合でも、駿河トラフ・南海トラフ沿いの地震・津波については救急搬送充足率が大幅に不足する。

表 VIII-2.13 救急搬送充足率  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

消防本部名	救急自動車数 (H24.4.1)	搬送需要者数 (重傷者+病院死者)	救急搬送 充足率
静岡市	23	約 5,300	8%
浜松市	28	約 7,400	7%
沼津市	9	約 400	46%
熱海市	3	約 10	100%
三島市	4	約 40	100%
富士宮市	6	約 200	53%
伊東市	5	約 30	100%
島田市	6	約 1,600	7%
富士市	11	約 200	85%
磐田市	7	約 3,200	4%
焼津市	5	約 2,000	5%
掛川市	5	約 2,000	4%
藤枝市	5	約 2,600	3%
裾野市	4	約 40	100%
湖西市	4	約 700	11%
御前崎市	5	約 500	17%
菊川市	3	約 600	8%
東伊豆町	2	約 10	100%
清水町	2	約 10	100%
長泉町	3	約 20	100%
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部	6	約 90	100%
袋井市森町広域行政組合袋井消防本部	5	約 3,300	3%
田方消防本部	6	約 200	68%
西伊豆広域消防本部	2	約 500	8%
吉田町牧之原市広域施設組合消防本部	4	約 1,100	7%
下田消防本部	4	約 90	80%
県全体	167	約 32,000	9%

※発災当初の新規の医療需要としては、地震起因のものに優先的に対応した場合が前提

※救急搬送需要者全員を 24 時間以内に搬送できる場合、救急搬送充足率=100%と表記

表 VIII-2.14 救急搬送充足率  
 (南海トラフ巨大地震 (地震動: 基本ケース、津波: ケース①))

消防本部名	救急自動車数 (H24.4.1)	搬送需要者数 (重傷者+病院死者)	救急搬送 充足率
静岡市	23	約 6,400	7%
浜松市	28	約 8,700	6%
沼津市	9	約 1,000	16%
熱海市	3	約 20	100%
三島市	4	約 40	100%
富士宮市	6	約 200	53%
伊東市	5	約 50	100%
島田市	6	約 1,600	7%
富士市	11	約 300	78%
磐田市	7	約 3,500	4%
焼津市	5	約 3,700	2%
掛川市	5	約 2,100	4%
藤枝市	5	約 2,600	3%
裾野市	4	約 40	100%
湖西市	4	約 900	8%
御前崎市	5	約 700	12%
菊川市	3	約 600	8%
東伊豆町	2	約 30	100%
清水町	2	約 10	100%
長泉町	3	約 20	100%
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部	6	約 90	100%
袋井市森町広域行政組合袋井消防本部	5	約 3,300	3%
田方消防本部	6	約 200	57%
西伊豆広域消防本部	2	約 700	5%
吉田町牧之原市広域施設組合消防本部	4	約 2,500	3%
下田消防本部	4	約 600	13%
県全体	167	約 40,000	8%

※発災当初の新規の医療需要としては、地震起因のものに優先的に対応した場合が前提

※救急搬送需要者全員を 24 時間以内に搬送できる場合、救急搬送充足率=100%と表記

表 VIII-2.15 救急搬送充足率  
 (南海トラフ巨大地震 (地震動：陸側ケース、津波：ケース①))

消防本部名	救急自動車数 (H24.4.1)	搬送需要者数 (重傷者+病院死者)	救急搬送 充足率
静岡市	23	約 2,300	18%
浜松市	28	約 21,000	2%
沼津市	9	約 1,000	17%
熱海市	3	約 10	100%
三島市	4	-	100%
富士宮市	6	約 40	100%
伊東市	5	約 20	100%
島田市	6	約 800	14%
富士市	11	約 70	100%
磐田市	7	約 5,100	3%
焼津市	5	約 2,100	4%
掛川市	5	約 1,800	5%
藤枝市	5	約 700	14%
裾野市	4	約 10	100%
湖西市	4	約 2,500	3%
御前崎市	5	約 400	21%
菊川市	3	約 600	10%
東伊豆町	2	約 30	100%
清水町	2	-	100%
長泉町	3	-	100%
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部	6	約 80	100%
袋井市森町広域行政組合袋井消防本部	5	約 3,500	3%
田方消防本部	6	約 100	86%
西伊豆広域消防本部	2	約 600	6%
吉田町牧之原市広域施設組合消防本部	4	約 2,000	4%
下田消防本部	4	約 500	14%
県全体	167	約 45,000	7%

※発災当初の新規の医療需要としては、地震起因のものに優先的に対応した場合が前提

※救急搬送需要者全員を 24 時間以内に搬送できる場合、救急搬送充足率=100%と表記

表 VIII-2.16 救急搬送充足率  
 (南海トラフ巨大地震 (地震動: 東側ケース、津波: ケース①))

消防本部名	救急自動車数 (H24.4.1)	搬送需要者数 (重傷者+病院死者)	救急搬送 充足率
静岡市	23	約 5,300	8%
浜松市	28	約 9,300	5%
沼津市	9	約 1,100	15%
熱海市	3	約 30	100%
三島市	4	約 60	100%
富士宮市	6	約 400	28%
伊東市	5	約 100	83%
島田市	6	約 1,400	8%
富士市	11	約 500	41%
磐田市	7	約 3,900	3%
焼津市	5	約 2,500	4%
掛川市	5	約 2,900	3%
藤枝市	5	約 1,100	8%
裾野市	4	約 30	100%
湖西市	4	約 2,300	3%
御前崎市	5	約 1,400	6%
菊川市	3	約 1,600	3%
東伊豆町	2	約 50	68%
清水町	2	約 10	100%
長泉町	3	約 30	100%
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部	6	約 200	63%
袋井市森町広域行政組合袋井消防本部	5	約 4,300	2%
田方消防本部	6	約 300	37%
西伊豆広域消防本部	2	約 800	5%
吉田町牧之原市広域施設組合消防本部	4	約 3,200	2%
下田消防本部	4	約 700	11%
県全体	167	約 43,000	7%

※発災当初の新規の医療需要としては、地震起因のものに優先的に対応した場合が前提

※救急搬送需要者全員を 24 時間以内に搬送できる場合、救急搬送充足率=100%と表記

表 VIII-2.17 救急搬送充足率  
(大正型関東地震)

消防本部名	救急自動車数 (H24.4.1)	搬送需要者数 (重傷者+病院死者)	救急搬送 充足率
静岡市	23	-	100%
浜松市	28	-	100%
沼津市	9	約 40	100%
熱海市	3	約 300	17%
三島市	4	約 80	92%
富士宮市	6	-	100%
伊東市	5	約 300	34%
島田市	6	-	100%
富士市	11	-	100%
磐田市	7	-	100%
焼津市	5	-	100%
掛川市	5	-	100%
藤枝市	5	-	100%
裾野市	4	約 50	100%
湖西市	4	-	100%
御前崎市	5	-	100%
菊川市	3	-	100%
東伊豆町	2	約 10	100%
清水町	2	約 10	100%
長泉町	3	約 10	100%
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部	6	約 900	12%
袋井市森町広域行政組合袋井消防本部	5	-	100%
田方消防本部	6	約 90	100%
西伊豆広域消防本部	2	-	100%
吉田町牧之原市広域施設組合消防本部	4	-	100%
下田消防本部	4	約 10	100%
県全体	167	約 1,700	100%

※発災当初の新規の医療需要としては、地震起因のものに優先的に対応した場合が前提

※救急搬送需要者全員を 24 時間以内に搬送できる場合、救急搬送充足率=100%と表記

表 VIII-2.18 救急搬送充足率  
(元禄型関東地震)

消防本部名	救急自動車数 (H24.4.1)	搬送需要者数 (重傷者+病院死者)	救急搬送 充足率
静岡市	23	約 10	100%
浜松市	28	-	100%
沼津市	9	約 100	100%
熱海市	3	約 500	12%
三島市	4	約 200	35%
富士宮市	6	-	100%
伊東市	5	約 500	17%
島田市	6	-	100%
富士市	11	約 10	100%
磐田市	7	-	100%
焼津市	5	-	100%
掛川市	5	-	100%
藤枝市	5	-	100%
裾野市	4	約 100	66%
湖西市	4	-	100%
御前崎市	5	約 20	100%
菊川市	3	-	100%
東伊豆町	2	約 10	100%
清水町	2	約 20	100%
長泉町	3	約 50	100%
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部	6	約 1,100	10%
袋井市森町広域行政組合袋井消防本部	5	-	100%
田方消防本部	6	約 200	63%
西伊豆広域消防本部	2	-	100%
吉田町牧之原市広域施設組合消防本部	4	約 10	100%
下田消防本部	4	約 100	68%
県全体	167	約 2,900	100%

※発災当初の新規の医療需要としては、地震起因のものに優先的に対応した場合が前提

※救急搬送需要者全員を 24 時間以内に搬送できる場合、救急搬送充足率=100%と表記



## (4) 日常受療困難者数

表 VIII-2.19 日常受療困難者数  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

二次医療圏	市町名	日常受療困難者数 (建物被害、火災被害による医療機能低下による)			
		計	入院	外来	出生
		県計	約64,000	約6,800	約57,000
賀茂	下田市	約200	約30	約200	-
	東伊豆町	約30	約10	約30	-
	河津町	約60	約10	約50	-
	南伊豆町	約60	約10	約50	-
	松崎町	約200	約20	約100	-
	西伊豆町	約200	約30	約200	-
	(小計)	約700	約100	約600	-
熱海伊東	熱海市	約80	約10	約70	-
	伊東市	約300	約40	約200	-
	(小計)	約300	約60	約300	-
駿東田方	沼津市	約1,300	約80	約1,200	-
	三島市	約500	約30	約400	-
	御殿場市	約300	約40	約200	-
	裾野市	約200	約30	約200	-
	伊豆市	約200	約30	約200	-
	伊豆の国市	-	-	-	-
	函南町	約200	約30	約200	-
	清水町	-	-	-	-
	長泉町	約100	約20	約100	-
	小山町	約60	約10	約50	-
(小計)	約2,900	約300	約2,600	-	
富士	富士宮市	約800	約30	約700	-
	富士市	約1,400	約20	約1,400	-
	(小計)	約2,200	約50	約2,100	-
静岡	静岡市葵区	約5,100	約300	約4,800	-
	静岡市駿河区	約5,900	約700	約5,200	-
	静岡市清水区	約5,800	約700	約5,200	-
	(小計)	約17,000	約1,700	約15,000	約10
志太榛原	島田市	約1,700	約70	約1,600	-
	焼津市	約4,000	約400	約3,600	-
	藤枝市	約3,700	約300	約3,300	-
	牧之原市	約1,100	約200	約1,000	-
	吉田町	約600	約80	約500	-
	川根本町	約60	約10	約50	-
	(小計)	約11,000	約1,000	約10,000	-
中東遠	磐田市	約4,300	約400	約3,800	-
	掛川市	約2,900	約300	約2,500	-
	袋井市	約2,900	約400	約2,600	-
	御前崎市	約600	約90	約500	-
	菊川市	約1,000	約100	約800	-
	森町	約500	約70	約400	-
	(小計)	約12,000	約1,400	約11,000	-
西部	浜松市中区	約6,800	約800	約5,900	-
	浜松市東区	約2,300	約200	約2,100	-
	浜松市西区	約2,800	約400	約2,400	-
	浜松市南区	約3,100	約500	約2,600	-
	浜松市北区	約600	-	約600	-
	浜松市浜北区	約900	約60	約900	-
	浜松市天竜区	約200	約30	約200	-
	湖西市	約1,200	約200	約1,000	-
	(小計)	約18,000	約2,200	約16,000	約10

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VIII-2.20 日常受療困難者数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

二次医療圏	市町名	日常受療困難者数 (建物被害、火災被害による医療機能低下による)			
		計	入院	外来	出生
		県計	約72,000	約8,200	約64,000
賀茂	下田市	約700	約100	約600	-
	東伊豆町	約100	約20	約90	-
	河津町	約100	約20	約100	-
	南伊豆町	約200	約40	約200	-
	松崎町	約300	約60	約300	-
	西伊豆町	約400	約70	約400	-
	(小計)	約1,900	約300	約1,600	-
熱海伊東	熱海市	約100	約20	約80	-
	伊東市	約300	約50	約300	-
	(小計)	約400	約60	約300	-
駿東田方	沼津市	約2,200	約200	約2,000	-
	三島市	約500	約30	約400	-
	御殿場市	約300	約40	約200	-
	裾野市	約200	約30	約200	-
	伊豆市	約300	約50	約200	-
	伊豆の国市	-	-	-	-
	函南町	約200	約30	約200	-
	清水町	-	-	-	-
	長泉町	約100	約20	約100	-
	小山町	約60	約10	約50	-
	(小計)	約3,800	約400	約3,400	-
富士	富士宮市	約800	約30	約700	-
	富士市	約1,400	約20	約1,400	-
	(小計)	約2,200	約60	約2,200	-
静岡	静岡市葵区	約5,100	約300	約4,800	-
	静岡市駿河区	約6,100	約700	約5,400	-
	静岡市清水区	約6,900	約900	約6,000	-
	(小計)	約18,000	約1,900	約16,000	約10
志太榛原	島田市	約1,700	約70	約1,600	-
	焼津市	約4,700	約500	約4,200	-
	藤枝市	約3,700	約300	約3,300	-
	牧之原市	約2,000	約300	約1,700	-
	吉田町	約1,000	約100	約800	-
	川根本町	約60	約10	約50	-
	(小計)	約13,000	約1,400	約12,000	-
中東遠	磐田市	約4,400	約500	約4,000	-
	掛川市	約2,900	約300	約2,500	-
	袋井市	約2,900	約400	約2,600	-
	御前崎市	約800	約100	約600	-
	菊川市	約1,000	約100	約800	-
	森町	約500	約70	約400	-
	(小計)	約12,000	約1,500	約11,000	-
西部	浜松市中区	約6,800	約800	約6,000	-
	浜松市東区	約2,300	約200	約2,100	-
	浜松市西区	約3,600	約500	約3,000	-
	浜松市南区	約3,900	約600	約3,300	-
	浜松市北区	約600	-	約600	-
	浜松市浜北区	約900	約60	約900	-
	浜松市天竜区	約200	約30	約200	-
	湖西市	約1,700	約200	約1,400	-
	(小計)	約20,000	約2,500	約17,000	約10

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VIII-2.21 日常受療困難者数  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

二次医療圏	市町名	日常受療困難者数 (建物被害、火災被害による医療機能低下による)			
		計	入院	外来	出生
		県計	約68,000	約8,300	約59,000
賀茂	下田市	約700	約100	約500	-
	東伊豆町	約90	約10	約80	-
	河津町	約100	約20	約90	-
	南伊豆町	約200	約30	約200	-
	松崎町	約300	約60	約200	-
	西伊豆町	約400	約70	約400	-
	(小計)	約1,800	約300	約1,500	-
熱海伊東	熱海市	約40	約10	約40	-
	伊東市	約200	約40	約200	-
	(小計)	約300	約40	約200	-
駿東田方	沼津市	約1,600	約100	約1,500	-
	三島市	約200	-	約200	-
	御殿場市	約200	約40	約200	-
	裾野市	約60	約10	約50	-
	伊豆市	約200	約40	約200	-
	伊豆の国市	-	-	-	-
	函南町	約100	約20	約100	-
	清水町	-	-	-	-
	長泉町	約40	約10	約30	-
	小山町	約50	約10	約50	-
	(小計)	約2,600	約200	約2,300	-
富士	富士宮市	約200	-	約200	-
	富士市	約600	-	約600	-
	(小計)	約800	-	約800	-
静岡	静岡市葵区	約800	-	約800	-
	静岡市駿河区	約1,900	約100	約1,800	-
	静岡市清水区	約2,900	約400	約2,500	-
	(小計)	約5,700	約500	約5,100	-
志太榛原	島田市	約900	-	約900	-
	焼津市	約1,900	約100	約1,800	-
	藤枝市	約1,200	約20	約1,200	-
	牧之原市	約1,700	約300	約1,400	-
	吉田町	約700	約100	約600	-
	川根本町	約70	約10	約60	-
	(小計)	約6,400	約500	約5,900	-
中東遠	磐田市	約6,100	約700	約5,400	-
	掛川市	約2,800	約300	約2,400	-
	袋井市	約2,600	約300	約2,300	-
	御前崎市	約500	約90	約500	-
	菊川市	約1,000	約100	約800	-
	森町	約700	約100	約600	-
	(小計)	約14,000	約1,700	約12,000	-
西部	浜松市中区	約11,000	約1,500	約9,600	-
	浜松市東区	約4,600	約500	約4,000	-
	浜松市西区	約6,300	約1,000	約5,300	-
	浜松市南区	約4,800	約800	約4,000	-
	浜松市北区	約2,400	約80	約2,300	-
	浜松市浜北区	約3,200	約400	約2,800	-
	浜松市天竜区	約700	約90	約600	-
	湖西市	約3,300	約500	約2,800	-
	(小計)	約36,000	約5,000	約31,000	約10

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VIII-2.22 日常受療困難者数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

二次医療圏	市町名	日常受療困難者数 (建物被害、火災被害による医療機能低下による)			
		計	入院	外来	出生
		県計	約75,000	約8,600	約66,000
賀茂	下田市	約700	約100	約600	-
	東伊豆町	約100	約20	約100	-
	河津町	約100	約20	約100	-
	南伊豆町	約200	約40	約200	-
	松崎町	約300	約60	約300	-
	西伊豆町	約500	約80	約400	-
	(小計)	約2,000	約400	約1,700	-
熱海伊東	熱海市	約100	約20	約100	-
	伊東市	約400	約60	約300	-
	(小計)	約500	約80	約500	-
駿東田方	沼津市	約2,600	約200	約2,300	-
	三島市	約500	約40	約500	-
	御殿場市	約400	約60	約400	-
	裾野市	約200	約30	約200	-
	伊豆市	約400	約50	約300	-
	伊豆の国市	-	-	-	-
	函南町	約200	約30	約200	-
	清水町	-	-	-	-
	長泉町	約200	約30	約200	-
	小山町	約100	約10	約90	-
	(小計)	約4,600	約500	約4,100	-
富士	富士宮市	約1,300	約90	約1,200	-
	富士市	約2,300	約100	約2,200	-
	(小計)	約3,600	約200	約3,300	-
静岡	静岡市葵区	約2,700	約30	約2,600	-
	静岡市駿河区	約4,300	約400	約3,800	-
	静岡市清水区	約8,600	約1,100	約7,500	-
	(小計)	約16,000	約1,600	約14,000	約10
志太榛原	島田市	約1,600	約50	約1,500	-
	焼津市	約2,800	約200	約2,600	-
	藤枝市	約2,000	約100	約1,900	-
	牧之原市	約2,500	約400	約2,100	-
	吉田町	約1,000	約200	約900	-
	川根本町	約70	約10	約60	-
	(小計)	約10,000	約900	約9,100	-
中東遠	磐田市	約4,800	約500	約4,200	-
	掛川市	約3,900	約500	約3,400	-
	袋井市	約3,300	約400	約2,900	-
	御前崎市	約1,400	約200	約1,200	-
	菊川市	約2,000	約300	約1,700	-
	森町	約700	約100	約600	-
	(小計)	約16,000	約2,100	約14,000	約10
西部	浜松市中区	約6,200	約700	約5,500	-
	浜松市東区	約2,600	約200	約2,400	-
	浜松市西区	約4,500	約700	約3,800	-
	浜松市南区	約3,600	約600	約3,000	-
	浜松市北区	約1,000	-	約1,000	-
	浜松市浜北区	約1,300	約100	約1,200	-
	浜松市天竜区	約300	約30	約200	-
	湖西市	約3,100	約500	約2,600	-
	(小計)	約23,000	約2,800	約20,000	約10

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VIII-2.23 日常受療困難者数  
(大正型関東地震)

二次医療圏	市町名	日常受療困難者数 (建物被害、火災被害による医療機能低下による)			
		計	入院	外来	出生
		県計	約5,000	約500	約4,500
賀茂	下田市	約40	約10	約30	-
	東伊豆町	約10	-	約10	-
	河津町	約20	-	約10	-
	南伊豆町	-	-	-	-
	松崎町	約10	-	約10	-
	西伊豆町	約10	-	約10	-
	(小計)	約80	約10	約70	-
熱海伊東	熱海市	約700	約90	約600	-
	伊東市	約400	約50	約300	-
	(小計)	約1,100	約100	約900	-
駿東田方	沼津市	約500	-	約500	-
	三島市	約500	約10	約400	-
	御殿場市	約1,500	約200	約1,300	-
	裾野市	約300	約30	約300	-
	伊豆市	約50	約10	約50	-
	伊豆の国市	-	-	-	-
	函南町	約200	約30	約200	-
	清水町	-	-	-	-
	長泉町	約100	約20	約100	-
	小山町	約500	約60	約400	-
	(小計)	約3,600	約300	約3,300	-
富士	富士宮市	約20	-	約20	-
	富士市	約100	-	約100	-
	(小計)	約100	-	約100	-
静岡	静岡市葵区	-	-	-	-
	静岡市駿河区	約20	-	約20	-
	静岡市清水区	約40	-	約40	-
	(小計)	約60	-	約60	-
志太榛原	島田市	-	-	-	-
	焼津市	約10	-	約10	-
	藤枝市	-	-	-	-
	牧之原市	-	-	-	-
	吉田町	-	-	-	-
	川根本町	-	-	-	-
	(小計)	約10	-	約10	-
中東遠	磐田市	-	-	-	-
	掛川市	-	-	-	-
	袋井市	-	-	-	-
	御前崎市	-	-	-	-
	菊川市	-	-	-	-
	森町	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-
西部	浜松市中区	-	-	-	-
	浜松市東区	-	-	-	-
	浜松市西区	-	-	-	-
	浜松市南区	-	-	-	-
	浜松市北区	-	-	-	-
	浜松市浜北区	-	-	-	-
	浜松市天竜区	-	-	-	-
	湖西市	-	-	-	-
	(小計)	約10	-	約10	-

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 VIII-2.24 日常受療困難者数  
(元禄型関東地震)

二次医療圏	市町名	日常受療困難者数 (建物被害、火災被害による医療機能低下による)			
		計	入院	外来	出生
		県計	約8,100	約800	約7,200
賀茂	下田市	約100	約20	約100	-
	東伊豆町	約30	-	約20	-
	河津町	約30	-	約20	-
	南伊豆町	約40	約10	約30	-
	松崎町	約10	-	約10	-
	西伊豆町	約10	-	約10	-
	(小計)	約200	約40	約200	-
熱海伊東	熱海市	約900	約100	約800	-
	伊東市	約900	約100	約800	-
	(小計)	約1,800	約200	約1,600	-
駿東田方	沼津市	約1,000	約30	約900	-
	三島市	約800	約50	約800	-
	御殿場市	約1,900	約200	約1,600	-
	裾野市	約500	約60	約500	-
	伊豆市	約90	約10	約80	-
	伊豆の国市	-	-	-	-
	函南町	約200	約30	約200	-
	清水町	-	-	-	-
	長泉町	約300	約30	約200	-
	小山町	約600	約70	約500	-
	(小計)	約5,400	約500	約4,900	-
富士	富士宮市	約40	-	約40	-
	富士市	約200	-	約200	-
	(小計)	約300	-	約300	-
静岡	静岡市葵区	-	-	-	-
	静岡市駿河区	約50	-	約50	-
	静岡市清水区	約200	-	約200	-
	(小計)	約300	-	約300	-
志太榛原	島田市	-	-	-	-
	焼津市	約20	-	約20	-
	藤枝市	-	-	-	-
	牧之原市	約10	-	約10	-
	吉田町	-	-	-	-
	川根本町	-	-	-	-
	(小計)	約40	-	約40	-
中東遠	磐田市	-	-	-	-
	掛川市	-	-	-	-
	袋井市	-	-	-	-
	御前崎市	-	-	-	-
	菊川市	-	-	-	-
	森町	-	-	-	-
	(小計)	約10	-	約10	-
西部	浜松市中区	-	-	-	-
	浜松市東区	-	-	-	-
	浜松市西区	-	-	-	-
	浜松市南区	-	-	-	-
	浜松市北区	-	-	-	-
	浜松市浜北区	-	-	-	-
	浜松市天竜区	-	-	-	-
	湖西市	-	-	-	-
	(小計)	約10	-	約10	-

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## IX 保健衛生、防疫、遺体処理等の想定

### IX-1. 保健衛生、防疫、遺体処理等の想定手法

南海トラフ巨大地震により被災すると想定される地域では、東日本大震災をはるかに上回る避難者、死者、災害廃棄物の発生等が予想され、避難所における保健衛生の確保、浸水域等の防疫対策や遺体の収容・身元確認・安置・埋火葬（以下、「遺体処理等」という。）が困難となること等が予想される。

（例）

- ・東日本大震災の被災地では、地震発生直後、避難所において、燃料不足等により暖房が利用できず、インフルエンザ等が流行したり、不衛生な生活環境によってノロウイルスによる患者も発生した。気温の上昇とともに、災害廃棄物の仮置き場が近い避難所や仮設住宅では、蠅の大量発生等、保健衛生面での対応が求められた。
- ・東日本大震災において、約1万9千人の津波による死者が発生した沿岸部の被災地では、地震発生直後は棺やドライアイスの不足が課題となった。また火葬場の被災や燃料不足により遺体の火葬が進まず、多数の遺体を長期間安置することも困難なことから、一時的に土葬が実施された。
- ・阪神・淡路大震災において、火葬場の不足により周辺自治体での広域火葬が行われた。
- ・東日本大震災では、遺体の捜索が困難を極め、消防・警察・自衛隊が大量に動員されたにもかかわらず、1年以上経過しても見つからない行方不明者も存在する。また、津波による遺体は損傷が激しく、検視による身元確認も困難を極めた。

過去の災害事象を参考に、以下のような被害様相が考えられる。

なお、整理した被害様相については、避難対応シナリオや県民シナリオ等、関連する定性シナリオに記載する。

- ・特に都市部では、多数の避難者が避難所に集まり、一人当たりの居住スペースが狭くなったり、十分な数の仮設トイレが確保できなかったり、健康管理のための医師・保健師等が不足したり、テントや車中泊による野外生活者が発生したりするなど、保健衛生環境が悪化する。
- ・夏季の避難所、仮設住宅における暑さ対策が求められるが、対応すべき箇所が膨大な数となり、対応が（人的・物的資源の両面から）遅れる。その結果、高齢者・乳幼児が熱中症や脱水症により死亡したり、食中毒が発生したりする可能性が高くなる。
- ・死者数及び捜索範囲が極めて広く、消防・警察・自衛隊において十分な人的・物的資源が確保できない。
- ・死者数が膨大であり、迅速な遺体処理等が困難になる。遺体の安置場所、棺、ドライアイスが不足し、夏季には遺体の腐乱等による衛生上の問題が発生する。また検視が可能な人材等が不足し、多数の遺体の身元確認が困難となる。
- ・火葬場の被災、燃料不足等により火葬ができない可能性がある。さらに、都市部では土葬が可能な場所が限られることから、遺体処理等が困難となる。

### IX-2. 保健衛生、防疫、遺体処理等の想定結果

- ・時系列シナリオを作成（→被害・対応シナリオ）

## X 教育、就労等の想定

### X-1. 教育、就労等の想定手法

過去には、学校や事業所施設等の被災、また施設が避難所等に活用されているため、施設本来の目的での利用ができない等、通常の教育・就労環境を回復することが困難な状況が発生している。

県民の日常生活を早期に回復するためにも、これらの教育機能、就労支障について事前に被害様相を整理し、対応を検討することが望ましい。

よって、学校の被災や避難所利用等による教育機能支障、企業の被災等による就労支障について、被害様相を整理する。なお、教育機能支障については県民シナリオ等の関連するシナリオに記載し、就労支障については就労シナリオを作成する。

教育機能支障、就労機能支障については、以下のような被害様相が想定される。

#### ①教育機能支障

- ・学校の建築物及び設備等の損壊により、復旧するまでの間、授業を行うことができなくなる。
- ・学校が避難所として利用されることにより、避難所が閉鎖されるまでの間、授業を行うことに支障をきたす。
- ・教職員が被災することにより、学校が再開したとしても授業を行うことに支障をきたす。
- ・特に都市部では仮設住宅や恒久住宅の建設用地の確保が難しく、遠距離の仮設住宅等への入居を希望する住民が少ないため、避難所の閉鎖の時期が遅れ、授業再開が困難となる。
- ・自治体まるごとで避難する必要に迫られ、集団疎開することできない場合には、学校自体の再開が困難となる。
- ・地域や校舎等の被災が大きい場合は、入試が延期される学校が発生する。

#### ②就労支障

- ・工場、店舗、オフィス等の建築物や設備等が大きな被害を受けることにより、業務継続が困難となり、従来通りの雇用の継続に支障をきたす。
- ・製品、原材料等の破損に伴う経済的損失により、業務継続が困難となり、従来通りの雇用の継続に支障をきたす。
- ・停電（計画停電を含む）、断水、都市ガスの供給停止等により、業務継続が困難となり、従来通りの雇用の継続に支障をきたす。
- ・交通機能の低下により、従業員の通勤が困難となり、従来通りの雇用の継続に支障をきたす。
- ・出荷先企業の被災等により需要自体が減少し、業務継続が困難となり、従来通りの雇用の継続に支障をきたす。
- ・仕入先企業の被災等により材料の供給が減少し、業務継続が困難となり、従来通りの雇用の継続に支障をきたす。
- ・一般消費者の被災あるいは買い控え等により、地域の需要自体が減少し、業務継続が困難となり、従来通りの雇用の継続に支障をきたす。
- ・計画停電により工場等の操業に支障が生じ、雇用制約を受ける。

### X-2. 教育、就労等の想定結果

- ・時系列シナリオを作成（→被害・対応シナリオ）



## XI 住機能（応急仮設住宅等）の想定

### XI-1. 住機能（応急仮設住宅等）の想定手法

#### a) 中期的住機能支障（発災約1ヶ月～2年間）の想定

発災後1ヶ月以降になれば、避難所生活中心から応急仮設住宅等の応急住宅中心の生活へと推移していくと考えられる。

ここでは、アンケート結果を用いて、下記の居住先等の選定意向の割合をもとに、中期的住機能支障を算出する。

（アンケート結果に基づく避難先の選定：地震発生から1ヶ月後～2年間の住宅の選択）

表 XI-1.1 自宅が全壊・焼失した世帯の居住先選択の割合（発災約1ヶ月～2年間）

(%)

居住先	回答者数(人)	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)
			従前場所で自宅新築	従前場所で自力仮設	別の場所に新築・購入	親族、知人宅	勤務先の提供する施設	民間賃貸	借上げ型応急住宅	応急仮設住宅	公営住宅一時使用	避難所※	その他
全体	(1,000)	100.0	23.6	7.3	3.3	13.3	4.2	6.6	17.6	12.8	7.4	2.3	1.6
持ち家	(727)	100.0	31.1	9.4	3.2	9.9	1.8	3.6	17.2	13.1	7.4	1.9	1.5
賃貸	(268)	100.0	3.7	1.9	3.7	22.4	10.8	14.9	17.9	11.9	7.5	3.4	1.9
その他	(5)	100.0	-	-	-	20.0	-	-	60.0	20.0	-	-	-

表 XI-1.2 自宅が半壊あるいはライフライン被害を受けた世帯の居住先選択の割合（発災約1ヶ月～2年間）

(%)

居住先	回答者数(人)	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)
			自宅を応急修理し居住	従前場所で自宅新築	従前場所で自力仮設	別の場所に新築・購入	親族、知人宅	勤務先の提供する施設	民間賃貸	借上げ型応急住宅	応急仮設住宅	公営住宅一時使用	避難所※	その他
全体	(1,000)	100.0	65.2	5.0	1.9	1.2	6.5	2.4	3.6	6.1	3.6	2.3	1.2	1.0
持ち家	(727)	100.0	74.7	5.5	2.3	1.1	4.5	0.3	1.1	4.7	2.6	1.7	0.4	1.1
賃貸	(268)	100.0	39.6	3.7	0.7	1.5	11.9	8.2	10.4	9.7	6.0	4.1	3.4	0.7
その他	(5)	100.0	60.0	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-	-	-

※災害救助法では避難所の開設期間を概ね1週間としているが、阪神・淡路大震災、東日本大震災等では概ね数ヶ月程度は避難所が開設されており、現実には1ヶ月後以降も避難所以外に居住先を求

められない被災者が発生することが予想されるため、避難所を選択可能とした。

### ①潜在需要の把握

公営住宅や既存の民間住宅等には数に限りがあり、震災時には希望通りに入居できるわけではないが、ここでは上記アンケート結果に基づく潜在的な需要について求める。

なお、アンケートでは自宅が半壊あるいはライフライン被害を受けた世帯の居住先についても質問しているが、発災1ヶ月～2年の間の選択を聞いており、ライフライン被害が復旧した後の需要を示したものと捉える。

本来、応急仮設住宅の供与の対象となる者は、「災害救助法の適用基準を満たす災害において住宅が全壊、全壊又は流失した者」であるが、東日本大震災等において、入居者募集の際に個々の被災者の生活困難等を鑑み、上記以外の被災世帯にも応急仮設住宅への入居を認めているケースがあることや、阪神・淡路大震災においては、被災地の混乱状態と緊急性の度合いを考慮し、半壊を含め住家に被害を受けた被災者で入居を希望する者全員に対象が拡大されている等の実態がある。そこで、本想定では、住宅に住めなくなった世帯以外のケースについても、アンケート結果から得られた応急仮設住宅等の入居希望の割合を用いて潜在的な需要を計算することとする。

例えば、応急仮設住宅（借上げ型以外）の潜在的な需要は以下の通りとなる。（他の住機能需要についても同様に算出する）

住宅世帯を被害程度で区分するため、平成22年国勢調査による一般世帯数に対して全壊・焼失/半壊の比率を乗じることになるが、その比率は木造か非木造かで異なるため、まずは木造・非木造別世帯数を、総務省統計局（2010b）による木造/非木造戸数比率に対して一般世帯数に乗じて求める。

また、その木造・非木造別世帯数に対して、木造全壊・焼失率/半壊率、非木造全壊率/半壊率の被害率を乗じて、木造全壊・焼失世帯数/半壊世帯数、非木造全壊/半壊世帯数を求める。

さらに、総務省統計局（2010a）による住宅所有形態別比率（持ち家/借家）を用いて、住宅所有形態別の世帯数に配分する。

結果、応急仮設住宅需要世帯数は次式により算出される。

応急仮設住宅需要世帯数＝

$$[13.1\% \times \{ \text{木造全壊・焼失世帯数 (持ち家)} + \text{非木造全壊世帯数 (持ち家)} \} + 2.6\% \times \{ \text{木造半壊世帯数 (持ち家)} + \text{非木造半壊世帯数 (持ち家)} \}] + [11.9\% \times \{ \text{木造全壊・焼失世帯数 (借家)} + \text{非木造全壊世帯数 (借家)} \} + 6.0\% \times \{ \text{木造半壊世帯数 (借家)} + \text{非木造半壊世帯数 (借家)} \}]$$

①' 全壊・全焼または流失以外は入居できない場合の潜在的需要の把握

①に対して、全壊・全焼または流失以外の被災者は応急仮設住宅（借上げ型を含む）、公営住宅への入居ができないと仮定し、アンケート結果におけるこれらの入居を0%とした場合、需要は下表のとおりとなる。

表 XI-1.3 自宅が半壊被害を受けた世帯の居住先選択の割合（発災約1ヶ月～2年間）  
※応急仮設住宅、公営住宅への入居を0%とした。

(%)

居住先	回答者数(人)	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)
			自宅を応急修理し居住	従前場所で自宅新築	従前場所で自力仮設	別の場所に新築・購入	親族、知人宅	勤務先の提供する施設	民間賃貸	借上げ型応急住宅	応急仮設住宅	公営住宅一時使用	避難所※	その他
全体	(880)	100.0	74.1	5.7	2.2	1.4	7.4	2.7	4.1	0.0	0.0	0.0	1.4	1.1
持ち家	(662)	100.0	82.0	6.0	2.6	1.2	5.0	0.3	1.2	0.0	0.0	0.0	0.5	1.2
賃貸	(215)	100.0	49.3	4.7	0.9	1.9	14.9	10.2	13.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.9
その他	(3)	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

**②借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限を考慮した場合**

避難先のうち、借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅については空きが限られるため、①で算出される需要の方がはるかに供給可能数を上回る市町が出てくる。この場合は、県民アンケートにおいて借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅への入居を第1希望としていた人の第2希望の回答結果をもとに、借上げ型応急住宅、公営住宅あるいは民間賃貸住宅へ入居できなかった人を各希望先に配分することとする（まずは借上げ型応急住宅に入居できなかった人を配分し、その後公営住宅に一時入居できなかった人、さらにその後民間賃貸住宅に入居できなかった人を配分する）。

県内移動を考慮することとし、借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の空き家戸数（入居上限）を市町別に設定するのではなく、（県内の全需要が県全体の空き家戸数を上回る限りは）県全体の空き家戸数分をすべて活用する※。その上で、需要が県全体の空き家戸数を上回る場合は、各需要の余剰分を第2希望先に配分する。

※例えば、借上げ型応急住宅について、

市町ごとの借上げ型応急住宅の入居上限数 ≥ 需要の場合、その市町の全需要分を借上げる。

市町ごとの借上げ型応急住宅の入居上限数 < 需要の場合、県内全域で借上げられる上限まで借上げる。

第2希望として希望する行き先等は次のとおりである。

**表 XI-1.4 第1希望として借上げ型応急住宅入居を希望した人の第2希望先  
自宅が全壊の場合 (%)**

居住先	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
		従前場所で自宅新築	従前場所で自力仮設	別の場所に新築・購入	親族、知人宅	勤務先の提供する施設	民間賃貸	応急仮設住宅	その他
全体	100.0	12.7	0.0	2.9	7.8	0.0	12.7	63.7	0.0
持ち家	100.0	17.8	0.0	2.7	4.1	0.0	9.6	65.8	0.0
賃貸	100.0	0.0	0.0	3.7	18.5	0.0	18.5	59.3	0.0
その他	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0

**自宅が半壊の場合 (%)**

居住先	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
		自宅を応急修理し居住	従前場所で自宅新築	従前場所で自力仮設	別の場所に新築・購入	親族、知人宅	勤務先の提供する施設	民間賃貸	応急仮設住宅	その他
全体	100.0	11.6	2.3	0.0	2.3	2.3	0.0	7.0	74.4	0.0
持ち家	100.0	15.4	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8	76.9	0.0
賃貸	100.0	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	75.0	0.0
その他	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注；「公営住宅」「避難所」希望及び「希望なし」は他へ比例配分

表 XI-1.5 第1希望として公営住宅一時入居を希望した人の第2希望先  
 自宅が全壊の場合 (%)

居住先	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
		従前場所で自宅新築	従前場所で自力仮設	別の場所に新築・購入	親族、知人宅	勤務先の提供する施設	民間賃貸	応急仮設住宅	その他
従前住宅形態									
全体	100.0	16.7	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	76.7	0.0
持ち家	100.0	20.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	70.0	0.0
賃貸	100.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0	0.0

自宅が半壊の場合 (%)

居住先	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
		自宅を応急修理し居住	従前場所で自宅新築	従前場所で自力仮設	別の場所に新築・購入	親族、知人宅	勤務先の提供する施設	民間賃貸	応急仮設住宅	その他
従前住宅形態										
全体	100.0	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	16.7	50.0	0.0
持ち家	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0
賃貸	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6	42.9	0.0

注；「借上げ型応急住宅」「避難所」希望及び「希望なし」は他へ比例配分

表 XI-1.6 第1希望として民間賃貸住宅入居を希望した人の第2希望先  
 自宅が全壊の場合 (%)

居住先	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
		従前場所で自宅新築	従前場所で自力仮設	別の場所に新築・購入	親族、知人宅	勤務先の提供する施設	応急仮設住宅	その他
従前住宅形態								
全体	100.0	4.3	8.7	8.7	26.1	30.4	21.7	0.0
持ち家	100.0	11.1	11.1	22.2	44.4	0.0	11.1	0.0
賃貸	100.0	0.0	7.1	0.0	14.3	50.0	28.6	0.0

自宅が半壊の場合 (%)

居住先	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
		自宅を応急修理し居住	従前場所で自宅新築	従前場所で自力仮設	別の場所に新築・購入	親族、知人宅	勤務先の提供する施設	応急仮設住宅	その他
従前住宅形態									
全体	100.0	33.3	11.1	0.0	0.0	11.1	22.2	22.2	0.0
持ち家	100.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
賃貸	100.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0

注；「借上げ型応急住宅」「公営住宅」「避難所」希望及び「希望なし」は他へ比例配分

表 XI-1.7 【参考】借上げ型応急住宅の入居上限

市町	H20住宅土地統計調査 民賃空家数	耐震化率考	入居上限
		慮(※1) ×0.793	借上げ率(※2) ×0.727
下田市	1,140	904	657
東伊豆町	860	682	496
河津町	0	0	0
南伊豆町	0	0	0
松崎町	0	0	0
西伊豆町	0	0	0
沼津市	7,320	5,805	4,220
熱海市	3,440	2,728	1,983
三島市	3,720	2,950	2,145
富士宮市	2,150	1,705	1,239
伊東市	3,470	2,752	2,000
富士市	7,350	5,829	4,237
御殿場市	3,430	2,720	1,977
裾野市	1,070	849	617
伊豆市	560	444	323
伊豆の国市	1,430	1,134	824
函南町	1,020	809	588
清水町	890	706	513
長泉町	1,300	1,031	749
小山町	320	254	184
静岡市葵区	9,370	7,430	5,402
静岡市駿河区	8,310	6,590	4,791
静岡市清水区	8,560	6,788	4,935
静岡市計	26,240	20,808	15,128
島田市	1,150	912	663
焼津市	3,050	2,419	1,758
藤枝市	2,200	1,745	1,268
牧之原市	1,190	944	686
吉田町	850	674	490
川根本町	0	0	0
浜松市中区	8,760	6,947	5,050
浜松市東区	1,950	1,546	1,124
浜松市西区	1,300	1,031	749
浜松市南区	2,220	1,760	1,280
浜松市北区	1,250	991	721
浜松市浜北区	570	452	329
浜松市天竜区	460	365	265
浜松市計	16,510	13,092	9,518
磐田市	3,530	2,799	2,035
掛川市	3,250	2,577	1,874
袋井市	2,930	2,323	1,689
湖西市	1,610	1,277	928
御前崎市	1,030	817	594
菊川市	930	737	536
森町	210	167	121
計	104,150	82,591	60,044

※1：静岡県の住宅耐震化率

※2：県民アンケート結果に基づく全壊・焼失世帯の「借上げ応急住宅需要比率 17.6%／（借上げ応急住宅需要比率 17.6%+民間賃貸住宅需要比率 6.6%）」

表 XI-1.8 【参考】公営住宅の空き家戸数（平成 25 年 4 月 1 日現在）

	県営住宅		市町営住宅		県営＋市町営住宅		
	管理戸数	空き家戸数	管理戸数	空き家戸数	管理戸数	空き家戸数	空き家率
静岡市	4,742	617	6,650	1,191	11,392	1,808	15.9%
葵区	2,804	434	3,932	704	6,736	1,138	16.9%
駿河区	876	54	1,228	220	2,104	274	13.0%
清水区	1,062	129	1,489	267	2,551	396	15.5%
浜松市	2,945	213	5,978	1,196	8,923	1,409	15.8%
中区	1,430	77	2,903	581	4,333	658	15.2%
東区	617	51	1,252	251	1,869	302	16.1%
西区	276	41	560	112	836	153	18.3%
南区	510	36	1,035	207	1,545	243	15.7%
北区	0	0	0	0	0	0	0.0%
浜北区	112	8	227	45	339	53	15.8%
天竜区	0	0	0	0	0	0	0.0%
沼津市	1,747	239	1,836	199	3,583	438	12.2%
熱海市	484	79	1,230	269	1,714	348	20.3%
三島市	687	114	734	56	1,421	170	12.0%
富士宮市	100	2	804	161	904	163	18.0%
伊東市	126	8	1,104	159	1,230	167	13.6%
島田市	198	5	361	65	559	70	12.5%
富士市	816	150	2,213	286	3,029	436	14.4%
磐田市	300	68	481	42	781	110	14.1%
焼津市	634	150	403	32	1,037	182	17.6%
掛川市	96	2	532	146	628	148	23.6%
藤枝市	833	67	457	27	1,290	94	7.3%
御殿場市	54	9	897	95	951	104	10.9%
袋井市	447	87	204	17	651	104	16.0%
下田市	0	0	144	46	144	46	31.9%
裾野市	458	33	111	14	569	47	8.3%
湖西市	134	4	401	86	535	90	16.8%
伊豆市	0	0	298	36	298	36	12.1%
御前崎市	0	0	261	40	261	40	15.3%
菊川市	88	20	210	6	298	26	8.7%
伊豆の国市	0	0	261	58	261	58	22.2%
牧之原市	56	6	267	39	323	45	13.9%
東伊豆町	0	0	98	3	98	3	3.1%
南伊豆町	0	0	40	4	40	4	10.0%
松崎町	0	0	42	8	42	8	19.0%
西伊豆町	0	0	22	13	22	13	59.1%
函南町	50	0	95	15	145	15	10.3%
清水町	138	0	56	1	194	1	0.5%
長泉町	12	1	171	13	183	14	7.7%
小山町	124	33	483	110	607	143	23.6%
吉田町	56	4	141	25	197	29	14.7%
川根本町	0	0	100	23	100	23	23.0%
森町	0	0	146	28	146	28	19.2%
総計	15,325	1,911	27,231	4,509	42,556	6,420	15.1%

※政令市は、区別の市営住宅管理戸数・空き家率が不明である。このため、市営管理戸数は県営住宅管理戸数に応じて比例配分し、空き家率は市全体と同じと仮定



②' 借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限を考慮した場合であり、かつこれら住宅については全壊・全焼または流失以外の世帯は入居できない場合

②に対して、全壊・全焼または流失以外の被災者は応急仮設住宅（借上げ型を含む）、公営住宅への入居ができないと仮定し、アンケート結果におけるこれらの入居を0%とした場合の需要を求める。

県内移動を考慮することとし、借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の空き家戸数（入居上限）を市町別に設定するのではなく、（県内の全需要が県全体の空き家戸数を上回る限りは）県全体の空き家戸数分をすべて活用する。その上で、需要が県全体の空き家戸数を上回る場合は、各需要の余剰分を第2希望先に配分する。

自宅が半壊の場合における第2希望として希望する行き先等は次のとおりである。（なお、自宅が全壊の場合の第2希望先は②のままである。）

表 XI-1.9 第1希望として借上げ型応急住宅入居を希望した人の第2希望先  
自宅が半壊の場合 (%)

居住先	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
		自宅を応急修理し居住	従前場所で自宅新築	従前場所で自力仮設	別の場所に新築・購入	親族、知人宅	勤務先の提供する施設	民間賃貸	その他
従前住宅形態	全体	45.5	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	27.3	0.0
持ち家	100.0	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
賃貸	100.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
その他	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

注；「公営住宅」「応急仮設住宅」「避難所」希望及び「希望なし」は他へ比例配分

表 XI-1.10 第1希望として公営住宅一時入居を希望した人の第2希望先  
自宅が半壊の場合 (%)

居住先	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
		自宅を応急修理し居住	従前場所で自宅新築	従前場所で自力仮設	別の場所に新築・購入	親族、知人宅	勤務先の提供する施設	民間賃貸	その他
従前住宅形態	全体	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0
持ち家	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
賃貸	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0

注；「借上げ型応急住宅」「応急仮設住宅」「避難所」希望及び「希望なし」は他へ比例配分

表 XI-1.11 第1希望として民間賃貸住宅入居を希望した人の第2希望先  
 自宅が半壊の場合 (%)

居住先		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
従前住宅形態	全体	自宅を応急修理し居住	従前場所で自宅新築	従前場所で自力仮設	別の場所に新築・購入	親族、知人宅	勤務先の提供する施設	応急仮設住宅	その他
全体	100.0	42.9	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0
持ち家	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
賃貸	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0

注；「借上げ型応急住宅」「応急仮設住宅」「公営住宅」「避難所」希望及び「希望なし」は他へ比例配分

b) 長期的住機能支障（発災後約2年～数年以降）の想定

発災後2年～数年以降になれば、公営住宅等本格的な恒久住宅等での生活へと移行していく。  
ここでは、アンケート結果を用いて長期的住機能支障を算出する。

表 XI-1.12 自宅が全壊・焼失した世帯の住宅再建方法の割合（発災後約2年～数年以降）  
(%)

再建方法 従前住宅形態	回答者数(人)	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
			従前場所 で自宅新築	入別の 場所に 新築・購 買	民間 賃貸	親族、 知人宅	公営 住宅	その他
全体	(1,000)	100.0	38.8	8.7	19.9	7.4	22.9	2.3
持ち家	(727)	100.0	49.8	8.9	10.0	5.5	23.4	2.3
賃貸	(268)	100.0	9.3	7.8	47.0	12.7	21.3	1.9
その他	(5)	100.0	20.0	20.0	-	-	40.0	20.0

表 XI-1.13 自宅が半壊あるいはライフライン被害を受けた世帯の住宅再建方法の割合  
(発災後約2年～数年以降)

再建方法 従前住宅形態	回答者数(人)	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
			応急 修理し 居住	従前 場所 で自宅 新築	入別の 場所に 新築・購 買	民間 賃貸	親族、 知人宅	公営 住宅	その他
全体	(1,000)	100.0	60.5	8.6	4.4	10.6	5.0	10.1	0.8
持ち家	(727)	100.0	71.7	11.0	3.9	2.9	3.0	7.0	0.6
賃貸	(268)	100.0	30.2	1.9	6.0	31.7	10.1	18.7	1.5
その他	(5)	100.0	60.0	20.0	-	-	20.0	-	-

本想定では、上表のアンケート結果に基づき、公営住宅を必要とする潜在的需要を求め、その内訳として、全壊世帯（うち年収400万円未満の世帯）及び半壊世帯も推計する。

ここでは、借家の平均構成人員である2人世帯における災害公営住宅（一般災害時）の入居収入基準（収入分位40%）に当たる年収400万円未満の世帯を、災害公営住宅の主要な入居対象者と設定する。

県民アンケートによる、自宅被害程度別・住宅所有形態別・世帯年収別の公営住宅希望割合は次のとおりである。

表 XI-1.14 自宅被害程度別・住宅所有形態別・世帯年収別の公営住宅希望割合

住宅所有形態	世帯年収	全壊	半壊
持ち家	400万円未満	36.3%	10.4%
	400万～1,000万	20.0%	5.6%
	1,000万以上	9.5%	2.4%
借家	400万円未満	27.8%	26.3%
	400万～1,000万	14.4%	11.1%
	1,000万以上	11.1%	11.1%

なお、住宅所有形態別・世帯年収別の世帯構成比率については平成20年住宅・土地統計調査に基づく。

表 XI-1.15 住宅所有形態別・世帯年収別の世帯構成比率

住宅所有形態	世帯年収	構成比
持ち家	400 万円未満	23.8%
	400 万円以上	42.6%
借家	400 万円未満	19.9%
	400 万円以上	13.8%
合計		100.0%

## XI-2. 住機能（応急仮設住宅等）の想定結果

### 1 中期的住機能支障（発災後約1ヶ月～約2年の応急住宅）

発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障は、次の区分により想定する。

#### ○想定地震

(ア) 東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震
(イ) 南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①）
(ウ) 南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①）
(エ) 南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①）
(オ) 大正型関東地震
(カ) 元禄型関東地震

#### ○パターン

		住宅の被災状況	
		全壊・半壊いずれでも希望どおり	半壊の場合、応急仮設住宅（借上げ型含む）及び公営住宅一時入居を不可とする
既存住宅 <sup>☆</sup> の 空き家数の考 慮	考慮しない	パターンA	パターンB
	全県単位で考慮	パターンC	パターンD

☆ 借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅

表 XI-2.1 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 ((ア) 東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

パターンA

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 購 入	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計		
県計	137,422	69,479	22,337	11,852	54,129	19,794	29,695	61,402	42,691	25,662	9,639	6,606	490,709	906,464	
賀茂	下田市	628	93	32	18	92	34	51	93	60	37	17	13	1,167	9,611
	東伊豆町	86	11	4	2	13	5	7	12	8	5	2	2	158	5,823
	河津町	143	24	8	4	18	5	9	20	13	8	3	3	259	2,767
	南伊豆町	137	28	10	4	19	5	8	22	15	9	3	3	263	3,438
	松崎町	595	117	40	19	84	24	39	96	63	38	14	13	1,143	1,873
	西伊豆町	747	154	52	25	110	32	52	126	83	51	19	17	1,467	2,558
	(小計)	2,336	427	146	73	335	105	166	370	241	148	58	51	4,457	26,070
東部	沼津市	4,022	752	251	153	789	324	470	798	520	325	152	98	8,654	70,861
	熱海市	405	50	17	11	60	25	36	58	36	23	12	8	742	18,978
	三島市	1,020	151	51	33	175	74	107	171	109	69	35	22	2,016	42,535
	富士宮市	3,539	586	201	108	520	179	275	550	355	220	93	75	6,702	40,230
	伊東市	751	93	33	19	99	38	56	99	62	39	19	14	1,321	29,260
	富士市	5,302	925	312	180	904	348	514	930	603	377	170	120	10,685	80,149
	御殿場市	834	137	46	29	152	64	92	150	97	61	30	19	1,708	29,560
	裾野市	689	91	31	20	111	48	68	107	67	43	22	14	1,311	19,719
	伊豆市	613	114	39	19	88	27	43	97	64	39	15	14	1,171	11,396
	伊豆の国市	617	85	29	18	93	37	55	92	59	37	18	12	1,154	17,561
	函南町	266	37	13	8	39	15	22	39	25	16	7	5	491	13,483
	清水町	423	57	19	13	74	34	48	71	45	29	15	9	836	11,332
	長泉町	330	52	17	12	65	30	42	63	40	26	13	8	697	14,793
	小山町	155	25	8	5	24	9	13	24	16	10	4	3	296	6,216
(小計)	18,967	3,155	1,067	628	3,122	1,251	1,839	3,249	2,096	1,314	605	421	37,784	406,073	
中部	静岡市葵区	12,313	8,495	2,712	1,450	6,599	2,445	3,651	7,523	5,279	3,161	1,170	779	55,577	43,025
	静岡市駿河区	9,288	6,688	2,154	1,310	6,334	2,558	3,717	6,773	4,714	2,847	1,119	690	48,192	39,154
	静岡市清水区	12,070	7,101	2,267	1,148	5,091	1,793	2,723	5,960	4,180	2,498	905	633	46,368	46,328
	島田市	4,900	2,038	657	307	1,308	409	648	1,587	1,104	659	230	181	14,028	19,210
	焼津市	9,154	4,692	1,501	727	3,147	1,048	1,623	3,769	2,639	1,575	558	411	30,845	18,414
	藤枝市	7,104	4,313	1,372	643	2,712	872	1,367	3,339	2,359	1,399	479	358	26,315	23,307
	牧之原市	2,425	1,106	355	167	708	224	353	861	602	359	125	97	7,380	8,206
	吉田町	1,118	540	173	88	392	138	210	456	317	190	70	50	3,742	6,506
	川根本町	175	32	11	5	20	4	8	24	16	10	3	4	312	2,673
	(小計)	58,547	35,006	11,202	5,845	26,311	9,490	14,299	30,292	21,209	12,698	4,657	3,202	232,760	206,822
西部	浜松市中区	10,996	7,320	2,362	1,462	7,137	2,916	4,224	7,560	5,245	3,175	1,267	773	54,436	49,138
	浜松市東区	5,268	2,452	790	444	2,104	814	1,200	2,308	1,593	964	381	247	18,566	29,039
	浜松市西区	4,815	2,717	867	424	1,840	622	958	2,199	1,544	921	326	236	17,469	20,823
	浜松市南区	4,527	2,875	920	500	2,299	863	1,284	2,592	1,813	1,088	409	270	19,440	18,044
	浜松市北区	2,272	616	203	103	469	159	245	530	357	217	84	65	5,321	26,016
	浜松市浜北区	2,687	797	261	129	573	188	293	662	450	272	102	80	6,494	23,157
	浜松市天竜区	764	141	49	22	95	24	41	111	73	44	15	16	1,396	10,665
	磐田市	8,160	5,079	1,616	776	3,329	1,107	1,714	4,033	2,846	1,692	589	429	31,369	27,980
	掛川市	5,964	2,835	910	453	2,004	690	1,056	2,351	1,638	981	357	258	19,497	19,946
	袋井市	4,968	3,089	987	523	2,374	873	1,307	2,713	1,900	1,138	422	284	20,579	9,173
	湖西市	2,817	1,204	388	197	881	308	470	1,019	706	424	158	113	8,684	12,919
	御前崎市	1,365	487	158	80	363	127	193	416	285	172	65	48	3,760	7,719
	菊川市	1,933	841	271	134	593	202	310	695	482	289	106	77	5,933	9,523
森町	1,034	438	141	59	227	55	96	301	212	125	38	36	2,763	3,358	
(小計)	57,571	30,892	9,922	5,306	24,291	8,948	13,391	27,491	19,144	11,503	4,318	2,932	215,708	267,499	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.2 発災後約1ヶ月～2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅(借上げ型含む)及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】  
 ((ア) 東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

パターンB

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													合計	住機能支障なし
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅 新 築	仮 従 前 場 所 で 自 力 仮 設	築 別 の 場 所 に 新 購 入	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他			
県計	155,142	70,930	22,805	12,275	56,899	21,292	31,708	47,592	34,578	20,298	10,295	6,896	490,709	906,464	
賀茂	下田市	707	99	34	20	103	40	59	33	24	14	20	1,167	9,611	
	東伊豆町	97	12	4	3	14	6	9	4	3	2	3	158	5,823	
	河津町	159	25	9	4	20	6	10	9	6	4	3	259	2,767	
	南伊豆町	152	30	10	5	20	5	9	11	9	5	3	263	3,438	
	松崎町	663	122	42	20	92	27	44	47	35	20	16	1,143	1,873	
	西伊豆町	832	161	55	27	120	36	58	65	48	28	21	1,467	2,558	
	(小計)	2,610	449	153	79	369	121	188	169	125	73	65	55	4,457	26,070
東部	沼津市	4,563	797	265	166	880	376	538	367	266	156	174	107	8,654	70,861
	熱海市	459	54	19	12	69	30	43	15	11	6	14	9	742	18,978
	三島市	1,159	162	54	36	198	88	124	60	43	26	40	24	2,016	42,535
	富士宮市	3,969	620	213	118	579	209	315	227	167	97	107	82	6,702	40,230
	伊東市	845	101	35	21	113	45	66	27	19	11	22	16	1,321	29,260
	富士市	5,982	980	330	196	1,009	404	590	402	293	172	195	131	10,685	80,149
	御殿場市	946	146	49	32	171	74	106	60	44	26	34	21	1,708	29,560
	裾野市	783	99	33	23	127	57	80	32	23	13	26	15	1,311	19,719
	伊豆市	684	119	41	21	96	31	48	46	34	20	17	15	1,171	11,396
	伊豆の国市	697	92	31	20	106	44	64	30	22	13	21	14	1,154	17,561
	函南町	300	40	14	8	44	18	26	13	9	5	9	6	491	13,483
	清水町	483	62	21	15	86	40	56	21	15	9	18	10	836	11,332
	長泉町	377	56	18	13	74	35	48	24	17	10	15	8	697	14,793
	小山町	174	26	9	5	26	10	15	10	7	4	5	4	296	6,216
(小計)	21,421	3,356	1,132	686	3,578	1,461	2,120	1,333	970	569	697	461	37,784	406,073	
中部	静岡市葵区	13,948	8,630	2,754	1,490	6,870	2,595	3,852	6,227	4,515	2,654	1,235	806	55,577	43,025
	静岡市駿河区	10,632	6,802	2,187	1,347	6,589	2,709	3,917	5,659	4,051	2,404	1,183	713	48,192	39,154
	静岡市清水区	13,604	7,226	2,308	1,184	5,325	1,917	2,891	4,774	3,484	2,039	960	658	46,368	46,328
	島田市	5,479	2,084	673	320	1,382	444	697	1,160	856	497	246	191	14,028	19,210
	焼津市	10,274	4,783	1,532	752	3,304	1,127	1,731	2,923	2,146	1,250	593	429	30,845	18,414
	藤枝市	7,959	4,382	1,395	661	2,827	929	1,445	2,699	1,987	1,155	504	372	26,315	23,307
	牧之原市	2,713	1,129	363	173	745	242	378	648	478	277	133	101	7,380	8,206
	吉田町	1,259	551	177	91	414	149	225	347	254	148	75	52	3,742	6,506
	川根本町	194	34	12	5	22	5	9	12	9	5	3	4	312	2,673
	(小計)	66,064	35,620	11,401	6,023	27,477	10,117	15,143	24,448	17,778	10,430	4,932	3,325	232,760	206,822
西部	浜松市中区	12,601	7,456	2,401	1,506	7,445	3,101	4,465	6,223	4,449	2,642	1,345	800	54,436	49,138
	浜松市東区	5,982	2,511	808	462	2,226	884	1,292	1,737	1,256	740	410	259	18,566	29,039
	浜松市西区	5,411	2,765	883	437	1,926	666	1,018	1,746	1,279	746	346	246	17,469	20,823
	浜松市南区	5,133	2,925	935	515	2,401	920	1,360	2,110	1,528	899	434	280	19,440	18,044
	浜松市北区	2,549	639	211	109	507	178	271	321	236	137	92	69	5,321	26,016
	浜松市浜北区	3,009	823	270	136	617	209	322	421	310	180	111	85	6,494	23,157
	浜松市天竜区	848	148	51	24	104	27	46	53	39	23	17	18	1,396	10,665
	磐田市	9,162	5,159	1,643	799	3,470	1,178	1,812	3,275	2,403	1,401	621	445	31,369	27,980
	掛川市	6,707	2,895	930	470	2,113	746	1,132	1,784	1,306	762	382	270	19,497	19,946
	袋井市	5,622	3,143	1,004	539	2,480	931	1,385	2,199	1,597	938	448	295	20,579	9,173
	湖西市	3,170	1,233	397	205	934	336	507	748	547	320	170	119	8,684	12,919
	御前崎市	1,535	501	163	84	388	139	210	286	210	122	71	50	3,760	7,719
	菊川市	2,171	860	277	140	627	220	334	514	377	220	113	81	5,933	9,523
	森町	1,146	447	144	61	238	59	102	224	168	96	40	37	2,763	3,358
(小計)	65,046	31,505	10,118	5,486	25,475	9,593	14,256	21,641	15,705	9,227	4,600	3,055	215,708	267,499	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.3 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）  
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】  
 ((ア) 東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

パターンC

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 購 入	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計		
県計	138,667	72,481	22,843	12,810	56,674	22,668	22,547	60,044	59,309	6,420	9,639	6,606	490,709	906,464	
賀茂	下田市	628	93	32	18	92	34	51	93	60	37	17	1,167	9,611	
	東伊豆町	87	12	4	2	13	5	7	12	10	1	2	158	5,823	
	河津町	144	25	8	4	20	6	6	20	18	2	3	259	2,767	
	南伊豆町	138	29	10	5	20	5	6	22	20	2	3	263	3,438	
	松崎町	600	121	40	20	89	27	29	93	87	8	14	1,143	1,873	
	西伊豆町	753	159	53	27	117	36	38	123	114	11	19	1,467	2,558	
	(小計)	2,349	439	147	77	350	115	138	363	309	62	58	51	4,457	26,070
東部	沼津市	4,022	752	251	153	789	324	470	798	520	325	152	98	8,654	70,861
	熱海市	405	50	17	11	60	25	36	58	36	23	12	8	742	18,978
	三島市	1,020	151	51	33	175	74	107	171	109	69	35	22	2,016	42,535
	富士宮市	3,554	600	201	111	539	190	275	550	465	48	93	75	6,702	40,230
	伊東市	751	93	33	19	99	38	56	99	62	39	19	14	1,321	29,260
	富士市	5,302	925	312	180	904	348	514	930	603	377	170	120	10,685	80,149
	御殿場市	834	137	46	29	152	64	92	150	97	61	30	19	1,708	29,560
	裾野市	689	91	31	20	111	48	68	107	67	43	22	14	1,311	19,719
	伊豆市	616	117	39	20	91	28	43	97	84	9	15	14	1,171	11,396
	伊豆の国市	617	85	29	18	93	37	55	92	59	37	18	12	1,154	17,561
	函南町	267	38	13	8	40	16	22	39	32	3	7	5	491	13,483
	清水町	425	58	19	13	78	36	48	71	58	6	15	9	836	11,332
	長泉町	331	53	17	12	68	31	42	63	53	6	13	8	697	14,793
	小山町	155	25	8	5	24	9	13	24	16	10	4	3	296	6,216
(小計)	18,988	3,175	1,068	632	3,221	1,268	1,839	3,249	2,261	1,056	605	421	37,784	406,073	
中部	静岡市葵区	12,452	8,889	2,781	1,576	6,919	2,830	2,696	7,342	7,451	692	1,170	779	55,577	43,025
	静岡市駿河区	9,411	7,018	2,222	1,407	6,628	2,979	2,745	6,610	6,740	623	1,119	690	48,192	39,154
	静岡市清水区	12,194	7,418	2,318	1,253	5,349	2,067	2,011	5,817	5,857	546	905	633	46,368	46,328
	島田市	4,943	2,122	668	336	1,379	468	478	1,549	1,529	144	230	181	14,028	19,210
	焼津市	9,241	4,895	1,532	795	3,312	1,204	1,198	3,679	3,676	344	558	411	30,845	18,414
	藤枝市	7,168	4,501	1,399	708	2,851	999	1,009	3,258	3,279	306	479	358	26,315	23,307
	牧之原市	2,447	1,153	362	183	746	256	260	841	834	78	125	97	7,380	8,206
	吉田町	1,129	562	177	95	412	159	155	456	436	42	70	50	3,742	6,506
	川根本町	176	32	11	5	21	5	6	24	17	10	3	4	312	2,673
	(小計)	59,161	36,591	11,471	6,357	27,617	10,966	10,558	29,576	29,819	2,785	4,657	3,202	232,760	206,822
西部	浜松市中区	11,145	7,680	2,438	1,566	7,473	3,398	3,119	7,378	7,505	695	1,267	773	54,436	49,138
	浜松市東区	5,331	2,562	810	478	2,214	944	886	2,253	2,250	211	381	247	18,566	29,039
	浜松市西区	4,862	2,836	885	464	1,935	715	708	2,146	2,155	201	326	236	17,469	20,823
	浜松市南区	4,579	3,008	944	542	2,412	1,000	948	2,530	2,561	238	409	270	19,440	18,044
	浜松市北区	2,281	636	204	108	482	166	245	530	473	48	84	65	5,321	26,016
	浜松市浜北区	2,711	828	266	139	607	216	216	646	624	60	102	80	6,494	23,157
	浜松市天竜区	767	145	49	23	99	25	41	111	95	10	15	16	1,396	10,665
	磐田市	8,238	5,303	1,649	853	3,498	1,271	1,266	3,936	3,968	370	589	429	31,369	27,980
	掛川市	6,023	2,957	929	494	2,110	794	780	2,294	2,286	215	357	258	19,497	19,946
	袋井市	5,023	3,230	1,012	568	2,492	1,009	965	2,648	2,676	249	422	284	20,579	9,173
	湖西市	2,845	1,255	396	214	929	355	347	994	986	93	158	113	8,684	12,919
	御前崎市	1,371	504	159	84	372	132	193	416	380	38	65	48	3,760	7,719
	菊川市	1,951	876	276	146	625	232	229	678	672	63	106	77	5,933	9,523
	森町	1,041	456	143	65	240	62	71	294	289	27	38	36	2,763	3,358
(小計)	58,169	32,277	10,158	5,744	25,486	10,320	10,013	26,856	26,921	2,517	4,318	2,932	215,708	267,499	

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



表 XI-2.4 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）  
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅(借上げ型含む)及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】  
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】  
 ((ア) 東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

パターンD

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
	し 自宅を応急修理	新 従前場所で自宅	仮 従前場所で自力	築 別の場所に新築購入	親 族、知人宅	る 勤務先の提供	民 間賃貸	宅 借上げ型応急住	応 急仮設住宅	用 公営住宅一時使	避 難所	そ の 他	合 計		
県計	156,343	71,732	23,248	12,739	58,684	23,787	22,547	60,042	37,974	6,420	10,295	6,896	490,709	906,464	
賀 茂	下田市	707	99	34	20	103	40	59	33	24	14	20	1,167	9,611	
	東伊豆町	97	12	4	3	14	6	9	4	3	2	3	158	5,823	
	河津町	160	25	9	4	21	7	7	12	7	1	3	259	2,767	
	南伊豆町	153	30	10	5	21	6	6	15	9	1	3	263	3,438	
	松崎町	667	123	42	21	94	30	30	63	36	6	16	1,143	1,873	
	西伊豆町	836	162	55	27	123	40	40	87	49	8	21	1,467	2,558	
(小計)	2,619	452	155	80	377	129	151	214	127	33	65	55	4,457	26,070	
東 部	沼津市	4,563	797	265	166	880	376	538	367	266	156	174	107	8,654	70,861
	熱海市	459	54	19	12	69	30	43	15	11	6	14	9	742	18,978
	三島市	1,159	162	54	36	198	88	124	60	43	26	40	24	2,016	42,535
	富士宮市	3,969	620	213	118	579	209	315	227	167	97	107	82	6,702	40,230
	伊東市	845	101	35	21	113	45	66	27	19	11	22	16	1,321	29,260
	富士市	5,982	980	330	196	1,009	404	590	402	293	172	195	131	10,685	80,149
	御殿場市	946	146	49	32	171	74	106	60	44	26	34	21	1,708	29,560
	裾野市	783	99	33	23	127	57	80	32	23	13	26	15	1,311	19,719
	伊豆市	684	119	41	21	96	31	48	46	34	20	17	15	1,171	11,396
	伊豆の国市	697	92	31	20	106	44	64	30	22	13	21	14	1,154	17,561
	函南町	300	40	14	8	44	18	26	13	9	5	9	6	491	13,483
	清水町	483	63	21	15	86	40	56	21	20	3	18	10	836	11,332
	長泉町	377	56	18	13	74	35	48	24	17	10	15	8	697	14,793
	小山町	174	26	9	5	26	10	15	10	7	4	5	4	296	6,216
(小計)	21,421	3,357	1,132	687	3,578	1,461	2,120	1,333	975	562	697	461	37,784	406,073	
中 部	静岡市葵区	14,080	8,665	2,811	1,535	7,088	2,910	2,646	8,337	4,676	786	1,235	806	55,577	43,025
	静岡市駿河区	10,763	6,828	2,245	1,382	6,802	3,065	2,691	7,577	4,231	712	1,183	713	48,192	39,154
	静岡市清水区	13,750	7,510	2,363	1,282	5,548	2,210	1,986	4,774	4,725	604	960	658	46,368	46,328
	島田市	5,512	2,095	682	330	1,424	492	479	1,553	878	147	246	191	14,028	19,210
	焼津市	10,346	4,805	1,556	776	3,407	1,253	1,189	3,913	2,206	370	593	429	30,845	18,414
	藤枝市	8,010	4,401	1,417	684	2,914	1,028	992	3,614	2,038	342	504	372	26,315	23,307
	牧之原市	2,736	1,171	370	188	776	276	260	648	640	82	133	101	7,380	8,206
	吉田町	1,272	572	181	98	431	171	154	347	343	44	75	52	3,742	6,506
	川根本町	194	34	12	5	22	5	6	14	9	5	3	4	312	2,673
	(小計)	66,663	36,081	11,637	6,281	28,412	11,410	10,403	30,777	19,746	3,092	4,932	3,325	232,760	206,822
西 部	浜松市中区	12,762	7,486	2,466	1,544	7,689	3,509	3,068	8,332	4,652	783	1,345	800	54,436	49,138
	浜松市東区	6,044	2,523	825	475	2,301	992	887	2,325	1,305	219	410	259	18,566	29,039
	浜松市西区	5,450	2,777	898	451	1,986	741	699	2,337	1,317	221	346	246	17,469	20,823
	浜松市南区	5,183	2,938	955	530	2,478	1,033	934	2,825	1,584	266	434	280	19,440	18,044
	浜松市北区	2,572	661	214	116	528	203	186	321	317	41	92	69	5,321	26,016
	浜松市浜北区	3,030	828	274	140	636	233	221	564	319	53	111	85	6,494	23,157
	浜松市天竜区	848	151	51	25	104	27	46	53	51	7	17	18	1,396	10,665
	磐田市	9,225	5,182	1,670	825	3,578	1,308	1,245	4,385	2,470	415	621	445	31,369	27,980
	掛川市	6,773	3,005	950	508	2,200	857	778	1,784	1,764	226	382	270	19,497	19,946
	袋井市	5,673	3,156	1,024	555	2,560	1,043	951	2,944	1,652	278	448	295	20,579	9,173
	湖西市	3,202	1,279	406	221	972	385	348	748	740	95	170	119	8,684	12,919
	御前崎市	1,536	516	163	87	389	140	210	286	275	36	71	50	3,760	7,719
	菊川市	2,192	892	283	151	653	252	230	514	508	65	113	81	5,933	9,523
	森町	1,150	449	146	63	244	64	70	300	170	29	40	37	2,763	3,358
(小計)	65,640	31,842	10,325	5,691	26,318	10,786	9,874	27,719	17,126	2,733	4,600	3,055	215,708	267,499	

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.5 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 ((イ) 南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①））

パターンA

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													合計	住機能支障なし
	し 自宅を 居 住を 応 急 修 理	新 従 築 前 場 所 で 自 宅	仮 従 設 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 入	親 族、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 不 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他			
県計	150,672	75,067	24,127	12,760	58,241	21,275	31,928	66,144	45,971	27,639	10,395	7,127	531,346	865,827	
賀 茂	下田市	518	642	202	97	408	137	211	504	362	213	72	50	3,417	7,361
	東伊豆町	201	93	30	16	72	26	39	82	57	34	13	9	672	5,309
	河津町	220	101	32	14	58	17	27	74	52	31	10	8	644	2,382
	南伊豆町	180	246	76	31	114	30	50	161	118	69	20	16	1,112	2,589
	松崎町	327	335	105	44	172	48	79	232	168	98	30	24	1,662	1,354
	西伊豆町	254	526	163	68	258	73	120	357	262	152	46	34	2,315	1,710
(小計)	1,700	1,944	608	270	1,083	331	528	1,410	1,018	597	191	142	9,820	20,707	
東 部	沼津市	7,651	1,599	530	318	1,619	659	957	1,660	1,092	679	309	200	17,274	62,241
	熱海市	509	65	22	14	77	32	47	74	47	30	15	10	942	18,778
	三島市	1,020	151	51	33	175	74	107	171	109	69	35	22	2,016	42,535
	富士宮市	3,539	586	201	108	520	179	275	550	355	220	93	75	6,702	40,230
	伊東市	881	135	46	26	132	49	73	135	87	54	24	18	1,662	28,919
	富士市	5,399	935	316	182	916	353	521	942	610	381	172	122	10,850	79,984
	御殿場市	834	137	46	29	152	64	92	150	97	61	30	19	1,708	29,560
	裾野市	689	91	31	20	111	48	68	107	67	43	22	14	1,311	19,719
	伊豆市	474	207	67	30	126	38	60	156	109	65	22	18	1,371	11,196
	伊豆の国市	617	85	29	18	93	37	55	92	59	37	18	12	1,154	17,561
	函南町	266	37	13	8	39	15	22	39	25	16	7	5	491	13,483
	清水町	423	57	19	13	74	34	48	71	45	29	15	9	836	11,332
	長泉町	330	52	17	12	65	30	42	63	40	26	13	8	697	14,793
	小山町	155	25	8	5	24	9	13	24	16	10	4	3	296	6,216
(小計)	22,787	4,162	1,396	816	4,122	1,621	2,379	4,235	2,756	1,720	781	535	47,310	396,547	
中 部	静岡市葵区	12,313	8,495	2,712	1,450	6,599	2,445	3,651	7,523	5,279	3,161	1,170	779	55,577	43,025
	静岡市駿河区	9,874	6,765	2,180	1,329	6,439	2,607	3,786	6,872	4,776	2,887	1,141	702	49,359	37,987
	静岡市清水区	14,414	7,665	2,453	1,250	5,579	1,973	2,993	6,486	4,530	2,713	995	697	51,748	40,948
	島田市	4,900	2,038	657	307	1,308	409	648	1,587	1,104	659	230	181	14,028	19,210
	焼津市	11,124	4,955	1,593	779	3,406	1,141	1,763	4,032	2,805	1,679	605	449	34,332	14,927
	藤枝市	7,104	4,313	1,372	643	2,712	872	1,367	3,339	2,359	1,399	479	358	26,315	23,307
	牧之原市	2,746	1,710	543	250	1,039	325	515	1,297	918	544	183	139	10,208	5,378
	吉田町	2,031	795	257	132	601	213	323	686	473	285	108	77	5,982	4,266
	川根本町	175	32	11	5	20	4	8	24	16	10	3	4	312	2,673
	(小計)	64,681	36,768	11,778	6,144	27,703	9,990	15,054	31,846	22,260	13,337	4,913	3,386	247,860	191,722
西 部	浜松市中区	11,251	7,342	2,369	1,468	7,174	2,935	4,249	7,593	5,265	3,188	1,275	777	54,887	48,687
	浜松市東区	5,268	2,452	790	444	2,104	814	1,200	2,308	1,593	964	381	247	18,566	29,039
	浜松市西区	5,937	3,154	1,008	494	2,156	731	1,125	2,565	1,797	1,073	383	278	20,700	17,592
	浜松市南区	6,271	3,184	1,023	563	2,626	998	1,479	2,922	2,027	1,222	472	311	23,099	14,385
	浜松市北区	2,276	617	203	103	469	159	245	530	358	217	84	65	5,327	26,010
	浜松市浜北区	2,687	797	261	129	573	188	293	662	450	272	102	80	6,494	23,157
	浜松市天竜区	764	141	49	22	95	24	41	111	73	44	15	16	1,396	10,665
	磐田市	8,493	5,121	1,631	785	3,372	1,122	1,738	4,077	2,873	1,709	597	435	31,952	27,397
	掛川市	5,981	2,840	911	454	2,008	691	1,058	2,355	1,640	983	358	258	19,538	19,905
	袋井市	4,981	3,090	988	523	2,376	873	1,308	2,715	1,900	1,139	423	284	20,600	9,152
	湖西市	3,187	1,608	515	258	1,143	397	606	1,339	935	560	204	145	10,896	10,707
	御前崎市	1,441	569	184	93	416	144	220	480	331	199	74	54	4,206	7,273
	菊川市	1,933	841	271	134	593	202	310	695	483	289	106	77	5,934	9,522
	森町	1,034	438	141	59	227	55	96	301	212	125	38	36	2,763	3,358
(小計)	61,505	32,194	10,344	5,530	25,334	9,333	13,967	28,654	19,936	11,984	4,510	3,065	226,357	256,850	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.6 発災後約1ヶ月～2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅（借上げ型含む）及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】  
 （（イ）南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①））

パターンB

市町名	中期的住機能支障（世帯）〔避難先別あるいは住宅再建方法別〕												合計	住機能支障なし	
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 築 従 前 場 所 で 自 宅	仮 設 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 入	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他			
県計	170,122	76,660	24,639	13,225	61,289	22,924	34,145	50,976	37,059	21,745	11,117	7,446	531,346	865,827	
賀茂	下田市	582	648	204	98	418	142	218	455	333	194	74	51	3,417	7,361
	東伊豆町	227	95	31	16	76	28	42	61	45	26	14	9	672	5,309
	河津町	245	102	33	15	61	18	29	56	41	24	11	9	644	2,382
	南伊豆町	200	247	77	31	116	31	52	148	110	63	21	16	1,112	2,589
	松崎町	364	338	106	45	176	50	82	205	152	88	31	24	1,662	1,354
	西伊豆町	283	529	164	68	262	75	122	336	250	144	47	35	2,315	1,710
	(小計)	1,901	1,960	614	274	1,109	343	545	1,261	931	540	197	145	9,820	20,707
東部	沼津市	8,679	1,684	556	344	1,792	757	1,087	840	608	358	351	217	17,274	62,241
	熱海市	576	70	24	16	88	39	55	21	15	9	18	11	942	18,778
	三島市	1,159	162	54	36	198	88	124	60	43	26	40	24	2,016	42,535
	富士宮市	3,969	620	213	118	579	209	315	227	167	97	107	82	6,702	40,230
	伊東市	992	144	49	29	148	57	85	51	37	22	28	20	1,662	28,919
	富士市	6,092	992	334	199	1,023	410	599	404	294	172	198	133	10,850	79,984
	御殿場市	946	146	49	32	171	74	106	60	44	26	34	21	1,708	29,560
	裾野市	783	99	33	23	127	57	80	32	23	13	26	15	1,311	19,719
	伊豆市	529	211	68	31	132	41	65	116	86	50	23	19	1,371	11,196
	伊豆の国市	697	92	31	20	106	44	64	30	22	13	21	14	1,154	17,561
	函南町	300	40	14	8	44	18	26	13	9	5	9	6	491	13,483
	清水町	483	62	21	15	86	40	56	21	15	9	18	10	836	11,332
	長泉町	377	56	18	13	74	35	48	24	17	10	15	8	697	14,793
小山町	174	26	9	5	26	10	15	10	7	4	5	4	296	6,216	
(小計)	25,755	4,406	1,474	888	4,595	1,879	2,726	1,908	1,388	814	894	584	47,310	396,547	
中部	静岡市葵区	13,948	8,630	2,754	1,490	6,870	2,595	3,852	6,227	4,515	2,654	1,235	806	55,577	43,025
	静岡市駿河区	11,303	6,886	2,215	1,367	6,711	2,768	3,998	5,688	4,071	2,416	1,210	727	49,359	37,987
	静岡市清水区	16,246	7,814	2,502	1,293	5,857	2,122	3,193	5,069	3,700	2,165	1,060	726	51,748	40,948
	島田市	5,479	2,084	673	320	1,382	444	697	1,160	856	497	246	191	14,028	19,210
	焼津市	12,485	5,064	1,630	809	3,597	1,237	1,895	3,004	2,205	1,285	648	471	34,332	14,927
	藤枝市	7,959	4,382	1,395	661	2,827	929	1,445	2,699	1,987	1,155	504	372	26,315	23,307
	牧之原市	3,072	1,736	552	257	1,081	346	543	1,055	778	452	192	144	10,208	5,378
	吉田町	2,287	816	264	138	639	234	351	489	357	209	117	81	5,982	4,266
	川根本町	194	34	12	5	22	5	9	12	9	5	3	4	312	2,673
	(小計)	72,975	37,445	11,997	6,341	28,986	10,679	15,982	25,402	18,478	10,838	5,215	3,522	247,860	191,722
西部	浜松市中区	12,894	7,482	2,410	1,513	7,490	3,123	4,496	6,225	4,450	2,643	1,355	805	54,887	48,687
	浜松市東区	5,982	2,511	808	462	2,226	884	1,292	1,737	1,256	740	410	259	18,566	29,039
	浜松市西区	6,672	3,213	1,028	511	2,262	785	1,198	2,006	1,471	858	407	290	20,700	17,592
	浜松市南区	7,110	3,254	1,045	584	2,767	1,077	1,584	2,254	1,632	961	506	325	23,099	14,385
	浜松市北区	2,553	639	211	109	508	178	272	321	236	137	93	69	5,327	26,010
	浜松市浜北区	3,009	823	270	136	617	209	322	421	310	180	111	85	6,494	23,157
	浜松市天竜区	848	148	51	24	104	27	46	53	39	23	17	18	1,396	10,665
	磐田市	9,536	5,205	1,659	808	3,519	1,197	1,840	3,288	2,412	1,406	630	452	31,952	27,397
	掛川市	6,726	2,900	931	471	2,117	747	1,135	1,786	1,308	764	383	270	19,538	19,905
	袋井市	5,635	3,144	1,005	539	2,482	932	1,386	2,199	1,597	938	448	295	20,600	9,152
	湖西市	3,587	1,640	526	267	1,202	428	648	1,033	755	441	217	152	10,896	10,707
	御前崎市	1,620	584	189	97	442	157	238	343	251	147	80	57	4,206	7,273
	菊川市	2,172	860	277	140	627	220	334	514	377	220	113	81	5,934	9,522
	森町	1,146	447	144	61	238	59	102	224	168	96	40	37	2,763	3,358
(小計)	69,491	32,850	10,554	5,722	26,599	10,022	14,892	22,405	16,262	9,553	4,811	3,196	226,357	256,850	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.7 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）  
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】  
 （（イ）南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①））

パターンC

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													合計	住機能支障なし
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 購 入	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他			
県計	152,414	78,882	24,803	14,047	61,870	25,071	22,547	60,044	67,725	6,420	10,395	7,127	531,346	865,827	
賀茂	下田市	520	669	203	103	413	140	211	504	487	45	72	50	3,417	7,361
	東伊豆町	202	97	30	17	73	27	39	82	76	7	13	9	672	5,309
	河津町	222	106	33	16	62	19	18	66	76	7	10	8	644	2,382
	南伊豆町	182	259	78	36	122	34	34	145	171	15	20	16	1,112	2,589
	松崎町	330	353	107	51	183	56	54	208	245	21	30	24	1,662	1,354
	西伊豆町	257	555	167	79	276	85	81	321	382	32	46	34	2,315	1,710
	(小計)	1,712	2,038	618	300	1,129	362	438	1,327	1,437	127	191	142	9,820	20,707
東部	沼津市	7,683	1,646	531	328	1,671	695	957	1,660	1,448	144	309	200	17,274	62,241
	熱海市	509	65	22	14	77	32	47	74	47	30	15	10	942	18,778
	三島市	1,020	151	51	33	175	74	107	171	109	69	35	22	2,016	42,535
	富士宮市	3,554	600	201	111	540	190	275	550	466	47	93	75	6,702	40,230
	伊東市	881	135	46	26	132	49	73	135	87	54	24	18	1,662	28,919
	富士市	5,399	935	316	182	916	353	521	942	610	381	172	122	10,850	79,984
	御殿場市	834	137	46	29	152	64	92	150	97	61	30	19	1,708	29,560
	裾野市	689	91	31	20	111	48	68	107	67	43	22	14	1,311	19,719
	伊豆市	476	214	67	32	128	39	60	156	145	14	22	18	1,371	11,196
	伊豆の国市	617	85	29	18	93	37	55	92	59	37	18	12	1,154	17,561
	函南町	267	38	13	8	40	16	22	39	32	3	7	5	491	13,483
	清水町	425	58	19	13	78	36	48	71	58	6	15	9	836	11,332
	長泉町	331	53	17	12	68	31	42	63	53	5	13	8	697	14,793
	小山町	155	25	8	5	24	9	13	24	16	10	4	3	296	6,216
(小計)	22,840	4,234	1,399	832	4,204	1,673	2,379	4,235	3,294	905	781	535	47,310	396,547	
中部	静岡市葵区	12,491	8,960	2,800	1,608	7,032	2,927	2,462	6,760	7,916	672	1,170	779	55,577	43,025
	静岡市駿河区	10,044	7,152	2,267	1,453	6,853	3,145	2,553	6,176	7,260	613	1,141	702	49,359	37,987
	静岡市清水区	14,603	8,066	2,523	1,389	5,956	2,349	2,018	5,829	6,747	577	995	697	51,748	40,948
	島田市	4,954	2,139	672	343	1,399	482	437	1,426	1,626	140	230	181	14,028	19,210
	焼津市	11,258	5,205	1,633	867	3,641	1,351	1,189	3,624	4,153	357	605	449	34,332	14,927
	藤枝市	7,186	4,537	1,406	723	2,895	1,030	921	3,000	3,481	297	479	358	26,315	23,307
	牧之原市	2,776	1,798	556	282	1,109	384	347	1,165	1,353	116	183	139	10,208	5,378
	吉田町	2,057	835	264	146	643	253	218	616	703	61	108	77	5,982	4,266
	川根本町	176	33	11	5	21	5	5	22	18	10	3	4	312	2,673
	(小計)	65,546	38,725	12,133	6,816	29,549	11,927	10,149	28,619	33,256	2,841	4,913	3,386	247,860	191,722
西部	浜松市中区	11,448	7,763	2,466	1,602	7,637	3,541	2,865	6,823	8,013	677	1,275	777	54,887	48,687
	浜松市東区	5,348	2,582	815	488	2,248	975	809	2,074	2,395	205	381	247	18,566	29,039
	浜松市西区	6,010	3,317	1,035	552	2,303	867	758	2,305	2,664	228	383	278	20,700	17,592
	浜松市南区	6,363	3,354	1,056	620	2,804	1,194	997	2,626	3,042	260	472	311	23,099	14,385
	浜松市北区	2,285	636	204	108	483	167	245	530	475	46	84	65	5,327	26,010
	浜松市浜北区	2,718	834	267	142	614	222	197	595	665	58	102	80	6,494	23,157
	浜松市天竜区	767	145	49	23	99	25	41	111	96	9	15	16	1,396	10,665
	磐田市	8,596	5,389	1,674	880	3,599	1,330	1,172	3,664	4,254	363	597	435	31,952	27,397
	掛川市	6,056	2,985	935	505	2,146	821	713	2,116	2,435	209	358	258	19,538	19,905
	袋井市	5,051	3,257	1,019	580	2,533	1,044	882	2,440	2,845	242	423	284	20,600	9,152
	湖西市	3,228	1,691	529	287	1,221	472	408	1,204	1,389	119	204	145	10,896	10,707
	御前崎市	1,447	589	184	97	425	150	220	480	442	42	74	54	4,206	7,273
	菊川市	1,957	883	277	149	634	240	209	625	715	61	106	77	5,934	9,522
	森町	1,043	460	144	67	243	63	65	271	307	27	38	36	2,763	3,358
(小計)	62,317	33,885	10,654	6,099	26,988	11,109	9,581	25,863	29,738	2,546	4,510	3,065	226,357	256,850	

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.8 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）  
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅(借上げ型含む)及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】  
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】  
 ((イ) 南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①））

パターンD

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 購 入	親 族 、 知 人 宅	勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計		
県計	171,968	78,181	25,302	13,982	63,984	26,666	22,547	60,044	43,690	6,420	11,117	7,446	531,346	865,827	
賀茂	下田市	583	672	204	104	419	143	218	455	441	52	74	51	3,417	7,361
	東伊豆町	227	99	31	17	76	29	42	61	60	7	14	9	672	5,309
	河津町	246	104	34	16	64	21	18	67	47	6	11	9	644	2,382
	南伊豆町	202	252	78	34	122	35	32	177	125	17	21	16	1,112	2,589
	松崎町	367	344	108	49	185	58	51	246	174	24	31	24	1,662	1,354
	西伊豆町	285	538	168	75	275	86	77	404	286	39	47	35	2,315	1,710
(小計)	1,910	2,010	623	294	1,141	371	439	1,411	1,134	146	197	145	9,820	20,707	
東部	沼津市	8,679	1,684	556	344	1,792	757	1,087	840	608	358	351	217	17,274	62,241
	熱海市	576	70	24	16	88	39	55	21	15	9	18	11	942	18,778
	三島市	1,159	162	54	36	198	88	124	60	43	26	40	24	2,016	42,535
	富士宮市	3,969	620	213	118	579	209	315	227	167	97	107	82	6,702	40,230
	伊東市	992	144	49	29	148	57	85	51	37	22	28	20	1,662	28,919
	富士市	6,092	992	334	199	1,023	410	599	404	294	172	198	133	10,850	79,984
	御殿場市	946	146	49	32	171	74	106	60	44	26	34	21	1,708	29,560
	裾野市	783	99	33	23	127	57	80	32	23	13	26	15	1,311	19,719
	伊豆市	529	218	68	33	133	41	65	116	113	13	23	19	1,371	11,196
	伊豆の国市	697	92	31	20	106	44	64	30	22	13	21	14	1,154	17,561
	函南町	300	40	14	8	44	18	26	13	9	5	9	6	491	13,483
	清水町	483	63	21	15	86	40	56	21	21	2	18	10	836	11,332
	長泉町	377	56	18	13	74	35	48	24	17	10	15	8	697	14,793
	小山町	174	26	9	5	26	10	15	10	7	4	5	4	296	6,216
(小計)	25,755	4,413	1,474	890	4,595	1,880	2,726	1,908	1,420	771	894	584	47,310	396,547	
中部	静岡市葵区	14,147	8,795	2,841	1,580	7,200	3,072	2,416	7,480	5,289	716	1,235	806	55,577	43,025
	静岡市駿河区	11,510	7,021	2,301	1,436	7,032	3,301	2,508	6,832	4,830	652	1,210	727	49,359	37,987
	静岡市清水区	16,446	7,962	2,569	1,372	6,139	2,492	2,003	6,090	4,305	584	1,060	726	51,748	40,948
	島田市	5,529	2,123	687	340	1,446	516	437	1,394	985	134	246	191	14,028	19,210
	焼津市	12,618	5,160	1,668	859	3,767	1,444	1,189	3,609	2,551	347	648	471	34,332	14,927
	藤枝市	8,038	4,464	1,429	708	2,963	1,085	906	3,243	2,293	312	504	372	26,315	23,307
	牧之原市	3,101	1,768	565	275	1,133	403	341	1,267	896	122	192	144	10,208	5,378
	吉田町	2,315	848	270	150	671	274	220	489	490	56	117	81	5,982	4,266
	川根本町	194	34	12	5	22	5	5	14	9	5	3	4	312	2,673
	(小計)	73,897	38,176	12,342	6,726	30,373	12,592	10,025	30,417	21,648	2,927	5,215	3,522	247,860	191,722
西部	浜松市中区	13,135	7,629	2,505	1,587	7,849	3,724	2,820	7,478	5,287	713	1,355	805	54,887	48,687
	浜松市東区	6,072	2,559	833	486	2,335	1,041	810	2,086	1,475	200	410	259	18,566	29,039
	浜松市西区	6,746	3,274	1,054	544	2,370	919	752	2,410	1,704	231	407	290	20,700	17,592
	浜松市南区	7,214	3,316	1,076	616	2,901	1,269	993	2,708	1,914	259	506	325	23,099	14,385
	浜松市北区	2,580	662	215	117	532	208	170	321	322	37	93	69	5,327	26,010
	浜松市浜北区	3,039	838	275	143	645	243	202	506	358	49	111	85	6,494	23,157
	浜松市天竜区	848	151	51	25	104	27	46	53	52	6	17	18	1,396	10,665
	磐田市	9,638	5,303	1,701	863	3,688	1,402	1,154	3,950	2,792	379	630	452	31,952	27,397
	掛川市	6,805	3,017	955	514	2,221	879	712	1,786	1,791	206	383	270	19,538	19,905
	袋井市	5,713	3,204	1,035	571	2,602	1,100	869	2,641	1,867	253	448	295	20,600	9,152
	湖西市	3,629	1,671	539	284	1,260	501	406	1,241	877	119	217	152	10,896	10,707
	御前崎市	1,639	607	193	105	463	185	149	343	344	40	80	57	4,206	7,273
	菊川市	2,197	894	284	152	658	258	210	514	515	59	113	81	5,934	9,522
	森町	1,152	455	147	65	248	67	64	269	190	26	40	37	2,763	3,358
(小計)	70,406	33,581	10,863	6,072	27,875	11,823	9,358	26,307	19,489	2,577	4,811	3,196	226,357	256,850	

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.9 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 ((ウ) 南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①））

パターンA

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													合計	住機能支障なし
	し 自宅を 居 住を 応 急 修 理	新 従 築 前 場 所 で 自 宅	仮 従 設 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新	親 族、 知 人 宅	る 勤 施 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他			
県計	128,651	68,187	21,874	11,516	52,335	19,062	28,632	59,713	41,608	24,981	9,326	6,386	472,272	924,901	
賀茂	下田市	380	622	195	93	388	129	200	483	348	205	68	47	3,158	7,620
	東伊豆町	155	87	28	14	65	24	35	75	53	31	12	8	588	5,393
	河津町	178	93	30	13	53	15	25	67	48	28	9	8	566	2,460
	南伊豆町	143	237	73	29	108	28	48	155	114	66	19	15	1,037	2,664
	松崎町	199	311	97	40	154	43	71	212	155	90	27	21	1,419	1,597
	西伊豆町	195	516	159	66	251	71	116	349	256	149	45	33	2,207	1,818
	(小計)	1,250	1,867	582	256	1,019	310	496	1,341	973	569	180	132	8,976	21,551
東部	沼津市	5,672	1,291	426	253	1,275	516	750	1,320	874	542	242	156	13,318	66,197
	熱海市	222	30	10	6	34	14	21	34	21	13	7	4	417	19,303
	三島市	341	45	15	10	55	24	34	53	33	21	11	7	649	43,902
	富士宮市	700	85	30	17	86	30	46	87	54	34	16	13	1,199	45,733
	伊東市	428	88	30	16	78	28	42	83	55	34	14	11	906	29,675
	富士市	1,292	147	52	32	171	68	99	165	102	65	33	23	2,249	88,585
	御殿場市	690	114	38	24	126	53	76	125	81	51	25	16	1,418	29,850
	裾野市	139	16	5	4	20	9	13	19	12	8	4	3	250	20,780
	伊豆市	169	164	52	22	89	26	42	117	84	50	16	12	844	11,723
	伊豆の国市	362	54	18	11	57	23	33	57	37	23	11	8	694	18,021
	函南町	141	21	7	4	21	8	12	21	14	9	4	3	264	13,710
	清水町	194	27	9	6	35	16	22	33	21	13	7	4	388	11,780
	長泉町	66	9	3	2	12	5	8	11	7	5	2	1	132	15,358
	小山町	115	20	7	4	18	7	10	19	12	8	3	3	226	6,286
(小計)	10,532	2,111	702	412	2,078	827	1,209	2,145	1,407	875	395	263	22,956	420,901	
中部	静岡市葵区	7,193	2,253	734	414	1,999	776	1,142	2,154	1,459	891	369	244	19,629	78,973
	静岡市駿河区	6,630	1,566	512	338	1,787	785	1,114	1,781	1,179	735	347	201	16,974	70,372
	静岡市清水区	9,575	1,980	661	368	1,793	671	1,000	1,899	1,251	773	332	238	20,541	72,155
	島田市	3,664	884	294	145	650	207	326	740	496	302	114	95	7,917	25,321
	焼津市	7,666	1,562	525	278	1,311	456	697	1,421	936	576	236	184	15,847	33,412
	藤枝市	3,726	945	313	158	715	238	369	808	543	330	127	101	8,371	41,251
	牧之原市	2,704	1,395	446	207	873	275	434	1,074	755	449	154	118	8,884	6,702
	吉田町	1,994	501	166	89	421	154	231	459	308	188	77	56	4,643	5,605
	川根本町	236	43	15	7	27	6	10	32	21	13	4	5	418	2,567
	(小計)	43,387	11,130	3,666	2,003	9,576	3,566	5,323	10,367	6,947	4,257	1,760	1,241	103,224	336,358
西部	浜松市中区	14,902	12,219	3,937	2,416	11,677	4,721	6,858	12,468	8,697	5,247	2,047	1,261	86,449	17,125
	浜松市東区	7,010	5,340	1,705	934	4,294	1,620	2,405	4,842	3,400	2,037	758	496	34,841	12,764
	浜松市西区	6,310	5,857	1,848	882	3,732	1,242	1,922	4,592	3,277	1,938	657	468	32,724	5,568
	浜松市南区	6,080	3,981	1,273	690	3,171	1,189	1,769	3,582	2,507	1,504	563	372	26,681	10,803
	浜松市北区	4,216	3,333	1,054	495	2,079	677	1,056	2,576	1,834	1,085	367	267	19,038	12,299
	浜松市浜北区	4,023	3,528	1,111	509	2,102	666	1,049	2,656	1,900	1,120	370	273	19,308	10,343
	浜松市天竜区	2,260	835	271	116	458	115	198	591	411	244	77	72	5,647	6,414
	磐田市	9,831	7,320	2,318	1,104	4,687	1,550	2,405	5,743	4,077	2,416	827	599	42,877	16,472
	掛川市	6,154	2,711	872	437	1,943	671	1,026	2,265	1,572	943	347	251	19,193	20,250
	袋井市	4,624	2,730	873	464	2,113	779	1,165	2,407	1,682	1,009	377	253	18,475	11,277
	湖西市	3,944	3,325	1,052	514	2,208	752	1,155	2,671	1,898	1,125	389	274	19,306	2,297
	御前崎市	1,111	323	106	55	253	89	135	283	192	117	46	34	2,742	8,737
	菊川市	1,972	841	271	134	595	203	312	696	483	290	106	78	5,981	9,475
	森町	1,045	739	233	94	351	86	150	488	352	205	61	53	3,855	2,266
(小計)	73,482	53,080	16,924	8,844	39,662	14,358	21,605	45,860	32,281	19,279	6,991	4,750	337,117	146,090	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.10 発災後約1ヶ月～2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅（借上げ型含む）及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】  
 ((ウ) 南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①））

パターンB

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計		
県計	145,274	69,549	22,312	11,913	54,945	20,475	30,532	46,742	33,986	19,940	9,944	6,659	472,272	924,901	
賀茂	下田市	427	625	196	94	395	133	205	447	327	191	69	48	3,158	7,620
	東伊豆町	175	89	28	15	68	25	38	59	43	25	12	8	588	5,393
	河津町	199	95	30	13	55	16	26	53	39	23	10	8	566	2,460
	南伊豆町	158	239	74	30	110	29	49	144	107	62	20	15	1,037	2,664
	松崎町	221	313	97	41	156	44	73	196	145	84	28	21	1,419	1,597
	西伊豆町	218	518	160	67	253	72	118	333	247	143	45	34	2,207	1,818
	(小計)	1,398	1,878	586	259	1,038	320	509	1,232	909	528	184	134	8,976	21,551
東部	沼津市	6,434	1,355	446	272	1,404	588	846	712	515	303	273	169	13,318	66,197
	熱海市	251	32	11	7	39	17	24	10	7	4	8	5	417	19,303
	三島市	387	49	17	11	63	28	40	16	11	7	13	8	649	43,902
	富士宮市	785	92	33	19	98	36	54	23	17	10	18	14	1,199	45,733
	伊東市	482	93	31	17	85	32	48	42	31	18	16	11	906	29,675
	富士市	1,458	160	56	36	196	82	118	36	26	15	39	26	2,249	88,585
	御殿場市	783	122	41	26	142	62	88	51	37	22	29	17	1,418	29,850
	裾野市	157	17	6	4	23	11	15	4	3	2	5	3	250	20,780
	伊豆市	189	166	52	23	91	27	44	103	76	44	16	12	844	11,723
	伊豆の国市	409	58	20	12	65	27	39	20	15	9	13	8	694	18,021
	函南町	159	22	8	5	24	9	14	8	5	3	5	3	264	13,710
	清水町	222	29	10	7	40	19	26	10	8	4	8	5	388	11,780
	長泉町	76	10	3	2	14	7	9	3	2	1	3	2	132	15,358
	小山町	130	21	7	4	20	8	12	8	6	4	4	3	226	6,286
(小計)	11,922	2,226	739	446	2,305	953	1,377	1,046	760	446	449	286	22,956	420,901	
中部	静岡市葵区	8,148	2,332	759	438	2,157	863	1,259	1,397	1,013	595	407	260	19,629	78,973
	静岡市駿河区	7,590	1,647	536	364	1,969	893	1,256	985	705	418	393	217	16,974	70,372
	静岡市清水区	10,793	2,080	694	396	1,978	769	1,133	958	699	409	375	258	20,541	72,155
	島田市	4,096	918	306	154	706	233	363	421	311	180	126	102	7,917	25,321
	焼津市	8,604	1,637	550	298	1,442	523	788	712	523	305	266	199	15,847	33,412
	藤枝市	4,174	981	325	167	776	267	410	472	348	202	140	108	8,371	41,251
	牧之原市	3,026	1,421	455	214	915	295	462	836	616	358	163	123	8,884	6,702
	吉田町	2,246	522	172	95	459	173	258	266	194	113	86	60	4,643	5,605
	川根本町	261	45	16	7	29	6	12	15	11	7	4	5	418	2,567
	(小計)	48,938	11,583	3,813	2,135	10,431	4,023	5,939	6,062	4,420	2,588	1,961	1,332	103,224	336,358
西部	浜松市中区	17,079	12,403	3,990	2,476	12,095	4,971	7,186	10,656	7,618	4,525	2,153	1,297	86,449	17,125
	浜松市東区	7,959	5,419	1,729	958	4,456	1,712	2,527	4,082	2,951	1,739	798	512	34,841	12,764
	浜松市西区	7,091	5,921	1,869	900	3,844	1,299	2,001	3,998	2,930	1,709	682	481	32,724	5,568
	浜松市南区	6,893	4,048	1,294	711	3,308	1,265	1,871	2,934	2,125	1,250	596	385	26,681	10,803
	浜松市北区	4,729	3,375	1,068	506	2,150	713	1,105	2,190	1,609	937	383	275	19,038	12,299
	浜松市浜北区	4,506	3,566	1,125	520	2,167	697	1,092	2,296	1,690	983	385	281	19,308	10,343
	浜松市天竜区	2,507	854	278	120	483	124	212	419	313	180	82	76	5,647	6,414
	磐田市	11,038	7,417	2,351	1,131	4,857	1,636	2,523	4,830	3,544	2,066	866	618	42,877	16,472
	掛川市	6,921	2,773	893	455	2,055	729	1,105	1,679	1,230	718	372	264	19,193	20,250
	袋井市	5,232	2,780	889	479	2,211	833	1,238	1,928	1,400	822	400	263	18,475	11,277
	湖西市	4,439	3,365	1,065	525	2,281	790	1,207	2,292	1,676	979	406	282	19,306	2,297
	御前崎市	1,249	334	110	58	273	99	149	178	130	76	50	36	2,742	8,737
	菊川市	2,216	860	277	140	630	221	336	511	375	219	114	82	5,981	9,475
	森町	1,158	747	236	96	362	90	156	410	307	176	63	54	3,855	2,266
(小計)	83,016	53,862	17,174	9,073	41,171	15,179	22,707	38,402	27,897	16,378	7,349	4,906	337,117	146,090	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.11 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）  
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】  
 ((ウ) 南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①））

パターンC

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													合計	住機能支障なし
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 購 入	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他			
県計	129,648	70,895	22,318	12,372	54,487	21,528	22,547	60,044	56,301	6,420	9,326	6,386	472,272	924,901	
賀茂	下田市	381	647	195	98	392	132	200	483	468	45	68	47	3,158	7,620
	東伊豆町	156	91	28	15	66	24	35	75	70	7	12	8	588	5,393
	河津町	180	97	30	14	55	17	18	68	64	6	9	8	566	2,460
	南伊豆町	144	247	75	33	114	31	36	156	153	15	19	15	1,037	2,664
	松崎町	200	324	98	45	161	49	53	213	208	20	27	21	1,419	1,597
	西伊豆町	197	538	162	74	262	80	86	351	346	33	45	33	2,207	1,818
	(小計)	1,257	1,944	589	281	1,049	333	428	1,347	1,310	125	180	132	8,976	21,551
東部	沼津市	5,695	1,331	427	262	1,314	542	750	1,320	1,159	119	242	156	13,318	66,197
	熱海市	222	30	10	6	34	14	21	34	21	13	7	4	417	19,303
	三島市	341	45	15	10	55	24	34	53	33	21	11	7	649	43,902
	富士宮市	700	85	30	17	86	30	46	87	54	34	16	13	1,199	45,733
	伊東市	428	88	30	16	78	28	42	83	55	34	14	11	906	29,675
	富士市	1,292	147	52	32	171	68	99	165	102	65	33	23	2,249	88,585
	御殿場市	690	114	38	24	126	53	76	125	81	51	25	16	1,418	29,850
	裾野市	139	16	5	4	20	9	13	19	12	8	4	3	250	20,780
	伊豆市	170	171	52	24	90	27	42	117	113	11	16	12	844	11,723
	伊豆の国市	362	54	18	11	57	23	33	57	37	23	11	8	694	18,021
	函南町	141	21	7	4	21	8	12	21	14	9	4	3	264	13,710
	清水町	195	27	9	6	36	17	22	33	27	3	7	4	388	11,780
	長泉町	66	9	3	2	12	5	8	11	7	5	2	1	132	15,358
	小山町	115	20	7	4	18	7	10	19	12	8	3	3	226	6,286
(小計)	10,557	2,157	704	422	2,119	855	1,209	2,145	1,726	404	395	263	22,956	420,901	
中部	静岡市葵区	7,193	2,253	734	414	1,999	776	1,142	2,154	1,459	891	369	244	19,629	78,973
	静岡市駿河区	6,658	1,618	514	348	1,837	825	1,114	1,781	1,569	162	347	201	16,974	70,372
	静岡市清水区	9,614	2,036	663	380	1,852	706	1,000	1,899	1,650	170	332	238	20,541	72,155
	島田市	3,694	914	298	155	688	237	241	745	669	66	114	95	7,917	25,321
	焼津市	7,737	1,614	532	294	1,391	525	516	1,421	1,271	127	236	184	15,847	33,412
	藤枝市	3,740	974	314	164	736	249	369	808	717	73	127	101	8,371	41,251
	牧之原市	2,727	1,450	454	227	916	313	321	1,082	1,023	99	154	118	8,884	6,702
	吉田町	2,014	520	168	95	446	177	171	459	420	41	77	56	4,643	5,605
	川根本町	236	43	15	7	27	6	8	32	22	13	4	5	418	2,567
	(小計)	43,613	11,422	3,694	2,084	9,892	3,814	4,882	10,380	8,800	1,643	1,760	1,241	103,224	336,358
西部	浜松市中区	15,094	12,793	4,062	2,581	12,163	5,480	5,077	12,553	12,183	1,156	2,047	1,261	86,449	17,125
	浜松市東区	7,088	5,576	1,750	1,008	4,482	1,871	1,780	4,875	4,708	449	758	496	34,841	12,764
	浜松市西区	6,367	6,107	1,888	968	3,897	1,421	1,423	4,623	4,479	427	657	468	32,724	5,568
	浜松市南区	6,146	4,153	1,305	745	3,315	1,372	1,309	3,606	3,462	331	563	372	26,681	10,803
	浜松市北区	4,253	3,472	1,075	543	2,175	773	782	2,594	2,499	239	367	267	19,038	12,299
	浜松市浜北区	4,057	3,675	1,134	561	2,198	758	776	2,674	2,584	247	370	273	19,308	10,343
	浜松市天竜区	2,275	865	275	127	482	129	147	595	550	54	77	72	5,647	6,414
	磐田市	9,919	7,625	2,366	1,209	4,903	1,772	1,780	5,783	5,561	532	827	599	42,877	16,472
	掛川市	6,212	2,818	890	473	2,041	770	760	2,280	2,143	208	347	251	19,193	20,250
	袋井市	4,672	2,846	894	501	2,211	897	862	2,424	2,316	222	377	253	18,475	11,277
	湖西市	3,981	3,466	1,075	561	2,307	862	855	2,689	2,598	248	389	274	19,306	2,297
	御前崎市	1,115	333	106	57	260	93	135	283	254	26	46	34	2,742	8,737
	菊川市	1,991	874	276	146	625	233	231	701	657	64	106	78	5,981	9,475
森町	1,052	768	236	105	368	96	111	491	470	45	61	53	3,855	2,266	
(小計)	74,222	55,371	17,332	9,585	41,427	16,525	16,028	46,172	44,464	4,248	6,991	4,750	337,117	146,090	

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



表 XI-2.12 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）  
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅(借上げ型含む)及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】  
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】  
 ((ウ) 南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①）

パターンD

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 購 入	親 族 、 知 人 宅	勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計		
県計	146,150	70,152	22,677	12,289	56,366	22,455	22,547	60,042	36,571	6,420	9,944	6,659	472,272	924,901	
賀茂	下田市	427	649	196	99	396	135	205	447	432	55	69	48	3,158	7,620
	東伊豆町	176	92	28	16	69	25	38	59	57	7	12	8	588	5,393
	河津町	200	95	31	14	56	18	18	72	40	6	10	8	566	2,460
	南伊豆町	159	239	75	31	113	31	33	195	109	18	20	15	1,037	2,664
	松崎町	222	314	98	42	161	48	49	265	148	24	28	21	1,419	1,597
	西伊豆町	218	519	162	69	260	77	80	451	251	41	45	34	2,207	1,818
(小計)	1,402	1,908	590	270	1,055	334	423	1,488	1,037	151	184	134	8,976	21,551	
東部	沼津市	6,434	1,355	446	272	1,404	588	846	712	515	303	273	169	13,318	66,197
	熱海市	251	32	11	7	39	17	24	10	7	4	8	5	417	19,303
	三島市	387	49	17	11	63	28	40	16	11	7	13	8	649	43,902
	富士宮市	785	92	33	19	98	36	54	23	17	10	18	14	1,199	45,733
	伊東市	482	93	31	17	85	32	48	42	31	18	16	11	906	29,675
	富士市	1,458	160	56	36	196	82	118	36	26	15	39	26	2,249	88,585
	御殿場市	783	122	41	26	142	62	88	51	37	22	29	17	1,418	29,850
	裾野市	157	17	6	4	23	11	15	4	3	2	5	3	250	20,780
	伊豆市	189	172	52	24	92	28	44	103	100	13	16	12	844	11,723
	伊豆の国市	409	58	20	12	65	27	39	20	15	9	13	8	694	18,021
	函南町	159	22	8	5	24	9	14	8	5	3	5	3	264	13,710
	清水町	222	30	10	7	40	19	26	10	10	1	8	5	388	11,780
	長泉町	76	10	3	2	14	7	9	3	2	1	3	2	132	15,358
小山町	130	21	7	4	20	8	12	8	6	4	4	3	226	6,286	
(小計)	11,922	2,232	739	448	2,305	953	1,377	1,046	786	412	449	286	22,956	420,901	
中部	静岡市葵区	8,148	2,332	759	438	2,157	863	1,259	1,397	1,013	595	407	260	19,629	78,973
	静岡市駿河区	7,592	1,694	536	372	1,971	895	1,256	985	943	120	393	217	16,974	70,372
	静岡市清水区	10,796	2,129	694	407	1,980	772	1,133	958	922	117	375	258	20,541	72,155
	島田市	4,129	949	311	164	734	267	245	421	417	52	126	102	7,917	25,321
	焼津市	8,684	1,690	558	314	1,500	596	533	712	706	87	266	199	15,847	33,412
	藤枝市	4,176	1,007	326	173	777	269	410	472	456	58	140	108	8,371	41,251
	牧之原市	3,043	1,427	461	221	942	325	313	1,132	631	102	163	123	8,884	6,702
	吉田町	2,269	540	175	100	478	198	174	266	264	32	86	60	4,643	5,605
	川根本町	261	45	16	7	29	6	8	19	11	7	4	5	418	2,567
	(小計)	49,099	11,813	3,836	2,197	10,568	4,192	5,331	6,361	5,364	1,170	1,961	1,332	103,224	336,358
西部	浜松市中区	17,289	12,449	4,098	2,539	12,472	5,616	4,864	14,425	7,954	1,295	2,153	1,297	86,449	17,125
	浜松市東区	8,036	5,439	1,767	986	4,593	1,918	1,710	5,526	3,059	498	798	512	34,841	12,764
	浜松市西区	7,138	5,942	1,900	929	3,955	1,436	1,354	5,412	3,008	489	682	481	32,724	5,568
	浜松市南区	6,959	4,065	1,321	731	3,411	1,416	1,266	3,972	2,201	358	596	385	26,681	10,803
	浜松市北区	4,759	3,387	1,084	523	2,213	786	748	2,964	1,649	268	383	275	19,038	12,299
	浜松市浜北区	4,532	3,579	1,141	538	2,228	766	739	3,108	1,730	281	385	281	19,308	10,343
	浜松市天竜区	2,516	858	281	124	495	136	144	567	318	51	82	76	5,647	6,414
	磐田市	11,110	7,446	2,388	1,168	5,000	1,807	1,707	6,538	3,637	591	866	618	42,877	16,472
	掛川市	6,991	2,879	912	491	2,142	840	748	1,679	1,668	205	372	264	19,193	20,250
	袋井市	5,278	2,792	906	493	2,281	930	838	2,610	1,448	235	400	263	18,475	11,277
	湖西市	4,470	3,377	1,083	542	2,348	875	817	3,102	1,723	280	406	282	19,306	2,297
	御前崎市	1,249	343	110	60	273	100	149	178	171	22	50	36	2,742	8,737
	菊川市	2,238	893	283	151	657	254	227	511	508	63	114	82	5,981	9,475
森町	1,162	750	238	99	371	96	105	555	311	50	63	54	3,855	2,266	
(小計)	83,727	54,199	17,512	9,374	42,438	16,976	15,416	51,146	29,384	4,687	7,349	4,906	337,117	146,090	

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.13 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 ((エ) 南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①）

パターンA

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
	し 自宅を 居 住を 応 急 修 理	新 従 築 前 場 所 で 自 宅	仮 従 設 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新	親 族、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 不 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計		
県計	155,640	78,156	25,085	13,115	59,515	21,565	32,450	68,036	47,334	28,434	10,638	7,330	547,297	849,876	
賀茂	下田市	702	671	212	102	436	147	227	533	380	225	77	54	3,768	7,010
	東伊豆町	295	108	35	19	87	32	48	97	67	40	16	11	856	5,125
	河津町	251	107	35	15	63	18	30	79	55	33	11	9	707	2,319
	南伊豆町	222	255	79	32	120	31	53	169	123	71	21	17	1,194	2,507
	松崎町	394	359	113	48	186	52	86	250	180	105	33	26	1,832	1,184
	西伊豆町	419	564	176	74	284	81	132	388	282	164	50	39	2,653	1,372
	(小計)	2,283	2,066	649	290	1,177	362	576	1,516	1,087	640	208	156	11,009	19,518
東部	沼津市	8,727	1,927	637	380	1,920	778	1,131	1,981	1,309	812	365	236	20,205	59,310
	熱海市	703	93	32	20	109	46	66	106	67	43	21	14	1,319	18,401
	三島市	1,396	218	73	47	248	105	151	244	157	99	49	31	2,817	41,734
	富士宮市	4,929	1,261	417	212	967	326	504	1,087	731	445	173	135	11,186	35,746
	伊東市	1,484	212	73	42	213	80	119	216	137	86	40	30	2,732	27,849
	富士市	7,865	2,046	673	369	1,764	659	983	1,909	1,280	785	325	228	18,886	71,948
	御殿場市	1,574	287	96	59	307	128	184	309	201	126	59	38	3,366	27,902
	裾野市	879	129	43	28	150	64	92	146	93	59	30	19	1,731	19,299
	伊豆市	855	278	91	42	181	54	87	217	149	89	31	26	2,102	10,465
	伊豆の国市	901	131	45	27	140	56	82	140	89	56	27	19	1,713	17,002
	函南町	331	47	16	10	49	19	28	49	31	20	9	7	614	13,360
	清水町	562	77	26	18	100	46	64	95	60	39	21	12	1,118	11,050
	長泉町	498	91	30	20	109	48	68	106	69	43	22	12	1,117	14,373
	小山町	276	45	15	9	43	16	24	44	29	18	8	6	532	5,980
(小計)	30,980	6,843	2,268	1,282	6,299	2,424	3,581	6,650	4,401	2,720	1,179	811	69,439	374,418	
中部	静岡市葵区	9,290	5,378	1,722	929	4,272	1,596	2,378	4,823	3,364	2,021	763	507	37,044	61,558
	静岡市駿河区	8,821	4,728	1,527	942	4,632	1,902	2,751	4,887	3,370	2,047	834	508	36,950	50,396
	静岡市清水区	14,888	9,844	3,134	1,577	6,947	2,435	3,704	8,192	5,769	3,440	1,231	859	62,019	30,677
	島田市	4,654	1,872	604	284	1,210	378	599	1,463	1,016	607	212	168	13,067	20,171
	焼津市	9,196	2,710	888	450	2,041	696	1,070	2,317	1,573	954	365	277	22,537	26,722
	藤枝市	5,682	2,150	696	337	1,471	481	749	1,739	1,201	721	260	200	15,688	33,934
	牧之原市	2,750	2,325	732	332	1,359	423	671	1,730	1,238	729	239	179	12,707	2,879
	吉田町	1,927	869	279	142	639	225	342	738	512	308	114	81	6,178	4,070
	川根本町	211	39	13	6	24	5	9	29	19	11	4	4	376	2,609
	(小計)	57,420	29,914	9,597	4,999	22,594	8,142	12,273	25,918	18,063	10,838	4,023	2,784	206,565	233,017
西部	浜松市中区	10,577	6,690	2,159	1,340	6,559	2,688	3,889	6,932	4,802	2,910	1,168	711	50,426	53,148
	浜松市東区	5,470	2,902	932	520	2,441	938	1,384	2,700	1,874	1,130	438	285	21,015	26,590
	浜松市西区	6,213	4,131	1,312	635	2,734	919	1,418	3,303	2,334	1,387	483	348	25,215	13,077
	浜松市南区	6,272	2,843	916	508	2,388	913	1,351	2,637	1,820	1,101	432	284	21,465	16,019
	浜松市北区	3,089	1,256	405	198	869	289	448	1,024	710	425	154	116	8,984	22,353
	浜松市浜北区	3,126	1,221	395	190	824	267	417	980	678	406	146	112	8,761	20,890
	浜松市天竜区	991	212	72	33	136	34	58	162	108	65	22	23	1,915	10,146
	磐田市	8,775	5,569	1,771	850	3,640	1,209	1,874	4,416	3,118	1,853	644	469	34,188	25,161
	掛川市	6,597	3,985	1,270	624	2,713	925	1,420	3,239	2,279	1,358	481	344	25,234	14,209
	袋井市	5,098	3,445	1,099	580	2,620	959	1,438	3,008	2,112	1,264	465	313	22,399	7,353
	湖西市	3,802	3,145	995	486	2,093	713	1,095	2,529	1,796	1,065	369	260	18,349	3,254
	御前崎市	1,643	1,283	406	197	843	284	438	1,023	726	431	149	106	7,530	3,949
	菊川市	2,256	1,978	625	298	1,262	420	650	1,552	1,106	654	222	159	11,181	4,275
	森町	1,048	673	213	86	324	79	138	447	321	188	56	49	3,622	2,499
(小計)	64,956	39,333	12,571	6,544	29,445	10,637	16,019	33,952	23,783	14,237	5,228	3,579	260,283	222,924	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.14 発災後約1ヶ月～2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅(借上げ型含む)及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】  
 ((エ) 南海トラフ巨大地震(地震動：東側ケース、津波：ケース①))

パターンB

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計		
県計	175,686	79,796	25,614	13,593	62,643	23,253	34,720	52,422	38,163	22,371	11,378	7,658	547,297	849,876	
賀茂	下田市	790	679	214	104	449	154	236	466	341	199	80	56	3,768	7,010
	東伊豆町	333	112	36	20	93	35	53	68	49	29	17	12	856	5,125
	河津町	280	110	35	16	66	19	32	59	44	25	12	10	707	2,319
	南伊豆町	247	257	80	33	122	32	54	151	113	65	22	17	1,194	2,507
	松崎町	439	363	114	49	191	55	89	218	162	93	34	26	1,832	1,184
	西伊豆町	466	568	177	75	290	83	136	353	262	152	52	39	2,653	1,372
	(小計)	2,554	2,087	657	296	1,212	379	600	1,315	971	563	216	160	11,009	19,518
東部	沼津市	9,900	2,025	667	409	2,118	890	1,280	1,045	757	445	413	255	20,205	59,310
	熱海市	796	101	34	23	125	54	77	32	23	13	25	16	1,319	18,401
	三島市	1,585	234	78	51	280	123	175	93	67	39	57	34	2,817	41,734
	富士宮市	5,527	1,309	434	225	1,049	367	560	638	469	273	191	144	11,186	35,746
	伊東市	1,670	227	78	46	240	94	138	74	54	32	46	33	2,732	27,849
	富士市	8,874	2,129	700	393	1,920	743	1,096	1,125	820	480	361	244	18,886	71,948
	御殿場市	1,786	305	101	64	343	148	211	139	100	59	68	41	3,366	27,902
	裾野市	998	138	46	31	170	75	107	51	37	22	35	21	1,731	19,299
	伊豆市	954	286	94	44	193	60	95	145	107	62	34	28	2,102	10,465
	伊豆の国市	1,019	141	48	30	159	66	95	48	35	21	31	21	1,713	17,002
	函南町	373	50	17	10	55	22	32	16	12	7	11	7	614	13,360
	清水町	642	84	28	20	115	54	75	30	21	13	24	13	1,118	11,050
	長泉町	570	97	32	22	122	56	79	47	34	20	25	14	1,117	14,373
	小山町	310	48	16	9	48	18	27	18	13	8	9	7	532	5,980
(小計)	35,004	7,173	2,374	1,379	6,937	2,772	4,048	3,501	2,550	1,494	1,331	877	69,439	374,418	
中部	静岡市葵区	10,524	5,480	1,754	960	4,476	1,710	2,529	3,845	2,788	1,639	812	528	37,044	61,558
	静岡市駿河区	10,097	4,836	1,558	977	4,874	2,046	2,940	3,829	2,741	1,626	896	529	36,950	50,396
	静岡市清水区	16,781	9,998	3,184	1,622	7,235	2,588	3,910	6,729	4,911	2,873	1,298	889	62,019	30,677
	島田市	5,204	1,915	620	295	1,280	412	646	1,057	780	453	228	177	13,067	20,171
	焼津市	10,321	2,801	919	475	2,198	776	1,179	1,467	1,077	628	401	296	22,537	26,722
	藤枝市	6,367	2,205	715	352	1,563	526	812	1,228	904	526	281	211	15,688	33,934
	牧之原市	3,077	2,351	741	339	1,402	443	699	1,488	1,097	637	249	184	12,707	2,879
	吉田町	2,171	888	286	148	675	244	368	551	403	235	123	85	6,178	4,070
	川根本町	234	40	14	6	26	6	10	14	10	6	4	5	376	2,609
	(小計)	64,776	30,515	9,792	5,173	23,730	8,751	13,094	20,207	14,710	8,623	4,291	2,904	206,565	233,017
西部	浜松市中区	12,121	6,821	2,197	1,382	6,856	2,865	4,122	5,647	4,037	2,398	1,243	737	50,426	53,148
	浜松市東区	6,211	2,964	951	539	2,567	1,009	1,480	2,107	1,523	897	469	298	21,015	26,590
	浜松市西区	6,981	4,193	1,333	653	2,844	975	1,495	2,718	1,992	1,162	509	360	25,215	13,077
	浜松市南区	7,111	2,913	938	529	2,529	992	1,456	1,969	1,426	839	466	298	21,465	16,019
	浜松市北区	3,466	1,286	416	206	921	315	484	741	544	317	166	122	8,984	22,353
	浜松市浜北区	3,501	1,251	405	198	874	291	451	700	515	300	157	118	8,761	20,890
	浜松市天竜区	1,099	220	75	35	147	38	65	87	65	37	24	24	1,915	10,146
	磐田市	9,852	5,656	1,800	874	3,792	1,287	1,979	3,601	2,643	1,540	678	486	34,188	25,161
	掛川市	7,419	4,051	1,292	642	2,833	987	1,504	2,611	1,912	1,116	508	358	25,234	14,209
	袋井市	5,768	3,500	1,117	596	2,729	1,019	1,518	2,480	1,801	1,058	491	324	22,399	7,353
	湖西市	4,279	3,183	1,008	497	2,163	750	1,145	2,163	1,582	924	385	268	18,349	3,254
	御前崎市	1,848	1,300	412	201	873	300	459	867	635	371	156	109	7,530	3,949
	菊川市	2,534	2,001	632	304	1,302	440	678	1,340	982	573	231	163	11,181	4,275
	森町	1,161	682	216	88	335	83	144	369	276	159	58	51	3,622	2,499
(小計)	73,352	40,020	12,792	6,745	30,763	11,352	16,979	27,400	19,933	11,690	5,541	3,716	260,283	222,924	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.15 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）  
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】  
 ((エ) 南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①））

パターンC

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													合計	住機能支障なし
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 購 入	親 族 、 知 人 宅	る 動 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他			
県計	157,549	82,323	25,810	14,542	63,517	25,569	22,547	60,044	71,007	6,420	10,638	7,330	547,297	849,876	
賀茂	下田市	705	698	213	108	442	151	227	533	511	49	77	54	3,768	7,010
	東伊豆町	296	112	35	20	89	34	48	97	89	9	16	11	856	5,125
	河津町	254	113	35	17	68	21	19	68	83	7	11	9	707	2,319
	南伊豆町	224	270	81	38	129	36	35	144	183	16	21	17	1,194	2,507
	松崎町	398	379	115	55	200	62	57	214	270	23	33	26	1,832	1,184
	西伊豆町	423	597	180	86	306	95	87	332	423	36	50	39	2,653	1,372
(小計)	2,300	2,169	660	324	1,233	398	473	1,389	1,559	139	208	156	11,009	19,518	
東部	沼津市	8,764	1,986	639	392	1,979	819	1,131	1,981	1,736	176	365	236	20,205	59,310
	熱海市	703	93	32	20	109	46	66	106	67	43	21	14	1,319	18,401
	三島市	1,396	218	73	47	248	105	151	244	157	99	49	31	2,817	41,734
	富士宮市	4,981	1,308	425	228	1,031	385	332	1,087	1,004	97	173	135	11,186	35,746
	伊東市	1,484	212	73	42	213	80	119	216	137	86	40	30	2,732	27,849
	富士市	7,896	2,111	675	383	1,814	691	983	1,909	1,700	170	325	228	18,886	71,948
	御殿場市	1,580	295	96	61	318	135	184	309	265	27	59	38	3,366	27,902
	裾野市	883	131	44	28	156	68	92	146	122	13	30	19	1,731	19,299
	伊豆市	858	287	91	45	185	56	87	217	197	19	31	26	2,102	10,465
	伊豆の国市	901	131	45	27	140	56	82	140	89	56	27	19	1,713	17,002
	函南町	332	48	16	10	51	20	28	49	41	4	9	7	614	13,360
	清水町	565	79	26	18	104	48	64	95	79	8	21	12	1,118	11,050
	長泉町	501	93	30	21	112	51	68	106	91	9	22	12	1,117	14,373
	小山町	276	45	15	9	43	16	24	44	29	18	8	6	532	5,980
(小計)	31,120	7,039	2,281	1,331	6,504	2,576	3,409	6,650	5,711	827	1,179	811	69,439	374,418	
中部	静岡市葵区	9,412	5,618	1,776	1,012	4,515	1,902	1,567	4,823	4,710	439	763	507	37,044	61,558
	静岡市駿河区	8,985	5,009	1,590	1,034	4,969	2,313	1,813	4,187	5,263	445	834	508	36,950	50,396
	静岡市清水区	15,099	10,408	3,232	1,776	7,454	2,929	2,441	7,018	8,826	747	1,231	859	62,019	30,677
	島田市	4,709	1,971	618	319	1,300	450	395	1,253	1,539	132	212	168	13,067	20,171
	焼津市	9,315	2,848	909	498	2,197	831	705	1,985	2,400	207	365	277	22,537	26,722
	藤枝市	5,753	2,263	713	377	1,582	573	494	1,490	1,825	156	260	200	15,688	33,934
	牧之原市	2,783	2,457	753	380	1,459	503	442	1,482	1,871	158	239	179	12,707	2,879
	吉田町	1,954	916	287	159	687	270	225	632	784	67	114	81	6,178	4,070
	川根本町	212	39	14	6	25	6	6	25	23	11	4	4	376	2,609
	(小計)	58,224	31,531	9,892	5,561	24,188	9,777	8,088	22,895	27,241	2,362	4,023	2,784	206,565	233,017
西部	浜松市中区	10,777	7,096	2,253	1,472	7,029	3,275	2,563	5,939	7,510	632	1,168	711	50,426	53,148
	浜松市東区	5,559	3,069	965	577	2,620	1,134	912	2,313	2,896	245	438	285	21,015	26,590
	浜松市西区	6,295	4,365	1,351	719	2,934	1,101	934	2,829	3,554	301	483	348	25,215	13,077
	浜松市南区	6,372	3,003	946	562	2,566	1,102	890	2,259	2,809	239	432	284	21,465	16,019
	浜松市北区	3,129	1,323	416	222	934	345	295	877	1,080	92	154	116	8,984	22,353
	浜松市浜北区	3,164	1,286	404	213	886	318	275	839	1,030	88	146	112	8,761	20,890
	浜松市天竜区	995	218	72	34	141	35	58	162	142	14	22	23	1,915	10,146
	磐田市	8,890	5,883	1,821	962	3,908	1,447	1,235	3,783	4,744	402	644	469	34,188	25,161
	掛川市	6,686	4,210	1,307	703	2,913	1,109	936	2,774	3,475	295	481	344	25,234	14,209
	袋井市	5,175	3,645	1,136	649	2,810	1,159	948	2,577	3,248	274	465	313	22,399	7,353
	湖西市	3,854	3,327	1,026	551	2,244	857	722	2,167	2,741	231	369	260	18,349	3,254
	御前崎市	1,665	1,357	419	223	904	341	289	877	1,107	94	149	106	7,530	3,949
	菊川市	2,286	2,092	644	339	1,354	503	428	1,329	1,683	142	222	159	11,181	4,275
	森町	1,058	710	217	100	348	92	91	383	478	41	56	49	3,622	2,499
(小計)	65,905	41,584	12,978	7,326	31,591	12,818	10,577	29,110	36,496	3,092	5,228	3,579	260,283	222,924	

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.16 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）  
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅(借上げ型含む)及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】  
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】  
 ((エ) 南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①））

パターンD

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 購 入 所 に 新	親 族 、 知 人 宅	勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計		
県計	177,637	81,697	26,315	14,465	65,509	27,152	22,547	60,044	46,475	6,420	11,378	7,658	547,297	849,876	
賀茂	下田市	790	703	215	110	451	156	236	466	451	56	80	56	3,768	7,010
	東伊豆町	333	115	36	20	93	36	53	68	65	8	17	12	856	5,125
	河津町	282	112	36	17	70	23	19	70	50	7	12	10	707	2,319
	南伊豆町	248	262	82	36	129	37	33	182	128	18	22	17	1,194	2,507
	松崎町	442	369	116	53	201	63	54	261	184	26	34	26	1,832	1,184
	西伊豆町	470	578	181	82	305	97	82	424	300	43	52	39	2,653	1,372
(小計)	2,566	2,139	666	318	1,249	411	477	1,472	1,178	158	216	160	11,009	19,518	
東部	沼津市	9,903	2,077	667	419	2,120	893	1,280	1,045	1,006	125	413	255	20,205	59,310
	熱海市	796	101	34	23	125	54	77	32	23	13	25	16	1,319	18,401
	三島市	1,585	234	78	51	280	123	175	93	67	39	57	34	2,817	41,734
	富士宮市	5,587	1,357	442	241	1,101	431	339	638	638	77	191	144	11,186	35,746
	伊東市	1,670	227	78	46	240	94	138	74	54	32	46	33	2,732	27,849
	富士市	8,877	2,187	700	405	1,923	747	1,096	1,125	1,086	135	361	244	18,886	71,948
	御殿場市	1,786	305	101	64	343	148	211	139	100	59	68	41	3,366	27,902
	裾野市	998	138	46	31	170	75	107	51	37	22	35	21	1,731	19,299
	伊豆市	955	294	94	46	193	60	95	145	141	17	34	28	2,102	10,465
	伊豆の国市	1,019	141	48	30	159	66	95	48	35	21	31	21	1,713	17,002
	函南町	373	50	17	10	55	22	32	16	12	7	11	7	614	13,360
	清水町	642	85	28	20	115	54	75	30	28	4	24	13	1,118	11,050
	長泉町	570	99	32	22	122	56	79	47	45	6	25	14	1,117	14,373
小山町	310	48	16	9	48	18	27	18	13	8	9	7	532	5,980	
(小計)	35,072	7,344	2,383	1,420	6,994	2,842	3,827	3,501	3,285	563	1,331	877	69,439	374,418	
中部	静岡市葵区	10,686	5,711	1,812	1,043	4,710	2,044	1,532	3,845	3,863	459	812	528	37,044	61,558
	静岡市駿河区	10,295	5,048	1,621	1,046	5,129	2,458	1,781	3,829	3,862	456	896	529	36,950	50,396
	静岡市清水区	16,999	10,187	3,278	1,730	7,603	3,072	2,369	8,080	5,707	806	1,298	889	62,019	30,677
	島田市	5,254	1,952	633	315	1,343	483	391	1,270	896	127	228	177	13,067	20,171
	焼津市	10,439	2,906	939	511	2,309	913	714	1,467	1,467	176	401	296	22,537	26,722
	藤枝市	6,435	2,290	731	383	1,642	620	492	1,228	1,227	147	281	211	15,688	33,934
	牧之原市	3,108	2,395	761	366	1,474	522	423	1,787	1,261	179	249	184	12,707	2,879
	吉田町	2,198	905	293	157	710	289	223	662	467	66	123	85	6,178	4,070
	川根本町	234	41	14	6	26	6	6	17	10	6	4	5	376	2,609
	(小計)	65,648	31,434	10,083	5,558	24,945	10,405	7,932	22,184	18,761	2,422	4,291	2,904	206,565	233,017
西部	浜松市中区	12,360	6,953	2,289	1,451	7,204	3,445	2,497	6,781	4,792	672	1,243	737	50,426	53,148
	浜松市東区	6,310	3,020	983	569	2,699	1,202	896	2,530	1,787	252	469	298	21,015	26,590
	浜松市西区	7,063	4,272	1,370	699	2,989	1,154	906	3,264	2,305	326	509	360	25,215	13,077
	浜松市南区	7,221	2,968	967	557	2,659	1,178	882	2,364	1,670	235	466	298	21,465	16,019
	浜松市北区	3,504	1,311	425	219	966	371	293	890	628	89	166	122	8,984	22,353
	浜松市浜北区	3,537	1,275	414	210	917	342	273	840	593	84	157	118	8,761	20,890
	浜松市天竜区	1,100	225	75	36	147	38	65	87	84	10	24	24	1,915	10,146
	磐田市	9,964	5,762	1,848	936	3,985	1,520	1,199	4,325	3,054	432	678	486	34,188	25,161
	掛川市	7,508	4,128	1,327	686	2,976	1,167	911	3,136	2,214	313	508	358	25,234	14,209
	袋井市	5,852	3,566	1,153	634	2,867	1,215	920	2,978	2,104	296	491	324	22,399	7,353
	湖西市	4,332	3,243	1,038	533	2,273	891	694	2,598	1,835	259	385	268	18,349	3,254
	御前崎市	1,870	1,324	424	216	917	355	278	1,042	735	104	156	109	7,530	3,949
	菊川市	2,564	2,038	650	327	1,369	522	411	1,609	1,136	161	231	163	11,181	4,275
森町	1,168	694	220	96	352	95	87	443	313	44	58	51	3,622	2,499	
(小計)	74,351	40,780	13,183	7,170	32,320	13,494	10,311	32,887	23,250	3,277	5,541	3,716	260,283	222,924	

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.17 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
（(オ) 大正型関東地震）

パターンA

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]												合計	住機能支障なし
	し 自 居 宅 を 応 急 修 理	新 従 築 従 前 前 場 所 で 自 宅	仮 従 設 従 前 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新	親 族、 知 人 宅	る 勤 施 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他		
県計	18,517	4,462	1,472	849	4,195	1,648	2,419	4,413	2,938	1,812	785	524	44,033	1,353,140
賀茂	下田市	219	31	11	6	31	12	17	31	20	12	6	400	10,378
	東伊豆町	67	9	3	2	10	4	6	10	6	4	2	123	5,858
	河津町	93	16	5	3	12	3	6	13	9	5	2	169	2,857
	南伊豆町	16	2	1	0	2	0	1	2	1	1	0	26	3,675
	松崎町	39	7	2	1	5	1	2	6	4	2	1	71	2,945
	西伊豆町	48	8	3	1	6	2	3	7	4	3	1	86	3,939
	(小計)	483	71	25	13	65	22	34	68	43	27	12	10	874
東部	沼津市	2,184	273	94	61	333	142	204	319	200	128	66	4,047	75,468
	熱海市	2,532	745	243	139	675	264	388	721	487	298	125	6,701	130,19
	三島市	1,937	385	128	78	403	167	241	409	268	167	78	4,309	40,242
	富士宮市	41	5	2	1	5	2	3	5	3	2	1	70	46,862
	伊東市	2,222	345	118	67	335	125	186	345	221	138	62	4,212	26,369
	富士市	286	31	11	7	37	15	21	35	21	14	7	489	90,345
	御殿場市	3,207	1,454	468	263	1,248	483	711	1,368	943	571	226	11,089	20,179
	裾野市	1,182	217	72	45	233	97	140	234	152	95	45	2,542	18,488
	伊豆市	330	51	18	9	42	13	21	45	29	18	7	588	11,979
	伊豆の国市	905	132	45	27	141	56	82	141	90	57	27	1,721	16,994
	函南町	618	98	33	19	97	37	55	99	63	40	18	1,189	12,785
	清水町	479	63	21	15	83	38	53	78	49	32	17	937	11,231
	長泉町	390	54	18	13	71	33	46	67	43	27	15	784	14,706
	小山町	891	454	145	72	318	109	168	375	262	157	57	3,048	3,464
(小計)	17,203	4,304	1,416	816	4,020	1,580	2,318	4,241	2,831	1,744	751	499	41,725	402,132
中部	静岡市葵区	145	14	5	3	19	8	11	17	10	7	4	246	98,356
	静岡市駿河区	151	16	5	4	24	11	16	22	13	9	5	279	87,067
	静岡市清水区	354	38	13	8	45	18	26	43	26	17	9	602	92,094
	島田市	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	33,232
	焼津市	72	11	4	2	10	4	5	10	7	4	2	131	49,128
	藤枝市	7	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	10	49,612
	牧之原市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	15,584
	吉田町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10,246
	川根本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,985
	(小計)	735	79	28	18	98	41	59	93	57	37	19	13	1,279
西部	浜松市中区	40	3	1	1	6	3	4	5	3	2	1	69	103,505
	浜松市東区	6	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	10	47,595
	浜松市西区	12	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	19	38,273
	浜松市南区	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	37,477
	浜松市北区	8	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	13	31,324
	浜松市浜北区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	29,648
	浜松市天竜区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,061
	磐田市	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	59,341
	掛川市	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	39,436
	袋井市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	29,748
	湖西市	8	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	13	21,590
	御前崎市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,479
	菊川市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	15,453
	森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,121
(小計)	96	8	3	2	11	5	7	10	6	4	2	2	156	483,051

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.18 発災後約1ヶ月～2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅(借上げ型含む)及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】  
 ((オ) 大正型関東地震)

パターンB

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]												合計	住機能支障なし	
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他			
県計	20,961	4,664	1,535	909	4,594	1,869	2,714	2,483	1,801	1,058	881	564	44,033	1,353,140	
賀茂	下田市	247	33	11	7	35	14	20	10	8	4	7	5	400	10,378
	東伊豆町	76	9	3	2	11	5	7	3	2	1	2	1	123	5,858
	河津町	104	16	6	3	13	4	6	6	4	2	2	2	169	2,857
	南伊豆町	18	2	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	26	3,675
	松崎町	43	7	2	1	6	2	3	2	2	1	1	1	71	2,945
	西伊豆町	53	8	3	1	7	2	3	3	2	1	1	1	86	3,939
	(小計)	541	76	26	15	73	26	40	24	18	10	13	11	874	29,653
東部	沼津市	2,478	297	101	68	382	170	241	85	62	36	78	47	4,047	75,468
	熱海市	2,870	773	252	147	731	295	430	454	329	193	139	88	6,701	13,019
	三島市	2,200	407	134	85	448	192	275	198	143	84	89	54	4,309	40,242
	富士宮市	46	5	2	1	6	2	3	1	1	1	1	1	70	46,862
	伊東市	2,500	368	126	74	376	146	215	131	96	56	72	51	4,212	26,369
	富士市	323	34	12	8	42	18	26	6	5	3	8	6	489	90,345
	御殿場市	3,640	1,490	480	274	1,321	524	767	1,021	738	435	244	154	11,089	20,179
	裾野市	1,342	230	76	49	261	113	161	106	76	45	52	31	2,542	18,488
	伊豆市	368	54	19	10	47	15	24	17	13	7	8	7	588	11,979
	伊豆の国市	1,022	141	48	30	160	66	96	49	36	21	32	21	1,721	16,994
	函南町	696	104	35	21	109	43	63	38	28	16	21	14	1,189	12,785
	清水町	547	68	23	16	95	45	63	22	16	10	20	11	937	11,231
	長泉町	445	59	19	14	81	39	54	21	15	9	17	9	784	14,706
	小山町	1,002	463	148	75	334	118	179	290	212	124	60	43	3,048	3,464
(小計)	19,479	4,492	1,476	872	4,394	1,787	2,595	2,441	1,770	1,041	841	537	41,725	402,132	
中部	静岡市葵区	164	15	5	4	22	10	14	2	2	1	5	3	246	98,356
	静岡市駿河区	173	18	6	5	28	14	19	4	3	2	6	3	279	87,067
	静岡市清水区	399	41	15	9	51	21	31	8	6	3	10	7	602	92,094
	島田市	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	33,232
	焼津市	80	11	4	2	11	4	6	4	3	2	2	2	131	49,128
	藤枝市	7	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	10	49,612
	牧之原市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	15,584
	吉田町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10,246
	川根本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,985
	(小計)	831	87	30	20	114	50	71	17	13	7	23	15	1,279	438,303
西部	浜松市中区	46	4	1	1	7	3	5	0	0	0	2	1	69	103,505
	浜松市東区	7	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	10	47,595
	浜松市西区	14	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	19	38,273
	浜松市南区	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	37,477
	浜松市北区	9	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	13	31,324
	浜松市浜北区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	29,648
	浜松市天竜区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,061
	磐田市	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	59,341
	掛川市	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	39,436
	袋井市	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	29,748
	湖西市	9	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	13	21,590
	御前崎市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,479
	菊川市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	15,453
	森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,121
(小計)	109	9	3	2	14	6	9	0	0	0	3	2	156	483,051	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.19 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）  
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】  
 （（オ）大正型関東地震）

パターンC

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
	し 自 居 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新	親 族 、 知 人 宅	勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計		
県計	18,517	4,462	1,472	849	4,195	1,648	2,419	4,413	2,938	1,812	785	524	44,033	1,353,140	
賀茂	下田市	219	31	11	6	31	12	17	31	20	12	6	4	400	10,378
	東伊豆町	67	9	3	2	10	4	6	10	6	4	2	1	123	5,858
	河津町	93	16	5	3	12	3	6	13	9	5	2	2	169	2,857
	南伊豆町	16	2	1	0	2	0	1	2	1	1	0	0	26	3,675
	松崎町	39	7	2	1	5	1	2	6	4	2	1	1	71	2,945
	西伊豆町	48	8	3	1	6	2	3	7	4	3	1	1	86	3,939
	(小計)	483	71	25	13	65	22	34	68	43	27	12	10	874	29,653
東部	沼津市	2,184	273	94	61	333	142	204	319	200	128	66	42	4,047	75,468
	熱海市	2,532	745	243	139	675	264	388	721	487	298	125	82	6,701	13,019
	三島市	1,937	385	128	78	403	167	241	409	268	167	78	49	4,309	40,242
	富士宮市	41	5	2	1	5	2	3	5	3	2	1	1	70	46,862
	伊東市	2,222	345	118	67	335	125	186	345	221	138	62	47	4,212	26,369
	富士市	286	31	11	7	37	15	21	35	21	14	7	5	489	90,345
	御殿場市	3,207	1,454	468	263	1,248	483	711	1,368	943	571	226	147	11,089	20,179
	裾野市	1,182	217	72	45	233	97	140	234	152	95	45	29	2,542	18,488
	伊豆市	330	51	18	9	42	13	21	45	29	18	7	7	588	11,979
	伊豆の国市	905	132	45	27	141	56	82	141	90	57	27	19	1,721	16,994
	函南町	618	98	33	19	97	37	55	99	63	40	18	13	1,189	12,785
	清水町	479	63	21	15	83	38	53	78	49	32	17	10	937	11,231
	長泉町	390	54	18	13	71	33	46	67	43	27	15	8	784	14,706
小山町	891	454	145	72	318	109	168	375	262	157	57	41	3,048	3,464	
(小計)	17,203	4,304	1,416	816	4,020	1,580	2,318	4,241	2,831	1,744	751	499	41,725	402,132	
中部	静岡市葵区	145	14	5	3	19	8	11	17	10	7	4	2	246	98,356
	静岡市駿河区	151	16	5	4	24	11	16	22	13	9	5	3	279	87,067
	静岡市清水区	354	38	13	8	45	18	26	43	26	17	9	6	602	92,094
	島田市	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	33,232
	焼津市	72	11	4	2	10	4	5	10	7	4	2	1	131	49,128
	藤枝市	7	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	10	49,612
	牧之原市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	15,584
	吉田町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10,246
	川根本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,985
	(小計)	735	79	28	18	98	41	59	93	57	37	19	13	1,279	438,303
西部	浜松市中区	40	3	1	1	6	3	4	5	3	2	1	1	69	103,505
	浜松市東区	6	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	10	47,595
	浜松市西区	12	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	19	38,273
	浜松市南区	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	37,477
	浜松市北区	8	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	13	31,324
	浜松市浜北区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	29,648
	浜松市天竜区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,061
	磐田市	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	59,341
	掛川市	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	39,436
	袋井市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	29,748
	湖西市	8	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	13	21,590
	御前崎市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,479
	菊川市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	15,453
	森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,121
	(小計)	96	8	3	2	11	5	7	10	6	4	2	2	156	483,051

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



表 XI-2.20 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）  
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅(借上げ型含む)及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】  
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】  
 ((オ) 大正型関東地震)

パターンD

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
	し 自宅を 応急修理	新 従前 場所 で自宅	仮 従前 場所 で自力	築 別 の購 入に新	親 族、 知人宅	る 勤 務先 の提供 す	民間 賃貸	宅 借 上げ 型 応急 住	応 急 仮設 住宅	用 公 営住 宅一 時使	避 難 所	そ の 他	合 計		
県計	20,961	4,664	1,535	909	4,594	1,869	2,714	2,483	1,801	1,058	881	564	44,033	1,353,140	
賀茂	下田市	247	33	11	7	35	14	20	10	8	4	7	5	400	10,378
	東伊豆町	76	9	3	2	11	5	7	3	2	1	2	1	123	5,858
	河津町	104	16	6	3	13	4	6	6	4	2	2	2	169	2,857
	南伊豆町	18	2	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	26	3,675
	松崎町	43	7	2	1	6	2	3	2	2	1	1	1	71	2,945
	西伊豆町	53	8	3	1	7	2	3	3	2	1	1	1	86	3,939
	(小計)	541	76	26	15	73	26	40	24	18	10	13	11	874	29,653
東部	沼津市	2,478	297	101	68	382	170	241	85	62	36	78	47	4,047	75,468
	熱海市	2,870	773	252	147	731	295	430	454	329	193	139	88	6,701	13,019
	三島市	2,200	407	134	85	448	192	275	198	143	84	89	54	4,309	40,242
	富士宮市	46	5	2	1	6	2	3	1	1	1	1	1	70	46,862
	伊東市	2,500	368	126	74	376	146	215	131	96	56	72	51	4,212	26,369
	富士市	323	34	12	8	42	18	26	6	5	3	8	6	489	90,345
	御殿場市	3,640	1,490	480	274	1,321	524	767	1,021	738	435	244	154	11,089	20,179
	裾野市	1,342	230	76	49	261	113	161	106	76	45	52	31	2,542	18,488
	伊豆市	368	54	19	10	47	15	24	17	13	7	8	7	588	11,979
	伊豆の国市	1,022	141	48	30	160	66	96	49	36	21	32	21	1,721	16,994
	函南町	696	104	35	21	109	43	63	38	28	16	21	14	1,189	12,785
	清水町	547	68	23	16	95	45	63	22	16	10	20	11	937	11,231
	長泉町	445	59	19	14	81	39	54	21	15	9	17	9	784	14,706
	小山町	1,002	463	148	75	334	118	179	290	212	124	60	43	3,048	3,464
(小計)	19,479	4,492	1,476	872	4,394	1,787	2,595	2,441	1,770	1,041	841	537	41,725	402,132	
中部	静岡市葵区	164	15	5	4	22	10	14	2	2	1	5	3	246	98,356
	静岡市駿河区	173	18	6	5	28	14	19	4	3	2	6	3	279	87,067
	静岡市清水区	399	41	15	9	51	21	31	8	6	3	10	7	602	92,094
	島田市	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	33,232
	焼津市	80	11	4	2	11	4	6	4	3	2	2	2	131	49,128
	藤枝市	7	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	10	49,612
	牧之原市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	15,584
	吉田町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10,246
	川根本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,985
	(小計)	831	87	30	20	114	50	71	17	13	7	23	15	1,279	438,303
西部	浜松市中区	46	4	1	1	7	3	5	0	0	0	2	1	69	103,505
	浜松市東区	7	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	10	47,595
	浜松市西区	14	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	19	38,273
	浜松市南区	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	37,477
	浜松市北区	9	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	13	31,324
	浜松市浜北区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	29,648
	浜松市天竜区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,061
	磐田市	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	59,341
	掛川市	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	39,436
	袋井市	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	29,748
	湖西市	9	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	13	21,590
	御前崎市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,479
	菊川市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	15,453
	森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,121
	(小計)	109	9	3	2	14	6	9	0	0	0	3	2	156	483,051

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.21 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 ((カ) 元禄型関東地震)

パターンA

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													合計	住機能支障なし
	し 自 居 宅 を 応 急 修 理	新 従 築 従 前 場 所 所 で 自 宅	仮 従 設 従 前 場 所 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 ・ 購 入	親 族、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 不 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他			
県計	27,976	7,762	2,545	1,442	7,001	2,709	3,994	7,484	5,033	3,086	1,294	869	71,195	1,325,978	
賀茂	下田市	608	101	34	19	95	35	53	99	64	40	18	13	1,179	9,599
	東伊豆町	117	21	7	4	21	8	12	21	14	9	4	3	240	5,741
	河津町	128	28	9	4	20	6	9	22	15	9	3	3	257	2,769
	南伊豆町	186	41	14	6	27	7	12	32	21	13	4	4	367	3,334
	松崎町	73	10	4	2	8	2	4	9	6	4	1	1	124	2,892
	西伊豆町	107	15	5	3	12	4	6	13	8	5	2	2	182	3,843
(小計)	1,219	216	74	39	183	61	95	197	128	79	33	27	2,349	28,178	
東部	沼津市	3,847	573	194	122	651	274	394	640	408	259	128	82	7,572	71,943
	熱海市	2,581	1,117	360	199	935	356	528	1,033	712	431	169	112	8,533	11,187
	三島市	2,869	899	293	170	834	332	485	886	600	367	155	100	7,990	36,561
	富士宮市	65	8	3	2	8	3	4	8	5	3	1	1	111	46,821
	伊東市	4,195	933	311	168	800	290	437	863	573	352	146	108	9,175	21,406
	富士市	508	55	19	12	65	26	38	63	38	25	13	9	872	89,962
	御殿場市	3,208	1,882	603	334	1,554	593	877	1,732	1,207	726	278	181	13,175	18,093
	裾野市	1,786	483	158	93	464	187	273	487	326	201	87	56	4,601	16,429
	伊豆市	534	84	29	15	69	21	34	74	48	30	12	11	960	11,607
	伊豆の国市	1,223	191	65	39	199	79	116	201	129	81	38	26	2,386	16,329
	函南町	792	134	45	26	129	49	73	134	86	54	24	18	1,564	12,410
	清水町	772	123	41	28	151	68	96	146	94	60	31	18	1,626	10,542
	長泉町	850	188	62	40	212	93	132	212	140	87	41	24	2,081	13,409
	小山町	857	600	190	93	402	136	210	483	342	203	71	51	3,637	2,875
(小計)	24,089	7,269	2,373	1,340	6,475	2,507	3,695	6,962	4,706	2,878	1,194	796	64,284	379,573	
中部	静岡市葵区	412	51	18	11	61	26	37	59	37	23	12	8	754	97,848
	静岡市駿河区	292	33	11	8	48	23	32	44	27	18	10	6	551	86,795
	静岡市清水区	1,577	149	54	34	187	74	109	176	106	69	36	26	2,597	90,099
	島田市	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	33,230
	焼津市	140	19	7	4	19	7	10	19	12	8	3	3	249	49,010
	藤枝市	17	2	1	0	2	1	1	2	1	1	0	0	27	49,595
	牧之原市	81	11	4	2	10	3	5	10	6	4	2	2	139	15,447
	吉田町	7	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	12	10,236
	川根本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,985
	(小計)	2,531	265	94	60	327	134	194	311	190	123	64	45	4,337	435,245
西部	浜松市中区	49	4	1	1	7	3	5	6	4	2	2	1	85	103,489
	浜松市東区	8	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	13	47,592
	浜松市西区	17	1	1	0	2	1	1	2	1	1	0	0	27	38,265
	浜松市南区	6	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	10	37,474
	浜松市北区	10	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	15	31,322
	浜松市浜北区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	29,648
	浜松市天竜区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12,060
	磐田市	16	1	0	0	2	1	1	2	1	1	0	0	25	59,324
	掛川市	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	39,436
	袋井市	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	29,746
	湖西市	13	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	21	21,582
	御前崎市	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11,474
	菊川市	5	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	8	15,448
	森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,121
(小計)	138	11	4	3	16	7	10	15	9	6	3	2	225	482,982	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.2.2 発災後約1ヶ月～2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅(借上げ型含む)及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】  
 ((カ) 元禄型関東地震)

パターンB

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]												合計	住機能支障なし	
	し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他			
県計	31,653	8,064	2,641	1,532	7,597	3,037	4,433	4,588	3,328	1,956	1,437	930	71,195	1,325,978	
賀茂	下田市	684	107	37	21	106	41	60	41	30	17	20	14	1,179	9,599
	東伊豆町	132	22	7	4	23	9	13	9	7	4	4	3	240	5,741
	河津町	143	29	10	5	21	6	10	12	9	5	4	3	257	2,769
	南伊豆町	206	43	15	7	29	8	13	17	13	7	5	5	367	3,334
	松崎町	81	11	4	2	9	3	5	3	2	1	2	2	124	2,892
	西伊豆町	119	16	6	3	14	4	7	5	3	2	2	2	182	3,843
(小計)	1,365	228	78	42	202	71	108	87	64	37	37	29	2,349	28,178	
東部	沼津市	4,364	616	207	135	738	323	459	228	165	97	149	91	7,572	71,943
	熱海市	2,925	1,145	369	207	992	388	570	760	551	324	183	118	8,533	11,187
	三島市	3,258	931	303	180	901	370	535	575	415	245	171	106	7,990	36,561
	富士宮市	72	9	3	2	9	3	5	2	2	1	2	1	111	46,821
	伊東市	4,721	976	325	180	877	330	491	461	337	197	164	116	9,175	21,406
	富士市	573	60	21	14	75	32	45	12	9	5	15	10	872	89,962
	御殿場市	3,642	1,918	614	345	1,628	634	933	1,385	1,002	590	296	189	13,175	18,093
	裾野市	2,028	503	164	99	506	211	304	292	211	125	97	60	4,601	16,429
	伊豆市	596	89	31	16	76	25	39	29	22	13	13	12	960	11,607
	伊豆の国市	1,382	204	69	43	224	93	134	76	56	33	44	29	2,386	16,329
	函南町	892	142	48	28	145	57	84	56	41	24	28	19	1,564	12,410
	清水町	881	132	44	31	172	80	111	56	40	24	36	20	1,626	10,542
	長泉町	972	198	65	43	235	106	149	112	80	47	47	26	2,081	13,409
	小山町	964	608	193	95	417	145	221	402	294	172	75	52	3,637	2,875
(小計)	27,272	7,531	2,456	1,418	6,996	2,796	4,081	4,446	3,224	1,895	1,320	848	64,284	379,573	
中部	静岡市葵区	467	55	19	13	70	31	44	15	11	7	14	9	754	97,848
	静岡市駿河区	334	36	12	9	56	28	38	9	6	4	12	6	551	86,795
	静岡市清水区	1,777	166	59	39	217	90	130	21	15	9	43	30	2,597	90,099
	島田市	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	33,230
	焼津市	157	20	7	4	21	8	12	6	4	3	4	3	249	49,010
	藤枝市	19	2	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	27	49,595
	牧之原市	90	11	4	2	11	4	6	3	2	1	2	2	139	15,447
	吉田町	8	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	12	10,236
	川根本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,985
	(小計)	2,859	292	102	68	379	162	232	55	40	23	76	50	4,337	435,245
西部	浜松市中区	56	5	2	1	8	4	6	0	0	0	2	1	85	103,489
	浜松市東区	9	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	13	47,592
	浜松市西区	19	2	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	27	38,265
	浜松市南区	7	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	10	37,474
	浜松市北区	11	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	15	31,322
	浜松市浜北区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	29,648
	浜松市天竜区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12,060
	磐田市	18	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	25	59,324
	掛川市	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	39,436
	袋井市	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	29,746
	湖西市	15	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	21	21,582
	御前崎市	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11,474
	菊川市	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	15,448
	森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,121
(小計)	157	13	5	3	19	9	12	0	0	0	4	3	225	482,982	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.23 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）  
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】  
 ((カ) 元禄型関東地震)

パターンC

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
	し 自 居 宅 を 応 急 修 理	新 従 築 前 場 所 で 自 宅	仮 従 設 前 場 所 で 自 力	築 別 の 購 入 所 に 新	親 族、 知 人 宅	勤 務 先 の 提 供 不 足	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住 宅	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計		
県計	27,976	7,762	2,545	1,442	7,001	2,709	3,994	7,484	5,033	3,086	1,294	869	71,195	1,325,978	
賀茂	下田市	608	101	34	19	95	35	53	99	64	40	18	13	1,179	9,599
	東伊豆町	117	21	7	4	21	8	12	21	14	9	4	3	240	5,741
	河津町	128	28	9	4	20	6	9	22	15	9	3	3	257	2,769
	南伊豆町	186	41	14	6	27	7	12	32	21	13	4	4	367	3,334
	松崎町	73	10	4	2	8	2	4	9	6	4	1	1	124	2,892
	西伊豆町	107	15	5	3	12	4	6	13	8	5	2	2	182	3,843
(小計)	1,219	216	74	39	183	61	95	197	128	79	33	27	2,349	28,178	
東部	沼津市	3,847	573	194	122	651	274	394	640	408	259	128	82	7,572	71,943
	熱海市	2,581	1,117	360	199	935	356	528	1,033	712	431	169	112	8,533	11,187
	三島市	2,869	899	293	170	834	332	485	886	600	367	155	100	7,990	36,561
	富士宮市	65	8	3	2	8	3	4	8	5	3	1	1	111	46,821
	伊東市	4,195	933	311	168	800	290	437	863	573	352	146	108	9,175	21,406
	富士市	508	55	19	12	65	26	38	63	38	25	13	9	872	89,962
	御殿場市	3,208	1,882	603	334	1,554	593	877	1,732	1,207	726	278	181	13,175	18,093
	裾野市	1,786	483	158	93	464	187	273	487	326	201	87	56	4,601	16,429
	伊豆市	534	84	29	15	69	21	34	74	48	30	12	11	960	11,607
	伊豆の国市	1,223	191	65	39	199	79	116	201	129	81	38	26	2,386	16,329
	函南町	792	134	45	26	129	49	73	134	86	54	24	18	1,564	12,410
	清水町	772	123	41	28	151	68	96	146	94	60	31	18	1,626	10,542
	長泉町	850	188	62	40	212	93	132	212	140	87	41	24	2,081	13,409
小山町	857	600	190	93	402	136	210	483	342	203	71	51	3,637	2,875	
(小計)	24,089	7,269	2,373	1,340	6,475	2,507	3,695	6,962	4,706	2,878	1,194	796	64,284	379,573	
中部	静岡市葵区	412	51	18	11	61	26	37	59	37	23	12	8	754	97,848
	静岡市駿河区	292	33	11	8	48	23	32	44	27	18	10	6	551	86,795
	静岡市清水区	1,577	149	54	34	187	74	109	176	106	69	36	26	2,597	90,099
	島田市	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	33,230
	焼津市	140	19	7	4	19	7	10	19	12	8	3	3	249	49,010
	藤枝市	17	2	1	0	2	1	1	2	1	1	0	0	27	49,595
	牧之原市	81	11	4	2	10	3	5	10	6	4	2	2	139	15,447
	吉田町	7	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	12	10,236
	川根本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,985
	(小計)	2,531	265	94	60	327	134	194	311	190	123	64	45	4,337	435,245
西部	浜松市中区	49	4	1	1	7	3	5	6	4	2	2	1	85	103,489
	浜松市東区	8	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	13	47,592
	浜松市西区	17	1	1	0	2	1	1	2	1	1	0	0	27	38,265
	浜松市南区	6	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	10	37,474
	浜松市北区	10	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	15	31,322
	浜松市浜北区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	29,648
	浜松市天竜区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12,060
	磐田市	16	1	0	0	2	1	1	2	1	1	0	0	25	59,324
	掛川市	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	39,436
	袋井市	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	29,746
	湖西市	13	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	21	21,582
	御前崎市	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11,474
	菊川市	5	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	8	15,448
	森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,121
	(小計)	138	11	4	3	16	7	10	15	9	6	3	2	225	482,982

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.24 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）  
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅(借上げ型含む)及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】  
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】  
 ((力) 元禄型関東地震)

パターンD

市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
	し 自宅を 応急修理	新 従前 場所 で自宅	仮 従前 場所 で自力	築 別 の場 所に新	親 族、 知人宅	る 勤 務先 の提 供す	民 間 賃賃	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計		
県計	31,653	8,064	2,641	1,532	7,597	3,037	4,433	4,588	3,328	1,956	1,437	930	71,195	1,325,978	
賀茂	下田市	684	107	37	21	106	41	60	41	30	17	20	14	1,179	9,599
	東伊豆町	132	22	7	4	23	9	13	9	7	4	4	3	240	5,741
	河津町	143	29	10	5	21	6	10	12	9	5	4	3	257	2,769
	南伊豆町	206	43	15	7	29	8	13	17	13	7	5	5	367	3,334
	松崎町	81	11	4	2	9	3	5	3	2	1	2	2	124	2,892
	西伊豆町	119	16	6	3	14	4	7	5	3	2	2	2	182	3,843
	(小計)	1,365	228	78	42	202	71	108	87	64	37	37	29	2,349	28,178
東部	沼津市	4,364	616	207	135	738	323	459	228	165	97	149	91	7,572	71,943
	熱海市	2,925	1,145	369	207	992	388	570	760	551	324	183	118	8,533	11,187
	三島市	3,258	931	303	180	901	370	535	575	415	245	171	106	7,990	36,561
	富士宮市	72	9	3	2	9	3	5	2	2	1	2	1	111	46,821
	伊東市	4,721	976	325	180	877	330	491	461	337	197	164	116	9,175	21,406
	富士市	573	60	21	14	75	32	45	12	9	5	15	10	872	89,962
	御殿場市	3,642	1,918	614	345	1,628	634	933	1,385	1,002	590	296	189	13,175	18,093
	裾野市	2,028	503	164	99	506	211	304	292	211	125	97	60	4,601	16,429
	伊豆市	596	89	31	16	76	25	39	29	22	13	13	12	960	11,607
	伊豆の国市	1,382	204	69	43	224	93	134	76	56	33	44	29	2,386	16,329
	函南町	892	142	48	28	145	57	84	56	41	24	28	19	1,564	12,410
	清水町	881	132	44	31	172	80	111	56	40	24	36	20	1,626	10,542
	長泉町	972	198	65	43	235	106	149	112	80	47	47	26	2,081	13,409
小山町	964	608	193	95	417	145	221	402	294	172	75	52	3,637	2,875	
(小計)	27,272	7,531	2,456	1,418	6,996	2,796	4,081	4,446	3,224	1,895	1,320	848	64,284	379,573	
中部	静岡市葵区	467	55	19	13	70	31	44	15	11	7	14	9	754	97,848
	静岡市駿河区	334	36	12	9	56	28	38	9	6	4	12	6	551	86,795
	静岡市清水区	1,777	166	59	39	217	90	130	21	15	9	43	30	2,597	90,099
	島田市	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	33,230
	焼津市	157	20	7	4	21	8	12	6	4	3	4	3	249	49,010
	藤枝市	19	2	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	27	49,595
	牧之原市	90	11	4	2	11	4	6	3	2	1	2	2	139	15,447
	吉田町	8	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	12	10,236
	川根本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,985
	(小計)	2,859	292	102	68	379	162	232	55	40	23	76	50	4,337	435,245
西部	浜松市中区	56	5	2	1	8	4	6	0	0	0	2	1	85	103,489
	浜松市東区	9	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	13	47,592
	浜松市西区	19	2	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	27	38,265
	浜松市南区	7	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	10	37,474
	浜松市北区	11	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	15	31,322
	浜松市浜北区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	29,648
	浜松市天竜区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12,060
	磐田市	18	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	25	59,324
	掛川市	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	39,436
	袋井市	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	29,746
	湖西市	15	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	21	21,582
	御前崎市	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11,474
	菊川市	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	15,448
	森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,121
(小計)	157	13	5	3	19	9	12	0	0	0	4	3	225	482,982	

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## 2 長期的住機能支障（発災後約2年～数年以降の恒久的住宅）

発災後約2年～数年以降における長期的住機能支障は次の区分により想定する。

### ○想定地震

(ア) 東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震
(イ) 南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①）
(ウ) 南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①）
(エ) 南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①）
(オ) 大正型関東地震
(カ) 元禄型関東地震

### ○パターン

		住宅の被災状況	
		全壊・半壊いずれでも希望どおり	半壊の場合、応急仮設住宅（借上げ型含む）及び公営住宅一時入居を不可とする
既存住宅 <sup>☆</sup> の 空き家数の考 慮	考慮しない	パターンA	—
	全県単位で考慮	—	—

☆ 借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅

表 XI-2.25 発災後約2年～数年以降における長期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 発災後約2年～数年以降における長期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 ((ア) 東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

パターンA

市町名	長期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]											住機能支障なし	
	補修し居住	新築 従前場所 で自宅	築別の 場所 購入 に新	民間 賃貸	親族、 知人 宅	公営住宅			その他	合計			
						全壊	うち年収400 万円未満	半壊					
県計	126,287	114,714	33,259	89,662	33,523	85,455	61,783	38,145	23,673	7,807	490,709	906,464	
賀茂	下田市	580	154	60	151	64	145	44	42	102	12	1,167	9,611
	東伊豆町	79	19	8	22	9	20	5	5	15	2	158	5,823
	河津町	134	41	13	26	12	31	11	11	19	3	259	2,767
	南伊豆町	129	48	14	24	12	32	15	15	17	3	263	3,438
	松崎町	559	198	61	115	56	142	63	60	79	12	1,143	1,873
	西伊豆町	701	260	79	152	73	186	86	83	100	16	1,467	2,558
(小計)	2,183	720	235	489	226	556	224	215	332	48	4,457	26,070	
東部	沼津市	3,667	1,218	484	1,410	546	1,223	474	317	749	105	8,654	70,861
	熱海市	370	80	38	109	44	94	19	18	74	8	742	18,978
	三島市	929	242	107	320	125	271	78	48	193	23	2,016	42,535
	富士宮市	3,288	980	350	814	358	839	298	186	541	72	6,702	40,230
	伊東市	694	155	65	166	71	157	35	33	122	13	1,321	29,260
	富士市	4,877	1,519	578	1,535	626	1,428	523	276	905	122	10,685	80,149
	御殿場市	759	220	93	275	107	235	78	44	157	20	1,708	29,560
	裾野市	627	146	68	204	80	171	41	22	130	14	1,311	19,719
	伊豆市	574	192	62	126	59	146	60	46	85	13	1,171	11,396
	伊豆の国市	566	139	60	163	67	146	39	26	108	12	1,154	17,561
	函南町	245	61	25	66	28	61	17	10	45	5	491	13,483
	清水町	381	89	44	143	54	114	27	16	87	9	836	11,332
	長泉町	297	82	38	125	47	99	31	13	69	8	697	14,793
	小山町	143	41	16	39	16	38	13	7	25	3	296	6,216
(小計)	17,419	5,164	2,030	5,494	2,228	5,022	1,733	1,062	3,289	428	37,784	406,073	
中部	静岡市葵区	11,253	14,022	3,966	11,064	4,012	10,308	8,067	5,550	2,242	951	55,577	43,025
	静岡市駿河区	8,342	11,098	3,490	11,361	3,853	9,208	7,234	4,699	1,974	841	48,192	39,154
	静岡市清水区	11,120	11,703	3,212	8,202	3,120	8,250	6,226	4,116	2,024	761	46,368	46,328
	島田市	4,573	3,371	899	1,924	816	2,240	1,531	912	709	205	14,028	19,210
	焼津市	8,491	7,737	2,074	4,857	1,941	5,260	3,835	2,292	1,425	485	30,845	18,414
	藤枝市	6,608	7,105	1,818	4,083	1,650	4,621	3,551	1,976	1,070	430	26,315	23,307
	牧之原市	2,261	1,827	483	1,050	439	1,210	854	509	356	111	7,380	8,206
	吉田町	1,032	890	250	630	244	638	453	274	185	58	3,742	6,506
	川根本町	167	56	16	22	13	35	15	10	20	3	312	2,673
	(小計)	53,846	57,809	16,208	43,194	16,089	41,770	31,767	20,339	10,003	3,845	232,760	206,822
西部	浜松市中区	9,857	12,138	3,907	12,911	4,366	10,317	7,945	4,885	2,373	939	54,436	49,138
	浜松市東区	4,797	4,035	1,249	3,635	1,320	3,237	2,243	1,245	994	293	18,566	29,039
	浜松市西区	4,458	4,477	1,197	2,874	1,128	3,053	2,287	1,258	766	282	17,469	20,823
	浜松市南区	4,131	4,745	1,372	3,892	1,406	3,567	2,730	1,808	837	328	19,440	18,044
	浜松市北区	2,110	1,022	313	729	306	772	422	251	350	69	5,321	26,016
	浜松市浜北区	2,501	1,323	388	870	370	956	555	277	402	86	6,494	23,157
	浜松市天竜区	722	243	72	119	63	164	71	58	93	14	1,396	10,665
	磐田市	7,565	8,366	2,182	5,139	2,026	5,573	4,296	2,521	1,277	517	31,369	27,980
	掛川市	5,515	4,674	1,297	3,168	1,246	3,295	2,334	1,261	961	302	19,497	19,946
	袋井市	4,549	5,095	1,444	3,953	1,453	3,740	2,853	1,625	888	344	20,579	9,173
	湖西市	2,602	1,985	567	1,409	553	1,438	978	546	460	131	8,684	12,919
	御前崎市	1,263	804	236	578	232	594	375	225	219	54	3,760	7,719
	菊川市	1,790	1,387	387	929	371	979	673	378	306	89	5,933	9,523
	森町	979	728	174	280	139	423	300	191	123	39	2,763	3,358
	(小計)	52,839	51,022	14,787	40,486	14,980	38,108	28,059	16,529	10,049	3,487	215,708	267,499

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.26 発災後約2年～数年以降における長期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 ((イ) 南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①）

パターンA

市町名	長期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]										住機能支障なし		
	補修し居住	新築 従前 場所で 自宅	築別 の場 所に 新 購入	民間 賃貸	親 族、 知 人宅	公営住宅			その他	合計			
						全壊	うち年収400 万円未満	半壊					
県計	138,436	123,852	35,909	96,358	36,143	92,227	66,217	41,398	26,010	8,422	531,346	865,827	
賀茂	下田市	478	1,057	261	637	240	679	595	568	84	64	3,417	7,361
	東伊豆町	185	154	45	119	45	115	80	80	35	10	672	5,309
	河津町	206	166	42	80	36	103	74	71	29	10	644	2,382
	南伊豆町	170	401	86	148	66	219	197	189	22	21	1,112	2,589
	松崎町	307	549	124	235	101	316	272	262	43	30	1,662	1,354
	西伊豆町	239	859	186	356	148	481	447	429	34	46	2,315	1,710
	(小計)	1,585	3,186	743	1,576	636	1,913	1,665	1,599	248	182	9,820	20,707
東部	沼津市	6,976	2,598	990	2,878	1,105	2,510	1,086	725	1,424	217	17,274	62,241
	熱海市	465	104	48	139	56	120	27	25	93	10	942	18,778
	三島市	929	242	107	320	125	271	78	48	193	23	2,016	42,535
	富士宮市	3,288	980	350	814	358	839	298	186	541	72	6,702	40,230
	伊東市	814	224	86	218	92	210	66	63	144	18	1,662	28,919
	富士市	4,967	1,535	586	1,556	635	1,447	526	277	921	124	10,850	79,984
	御殿場市	759	220	93	275	107	235	78	44	157	20	1,708	29,560
	裾野市	627	146	68	204	80	171	41	22	130	14	1,311	19,719
	伊豆市	444	342	88	179	78	219	154	117	66	20	1,371	11,196
	伊豆の国市	566	139	60	163	67	146	39	26	108	12	1,154	17,561
	函南町	245	61	25	66	28	61	17	10	45	5	491	13,483
	清水町	381	89	44	143	54	114	27	16	87	9	836	11,332
	長泉町	297	82	38	125	47	99	31	13	69	8	697	14,793
	小山町	143	41	16	39	16	38	13	7	25	3	296	6,216
(小計)	20,901	6,803	2,602	7,119	2,848	6,481	2,480	1,580	4,001	556	47,310	396,547	
中部	静岡市葵区	11,253	14,022	3,966	11,064	4,012	10,308	8,067	5,550	2,242	951	55,577	43,025
	静岡市駿河区	8,869	11,216	3,552	11,568	3,930	9,369	7,270	4,723	2,098	855	49,359	37,987
	静岡市清水区	13,280	12,632	3,524	9,009	3,445	9,029	6,612	4,371	2,417	829	51,748	40,948
	島田市	4,573	3,371	899	1,924	816	2,240	1,531	912	709	205	14,028	19,210
	焼津市	10,318	8,177	2,247	5,273	2,125	5,673	3,942	2,356	1,731	519	34,332	14,927
	藤枝市	6,608	7,105	1,818	4,083	1,650	4,621	3,551	1,976	1,070	430	26,315	23,307
	牧之原市	2,559	2,816	707	1,535	630	1,793	1,391	829	403	167	10,208	5,378
	吉田町	1,874	1,311	384	970	380	974	638	386	336	88	5,982	4,266
	川根本町	167	56	16	22	13	35	15	10	20	3	312	2,673
	(小計)	59,501	60,705	17,115	45,449	17,002	44,042	33,016	21,112	11,025	4,047	247,860	191,722
西部	浜松市中区	10,086	12,171	3,930	12,987	4,395	10,375	7,947	4,887	2,428	944	54,887	48,687
	浜松市東区	4,797	4,035	1,249	3,635	1,320	3,237	2,243	1,245	994	293	18,566	29,039
	浜松市西区	5,497	5,198	1,403	3,372	1,328	3,572	2,628	1,446	944	329	20,700	17,592
	浜松市南区	5,722	5,246	1,574	4,476	1,635	4,075	2,916	1,931	1,159	371	23,099	14,385
	浜松市北区	2,113	1,023	313	730	306	773	422	251	351	69	5,327	26,010
	浜松市浜北区	2,501	1,323	388	870	370	956	555	277	402	86	6,494	23,157
	浜松市天竜区	722	243	72	119	63	164	71	58	93	14	1,396	10,665
	磐田市	7,874	8,437	2,211	5,208	2,056	5,641	4,312	2,531	1,329	523	31,952	27,397
	掛川市	5,531	4,682	1,299	3,174	1,249	3,301	2,337	1,263	963	302	19,538	19,905
	袋井市	4,561	5,096	1,445	3,956	1,454	3,743	2,853	1,625	890	344	20,600	9,152
	湖西市	2,944	2,650	733	1,819	708	1,870	1,350	754	520	172	10,896	10,707
	御前崎市	1,333	939	270	659	262	681	449	270	232	62	4,206	7,273
	菊川市	1,790	1,387	387	930	371	979	673	378	306	89	5,934	9,522
森町	979	728	174	280	139	423	300	191	123	39	2,763	3,358	
(小計)	56,449	53,157	15,450	42,214	15,657	39,791	29,056	17,106	10,735	3,638	226,357	256,850	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



表 XI-2.27 発災後約2年～数年以降における長期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 ((ウ) 南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①）

パターンA

市町名	長期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]											住機能支障なし	
	補修し居住	新築 従前 場所で 自宅	築別の 場所 購入 に新	民間 賃貸	親族、 知人 宅	公営住宅			その他	合計			
						全壊	うち年収400 万円未満	半壊					
県計	118,183	112,491	32,255	86,438	32,332	82,976	60,727	36,717	22,249	7,597	472,272	924,901	
賀茂	下田市	351	1,023	248	604	226	646	585	558	62	61	3,158	7,620
	東伊豆町	143	144	40	107	40	104	77	78	27	10	588	5,393
	河津町	167	154	38	73	32	94	70	67	24	9	566	2,460
	南伊豆町	135	387	82	141	62	210	192	184	18	20	1,037	2,664
	松崎町	187	508	111	211	89	286	260	250	26	28	1,419	1,597
	西伊豆町	183	842	180	346	143	468	442	425	26	45	2,207	1,818
	(小計)	1,166	3,057	699	1,481	592	1,808	1,626	1,562	182	173	8,976	21,551
東部	沼津市	5,172	2,102	778	2,257	862	1,977	921	615	1,056	172	13,318	66,197
	熱海市	203	48	22	62	25	54	13	12	41	4	417	19,303
	三島市	310	73	34	101	40	85	21	13	64	7	649	43,902
	富士宮市	651	144	58	136	61	137	30	19	107	11	1,199	45,733
	伊東市	395	146	51	127	52	124	55	52	70	11	906	29,675
	富士市	1,189	240	110	296	125	267	47	25	220	22	2,249	88,585
	御殿場市	629	184	77	228	89	195	65	37	130	17	1,418	29,850
	裾野市	126	25	13	38	15	31	5	3	26	3	250	20,780
	伊豆市	158	270	62	126	53	160	136	104	23	15	844	11,723
	伊豆の国市	332	88	36	100	41	90	27	18	63	8	694	18,021
	函南町	130	34	14	36	15	33	10	6	24	3	264	13,710
	清水町	175	42	21	67	25	53	13	8	40	4	388	11,780
	長泉町	60	14	7	23	9	18	4	2	14	2	132	15,358
	小山町	106	33	12	30	13	29	11	6	19	3	226	6,286
	(小計)	9,636	3,441	1,295	3,626	1,423	3,254	1,358	918	1,897	281	22,956	420,901
中部	静岡市葵区	6,573	3,695	1,221	3,442	1,301	3,119	1,810	1,245	1,309	277	19,629	78,973
	静岡市駿河区	5,955	2,513	1,023	3,373	1,211	2,668	1,259	818	1,409	231	16,974	70,372
	静岡市清水区	8,822	3,262	1,152	2,988	1,215	2,855	1,249	826	1,606	248	20,541	72,155
	島田市	3,419	1,476	449	965	427	1,086	556	331	530	96	7,917	25,321
	焼津市	7,111	2,597	874	2,071	883	2,127	934	558	1,193	185	15,847	33,412
	藤枝市	3,466	1,572	483	1,095	469	1,182	621	346	561	105	8,371	41,251
	牧之原市	2,521	2,302	595	1,293	536	1,499	1,102	657	396	139	8,884	6,702
	吉田町	1,840	827	271	690	279	676	347	210	330	60	4,643	5,605
	川根本町	224	74	21	30	17	47	20	13	27	4	418	2,567
	(小計)	39,930	18,316	6,088	15,947	6,339	15,259	7,898	5,003	7,361	1,344	103,224	336,358
西部	浜松市中区	13,360	20,332	6,362	20,989	7,045	16,819	13,604	8,365	3,216	1,541	86,449	17,125
	浜松市東区	6,383	8,827	2,525	7,306	2,596	6,595	5,272	2,925	1,323	609	34,841	12,764
	浜松市西区	5,842	9,640	2,417	5,780	2,219	6,240	5,237	2,881	1,003	586	32,724	5,568
	浜松市南区	5,548	6,571	1,892	5,363	1,936	4,919	3,796	2,513	1,123	452	26,681	10,803
	浜松市北区	3,914	5,485	1,374	3,166	1,246	3,525	2,875	1,708	649	330	19,038	12,299
	浜松市浜北区	3,744	5,799	1,412	3,137	1,251	3,624	3,022	1,509	602	341	19,308	10,343
	浜松市天竜区	2,135	1,392	346	578	284	835	559	463	276	77	5,647	6,414
	磐田市	9,114	12,050	3,069	7,215	2,820	7,874	6,335	3,718	1,539	736	42,877	16,472
	掛川市	5,691	4,471	1,258	3,077	1,216	3,189	2,198	1,187	991	291	19,193	20,250
	袋井市	4,234	4,501	1,286	3,523	1,298	3,328	2,502	1,425	826	306	18,475	11,277
	湖西市	3,643	5,476	1,409	3,478	1,321	3,639	2,995	1,673	644	340	19,306	2,297
	御前崎市	1,027	533	165	404	164	411	233	140	178	37	2,742	8,737
	菊川市	1,827	1,387	389	933	373	982	670	376	313	90	5,981	9,475
森町	989	1,214	270	436	208	673	549	350	125	64	3,855	2,266	
(小計)	67,451	87,678	24,173	65,384	23,977	62,654	49,846	29,234	12,809	5,799	337,117	146,090	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.28 発災後約2年～数年以降における長期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
 ((エ) 南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①）

パターンA

市町名	長期的住機能支障(世帯)〔避難先別あるいは住宅再建方法別〕											住機能支障なし	
	補修し居住	新築 従前 場所 で 自宅	築別 ・ の 購 入 に 新	民間 賃 貸	親 族 、 知 人 宅	公営住宅			そ の 他	合 計			
						全 壊	うち年収400 万円未満	半 壊					
県計	143,059	128,835	36,995	97,839	36,942	94,948	68,194	42,108	26,754	8,679	547,297	849,876	
賀茂	下田市	649	1,106	279	683	259	723	609	582	114	68	3,768	7,010
	東伊豆町	271	178	55	145	56	139	88	88	51	13	856	5,125
	河津町	236	178	45	87	39	112	78	75	34	10	707	2,319
	南伊豆町	210	417	90	156	70	230	202	194	28	22	1,194	2,507
	松崎町	370	589	134	255	110	341	289	278	52	32	1,832	1,184
	西伊豆町	393	923	204	392	165	525	469	451	56	50	2,653	1,372
	(小計)	2,128	3,390	808	1,718	699	2,070	1,735	1,667	334	196	11,009	19,518
東部	沼津市	7,958	3,135	1,172	3,403	1,302	2,976	1,352	903	1,625	258	20,205	59,310
	熱海市	642	150	68	197	79	170	41	38	129	14	1,319	18,401
	三島市	1,271	351	152	452	176	383	120	74	264	32	2,817	41,734
	富士宮市	4,579	2,094	648	1,497	635	1,592	839	523	753	141	11,186	35,746
	伊東市	1,371	352	140	353	150	338	96	91	242	28	2,732	27,849
	富士市	7,234	3,366	1,118	2,946	1,167	2,807	1,466	773	1,342	247	18,886	71,948
	御殿場市	1,433	464	188	553	213	475	179	100	296	41	3,366	27,902
	裾野市	800	206	92	274	107	232	65	35	166	19	1,731	19,299
	伊豆市	800	463	127	258	115	311	192	146	119	28	2,102	10,465
	伊豆の国市	827	214	89	244	100	220	63	43	157	19	1,713	17,002
	函南町	305	77	32	82	34	77	21	13	55	6	614	13,360
	清水町	507	120	60	193	73	153	38	22	115	13	1,118	11,050
	長泉町	449	144	64	206	76	164	61	26	104	14	1,117	14,373
小山町	255	75	28	70	30	68	24	13	45	6	532	5,980	
(小計)	28,432	11,210	3,978	10,728	4,257	9,967	4,556	2,802	5,411	868	69,439	374,418	
中部	静岡市葵区	8,490	8,867	2,575	7,198	2,630	6,672	4,981	3,427	1,691	611	37,044	61,558
	静岡市駿河区	7,922	7,803	2,571	8,392	2,880	6,769	4,894	3,180	1,874	612	36,950	50,396
	静岡市清水区	13,717	16,224	4,376	11,162	4,223	11,273	8,776	5,802	2,497	1,044	62,019	30,677
	島田市	4,343	3,097	832	1,780	757	2,069	1,395	831	673	189	13,067	20,171
	焼津市	8,530	4,487	1,353	3,190	1,322	3,356	1,925	1,151	1,431	300	22,537	26,722
	藤枝市	5,286	3,556	990	2,233	928	2,471	1,615	899	856	225	15,688	33,934
	牧之原市	2,564	3,821	924	2,002	809	2,364	1,961	1,168	403	223	12,707	2,879
	吉田町	1,778	1,432	408	1,028	400	1,038	719	435	319	95	6,178	4,070
	川根本町	201	67	19	27	16	42	19	12	24	4	376	2,609
	(小計)	52,831	49,353	14,048	37,011	13,966	36,054	26,286	16,904	9,768	3,302	206,565	233,017
西部	浜松市中区	9,482	11,082	3,596	11,886	4,027	9,491	7,209	4,433	2,282	863	50,426	53,148
	浜松市東区	4,981	4,782	1,445	4,197	1,515	3,753	2,721	1,510	1,032	342	21,015	26,590
	浜松市西区	5,752	6,804	1,775	4,257	1,658	4,548	3,560	1,959	988	423	25,215	13,077
	浜松市南区	5,723	4,679	1,435	4,086	1,501	3,706	2,547	1,686	1,159	336	21,465	16,019
	浜松市北区	2,868	2,075	577	1,338	546	1,449	973	578	476	132	8,984	22,353
	浜松市浜北区	2,909	2,019	556	1,243	518	1,389	921	460	468	127	8,761	20,890
	浜松市天竜区	936	361	102	170	88	237	116	96	121	21	1,915	10,146
	磐田市	8,135	9,173	2,386	5,618	2,212	6,097	4,723	2,772	1,374	566	34,188	25,161
	掛川市	6,101	6,566	1,750	4,266	1,657	4,480	3,417	1,846	1,063	415	25,234	14,209
	袋井市	4,668	5,683	1,592	4,353	1,594	4,128	3,218	1,833	911	381	22,399	7,353
	湖西市	3,512	5,180	1,336	3,297	1,253	3,449	2,828	1,579	621	322	18,349	3,254
	御前崎市	1,520	2,113	543	1,317	506	1,399	1,135	682	264	131	7,530	3,949
	菊川市	2,089	3,256	819	1,953	753	2,113	1,755	986	358	198	11,181	4,275
	森町	992	1,108	249	402	193	619	494	315	125	59	3,622	2,499
(小計)	59,667	64,881	18,162	48,382	18,021	46,857	35,617	20,735	11,240	4,314	260,283	222,924	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.29 発災後約2年～数年以降における長期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
（(オ) 大正型関東地震）

パターンA

市町名	長期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]											住機能支障なし	
	補修し居住	新築 従前 場所 で 自宅	築別 の 場 所 に 新 築 ・ 購 入	民間 賃 貸	親 族 、 知 人 宅	公営住宅			その他	合計			
						全壊	うち年収400 万円未満	半壊					
県計	16,943	7,301	2,589	7,271	2,807	6,550	3,217	2,130	3,333	573	44,033	1,353,140	
賀茂	下田市	203	51	20	51	22	49	14	13	36	4	400	10,378
	東伊豆町	62	14	6	17	7	15	4	4	12	1	123	5,858
	河津町	87	27	9	17	8	20	8	7	12	2	169	2,857
	南伊豆町	16	3	1	2	1	2	0	0	2	0	26	3,675
	松崎町	37	11	4	7	3	8	3	3	5	1	71	2,945
	西伊豆町	45	13	4	8	4	10	4	3	6	1	86	3,939
	(小計)	449	119	44	102	46	105	32	31	73	9	874	29,653
東部	沼津市	1,991	437	207	609	243	517	110	74	407	43	4,047	75,468
	熱海市	2,313	1,220	412	1,169	442	1,051	587	552	464	93	6,701	13,019
	三島市	1,763	623	245	724	277	622	256	158	366	54	4,309	40,242
	富士宮市	38	8	3	8	4	8	2	1	6	1	70	46,862
	伊東市	2,053	572	220	554	234	534	172	163	362	45	4,212	26,369
	富士市	263	50	24	64	27	57	8	4	49	5	489	90,345
	御殿場市	2,921	2,391	742	2,154	785	1,922	1,319	738	603	174	11,089	20,179
	裾野市	1,076	350	142	421	162	360	136	74	224	31	2,542	18,488
	伊豆市	309	86	30	60	29	69	23	18	46	6	588	11,979
	伊豆の国市	830	215	90	246	100	221	63	43	158	19	1,721	16,994
	函南町	569	161	63	163	68	153	50	30	103	13	1,189	12,785
	清水町	432	97	50	160	61	127	29	17	98	11	937	11,231
	長泉町	351	84	42	137	52	108	27	12	81	9	784	14,706
小山町	824	748	205	503	197	523	379	201	144	48	3,048	3,464	
(小計)	15,733	7,043	2,475	6,971	2,680	6,273	3,163	2,084	3,111	550	41,725	402,132	
中部	静岡市葵区	132	22	12	34	14	29	3	2	26	2	246	98,356
	静岡市駿河区	136	24	14	48	18	37	5	3	32	3	279	87,067
	静岡市清水区	326	62	29	76	33	70	10	7	59	6	602	92,094
	島田市	3	0	0	1	0	1	0	0	1	0	6	33,232
	焼津市	66	18	7	16	7	16	5	3	11	1	131	49,128
	藤枝市	6	1	0	1	0	1	0	0	1	0	10	49,612
	牧之原市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	15,584
	吉田町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10,246
	川根本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,985
(小計)	673	128	63	176	73	154	23	15	131	13	1,279	438,303	
西部	浜松市中区	36	5	3	11	4	9	0	0	9	1	69	103,505
	浜松市東区	6	1	0	1	1	1	0	0	1	0	10	47,595
	浜松市西区	11	2	1	2	1	2	0	0	2	0	19	38,273
	浜松市南区	4	1	0	1	0	1	0	0	1	0	7	37,477
	浜松市北区	8	1	1	1	1	1	0	0	1	0	13	31,324
	浜松市浜北区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	29,648
	浜松市天竜区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,061
	磐田市	5	1	0	1	0	1	0	0	1	0	8	59,341
	掛川市	4	1	0	1	0	1	0	0	1	0	7	39,436
	袋井市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	29,748
	湖西市	8	1	1	2	1	1	0	0	1	0	13	21,590
	御前崎市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,479
	菊川市	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	15,453
森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,121	
(小計)	87	12	7	22	9	18	0	0	18	1	156	483,051	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XI-2.30 発災後約2年～数年以降における長期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】  
（（力）元禄型関東地震）

パターンA

市町名	長期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]										住機能支障なし		
	補修し居住	新築 従前 場所で 自宅	築別 ・購 入 所に 新	民間 賃貸	親 族、 知 人 宅	公営住宅			その他	合計			
						全壊	うち年収400 万円未満	半壊					
県計	25,619	12,737	4,310	12,018	4,605	10,940	5,946	4,046	4,994	966	71,195	1,325,978	
賀茂	下田市	562	168	63	156	66	152	54	99	13	1,179	9,599	
	東伊豆町	108	34	13	35	14	32	12	12	3	240	5,741	
	河津町	121	47	14	27	13	33	16	15	3	257	2,769	
	南伊豆町	175	70	20	34	17	46	23	22	4	367	3,334	
	松崎町	68	17	6	11	6	14	4	4	1	124	2,892	
	西伊豆町	100	26	9	17	9	20	6	6	14	2	182	3,843
	(小計)	1,134	362	124	281	125	298	115	110	183	26	2,349	28,178
東部	沼津市	3,508	922	403	1,179	464	1,011	294	197	716	85	7,572	71,943
	熱海市	2,358	1,837	565	1,595	590	1,456	984	924	473	132	8,533	11,187
	三島市	2,612	1,471	500	1,465	544	1,285	742	459	542	114	7,990	36,561
	富士宮市	60	14	5	13	6	13	3	2	10	1	111	46,821
	伊東市	3,876	1,542	520	1,303	536	1,286	603	570	683	112	9,175	21,406
	富士市	467	90	42	114	48	102	16	8	87	8	872	89,962
	御殿場市	2,922	3,104	920	2,660	957	2,393	1,789	1,001	603	219	13,175	18,093
	裾野市	1,625	787	279	822	308	716	378	204	338	63	4,601	16,429
	伊豆市	500	143	49	99	47	113	39	30	74	10	960	11,607
	伊豆の国市	1,123	312	127	345	140	313	99	68	214	26	2,386	16,329
	函南町	730	221	84	217	90	205	73	44	132	18	1,564	12,410
	清水町	696	194	90	288	108	231	72	43	158	19	1,626	10,542
	長泉町	766	301	123	399	145	320	143	62	177	28	2,081	13,409
	小山町	792	988	258	631	243	664	525	279	138	62	3,637	2,875
(小計)	22,035	11,925	3,965	11,130	4,226	10,106	5,760	3,889	4,346	897	64,284	379,573	
中部	静岡市葵区	377	82	38	110	44	95	20	14	75	8	754	97,848
	静岡市駿河区	262	50	28	95	36	74	12	8	62	6	551	86,795
	静岡市清水区	1,453	246	122	322	139	292	27	18	264	24	2,597	90,099
	島田市	5	1	0	1	0	1	0	0	1	0	8	33,230
	焼津市	130	32	12	30	13	30	8	5	22	2	249	49,010
	藤枝市	16	3	1	3	1	3	0	0	3	0	27	49,595
	牧之原市	75	18	7	15	7	16	4	2	12	1	139	15,447
	吉田町	6	1	1	1	1	1	0	0	1	0	12	10,236
	川根本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,985
	(小計)	2,324	432	210	577	242	510	71	46	440	42	4,337	435,245
西部	浜松市中区	44	6	4	14	5	11	0	0	11	1	85	103,489
	浜松市東区	7	1	1	2	1	2	0	0	2	0	13	47,592
	浜松市西区	16	2	1	3	1	3	0	0	3	0	27	38,265
	浜松市南区	6	1	0	1	1	1	0	0	1	0	10	37,474
	浜松市北区	9	1	1	2	1	1	0	0	1	0	15	31,322
	浜松市浜北区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	29,648
	浜松市天竜区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12,060
	磐田市	15	2	1	3	1	3	0	0	3	0	25	59,324
	掛川市	4	1	0	1	0	1	0	0	1	0	7	39,436
	袋井市	3	0	0	1	0	1	0	0	1	0	6	29,746
	湖西市	12	2	1	2	1	2	0	0	2	0	21	21,582
	御前崎市	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	5	11,474
	菊川市	4	1	0	1	0	1	0	0	1	0	8	15,448
	森町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,121
(小計)	127	18	10	30	13	26	0	0	25	2	225	482,982	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## XII し尿・ごみ・瓦礫の想定

### XII-1. し尿・ごみ・瓦礫の想定手法

#### 1. し尿

トイレ需要を使用回数、供給を容量ベースで推定し、備蓄トイレの現況を踏まえて過不足量を評価する。

##### (1) 基本的考え方

###### (対象期間)

中央防災会議（2013b）では、「被災地域では、発災直後は特に行政からの支援の手が行き届かないことから、まず地域で自活するという備えが必要であり、食料や飲料水、乾電池、携帯電話の電池充電器、カセットコンロ、簡易トイレ等の家庭備蓄を1週間分以上確保するなどの細かい具体的な対応を推進する必要がある。」とされているところであるが、ここでは地域の官民による備えの必要性の観点から、避難所周辺における「県全体のトイレ不足量」を想定する。想定する期間としては、阪神・淡路大震災や東日本大震災の例から、避難所避難者数がピークとなる発災後1週間までとする。

###### (算出の考え方)

県内の物資不足量を次の基本式にしたがい算出する。

「県内の物資不足量」 = 「需要量」 - 「供給量」 (「被災地域内の市町の供給量」 + 「被災地域内外の市町からの応援量」)
--

##### (2) 物資不足量の算出方法

###### 1) トイレ需要量 (使用回数)

- ・トイレ需要量を、トイレの使用回数から算出する。
- ・震災時のトイレ対策のあり方に関する調査研究委員会（1997）のマニュアルによれば、1人1日当たりし尿排泄回数は平均5回程度である。この数字を用い、トイレの使用回数を以下のように定義する。なお、上水道あるいは下水道が正常に機能している地域（避難所）については、避難所のトイレがそのまま利用できるものとして、必要量の対象とはしない。また、断水が生じたり下水道が使えなかったりすると、既設トイレの使用が制限されると考えられるため、断水率と下水道支障率の大きい方をもってトイレ使用制限を表現するものとする。

トイレ回数（1日当たり）

$$= \text{避難所避難者数} \times \text{MAX}(\text{断水率、下水道支障率}) \times 5 \text{ 回/日}$$

###### 2) トイレ供給量 (供給回数)

###### ①基本的な考え方

供給量の算出の基本的考え方を以下に示す。

###### a) 被災地域内の市町の供給量

被災地域内の市町の自己所有備蓄量をもとにする。

###### b) 被災地域内外の市町からの応援量

被災地域内外の市町からの応援量を設定する。被災地域内の市町では余剰備蓄量（固定式のマンホールトイレを除く）の50%を、自市町の備蓄を供給した結果、不足が出た市町に対して不足量に比例させて配分する。

###### ②現況備蓄量等

トイレは、簡易トイレA・簡易トイレB、仮設トイレ、地震災害時用下水道接続型仮設トイレ（マンホールトイレ）の別に備蓄現況を把握（平成25年4月1日調査）。

簡易トイレA：簡易トイレで、室内に設置可能な小型で持ち運びのできるトイレで、便座と一体となり、し尿貯留型のもので、本体が使い捨ての物（ダンボール構造等）

簡易トイレB：簡易トイレで、室内に設置可能な小型で持ち運びのできるトイレで、便座と一体となり、し尿貯留型のもので、本体が使い捨てでない物

仮設トイレ：バキュームカー等による汲み取り・回収が必要となる、し尿貯留型で屋外等に設置する仮設トイレ

マンホールトイレ：下水道を流用したマンホール対応型トイレ（下水道耐震整備等が使用可能なもの）

また、トイレは、種類ごとに処理量が異なり、簡易トイレは 53 回／基、仮設トイレは 917 回／基、マンホールトイレは 720 回／基・日とする（内閣府（防災担当）（2008））。なお、仮設トイレは汲み取りにより繰り返し利用するものとし、汲み取り日数間隔を 3 日間とする。結果、以下によりトイレ供給量を算出する。

トイレ供給量（回数換算；3 日間）

= 簡易トイレ備蓄数〔基〕×53〔回/基〕

+仮設トイレ備蓄数〔基〕×917〔回/基〕

+マンホールトイレ設置数〔基〕×（1-下水道支障率）×720〔回/基・日〕×3〔日〕

トイレ供給量（回数換算；1 週間）

= 簡易トイレ備蓄数（基）×53〔回/基〕

+仮設トイレ備蓄数（基）×（917×2+720）〔回/基〕

+マンホールトイレ設置数〔基〕×（1-下水道支障率）×720〔回/基・日〕×7〔日〕

なお、マンホールトイレが設置されている箇所は限定的で、現時点では県立学校を中心に整備が進んでいるところであり、全避難所で使えるわけではない。このマンホールトイレを有効に活用するためには、各市町内のマンホールトイレ設置場所に移動して使う必要がある。ここでは、①仮設・簡易トイレを活用した場合と、②仮設・簡易・マンホールトイレを活用した場合の 2 通りで算出する。

### 3) トイレ不足量

トイレ不足量（回数換算）=（トイレ需要量-トイレ供給量）

なお、上記より算出されるトイレ不足量（回数換算）をもとにし、現地での使用性を考慮し、仮設トイレの調達必要量と考えて仮設トイレ基数換算とし、また、市町単位での 3 日間での不足量と 1 週間での不足量を比べて大きい方を仮設トイレ必要量として採用するものとする。

トイレ不足量（仮設トイレ基数換算；3 日間）

= トイレ不足量（回数換算；3 日間）／917〔回/基〕

トイレ不足量（仮設トイレ基数換算；1 週間）

= トイレ不足量（回数換算；1 週間）／（917×2+720）〔回/基〕

## 2. ごみ

阪神・淡路大震災後の一般廃棄物は、震災により総排出量が増大し、道路の寸断、交通の大渋滞と併せ、定曜日に関係なく、また粗大・生ごみの区別もなく出されたため、市内至る所にごみの山が築かれる状態であった。

神戸市における 1994 年と 1995 年のごみ排出量を比較したものが次表である。

表 XII-1.1 ごみ排出量（1995 年／1994 年の比率）

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8~12 月	平均
家庭ごみ	84.7%	105.5%	100.4%	93.6%	97.3%	94.0%	95.7%	94.6%	95%
	96%			95%			95%		
粗大ごみ	238.1%	517.8%	280.4%	150.9%	151.5%	164.6%	142.7%	112.7%	173%
	334%			155%			118%		

（神戸市（1997）より）

上表を見ると、家庭ごみについては震災後も震災前とほぼ同じ排出量であるが、家具等の粗大ごみについては著しい増加傾向が見られ、震災直後には約 4～5 倍の粗大ごみが排出され、通常レベルに戻るのに半年以上を要している。

ここでは、この阪神・淡路大震災の事例（震災後の増加率）をもとに、「発生～3 ヶ月後」、「3 ヶ月後～半年後」、「半年後～1 年後」の 3 つの期間について、市町別の家庭ごみ、粗大ごみの平常時排出量を用いて、震災後のごみ発生量（トン/月）を求める。

なお、市町別ごみ排出量については、「家庭ごみ=可燃ごみ+資源ごみ」、「粗大ごみ=不燃ごみ+その他+粗大ごみ」と定義する。

### 3. 災害廃棄物等

東日本大震災において、岩手・宮城・福島3県の沿岸市町村で発生した災害廃棄物等の推計量は約2,641万トン（災害廃棄物約1,605万トン、津波堆積物約1,037万トン）（環境省廃棄物・リサイクル対策部（2013）, 2013年9月30日現在）である。

ここでは、建物の全壊・焼失による「災害廃棄物」、津波により陸上に運ばれて堆積した土砂・泥状物等の「津波堆積物」の発生量について算定する。

#### (1) 災害廃棄物

環境省（1998）におけるがれき発生量の推定式を用いて算出する。

$$Q1 = s \times q1 \times N1$$

Q1：がれき発生量

s：1棟当たりの平均延床面積（平均延床面積）（m<sup>2</sup>/棟）

q1：単位延床面積当たりのがれき発生量（原単位）（t/m<sup>2</sup>）

N1：解体建築物の棟数（解体棟数＝全壊棟数）（棟）

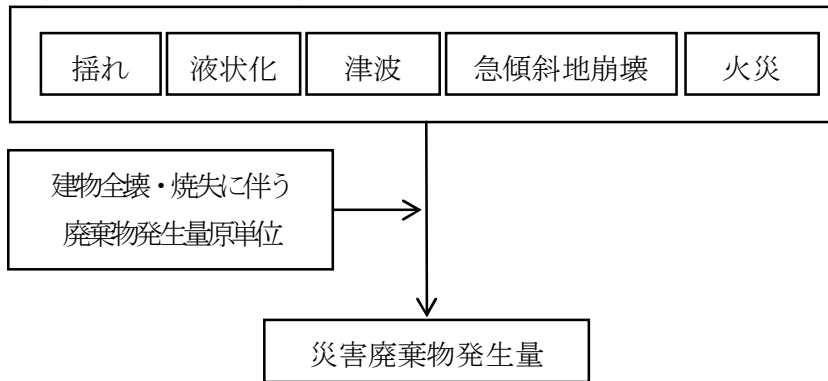


図 XII-1.1 災害廃棄物発生量の想定フロー

表 XII-1.2 面積あたり瓦礫重量（トン/m<sup>2</sup>）

木造			鉄筋コンクリート造			鉄骨造		
可燃物	不燃物	合計	可燃物	不燃物	合計	可燃物	不燃物	合計
0.194	0.502	0.696	0.120	0.987	1.107	0.082	0.630	0.712

（出典）環境省（1998）

↓

木造			非木造		
可燃物	不燃物	合計	可燃物	不燃物	合計
0.194	0.502	0.696	0.10	0.81	0.91

※非木造についてはRC造とS造の中間的な値として設定

上記は重量換算の災害廃棄物量であり、これを体積換算するため、環境省（2006）の（別添2：産業廃棄物の体積から重量への換算係数（参考値））を用いる。具体的には、可燃物としては0.55 t/m<sup>3</sup>（木くず）、不燃物としては1.48 t/m<sup>3</sup>（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物）を用いることとする。

表 XII-1.3 重量から体積への換算係数（m<sup>3</sup>/t）

可燃物	不燃物
1.8	0.68

## （2）津波堆積物

- 東日本大震災における測定結果より津波堆積物の堆積高を2.5cm～4cmに設定し、それに浸水面積を乗じて津波堆積物の体積量を推定する。なお、堆積高の分布状況が把握できておらず平均堆積高の推定が困難であること等※から、津波堆積高は幅を持たせて設定することとする。
  - ※①堆積高の分布状況が把握できていないことから、ここでの推定手法においては、重要な原単位となる平均堆積高の推定が困難である。市街地の多くの地点では2～4cmの堆積高であったが、水田等や地域においては、10～20cm、また、45cmの観測結果もあることから、地域的には、堆積量は推定結果より大きくなることが考えられる。
  - ※②堆積高の測定方法が確立されておらず、また、直後の測定ができていないため、測定結果が必ずしも堆積高の分布状況を把握できているとはいえない。
- 一般社団法人廃棄物資源循環学会（2011）より、推定された体積量に対して、汚泥の体積重量換算係数を用いて津波堆積物の重量を推定する。ここでは、体積重量換算係数として、国立環境研究所の測定結果（体積比重2.7g/cm<sup>3</sup>、含水率約50%）を用いて  $(2.7+2.7) / (1.0+2.7) = 1.46$  により算出した1.46t/m<sup>3</sup>、ならびに環境省（2006）（別添2：産業廃棄物の体積から重量への換算係数（参考値））で示された汚泥1.10 t/m<sup>3</sup>を用いることとする。なお、体積重量換算係数は、時間経過や堆積土砂の圧密により変化すると考えられることから、幅を持たせて設定することとする。



## XII-2. し尿・ごみ・瓦礫の想定結果

### 1 トイレ不足量

表 XII-2.1 トイレ不足量  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名		トイレ不足量(仮設トイレ基数換算:基)			
		仮設・簡易トイレを活用した場合		仮設・簡易・マンホールトイレを活用した場合	
		自市町のみ の備蓄 で対応した 場合	余剰備蓄 量の半分を 他市町に 拋出した 場合	自市町のみ の備蓄 で対応した 場合	余剰備蓄 量の半分を 他市町に 拋出した 場合
県計		3,128	1,839	2,715	1,320
賀茂	下田市	0	0	0	0
	東伊豆町	0	0	0	0
	河津町	0	0	0	0
	南伊豆町	5	3	5	2
	松崎町	0	0	0	0
	西伊豆町	0	0	0	0
	(小計)	5	3	5	2
	東部	沼津市	0	0	0
熱海市		0	0	0	0
三島市		0	0	0	0
富士宮市		0	0	0	0
伊東市		0	0	0	0
富士市		0	0	0	0
御殿場市		0	0	0	0
裾野市		0	0	0	0
伊豆市		0	0	0	0
伊豆の国市		0	0	0	0
函南町		0	0	0	0
清水町		0	0	0	0
長泉町		0	0	0	0
小山町		0	0	0	0
(小計)		0	0	0	0
中部	静岡市	848	498	699	340
	島田市	79	47	79	39
	焼津市	281	165	272	132
	藤枝市	261	153	209	102
	牧之原市	0	0	0	0
	吉田町	33	19	33	16
	川根本町	0	0	0	0
	(小計)	1,502	883	1,293	629
	西部	浜松市	989	582	846
磐田市		126	74	89	43
掛川市		214	126	208	101
袋井市		175	103	175	85
湖西市		109	64	90	44
御前崎市		0	0	0	0
菊川市		8	5	8	4
森町		0	0	0	0
(小計)		1,621	953	1,417	689

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表XII-2.2 トイレ不足量  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名	トイレ不足量(仮設トイレ基数換算:基)				
	仮設・簡易トイレを活用した場合		仮設・簡易・マンホールトイレを活用した場合		
	自市町のみ の備蓄 で対応した 場合	余剰備蓄 量の半分を 他市町に 拠出した 場合	自市町のみ の備蓄 で対応した 場合	余剰備蓄 量の半分を 他市町に 拠出した 場合	
県計	4,431	3,326	4,259	3,058	
賀茂	下田市	51	38	51	36
	東伊豆町	0	0	0	0
	河津町	7	5	7	5
	南伊豆町	37	28	37	27
	松崎町	9	7	9	7
	西伊豆町	8	6	8	6
	(小計)	112	84	112	80
東部	沼津市	0	0	0	0
	熱海市	0	0	0	0
	三島市	0	0	0	0
	富士宮市	0	0	0	0
	伊東市	0	0	0	0
	富士市	0	0	0	0
	御殿場市	0	0	0	0
	裾野市	0	0	0	0
	伊豆市	0	0	0	0
	伊豆の国市	0	0	0	0
	函南町	0	0	0	0
	清水町	0	0	0	0
	長泉町	0	0	0	0
	小山町	0	0	0	0
(小計)	0	0	0	0	
中部	静岡市	1,106	830	1,055	758
	島田市	79	60	79	57
	焼津市	465	349	465	334
	藤枝市	261	196	210	150
	牧之原市	129	97	129	93
	吉田町	127	95	127	91
	川根本町	0	0	0	0
	(小計)	2,168	1,627	2,066	1,483
西部	浜松市	1,380	1,036	1,326	952
	磐田市	170	128	168	121
	掛川市	216	162	212	152
	袋井市	176	132	176	127
	湖西市	201	151	190	137
	御前崎市	0	0	0	0
	菊川市	8	6	8	6
	森町	0	0	0	0
	(小計)	2,151	1,615	2,081	1,494

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XII-2.3 トイレ不足量  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名		トイレ不足量(仮設トイレ基数換算:基)			
		仮設・簡易トイレを活用した場合		仮設・簡易・マンホールトイレを活用した場合	
		自市町のみ の備蓄 で対応した 場合	余剰備蓄 量の半分を 他市町に 拠出した 場合	自市町のみ の備蓄 で対応した 場合	余剰備蓄 量の半分を 他市町に 拠出した 場合
県計		4,954	3,235	4,888	3,068
賀茂	下田市	49	32	49	31
	東伊豆町	0	0	0	0
	河津町	5	3	5	3
	南伊豆町	36	24	36	23
	松崎町	8	5	8	5
	西伊豆町	6	4	6	4
	(小計)	105	68	105	66
東部	沼津市	0	0	0	0
	熱海市	0	0	0	0
	三島市	0	0	0	0
	富士宮市	0	0	0	0
	伊東市	0	0	0	0
	富士市	0	0	0	0
	御殿場市	0	0	0	0
	裾野市	0	0	0	0
	伊豆市	0	0	0	0
	伊豆の国市	0	0	0	0
	函南町	0	0	0	0
	清水町	0	0	0	0
	長泉町	0	0	0	0
	小山町	0	0	0	0
(小計)	0	0	0	0	
中部	静岡市	0	0	0	0
	島田市	0	0	0	0
	焼津市	123	80	123	77
	藤枝市	0	0	0	0
	牧之原市	99	65	99	62
	吉田町	99	64	99	62
	川根本町	0	0	0	0
(小計)	321	210	321	201	
西部	浜松市	3,387	2,212	3,336	2,093
	磐田市	413	270	411	258
	掛川市	198	129	194	122
	袋井市	132	86	132	83
	湖西市	375	245	366	229
	御前崎市	0	0	0	0
	菊川市	8	5	8	5
	森町	15	10	15	9
	(小計)	4,528	2,957	4,462	2,800

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表XII-2.4 トイレ不足量  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名		トイレ不足量(仮設トイレ基数換算:基)			
		仮設・簡易トイレを活用した場合		仮設・簡易・マンホールトイレを活用した場合	
		自市町のみ の備蓄 で対応した 場合	余剰備蓄 量の半分を 他市町に 拠出した 場合	自市町のみ の備蓄 で対応した 場合	余剰備蓄 量の半分を 他市町に 拠出した 場合
県計		4,364	3,443	4,212	3,168
賀茂	下田市	53	42	53	40
	東伊豆町	0	0	0	0
	河津町	8	6	8	6
	南伊豆町	38	30	38	28
	松崎町	11	9	11	8
	西伊豆町	10	8	10	8
	(小計)	119	94	119	90
東部	沼津市	0	0	0	0
	熱海市	0	0	0	0
	三島市	0	0	0	0
	富士宮市	0	0	0	0
	伊東市	0	0	0	0
	富士市	5	4	0	0
	御殿場市	0	0	0	0
	裾野市	0	0	0	0
	伊豆市	0	0	0	0
	伊豆の国市	0	0	0	0
	函南町	0	0	0	0
	清水町	0	0	0	0
	長泉町	0	0	0	0
	小山町	0	0	0	0
(小計)	5	4	0	0	
中部	静岡市	730	577	679	511
	島田市	60	48	60	45
	焼津市	238	188	238	179
	藤枝市	26	17	0	0
	牧之原市	188	149	188	142
	吉田町	134	106	134	101
	川根本町	0	0	0	0
	(小計)	1,377	1,084	1,299	977
西部	浜松市	1,558	1,230	1,504	1,131
	磐田市	220	173	218	164
	掛川市	350	276	347	261
	袋井市	220	174	220	166
	湖西市	358	282	348	262
	御前崎市	0	0	0	0
	菊川市	149	118	149	112
	森町	8	6	8	6
(小計)	2,863	2,260	2,794	2,101	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XII-2.5 トイレ不足量  
(大正型関東地震)

市町名	トイレ不足量(仮設トイレ基数換算:基)			
	仮設・簡易トイレを活用した場合		仮設・簡易・マンホールトイレを活用した場合	
	自市町のみ の備蓄 で対応した 場合	余剰備蓄量 の半分を 他市町に 拠出した 場合	自市町のみ の備蓄 で対応した 場合	余剰備蓄量 の半分を 他市町に 拠出した 場合
県計	17	0	0	0
賀茂	下田市	0	0	0
	東伊豆町	0	0	0
	河津町	0	0	0
	南伊豆町	0	0	0
	松崎町	0	0	0
	西伊豆町	0	0	0
	(小計)	0	0	0
東部	沼津市	0	0	0
	熱海市	0	0	0
	三島市	0	0	0
	富士宮市	0	0	0
	伊東市	0	0	0
	富士市	0	0	0
	御殿場市	17	0	0
	裾野市	0	0	0
	伊豆市	0	0	0
	伊豆の国市	0	0	0
	函南町	0	0	0
	清水町	0	0	0
	長泉町	0	0	0
	小山町	0	0	0
(小計)	17	0	0	
中部	静岡市	0	0	0
	島田市	0	0	0
	焼津市	0	0	0
	藤枝市	0	0	0
	牧之原市	0	0	0
	吉田町	0	0	0
	川根本町	0	0	0
	(小計)	0	0	0
西部	浜松市	0	0	0
	磐田市	0	0	0
	掛川市	0	0	0
	袋井市	0	0	0
	湖西市	0	0	0
	御前崎市	0	0	0
	菊川市	0	0	0
	森町	0	0	0
(小計)	0	0	0	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XII-2.6 トイレ不足量  
(元禄型関東地震)

市町名	トイレ不足量(仮設トイレ基数換算:基)				
	仮設・簡易トイレを活用した場合		仮設・簡易・マンホールトイレを活用した場合		
	自市町のみ の備蓄 で対応した 場合	余剰備蓄 量の半分を 他市町に 拠出した 場合	自市町のみ の備蓄 で対応した 場合	余剰備蓄 量の半分を 他市町に 拠出した 場合	
県計	76	0	52	0	
賀茂	下田市	0	0	0	0
	東伊豆町	0	0	0	0
	河津町	0	0	0	0
	南伊豆町	0	0	0	0
	松崎町	0	0	0	0
	西伊豆町	0	0	0	0
	(小計)	0	0	0	0
東部	沼津市	0	0	0	0
	熱海市	0	0	0	0
	三島市	0	0	0	0
	富士宮市	0	0	0	0
	伊東市	0	0	0	0
	富士市	0	0	0	0
	御殿場市	63	0	39	0
	裾野市	0	0	0	0
	伊豆市	0	0	0	0
	伊豆の国市	0	0	0	0
	函南町	0	0	0	0
	清水町	0	0	0	0
	長泉町	0	0	0	0
	小山町	13	0	13	0
(小計)	76	0	52	0	
中部	静岡市	0	0	0	0
	島田市	0	0	0	0
	焼津市	0	0	0	0
	藤枝市	0	0	0	0
	牧之原市	0	0	0	0
	吉田町	0	0	0	0
	川根本町	0	0	0	0
	(小計)	0	0	0	0
西部	浜松市	0	0	0	0
	磐田市	0	0	0	0
	掛川市	0	0	0	0
	袋井市	0	0	0	0
	湖西市	0	0	0	0
	御前崎市	0	0	0	0
	菊川市	0	0	0	0
	森町	0	0	0	0
(小計)	0	0	0	0	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## 2 ごみ発生量

表XII-2.7 ごみ発生量(トン/月)

市町名	発災～3ヶ月後			3ヶ月後～半年			半年～1年後			
	家庭ごみ	粗大ごみ	計	家庭ごみ	粗大ごみ	計	家庭ごみ	粗大ごみ	計	
県計	約 95,000	約 20,000	約 116,000	約 94,000	約 9,500	約 104,000	約 94,000	約 7,200	約 101,000	
賀茂	下田市	約 900	約 200	約 1,100	約 900	約 80	約 1,000	約 900	約 60	約 900
	東伊豆町	約 600	約 200	約 900	約 600	約 100	約 700	約 600	約 80	約 700
	河津町	約 300	約 80	約 400	約 300	約 40	約 300	約 300	約 30	約 300
	南伊豆町	約 300	約 70	約 400	約 300	約 30	約 300	約 300	約 20	約 300
	松崎町	約 200	約 40	約 300	約 200	約 20	約 300	約 200	約 10	約 300
	西伊豆町	約 400	約 50	約 400	約 400	約 20	約 400	約 400	約 20	約 400
	(小計)	約 2,800	約 600	約 3,400	約 2,700	約 300	約 3,000	約 2,700	約 200	約 3,000
	沼津市	約 5,100	約 500	約 5,500	約 5,000	約 200	約 5,200	約 5,000	約 200	約 5,200
	熱海市	約 1,900	約 200	約 2,000	約 1,800	約 80	約 1,900	約 1,800	約 60	約 1,900
	三島市	約 3,200	約 800	約 4,000	約 3,200	約 400	約 3,500	約 3,200	約 300	約 3,500
東部	富士宮市	約 3,300	約 900	約 4,200	約 3,200	約 400	約 3,600	約 3,200	約 300	約 3,500
	伊東市	約 2,600	約 700	約 3,300	約 2,600	約 300	約 2,900	約 2,600	約 300	約 2,800
	富士市	約 6,400	約 700	約 7,100	約 6,300	約 300	約 6,700	約 6,300	約 300	約 6,600
	御殿場市	約 2,200	約 400	約 2,700	約 2,200	約 200	約 2,400	約 2,200	約 200	約 2,400
	裾野市	約 1,400	約 30	約 1,400	約 1,400	約 10	約 1,400	約 1,400	約 10	約 1,400
	伊豆市	約 900	約 40	約 900	約 900	約 20	約 900	約 900	約 10	約 900
	伊豆の国市	約 1,300	約 100	約 1,500	約 1,300	約 70	約 1,400	約 1,300	約 50	約 1,400
	函南町	約 1,100	約 300	約 1,400	約 1,100	約 100	約 1,200	約 1,100	約 100	約 1,200
	清水町	約 600	約 200	約 800	約 600	約 80	約 700	約 600	約 60	約 700
	長泉町	約 900	約 100	約 1,000	約 900	約 70	約 1,000	約 900	約 50	約 900
小山町	約 600	約 50	約 600	約 600	約 20	約 600	約 600	約 20	約 600	
(小計)	約 31,000	約 5,100	約 37,000	約 31,000	約 2,400	約 33,000	約 31,000	約 1,800	約 33,000	
中部	静岡市	約 19,000	約 7,000	約 26,000	約 19,000	約 3,300	約 23,000	約 19,000	約 2,500	約 22,000
	島田市	約 2,600	約 400	約 3,000	約 2,600	約 200	約 2,800	約 2,600	約 200	約 2,700
	焼津市	約 3,400	約 100	約 3,500	約 3,400	約 50	約 3,400	約 3,400	約 30	約 3,400
	藤枝市	約 3,200	約 100	約 3,300	約 3,200	約 50	約 3,200	約 3,200	約 40	約 3,200
	牧之原市	約 1,100	約 20	約 1,100	約 1,100	約 10	約 1,100	約 1,100	約 10	約 1,100
	吉田町	約 800	約 10	約 800	約 800	-	約 800	約 800	-	約 800
	川根本町	約 200	約 30	約 200	約 100	約 20	約 200	約 100	約 10	約 200
(小計)	約 31,000	約 7,700	約 38,000	約 30,000	約 3,600	約 34,000	約 30,000	約 2,700	約 33,000	
西部	浜松市	約 20,000	約 4,200	約 24,000	約 19,000	約 1,900	約 21,000	約 19,000	約 1,500	約 21,000
	磐田市	約 3,400	約 700	約 4,100	約 3,400	約 300	約 3,700	約 3,400	約 200	約 3,600
	掛川市	約 1,900	約 600	約 2,600	約 1,900	約 300	約 2,200	約 1,900	約 200	約 2,100
	袋井市	約 2,000	約 200	約 2,200	約 2,000	約 70	約 2,100	約 2,000	約 50	約 2,100
	湖西市	約 1,400	約 800	約 2,200	約 1,400	約 400	約 1,700	約 1,400	約 300	約 1,600
	御前崎市	約 900	約 200	約 1,100	約 900	約 90	約 1,000	約 900	約 70	約 1,000
	菊川市	約 700	約 400	約 1,100	約 700	約 200	約 900	約 700	約 100	約 800
	森町	約 300	約 70	約 300	約 200	約 30	約 300	約 200	約 30	約 300
(小計)	約 30,000	約 7,000	約 37,000	約 30,000	約 3,300	約 33,000	約 30,000	約 2,500	約 32,000	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

### 3 災害廃棄物等発生量

被害が最大となる冬夕発災時の災害廃棄物等発生量は次のとおりである。

表 XII-2.8 災害廃棄物等発生量（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）

市町名	災害廃棄物等発生量(千トン)						災害廃棄物等発生量(千m <sup>3</sup> )								
	災害廃棄物		津波堆積物		計		災害廃棄物		津波堆積物		計				
県計	29,995	791	~	1,680	30,786	~	31,675	26,904	719	~	1,151	27,623	~	28,054	
賀茂	下田市	23	38	~	80	61	~	104	22	34	~	55	56	~	77
	東伊豆町	3	4	~	8	7	~	11	3	4	~	6	6	~	8
	河津町	8	3	~	5	10	~	13	7	2	~	4	10	~	11
	南伊豆町	10	23	~	49	33	~	59	10	21	~	34	31	~	43
	松崎町	35	23	~	49	58	~	84	34	21	~	33	54	~	67
	西伊豆町	52	33	~	71	85	~	123	50	30	~	49	80	~	99
	(小計)	131	124	~	263	255	~	394	125	112	~	180	238	~	305
東部	沼津市	217	74	~	156	291	~	373	201	67	~	107	267	~	308
	熱海市	7	4	~	8	11	~	15	7	3	~	5	10	~	12
	三島市	32	-	-	-	32	-	-	28	-	-	-	28	-	-
	富士宮市	148	-	-	-	148	-	-	135	-	-	-	135	-	-
	伊東市	21	5	~	10	25	~	31	19	4	~	7	24	~	26
	富士市	245	8	~	16	252	~	261	221	7	~	11	228	~	232
	御殿場市	44	-	-	-	44	-	-	37	-	-	-	37	-	-
	裾野市	23	-	-	-	23	-	-	20	-	-	-	20	-	-
	伊豆市	44	21	~	45	65	~	89	41	19	~	31	60	~	72
	伊豆の国市	21	-	-	-	21	-	-	20	-	-	-	20	-	-
	函南町	8	-	-	-	8	-	-	7	-	-	-	7	-	-
	清水町	11	-	-	-	11	-	-	10	-	-	-	10	-	-
	長泉町	12	-	-	-	12	-	-	10	-	-	-	10	-	-
	小山町	5	-	-	-	5	-	-	5	-	-	-	5	-	-
(小計)	839	111	~	235	950	~	1,074	760	101	~	161	861	~	922	
中部	静岡市葵区	3,298	-	-	-	3,298	-	-	2,987	-	-	-	2,987	-	-
	静岡市駿河区	2,663	14	~	30	2,677	~	2,693	2,408	13	~	20	2,421	~	2,428
	静岡市清水区	2,861	66	~	140	2,927	~	3,001	2,617	60	~	96	2,677	~	2,713
	島田市	1,004	-	-	-	1,004	-	-	903	-	-	-	903	-	-
	焼津市	1,861	41	~	86	1,901	~	1,947	1,695	37	~	59	1,732	~	1,754
	藤枝市	2,260	-	-	-	2,260	-	-	2,013	-	-	-	2,013	-	-
	牧之原市	541	58	~	123	599	~	664	488	53	~	84	540	~	572
	吉田町	269	6	~	13	275	~	282	238	6	~	9	243	~	247
	川根本町	11	-	-	-	11	-	-	10	-	-	-	10	-	-
	(小計)	14,769	185	~	392	14,953	~	15,161	13,360	168	~	268	13,528	~	13,628
西部	浜松市中区	3,003	0	~	0	3,003	~	3,003	2,675	0	~	0	2,675	~	2,675
	浜松市東区	1,069	-	-	-	1,069	-	-	945	-	-	-	945	-	-
	浜松市西区	1,171	75	~	159	1,245	~	1,329	1,045	68	~	109	1,113	~	1,154
	浜松市南区	1,347	53	~	113	1,400	~	1,460	1,185	48	~	78	1,233	~	1,262
	浜松市北区	255	48	~	101	303	~	356	228	43	~	69	272	~	298
	浜松市浜北区	295	-	-	-	295	-	-	260	-	-	-	260	-	-
	浜松市天竜区	39	-	-	-	39	-	-	37	-	-	-	37	-	-
	磐田市	2,152	36	~	78	2,188	~	2,230	1,923	33	~	53	1,956	~	1,976
	掛川市	1,728	15	~	32	1,743	~	1,760	1,537	14	~	22	1,551	~	1,559
	袋井市	1,703	9	~	20	1,712	~	1,723	1,492	9	~	14	1,501	~	1,506
	湖西市	545	60	~	126	604	~	671	487	54	~	87	541	~	573
	御前崎市	258	76	~	161	333	~	418	230	69	~	110	299	~	340
菊川市	443	-	-	-	443	-	-	386	-	-	-	386	-	-	
森町	250	-	-	-	250	-	-	227	-	-	-	227	-	-	
(小計)	14,256	372	~	790	14,628	~	15,046	12,658	338	~	541	12,996	~	13,199	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

※「-」：被害なし



表 XII-2.9 災害廃棄物等発生量（南海トラフ巨大地震 地震動：基本ケース、津波：ケース①）

市町名	災害廃棄物等発生量(千トン)						災害廃棄物等発生量(千m <sup>3</sup> )					
	災害廃棄物	津波堆積物	計		災害廃棄物	津波堆積物	計					
県計	32,536	4,347 ~ 9,231	36,883	~ 41,767	29,234	3,952 ~ 6,323	33,186	~ 35,557				
賀茂	下田市	367	133 ~ 282	500	~ 649	338	121 ~ 193	459	~ 531			
	東伊豆町	53	19 ~ 40	72	~ 93	49	17 ~ 28	66	~ 77			
	河津町	50	19 ~ 40	69	~ 90	47	17 ~ 28	64	~ 75			
	南伊豆町	133	89 ~ 190	222	~ 323	126	81 ~ 130	208	~ 257			
	松崎町	160	50 ~ 107	210	~ 267	149	46 ~ 73	195	~ 223			
	西伊豆町	266	68 ~ 144	334	~ 410	250	62 ~ 99	312	~ 349			
	(小計)	1,029	378 ~ 803	1,408	~ 1,833	960	344 ~ 550	1,304	~ 1,510			
東部	沼津市	498	204 ~ 433	702	~ 931	458	185 ~ 296	643	~ 754			
	熱海市	11	13 ~ 27	23	~ 37	10	11 ~ 18	21	~ 28			
	三島市	32	-	32		28	-	28				
	富士宮市	148	-	148		135	-	135				
	伊東市	39	20 ~ 43	59	~ 82	37	19 ~ 30	56	~ 67			
	富士市	246	58 ~ 122	304	~ 369	223	52 ~ 84	275	~ 307			
	御殿場市	44	-	44		37	-	37				
	裾野市	23	-	23		20	-	20				
	伊豆市	122	33 ~ 70	155	~ 192	112	30 ~ 48	142	~ 160			
	伊豆の国市	21	-	21		20	-	20				
	函南町	8	-	8		7	-	7				
	清水町	11	-	11		10	-	10				
	長泉町	12	-	12		10	-	10				
	小山町	5	-	5		5	-	5				
(小計)	1,220	327 ~ 695	1,548	~ 1,916	1,111	298 ~ 476	1,409	~ 1,587				
中部	静岡市葵区	3,298	-	3,298		2,987	-	2,987				
	静岡市駿河区	2,677	107 ~ 227	2,784	~ 2,904	2,421	97 ~ 155	2,518	~ 2,576			
	静岡市清水区	3,076	363 ~ 770	3,439	~ 3,846	2,810	330 ~ 527	3,139	~ 3,337			
	島田市	1,004	-	1,004		903	-	903				
	焼津市	1,917	377 ~ 801	2,294	~ 2,718	1,746	343 ~ 548	2,089	~ 2,295			
	藤枝市	2,260	-	2,260		2,013	-	2,013				
	牧之原市	873	298 ~ 633	1,170	~ 1,505	787	271 ~ 433	1,058	~ 1,220			
	吉田町	368	178 ~ 379	546	~ 746	330	162 ~ 259	492	~ 589			
	川根本町	11	-	11		10	-	10				
	(小計)	15,484	1,322 ~ 2,808	16,807	~ 18,293	14,008	1,202 ~ 1,923	15,210	~ 15,931			
西部	浜松市中区	3,004	50 ~ 106	3,054	~ 3,110	2,676	45 ~ 73	2,722	~ 2,749			
	浜松市東区	1,069	0 ~ 0	1,069	~ 1,069	945	0 ~ 0	945	~ 945			
	浜松市西区	1,327	410 ~ 872	1,738	~ 2,199	1,190	373 ~ 597	1,563	~ 1,787			
	浜松市南区	1,429	642 ~ 1,363	2,070	~ 2,791	1,260	583 ~ 933	1,844	~ 2,194			
	浜松市北区	255	53 ~ 112	308	~ 367	228	48 ~ 77	276	~ 305			
	浜松市浜北区	295	-	295		260	-	260				
	浜松市天竜区	39	-	39		37	-	37				
	磐田市	2,162	442 ~ 938	2,604	~ 3,100	1,932	401 ~ 642	2,333	~ 2,574			
	掛川市	1,731	152 ~ 322	1,883	~ 2,053	1,540	138 ~ 221	1,678	~ 1,761			
	袋井市	1,703	67 ~ 141	1,769	~ 1,844	1,492	60 ~ 97	1,553	~ 1,589			
	湖西市	749	233 ~ 496	983	~ 1,245	673	212 ~ 339	885	~ 1,013			
	御前崎市	346	269 ~ 571	614	~ 916	307	244 ~ 391	552	~ 698			
	菊川市	443	2 ~ 4	445	~ 447	386	2 ~ 3	388	~ 389			
森町	250	-	250		227	-	227					
(小計)	14,802	2,319 ~ 4,924	17,121	~ 19,726	13,155	2,108 ~ 3,373	15,263	~ 16,528				

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

※「-」：被害なし

表 XII-2.10 災害廃棄物等発生量（南海トラフ巨大地震 地震動：陸側ケース、津波：ケース①）

市町名	災害廃棄物等発生量(千トン)						災害廃棄物等発生量(千m <sup>3</sup> )								
	災害廃棄物		津波堆積物		計		災害廃棄物		津波堆積物		計				
県計	30,940	4,347	~	9,231	35,287	~	40,171	27,604	3,952	~	6,323	31,556	~	33,927	
賀茂	下田市	362	133	~	282	495	~	644	333	121	~	193	454	~	526
	東伊豆町	51	19	~	40	70	~	92	48	17	~	28	65	~	75
	河津町	48	19	~	40	67	~	88	45	17	~	28	62	~	72
	南伊豆町	130	89	~	190	220	~	320	124	81	~	130	206	~	254
	松崎町	153	50	~	107	204	~	260	143	46	~	73	189	~	216
	西伊豆町	263	68	~	144	331	~	407	247	62	~	99	309	~	346
	(小計)	1,008	378	~	803	1,386	~	1,811	940	344	~	550	1,284	~	1,490
	沼津市	424	204	~	433	628	~	857	391	185	~	296	576	~	687
	熱海市	5	13	~	27	18	~	32	5	11	~	18	16	~	23
	三島市	8	-	-	-	8	-	-	8	-	-	-	8	-	-
東部	富士宮市	16	-	-	-	16	-	-	14	-	-	14	-	-	
	伊東市	32	20	~	43	52	~	75	31	19	~	30	49	~	60
	富士市	26	58	~	122	84	~	149	22	52	~	84	75	~	106
	御殿場市	38	-	-	-	38	-	-	31	-	-	31	-	-	
	裾野市	3	-	-	-	3	-	-	2	-	-	2	-	-	
	伊豆市	108	33	~	70	140	~	177	100	30	~	48	130	~	148
	伊豆の国市	14	-	-	-	14	-	-	13	-	-	13	-	-	
	函南町	4	-	-	-	4	-	-	4	-	-	4	-	-	
	清水町	4	-	-	-	4	-	-	4	-	-	4	-	-	
	長泉町	2	-	-	-	2	-	-	1	-	-	1	-	-	
	小山町	5	-	-	-	5	-	-	4	-	-	4	-	-	
	(小計)	689	327	~	695	1,017	~	1,384	631	298	~	476	928	~	1,107
	中部	静岡市葵区	746	-	-	-	746	-	-	671	-	-	671	-	-
静岡市駿河区		475	107	~	227	582	~	701	424	97	~	155	521	~	580
静岡市清水区		638	363	~	770	1,001	~	1,408	573	330	~	527	902	~	1,100
島田市		390	-	-	-	390	-	-	345	-	-	345	-	-	
焼津市		467	377	~	801	844	~	1,268	424	343	~	548	766	~	972
藤枝市		441	-	-	-	441	-	-	380	-	-	380	-	-	
牧之原市		682	298	~	633	980	~	1,314	616	271	~	433	886	~	1,049
吉田町		196	178	~	379	374	~	574	177	162	~	259	339	~	436
川根本町		15	-	-	-	15	-	-	14	-	-	14	-	-	
(小計)		4,050	1,322	~	2,808	5,372	~	6,858	3,623	1,202	~	1,923	4,825	~	5,546
西部	浜松市中区	5,215	50	~	106	5,265	~	5,322	4,636	45	~	73	4,682	~	4,709
	浜松市東区	2,615	0	~	0	2,615	~	2,615	2,300	0	~	0	2,300	~	2,300
	浜松市西区	2,714	410	~	872	3,125	~	3,586	2,428	373	~	597	2,801	~	3,025
	浜松市南区	1,914	642	~	1,363	2,556	~	3,277	1,684	583	~	933	2,268	~	2,618
	浜松市北区	1,785	53	~	112	1,838	~	1,897	1,591	48	~	77	1,639	~	1,668
	浜松市浜北区	1,585	-	-	-	1,585	-	-	1,404	-	-	1,404	-	-	
	浜松市天竜区	329	-	-	-	329	-	-	311	-	-	311	-	-	
	磐田市	3,171	442	~	938	3,613	~	4,109	2,836	401	~	642	3,238	~	3,478
	掛川市	1,592	152	~	322	1,744	~	1,914	1,423	138	~	221	1,561	~	1,644
	袋井市	1,459	67	~	141	1,526	~	1,600	1,286	60	~	97	1,347	~	1,383
	湖西市	1,750	233	~	496	1,984	~	2,246	1,561	212	~	339	1,773	~	1,900
	御前崎市	199	269	~	571	467	~	769	176	244	~	391	421	~	567
	菊川市	422	2	~	4	424	~	427	372	2	~	3	374	~	375
森町	442	-	-	-	442	-	-	403	-	-	403	-	-		
(小計)	25,193	2,319	~	4,924	27,512	~	30,117	22,411	2,108	~	3,373	24,519	~	25,784	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

※「-」：被害なし

表 XII-2.11 災害廃棄物等発生量（南海トラフ巨大地震 地震動：東側ケース、津波：ケース①）

市町名	災害廃棄物等発生量(千トン)						災害廃棄物等発生量(千m <sup>3</sup> )								
	災害廃棄物	津波堆積物	計		災害廃棄物	津波堆積物	計								
県計	34,525	4,347	~	9,231	38,872	~	43,756	31,069	3,952	~	6,323	35,020	~	37,391	
賀茂	下田市	376	133	~	282	509	~	658	346	121	~	193	467	~	539
	東伊豆町	59	19	~	40	78	~	99	54	17	~	28	72	~	82
	河津町	52	19	~	40	71	~	92	49	17	~	28	66	~	76
	南伊豆町	135	89	~	190	224	~	325	128	81	~	130	209	~	258
	松崎町	168	50	~	107	218	~	275	157	46	~	73	203	~	230
	西伊豆町	279	68	~	144	347	~	423	262	62	~	99	323	~	360
	(小計)	1,069	378	~	803	1,447	~	1,872	996	344	~	550	1,339	~	1,546
	沼津市	617	204	~	433	820	~	1,049	567	185	~	296	752	~	863
	熱海市	16	13	~	27	29	~	43	15	11	~	18	26	~	33
	三島市	50	-	-	-	50	-	-	43	-	-	-	43	-	-
東部	富士宮市	406	-	-	-	406	-	-	374	-	-	-	374	-	-
	伊東市	58	20	~	43	78	~	101	54	19	~	30	73	~	84
	富士市	662	58	~	122	719	~	784	603	52	~	84	655	~	687
	御殿場市	97	-	-	-	97	-	-	82	-	-	-	82	-	-
	裾野市	32	-	-	-	32	-	-	28	-	-	-	28	-	-
	伊豆市	151	33	~	70	184	~	221	139	30	~	48	169	~	187
	伊豆の国市	37	-	-	-	37	-	-	33	-	-	-	33	-	-
	函南町	11	-	-	-	11	-	-	10	-	-	-	10	-	-
	清水町	15	-	-	-	15	-	-	14	-	-	-	14	-	-
	長泉町	24	-	-	-	24	-	-	21	-	-	-	21	-	-
	小山町	12	-	-	-	12	-	-	10	-	-	-	10	-	-
	(小計)	2,186	327	~	695	2,513	~	2,881	1,994	298	~	476	2,291	~	2,470
	中部	静岡市葵区	1,977	-	-	-	1,977	-	-	1,797	-	-	-	1,797	-
静岡市駿河区		1,772	107	~	227	1,879	~	1,999	1,608	97	~	155	1,705	~	1,763
静岡市清水区		4,121	363	~	770	4,483	~	4,890	3,769	330	~	527	4,099	~	4,296
島田市		894	-	-	-	894	-	-	809	-	-	-	809	-	-
焼津市		915	377	~	801	1,292	~	1,715	838	343	~	548	1,180	~	1,386
藤枝市		999	-	-	-	999	-	-	889	-	-	-	889	-	-
牧之原市		1,230	298	~	633	1,528	~	1,863	1,110	271	~	433	1,381	~	1,543
吉田町		416	178	~	379	595	~	795	374	162	~	259	536	~	633
川根本町		14	-	-	-	14	-	-	13	-	-	-	13	-	-
(小計)		12,339	1,322	~	2,808	13,662	~	15,147	11,207	1,202	~	1,923	12,409	~	13,130
西部	浜松市中区	2,695	50	~	106	2,745	~	2,801	2,421	45	~	73	2,466	~	2,493
	浜松市東区	1,310	0	~	0	1,310	~	1,310	1,155	0	~	0	1,155	~	1,155
	浜松市西区	1,779	410	~	872	2,189	~	2,650	1,602	373	~	597	1,975	~	2,199
	浜松市南区	1,226	642	~	1,363	1,868	~	2,589	1,085	583	~	933	1,669	~	2,019
	浜松市北区	569	53	~	112	622	~	681	514	48	~	77	562	~	591
	浜松市浜北区	505	-	-	-	505	-	-	442	-	-	-	442	-	-
	浜松市天竜区	66	-	-	-	66	-	-	62	-	-	-	62	-	-
	磐田市	2,384	442	~	938	2,825	~	3,322	2,125	401	~	642	2,527	~	2,768
	掛川市	2,463	152	~	322	2,614	~	2,785	2,201	138	~	221	2,339	~	2,422
	袋井市	1,954	67	~	141	2,021	~	2,095	1,714	60	~	97	1,774	~	1,810
	湖西市	1,638	233	~	496	1,871	~	2,134	1,461	212	~	339	1,673	~	1,801
	御前崎市	777	269	~	571	1,046	~	1,348	704	244	~	391	948	~	1,095
	菊川市	1,150	2	~	4	1,152	~	1,155	1,009	2	~	3	1,011	~	1,012
	森町	416	-	-	-	416	-	-	377	-	-	-	377	-	-
(小計)	18,931	2,319	~	4,924	21,250	~	23,856	16,872	2,108	~	3,373	18,980	~	20,245	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

※「-」：被害なし

表 XII-2.12 災害廃棄物等発生量（大正型関東地震）

市町名	災害廃棄物等発生量(千トン)						災害廃棄物等発生量(千m <sup>3</sup> )								
	災害廃棄物	津波堆積物		計		災害廃棄物	津波堆積物		計						
県計	1,469	203	~	431	1,672	~	1,900	1,344	185	~	295	1,529	~	1,639	
賀茂	下田市	7	18	~	38	25	~	45	6	16	~	26	23	~	33
	東伊豆町	2	5	~	10	7	~	12	2	4	~	7	6	~	9
	河津町	6	3	~	6	8	~	12	5	3	~	4	8	~	10
	南伊豆町	0	8	~	16	8	~	17	0	7	~	11	7	~	11
	松崎町	2	1	~	3	3	~	5	2	1	~	2	3	~	4
	西伊豆町	2	2	~	4	4	~	6	2	2	~	3	4	~	5
	(小計)	19	37	~	78	56	~	97	19	33	~	53	52	~	72
	沼津市	46	6	~	13	52	~	58	43	5	~	9	48	~	51
	熱海市	244	27	~	57	271	~	301	228	24	~	39	252	~	267
	三島市	107	-	-	-	107	-	-	97	-	-	-	97	-	-
東部	富士宮市	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-
	伊東市	100	30	~	63	130	~	163	95	27	~	43	122	~	138
	富士市	4	3	~	5	6	~	9	3	2	~	4	6	~	7
	御殿場市	605	-	-	-	605	-	-	541	-	-	-	541	-	-
	裾野市	62	-	-	-	62	-	-	56	-	-	-	56	-	-
	伊豆市	15	1	~	2	16	~	17	14	1	~	1	15	~	15
	伊豆の国市	34	-	-	-	34	-	-	32	-	-	-	32	-	-
	函南町	25	-	-	-	25	-	-	23	-	-	-	23	-	-
	清水町	11	-	-	-	11	-	-	10	-	-	-	10	-	-
	長泉町	11	-	-	-	11	-	-	9	-	-	-	9	-	-
	小山町	178	-	-	-	178	-	-	166	-	-	-	166	-	-
	(小計)	1,442	66	~	140	1,508	~	1,582	1,318	60	~	96	1,378	~	1,414
	中部	静岡市葵区	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-
静岡市駿河区		1	5	~	10	6	~	11	1	4	~	7	6	~	8
静岡市清水区		4	18	~	39	22	~	43	4	17	~	27	20	~	30
島田市		0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
焼津市		2	2	~	5	4	~	6	2	2	~	3	4	~	5
藤枝市		0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
牧之原市		0	11	~	23	11	~	23	0	10	~	16	10	~	16
吉田町		0	2	~	4	2	~	4	0	2	~	3	2	~	3
川根本町		0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
(小計)		8	38	~	80	46	~	88	8	34	~	55	42	~	63
西部	浜松市中区	0	0	~	0	0	~	0	0	0	~	0	0	~	0
	浜松市東区	0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
	浜松市西区	0	14	~	31	14	~	31	0	13	~	21	13	~	21
	浜松市南区	0	4	~	8	4	~	8	0	3	~	5	3	~	5
	浜松市北区	0	8	~	16	8	~	16	0	7	~	11	7	~	11
	浜松市浜北区	0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
	浜松市天竜区	0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
	磐田市	0	3	~	7	3	~	7	0	3	~	5	3	~	5
	掛川市	0	4	~	9	4	~	9	0	4	~	6	4	~	6
	袋井市	0	1	~	3	1	~	3	0	1	~	2	1	~	2
	湖西市	0	14	~	29	14	~	29	0	12	~	20	12	~	20
	御前崎市	0	13	~	27	13	~	27	0	12	~	19	12	~	19
	菊川市	0	2	~	4	2	~	4	0	2	~	3	2	~	3
	森町	0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
(小計)	0	63	~	133	63	~	133	0	57	~	91	57	~	91	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

※「-」: 被害なし

表 XII-2.13 災害廃棄物等発生量（元禄型関東地震）

市町名	災害廃棄物等発生量(千トン)						災害廃棄物等発生量(千m <sup>3</sup> )								
	災害廃棄物	津波堆積物	計		災害廃棄物	津波堆積物	計								
県計	2,736	580	~	1,232	3,316	~	3,968	2,518	527	~	844	3,046	~	3,362	
賀茂	下田市	28	47	~	100	76	~	129	27	43	~	69	70	~	96
	東伊豆町	8	7	~	16	15	~	23	7	7	~	11	14	~	18
	河津町	11	7	~	15	18	~	26	10	6	~	10	17	~	21
	南伊豆町	17	33	~	70	50	~	87	16	30	~	48	46	~	64
	松崎町	3	4	~	8	6	~	11	3	3	~	5	6	~	8
	西伊豆町	4	6	~	13	10	~	17	4	5	~	9	9	~	13
(小計)	70	104	~	221	175	~	292	68	95	~	152	162	~	219	
東部	沼津市	125	26	~	54	151	~	180	115	23	~	37	139	~	153
	熱海市	410	33	~	69	443	~	479	385	30	~	47	415	~	432
	三島市	315	-	-	-	315	-	-	283	-	-	-	283	-	-
	富士宮市	2	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-
	伊東市	351	41	~	86	391	~	437	335	37	~	59	372	~	394
	富士市	7	4	~	8	11	~	15	6	3	~	5	10	~	12
	御殿場市	815	-	-	-	815	-	-	733	-	-	-	733	-	-
	裾野市	163	-	-	-	163	-	-	150	-	-	-	150	-	-
	伊豆市	26	3	~	6	29	~	32	24	3	~	4	27	~	28
	伊豆の国市	57	-	-	-	57	-	-	52	-	-	-	52	-	-
	函南町	37	-	-	-	37	-	-	34	-	-	-	34	-	-
	清水町	28	-	-	-	28	-	-	26	-	-	-	26	-	-
	長泉町	56	-	-	-	56	-	-	50	-	-	-	50	-	-
	小山町	246	-	-	-	246	-	-	230	-	-	-	230	-	-
(小計)	2,637	105	~	224	2,742	~	2,861	2,424	96	~	153	2,520	~	2,577	
中部	静岡市葵区	7	-	-	-	7	-	-	7	-	-	7	-	-	
	静岡市駿河区	4	13	~	27	16	~	30	3	11	~	18	15	~	22
	静岡市清水区	12	111	~	236	123	~	249	11	101	~	162	112	~	173
	島田市	0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
	焼津市	3	16	~	34	19	~	37	3	15	~	23	18	~	26
	藤枝市	0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
	牧之原市	2	41	~	87	43	~	89	2	37	~	60	39	~	62
	吉田町	0	9	~	19	9	~	19	0	8	~	13	8	~	13
	川根本町	0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
	(小計)	28	190	~	403	218	~	431	26	173	~	276	199	~	303
西部	浜松市中区	0	0	~	0	0	~	0	0	~	0	0	~	0	
	浜松市東区	0	0	~	0	0	~	0	0	~	0	0	~	0	
	浜松市西区	0	33	~	70	33	~	70	0	30	~	48	30	~	48
	浜松市南区	0	11	~	23	11	~	23	0	10	~	15	10	~	15
	浜松市北区	0	16	~	33	16	~	33	0	14	~	23	14	~	23
	浜松市浜北区	0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
	浜松市天竜区	0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
	磐田市	0	11	~	24	11	~	24	0	10	~	16	10	~	16
	掛川市	0	13	~	27	13	~	27	0	12	~	19	12	~	19
	袋井市	0	8	~	16	8	~	16	0	7	~	11	7	~	11
	湖西市	0	29	~	61	29	~	61	0	26	~	42	26	~	42
	御前崎市	0	61	~	130	61	~	130	0	56	~	89	56	~	89
	菊川市	0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
	森町	0	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	-
(小計)	0	181	~	383	181	~	384	0	164	~	263	164	~	263	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

※「-」: 被害なし

# XIII 経済被害想定

## XIII-1. 経済被害に係る想定手法

### 1 直接的経済被害

地震発生時の経済被害は、直接的な施設被害の発生をきっかけとして、様々な被害事象が時間的・空間的に波及連鎖していく。

本検討では、このような経済被害の時間的・空間的広がりの様相を、阪神・淡路大震災や東日本大震災をはじめとする過去の地震災害時の事例等を参考に、直接的経済被害と間接的経済被害に分け、その被害額の定量評価・定性的な分析を行う。

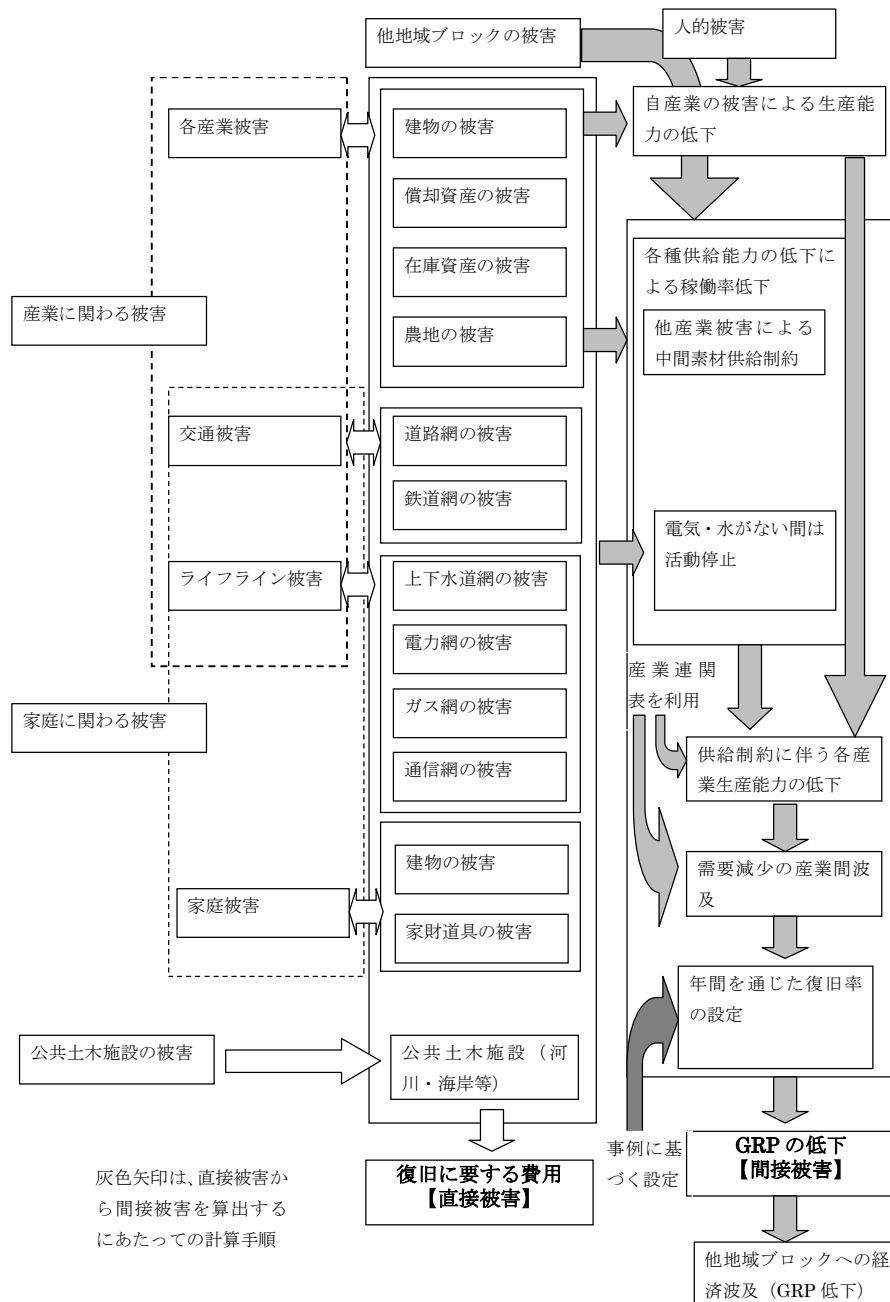
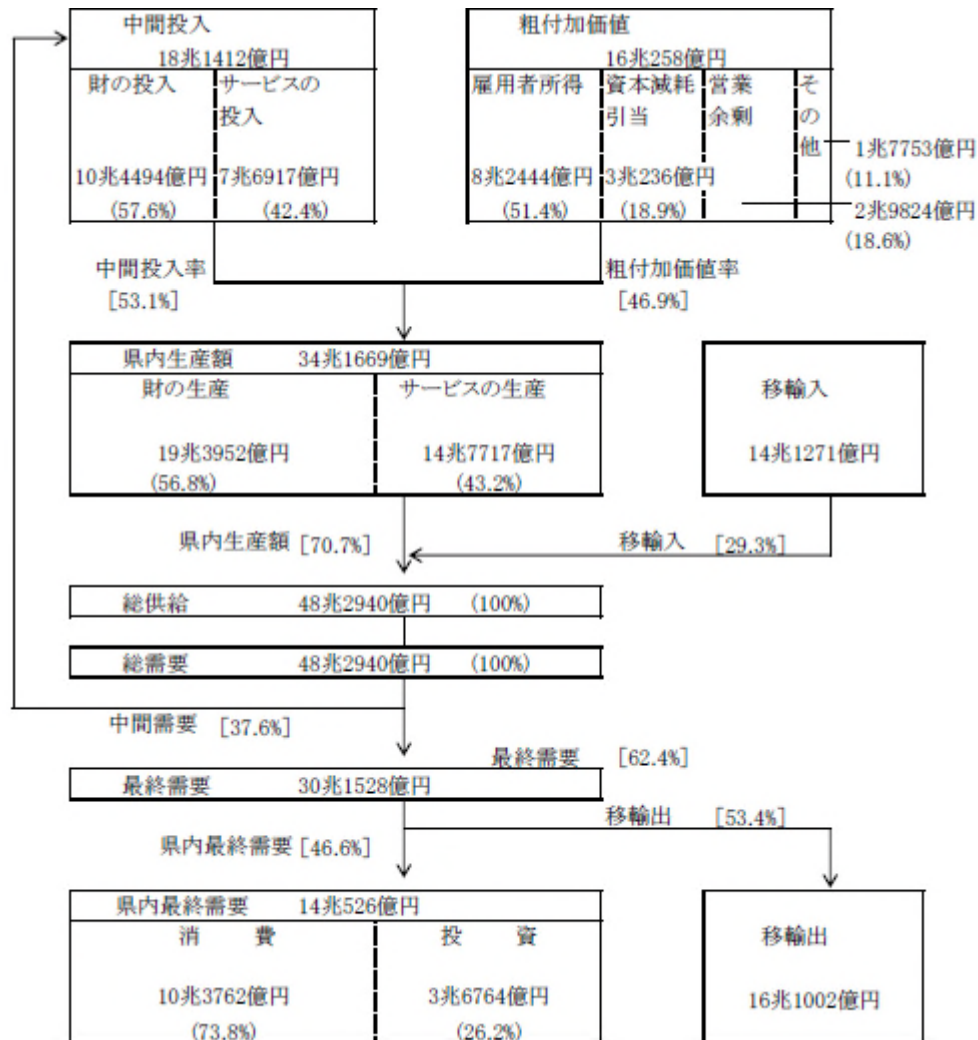


図 XIII-1.1 直接的経済被害の算定フロー

## 2 間接的経済被害

間接的経済被害の推定については、東日本大震災での間接的経済被害の算出にあたって供給制約の側面を考慮して評価を行った下田ら（2012）の手法を踏まえつつ、他都府県の被害の静岡県への影響を求めるため、中部圏地域間産業連関表及びブロック間産業連関表を用いて評価を行う。



図XIII-1.2 静岡県内の財・サービスの流れ  
(静岡県 (2005) より)

## XIII－2. 経済被害想定結果

### 1 直接的経済被害

#### (1) 予知なし

表 XIII－2.1 直接的経済被害〔予知なし〕  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

被害項目		被害額（兆円）
住宅		10.20
オフィスビル等		3.00
家財		4.21
その他償却資産		0.59
在庫資産		0.60
ライフライン	上水道	0.04
	下水道	0.49
	電力	0.03
	通信	0.03
	都市ガス	0.06
交通施設	道路	0.39
	鉄道	0.09
	港湾	0.15
漁港		0.11
農地		0.08
その他公共土木施設		0.22
合計		20.30

表 XIII－2.2 直接的経済被害〔予知なし〕  
(南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①）)

被害		被害額（兆円）
住宅		11.06
オフィスビル等		3.44
家財		4.57
その他償却資産		0.67
在庫資産		0.69
ライフライン	上水道	0.04
	下水道	0.48
	電力	0.03
	通信	0.04
	都市ガス	0.06
交通施設	道路	0.42
	鉄道	0.09
	港湾	0.15
漁港		0.11
農地		0.55
その他公共土木施設		0.23
合計		22.63



表 XIII-2.3 直接的経済被害〔予知なし〕  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

被害		被害額 (兆円)
住宅		10.24
オフィスビル等		3.40
家財		4.22
その他償却資産		0.63
在庫資産		0.64
ライフライン	上水道	0.04
	下水道	0.52
	電力	0.02
	通信	0.04
	都市ガス	0.06
交通施設	道路	0.48
	鉄道	0.08
	港湾	0.08
漁港		0.11
農地		0.55
その他公共土木施設		0.25
合計		21.35

表 XIII-2.4 直接的経済被害〔予知なし〕  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

被害		被害額 (兆円)
住宅		11.56
オフィスビル等		3.67
家財		4.78
その他償却資産		0.71
在庫資産		0.73
ライフライン	上水道	0.04
	下水道	0.52
	電力	0.02
	通信	0.04
	都市ガス	0.06
交通施設	道路	0.46
	鉄道	0.10
	港湾	0.18
漁港		0.11
農地		0.55
その他公共土木施設		0.24
合計		23.76

表 XIII-2.5 直接的経済被害  
(大正型関東地震)

被害		被害額 (兆円)
住宅		0.75
オフィスビル等		0.18
家財		0.31
その他償却資産		0.04
在庫資産		0.04
ライフライン	上水道	0.01
	下水道	0.06
	電力	0.03
	通信	0.00
	都市ガス	0.00
交通施設	道路	0.09
	鉄道	0.02
	港湾	0.01
漁港		0.04
農地		0.02
その他公共土木施設		0.04
合計		1.65

表 XIII-2.6 直接的経済被害  
(元禄型関東地震)

被害		被害額 (兆円)
住宅		1.27
オフィスビル等		0.31
家財		0.53
その他償却資産		0.07
在庫資産		0.07
ライフライン	上水道	0.01
	下水道	0.08
	電力	0.03
	通信	0.00
	都市ガス	0.01
交通施設	道路	0.11
	鉄道	0.03
	港湾	0.02
漁港		0.04
農地		0.06
その他公共土木施設		0.05
合計		2.70

## (2) 予知あり

表 XIII-2.7 直接的経済被害〔予知あり〕  
 (東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

被害項目		被害額 (兆円)
住宅		8.52
オフィスビル等		2.60
家財		3.52
その他償却資産		0.52
在庫資産		0.53
ライフライン	上水道	0.04
	下水道	0.49
	電力	0.03
	通信	0.03
	都市ガス	0.06
交通施設	道路	0.39
	鉄道	0.09
	港湾	0.15
漁港		0.11
農地		0.08
その他公共土木施設		0.22
合計		17.39

表 XIII-2.8 直接的経済被害〔予知あり〕  
 (南海トラフ巨大地震 (地震動：基本ケース、津波：ケース①))

被害		被害額 (兆円)
住宅		9.45
オフィスビル等		3.07
家財		3.90
その他償却資産		0.61
在庫資産		0.62
ライフライン	上水道	0.04
	下水道	0.48
	電力	0.03
	通信	0.04
	都市ガス	0.06
交通施設	道路	0.42
	鉄道	0.09
	港湾	0.15
漁港		0.11
農地		0.55
その他公共土木施設		0.23
合計		19.85

表 XIII-2.9 直接的経済被害〔予知あり〕  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

被害		被害額(兆円)
住宅		9.48
オフィスビル等		3.21
家財		3.90
その他償却資産		0.59
在庫資産		0.61
ライフライン	上水道	0.04
	下水道	0.52
	電力	0.02
	通信	0.04
	都市ガス	0.06
交通施設	道路	0.48
	鉄道	0.08
	港湾	0.08
漁港		0.11
農地		0.55
その他公共土木施設		0.25
合計		20.01

表 XIII-2.10 直接的経済被害〔予知あり〕  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

被害		被害額(兆円)
住宅		9.92
オフィスビル等		3.27
家財		4.10
その他償却資産		0.64
在庫資産		0.66
ライフライン	上水道	0.04
	下水道	0.52
	電力	0.02
	通信	0.04
	都市ガス	0.06
交通施設	道路	0.46
	鉄道	0.10
	港湾	0.18
漁港		0.11
農地		0.55
その他公共土木施設		0.25
合計		20.90

## 2 間接的経済被害

間接的経済被害は、直接的経済被害の比較的少ない陸側ケースで最大となっている。これは、入力となる生産能力の低下について、静岡県のみならず他地域も考慮しているところ、他地域では陸側ケースの方が被害が大きく生産能力の低下が大きいためである。

### (1) 予知なし

表 XIII-2.11 間接的経済被害〔予知なし〕  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

産業	県内総生産低下額 (兆円)
農林水産業	0.02
鉱業	0.03
製造業	0.90
建設	0.21
公益事業	0.14
商業	0.31
金融・保険・不動産	0.57
運輸	0.23
情報通信	0.41
公務等	0.15
サービス	0.85
その他	0.09
合計	3.90

表 XIII-2.12 間接的経済被害〔予知なし〕  
(南海トラフ巨大地震(地震動：基本ケース、津波：ケース①))

産業	県内総生産低下額 (兆円)
農林水産業	0.04
鉱業	0.04
製造業	1.21
建設	0.30
公益事業	0.20
商業	0.44
金融・保険・不動産	0.79
運輸	0.31
情報通信	0.53
公務等	0.22
サービス	1.15
その他	0.13
合計	5.34

表 XIII-2.13 間接的経済被害〔予知なし〕  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

産業	県内総生産低下額 (兆円)
農林水産業	0.04
鉱業	0.05
製造業	1.54
建設	0.35
公益事業	0.25
商業	0.54
金融・保険・不動産	1.03
運輸	0.39
情報通信	0.72
公務等	0.27
サービス	1.46
その他	0.16
合計	6.81

表 XIII-2.14 間接的経済被害〔予知なし〕  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

産業	県内総生産低下額 (兆円)
農林水産業	0.04
鉱業	0.04
製造業	1.23
建設	0.30
公益事業	0.20
商業	0.45
金融・保険・不動産	0.80
運輸	0.32
情報通信	0.54
公務等	0.23
サービス	1.18
その他	0.13
合計	5.46

表 XIII－2.15 間接的經濟被害  
(大正型関東地震)

産業	県内総生産低下額 (兆円)
農林水産業	0.001
鉱業	0.001
製造業	0.032
建設	0.010
公益事業	0.005
商業	0.014
金融・保険・不動産	0.019
運輸	0.009
情報通信	0.011
公務等	0.008
サービス	0.032
その他	0.004
合計	0.145

表 XIII－2.16 間接的經濟被害  
(元禄型関東地震)

産業	県内総生産低下額 (兆円)
農林水産業	0.002
鉱業	0.001
製造業	0.057
建設	0.017
公益事業	0.010
商業	0.024
金融・保険・不動産	0.033
運輸	0.016
情報通信	0.019
公務等	0.014
サービス	0.056
その他	0.007
合計	0.257

## (2) 予知あり

表 XIII-2.17 間接的経済被害〔予知あり〕  
 (東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

産業		県内総生産低下額 (兆円)
産業	農林水産業	0.01
	鉱業	0.02
	製造業	0.61
	建設	0.13
	公益事業	0.09
	商業	0.18
	金融・保険・不動産	0.41
	運輸	0.15
	情報通信	0.32
	公務等	0.09
	サービス	0.57
	その他	0.06
	合計	2.65
警戒宣言による活動停止		0.28
間接被害総計		2.93

表 XIII-2.18 間接的経済被害〔予知あり〕  
 (南海トラフ巨大地震 (地震動：基本ケース、津波：ケース①))

産業		県内総生産低下額 (兆円)
産業	農林水産業	0.01
	鉱業	0.03
	製造業	0.68
	建設	0.15
	公益事業	0.10
	商業	0.21
	金融・保険・不動産	0.45
	運輸	0.16
	情報通信	0.33
	公務等	0.10
	サービス	0.63
	その他	0.06
	合計	2.92
警戒宣言による活動停止		0.28
間接被害総計		3.20



表 XIII-2.19 間接的経済被害〔予知あり〕  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

産業		県内総生産低下額(兆円)
産業	農林水産業	0.02
	鉱業	0.04
	製造業	0.93
	建設	0.20
	公益事業	0.14
	商業	0.29
	金融・保険・不動産	0.63
	運輸	0.23
	情報通信	0.48
	公務等	0.13
	サービス	0.87
	その他	0.09
	合計	4.03
警戒宣言による活動停止		0.28
間接被害総計		4.31

表 XIII-2.20 間接的経済被害〔予知あり〕  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

産業		県内総生産低下額(兆円)
産業	農林水産業	0.02
	鉱業	0.03
	製造業	0.93
	建設	0.20
	公益事業	0.14
	商業	0.29
	金融・保険・不動産	0.62
	運輸	0.22
	情報通信	0.48
	公務等	0.14
	サービス	0.87
	その他	0.09
	合計	4.02
警戒宣言による活動停止		0.28
間接被害総計		4.30

## XIV 長周期地震動による被害（中高層住宅・超高層建築物）

### XIV-1. 長周期地震動による被害（中高層住宅・超高層建築物）に係る想定手法の考え方

- ・高さ 60m を超える超高層ビルについて、県内の立地状況を収集・整理する。
- ・県内の超高層ビル棟数は限られているため、定量評価は実施せず、高層ビル居住者・テナント、オーナー・管理者等の立場から、生活支障等の留意すべき事項を定性シナリオで記述する方針とする。

### XIV-2. 長周期地震動による被害（中高層住宅・超高層建築物）に係る想定結果

#### （1）超高層ビル立地概況

県内に立地する高さ 60m を超える建築物の現況データを収集・整理した。

消防機関より提供のあった査察データを踏まえ、一部不明とされていた項目（高層ビルの構造種別や免震・制振の別等）に関してはビルディングレターやホームページ等でできる限り補完する等して、県内の高層ビルデータベースを構築した。

その結果、県内に存する高さ 60m を超える建築物は合計 27 棟、うちほとんどが静岡市及び浜松市に集中していることがわかった。

竣工年、高さ、構造種別等の分布を次に示す。

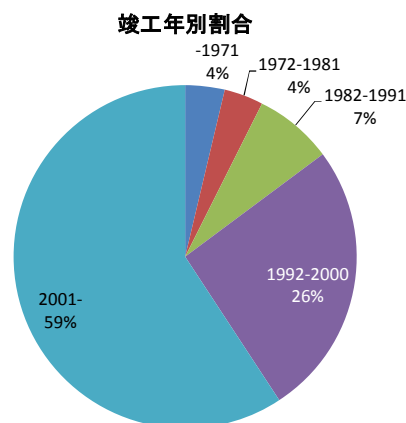


図 XIV-2.1 竣工年分布

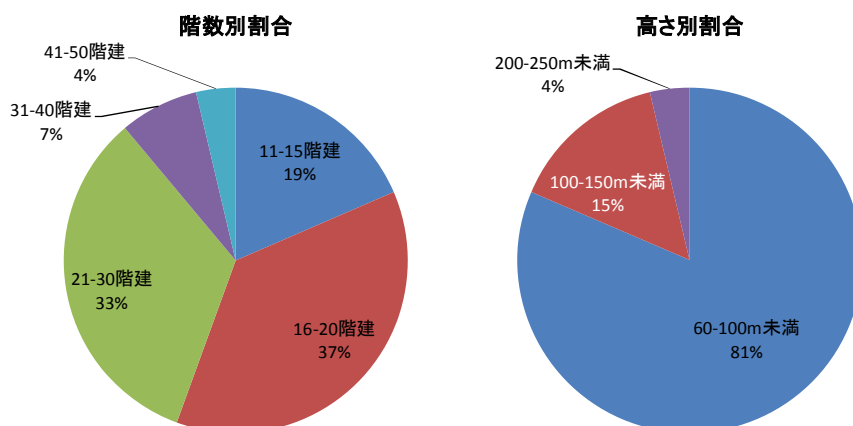


図 XIV-2.2 階数分布及び高さ分布

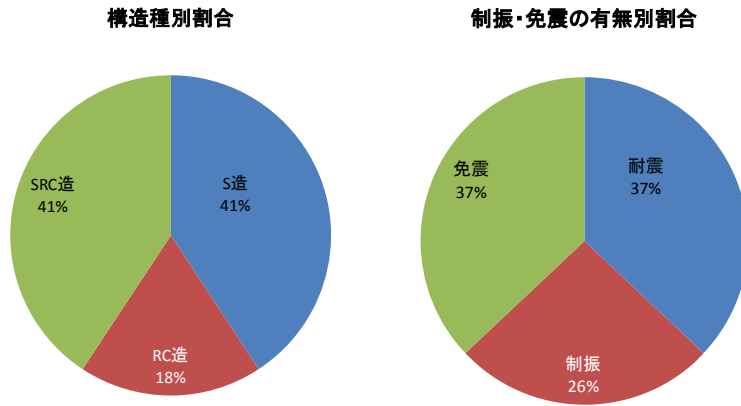


図 XIV-2.3 構造種別、免制振の別

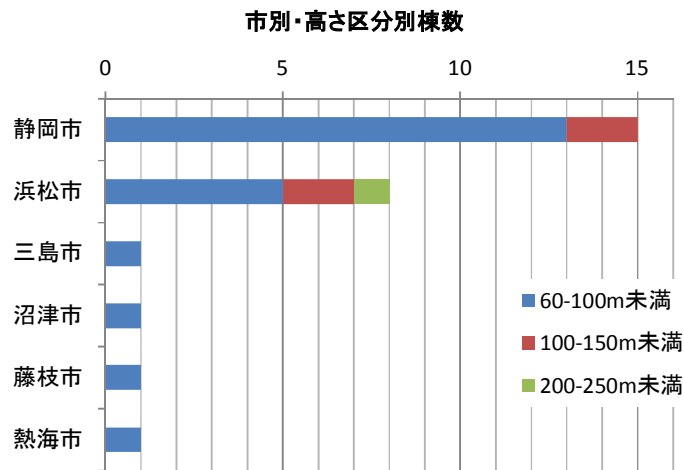


図 XIV-2.4 地域別・高さ区分別の棟数

表 XIV-2.1 構造別・高さ区分別の棟数

	耐震		制振		免震			合計
	S造	SRC造	S造	SRC造	S造	RC造	SRC造	
60-100m未満	5	5	2	2	2	4	2	22
100-150m未満			2			1	1	4
200-250m未満				1				1
合計	5	5	4	3	2	5	3	27

(2) 定性シナリオ

表 XIV-2.2 長周期地震動による超高層ビルへの影響シナリオ

状況	被害様相
高層階における揺れの増幅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 超高層ビルでは、揺れ始めに気付いた時点から、徐々に揺れが増幅し、やがて大きくゆっくりとした揺れになる。</li> <li>・ 震源から遠く離れ、地表の揺れが小さい場所でも、地震動の卓越周期と建物の固有周期が一致すると、揺れ幅・継続時間が増大する可能性がある。</li> <li>・ 振幅の大きな揺れにより、高層階の在館者の多くが、安全を確保するための行動を取ることができない事態が発生する可能性がある。</li> <li>・ 高層階になるほど各階の揺れは大きくなるが、地震動の卓越周期と建物の固有周期の関係によっては、高層階よりも中層階で局所的に揺れが大きくなることもある。</li> </ul>
建物被害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中低層階では、高層階よりも当該階の変形量が大きくなるため、建物被害が発生する可能性が相対的に高い。</li> <li>・ 超高層ビル全体もしくは各階の床の傾斜、防火設備の損傷等が発生した場合、その安全確認のためには、相当の時間を要する可能性がある。</li> <li>・ 制振構造の超高層ビルでは、耐震構造と比較して、減衰を高めることで応答が低減されるため、建物被害が発生する危険性は低い。</li> <li>・ 免震構造は、建物の固有周期を伸ばすことにより、耐震構造と比較して加速度応答が低減される。ただし東日本大震災では、免震によって長周期化した建物と長周期地震動の卓越周期が一致し、エキスパンションジョイントが損傷した事例も報告されている。免震層の変位量が許容変位量に収まるかどうか、個別施設ごとに検証する必要がある。</li> <li>・ 被災の影響により技術者の派遣体制が不足し、構造安全性の詳細確認までに長期間かかる可能性がある。</li> </ul>
家具・什器の転倒・落下・滑り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高層階になるほど各階の揺れが大きくなるため、家具・什器の転倒・落下・滑りの危険性は高まる。</li> <li>・ 固定していない本棚・キャビネット等の転倒、コピー機等のキャスター付機器の滑りによって、人的被害が発生する可能性がある。仮に人的被害が発生しなかった場合でも、避難経路や出入口が閉塞される危険性が考えられる。</li> <li>・ 家具・什器の固定を行っていても、効果的かつ正しい方法により固定されていない場合、固定器具本来の効果が発揮されず、転倒や滑りが発生する可能性がある。</li> </ul>
非構造部材・建築設備の被害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外壁の剥離・落下、内壁やガラスサッシのひび割れ、天井パネルの落下等が発生する可能性がある。</li> <li>・ エレベータの地震時管制運転装置が長周期地震動の初期微動を感知せず、通常運転が継続した場合、主ロープの絡まりや昇降機器との衝突等によって、閉じ込め事故が発生する可能性もある。</li> </ul>
全館一斉避難の発生 避難中の二次災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな揺れを経験したことにより、続発する余震の揺れに対して不安が募り、地上へ避難しようとする在館者が多数発生する可能性がある。</li> <li>・ 個人の判断による「全館一斉避難」が発生した場合、非常階段等に多数の在館者が殺到し、転倒等による二次的災害が発生する可能性がある。</li> <li>・ 長周期地震動に対してマイコンメータ感震機能が作動しない場合、超高層ビル内で火災が発生する可能性がある。</li> <li>・ 火災からの避難が必要な状況下で、個人の判断による「全館一斉避難」が発生すると、本当に避難を必要とする人が、身動きがとれなくなってしまう可能性もある。</li> </ul>
事業継続・生活機能継続・その他への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 超高層ビルで停電や空調停止、エレベータ停止等が長期化すると、入居している企業等の事業継続が困難となる場合がある。</li> <li>・ 超高層マンションでは、建物内の停電等によるエレベータの停止や断水等により、階段による地上との頻繁な往復が必要になるため、特に高層階居住者の日常生活の維持が困難になる可能性がある。</li> </ul>

# XV エレベータ閉じ込め

## XV-1. エレベータ閉じ込めに係る想定手法

・エレベータ閉じ込め者数、閉じ込めにつながり得るようなエレベータ停止が発生する建物棟数及びエレベータ台数を算出する。

・エレベータ閉じ込め事故に関連する被害事象として、以下を取り扱う。

- |    |                                       |
|----|---------------------------------------|
| A) | 地震時管制運転中の安全装置優先作動に伴うエレベータ停止           |
| B) | 地震時管制運転装置の非設置・非作動で、揺れによる故障等に伴うエレベータ停止 |
| C) | 停電時自動着床装置が非設置で、地震による停電に伴うエレベータ停止      |

なお、建物火災及び建物内浸水に伴う被害は、次の理由から定量化の対象外とする。

- ・ 出火件数は全体に大きく影響を及ぼすものではない。
- ・ 強い地震動を受ける地域では、当面の間、エレベータは停止している状態である。建物内浸水が発生する時点では、揺れにより既に閉じ込め状態にあるか、揺れによる閉じ込めを免れた場合でもエレベータを利用している人はほとんどいないと考えられる。

・地震発生時の事象進展の流れに沿って、被害事象 A・B・C の順に算定を行う。

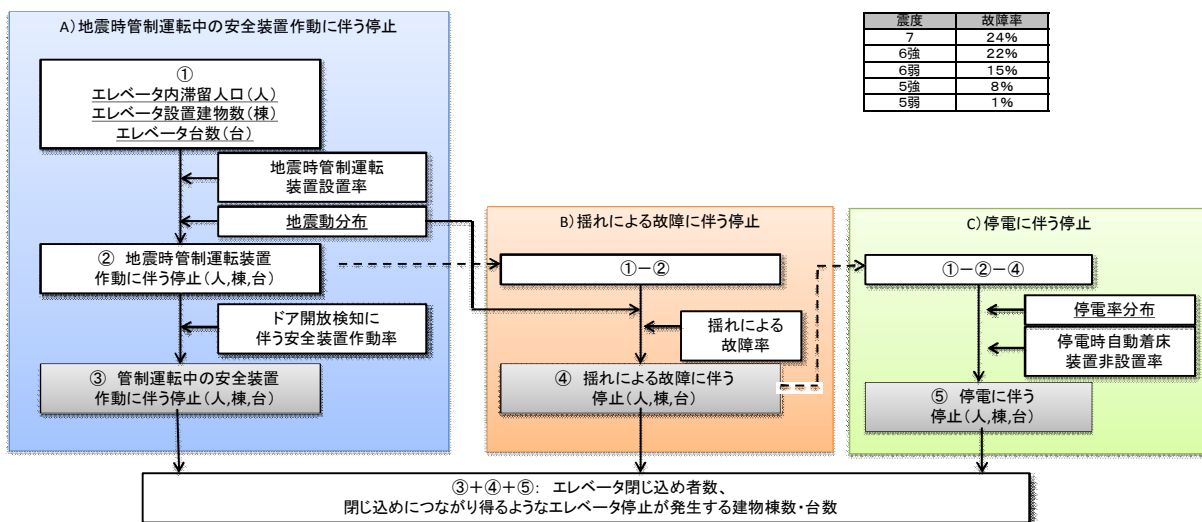


図 XV-1.1 全体被害量の評価フロー

### [A] 地震時管制運転中の安全装置作動に伴う停止

表 XV-1.1 設定に用いたパラメータ

パラメータ	設定方法
i) 地震時管制運転装置設置率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2012年3月31日現在、全国 672,097 台のうち地震時管制運転装置が設置されているエレベータは 428,621 台(日本エレベータ協会(2012))。</li> <li>・ この比率に基づき 63.77%とした。</li> </ul>
ii) 地震動分布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地震ケースの 250m メッシュ別計測震度を基に、メッシュ別人口を重みとした人口重み付き平均により、市区町別の平均計測震度を設定。</li> </ul>
iii) 地震時管制運転装置作動に伴う停止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エレベータ各社 HP 等に基づき、地震時管制運転が作動する加速度を 80gal とした。</li> <li>・ これは、童・山崎(1996)の式で加速度換算すると、計測震度 4.19 相当であり、計測震度 4.19 を超える市区町において、地震時管制運転装置が作動し、エレベータが最寄階において緊急停止するものとした。</li> <li>・ このうち安全装置が優先作動しない大部分は、後段における評価の</li> </ul>

	対象から除外した。
iv) ドア開放検知に伴う安全装置作動率	<ul style="list-style-type: none"> <li>2005年7月に発生した千葉県北西部を震源とする地震では、地震時管制運転装置が作動して緊急停止した64,000台のエレベータのうち、73台において閉じ込めが発生（藤田（2006））。</li> <li>この比率に基づき0.114%とした。</li> </ul>
v) 管制運転中の安全装置作動に伴う停止	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記iii)にiv)を乗ずることで、地震時管制運転中の安全装置優先作動に伴う停止（人・棟・台）として評価した。</li> </ul>

## 【B】揺れによる故障に伴う停止

表 XV-1.2 設定に用いたパラメータ

パラメータ	設定方法												
i) 地震動分布	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地震ケースの250mメッシュ別計測震度を基に、メッシュ別人口を重みとした人口重み付き平均により、市区町別の平均計測震度を設定</li> </ul>												
ii) 揺れによる故障率	<ul style="list-style-type: none"> <li>次に示す震度別の故障率を用いて算出（火災予防審議会・東京消防庁（1999））。</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>震度</th> <th>故障率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>6強</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>6弱</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>5強</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>5弱</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>	震度	故障率	7	24%	6強	22%	6弱	15%	5強	8%	5弱	1%
震度	故障率												
7	24%												
6強	22%												
6弱	15%												
5強	8%												
5弱	1%												
iii) 揺れによる損傷・故障に伴う停止	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記i)にii)を乗ずることで、揺れによる損傷・故障に伴う停止（人・棟・台）として評価した。</li> </ul>												

## 【C】停電に伴う停止

表 XV-1.3 設定に用いたパラメータ

パラメータ	設定方法
i) 停電率分布	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地震ケースにおける発災直後の停電率を設定。</li> <li>発災直後の停電率は、時間帯の違いによる差は生じないものとした。</li> </ul>
ii) 停電時自動着床装置非設置率	<ul style="list-style-type: none"> <li>停電エリアのエレベータのうち、停電時自動着床装置を設置していないものが、閉じ込めにつながるものとする。</li> <li>68.4%と設定した（中央防災会議（2008）における日本エレベーター協会の調査結果より）。</li> </ul>
iii) 停電に伴う停止	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記i)にii)を乗ずることで、停電に伴う停止（人・棟・台）として評価した。</li> </ul>

## XV-2. エレベータ閉じ込め被害想定結果

### (1) 定量評価結果

エレベータ閉じ込めの想定結果は、駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震と相模トラフ沿いで発生する地震では大きく傾向が異なるものの、それぞれの各地震ケースではほとんど違いは見られない。地震時には、主要動が伝わる前の初期微動において加速度 80gal（震度 4 相当）から地震時管制運転が作動し、最寄り階での緊急停止・ドア開放が行われるため、地震動の大きさの違いが影響しにくく、また、地震発生直後の停電発生状況も各地震では似たような傾向にあるためである。

表 XV-2.1 エレベータ閉じ込め  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名	閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害		
	朝	昼	夕	建物棟数	エレベータ台数	
県計	約 500	約 1,900	約 800	約 800	約 2,600	
賀茂	下田市	-	約 10	-	約 10	約 30
	東伊豆町	-	約 10	-	約 20	約 80
	河津町	-	-	-	-	-
	南伊豆町	-	-	-	-	-
	松崎町	-	-	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-	-	約 10
	(小計)	約 10	約 30	約 10	約 30	約 100
東部	沼津市	約 30	約 100	約 50	約 50	約 200
	熱海市	約 10	約 20	約 10	約 70	約 200
	三島市	約 20	約 50	約 20	約 30	約 100
	富士宮市	約 20	約 60	約 20	約 10	約 30
	伊東市	約 10	約 30	約 10	約 20	約 80
	富士市	約 30	約 100	約 50	約 30	約 100
	御殿場市	約 10	約 40	約 20	約 20	約 50
	裾野市	約 10	約 30	約 10	約 10	約 30
	伊豆市	-	約 20	約 10	約 10	約 50
	伊豆の国市	約 10	約 20	約 10	約 10	約 50
	函南町	-	約 10	約 10	-	約 10
	清水町	-	約 20	約 10	-	約 10
	長泉町	約 10	約 20	約 10	約 10	約 40
	小山町	-	約 10	-	-	約 10
(小計)	約 200	約 600	約 200	約 300	約 900	
中部	静岡市葵区	約 50	約 100	約 70	約 100	約 500
	静岡市駿河区	約 30	約 100	約 50	約 60	約 200
	静岡市清水区	約 30	約 100	約 50	約 60	約 200
	島田市	約 10	約 50	約 20	約 10	約 20
	焼津市	約 20	約 70	約 30	約 10	約 50
	藤枝市	約 20	約 70	約 30	約 10	約 40
	牧之原市	約 10	約 30	約 10	-	約 10
	吉田町	-	約 20	約 10	-	約 10
	川根本町	-	-	-	-	-
(小計)	約 200	約 600	約 300	約 300	約 900	
西部	浜松市中区	約 50	約 100	約 60	約 100	約 300
	浜松市東区	約 20	約 70	約 30	約 10	約 40
	浜松市西区	約 10	約 50	約 20	約 10	約 40
	浜松市南区	約 10	約 50	約 20	約 10	約 20
	浜松市北区	約 10	約 50	約 20	約 10	約 20
	浜松市浜北区	約 10	約 40	約 20	-	約 10
	浜松市天竜区	-	約 20	約 10	-	-
	磐田市	約 20	約 90	約 40	約 10	約 40
	掛川市	約 20	約 60	約 20	約 10	約 40
	袋井市	約 10	約 40	約 20	約 10	約 20
	湖西市	約 10	約 30	約 10	約 10	約 20
	御前崎市	-	約 20	約 10	-	約 10
	菊川市	約 10	約 20	約 10	-	約 10
	森町	-	約 10	-	-	-
	(小計)	約 200	約 700	約 300	約 200	約 600

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XV-2.2 エレベータ閉じ込め  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名	閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害		
	朝	昼	夕	建物棟数	エレベータ台数	
県計	約 500	約 1,900	約 800	約 800	約 2,600	
賀茂	下田市	-	約 10	-	約 10	約 30
	東伊豆町	-	約 10	-	約 20	約 80
	河津町	-	-	-	-	-
	南伊豆町	-	-	-	-	-
	松崎町	-	-	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-	-	約 10
	(小計)	約 10	約 40	約 10	約 30	約 100
	沼津市	約 30	約 100	約 50	約 50	約 200
東部	熱海市	約 10	約 20	約 10	約 70	約 200
	三島市	約 20	約 50	約 20	約 30	約 100
	富士宮市	約 20	約 60	約 20	約 10	約 30
	伊東市	約 10	約 30	約 10	約 20	約 80
	富士市	約 30	約 100	約 50	約 30	約 100
	御殿場市	約 10	約 40	約 20	約 20	約 50
	裾野市	約 10	約 30	約 10	約 10	約 30
	伊豆市	-	約 20	約 10	約 10	約 50
	伊豆の国市	約 10	約 20	約 10	約 10	約 50
	函南町	-	約 10	約 10	-	約 10
	清水町	-	約 20	約 10	-	約 10
	長泉町	約 10	約 20	約 10	約 10	約 40
	小山町	-	約 10	-	-	約 10
	(小計)	約 200	約 600	約 200	約 300	約 900
	中部	静岡市葵区	約 50	約 100	約 70	約 100
静岡市駿河区		約 30	約 100	約 50	約 60	約 200
静岡市清水区		約 30	約 100	約 50	約 60	約 200
島田市		約 10	約 50	約 20	約 10	約 20
焼津市		約 20	約 70	約 30	約 10	約 50
藤枝市		約 20	約 70	約 30	約 10	約 40
牧之原市		約 10	約 30	約 10	-	約 10
吉田町		-	約 20	約 10	-	約 10
川根本町		-	-	-	-	-
(小計)		約 200	約 600	約 300	約 300	約 900
西部	浜松市中区	約 50	約 100	約 60	約 100	約 300
	浜松市東区	約 20	約 70	約 30	約 10	約 40
	浜松市西区	約 10	約 50	約 20	約 10	約 40
	浜松市南区	約 10	約 50	約 20	約 10	約 20
	浜松市北区	約 10	約 50	約 20	約 10	約 20
	浜松市浜北区	約 10	約 40	約 20	-	約 10
	浜松市天竜区	-	約 20	約 10	-	-
	磐田市	約 20	約 90	約 40	約 10	約 40
	掛川市	約 20	約 60	約 20	約 10	約 40
	袋井市	約 10	約 40	約 20	約 10	約 20
	湖西市	約 10	約 30	約 10	約 10	約 20
	御前崎市	-	約 20	約 10	-	約 10
	菊川市	約 10	約 20	約 10	-	約 10
	森町	-	約 10	-	-	-
	(小計)	約 200	約 700	約 300	約 200	約 600

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



表 XV-2.3 エレベータ閉じ込め  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名	閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害		
	朝	昼	夕	建物棟数	エレベータ台数	
県計	約 500	約 1,900	約 800	約 800	約 2,600	
賀茂	下田市	-	約 10	-	約 10	約 30
	東伊豆町	-	約 10	-	約 20	約 80
	河津町	-	-	-	-	-
	南伊豆町	-	-	-	-	-
	松崎町	-	-	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-	-	約 10
	(小計)	約 10	約 30	約 10	約 30	約 100
	東部	沼津市	約 30	約 100	約 50	約 50
熱海市		約 10	約 20	約 10	約 70	約 200
三島市		約 20	約 50	約 20	約 30	約 100
富士宮市		約 20	約 60	約 20	約 10	約 30
伊東市		約 10	約 30	約 10	約 20	約 70
富士市		約 30	約 100	約 50	約 30	約 100
御殿場市		約 10	約 40	約 20	約 20	約 50
裾野市		約 10	約 30	約 10	約 10	約 30
伊豆市		-	約 20	約 10	約 10	約 40
伊豆の国市		約 10	約 20	約 10	約 10	約 40
函南町		-	約 10	約 10	-	約 10
清水町		-	約 20	約 10	-	約 10
長泉町		約 10	約 20	約 10	約 10	約 40
小山町		-	約 10	-	-	約 10
(小計)		約 200	約 600	約 200	約 300	約 900
中部	静岡市葵区	約 50	約 100	約 60	約 100	約 400
	静岡市駿河区	約 30	約 100	約 50	約 60	約 200
	静岡市清水区	約 30	約 100	約 50	約 60	約 200
	島田市	約 10	約 50	約 20	約 10	約 20
	焼津市	約 20	約 70	約 30	約 10	約 50
	藤枝市	約 20	約 60	約 30	約 10	約 40
	牧之原市	約 10	約 30	約 10	-	約 10
	吉田町	-	約 20	約 10	-	約 10
	川根本町	-	-	-	-	-
(小計)	約 200	約 600	約 200	約 300	約 900	
西部	浜松市中区	約 50	約 100	約 60	約 100	約 400
	浜松市東区	約 20	約 70	約 30	約 10	約 40
	浜松市西区	約 20	約 50	約 20	約 10	約 40
	浜松市南区	約 10	約 50	約 20	約 10	約 20
	浜松市北区	約 10	約 50	約 20	約 10	約 30
	浜松市浜北区	約 10	約 40	約 20	-	約 10
	浜松市天竜区	-	約 20	約 10	-	-
	磐田市	約 20	約 90	約 40	約 10	約 40
	掛川市	約 20	約 60	約 20	約 10	約 40
	袋井市	約 10	約 40	約 20	約 10	約 20
	湖西市	約 10	約 40	約 10	約 10	約 20
	御前崎市	-	約 20	約 10	-	約 10
	菊川市	約 10	約 20	約 10	-	約 10
	森町	-	約 10	-	-	-
	(小計)	約 200	約 700	約 300	約 200	約 600

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XV-2.4 エレベータ閉じ込め  
 (南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名	閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害		
	朝	昼	夕	建物棟数	エレベータ台数	
県計	約 600	約 1,900	約 800	約 800	約 2,600	
賀茂	下田市	-	約 10	-	約 10	約 30
	東伊豆町	-	約 10	-	約 20	約 80
	河津町	-	-	-	-	-
	南伊豆町	-	-	-	-	-
	松崎町	-	-	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-	-	約 10
	(小計)	約 10	約 40	約 10	約 30	約 100
	東部	沼津市	約 30	約 100	約 50	約 50
熱海市		約 10	約 20	約 10	約 70	約 200
三島市		約 20	約 50	約 20	約 30	約 100
富士宮市		約 20	約 60	約 30	約 10	約 30
伊東市		約 10	約 30	約 10	約 20	約 80
富士市		約 30	約 100	約 50	約 40	約 100
御殿場市		約 10	約 40	約 20	約 20	約 50
裾野市		約 10	約 30	約 10	約 10	約 30
伊豆市		-	約 20	約 10	約 10	約 50
伊豆の国市		約 10	約 20	約 10	約 10	約 50
函南町		-	約 20	約 10	-	約 10
清水町		-	約 20	約 10	-	約 10
長泉町		約 10	約 20	約 10	約 10	約 40
小山町		-	約 10	-	-	約 10
(小計)		約 200	約 600	約 200	約 300	約 1,000
中部	静岡市葵区	約 50	約 100	約 70	約 100	約 500
	静岡市駿河区	約 30	約 100	約 50	約 60	約 200
	静岡市清水区	約 30	約 100	約 50	約 60	約 200
	島田市	約 10	約 50	約 20	約 10	約 20
	焼津市	約 20	約 70	約 30	約 10	約 50
	藤枝市	約 20	約 70	約 30	約 10	約 40
	牧之原市	約 10	約 30	約 10	-	約 10
	吉田町	-	約 20	約 10	-	約 10
	川根本町	-	-	-	-	-
	(小計)	約 200	約 600	約 300	約 300	約 900
西部	浜松市中区	約 50	約 100	約 60	約 100	約 300
	浜松市東区	約 20	約 70	約 30	約 10	約 40
	浜松市西区	約 20	約 50	約 20	約 10	約 40
	浜松市南区	約 10	約 50	約 20	約 10	約 20
	浜松市北区	約 10	約 50	約 20	約 10	約 20
	浜松市浜北区	約 10	約 40	約 20	-	約 10
	浜松市天竜区	-	約 20	約 10	-	-
	磐田市	約 20	約 90	約 40	約 10	約 40
	掛川市	約 20	約 60	約 20	約 10	約 40
	袋井市	約 10	約 40	約 20	約 10	約 20
	湖西市	約 10	約 40	約 10	約 10	約 20
	御前崎市	-	約 20	約 10	-	約 10
	菊川市	約 10	約 20	約 10	-	約 10
	森町	-	約 10	-	-	-
	(小計)	約 200	約 700	約 300	約 200	約 600

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XV-2.5 エレベータ閉じ込め  
(大正型関東地震)

市町名	閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害		
	朝	昼	夕	建物棟数	エレベータ台数	
県計	約 200	約 600	約 300	約 300	約 1,100	
賀茂	下田市	-	約 10	-	約 10	約 30
	東伊豆町	-	約 10	-	約 20	約 80
	河津町	-	-	-	-	-
	南伊豆町	-	-	-	-	-
	松崎町	-	-	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-	-	約 10
	(小計)	約 10	約 30	約 10	約 30	約 100
	東部	沼津市	約 30	約 100	約 50	約 50
熱海市		約 10	約 20	約 10	約 80	約 200
三島市		約 20	約 50	約 20	約 30	約 100
富士宮市		約 20	約 60	約 20	約 10	約 20
伊東市		約 10	約 30	約 10	約 20	約 80
富士市		約 30	約 100	約 50	約 30	約 100
御殿場市		約 10	約 50	約 20	約 20	約 50
裾野市		約 10	約 30	約 10	約 10	約 30
伊豆市		-	約 20	約 10	約 10	約 40
伊豆の国市		約 10	約 20	約 10	約 10	約 50
函南町		-	約 20	約 10	-	約 10
清水町		-	約 20	約 10	-	約 10
長泉町		約 10	約 20	約 10	約 10	約 40
小山町		-	約 10	-	-	約 10
(小計)		約 200	約 600	約 200	約 300	約 1,000
中部	静岡市葵区	-	-	-	-	約 10
	静岡市駿河区	-	-	-	-	-
	静岡市清水区	-	-	-	-	-
	島田市	-	-	-	-	-
	焼津市	-	-	-	-	-
	藤枝市	-	-	-	-	-
	牧之原市	-	-	-	-	-
	吉田町	-	-	-	-	-
	川根本町	-	-	-	-	-
(小計)	-	約 10	-	約 10	約 20	
西部	浜松市中区	-	-	-	-	-
	浜松市東区	-	-	-	-	-
	浜松市西区	-	-	-	-	-
	浜松市南区	-	-	-	-	-
	浜松市北区	-	-	-	-	-
	浜松市浜北区	-	-	-	-	-
	浜松市天竜区	-	-	-	-	-
	磐田市	-	-	-	-	-
	掛川市	-	-	-	-	-
	袋井市	-	-	-	-	-
	湖西市	-	-	-	-	-
	御前崎市	-	-	-	-	-
	菊川市	-	-	-	-	-
	森町	-	-	-	-	-
(小計)	-	-	-	-	-	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XV-2.6 エレベータ閉じ込め  
(元禄型関東地震)

市町名		閉じ込め者数			閉じ込めにつながり得る物的被害	
		朝	昼	夕	建物棟数	エレベータ台数
県計		約 200	約 600	約 300	約 300	約 1,100
賀茂	下田市	-	約 10	-	約 10	約 30
	東伊豆町	-	約 10	-	約 20	約 80
	河津町	-	-	-	-	-
	南伊豆町	-	-	-	-	-
	松崎町	-	-	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-	-	約 10
	(小計)	約 10	約 30	約 10	約 30	約 100
	沼津市	約 30	約 100	約 50	約 50	約 200
熱海市	約 10	約 20	約 10	約 80	約 200	
三島市	約 20	約 50	約 20	約 30	約 100	
富士宮市	約 20	約 60	約 20	約 10	約 30	
伊東市	約 10	約 30	約 10	約 20	約 80	
富士市	約 30	約 100	約 50	約 30	約 100	
御殿場市	約 10	約 50	約 20	約 20	約 50	
裾野市	約 10	約 30	約 10	約 10	約 30	
伊豆市	-	約 20	約 10	約 10	約 50	
伊豆の国市	約 10	約 20	約 10	約 10	約 50	
函南町	-	約 20	約 10	-	約 10	
清水町	-	約 20	約 10	-	約 10	
長泉町	約 10	約 20	約 10	約 10	約 40	
小山町	-	約 10	-	-	約 10	
(小計)	約 200	約 600	約 200	約 300	約 1,000	
中部	静岡市葵区	-	-	-	-	約 10
	静岡市駿河区	-	-	-	-	-
	静岡市清水区	-	-	-	-	-
	島田市	-	-	-	-	-
	焼津市	-	-	-	-	-
	藤枝市	-	-	-	-	-
	牧之原市	-	-	-	-	-
	吉田町	-	-	-	-	-
	川根本町	-	-	-	-	-
	(小計)	-	約 10	-	約 10	約 20
西部	浜松市中区	-	-	-	-	-
	浜松市東区	-	-	-	-	-
	浜松市西区	-	-	-	-	-
	浜松市南区	-	-	-	-	-
	浜松市北区	-	-	-	-	-
	浜松市浜北区	-	-	-	-	-
	浜松市天竜区	-	-	-	-	-
	磐田市	-	-	-	-	-
	掛川市	-	-	-	-	-
	袋井市	-	-	-	-	-
	湖西市	-	-	-	-	-
	御前崎市	-	-	-	-	-
	菊川市	-	-	-	-	-
	森町	-	-	-	-	-
(小計)	-	-	-	-	-	

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 定性シナリオ

表 XV-2.7 地震時の揺れ・停電等によるエレベータへの影響

状況	エレベータの挙動
地震の揺れ発生時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震時管制運転装置を設置している場合、P 波センサにより初期微動を検知し、大きな揺れが生ずる前に最寄階で緊急停止し、ドアが開放される。</li> <li>・ 主要地震動の揺れが軽微な場合は、自動で通常運転に復帰し、揺れが強かった場合は、技術者の点検を受けるまで復帰しない仕組みであるが、地震時管制運転装置を設置していても、最寄階で緊急停止する際、ドアの異常を検知して安全装置が優先作動した場合、ドアが閉じたまま緊急停止する場合がある。</li> <li>・ 地震時管制運転装置が地震動の揺れに反応せず、通常運転を継続したため主ロープが切れる等で閉じ込めが発生する場合も考えられる。</li> <li>・ 地震時管制運転装置を設置していない場合、地震時もそのまま通常運転を継続するため、強い揺れによる損傷・故障等により、ドアが閉じたまま階と階の間に閉じ込めが発生しやすい。</li> </ul>
地震による停電時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震による揺れ、浸水、火災の影響により停電が発生した場合、停電時自動着床装置を設置していれば、最寄階で緊急停止し、ドアが開放される。</li> <li>・ 停電時自動着床装置が設置されていない場合、閉じ込めが発生しやすい。</li> </ul>
建物内浸水による停電発生時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 停電しなかった地域であっても、建物内の受電設備やエレベータ機械室が浸水の影響を受けると、建物内の電力喪失が発生する。</li> <li>・ さらに非常用自家発電設備が設置されていない場合、これに伴い、エレベータの停止・閉じ込めにつながる可能性がある。</li> </ul>
建物内の火災発生時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火災時管制運転装置を設置している場合、最寄階で緊急停止し、ドアが開放される。</li> <li>・ 火災時管制運転装置が設置されていない場合、閉じ込めが発生する可能性が高い。</li> </ul>

## XVI 交通人的被害（道路）

### XVI－１．交通人的被害（道路）に係る想定手法

地震発生時に道路を車両で移動中の際、交通事故等を起こして車内で負傷したりする等の事象が想定される。

東日本大震災、阪神・淡路大震災等、過去の大規模地震災害時における交通人的被害（道路）及びその他の地震災害時の交通人的被害（道路）を参考に、道路に関連して発生する人的被害を整理する。なお、検討結果は、人的被害シナリオ・物的被害シナリオ等、関連する定性シナリオに記載する。

（例）阪神・淡路大震災では、阪神高速道路 3 号神戸線及び 5 号湾岸線で 16 名の死者、79 名の負傷者が発生（大阪府（1997））

（例）東日本大震災では、交通施設が停電により機能停止したことにより交通事故が発生した。

過去の被害様相を踏まえると、道路では以下のような人的被害が発生することが懸念される。

- ①ドライバーの運転ミスによる交通事故
- ②橋脚の落橋・倒壊にともなう事故
- ③道路への落石、斜面崩壊、道路の陥没等による交通事故
- ④運転中に津波に巻き込まれる
- ⑤交通安全施設が機能停止することによる交通事故
- ⑥渋滞等により緊急搬送車両での搬送中の患者の症状が悪化
- ⑦地下トンネルや地下駐車場の浸水による人的被害

### XVI－２．交通人的被害（道路）に係る想定結果

・定性シナリオ

項目	具体的な被害様相
ドライバーの運転ミスによる交通事故	・ 揺れに驚いたドライバーがハンドル操作を誤り、交通事故が発生する。
橋梁の落橋・倒壊に伴う事故	・ 揺れによって橋梁が落下または倒壊し、反応が遅れたドライバーが巻き込まれる。
道路への落石、斜面崩壊、道路の陥没等による交通事故	・ 揺れによって落石、斜面崩壊、道路の陥没等が発生し、反応が遅れたドライバーが道路上の障害物を避けきれず、交通事故が発生する。
運転中に津波に巻き込まれる	・ 道路上を走行中（または避難中）に津波に巻き込まれる。 ・ 渋滞によって車両の走行が困難な状況の中、車の中に取り残され、津波に巻き込まれる。
交通施設が機能停止することによる交通事故	・ 信号機や道路照明が停電等で機能停止し、ドライバーの混乱により交通事故が発生する。
道路渋滞による緊急搬送車両（医師や負傷者の搬送等）の遅れによる症状悪化	・ 倒壊した建物や落下物等による道路閉塞、交通事故の発生等により、緊急搬送車両（医師や負傷者の搬送等）の通行に支障を来たし、搬送中の患者の症状が悪化する。
地下トンネルや地下駐車場の浸水による人的被害	・ 地下トンネルや地下駐車場が津波浸水することにより人的被害が発生する。

## XVII 交通人的被害（鉄道）

### XVII-1. 交通人的被害（鉄道）に係る想定手法

地震発生時に、列車の脱線により乗客が車内で転倒・負傷する他、列車の脱線・連絡事故等により沿線の被害が拡大する等の事象が想定される。

東日本大震災、阪神・淡路大震災等、過去の大規模地震災害時における交通人的被害（鉄道）及びその他の地震災害時の交通人的被害（鉄道）を参考に、鉄道に関連して発生する人的被害を整理する。なお、検討結果は、人的被害シナリオ・物的被害シナリオ等、関連する定性シナリオに記載する。

（例）東日本大震災では、JR仙台駅でホーム天井のパネルが落下する等の施設被害が発生した。  
（人的被害はなし）→状況によってはけが人が発生する可能性がある

過去の被害様相を踏まえると、鉄道では以下のような人的被害が発生することが懸念される。

- ① 駅舎などの鉄道施設の損傷による人的被害
- ② 運行中の揺れによる脱線・衝突事故
- ③ 運行中の列車が津波にのみ込まれる
- ④ 急停車等の措置にともなう人的被害
- ⑤ 長時間の閉じ込め等による健康被害
- ⑥ 停車した列車から避難する際の人的被害
- ⑦ 脱線・落下事故等による線路周辺の住民の人的被害

### XVII-2. 交通人的被害（鉄道）に係る想定結果

・ 定性シナリオ

項目	具体的な被害様相
駅舎などの鉄道施設の損傷による人的被害	・ 揺れによって、駅舎などの鉄道施設が損傷し、人的被害が発生する
運行中の揺れによる脱線・衝突事故	・ 揺れによって脱線・衝突事故が発生し、人的被害が発生する。
運行中の列車が津波にのみ込まれる	・ 走行中の列車は大きな揺れや津波警報を受けて停止するが、乗客の避難が遅れて津波に巻き込まれる。
急停車等の措置に伴う人的被害	・ 揺れを感知して急停車することにより、乗客の中にけが人等が発生する。
長時間の閉じ込め等による健康被害	・ 乗客が列車内に長時間閉じ込められ、健康被害が発生する。
列車から避難する際の人的被害	・ 乗客が停車した列車から避難する際に軌道上等の避難ルートでけがをする。
車両の脱線・落下事故等による線路周辺の住民の人的被害	・ 列車の脱線や高架からの落下事故等が発生し、線路周辺の地域の住民に人的被害が発生する。

※東海道新幹線においては、早期地震検知システムにより大きな揺れが到達する前に減速する対策をとっているほか、震度7クラスの地震に対して脱線そのものを防止する「脱線防止ガード」を設置しており、運行速度270kmに対しても効果が確認されている。高速で通過する分岐器手前の区間全てを含む、軌道延長約140kmの対策が平成25年3月までに完了。これに加えて、東海地震の際、強く長い地震動が想定される地区の全区間、及びその他の地区の高速で通過するトンネルの手前や三主桁の手前の区間全てを含む、軌道延長約456kmの対策を平成32年3月までに実施する予定。（東海旅客鉄道（2012））

※東海道新幹線では、列車の一部だけをホームに着けることにより通常より多くの列車を駅に停車させ、できるだけ列車内に乗客が閉じ込められないような対応をとることが可能。

※東海旅客鉄道では、津波の浸水が予想される地域内では、避難すべき方向を示す「津波警標」を設置している。

※国内では、地震の揺れにより列車が高架橋から落下する事故は発生していない。

## XVIII 災害時要援護者の被災・生活支障の想定

### XVIII-1. 災害時要援護者の被災・生活支障に係る想定手法

#### (1) 基本的な考え方

- 避難所避難者数の内数として、人口比率より、避難所に避難する災害時要援護者数を算出する。
- 避難所での応急対応等の参考になるよう、災害時要援護者を幅広く対象として算出することとし、重複処理は行わない。

#### (2) 対象とする災害時要援護者

次の災害時要援護者を対象とする。【】内は静岡県計の数値。

1. 65歳以上の単身高齢者 ※1 ……【106,279人】
2. 5歳未満の乳幼児 ※1 ……【161,778人】
3. 身体障害者 ※2 ……【124,829人】
4. 知的障害者 ※3 ……【26,053人】
5. 精神障害者 ※4 ……【14,464人】
6. 要介護認定者（要支援者を除く） ※5 ……【114,723人】
7. 難病患者 ※6 ……【23,616人】
8. 妊産婦 ※7 ……【65,362人】
9. 外国人 ※1 ……【61,610人】

※1：総務省統計局（2010a）

※2：厚生労働省（2013c） 身体障害者手帳交付台帳登載者数（平成24年3月末）。なお、政令市の区別の値は人口按分

※3：厚生労働省（2013c） 療育手帳交付台帳登載者数（平成24年3月末）。なお、政令市の区別の値は人口按分

※4：厚生労働省（2013d） 精神障害者保健福祉手帳交付件数（平成24年3月末）。なお、政令市の区別の値は人口按分

※5：独立行政法人福祉医療機構（2012）（平成24年12月末）。なお、政令市の区別の値は65歳以上人口比率で按分

※6：厚生労働省（2013d） 特定疾患受給者数（平成24年3月末）。なお、政令市の区別の値は人口按分

※7：総務省統計局（2010a）の全国値を5歳未満人口で按分

なお、血液透析療法や在宅酸素療法を受けている人は、停電や断水等が長時間継続すると、治療の継続が困難となる可能性が極めて高く、避難所での災害時要援護者への対応とは別に特に留意しておく必要がある。

#### (3) 避難所に避難する災害時要援護者数（全体の内数）

災害時要援護者の人口比率を基に、避難所避難者数の内数として、避難所に避難する災害時要援護者数を算出する。

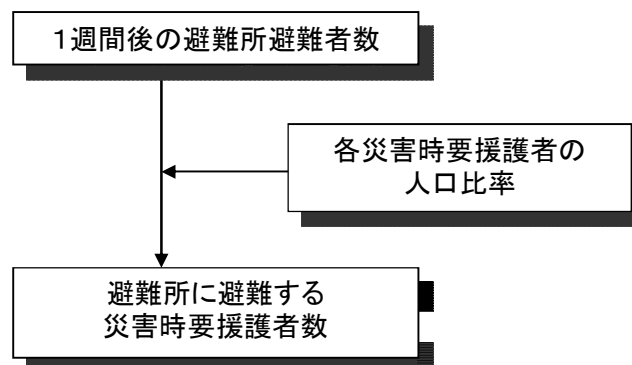


図 XVIII-1.1 避難所に避難する災害時要援護者数の想定フロー



## XVIII-2. 災害時要援護者の被災・生活支障の想定結果

表 XVIII-2.1 1週間後の避難所避難者に占める要援護者数  
(東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震)

市町名	65歳以上の 高齢単身者	5歳未満 乳幼児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者 (要支援者を除く)	難病患者	妊産婦	外国人	
県計	約 16,000	約 27,000	約 20,000	約 4,200	約 2,500	約 19,000	約 3,900	約 11,000	約 11,000	
賀茂	下田市	約 100	約 70	約 80	約 10	約 10	約 90	約 10	約 30	約 20
	東伊豆町	約 30	約 10	約 20	-	-	約 20	-	-	-
	河津町	約 40	約 30	約 30	約 10	-	約 40	-	約 10	-
	南伊豆町	約 50	約 20	約 30	約 10	-	約 40	約 10	約 10	-
	松崎町	約 80	約 40	約 80	約 10	-	約 70	約 10	約 20	-
	西伊豆町	約 100	約 40	約 100	約 20	約 10	約 100	約 10	約 20	約 20
	(小計)	約 500	約 200	約 400	約 60	約 30	約 400	約 40	約 90	約 50
東部	沼津市	約 600	約 600	約 500	約 100	約 60	約 400	約 100	約 300	約 200
	熱海市	約 90	約 20	約 30	-	-	約 40	約 10	約 10	約 10
	三島市	約 200	約 300	約 200	約 50	約 20	約 200	約 40	約 100	約 70
	富士宮市	約 200	約 400	約 300	約 60	約 20	約 200	約 50	約 100	約 80
	伊東市	約 200	約 100	約 100	約 30	約 10	約 200	約 20	約 50	約 20
	富士市	約 400	約 900	約 600	約 100	約 60	約 600	約 100	約 400	約 300
	御殿場市	約 50	約 100	約 70	約 20	-	約 60	約 10	約 60	約 50
	裾野市	約 40	約 100	約 60	約 10	-	約 40	約 10	約 50	約 30
	伊豆市	約 100	約 70	約 100	約 20	約 10	約 90	約 20	約 30	約 10
	伊豆の国市	約 200	約 200	約 200	約 30	約 10	約 100	約 30	約 70	約 30
	函南町	約 90	約 100	約 100	約 20	約 10	約 90	約 20	約 50	約 20
	清水町	約 60	約 100	約 80	約 10	約 10	約 50	約 10	約 50	約 60
	長泉町	約 40	約 100	約 50	約 10	-	約 40	約 10	約 40	約 10
	小山町	約 20	約 40	約 30	約 10	-	約 30	-	約 20	約 10
	(小計)	約 2,300	約 3,200	約 2,500	約 500	約 200	約 2,200	約 400	約 1,300	約 900
中部	静岡市葵区	約 2,200	約 2,400	約 2,100	約 400	約 300	約 2,000	約 400	約 1,000	約 500
	静岡市駿河区	約 1,500	約 2,300	約 1,700	約 400	約 200	約 1,400	約 400	約 900	約 600
	静岡市清水区	約 1,800	約 2,000	約 1,800	約 400	約 300	約 1,800	約 400	約 800	約 500
	島田市	約 400	約 700	約 600	約 100	約 60	約 600	約 100	約 300	約 100
	焼津市	約 800	約 1,500	約 1,100	約 200	約 100	約 1,000	約 200	約 600	約 600
	藤枝市	約 700	約 1,400	約 900	約 200	約 100	約 1,000	約 200	約 500	約 300
	牧之原市	約 200	約 400	約 400	約 80	約 50	約 300	約 70	約 200	約 200
	吉田町	約 80	約 300	約 100	約 40	約 20	約 100	約 30	約 100	約 100
	川根本町	約 40	約 20	約 40	約 10	-	約 40	約 10	約 10	約 10
	(小計)	約 7,600	約 11,000	約 8,800	約 1,900	約 1,200	約 8,400	約 1,800	約 4,400	約 3,000
西部	浜松市中区	約 2,000	約 2,400	約 1,900	約 400	約 300	約 1,700	約 400	約 1,000	約 1,700
	浜松市東区	約 500	約 1,200	約 800	約 100	約 100	約 700	約 100	約 500	約 500
	浜松市西区	約 500	約 1,200	約 800	約 200	約 100	約 700	約 200	約 500	約 400
	浜松市南区	約 600	約 1,100	約 800	約 200	約 100	約 700	約 200	約 400	約 800
	浜松市北区	約 200	約 400	約 300	約 60	約 50	約 300	約 60	約 200	約 100
	浜松市浜北区	約 200	約 500	約 300	約 70	約 50	約 300	約 70	約 200	約 100
	浜松市天竜区	約 100	約 60	約 80	約 20	約 10	約 100	約 20	約 20	約 30
	磐田市	約 800	約 1,800	約 1,200	約 200	約 100	約 1,100	約 200	約 700	約 1,100
	掛川市	約 400	約 1,100	約 800	約 200	約 70	約 800	約 100	約 400	約 600
	袋井市	約 300	約 1,300	約 700	約 200	約 60	約 600	約 100	約 500	約 700
	湖西市	約 200	約 400	約 300	約 70	約 30	約 200	約 60	約 200	約 400
	御前崎市	約 80	約 200	約 200	約 40	約 20	約 200	約 40	約 90	約 100
	菊川市	約 100	約 400	約 200	約 50	約 20	約 300	約 50	約 200	約 400
	森町	約 90	約 100	約 100	約 30	約 10	約 200	約 20	約 60	約 30
(小計)	約 6,000	約 12,000	約 8,600	約 1,700	約 1,100	約 7,800	約 1,600	約 4,900	約 7,100	

(注) 属性間での重複あり

\* 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XVIII-2.2 1週間後の避難所避難者に占める要援護者数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:基本ケース、津波:ケース①))

市町名	65歳以上の 高齢単身者	5歳未満 乳幼児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者 (要支援者を除く)	難病患者	妊産婦	外国人	
県計	約 18,000	約 29,000	約 23,000	約 4,700	約 2,800	約 21,000	約 4,400	約 12,000	約 12,000	
賀茂	下田市	約 300	約 200	約 200	約 40	約 20	約 200	約 30	約 70	約 40
	東伊豆町	約 60	約 20	約 40	約 10	-	約 30	-	約 10	-
	河津町	約 60	約 50	約 50	約 10	-	約 60	約 10	約 20	-
	南伊豆町	約 100	約 60	約 90	約 10	約 10	約 100	約 10	約 20	約 10
	松崎町	約 200	約 80	約 200	約 20	約 10	約 100	約 10	約 30	約 10
	西伊豆町	約 300	約 90	約 200	約 40	約 20	約 200	約 20	約 40	約 40
	(小計)	約 1,000	約 500	約 800	約 100	約 60	約 800	約 90	約 200	約 100
東部	沼津市	約 800	約 900	約 700	約 200	約 80	約 600	約 100	約 300	約 300
	熱海市	約 100	約 20	約 40	約 10	-	約 40	約 10	約 10	約 10
	三島市	約 200	約 300	約 200	約 50	約 20	約 200	約 40	約 100	約 70
	富士宮市	約 200	約 400	約 300	約 60	約 20	約 200	約 50	約 100	約 80
	伊東市	約 200	約 100	約 200	約 30	約 10	約 200	約 20	約 50	約 20
	富士市	約 400	約 900	約 600	約 200	約 60	約 600	約 100	約 400	約 300
	御殿場市	約 50	約 100	約 70	約 20	-	約 60	約 10	約 60	約 50
	裾野市	約 40	約 100	約 60	約 10	-	約 40	約 10	約 50	約 30
	伊豆市	約 100	約 90	約 100	約 30	約 10	約 100	約 20	約 30	約 10
	伊豆の国市	約 200	約 200	約 200	約 30	約 10	約 100	約 30	約 70	約 30
	函南町	約 90	約 100	約 100	約 20	約 10	約 90	約 20	約 50	約 20
	清水町	約 60	約 100	約 80	約 10	約 10	約 50	約 10	約 50	約 60
	長泉町	約 40	約 100	約 50	約 10	-	約 40	約 10	約 40	約 10
	小山町	約 20	約 40	約 30	約 10	-	約 30	-	約 20	約 10
(小計)	約 2,600	約 3,500	約 2,700	約 600	約 300	約 2,400	約 500	約 1,400	約 1,000	
中部	静岡市葵区	約 2,200	約 2,400	約 2,100	約 400	約 300	約 2,000	約 400	約 1,000	約 500
	静岡市駿河区	約 1,600	約 2,400	約 1,800	約 400	約 300	約 1,500	約 400	約 1,000	約 600
	静岡市清水区	約 2,000	約 2,300	約 2,100	約 400	約 300	約 2,100	約 400	約 900	約 600
	島田市	約 400	約 700	約 600	約 100	約 60	約 600	約 100	約 300	約 100
	焼津市	約 900	約 1,800	約 1,300	約 300	約 100	約 1,200	約 300	約 700	約 700
	藤枝市	約 700	約 1,400	約 900	約 200	約 100	約 1,000	約 200	約 500	約 300
	牧之原市	約 300	約 700	約 700	約 100	約 90	約 600	約 100	約 300	約 400
	吉田町	約 100	約 400	約 200	約 60	約 30	約 200	約 60	約 200	約 200
	川根本町	約 40	約 20	約 40	約 10	-	約 40	約 10	約 10	約 10
(小計)	約 8,300	約 12,000	約 9,800	約 2,100	約 1,300	約 9,300	約 2,000	約 4,900	約 3,400	
西部	浜松市中区	約 2,000	約 2,400	約 1,900	約 400	約 300	約 1,700	約 400	約 1,000	約 1,700
	浜松市東区	約 500	約 1,200	約 800	約 100	約 100	約 700	約 100	約 500	約 500
	浜松市西区	約 600	約 1,600	約 1,000	約 200	約 200	約 1,000	約 200	約 600	約 500
	浜松市南区	約 700	約 1,500	約 1,100	約 200	約 200	約 1,000	約 200	約 600	約 1,100
	浜松市北区	約 200	約 400	約 300	約 60	約 50	約 300	約 60	約 200	約 100
	浜松市浜北区	約 200	約 500	約 300	約 70	約 50	約 300	約 70	約 200	約 100
	浜松市天竜区	約 100	約 60	約 80	約 20	約 10	約 100	約 20	約 20	約 30
	磐田市	約 800	約 1,800	約 1,200	約 300	約 100	約 1,100	約 300	約 700	約 1,200
	掛川市	約 400	約 1,100	約 800	約 200	約 70	約 800	約 100	約 400	約 600
	袋井市	約 300	約 1,300	約 700	約 200	約 60	約 600	約 100	約 500	約 700
	湖西市	約 300	約 600	約 500	約 100	約 40	約 300	約 80	約 200	約 600
	御前崎市	約 100	約 300	約 200	約 40	約 30	約 200	約 40	約 100	約 200
	菊川市	約 100	約 400	約 200	約 50	約 20	約 300	約 50	約 200	約 400
	森町	約 90	約 100	約 100	約 30	約 10	約 200	約 20	約 60	約 30
(小計)	約 6,400	約 13,000	約 9,300	約 1,900	約 1,200	約 8,500	約 1,800	約 5,300	約 7,800	

(注) 属性間での重複あり

\* 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XVIII-2.3 1週間後の避難所避難者に占める要援護者数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:陸側ケース、津波:ケース①))

市町名	65歳以上の 高齢単身者	5歳未満 乳幼児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者 (要支援者を除く)	難病患者	妊産婦	外国人	
県計	約 16,000	約 27,000	約 21,000	約 4,200	約 2,600	約 19,000	約 3,900	約 11,000	約 13,000	
賀茂	下田市	約 300	約 200	約 200	約 30	約 20	約 200	約 30	約 60	約 40
	東伊豆町	約 50	約 20	約 30	約 10	-	約 30	-	約 10	-
	河津町	約 50	約 40	約 40	約 10	-	約 50	約 10	約 20	-
	南伊豆町	約 100	約 50	約 70	約 10	約 10	約 90	約 10	約 20	約 10
	松崎町	約 200	約 70	約 100	約 20	約 10	約 100	約 10	約 30	約 10
	西伊豆町	約 300	約 90	約 200	約 40	約 20	約 200	約 20	約 40	約 40
	(小計)	約 900	約 400	約 700	約 100	約 50	約 700	約 80	約 200	約 100
東部	沼津市	約 500	約 600	約 500	約 100	約 50	約 400	約 90	約 200	約 200
	熱海市	約 40	約 10	約 20	-	-	約 20	-	-	-
	三島市	約 100	約 200	約 100	約 30	約 10	約 100	約 20	約 70	約 40
	富士宮市	約 90	約 200	約 100	約 30	約 10	約 100	約 20	約 70	約 40
	伊東市	約 200	約 90	約 100	約 20	約 10	約 100	約 20	約 40	約 20
	富士市	約 300	約 500	約 400	約 90	約 40	約 300	約 70	約 200	約 200
	御殿場市	約 50	約 100	約 70	約 10	-	約 50	約 10	約 50	約 50
	裾野市	約 20	約 50	約 30	約 10	-	約 20	-	約 20	約 10
	伊豆市	約 100	約 70	約 100	約 20	約 10	約 90	約 20	約 30	約 10
	伊豆の国市	約 100	約 200	約 100	約 20	約 10	約 100	約 20	約 60	約 30
	函南町	約 60	約 90	約 80	約 10	約 10	約 70	約 10	約 40	約 10
	清水町	約 50	約 100	約 70	約 10	-	約 40	約 10	約 40	約 50
	長泉町	約 10	約 30	約 10	-	-	約 10	-	約 10	-
小山町	約 20	約 30	約 30	約 10	-	約 30	-	約 10	約 10	
(小計)	約 1,700	約 2,200	約 1,800	約 400	約 200	約 1,500	約 300	約 900	約 600	
中部	静岡市葵区	約 1,000	約 1,100	約 900	約 200	約 100	約 900	約 200	約 400	約 200
	静岡市駿河区	約 700	約 1,000	約 700	約 200	約 100	約 600	約 100	約 400	約 300
	静岡市清水区	約 900	約 1,100	約 1,000	約 200	約 100	約 1,000	約 200	約 400	約 300
	島田市	約 300	約 500	約 400	約 80	約 40	約 400	約 80	約 200	約 90
	焼津市	約 400	約 900	約 600	約 100	約 60	約 600	約 100	約 400	約 300
	藤枝市	約 300	約 600	約 400	約 100	約 60	約 500	約 100	約 300	約 100
	牧之原市	約 300	約 700	約 600	約 100	約 80	約 600	約 100	約 300	約 300
	吉田町	約 90	約 300	約 200	約 50	約 20	約 100	約 40	約 100	約 200
	川根本町	約 40	約 20	約 40	約 10	-	約 50	約 10	約 10	約 10
(小計)	約 4,000	約 6,100	約 4,900	約 1,000	約 600	約 4,600	約 1,000	約 2,500	約 1,800	
西部	浜松市中区	約 3,000	約 3,500	約 2,800	約 500	約 400	約 2,400	約 500	約 1,400	約 2,500
	浜松市東区	約 800	約 2,000	約 1,300	約 300	約 200	約 1,100	約 200	約 800	約 900
	浜松市西区	約 900	約 2,400	約 1,600	約 300	約 200	約 1,500	約 300	約 1,000	約 800
	浜松市南区	約 900	約 1,700	約 1,300	約 200	約 200	約 1,100	約 200	約 700	約 1,300
	浜松市北区	約 400	約 1,000	約 800	約 200	約 100	約 800	約 200	約 400	約 300
	浜松市浜北区	約 400	約 1,300	約 900	約 200	約 100	約 800	約 200	約 500	約 400
	浜松市天竜区	約 300	約 100	約 200	約 40	約 30	約 300	約 40	約 60	約 60
	磐田市	約 1,000	約 2,400	約 1,600	約 300	約 200	約 1,400	約 300	約 900	約 1,500
	掛川市	約 400	約 1,100	約 700	約 200	約 70	約 800	約 100	約 400	約 600
	袋井市	約 300	約 1,200	約 700	約 200	約 60	約 600	約 100	約 500	約 600
	湖西市	約 500	約 1,000	約 800	約 200	約 70	約 600	約 100	約 400	約 1,000
	御前崎市	約 80	約 200	約 200	約 30	約 20	約 100	約 30	約 80	約 100
	菊川市	約 100	約 400	約 200	約 50	約 20	約 300	約 50	約 200	約 400
	森町	約 100	約 200	約 200	約 50	約 20	約 200	約 30	約 80	約 50
(小計)	約 9,200	約 18,000	約 13,000	約 2,700	約 1,700	約 12,000	約 2,500	約 7,500	約 10,000	

(注) 属性間での重複あり

\* 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XVIII-2.4 1週間後の避難所避難者に占める要援護者数  
(南海トラフ巨大地震(地震動:東側ケース、津波:ケース①))

市町名	65歳以上の 高齢単身者	5歳未満 乳幼児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者 (要支援者を除く)	難病患者	妊産婦	外国人	
県計	約 19,000	約 30,000	約 23,000	約 4,900	約 2,800	約 22,000	約 4,500	約 12,000	約 13,000	
賀茂	下田市	約 400	約 200	約 200	約 40	約 20	約 200	約 30	約 70	約 40
	東伊豆町	約 80	約 30	約 50	約 10	-	約 40	約 10	約 10	約 10
	河津町	約 70	約 50	約 50	約 10	-	約 60	約 10	約 20	-
	南伊豆町	約 100	約 60	約 90	約 10	約 10	約 100	約 10	約 20	約 10
	松崎町	約 200	約 80	約 200	約 20	約 10	約 100	約 10	約 30	約 10
	西伊豆町	約 300	約 100	約 200	約 40	約 20	約 200	約 20	約 40	約 40
	(小計)	約 1,100	約 500	約 800	約 100	約 60	約 800	約 90	約 200	約 100
東部	沼津市	約 900	約 1,000	約 800	約 200	約 90	約 700	約 200	約 400	約 300
	熱海市	約 200	約 30	約 60	約 10	-	約 60	約 10	約 10	約 10
	三島市	約 300	約 300	約 200	約 50	約 20	約 200	約 50	約 100	約 80
	富士宮市	約 300	約 500	約 400	約 90	約 30	約 400	約 80	約 200	約 100
	伊東市	約 300	約 100	約 200	約 30	約 10	約 200	約 20	約 50	約 20
	富士市	約 600	約 1,200	約 900	約 200	約 90	約 800	約 200	約 500	約 400
	御殿場市	約 80	約 200	約 100	約 20	約 10	約 90	約 20	約 80	約 70
	裾野市	約 40	約 100	約 60	約 10	-	約 50	約 10	約 50	約 30
	伊豆市	約 100	約 100	約 100	約 30	約 10	約 100	約 20	約 40	約 20
	伊豆の国市	約 200	約 200	約 200	約 30	約 10	約 200	約 30	約 70	約 40
	函南町	約 90	約 100	約 100	約 20	約 10	約 100	約 20	約 50	約 20
	清水町	約 60	約 100	約 80	約 10	約 10	約 60	約 10	約 50	約 60
	長泉町	約 50	約 100	約 60	約 10	-	約 50	約 10	約 50	約 20
小山町	約 30	約 50	約 40	約 10	-	約 40	約 10	約 20	約 10	
(小計)	約 3,100	約 4,300	約 3,400	約 700	約 300	約 2,900	約 600	約 1,700	約 1,200	
中部	静岡市葵区	約 1,600	約 1,700	約 1,500	約 300	約 200	約 1,500	約 300	約 700	約 400
	静岡市駿河区	約 1,200	約 1,800	約 1,400	約 300	約 200	約 1,200	約 300	約 700	約 500
	静岡市清水区	約 2,400	約 2,700	約 2,500	約 500	約 400	約 2,500	約 500	約 1,100	約 700
	島田市	約 400	約 700	約 500	約 100	約 60	約 500	約 100	約 300	約 100
	焼津市	約 600	約 1,200	約 900	約 200	約 90	約 800	約 200	約 500	約 500
	藤枝市	約 400	約 900	約 600	約 100	約 90	約 600	約 100	約 400	約 200
	牧之原市	約 400	約 900	約 800	約 200	約 100	約 800	約 100	約 400	約 500
	吉田町	約 100	約 500	約 300	約 70	約 40	約 200	約 60	約 200	約 200
	川根本町	約 40	約 20	約 40	約 10	-	約 50	約 10	約 10	約 10
(小計)	約 7,200	約 10,000	約 8,600	約 1,800	約 1,200	約 8,100	約 1,700	約 4,200	約 3,000	
西部	浜松市中区	約 1,900	約 2,300	約 1,800	約 400	約 300	約 1,600	約 300	約 900	約 1,600
	浜松市東区	約 500	約 1,300	約 800	約 200	約 100	約 700	約 200	約 500	約 600
	浜松市西区	約 700	約 1,900	約 1,200	約 200	約 200	約 1,200	約 200	約 800	約 600
	浜松市南区	約 700	約 1,400	約 1,000	約 200	約 100	約 900	約 200	約 500	約 1,000
	浜松市北区	約 200	約 500	約 400	約 90	約 70	約 400	約 90	約 200	約 100
	浜松市浜北区	約 200	約 600	約 400	約 80	約 60	約 400	約 80	約 300	約 200
	浜松市天竜区	約 100	約 70	約 100	約 20	約 10	約 200	約 20	約 30	約 30
	磐田市	約 800	約 1,900	約 1,300	約 300	約 100	約 1,200	約 300	約 800	約 1,300
	掛川市	約 500	約 1,400	約 1,000	約 200	約 90	約 1,000	約 200	約 600	約 700
	袋井市	約 400	約 1,400	約 800	約 200	約 70	約 700	約 100	約 600	約 700
	湖西市	約 400	約 1,000	約 800	約 200	約 70	約 500	約 100	約 400	約 900
	御前崎市	約 200	約 500	約 400	約 70	約 40	約 300	約 70	約 200	約 300
	菊川市	約 200	約 700	約 400	約 80	約 40	約 400	約 80	約 300	約 800
	森町	約 100	約 200	約 200	約 40	約 20	約 200	約 30	約 70	約 40
(小計)	約 7,100	約 15,000	約 11,000	約 2,200	約 1,300	約 9,700	約 2,000	約 6,100	約 8,900	

(注) 属性間での重複あり

\* 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XVIII-2.5 1週間後の避難所避難者に占める要援護者数  
(大正型関東地震)

市町名	65歳以上の 高齢単身者	5歳未満 乳幼児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者 (要支援者を除く)	難病患者	妊産婦	外国人
県計	約 1,800	約 2,100	約 1,600	約 300	約 100	約 1,400	約 300	約 800	約 600
賀茂	下田市	約 10	-	約 10	-	約 10	-	-	-
	東伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-
	河津町	-	-	-	-	-	-	-	-
	南伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-
	松崎町	-	-	-	-	-	-	-	-
	西伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 20	約 10	約 20	-	-	約 20	-	-
東部	沼津市	約 300	約 300	約 300	約 60	約 30	約 200	約 50	約 100
	熱海市	約 500	約 100	約 200	約 30	約 20	約 200	約 30	約 40
	三島市	約 200	約 200	約 100	約 30	約 10	約 100	約 30	約 80
	富士宮市	約 10	約 10	約 10	-	-	約 10	-	約 10
	伊東市	約 200	約 80	約 100	約 20	約 10	約 100	約 10	約 30
	富士市	約 50	約 100	約 70	約 20	約 10	約 70	約 10	約 40
	御殿場市	約 200	約 600	約 300	約 70	約 20	約 300	約 50	約 300
	裾野市	約 40	約 100	約 70	約 20	-	約 50	約 10	約 50
	伊豆市	約 10	約 10	約 10	-	-	約 10	-	-
	伊豆の国市	約 90	約 90	約 80	約 10	約 10	約 80	約 10	約 40
	函南町	約 60	約 80	約 70	約 10	約 10	約 60	約 10	約 30
	清水町	約 30	約 60	約 40	約 10	-	約 20	約 10	約 20
	長泉町	約 20	約 70	約 30	約 10	-	約 30	約 10	約 30
小山町	約 90	約 200	約 100	約 30	約 10	約 100	約 20	約 70	
(小計)	約 1,800	約 2,000	約 1,500	約 300	約 100	約 1,400	約 300	約 800	
中部	静岡市葵区	-	-	-	-	-	-	-	-
	静岡市駿河区	-	-	-	-	-	-	-	-
	静岡市清水区	約 10	約 10	約 10	-	-	約 10	-	-
	島田市	-	-	-	-	-	-	-	-
	焼津市	-	-	-	-	-	-	-	-
	藤枝市	-	-	-	-	-	-	-	-
	牧之原市	-	-	-	-	-	-	-	-
	吉田町	-	-	-	-	-	-	-	-
	川根本町	-	-	-	-	-	-	-	-
(小計)	約 10	約 20	約 10	-	-	約 10	-	約 10	
西部	浜松市中区	-	-	-	-	-	-	-	-
	浜松市東区	-	-	-	-	-	-	-	-
	浜松市西区	-	-	-	-	-	-	-	-
	浜松市南区	-	-	-	-	-	-	-	-
	浜松市北区	-	-	-	-	-	-	-	-
	浜松市浜北区	-	-	-	-	-	-	-	-
	浜松市天竜区	-	-	-	-	-	-	-	-
	磐田市	-	-	-	-	-	-	-	-
	掛川市	-	-	-	-	-	-	-	-
	袋井市	-	-	-	-	-	-	-	-
	湖西市	-	-	-	-	-	-	-	-
	御前崎市	-	-	-	-	-	-	-	-
	菊川市	-	-	-	-	-	-	-	-
	森町	-	-	-	-	-	-	-	-
(小計)	-	-	-	-	-	-	-	-	

(注) 属性間での重複あり

\* 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 XVIII-2.6 1週間後の避難所避難者に占める要援護者数  
(元禄型関東地震)

市町名	65歳以上の 高齢単身者	5歳未満 乳幼児	身体障害者	知的障害者	精神障害者	要介護認定者 (要支援者を除く)	難病患者	妊産婦	外国人	
県計	約 2,900	約 3,200	約 2,500	約 500	約 200	約 2,200	約 400	約 1,300	約 900	
賀茂	下田市	約 30	約 20	約 20	-	約 20	-	約 10	-	
	東伊豆町	約 10	-	約 10	-	約 10	-	-	-	
	河津町	約 10	-	約 10	-	約 10	-	-	-	
	南伊豆町	約 10	約 10	約 10	-	約 10	-	-	-	
	松崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	
	西伊豆町	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(小計)	約 70	約 30	約 50	約 10	-	約 50	約 10	約 10	
東部	沼津市	約 400	約 500	約 400	約 90	約 40	約 300	約 70	約 200	約 200
	熱海市	約 800	約 200	約 300	約 40	約 20	約 300	約 40	約 60	約 40
	三島市	約 300	約 300	約 200	約 60	約 20	約 200	約 50	約 100	約 80
	富士宮市	約 20	約 30	約 30	約 10	-	約 20	-	約 10	約 10
	伊東市	約 400	約 200	約 200	約 40	約 20	約 200	約 30	約 80	約 30
	富士市	約 100	約 200	約 100	約 30	約 10	約 100	約 30	約 80	約 70
	御殿場市	約 300	約 800	約 400	約 90	約 30	約 300	約 70	約 300	約 300
	裾野市	約 80	約 200	約 100	約 30	約 10	約 90	約 20	約 90	約 60
	伊豆市	約 30	約 20	約 30	約 10	-	約 20	-	約 10	-
	伊豆の国市	約 100	約 100	約 100	約 20	約 10	約 100	約 20	約 50	約 20
	函南町	約 60	約 90	約 80	約 10	約 10	約 70	約 10	約 40	約 10
	清水町	約 40	約 80	約 50	約 10	-	約 40	約 10	約 30	約 40
	長泉町	約 50	約 100	約 60	約 10	-	約 50	約 10	約 60	約 20
	小山町	約 100	約 200	約 200	約 30	約 10	約 200	約 20	約 90	約 40
(小計)	約 2,700	約 3,100	約 2,400	約 500	約 200	約 2,100	約 400	約 1,200	約 800	
中部	静岡市葵区	約 30	約 30	約 20	-	-	約 20	-	約 10	約 10
	静岡市駿河区	約 20	約 30	約 20	-	-	約 20	-	約 10	約 10
	静岡市清水区	約 40	約 50	約 40	約 10	約 10	約 40	約 10	約 20	約 10
	島田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	焼津市	-	約 10	約 10	-	-	約 10	-	-	-
	藤枝市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	牧之原市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	吉田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川根本町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(小計)	約 90	約 100	約 100	約 20	約 10	約 90	約 20	約 50	約 30	
西部	浜松市中区	-	-	-	-	-	-	-	-	
	浜松市東区	-	-	-	-	-	-	-	-	
	浜松市西区	-	-	-	-	-	-	-	-	
	浜松市南区	-	-	-	-	-	-	-	-	
	浜松市北区	-	-	-	-	-	-	-	-	
	浜松市浜北区	-	-	-	-	-	-	-	-	
	浜松市天竜区	-	-	-	-	-	-	-	-	
	磐田市	-	-	-	-	-	-	-	-	
	掛川市	-	-	-	-	-	-	-	-	
	袋井市	-	-	-	-	-	-	-	-	
	湖西市	-	-	-	-	-	-	-	-	
	御前崎市	-	-	-	-	-	-	-	-	
	菊川市	-	-	-	-	-	-	-	-	
	森町	-	-	-	-	-	-	-	-	
(小計)	-	-	-	-	-	-	-	-		

(注) 属性間での重複あり

\* 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## XIX PTSD・災害関連死

### XIX-1. PTSD・災害関連死に係る想定手法

過去の災害事例において、避難所等における普段と異なる環境下での生活が長期化することにより、疲労、睡眠不足、ストレス、栄養不良、寒さなどによる体力低下、衰弱、肺炎・インフルエンザ・心疾患等の罹病、持病の悪化等による「関連死」が発生している。

- ・阪神・淡路大震災における兵庫県の死者数は 6,402 人であり、直接死が 5,483 人（85.65%）、関連死が 919 人（14.35%）と発表している（兵庫県（2005））。
- ・新潟県中越地震では死者 68 人中、52 人（全体の 76.5%）が関連死として認められた。また、新潟県中越沖地震では死者 15 人中、関連死は 4 人（全体の 26.7%）であった。

また、避難所での集団生活に伴うストレス、怪我や病気が長引くことによる不安、肉親を失ったことによるショック、財産を失ったことによるショック、今後の生活設計の不安などによって、心的外傷後ストレス障害（PTSD）になる人が多く発生している。こうした PTSD のような精神的な不安等も、関連死につながる一因である。

東日本大震災における災害関連死の死者数 1,632 人であり、全体死者数 19,272 人（平成 24 年 3 月 11 日現在、消防庁発表）の約 8.5%に相当する。

表 XIX-1.1 東日本大震災における災害関連死の死者数  
（平成 24 年 3 月 31 日現在）

都道府県	災害関連死の死者数
岩手県	193
宮城県	636
福島県	761
茨城県	32
その他*	10
合計	1,632

※その他：山形県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県

注 1 平成 24 年 3 月 31 日までに把握できた数

注 2 数値の精査の結果、平成 24 年 4 月 27 日に公表した「東日本大震災における災害関連死の死者数（速報値）」から、一部の県で数値の変動がある。

注 3 本調査は、各都道府県を通じて市区町村に照会し、回答を得たもの。

注 4 「災害関連死の死者」とは、「東日本大震災による負傷の悪化等により亡くなられた方で、災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、当該災害弔慰金の支給対象となった方」と定義（実際には支給されていない方も含む）

（出典）復興庁（2012）

生活環境の確保とともに精神的なケアも災害後の重要な対応要件であり、事前に被害と対応について想定し、対応を検討しておくことが望ましい。

よって、過去の災害事例等を踏まえ、PTSD・災害関連死につながる被害様相等を定性的に整理する。なお、整理した結果については人的被害シナリオ、医療・救命救助シナリオ等、関連する定性シナリオに適宜記載する。

#### ①避難所等の劣悪な生活環境による心身の健康被害

- ・車中避難のように狭い場所で生活を続けた結果、静脈血栓塞栓症（エコノミークラス症候群）を発症し死亡する。
- ・高齢者等が、トイレに行く回数を減らすために水分を取らず、脱水症状等により死亡する。
- ・多数の避難者が共同生活を送る中で、インフルエンザが蔓延し、重症化して死亡する。
- ・避難所生活等の強いストレスから、災害前からの慢性的な疾患が悪化して死亡する。

#### ②津波による低体温症

- ・津波に巻き込まれ、水に濡れた状態で低体温症となり死亡する。

③猛暑による熱中症

- ・真夏の避難所での生活や、炎天下での救助・救出、がれき撤去等の作業中に熱中症となり死亡する。
- ・多数の避難者が共同生活を送る中で、インフルエンザが蔓延し、重症化して死亡する。
- ・避難所生活等の強いストレスから、災害前からの慢性的な疾患が悪化して死亡する。

④日常的な治療が困難となることによる死亡

- ・人工心臓や生命維持装置等の電気を必要とする医療器具が、停電により停止し死亡する。
- ・人工呼吸器用の酸素ボンベが備蓄されていないため、吸引患者が死亡する。
- ・病院が被災した上、停電・断水等ライフラインの途絶が継続し、人工透析を受けられなかった患者が死亡する。
- ・生活不活発等により心臓麻痺等の疾患を発症し、十分な治療が受けられず避難者が死亡する。

⑤遠距離の避難・移動中における死亡

- ・津波の浸水地域や、ライフラインが途絶した地域では、病院等の入院患者や施設入所者、寝たきりの高齢者等が、十分なケアが受けられないため、長距離の避難を迫られるが、バス等による長時間の移動中に体調が悪化し死亡する。

⑥家族の死亡や収入の不安等からの精神的ストレスに伴う疾患や自殺等

- ・家族を失ったり仕事を失う等、大きな精神的ストレスから、アルコール摂取量が増え健康を害したり、悲観的になり自殺を図る等により死亡する。

⑦災害対応業務に伴う精神的ストレス

- ・行政職員やボランティア、避難所運営にあたった住民等が、過酷な災害対応業務により過労死または精神的ストレスにより自殺を図って死亡する。

## XIX－ 2. PTSD・災害関連死の想定結果

- ・時系列シナリオに反映（→被害・対応シナリオ）



## XX ターミナル駅・大規模集客施設等の被害

### XX-1. ターミナル駅・大規模集客施設等の被害に係る想定手法

東日本大震災の事例等を基に、大規模地震発生後のターミナル駅や大規模集客施設等における被害の様相を定性的に整理する。ここでは、主に以下の大規模集客施設等において特筆すべき人的・物的被害およびその対応について検討する。

なお、整理結果については、関連する被害・対応シナリオに記載する。

- －百貨店等（大規模集客施設）
- －ターミナル駅
- －地下街

### XX-2. ターミナル駅・大規模集客施設等の被害想定結果

・定性シナリオ

項目	具体的な被害様相
揺れによる構造物被害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 強い揺れにより建物が全半壊する。</li> <li>・ 建物に大きな損傷が発生しなかった場合でも、地盤の液状化によるライフライン機能の喪失により、中長期にわたって利用できなくなる施設が発生する。</li> </ul>
揺れによる非構造部材の被害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天井のパネル等が落下する。</li> <li>・ 壁面、ガラス等が落下する。</li> </ul>
構造物及び非構造部材の被害による人的被害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物の全半壊、非構造部材の落下等に伴い、利用者が死傷する。</li> </ul>
津波による建物被害（浸水）、機能支障	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 津波により地下街が浸水した場合、中長期にわたる機能支障となり、営業が停止する。</li> <li>・ 地上部のターミナル駅等においても、非常用発電機や燃料タンク等が地下階や地上の低層階に設置されている場合には、浸水によってそれらが使用できなくなるため、停電状況下では施設運営が困難となる。</li> <li>・ 地下階や地上の低層棟の利用者に対し、津波警報等の伝達や避難誘導が遅れた場合、利用者が逃げ遅れ、多くの人的被害が発生する。</li> </ul>
停電、水漏れ、ガス漏洩、火災等の発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設内において、停電、水漏れ、ガス漏洩、火災等が発生する。</li> <li>・ 地下街の場合、一度停電になれば、昼間であっても採光が困難であり、大きな機能支障となる。</li> <li>・ 火災によるスプリンクラー稼働により、店舗の商品等が被害を受ける。</li> <li>・ ガス漏洩や発生した火災への初期対応が遅れ、ガス爆発や大規模火災へと拡大した場合には、多くの人的被害が発生する。</li> </ul>
利用者等の滞留、混乱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ターミナル駅や利用客の多い駅には周辺地区から利用者が押し寄せる。また、停止した交通機関の乗客が降車することで多数の滞留者が発生する。</li> <li>・ 多くの利用者が滞留した状況下において、停電や火災の発生、情報提供の遅れなど複数の条件が重なることにより、利用者の中で混乱、パニックが発生する。</li> <li>・ 高層ビル等に居合わせた場合の方が、心理面でパニックが助長されやすい。</li> <li>・ 混雑状況が激しい場合、集団の中で転倒などが引き起こされ、人的被害が発生する。</li> </ul>

## 〔参考〕東日本大震災における首都圏での大規模ターミナルでの帰宅困難者の状況

- ・羽田空港 第1・第2ターミナルの10,300人、国際線ターミナルの4,300人について帰宅等が不可能な状態。(国土交通省12日2:04)
- ・成田空港 第1ターミナルの5,270人、第2ターミナルの3,200人について帰宅等が不可能な状態。
- ・新宿駅 西口約5,000人、地下街約3,000人、南口約1,500人、計約9,500人が滞留(警察庁11日21:05) →通常(警察庁11日22:00)
- ・池袋駅 約3,000人滞留(警察庁11日21:00) →通常(警察庁11日22:00)
- ・大宮駅 約2,000人滞留(警察庁11日21:00) →通常(警察庁11日22:00)
- ・横浜駅 周辺半径200メートルの範囲に約6,000人が滞留するも、パシフィコ横浜及び横浜アリーナを避難場所として開放した結果、当該避難場所に移動しつつある状況。混乱等はない。(警察庁11日21:15) →通常(警察庁12日3:48)

出典：政府緊急災害対策本部会議(平成23年3月12日)資料

## XXI 文化財被害想定

### XXI-1. 文化財被害に係る想定手法

重要文化財（建造物）及び登録博物館の位置データに、想定津波浸水域図及び震度6強以上のメッシュ、焼失可能性の高いメッシュを重ね合わせ、当該メッシュに所在する重要文化財（建造物）及び登録博物館の数を被害数とする。

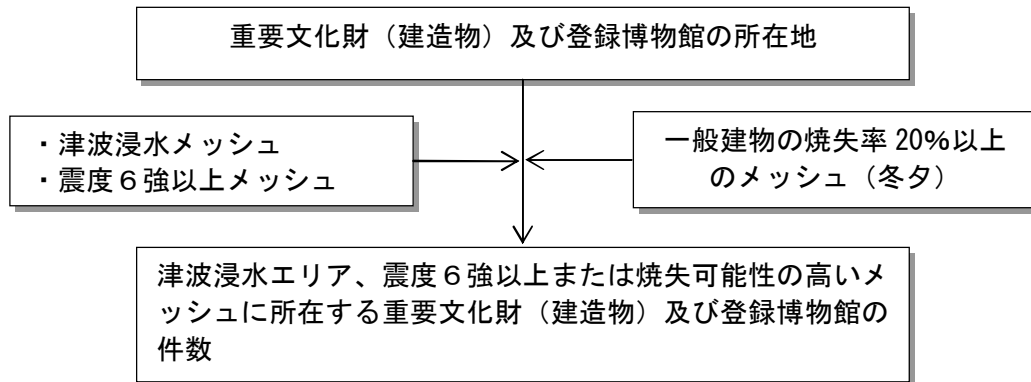


図 XXI-1.1 文化財被害の想定フロー

## XXI-2. 文化財被害想定結果

被災する可能性のある市区町別の重要文化財及び登録博物館の件数は次表のとおりである。

表 XXI-2.1 被災可能性のある重要文化財及び登録博物館（件）  
（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）

市町名		総数	要因別内訳		
			地震動	火災	津波
県計		262	259	44	11
賀茂	下田市	2	0	0	2
	東伊豆町	0	0	0	0
	河津町	0	0	0	0
	南伊豆町	0	0	0	0
	松崎町	1	1	0	0
	西伊豆町	0	0	0	0
	(小計)	3	1	0	2
	東部	沼津市	9	8	0
熱海市		0	0	0	0
三島市		0	0	0	0
富士宮市		0	0	0	0
伊東市		0	0	0	0
富士市		0	0	0	0
御殿場市		0	0	0	0
裾野市		0	0	0	0
伊豆市		0	0	0	0
伊豆の国市		0	0	0	0
函南町		0	0	0	0
清水町		0	0	0	0
長泉町		0	0	0	0
小山町		0	0	0	0
(小計)		9	8	0	9
中部	静岡市葵区	34	34	23	0
	静岡市駿河区	19	19	0	0
	静岡市清水区	18	18	2	0
	島田市	13	13	0	0
	焼津市	14	14	3	0
	藤枝市	9	9	0	0
	牧之原市	15	15	2	0
	吉田町	1	1	0	0
	川根本町	0	0	0	0
	(小計)	123	123	30	0
	西部	浜松市中区	8	8	3
浜松市東区		1	1	0	0
浜松市西区		6	6	2	0
浜松市南区		0	0	0	0
浜松市北区		2	2	0	0
浜松市浜北区		2	2	2	0
浜松市天竜区		0	0	0	0
磐田市		18	18	1	0
掛川市		23	23	1	0
袋井市		15	15	0	0
湖西市		15	15	3	0
御前崎市		7	7	0	0
菊川市		10	10	0	0
森町		20	20	2	0
(小計)	127	127	14	0	

(注1) 国・県・市町指定の重要文化財(建造物)及び登録博物館を対象とする。

(注2) 冬夕発災、風速 5m/sの場合 (注3) 要因間の重複あり

(注4) 市町別の数値は、ある程度幅をもって見る必要がある。

表 XXI-2.2 被災可能性のある重要文化財及び登録博物館（件）  
（南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①））

市町名	総数	要因別内訳			
		地震動	火災	津波	
県計	265	259	44	30	
賀茂	下田市	2	0	0	2
	東伊豆町	0	0	0	0
	河津町	0	0	0	0
	南伊豆町	0	0	0	0
	松崎町	1	1	0	1
	西伊豆町	1	0	0	1
	(小計)	4	1	0	4
東部	沼津市	10	8	0	10
	熱海市	0	0	0	0
	三島市	0	0	0	0
	富士宮市	0	0	0	0
	伊東市	1	0	0	1
	富士市	0	0	0	0
	御殿場市	0	0	0	0
	裾野市	0	0	0	0
	伊豆市	0	0	0	0
	伊豆の国市	0	0	0	0
	函南町	0	0	0	0
	清水町	0	0	0	0
	長泉町	0	0	0	0
	小山町	0	0	0	0
(小計)	11	8	0	11	
中部	静岡市葵区	34	34	23	0
	静岡市駿河区	19	19	0	0
	静岡市清水区	18	18	2	3
	島田市	13	13	0	0
	焼津市	14	14	3	1
	藤枝市	9	9	0	0
	牧之原市	15	15	2	6
	吉田町	1	1	0	1
	川根本町	0	0	0	0
	(小計)	123	123	30	11
西部	浜松市中区	8	8	3	0
	浜松市東区	1	1	0	0
	浜松市西区	6	6	2	2
	浜松市南区	0	0	0	0
	浜松市北区	2	2	0	0
	浜松市浜北区	2	2	2	0
	浜松市天竜区	0	0	0	0
	磐田市	18	18	1	0
	掛川市	23	23	1	0
	袋井市	15	15	0	0
	湖西市	15	15	3	2
	御前崎市	7	7	0	0
	菊川市	10	10	0	0
	森町	20	20	2	0
(小計)	127	127	14	4	

(注1) 国・県・市町指定の重要文化財(建造物)及び登録博物館を対象とする。

(注2) 冬夕発災、風速 5m/sの場合 (注3) 要因間の重複あり

(注4) 市町別の数値は、ある程度幅をもって見る必要がある。

表 XXI-2.3 被災可能性のある重要文化財及び登録博物館（件）  
（南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①））

市町名	総数	要因別内訳			
		地震動	火災	津波	
県計	208	172	37	30	
賀茂	下田市	2	0	0	2
	東伊豆町	0	0	0	0
	河津町	0	0	0	0
	南伊豆町	0	0	0	0
	松崎町	1	0	0	1
	西伊豆町	1	0	0	1
	(小計)	4	0	0	4
	東部	沼津市	10	0	0
熱海市		0	0	0	0
三島市		0	0	0	0
富士宮市		0	0	0	0
伊東市		1	0	0	1
富士市		0	0	0	0
御殿場市		0	0	0	0
裾野市		0	0	0	0
伊豆市		0	0	0	0
伊豆の国市		0	0	0	0
函南町		0	0	0	0
清水町		0	0	0	0
長泉町		0	0	0	0
小山町		0	0	0	0
(小計)		11	0	0	11
中部	静岡市葵区	19	4	15	0
	静岡市駿河区	0	0	0	0
	静岡市清水区	4	1	0	3
	島田市	4	4	0	0
	焼津市	6	6	0	1
	藤枝市	2	2	0	0
	牧之原市	13	11	1	6
	吉田町	1	0	0	1
	川根本町	0	0	0	0
	(小計)	49	28	16	11
西部	浜松市中区	8	8	6	0
	浜松市東区	1	1	0	0
	浜松市西区	6	6	4	2
	浜松市南区	0	0	0	0
	浜松市北区	12	12	0	0
	浜松市浜北区	3	3	2	0
	浜松市天竜区	6	6	0	0
	磐田市	18	18	3	0
	掛川市	25	25	1	0
	袋井市	15	15	0	0
	湖西市	15	15	3	2
	御前崎市	5	5	0	0
	菊川市	10	10	0	0
	森町	20	20	2	0
(小計)	144	144	21	4	

(注1) 国・県・市町指定の重要文化財(建造物)及び登録博物館を対象とする。

(注2) 冬夕発災、風速5m/sの場合 (注3) 要因間の重複あり

(注4) 市町別の数値は、ある程度幅をもって見る必要がある。

表 XXI-2.4 被災可能性のある重要文化財及び登録博物館（件）  
（南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①））

市町名	総数	要因別内訳			
		地震動	火災	津波	
県計	293	288	44	30	
賀茂	下田市	2	0	0	2
	東伊豆町	0	0	0	0
	河津町	0	0	0	0
	南伊豆町	0	0	0	0
	松崎町	2	2	0	1
	西伊豆町	1	1	0	1
	(小計)	5	3	0	4
	東部	沼津市	11	9	0
熱海市		0	0	0	0
三島市		0	0	0	0
富士宮市		5	5	0	0
伊東市		1	0	0	1
富士市		12	12	0	0
御殿場市		0	0	0	0
裾野市		0	0	0	0
伊豆市		0	0	0	0
伊豆の国市		0	0	0	0
函南町		0	0	0	0
清水町		0	0	0	0
長泉町		0	0	0	0
小山町		0	0	0	0
(小計)		29	26	0	11
中部	静岡市葵区	34	34	19	0
	静岡市駿河区	19	19	0	0
	静岡市清水区	19	19	2	3
	島田市	13	13	0	0
	焼津市	14	14	1	1
	藤枝市	6	6	0	0
	牧之原市	15	15	4	6
	吉田町	1	1	0	1
	川根本町	0	0	0	0
	(小計)	121	121	26	11
西部	浜松市中区	8	8	3	0
	浜松市東区	1	1	0	0
	浜松市西区	6	6	4	2
	浜松市南区	0	0	0	0
	浜松市北区	10	10	0	0
	浜松市浜北区	2	2	2	0
	浜松市天竜区	0	0	0	0
	磐田市	18	18	1	0
	掛川市	25	25	1	0
	袋井市	15	15	0	0
	湖西市	15	15	3	2
	御前崎市	8	8	0	0
	菊川市	10	10	0	0
	森町	20	20	4	0
(小計)	138	138	18	4	

(注 1) 国・県・市町指定の重要文化財(建造物)及び登録博物館を対象とする。

(注 2) 冬夕発災、風速 5m/s の場合 (注 3) 要因間の重複あり

(注 4) 市町別の数値は、ある程度幅をもって見る必要がある。

表 XXI-2.5 被災可能性のある重要文化財及び登録博物館（件）  
（大正型関東地震）

市町名	総数	要因別内訳		
		地震動	火災	津波
県計	18	17	0	1
賀茂	下田市	0	0	0
	東伊豆町	0	0	0
	河津町	0	0	0
	南伊豆町	0	0	0
	松崎町	0	0	0
	西伊豆町	0	0	0
	(小計)	0	0	0
	東部	沼津市	0	0
熱海市		4	4	0
三島市		3	3	0
富士宮市		0	0	0
伊東市		1	0	0
富士市		0	0	0
御殿場市		2	2	0
裾野市		2	2	0
伊豆市		0	0	0
伊豆の国市		0	0	0
函南町		0	0	0
清水町		0	0	0
長泉町		0	0	0
小山町		6	6	0
(小計)		18	17	0
中部	静岡市葵区	0	0	0
	静岡市駿河区	0	0	0
	静岡市清水区	0	0	0
	島田市	0	0	0
	焼津市	0	0	0
	藤枝市	0	0	0
	牧之原市	0	0	0
	吉田町	0	0	0
	川根本町	0	0	0
	(小計)	0	0	0
西部	浜松市中区	0	0	0
	浜松市東区	0	0	0
	浜松市西区	0	0	0
	浜松市南区	0	0	0
	浜松市北区	0	0	0
	浜松市浜北区	0	0	0
	浜松市天竜区	0	0	0
	磐田市	0	0	0
	掛川市	0	0	0
	袋井市	0	0	0
	湖西市	0	0	0
	御前崎市	0	0	0
	菊川市	0	0	0
	森町	0	0	0
(小計)	0	0	0	

(注1) 国・県・市町指定の重要文化財(建造物)及び登録博物館を対象とする。

(注2) 冬夕発災、風速5m/sの場合 (注3) 要因間の重複あり

(注4) 市町別の数値は、ある程度幅をもって見る必要がある。



表 XXI-2.6 被災可能性のある重要文化財及び登録博物館（件）  
（元禄型関東地震）

市町名	総数	要因別内訳			
		地震動	火災	津波	
県計	28	23	0	5	
賀茂	下田市	2	0	0	2
	東伊豆町	0	0	0	0
	河津町	0	0	0	0
	南伊豆町	0	0	0	0
	松崎町	0	0	0	0
	西伊豆町	0	0	0	0
	(小計)	2	0	0	2
	東部	沼津市	0	0	0
熱海市		4	4	0	0
三島市		0	0	0	0
富士宮市		0	0	0	0
伊東市		4	2	0	2
富士市		0	0	0	0
御殿場市		3	3	0	0
裾野市		2	2	0	0
伊豆市		0	0	0	0
伊豆の国市		4	4	0	0
函南町		0	0	0	0
清水町		0	0	0	0
長泉町		3	3	0	0
小山町		5	5	0	0
(小計)		25	23	0	2
中部	静岡市葵区	0	0	0	0
	静岡市駿河区	0	0	0	0
	静岡市清水区	1	0	0	1
	島田市	0	0	0	0
	焼津市	0	0	0	0
	藤枝市	0	0	0	0
	牧之原市	0	0	0	0
	吉田町	0	0	0	0
	川根本町	0	0	0	0
	(小計)	1	0	0	1
西部	浜松市中区	0	0	0	0
	浜松市東区	0	0	0	0
	浜松市西区	0	0	0	0
	浜松市南区	0	0	0	0
	浜松市北区	0	0	0	0
	浜松市浜北区	0	0	0	0
	浜松市天竜区	0	0	0	0
	磐田市	0	0	0	0
	掛川市	0	0	0	0
	袋井市	0	0	0	0
	湖西市	0	0	0	0
	御前崎市	0	0	0	0
	菊川市	0	0	0	0
	森町	0	0	0	0
	(小計)	0	0	0	0

(注1) 国・県・市町指定の重要文化財(建造物)及び登録博物館を対象とする。

(注2) 冬夕発災、風速 5m/sの場合 (注3) 要因間の重複あり

(注4) 市町別の数値は、ある程度幅をもって見る必要がある。

## XXII 孤立集落の発生に係る被害想定

### XXII-1. 孤立集落の発生に係る被害想定手法

- ・大規模地震災害発生時に、陸上からのアクセス経路の寸断によって孤立する可能性の高い集落数を算出する。
- ・内閣府（2010）において孤立に至る条件を考慮して孤立可能性があると考えられた集落と、震度分布図（震度6強以上）及び想定津波浸水域図（浸水あり）とを重ね合わせ、孤立集落数を算出する。

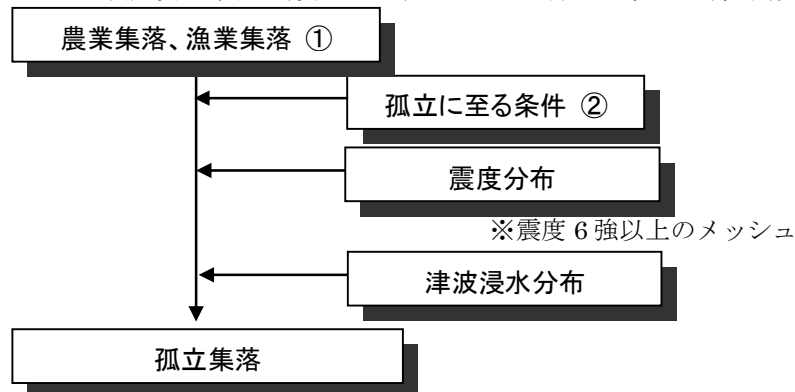


図 XXII-1.1 孤立集落の発生件数想定フロー

#### ①被害想定の対象

- ・農林業センサス、漁業センサスの調査対象集落をもとに、内閣府（2010）において孤立可能性があると考えられた集落を被害想定の対象とする。

#### ②孤立に至る条件

- ・次の条件に当てはまるものを孤立する可能性のある集落とする。
  - －集落への全てのアクセス道路が土砂災害危険箇所等に隣接しているため、地震に伴う土砂災害等の要因により道路交通が途絶し外部からのアクセスが困難となるおそれのある集落
  - －船舶の停泊施設がある場合は、地震または津波により当該施設が使用不可能となり、海上交通についても途絶するおそれのある集落

### XXII-2. 孤立集落の発生に係る被害想定結果

孤立集落数は次表のとおりである。

本想定では、内閣府（2010）の調査で「孤立可能性があると考えられた集落」に対して、その代表地点が震度6強以上あるいは津波浸水ありと判定された場合に孤立集落としている。しかし、例えば山間部にある集落自体が強震動や津波に見舞われなくても、市町の中心市街地が津波で大被害を受けたり、集落へのアクセス道路が土砂災害や津波などで被害を受けたりしている場合などが考えられ、実際には次ページ以降の想定結果以上に孤立集落が発生する可能性があることに留意する必要がある。

なお、表中の地震ケースの略称は次の定義のとおりである。

南海 L1	駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル1の地震・津波（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震）
南海 L2（基本）	駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震（地震動：基本ケース、津波：ケース①））
南海 L2（陸側）	駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波：ケース①））
南海 L2（東側）	駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生するレベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震（地震動：東側ケース、津波：ケース①））
相模 L1	相模トラフ沿いで発生するレベル1の地震・津波（大正型関東地震）
相模 L2	相模トラフ沿いで発生するレベル2の地震・津波（元禄型関東地震）

表 XXII-2.1 孤立可能性のある集落数

市町名	南海L1	南海L2			相模L1	相模L2	
		(基本)	(陸側)	(東側)			
県計	84	96	85	91	26	35	
賀茂	下田市	0	0	0	0	0	
	東伊豆町	0	0	0	0	0	
	河津町	0	0	0	0	0	
	南伊豆町	1	8	8	8	0	2
	松崎町	0	3	3	3	0	0
	西伊豆町	0	0	0	0	0	0
	(小計)	1	11	11	11	0	2
東部	沼津市	6	7	7	13	1	2
	熱海市	0	0	0	0	10	12
	三島市	0	0	0	0	1	2
	富士宮市	1	1	0	1	0	0
	伊東市	0	1	1	1	1	7
	富士市	2	2	0	7	0	0
	御殿場市	0	0	0	0	0	0
	裾野市	0	0	0	0	2	2
	伊豆市	0	0	0	3	0	0
	伊豆の国市	0	0	0	0	3	0
	函南町	0	0	0	0	0	0
	清水町	0	0	0	0	0	0
	長泉町	0	0	0	0	0	0
	小山町	0	0	0	0	8	8
(小計)	9	11	8	25	26	33	
中部	静岡市葵区	12	12	0	2	0	0
	静岡市駿河区	1	1	0	1	0	0
	静岡市清水区	9	9	0	10	0	0
	島田市	14	14	7	6	0	0
	焼津市	4	4	2	4	0	0
	藤枝市	11	11	1	1	0	0
	牧之原市	0	0	0	0	0	0
	吉田町	0	0	0	0	0	0
	川根本町	0	0	1	1	0	0
	(小計)	51	51	11	25	0	0
西部	浜松市中区	0	0	0	0	0	0
	浜松市東区	0	0	0	0	0	0
	浜松市西区	0	0	0	0	0	0
	浜松市南区	0	0	0	0	0	0
	浜松市北区	0	0	0	0	0	0
	浜松市浜北区	0	0	0	0	0	0
	浜松市天竜区	0	0	26	1	0	0
	磐田市	2	2	3	3	0	0
	掛川市	7	7	7	7	0	0
	袋井市	0	0	0	0	0	0
	湖西市	0	0	0	0	0	0
	御前崎市	0	0	0	0	0	0
	菊川市	0	0	0	0	0	0
	森町	14	14	19	19	0	0
(小計)	23	23	55	30	0	0	

(注)市町別の数値は、ある程度幅をもって見る必要がある。

## XXIII 富士山噴火が連続した場合の支障想定

### XXIII-1. 富士山噴火が連続した場合の想定手法

過去の火山災害の検討事例（内閣府火山広域防災対策検討会資料等）を参考に、大規模地震と富士山噴火が連続して発生した場合の定性的な被害・対応シナリオを作成する。

地震による火山災害対応への制約、火山噴火による地震災害対応への制約の両面についても整理する。

大規模地震と富士山噴火が連続して発生した場合、行政機関は、火山活動の状況や住民等の行動状況に応じて対応する必要がある。そこで、噴火警戒レベルの各段階に応じて被害シナリオを検討し、想定される留意点を整理する。

#### ①噴火警戒レベル1～4

- ・ 停電や通信途絶による各種情報伝達の遅れ
- ・ 道路被害等による避難実施の遅れ
- ・ 立ち入り禁止区域内の地域の被害把握及び救助遅れ

#### ②噴火警戒レベル5

- ・ 火口把握のヘリコプターの飛行困難
- ・ 隣接市町村への避難、災害対策本部の移転、市町役場機能の移転を強いられる可能性
- ・ 降灰による公共交通機関の運行停止
- ・ 降灰による周辺地域の飲料水や飲食物への影響にともない生活物資が不足

#### ③噴火警戒レベル5（中長期に及ぶ場合）

- ・ 地震被害にあったインフラ、ライフラインの復旧遅れによる火山災害の復旧活動遅れ
- ・ 中長期にわたる立ち入り禁止区域の復旧・復興の困難

#### ④噴火警戒レベル5→4以下（復興対応）

- ・ 避難継続
- ・ 一部避難者の帰宅

### XXIII-2. 富士山噴火が連続した場合の想定結果

- ・ 時系列シナリオを作成（→被害・対応シナリオ）

## XXIV 原子力災害が重複した場合の支障想定

### XXIV-1. 原子力災害が重複した場合の想定手法

東日本大震災や過去の検討事例を参考に地震と原子力災害が重複した場合の定性的な被害・対応シナリオを作成する。

なお、原子力災害への対応については、国において検討がなされている段階であり、原子力規制委員会の原子力災害対策指針の内容も踏まえる。

地震による原子力災害対応への制約、原子力災害による地震災害対応への制約の両面についても整理する。

原子力災害が重複した場合の支障（被害・影響）と対応については、以下の①～③が注意すべき事態としてあげられ、その際に懸念される事項、対応すべき事項としては以下があげられる。

#### ①原子力緊急事態

停電や通信途絶による各種情報伝達の遅れ、道路被害等による避難実施の遅れ

P A Z もしくはU P Z 内の被害把握及び救助遅れ、活動要員の放射線防護

#### ②放射性物質大量放出

各エリアにおける避難、屋内退避等の継続、一時移転、飲食物摂取制限、出荷制限の実施

建物倒壊による避難者の受け入れ先避難所の不足

放射性物質による周辺地域の飲料水や飲食物への影響に伴い生活物資が不足

#### ③放出停止後

地震被害にあったインフラ、ライフラインの復旧遅れによる原子力災害の復旧活動遅れ

中長期にわたる汚染区域（立ち入り禁止区域）の復旧・復興の困難

### XXIV-2. 原子力災害が重複した場合の想定結果

- ・時系列シナリオを作成（→被害・対応シナリオ）

## 指導、助言等をいただいた専門家

本想定の実施に当たり、静岡県防災・原子力学術会議地震・火山対策分科会及び津波対策分科会の御指導・御助言をいただいた。(氏名は五十音順、所属等は平成25年5月現在)

### (静岡県防災・原子力学術会議)

顧問 有馬 朗人 静岡文化芸術大学理事長  
会長 松井 孝典 千葉工業大学惑星探査研究センター所長

### (地震・火山対策分科会)

分科会会長 藤井 敏嗣 (特) 環境防災総合政策研究機構専務理事  
委員 浅岡 顕 (財) 地震予知総合研究振興会副主席主任研究員  
家田 仁 東京大学工学部社会基盤学科・教授  
石原 和弘 京都大学名誉教授  
小長井一男 横浜国立大学都市イノベーション研究院・教授  
小山 真人 静岡大学教育学部・教授  
福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター長・教授  
増田 俊明 静岡大学理学部長・教授

### (津波対策分科会)

分科会会長 今村 文彦 東北大学災害科学国際研究所副所長・教授  
委員 阿部 郁男 常葉大学社会・環境学部准教授  
片田 敏孝 群馬大学大学院工学研究科教授  
後藤 和久 東北大学災害科学国際研究所准教授  
田中 淳 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター長・教授  
中埜 良昭 東京大学生産研究所長・教授  
原田 賢治 静岡大学防災総合センター准教授  
水谷 法美 名古屋大学大学院工学研究科・工学部社会基盤工学専攻教授  
山本 吉道 東海大学工学部土木工学科教授

また、次の方々からも御指導・御助言をいただいた。

北村 晃寿 静岡大学理学部教授  
都司 嘉宣 (財) 深田地質研究所客員研究員  
行谷 佑一 (独) 産業技術総合研究所 活断層・地震研究センター主任研究員  
藤原 治 (独) 産業技術総合研究所 活断層・地震研究センター主任研究員  
古村 孝志 東京大学地震研究所巨大地震津波災害予測研究センター教授

## 参考文献

- ・愛知県（2003）：愛知県東海地震・東南海地震等被害予測調査報告書－想定地震に基づく被害想定－
- ・今泉恭一・金子弘幸・佐藤博臣・室崎益輝(1996)：阪神淡路大震災における市民の初期対応行動に関する研究、日本建築学会大会学術講演梗概集
- ・鶴飼卓、高橋有二、青野允編（1995）：事例から学ぶ災害医療－「進化する災害」に対処するために、南江堂
- ・大阪府（1997）：大阪府地震被害想定調査報告書
- ・岡田成幸・高井伸雄（1999）：地震被害調査のための建物分類と破壊パターン，日本建築学会構造系論文報告集，524，65-72
- ・火災予防審議会・東京消防庁（1999）：地震発生時における人命危険要因の解明と対策
- ・柏原士郎・上野淳・森田孝夫 編著（1998）：阪神・淡路大震災における避難所の研究，大阪大学出版会  
<http://www.osaka-up.or.jp/kokai.html>
- ・神奈川県(1993a)：神奈川県西部地震被害想定調査報告書
- ・神奈川県(1993b)：神奈川県西部地震被害想定－手法編報告書－
- ・川上英二（1996）：道路交通システムの形状と連結確率との関係，第1回都市直下地震災害総合シンポジウム、169 - 172
- ・環境省（1998）：震災廃棄物対策指針
- ・環境省（2006）：産業廃棄物管理票に関する報告書及び電子マニフェストの普及について（通知），平成18年12月27日付け環産産発第061227006号産業廃棄物課長通知
- ・環境省廃棄物・リサイクル対策部（2013）：3県沿岸市町村（岩手県・宮城県・福島県（避難区域を除く））の災害廃棄物等の処理状況、平成25年9月30日  
<http://www.env.go.jp/jishin/shori130930.pdf>
- ・気象庁ホームページ「気象統計情報」 <http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>
- ・気象庁（2011）：気象庁ホームページ「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」より、「緊急地震速報および津波警報等の発表状況」  
[http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/2011\\_03\\_11\\_tohoku/tsunami\\_warning.pdf](http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/2011_03_11_tohoku/tsunami_warning.pdf)
- ・木村玲欧・田村圭子・井ノ口宗成・林春男・浦田康幸（2010）：災害からの被災者行動・生活再建過程の一般化の試み～阪神・淡路大震災、中越地震、中越沖地震復興調査結果研究討究，地域安全学会論文集，No.13
- ・厚生労働省（2012a）：平成23年病院報告
- ・厚生労働省（2012b）：平成23年患者調査
- ・厚生労働省（2013a）：東日本大震災水道施設被害状況調査最終報告書  
<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/houkoku/suidou/130801-1.html>
- ・厚生労働省（2013b）：平成24年人口動態調査
- ・厚生労働省（2013c）：平成24年度福祉行政報告例 身体障害者手帳交付台帳登載者数
- ・厚生労働省（2013d）：平成24年度衛生行政報告例 精神障害者保健福祉手帳交付件数
- ・神戸市（1996）：阪神・淡路大震災－神戸市の記録1995年－
- ・神戸市（1997）：神戸市地域防災計画（平成9年修正）
- ・神戸市水道局（1996）：阪神・淡路大震災水道復旧の記録  
<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/directory/eqb/book/11-147/html/pdf/49-53.pdf>
- ・神戸市民生局（1996）：平成7年 兵庫県南部地震神戸市災害対策本部民生部の記録
- ・国土交通省（2011）：東日本大震災による被災現況調査結果（第1次報告）  
[https://www.mlit.go.jp/toshi/city\\_plan/crd\\_city\\_plan\\_tk\\_000005.html](https://www.mlit.go.jp/toshi/city_plan/crd_city_plan_tk_000005.html)
- ・静岡県（2001）：第3次地震被害想定結果
- ・静岡県（2005）：平成17年静岡県産業連関表
- ・静岡県（2011）：平成23年度 東海地震についての県民意識調査報告書
- ・静岡県（2012）：平成23年度静岡県統計年鑑
- ・下田充・藤川清史（2012）：産業連関分析モデルと東日本大震災による供給制約、『産業連関』第20巻、第2号
- ・切田学・横田順一郎（1995）：「転院・転送の方法と課題」，救急医学別冊 集団災害救急1995 阪神・淡路大震災とサリン事件，Vol.19，No.12
- ・震災時のトイレ対策のあり方に関する調査研究委員会（1997）：震災時のトイレ対策－あり方とマ

## ニュアル

- ・新東名(静岡県)インパクト調整会議 (2013) : 新東名高速道路 (御殿場 JCT~三ヶ日 JCT) 開通から1年~開通1年間の高速道路の交通状況と整備効果~  
<http://www.shintomei-shizuoka.net/shintomei.html>
- ・総務省消防庁 (2012a) : 平成24年版救急・救助の現況  
[http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9\\_3.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_3.html)
- ・総務省消防庁 (2012b) : 東日本大震災における危険物施設の被害の状況  
[http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi\\_kento/h24/karichozou\\_karitoriatsukai/01/sanko\\_01\\_03.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h24/karichozou_karitoriatsukai/01/sanko_01_03.pdf)
- ・総務省消防庁 (2013) : 石油コンビナートの防災アセスメント策定指針
- ・総務省統計局 (2010a) : 平成22年国勢調査
- ・総務省統計局 (2010b) : 平成20年住宅・土地統計調査
- ・総務省統計局 (2011) : 津波範囲概況にかかる人口・世帯数 (平成22年国勢調査人口速報集計結果による)  
<http://www.stat.go.jp/info/shinsai/>
- ・中央防災会議 (2003) : 東南海、南海地震等に関する専門調査会 (第16回) 報告書
- ・中央防災会議 (2008) : 中部圏・近畿圏の内陸地震に係る被害想定手法 (案) について~ 交通被害、ライフライン被害、孤立集落の発生など~、東南海、南海地震等に関する専門調査会 (第34回) 資料3
- ・中央防災会議 (2012) : 南海トラフ巨大地震の被害想定について (第一次報告)
- ・中央防災会議 (2013a) : 南海トラフ巨大地震の被害想定について (第二次報告)
- ・中央防災会議 (2013b) : 南海トラフ巨大地震対策について (最終報告)
- ・中部圏社会経済研究所(2011) : 中部圏地域間産業連関表 (2005年版)
- ・東海旅客鉄道 (2012) : 東海道新幹線の脱線・逸脱防止対策について  
<http://jr-central.co.jp/news/release/nws001132.html>
- ・童華南・山崎文雄 (1996) : 地震動強さと新しい気象庁震度との対応関係、生産研究、48
- ・内閣府 (2005) : 首都直下地震に係る被害想定手法について  
<http://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/pdf/shiryu3.pdf>
- ・内閣府 (防災担当) (2008) : 帰宅行動シミュレーション結果に基づくトイレ需要等に関する試算について
- ・内閣府 (2010) : 中山間地等の集落散在地域における孤立集落発生の可能性に関する状況フォローアップ調査
- ・内閣府 (2012) : 南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等 (第二次報告)
- ・内閣府 (2013) : 南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要  
[http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku\\_wg/pdf/20130318\\_shiryu4.pdf](http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku_wg/pdf/20130318_shiryu4.pdf)
- ・内閣府 被災者生活支援チーム (2011) : 「避難所生活者・避難所の推移 (東日本大震災、阪神・淡路大震災及び中越地震の比較)」 ※平成23年7月22日時点  
<http://www.cao.go.jp/shien/1-hisaisha/pdf/5-hikaku.pdf>
- ・日本エレベータ協会 (2012) : 2011年度昇降機台数調査報告書, エレベータ界, 2012年10月号
- ・一般社団法人廃棄物資源循環学会 (2011) : 津波堆積物処理指針 (案)  
<http://eprc.kyoto-u.ac.jp/saigai/archives/001427.html> より
- ・兵庫県 (2005) : 阪神・淡路大震災の死者にかかる調査について (平成17年12月22日記者発表)  
[https://web.pref.hyogo.lg.jp/pa20/pa\\_000000016.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/pa20/pa_000000016.html)
- ・独立行政法人福祉医療機構 (2012) : 独立行政法人福祉医療機構ホームページ 要介護 (要支援) 認定者数 (東海・近畿)  
<http://www.wam.go.jp/wamappl/00youkaigo.nsf/aAuthorizedArea?openagent&NM=Area4&DATE=2012%2F12>
- ・藤田聡 (2006) : 地震災害とエレベータ, 予防時報, 227
- ・復興庁 (2012) : 東日本大震災における災害関連死に関する報告  
[http://www.reconstruction.go.jp/topics/240821\\_higashinihondaisinsainiokerushinsaikanrenshinikansuruhoukoku.pdf](http://www.reconstruction.go.jp/topics/240821_higashinihondaisinsainiokerushinsaikanrenshinikansuruhoukoku.pdf)
- ・室崎益輝・流郷博史 (1996) : 阪神淡路大震災における市民の初期対応行動に関する研究, 地域安全学会梗概集, No.6